らくらくホン ベーシックII

ISSUE DATE: '10.6

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書　F-07A

ドコモ　W-CDMA方式

このたびは、「らくらくホン ベーシックⅡ F-07A」をご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書およびその他のオプション機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、裏面の「総合お問い合わせ先」までご連絡ください。
F-07Aは、お客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末長くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中など電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い所や静かな所などでは、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、予定表、伝言メモ、通話メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkを利用して電話帳やメール、予定などの情報をパソコンに転送・保管できます。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。
  お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、GMOグローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社、株式会社コモドジャパン、Entrust,Inc.
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DOCOMO.
- F-07Aは、バイリンガル機能には対応しておりません。

はじめてFOMA端末をお使いになる方へ

本FOMA端末が「はじめてのFOMA端末」という方は、まず、本書を以下の順序でお読みください。
FOMA端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひととおりご理解いただくことができます。

1. 「安全上のご注意」を確認しましょう→p.10
2. 電池パックを取り付けて、充電しましょう→p.35、p.36
3. 電源を入れて初期設定を行い、自分の電話番号を確認しましょう→p.41、p.47
4. 本体のボタンなどの役割を確認しましょう→p.20
5. ディスプレイに表示されるマークの意味を確認しましょう→p.22
6. メニューの操作方法を確認しましょう→p.28
7. 電話のかけかた／受けかたを確認しましょう→p.52、p.59

本書についての最新情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
- 「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード

http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

知りたい機能をすぐに探すことができるように、本書は次の検索方法を用意しています。

かんたん検索から ▶ p.4

よく使う機能や知っていると便利な機能を、わかりやすい言葉で探します。

メニュー一覧から ▶ p.334

F-07A画面に表示されるメニューから探します。

表紙インデックスから ▶ 表紙

表紙右端のインデックスを使って、本書をめくりながら探します。

p.2～3で例をあげて説明しています。

目次から p.6

目的別に章で分類された目次から探します。

主な機能から p.8

F-07Aの特徴的な機能や便利な機能から探します。

索引から ▶ p.402

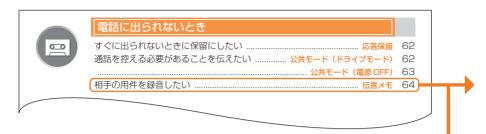
機能名や知りたい項目のキーワード、サービス名で探します。

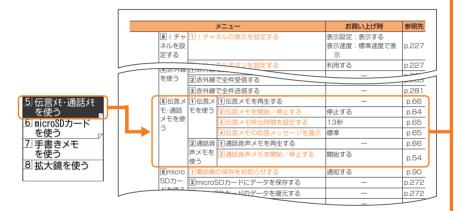
クイックマニュアルを利用する ▶ p.406

本書から切り取って外出時などに利用できる簡易なマニュアルです。

- この『らくらくホン ベーシックⅡ F-07A取扱説明書』の本文中においては、「F-07A」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書で掲載している画面やイラストはイメージです。実際の製品と異なる場合があります。
- 本書は主にお買い上げ時の設定をもとに説明しています。設定を変更していると、FOMA端末の表示や動作が本書の記載と異なる場合があります。お買い上げ時の設定については、メニュー一覧をご覧ください。
- 本書では、画面を見やすくするために待受画面の設定を「表示なし」にした状態で記載しています。
- 本書ではメニューの表示形式をリストにしている場合で説明しています。タイルに設定したときは、メニュー項目名が本書での記載と異なるものがありますが、操作するダイヤルボタンは同じです。
- 本書の内容を一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

かんたん検索から探すとき

よく使う機能や知っていると便利な機能が、わかりやすい言葉で目的別に分類されています。

メニュー一覧から探すとき

FOMA端末の画面に表示されるメニューから探すことができます。

表紙インデックスから探すとき

インデックスを頼りに、表紙→章扉→機能の説明ページという順で探すことができます。

機能名
索引にはこの機能名を記載しています。

タイトル

機能の概要説明と補足
補足には、操作するときに気をつけることを記載しています。

インデックス
章のタイトルです。章ごとに位置が変わります。

操作に関する補足説明
各操作の補足的な説明を記載しています。

画面表示
基本的に操作後の画面を記載しています。

お知らせ
知っていると便利な情報を記載しています。

64

伝言メモ

電話に出られないときに用件を録音する

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときに応答メッセージを再生し、相手の用件を録音します。
- 最大4件、1件につき約30秒間録音できます。

伝言メモの設定

電話

1 待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「5伝言メモ・通話メモを使う」▶「1伝言メモを使う」▶「2伝言メモを開始／停止する」▶「1開始する」を押す

伝言メモを開始した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。
- 伝言メモ設定中は待受画面に(黒)が表示されます。

■ 伝言メモを停止する：伝言メモ設定中に待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「5伝言メモ・通話メモを使う」▶「1伝言メモを使う」▶「2伝言メモを開始／停止する」▶「2停止する」を押す
伝言メモを停止した旨のメッセージが表示されます。

伝言メモを設定したときは

- 伝言メモ設定中でも電話を受けられます。

1 電話がかかってくる
呼出時間設定に従って着信音が鳴った後、伝言メモ応答中の画面が表示され、相手には伝言メモ応答メッセージが流れます。
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「伝言メモ起動中」が表示されます。

2 相手のメッセージが録音される

伝言メモ録音中
携帯花子
090XXXXXXXX

- 開始時と終了時に相手には「ピーッ」と音が鳴ります。また、開始時から約25秒後に、終了予告音（ピピッ）が鳴ります。
- 伝言メモ録音中は、画面の下に終了までの時間の目安が表示されます。

3 録音が終了すると、電話が切れる
伝言メモが録音されると、待受画面に新着情報（→p.24）と(伝)が表示されます。
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに(伝言)が表示されます。

お知らせ
- 伝言メモ応答中、伝言メモ録音中でも(通話)を押して電話に出ることができます。このとき、電話を受けるまでの録音内容は通話メモとして記録されます。
- FOMA端末の電源が入っていないときや圏外にいるときは、伝言メモ機能は動作しません。留守番電話サービスをご利用ください。
- 伝言メモが4件録音されると、待受画面に(赤)が表示され伝言メモは動作しません。また、伝言メモが4件録音された状態で伝言メモを設定しようとすると、削除を促す画面が表示されます。不要な伝言メモを削除してください。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始に設定している場合は、各サービスが動作します。
- 伝言メモが録音された場合でも、着信履歴に記録されます。

※ ページはイメージです。本文中のページとは異なります。

基本的な操作手順とボタンの表記

- 代表的な操作の方法をショートカット操作（→p.30）で説明しています。また、操作手順の一部を簡略化して表記しています。

▶「3電話着信時の振動を選ぶ」を押す

(3)（3に対応するダイヤルボタン）を押します。

- 本書の操作の説明では、ボタンを押す動作をイラストで表現している箇所があります。
本書で使用しているボタンのイラスト→p.20「各部の名称と機能」
- 本書では、(マルチカーソルボタン)を押して機能や項目を選ぶ操作を「選択」と表記しています。
- 文字の入力方法は主にインライン入力（入力欄に文字を直接入力する方法）で説明しています。→p.310

かんたん検索

よく使う機能や知っていると便利な機能を、わかりやすい言葉から調べたいときにご活用ください。

通話に便利な機能

電話に出られないとき

音・振動を変える

画面表示を変える

メールを使う

カメラを使う

安心して使うために

音声呼び出し・読み上げ

その他の機能

※1 有料サービスです。

※2 お申し込みが必要な有料サービスです。

- **その他の機能の検索方法については、「本書の見かた／引きかた」を参照してください。****→p.1**
- **よく使う機能などの操作手順をクイックマニュアルとして案内しています。****→p.406**

目　次

F-07Aの主な機能

FOMAは、第三世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格の1つとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

F-07Aの主な特徴

iモードメール、かんたんデコメール®

テキスト本文に加えて、写真や動画ファイル等を添付することができます。→p.150
また、デコメール®にも対応しているので、カラフルで楽しいメールを受け取ったり、メールを装飾して送信したりすることができます。→p.147

音声入力メール※

ボタン操作が苦手な方でも、簡単に音声で文字を入力し、メールを作成できるサービスです。
文章に変換後は、手入力で修正したり、絵文字を追加したりできます。→p.319
※ お申し込みが必要な有料サービスです。

iチャネル※

ニュースや天気などをグラフィカルな情報として受信できます。定期的に情報を受信し、最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、iチャネル対応ボタンを押すことで見られるチャネル一覧に表示されます。
さらにチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。→p.226
また、iチャネルを申し込んだことがない場合、一定期間、サービス利用料無料でおためしサービスを利用できます。
※ お申し込みが必要な有料サービスです。

F-07Aならではの便利な機能

音声認識

名前や単語を音声登録して、電話帳や各機能を簡単に呼び出すことができます。→p.126、p.128

音声読み上げ

表示中の操作の説明、受信メールやサイトの内容を読み上げます。→p.129
FOMA端末を閉じているときに右側面のボタンを1秒以上押せば、時刻を声でお知らせします。読み上げの声質や速さを変更して、聞きやすい読み上げ動作を設定することができます。

簡単メールと音声メール

画面の表示に従って操作すると、手軽にメールを作成できます。写真やビデオの添付も簡単です。→p.138
さらに、伝えたいことをその場で録音し、メールに添付して送信することもできます。→p.151

ワンタッチダイヤル

ディスプレイの下の数字ボタン（ワンタッチダイヤルボタン）を押すだけで、登録した相手に、簡単に電話をかけたりメールを作成したりすることができます。登録相手専用の着信音や着信画像を設定することも可能です。→p.88

光ガイドとガイド機能

電話がかかってくると、ボタンが明るく点滅して電話に出る方法をお知らせします。ビデオ撮影時や設定を確定するときなど、次に押すボタンがわかります。画面下に「ガイド」が表示されるメニューや機能名などは、その説明を読むことができます。→p.24、p.59、p.232

多彩なあんしん設定

おまかせロック※

おまかせロックは、ご契約者本人からのお申し出によりFOMA端末にロックをかけるサービスです。ご契約者本人とFOMA端末を所持しているお客様が異なる場合でも、ご契約者本人からのお申し出がある場合は、おまかせロックがかかりますのでご了承ください。→p.109

※ ドコモプレミアクラブ会員の場合、手数料無料で何回でもご利用いただけます。ドコモプレミアクラブ未入会の場合、有料のサービスとなります。(ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。)ご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編)』をご覧ください。

電話帳お預かりサービス（ケータイデータお預かりサービス）※

電話帳を自動更新でバックアップできるサービスです。FOMA端末に保存している電話帳・画像・メールをお預かりセンターに保存し、紛失時などに保存データを復元することができます。また、メールアドレスを変更した場合に一斉通知することもできます。パソコン（My docomo）があれば、さらに便利にご利用いただけます。→p.119

※ お申し込みが必要な有料サービスです。ご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編)』をご覧ください。

その他の役立つ機能

おまかせカメラ

逆光、明るさ、手ブレ、歪みなどを自動で補正します。また、FOMA端末を動かすたびにピント合わせを自動で行いますので、接写から通常撮影まで簡単にきれいな写真を撮ることができます。

スーパーはっきりボイス2とゆっくりボイス

「スーパーはっきりボイス2（＝はっきりボイス)」は、周囲の騒音を感知すると、相手の声を音域ごとに最適な音量に細かく調整し、相手の声が聞き取りやすくなります。また、相手の声のスピードを調節する「ゆっくりボイス」も聞き取りやすさを向上させます。→p.53

microSDカード対応

FOMA端末内の画像、メロディ、電話帳、メールなどのバックアップデータを保存することができます。microSDカードを使えば、たくさんの写真を保存できますし、microSDカードに対応したプリンタやプリントサービスのお店で簡単に印刷することができます。→p.266

赤外線通信

赤外線通信機能が搭載された機器との間で、電話帳や写真などを送受信することができます。→p.280

おまかせバックライト

FOMA端末を持ち上げて傾けると、自動的に背面ディスプレイの照明が点灯します。
時間などを簡単に確認することができます。→p.99

歩数計

FOMA端末を歩数計として利用し、歩いた距離、消費したカロリーなどを算出することができます。また、歩数計の情報を、毎日同じ時間、同じ宛先に自動的に送ることができます（歩数計自動送信メール)。→p.288

バーコードリーダーと拡大鏡

カメラの接写機能を利用して、FOMA端末をバーコードリーダーまたは拡大鏡として利用することができます。
バーコードリーダーを使って、情報を取得することができます。→p.243

豊富なネットワークサービス

- **留守番電話サービス（有料）→p.322**
- **キャッチホン（有料）→p.323**
- **転送でんわサービス（無料）→p.323**
- **迷惑電話ストップサービス（無料）→p.324**
- **デュアルネットワークサービス（有料）→p.325**

※ 迷惑電話ストップサービス以外は、すべてお申し込みが必要なサービスです。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

指示	指示に基づく行為に対する強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、FOMAカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **FOMA端末の電源を切る。**
- **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

FOMA端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながら通話などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

FOMA端末の取り扱いについて

⚠警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

FOMA端末内のFOMAカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

指示

ワンタッチブザーを鳴らす場合は、必ずFOMA端末を耳から離してください。

難聴の原因となります。

⚠注意

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	材　質	表面処理
充電端子	銅	金メッキ
バッテリープレート	ステンレス	ー

指示

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。

けがなどの事故の原因となります。

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

電池パックの取り扱いについて

■ **電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。**

表　示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠警告

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体が漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体が目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

アダプタの取り扱いについて

⚠警告

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

コンセントやシガーライターソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れた手でアダプタのコード、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

アダプタをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

FOMAカードの取り扱いについて

⚠注意

指示

FOMAカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切ってください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- 水をかけないでください。
  - FOMA端末、電池パック、アダプタ、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。
  - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
    また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
  - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
  - 多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- FOMA端末、アダプタ、卓上ホルダに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
  - 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。

FOMA端末についてのお願い

- 極端な高温、低温は避けてください。
  - 温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  - 万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  - 故障、破損の原因となります。
- 外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
  - 故障、破損の原因となります。
- ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。
  - 故障、破損の原因となります。
- 使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
  - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常はイヤホンマイク端子キャップ、外部接続端子キャップをはめた状態でご使用ください。
  - ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- リアカバーを外したまま使用しないでください。
  - 電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- ディスプレイやボタンのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。
  - 故障、破損、誤動作の原因となります。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。
  - データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
  - キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
  - 強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。
  - 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
  - 満充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

  保管に適した電池残量は、目安として電池アイコン表示が2本の状態をお勧めします。

アダプタについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
  - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
  - 故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

- FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  - 万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  - データの消失、故障の原因となります。
- FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
  - 故障の原因となります。

注意

- 改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。

  FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク〔技適マーク〕」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。

  FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。

  技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。

  運転中は、携帯電話を保持して使用すると罰則の対象となります。

  やむを得ず電話を受ける場合は、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

本体付属品および主なオプション品について

■ 本体付属品

F-07A
（リアカバー F38、保証書含む）

らくらくホン ベーシックⅡ
取扱説明書（本書）

※ p.406にクイック
マニュアルを記載
しています。

らくらくホン ベーシックⅡ
かんたん操作ガイド

F-07A用CD-ROM

※ PDF版「パソコン接続マニュアル」および「区点コード一覧」を収録しています。

らくらくホン ベーシックⅡ
操作ガイドDVD（試供品）

電池パック F16

■ 主なオプション品

FOMA AC アダプタ 01 ／ 02
（保証書、取扱説明書付き）

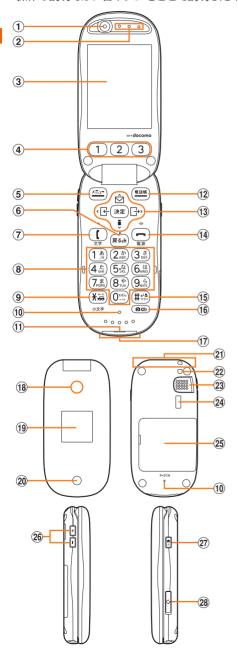
卓上ホルダ F18
（取扱説明書付き）

その他のオプション品→p.367

ご使用前の確認

各部の名称と機能

ここでは、F-07Aの各部の名称と、ボタンに割り当てられている主な操作の説明をします。

- 操作の説明では、各ボタンをここで説明したイラストで表しています。

① 光センサー

画面の明るさを自動調整するときに使います。

※ 光センサーをふさぐと、照明設定の自動調整が正しく行えない場合があります。

② 受話口

相手の声がここから聞こえます。

③ ディスプレイ→p.22

④ 1 2 3 ワンタッチダイヤルボタン1／2／3

ワンタッチダイヤルを登録します。

1秒以上押すと登録した相手に電話をかけられます。

⑤ [メニュー] メニューボタン

メニューの表示、ガイド行の左側に表示される操作の実行に使います。

1秒以上押すとボイスメニューが使用できます。

⑥ [戻るch] 戻る／chボタン

文字の消去、1つ前の画面に戻る、ｉチャネル一覧の表示に使います。

1秒以上押すと新着情報の表示を消去できます。

⑦ [[ ] 開始／文字ボタン

電話をかける／受ける、スピーカーホン機能での通話切り替え、文字入力の入力モード切り替えに使います。

1秒以上押すと留守番電話の伝言メッセージが再生できます。

⑧ [1]～[9][0] ダイヤルボタン

電話番号や文字の入力、メニュー項目の選択に使います。

待受画面や電話番号の入力画面で[0]を1秒以上押すと、「+」が入力されます。

⑨ [*] ＊／公共モード（ドライブモード）ボタン

「*」や「゛」「゜」などの入力、大文字／小文字の切り替えに使います。

1秒以上押すと公共モードの設定／解除ができます。

⑩ マイク

自分の声をここから伝えます。

※ マイクをふさぐと、相手にお客様の声が聞こえにくくなったり、音声が正常に録音されなくなったりする場合があります。

※ 背面のマイクは騒音カット用のため、お客様の声は拾いません。

⑪ 外部接続端子

FOMA ACアダプタ01／02（別売）など、各種オプション品を接続します。→p.38

⑫ 電話帳ボタン

電話帳の表示、ガイド行の右側に表示される操作の実行、スピーカーホン機能での通話切り替えに使います。
1秒以上押すと電話帳の音声検索ができます。

⑬ マルチカーソルボタン（十字ボタン）

決定ボタン
選択した操作の実行、便利ツールメニューの表示に使います。お知らせ情報があるときは、お知らせの内容を表示します。

メール／上ボタン
メールメニュー画面の表示、カーソルの上方向への移動、音量の調節（大）、新着メール受信後のメール一覧の表示に使います。
1秒以上押すとメール作成画面が表示されます。

ｉモード／下ボタン
ｉモードメニューの表示、カーソルの下方向への移動、音量の調節（小）、メッセージR/F受信後のメッセージ一覧の表示に使います。

着信履歴／左ボタン
着信履歴の表示、カーソルの左方向への移動、画面の切り替え、音量の調節（小）に使います。

リダイヤル／右ボタン
リダイヤルの表示、カーソルの右方向への移動、画面の切り替え、音量の調節（大）に使います。

⑭ 終了／電源ボタン

通話や操作中の機能の終了、応答保留、シークレットモードの解除に使います。
2秒以上押すと電源のON／OFFができます。

⑮ ＃／改行／接写切り替え／マナーモードボタン

「＃」の入力、改行、カメラでの接写撮影の切り替えに使います。
1秒以上押すとマナーモードの設定／解除ができます。

⑯ カメラ／音声入力ボタン

写真撮影画面の起動、メール作成時の音声入力に使います。
1秒以上押すとカメラメニューが表示されます。

⑰ 充電端子

⑱ ランプ

充電中、写真やビデオの撮影確認音（シャッター音）が鳴った後などに点灯／点滅します。

⑲ 背面ディスプレイ→p.25

⑳ カメラ

写真やビデオを撮影したり、バーコードを読み取るときに使います。

㉑ FOMAアンテナ

※ FOMAアンテナは本体に内蔵されています。よりよい条件で通話をするために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

㉒ ストラップ取付口

㉓ スピーカー

着信音やスピーカーホン機能使用中の相手の声、音声読み上げの音声などがここから聞こえます。

㉔ 赤外線ポート

赤外線でデータを送受信するときに使います。

㉕ リアカバー

※ リアカバーを外し、電池パックを取り外すと、microSDカードスロットがあります。→p.269

㉖ 音量ボタン

背面ディスプレイの照明の点灯、各種音量や撮影時の明るさの調節などに使います。

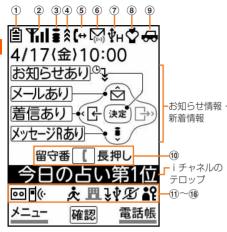
㉗ 音声読み上げボタン

背面ディスプレイの照明の点灯や表示の切り替え、ゆっくりボイスの設定、音声読み上げ、目覚まし音・予定の通知の音声の停止に使います。

㉘ イヤホンマイク端子

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続します。→p.304

ディスプレイの見かた

ここでは、ディスプレイに表示されるマークの説明をします。

① : 電池残量の表示→p.40

② ／圏外：受信レベルの表示→p.41

SELF：セルフモード中→p.110

：データ転送モード中※1／ドコモケータイdatalinkの使用中→p.267、p.280、p.331

※2
③ ： iモード中、接続中→p.200

：SSLページ表示中→p.201

／：パソコンと接続してパケット通信中／データ送受信中→p.328

：オートスピーカーホン機能の設定中→p.60

※2
④ ：赤外線通信中→p.280

：シークレットモード中→p.111

⑤ ：電話中→p.52

：電話切断中→p.52

64K：64Kデータ通信中→p.328

：音声読み上げ可能／音声読み上げ中→p.129

※2
⑥ ：未読エリアメール→p.178

：未読 iモードメール、SMSが満杯で、FOMAカードにSMSが満杯→p.156

（赤）：未読 iモードメール、SMSが満杯→p.156

（赤）：FOMAカードにSMSが満杯→p.183

（黒）：未読 iモードメール、SMSあり→p.156、p.183

（黒）／（赤）：未読メッセージRあり／満杯→p.173、p.174

（黒）／（赤）：未読メッセージFあり／満杯→p.173、p.174

※3
⑦ ：USBハンズフリー対応機器で通信中→p.59

通信中： iモード中→p.200

取得中： iモーションデータ取得中→p.222

漢字かな／半角カナ／英字／数字／全角かな／全角カナ：入力モードの表示→p.311

※3
⑧ ：マナーモード中→p.97

SV：電話のバイブレータと電話着信音量の消音を同時に設定中→p.94、p.95

V：電話のバイブレータを設定中→p.95

S：電話着信音量を消音に設定中→p.94

： iモードメール、SMSの受信中→p.156、p.183

※3
⑨ ：公共モード（ドライブモード）中→p.62

（黒）：FOMAカードを読み込み中→p.41

R：メッセージRの受信中→p.172

F：メッセージFの受信中→p.172

⑩ 留守番 [長押し：留守番電話サービスセンターに伝言メッセージあり→p.24、p.322

⑪ （黒）：伝言メモの設定中→p.64
：未確認の伝言メモあり→p.64
（赤）：伝言メモが満杯→p.64

⑫ ：未確認の不在着信情報あり→p.55

⑬ ／：歩数計の使用設定中／歩数計の使用と歩数計自動送信メールを設定中→p.288、p.290

※2
⑭ ｉモードセンター蓄積状態表示→p.157、p.173
（赤）：ｉモードメールとメッセージR/Fが満杯、またはいずれかが満杯で未受信あり
／／（すべて赤）：ｉモードメールまたはメッセージR/F満杯
（黒）：未受信のｉモードメールとメッセージR/Fあり
／／（すべて黒）：未受信のｉモードメールまたはメッセージR/Fあり

⑮ ：ソフトウェア更新の予約中→p.386
※4：microSDカードあり→p.269

⑯ ：USBケーブルでパソコンなどと接続中→p.328

⑰ ：ダイヤル発信制限中→p.113

※2
⑱ ：個人情報表示制限中→p.112
：目覚まし設定中→p.295
：予定を通知するように設定中→p.298
：目覚ましと予定を通知するように設定中→p.295、p.298

※1 データ転送モード中は圏外と同じ状態になります。
※2 現在優先度の高いものが1つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。
※3 待受画面以外では時刻が表示されます。
※4 ⑯のマークが表示されているときは表示されません。

お知らせ情報・新着情報の表示

電話帳の自動更新の失敗や電話帳保存のお知らせ、パターンデータの自動更新の通知があると、待受画面でお知らせ情報として表示します。また、メールやメッセージR/Fの受信や不在着信の記録、伝言メモの録音、留守番電話サービスセンターに伝言メッセージの録音があると、待受画面で新着情報としてお知らせします。

① 決定：表示されているアイコンにより次の通知が表示されます。
- ：書き換え予告マーク→p.382
- ：更新お知らせマーク→p.384
- ／：パターンデータの自動更新成功／失敗→p.390、p.391
- ：電話帳の自動更新失敗→p.119
- ：圏内自動送信失敗メールあり→p.143
- ：電話帳保存のお知らせ→p.90

② ：受信メールのフォルダ一覧が表示されます。→p.160

③ ：着信履歴画面が表示されます。→p.54
- 「伝言あり」と表示された場合は、着信履歴画面で伝言メモを再生できます。

④ ：メッセージRまたはメッセージFの一覧が表示されます。→p.174

⑤ を1秒以上：留守番メッセージを再生するかどうかの確認画面が表示されます。→p.322

- 戻る/chを1秒以上：新着情報の表示を消します。
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに新着情報が表示されます。

ガイド行の表示

ガイド行には、メニュー、決定、電話帳を押して実行できる操作が表示されます（表示される操作は画面により異なります）。表示位置とボタンは、図のように対応しています。

本書では、ガイド行に表示される操作の説明を、対応するボタン（メニュー、決定、電話帳）を使って説明しています。

- ガイド行のは、マルチカーソルボタン（十字ボタン）のに対応しています。
- ガイド行の右側に「ガイド」と表示されているときに電話帳を押すと、機能の詳細を説明するガイド画面が表示されます。ガイド画面を終了するには、電話帳または戻る/chを押します。

背面ディスプレイの見かた

FOMA端末を閉じていても、設定されている機能やさまざまな情報を確認できます。

- 写真撮影やビデオ撮影、電話やメールの着信時、新着情報、開閉ロックなど、機能によっては、背面ディスプレイの照明の点灯や点滅で状態をお知らせします。

表示されるマーク一覧

①：電池残量の表示→p.40
②／圏外：受信レベルの表示→p.41
SELF：セルフモード中→p.110
：データ転送モード中／ドコモケータイdatalinkの使用中→p.267、p.280、p.331
③：ｉモード中、接続中→p.200
④※1：マナーモード中→p.97
：音声読み上げ可能／音声読み上げ中→p.129
⑤：圏内、歩数計自動送信失敗メールあり→p.143、p.290
⑥：公共モード（ドライブモード）中→p.62
⑦：目覚まし設定中→p.295
：予定を通知するように設定中→p.298
：目覚ましと予定を通知するように設定中→p.295、p.298
⑧※2 新着情報→p.24
着信：不在着信あり
メール：未読ｉモードメール、SMSあり
伝言：未確認の伝言メモあり
留守：留守番サービスセンターに伝言メッセージあり
R／F：未読メッセージR/Fあり
⑨歩数の表示→p.288

※1 両方設定しているときは、マナーモード中のマークが表示されます。
※2 ⑤⑥⑦のマークよりも優先して表示されます。

主な表示

FOMA端末を閉じているときに、電話を着信した場合やメール受信中など、待受中から変化があると、状態を表示してお知らせします。主な表示内容は次のとおりです。

■ 電話の状態表示

着信中や通話中、応答保留中、切断中などの状態が表示されます。画面は電話がかかってきたときの例です。

※ 背面ディスプレイ設定の「2背面画面の着信表示を設定する」を「2表示しない」に設定しているときは、電話がかかってきても相手の電話番号や名前は表示されません。→p.99

- 電話の受けかた→p.59

■ 伝言メモの状態表示

応答中や録音中に表示されます。

- 伝言メモ→p.64

■ iモードメールやSMS、メッセージR/Fを受信したとき

画面はiモードメール受信完了のときの例です。

※ 背面ディスプレイ設定の「2背面画面の着信表示を設定する」を「2表示しない」に設定しているときは、メールを受信しても相手のメールアドレスや名前は表示されません。→p.99

- iモードメール受信→p.156
- SMS受信→p.183
- メッセージR/F受信→p.172

メール
受信
携帯花子

■ 圏内／歩数計自動送信に失敗したとき

- 圏内自動送信→p.143
- 歩数計自動送信→p.290

■ 目覚まし時刻や予定を通知する日時になったとき

画面は目覚まし時刻になったときの例です。

- 目覚まし→p.295
- 予定表→p.297

時間です
10:00

※ この他にも、電池が切れそうなときやオールロック中、おまかせロック中、開閉ロック起動時の状態を表示したり、iモード問合せやSMS問合せ、電話帳お預かりサービス（ケータイデータお預かりサービス）のお預かりセンターへの接続、音声録音、アルバム再生、メロディの再生、赤外線通信、データ通信を行ったときなどにも表示します。

表示の切り替え

背面ディスプレイ設定の「1背面画面の時計表示を設定する」を「1読上ボタンで切替」に設定している場合は、背面ディスプレイの照明が点灯しているときに□を押すと、押すたびに時計表示が切り替わります。切り替えた表示の設定は、電源を入れ直すか各種設定リセットを行うまで保持されます。

＜デジタル時計と今日の歩数＞ ＜デジタル時計といきいき歩行の歩数＞ ＜デジタル時計大＞ ＜アナログ時計＞ ＜デジタル時計＞

- FOMA端末を閉じると、背面ディスプレイの照明が点灯します。約15秒間何も操作しないと消灯しますが、□□□のいずれかを押すと再度点灯します。また、背面ディスプレイ設定で「3背面画面の照明を設定する」を「1点灯する」に設定している場合は、FOMA端末を持ち上げて傾けると照明が点灯します。→p.99
- 歩数計を「2利用しない」に設定しているときは、デジタル時計と今日の歩数、デジタル時計といきいき歩行の歩数は表示されず、デジタル時計→デジタル時計大→アナログ時計の順に表示されます。
- 新着情報があるときは、新着情報が表示されたデジタル時計に切り替わります。
- デジタル時計の表示形式は、24時間形式または12時間形式に設定できます。→p.101

お知らせ

- 背面ディスプレイに情報が表示されているときにFOMA端末を開くと、表示は消えます。
- FOMA端末を閉じているときに電話がかかってきたりメールを受信したりして背面ディスプレイの表示が切り替わった場合は、照明が自動的に点灯します。
- デジタル時計と今日の歩数、デジタル時計といきいき歩行の歩数を表示しているときは、背面ディスプレイ下部に表示されるマークのうち□は表示されません。また、デジタル時計大、アナログ時計を表示しているときは、すべてのマークが表示されません。ただし、新着情報のマークが表示されるときはデジタル時計に切り替わり、マークが確認できます。
- 電話着信時の相手の情報、アルバム再生中やメロディ再生中の題名が、半角で9文字、全角で5文字を超える場合は、スクロールして表示されます。再びスクロール表示するときは、□を押します。

メニュー操作のしかた

待受画面で(メニュー)を押すと表示されるメニュー画面や、(メール)を押すと表示されるメールメニュー画面などから、各種機能を選択して実行します。機能を選択するには、マルチカーソルボタン（十字ボタン）を押す方法と、ダイヤルボタンを押す方法があります。本書では、操作の方法を主にダイヤルボタンを押す方法（ショートカット操作）で説明しています。

- 本書では、リスト形式のメニューから機能を呼び出す方法を基準に説明しています。
- メニューは機能ごとに分類されています。→p.334
- 各種ロック機能を設定している場合やFOMAカードを取り付けていない場合などに機能を選択すると、実行できない理由などを表示します。サブメニューの場合は、実行できない機能はグレーなどで薄く表示され選択できません。
- メニュー形式選択でメニューのデザインを「タイル」に設定したときは、待受画面で(メニュー)を押すと表示される最初のメニューの項目名が本書での記載と異なります。また、マルチカーソルボタン（十字ボタン）での機能の選択方法も異なります。
- メニュー形式の選択とメニュー項目名について→p.100

マルチカーソルボタン（十字ボタン）での機能選択

リスト形式のメニューから機能を選択するとき

〈例〉「ボタンを押した時の音を設定する」を実行する

1　待受画面で(メニュー)を押す

メニュー画面が表示されます。

① **カーソル**
　選択している機能の色が変わります。

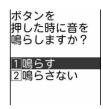
② **次の階層のメニューがあることを示します。**

③ **表示中のメニュー画面に続きがある場合に表示されます。**
　続きを表示するときは、(上)(下)を数回押してカーソルを移動するか、(前)(後)を押して画面を切り替えます。

2　(下)を押して「9 設定を行う」を選択▶(決定)を押す

「9 設定を行う」のメニュー画面が表示されます。

- (上)：カーソルが上の機能に移動します。
- (下)：カーソルが下の機能に移動します。
- (前)：前のページを表示します。
- (後)：後ろのページを表示します。

3 を押して「5ボタンを押した時の音を設定する」を選択▶決定を押す

4 を押して「1鳴らす」または「2鳴らさない」を選択▶決定を押す

ボタン確認音を設定した旨のメッセージが表示されます。

5 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- を押すと待受画面に戻ります。

タイル形式のメニューから機能を選択するとき

1 待受画面でメニューを押す

メニュー画面が表示されます。

タイル（アイコン）　タイル（文字）

2 を押して「設定」を選択▶決定を押す

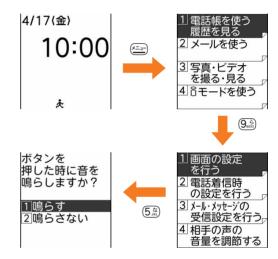
- ：カーソルが上の機能に移動します。
- ：カーソルが下の機能に移動します。
- ：カーソルが左の機能に移動します。
- ：カーソルが右の機能に移動します。

ダイヤルボタンでの機能選択〈ショートカット操作〉

各メニューや項目に番号や記号が割り当てられている場合は、対応するダイヤルボタン（1～9、0）や*、#を押して選択できます。これをショートカット操作といいます。

- メニュー形式が「タイル（アイコン）」の場合は、各メニュー番号や記号が表示されていませんが、「タイル（文字）」と同様のショートカット操作ができます。

〈例〉「ボタンを押した時の音を設定する」を実行する

1 待受画面でメニュー▶「9設定を行う」▶「5ボタンを押した時の音を設定する」を押す

2 「1鳴らす」または「2鳴らさない」を押す

ボタン確認音を設定した旨のメッセージが表示されます。

- 1または2を押して選択します。

3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- 終話ボタンを押すと待受画面に戻ります。

待受画面や１つ前の画面に戻るには

機能を選択した後で、１つ前の画面や待受画面に戻るときは次のボタンを押します。

戻る：１つ前の画面に戻ります。

終話ボタン：待受画面に戻ります。

前後のページや項目を表示するには

メニューや選択項目が複数ページにわたる場合は、ガイド行の◆表示に従って、次の操作で前後のページや項目を表示します。

- ガイド行に ⬍ が表示されている場合は、カーソル位置のメニューや項目の上下に項目があることを示しています。[メール][↓]を押してカーソルを移動します。ページの最後の項目で[↓]を押すと次のページまたは最初のページが、ページの先頭の項目で[メール]を押すと前のページまたは最後のページが表示されます。
- ガイド行に◂ ▸が表示されている場合は、前後のページまたはカーソル位置の項目の左右に項目があることを示しています。[←][→]を押してカーソルを移動します。前後のページがあるときは、[←]を押すと前のページまたは最後のページが、[→]を押すと次のページまたは最初のページが表示されます。
  画面によっては、[メニュー]で前のページを、[電話帳]で次のページを表示できます。

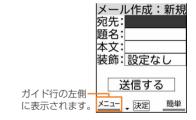
サブメニューからの機能選択

ガイド行の左側に「メニュー」が表示されているときは、[メニュー]を押してサブメニューを表示し、さまざまな操作ができます。

〈例〉メール作成画面のサブメニューを表示する

1 待受画面で[メール]を1秒以上押す

メール作成画面が表示されます。

- 簡単メール作成画面が表示されたときは、[電話帳]▶「1切替える」を押します。

2 [メニュー]を押す

サブメニューが表示されます。

- サブメニューは、操作する画面により異なります。

1送信する
2保存する
3署名付きで送信
4添付データ
5電話帳を呼出す
6例文を使う
7宛先を追加
8宛先を削除
戻る　決定

カーソル：選択している機能の色が変わります。

3 ダイヤルボタンを押す

機能が実行されます。

- 利用する機能の左側に表示される番号に対応するダイヤルボタンを押します。
- サブメニュー表示中に[メニュー]を押すと、サブメニューが閉じます。
- [メール][▼]を押して利用する機能を選択し、[決定]を押しても機能を実行できます。

FOMAカードを使う

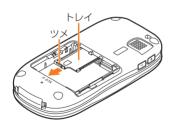
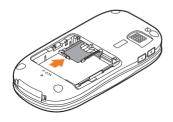
FOMAカードとは、電話番号などのお客様情報を記録しているカードです。FOMA端末に挿入して使用します。

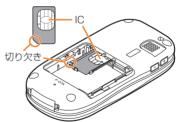
- FOMAカードを正しく取り付けていない場合やFOMAカードに異常がある場合は、電話の発着信やメールの送受信などはできません。
- FOMAカードの取り扱いについての詳細は、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

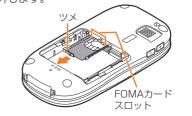
取り付けかた／取り外しかた

- 電源を切ってからFOMA端末を閉じ、手で持って行ってください。FOMA端末を置いた状態で行うと、カメラや背面ディスプレイが破損するおそれがあります。
- FOMAカードのIC部分に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。
- リアカバーと電池パックの取り付けかた／取り外しかた→p.35

■ 取り付けかた

①ツメを引き、「カチッ」と音がするまでトレイを引き出します。

②IC面を上にして、図のような向きでFOMAカードをトレイに載せます。

③トレイを奥まで押し込みます。

■ 取り外しかた

①ツメを引き、「カチッ」と音がするまでトレイを引き出し、FOMAカードを取り外します。

お知らせ

- FOMAカードの無理な取り付けや取り外し、トレイが斜めに挿入された状態での電池パックの取り付けなどによって、FOMAカードやトレイが壊れる場合がありますのでご注意ください。
- トレイを強く引き抜いて外れてしまった場合には、FOMAカードスロット内部のガイドレールに合わせてまっすぐに押し込んでください。このとき、FOMAカードは取り外した状態で行ってください。

暗証番号

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号があります。→p.105
ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→p.107

FOMAカードのセキュリティ機能

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護したり、第三者が著作権を有するデータやファイルを保護したりするための機能として、FOMAカードのセキュリティ機能（FOMAカード動作制限機能）が搭載されています。

- FOMA端末にお客様のFOMAカードを取り付けている状態で、サイトなどからデータやファイルをダウンロードしたり、メールに添付されたデータを取得したりすると、それらのデータやファイルには自動的にFOMAカードのセキュリティ機能が設定されます。
- 異なるFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカードを取り付けていない場合、FOMAカードのセキュリティ機能が設定されたデータやファイルの表示や再生はできません。
- FOMAカードのセキュリティ機能が設定されているデータやファイルは、赤外線通信やmicroSDカードへのコピーや移動ができません。
- FOMAカードのセキュリティ機能の対象となるデータは次のとおりです。
  - 画面メモ
  - ｉモードメール添付のデータ、デコメール®や署名に挿入されている画像
  - メッセージR/F
  - 画像（GIFアニメーション、Flash画像、電話帳お預かりセンターからダウンロードした画像を含む）、ｉモーション、メロディ
  - 着うた®

  ※「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

お知らせ

- FOMAカードのセキュリティ機能の対象になっているデータを待受画面や着信音などに設定しているときに、異なるFOMAカードに差し替えて使用したり、FOMAカードを取り付けずに使用したりすると、待受画面や着信音などの設定はお買い上げ時の状態に戻ります。FOMAカードのセキュリティ機能が設定されたときのFOMAカードを取り付けると、設定は元の状態に戻ります。
- 赤外線通信、microSDカード、ドコモケータイdatalinkを使用して入手したデータや、内蔵のカメラで撮影した写真やビデオには、FOMAカードのセキュリティ機能が設定されません。
- 次のメニューの設定項目にはFOMAカードに保存されるものがあります。FOMAカードを差し替えると、差し替えたFOMAカードに保存されている設定内容が表示されます。詳細は「メニュー一覧」をご覧ください。→p.334
  - 自分の電話番号を見る
  - SMSを設定する
  - 証明書の表示と使用を設定する
  - FOMAカードのPINコードを設定する

FOMAカードの種類

FOMA端末でFOMAカード（青色）をご使用になる場合、FOMAカード（緑色／白色）とは次のような違いがありますので、ご注意ください。

項　目	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色／白色）	参照先
FOMAカード電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁	p.75
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用不可	利用可	p.219
WORLD WINGサービスの利用	利用不可	利用可	p.34
サービスダイヤル	利用不可	利用可	p.325

WORLD WING

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色／白色）とサービス対応端末で、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

※ 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいたお客様は、WORLD WINGのお申し込みは不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいたお客様や途中でご解約されたお客様は、再度お申し込みが必要です。

※ 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約でWORLD WINGをお申し込みいただいていないお客様は、お申し込みが必要です。

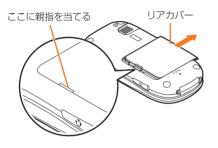
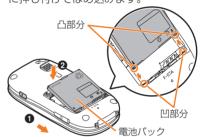
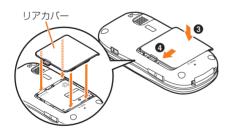
※ 一部ご利用になれない料金プランがあります。

※ 万が一、海外でFOMAカード（緑色／白色）の紛失・盗難にあった場合などは、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

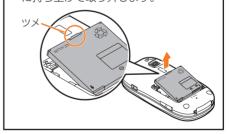
電池パックの取り付けかた／取り外しかた

- 電源を切ってからFOMA端末を閉じ、手に持って行ってください。FOMA端末を置いた状態で行うと、カメラや背面ディスプレイが破損するおそれがあります。
- 電池パックを取り外すとソフトウェア更新の予約が解除される場合があります。また、日付時刻設定を「手動で設定する」に設定中に電池パックを取り外すと、日付・時刻が消去される場合があります。

■ 取り付けかた

①親指でリアカバーを押しながら、矢印方向に約2mmスライドさせて外します。

②電池パックのラベル面を上にして、電池パックの凸部分をFOMA端末の凹部分に合わせて❶の方向に差し込み、❷の方向に押し付けてはめ込みます。

③リアカバーの4箇所のツメをFOMA端末のミゾに合わせます。FOMA端末とリアカバーにすき間が生じないように❸の方向に押さえながら、❹の方向にスライドさせて取り付けます。

■ 取り外しかた

①取り付けかたの操作①を行います。

②電池パックのツメをつまんで、矢印方向に持ち上げて取り外します。

お知らせ

- 電池パックを無理に取り付けようとするとFOMA端末の端子が壊れる場合があるため、ご注意ください。
- 上記以外の方法で取り付け／取り外しを行ったり、力を入れすぎたりすると、FOMA端末やリアカバーが破損するおそれがあります。

充電する

お買い上げ時、電池パックは十分に充電されていません。必ず専用のACアダプタまたはDCアダプタで充電してからお使いください。

- 電池パック単体での充電はできません。
- F-07Aの性能を十分に発揮するために、必ず電池パック F16をお使いください。

充電時間（目安）

電源を切って電池パックを空の状態から充電した場合の充電時間の目安は次のとおりです。電源を入れたまま充電した場合などは、この時間より長くなります。
また、FOMA端末を開いた状態のときや通話中、通信中は充電時間が長くなる場合があります。充電を早く完了させるには、操作を終了し、FOMA端末を閉じてから充電することをおすすめします。

ACアダプタ	約150分	DCアダプタ	約150分

十分に充電したときの使用時間（目安）

使用時間は充電のしかたや使用環境によって変動します。
連続待受時間および連続通話時間について→p.394

連続待受時間	静止時：約560時間 移動時：約420時間
連続通話時間	約190分

- 連続待受時間はF-07Aを閉じて電波を正常に受信できる状態での目安です。なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場合など）などにより、通話や通信、待受時間は約半分程度になる場合があります。また、ｉモード通信を行うと通話や通信、待受時間は短くなります。通話やｉモード通信をしなくてもｉモードメールの作成、音声読み上げ、動画／ｉモーションの再生、カメラの使用、歩数計の利用、マルチアクセスの実行、データ通信などをしたりすることによっても、通話や通信、待受時間は短くなります。
- 連続通話時間は、電波を正常に送受信できる状態での目安です。

電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらｉモード通信などを長時間利用すると、電池パックの寿命が短くなることがあります。

充電について

- 詳細は、FOMA ACアダプタ 01／02（別売）、FOMA 海外兼用ACアダプタ 01（別売）、FOMA DCアダプタ 01／02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ 02およびFOMA 海外兼用ACアダプタ 01はAC100Vから240Vまで対応しています。
- FOMA 海外兼用ACアダプタ 01はAC100Vから240Vまで対応していますが、ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。

電池パックの上手な使いかた

- **電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。**
  FOMA端末の電源を入れた状態で充電が完了した後は、FOMA端末は電池パックから電源が供給されます。そのままの状態で長時間置くと、電池パックが消費され、短い時間しか使用できずに電池残量警告音が鳴ってしまう場合があります。その場合は、FOMA端末をACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタから外して、もう一度セットし直してから充電を行ってください。
- **環境保全のため、不要になった電池はNTT ドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。**

Li-ion 00

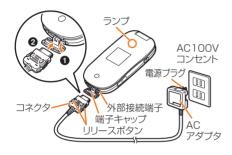
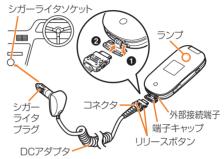
充電時の留意事項

- 充電を開始するとランプが赤色で点灯します。ただし、環境によっては充電開始時にランプがすぐに点灯しない場合がありますが故障ではありません。しばらくたっても点灯しない場合は、FOMA端末をACアダプタや卓上ホルダなどから外してもう一度セットし直してから充電を行ってください。充電開始後、しばらくたっても点灯しない場合はドコモショップなどの窓口にお問い合わせください。
- 充電中はFOMA端末や電池パック、ACアダプタ、DCアダプタが温かくなる場合がありますが、異常ではありません。ただし、充電中に通話や通信、その他機能の操作を長時間行ったりすると、FOMA端末内部の温度が上昇し、充電が正常に終了しない場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がるのを待って充電を行ってください。
- 充電中にカメラを利用すると、ランプが消灯したり、点滅したりしますが故障ではありません。カメラを終了すると点灯します。
- 十分に充電されている電池パックをFOMA端末に取り付けてACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタに接続すると、ランプが一瞬点灯してすぐに消灯する場合がありますが、故障ではありません。
- 電源を切っているときや通話中、通信中、マナーモード中、公共モード中、充電確認音を「知らせない」に設定しているときは、充電開始音や完了音は鳴りません。

ACアダプタ／DCアダプタでの充電方法

- 必ずFOMA ACアダプタ 01／02（別売）またはFOMA DCアダプタ 01／02（別売）の取扱説明書もご覧ください。

① FOMA端末に電池パックを取り付けます。
② FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを❶の方向に開き、ACアダプタまたはDCアダプタのコネクタを矢印の表記面を上にして、FOMA端末と水平に差し込みます（❷）。
③ ACアダプタの場合は電源プラグを起こしてAC100Vコンセントへ差し込みます。DCアダプタの場合はシガーライタプラグを車のシガーライタソケットへ差し込みます。

〈ACアダプタ〉

〈DCアダプタ〉

④ 充電開始音が鳴り、ランプが点灯し、電池マークが点滅します。
⑤ 充電が終わると充電完了音が鳴り、ランプが消灯し、電池マークの点滅が止まります。
⑥ ACアダプタの場合は電源プラグをコンセントから抜きます。DCアダプタの場合はシガーライタプラグをシガーライタソケットから抜きます。
⑦ コネクタの両側のリリースボタンを押してFOMA端末から水平にコネクタを外し、端子キャップを閉じます。

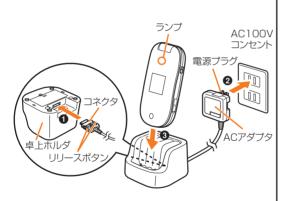
お知らせ

- ACアダプタやDCアダプタのコネクタを抜き差しするときは、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。
- FOMA端末を使用しないときや車から離れるときは、DCアダプタのシガーライタプラグをシガーライタソケットから外し、FOMA端末からDCアダプタのコネクタを抜いてください。
- DCアダプタのヒューズ（2A）は消耗品です。交換するときは、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

卓上ホルダと組み合わせた充電方法

FOMA ACアダプタ 01／02（別売）と卓上ホルダF18（別売）を組み合わせると、FOMA端末の端子キャップを開かないで充電できます。

- 必ず卓上ホルダF18（別売）の取扱説明書もご覧ください。
- 卓上ホルダだけでは充電できません。ACアダプタが必要です。
- 卓上ホルダは平らな面に置いて使用してください。
- 正しく取り付けるために、端子キャップを閉じ、FOMA端末を閉じた状態で卓上ホルダに差し込んでください。また、ストラップなどをはさまないようにご注意ください。

① 卓上ホルダの底面を上にして、矢印の表記面を上にしたACアダプタのコネクタを、水平に差し込みます（❶）。
② ACアダプタの電源プラグを起こしてAC100Vコンセントへ差し込みます（❷）。
③ 電池パックを取り付けたFOMA端末を卓上ホルダに差し込みます（❸）。
④ 充電開始音が鳴り、ランプが点灯し、背面ディスプレイの電池マークが点滅します。
⑤ 充電が終わると充電完了音が鳴り、ランプが消灯し、背面ディスプレイの電池マークの点滅が止まります。
⑥ FOMA端末を卓上ホルダから取り外します。

取り外しかた
卓上ホルダを押さえながらFOMA端末を持ち上げ、矢印方向に引き抜きます。
- 長時間使用しないときはACアダプタをコンセントから抜いてください。

お知らせ

- ACアダプタのコネクタを抜き差しするときは、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。

電池残量

電池残量の確認のしかた

ディスプレイ上部に表示される電池マークで、電池残量の目安が確認できます。

・FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに電池残量が表示されます。

電池マーク　4/17(金)　10:00

(電池残量 3) 十分残っています	(電池残量 2) 少なくなっています	(電池残量 1) 電池残量がほとんどありません。充電してください

電池残量の確認

1 待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「7情報の表示やリセットを行う」▶「5電池残量を確認する」を押す

電池残量が表示され、しばらくたつとメニュー画面に戻ります。

・(終話)を押すと待受画面に戻ります。

電池が切れそうになると

メッセージ表示や電池残量警告音でお知らせします。充電を開始すると電池残量警告音は止まりますが、すぐに電池残量警告音を止める場合は(終話)を押します。

■ 電話中のとき

受話口から電池残量警告音が聞こえ、電池残量がない旨のメッセージが表示されます。このメッセージは(決定)(戻る)(終話)のいずれかを押すと消えます。電池残量警告音が聞こえてから約20秒後に通話が切れて、右の画面が表示されます。その約1分後に自動的に電源が切れます。

4/17(金)
電池がありません
操作を終了して
充電してください

■ 待受中のとき

電池残量がない旨のメッセージが表示されます。このメッセージは(決定)(戻る)(終話)のいずれかを押すと消えますが、しばらくたつと電池残量警告音が鳴り、右の画面が表示され、すべてのマークが点滅します。その約1分後に自動的に電源が切れます。

・FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「電池残量なし」と表示されます。

電池残量警告音の消しかた

1 **待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「5音を設定する」▶「2電池残量の警告を音で通知する」を押す**

電池残量警告音を鳴らすかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「2鳴らさない」を押す**

電池残量警告音を解除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

- 「1鳴らす」：電池残量警告音を鳴らします。

お知らせ

- 本機能を「鳴らさない」に設定しても、通話中に電池が切れそうになったときは受話口から電池残量警告音が鳴ります。
- 本機能を「鳴らす」に設定しても、電源を切っているときやマナーモード中、公共モード中は電池残量警告音は鳴りません。

電源ON／OFF

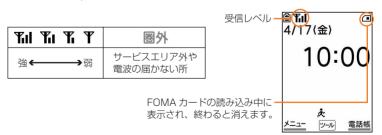
電源を入れる／切る

- ソフトウェア更新を実行するかどうかの確認画面が表示される場合があります。→p.380

電源を入れる

1 **(電源)を2秒以上押す**

バイブレータが1回振動し、しばらくすると起動中である旨のメッセージが表示され、次の待受画面が表示されます。

- (電源)を2秒以上押し続けなくても、数回続けて押した場合にも電源が入ることがあります。
- 初めて電源を入れたとき→p.42

- 電波の受信レベルの目安が確認できます。
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに受信レベルが表示されます。

電源を切る

1 [終話]を2秒以上押す

バイブレータが2回振動し、終了している旨のメッセージが表示された後、電源が切れます。

お知らせ

- サービスエリア外や電波の届かない所で圏外が表示されているときに通話や通信を行うには、表示が消える場所まで移動してください。ただし、[アンテナ]が表示されていて、移動せずに通話していても、通話が切れる場合があります。
- FOMAカードを取り付けていない場合は、FOMAカードの挿入が必要な旨のメッセージが表示されます。電源を切り、FOMAカードを取り付けてから電源を入れ直してください。→p.32
- FOMAカードを差し替えた場合は、電源を入れた後に端末暗証番号の入力を行う必要があります。正しい端末暗証番号を入力すると待受画面が表示されます。誤った端末暗証番号を連続5回入力すると、電源が切れます（ただし、再び電源を入れることは可能です）。
- PIN1コード使用の設定中は、PIN1コードの入力が必要です。→p.106
- 日付・時刻が設定されていないときは、日付と時刻を設定する旨のメッセージが表示されます。→p.44
- FOMA端末を開いたまま何も操作しないでいると、約1分でディスプレイが暗くなり、その約4分後、さらに暗くなります（ディスプレイの照明設定で「さらに暗く設定」を設定した場合を除く）。約30分が経過すると、ディスプレイに何も表示されなくなります（省電力）。ディスプレイに何も表示されない状態のときは、[決定]が点滅して省電力の状態であることをお知らせします。電話中でも同様に省電力の状態になります。いずれかのボタンを押すか、電話の着信などがあったりすると、ディスプレイは再び表示されます。

初めて電源を入れたときは

次の画面が表示されるので、必要に応じて設定や操作を行います。設定した内容は後から変更できます。

- データ一括削除の再起動後も、同様に設定画面が表示されます。

1 携帯電話を使う前の準備を始める旨の確認画面で[決定]を押す

2 音声読み上げの設定画面で「[1]自動で読み上げ」～「[4]後で設定する」のいずれかを押す

- 音声読み上げの設定→p.130
- 「[4]後で設定する」を押し、次に電源を入れ直すまでに設定を行わなかった場合には、再び設定画面が表示されます。

音声読み上げを
設定してください

1 自動で読み上げ
2 手動で読み上げ
3 読み上げなし
4 後で設定する

3 メニュー形式の選択画面で「1リスト」～「3タイル（文字）」のいずれかを押す

- メニュー形式の選択→p.100

メニュー形式を
選んでください
1リスト
2タイル(アイコン)
3タイル(文字)

4 日付・時刻の設定画面で決定を押す

- 日付時刻設定の概要と設定→p.44
- 圏外などでドコモのネットワークからの時刻情報を取得できず、日付・時刻が設定されなかった場合に表示されます。

日付と時刻を
設定してください
決定

5 端末暗証番号変更画面で「1変更する」を押す

- 端末暗証番号変更→p.105

暗証番号の
初期設定は
「0000」です。
暗証番号を
変更しますか？
1変更する
2変更しない

6 歩数計の設定画面で決定を押す

- 歩数計の概要と設定→p.288

歩数計を
設定します。
歩数計の測定値は
あくまでも
目安として
ご利用ください
決定

7 ソフトウェア更新の確認画面で決定を押す

- ソフトウェア更新の概要と設定→p.380、p.385

Welcomeメールを確認する

「はじめまして」と「緊急速報「エリアメール」のご案内」のメールが保存されています。待受画面にはが表示され、新着情報では未読メールがあることをお知らせします。

1 **待受画面で（メール）を押す**

受信メールのフォルダ一覧が表示されます。

- 受信メールの表示→p.160

通信状態表示

現在の通信状態を表示する

1 **待受画面で（メニュー）▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「7情報の表示やリセットを行う」▶「6通信状態を表示する」を押す**

- 「パケットのみ可能」のときは電話を除く通信サービスが利用できます。

現在の通信状態
すべて可能

日付時刻設定

日付・時刻を合わせる

ドコモのネットワークからの時刻情報を基に自動で時刻を補正するように設定したり、日付・時刻を手動で設定したりできます（通常は手動で設定する必要はありません）。

〈例〉手動で日付・時刻を設定する

1 **待受画面で（メニュー）▶「9設定を行う」▶「8時計を設定する」▶「1日付と時刻を設定する」を押す**

日付と時刻を自動で設定しますか？
1自動で設定する
2手動で設定する

2 **「2手動で設定する」を押す**

■ **自動で時刻補正をする：「1自動で設定する」を押す**

日付と時刻を自動で設定する旨のメッセージが表示されます。（決定）を押すとメニュー画面に戻ります。

3 **日付を入力する**

- 西暦は下2桁を入力します。月、日が1桁のときは、前に0を付けます。
- 2000年1月1日から2050年12月31日まで設定できます。
- （左）（右）：変更する数字を選択できます。
- （メール）（上下）：日付と時刻の入力を切り替えます。

日付と時刻を入力してください
(0~23時0~59分)
日付
2009年04月17日
時刻
10時00分

4 時刻を入力する

- 24時間制（00：00～23：59）で設定します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。
- ：変更する数字を選択できます。
- ：日付と時刻の入力を切り替えます。

5 決定を押す

日付と時刻を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 「自動で設定する」に設定すると、電源を入れたときに自動で時刻の補正を行います。電源を入れてからしばらくたっても補正されない場合は、電源を入れ直してください。ただし、FOMAカードを取り付けていない場合や電波状態によっては、電源を入れ直しても補正は行われません。
- 「自動で設定する」に設定していても、数秒程度の誤差が生じる場合があります。
- 「手動で設定する」で日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しなかったりすると、日付・時刻が消去される場合があります。その場合は、もう一度設定を行ってください。
- 一度も自動時刻補正が行われず、日付･時刻が「--」で表示されているときは、時計やFlash画像などが正しく表示されません。また、次の機能は使用できません。
  - ユーザ証明書の操作
  - 再生期限制限や再生期間制限が設定されているｉモーションの取得、再生
  - 自動電源ON設定
  - 自動電源OFF設定
  - 通知時刻自動電源ON設定
  - 目覚まし
  - 予定表
  - 赤外線での予定表の送受信
  - ソフトウェア更新
  - スキャン機能のパターンデータ更新
- 一度も自動時刻補正が行われず、日付･時刻が「--」で表示されているときは、次の機能で日時が記録されず、「----/--/--」などと表示されます。
  - リダイヤル
  - 着信履歴
  - 伝言メモ
  - カメラで撮影した写真やビデオの保存日時（データ名）
  - 送信メール、未送信メールの日時
  - 通話メモ

発信者番号通知

相手に自分の電話番号を通知する

電話をかけたとき、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させせます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際は、十分にご注意ください。
- 相手の電話機が、発信者番号表示ができるときに表示されます。
- サービスエリア外や電波の届かない所では、発信者番号通知は設定できません。電波状態のよい所で行ってください。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- 電話をかけるたびに、発信者番号を通知／非通知にすることができます。→p.56

1 **待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「1発信者番号通知を使う」▶「1発信者番号通知を設定する」を押す**

2 **「1通知する」を押す**

ネットワークに接続され、発信者番号通知を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

設定内容の確認

1 **待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「1発信者番号通知を使う」▶「2発信者番号通知設定を確認する」を押す**

2 **「1確認する」を押す**

ネットワークに接続され、設定内容が表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

発信者番号通知の優先順位

複数の番号通知方法を同時に設定・操作した場合、次の優先順位で番号通知動作が行われます。ただし、ディスプレイの表示と実際の通知／非通知の発信が異なる場合があります。

①相手の電話番号に「186」または「184」を付けた場合

②発信時にサブメニューから発信者番号の通知／非通知を選択した場合

③発信者番号通知の設定をした場合

個人情報表示

自分の電話番号を確認する

自分の電話番号（自局電話番号）や登録した個人情報を確認します。

1 待受画面で(メニュー)▶「0自分の電話番号を見る」を押す

■ メールアドレスの自動取得の確認画面が表示された場合：「1登録する」▶端末暗証番号を入力▶(決定)を押す

メールアドレスを取得して登録した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと、個人情報（基本）画面が表示されます。

- 「2登録しない」を選択すると、個人情報（基本）画面が表示されます。これ以降は、メールアドレスが登録されていない場合でも自動取得の確認画面は表示されなくなります。

■ 詳細情報を確認する：個人情報（基本）画面で(決定)▶端末暗証番号を入力▶(決定)を押す

個人情報（詳細）画面が表示されます。

- 直前にメールアドレスを自動取得した場合は、端末暗証番号の入力画面は表示されません。
- (←)(→)：登録情報が複数ある場合に表示を切り替えます。
- (決定)：個人情報（基本）画面と個人情報（詳細）画面を切り替えます。

個人情報(基本)
名称未登録
090XXXXXXXX

2 (戻るch)を押す

メニュー画面に戻ります。

個人情報の登録・修正

自分の名前や電話番号、メールアドレス、住所、テキストメモなどが登録できます。

- 電話番号は自局電話番号を除き最大2件、メールアドレスは最大3件登録できます。
- お客様のメールアドレスの確認方法→p.138

1 待受画面で(メニュー)▶「0自分の電話番号を見る」を押す

- メールアドレスを自動で取得する→p.47「■メールアドレスの自動取得の確認画面が表示された場合」

2 (電話帳)▶端末暗証番号を入力▶(決定)を押す

- 操作1でメールアドレスを自動取得した場合は、端末暗証番号の入力画面は表示されません。

個人情報登録
名前を
入力してください

3 名前を入力▶決定を押す

入力した名前のフリガナが自動的に入力されています。

- 全角16文字、半角32文字以内で入力します。漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。

個人情報登録
ドコモ太郎

フリガナを
入力してください
ﾄﾞｺﾓﾀﾛｳ

4 フリガナを確認または修正▶決定を押す

2件目の電話番号を入力するかどうかの確認画面が表示されます。

- 半角32文字以内で入力します。半角カタカナ、半角英字、半角数字、半角記号を入力できます。

5 「1入力する」または「2入力しない」を押す

- 「1入力する」：自局電話番号以外の電話番号を登録します。
- 「2入力しない」：自局電話番号以外の電話番号を登録しません。操作8に進みます。

6 電話番号を入力▶決定を押す

3件目の電話番号を入力するかどうかの確認画面が表示されます。

- 最大26桁入力できます。

7 「1入力する」または「2入力しない」を押す

- 「1入力する」：他の電話番号を登録します。操作6の後に操作8に進みます。
- 「2入力しない」：他の電話番号を登録しません。

8 「1自動で取得する」～「3入力しない」のいずれかを押す

- 「1自動で取得する」：自動でメールアドレスを取得します。メールアドレスを取得した旨のメッセージが表示されたら決定を押します。操作10に進みます。
- 「2直接入力する」：メールアドレスを直接入力して登録します。
- 「3入力しない」：メールアドレスを登録しません。操作11に進みます。

9 メールアドレスを入力▶決定を押す

2件目（または3件目）のメールアドレスを入力するかどうかの確認画面が表示されます。

- 半角50文字以内で入力します。半角英字、半角数字、半角記号を入力できます。
- 英字入力モード時に1：「.」「@」「-」などメールアドレスによく使う記号を入力できます。
- 何も入力しないで決定を押すと、メールアドレスを登録しません。操作11に進みます。

10 「1入力する」または「2入力しない」を押す

- 「1入力する」：他のメールアドレスを登録します。操作9の後に操作11に進みます。
- 「2入力しない」：他のメールアドレスを登録しません。

11 「1入力する」または「2入力しない」を押す

- 「1入力する」：郵便番号と住所を登録します。
- 「2入力しない」：郵便番号と住所を登録しません。操作13に進みます。

12 郵便番号を入力▶決定▶住所を入力▶決定を押す

- 郵便番号は最大7桁入力できます。
- 住所は全角100文字、半角200文字以内で入力します。漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。

13 「1入力する」または「2入力しない」を押す

- 「1入力する」：テキストメモを登録します。
- 「2入力しない」：テキストメモを登録しません。操作15に進みます。

14 テキストメモを入力▶決定を押す

個人情報を登録した旨のメッセージが表示されます。

- 全角100文字、半角200文字以内で入力します。漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。

15 決定を押す

個人情報（基本）画面に戻ります。

お知らせ

- お客様のFOMA端末の電話番号（自局電話番号）はFOMAカードに登録されているため修正できません。それ以外の項目はFOMA端末に記録されます。
- 個人情報のメールアドレスを変更しても、ｉモードのメールアドレスは変更されません。また、ｉモードのメールアドレスを変更しても、個人情報のメールアドレスは自動的には変更されません。→p.138
- 個人情報（詳細）画面で電話帳を押しても個人情報の登録・修正ができます。また、個人情報（詳細）画面のサブメニューから個人情報を利用できます。
- 赤外線通信を利用して個人情報を赤外線通信機能が搭載されている携帯電話やパソコンなどに送信できます。→p.280

電話

電話のかけかた

電話の受けかた

電話に出られないとき／出られなかったとき

電話をかける

1 待受画面で電話番号を入力する

- 一般電話にかけるときは、同じ市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
- 最大80桁入力できます。
- 戻る/ch：電話番号を訂正できます。1秒以上押すと待受画面に戻ります。

2 [発信]を押す

- ディスプレイには通話時間が表示されます。
- 通話中画面に自分の電話番号を表示できます。→p.54

3 お話しが終わったら[終話]を押す

- FOMA端末を閉じても電話を切ることができます。

お知らせ

- [発信]を押してから電話番号を入力しても、約5秒経過すると自動的に電話がかかります。
- 番号通知お願いのガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を設定するか、「186」を付けてかけ直してください。→p.46、p.56

通話中保留

自分の声が相手に聞こえないようにします。

- 保留中も、電話をかけた方に通話料金がかかります。
- 保留中にFOMA端末を閉じると、電話は切れます。

1 通話中に[決定]を押す

通話が保留になり、背面ディスプレイの照明が点滅します。自分と相手にメロディ（エンターテイナー）が流れます。

- 保留中に[決定]／[発信]：保留を解除します。

お知らせ

- 保留中に流れるメロディ（エンターテイナー）は変更できません。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続して保留中にFOMA端末を閉じた場合は、保留は継続されます。

スピーカーホン機能の使いかた

相手の声がスピーカーから聞こえる状態で通話できます。

1 通話中に[発信]または[電話帳]を押す

- [発信]または[電話帳]を押すたびに切り替わります。
- 発信中または呼出中に[発信]を押しても切り替わります。

お知らせ

- スピーカーホン機能を使用した通話に切り替えると、音量が急に大きくなりますので、FOMA端末を耳から離して使用してください。
- FOMA端末から約50cm以内の距離でお話しください。周囲や相手側の雑音が大きい場合は、聞き取りにくいことがあります。その場合は受話口からの通話に切り替えてください。
- マナーモード中でもスピーカーホン機能を使用できます。

はっきりボイスの設定

通話中に周囲の騒音に応じて相手の声を音域ごとに最適な音量に自動で調節し、聞き取りやすくします。また、相手や自分の声が小さいときにも自動で音量を大きくします。

- お買い上げ時は「はっきりボイスオン」に設定されています。
- スピーカーホン機能使用中は、本機能は動作しません。
- 通話終了後も設定は保持されます。
- 本機能は受話音量を調節するものではありません。相手の声の音量は、受話音量で調節してください。→p.61

1 通話中にメニュー▶「4はっきりボイスオフ」または「4はっきりボイスオン」を押す

はっきりボイスをオンにすると赤色で表示されます。オンでも動作しないときはグレーで表示されます。

ゆっくりボイスの設定

通話中の相手の話す速度が調節されて聞き取りやすくなります。

- お買い上げ時は「ゆっくりボイスオフ」に設定されています。
- スピーカーホン機能使用中でも、本機能は動作します。
- 通話終了後、設定は解除されます。

1 通話中に[ゆっくりボイスキー]を押す

ゆっくりボイスがオンになり、通話中画面には[ボタンで ゆっくりボイス解除]が表示されます。

- ゆっくりボイス設定中に[ゆっくりボイスキー]：ゆっくりボイスを解除します。通話中画面には[ボタンで ゆっくりボイス設定]が表示されます。

ゆっくりボイスとは

無音区間を利用して、相手の話す声がゆっくり聞こえるように調節する機能です。

- ゆっくりボイスを設定すると、相手の声質が変化する場合があります。
- 相手が区切りのない話しかたをしたときなど、ゆっくりボイスが機能しない場合は、通常の速度に聞こえます。
- 時報や音楽などを聞くときは、ゆっくりボイスを設定しないでください。

通話中自局番号表示設定

通話中画面に自局電話番号を表示する

通話中の画面に自分の電話番号を表示するかどうかを設定します。

1 待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「4電話・電話帳の詳細を設定する」▶「8通話中に自分の番号を表示する」を押す

通話中に自分の電話番号を表示するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1表示する」または「2表示しない」を押す

通話中の自局番号表示を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

通話メモ

通話中の音声を録音する

通話中の音声を録音するかどうかを設定します。

- 電話を切る約1分前からの通話が最大4件録音されます。
- 最大録音件数を超えると、保護されていない古い通話メモから順に上書きされます。残しておきたい通話メモは保護してください。→p.67
- 通話メモの再生／削除→p.66

1 待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「5伝言メモ・通話メモを使う」▶「2通話音声メモを使う」▶「2通話音声メモを開始／停止する」を押す

通話音声メモを開始するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1開始する」または「2停止する」を押す

通話音声メモを開始／停止した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 通話保留中は相手の音声のみ録音されます。
- 通話中に別の電話がかかってきたり電話をかけたりした場合は、それぞれの通話が録音されます。通話相手を切り替えるたびに新たに録音を開始します。

リダイヤル／着信履歴

リダイヤル／着信履歴を利用して電話をかける

電話の発信履歴（リダイヤル）と着信履歴を記録しておく機能です。通話メモまたは伝言メモに録音されたときも記録されます。

- リダイヤルと着信履歴はそれぞれ最大30件記録されます。30件を超えると、古いものから順に消去されます。
- 同じ電話番号に通知または非通知を設定してかけた場合は、それぞれ最新の1件がリダイヤルに記録されます。
- 着信履歴には、不在着信の場合、着信してから相手が呼び出しを止めるまでの時間（呼出時間）が表示されます。覚えのない番号からの不在着信があった場合、着信履歴を残す目的だけの迷惑電話（「ワン切り」など）なのかどうかを確認できます。伝言メモに録音されたときの履歴も記録されます。
- 通話メモは、常に最新の通話から4件分が記録されます。その結果、1件のリダイヤルに複数の通話メモが記録されることがあります。

1 待受画面で(リダイヤル)または(着信履歴)▶(メール)(▲▼)を押してかけ直す相手を表示する

■ リダイヤル画面の見かた

① リダイヤルの番号
② 通話メモが記録されている場合
③ 電話をかけた日時

④ 発信者番号の通知／非通知→p.56
⑤ 国際電話をかけた場合→p.58
⑥ 電話帳に登録している場合は名前→p.70
⑦ 電話番号（国際電話の場合は、電話番号の前に「+」が表示されます）

■ 着信履歴画面の見かた

① 着信履歴の番号
② 不在着信の場合は不在、伝言メモが記録されている場合は伝言メモ、通話メモが記録されている場合は通話メモ
③ 電話がかかってきた日時
④ 不在着信の呼出時間
⑤ 国際電話がかかってきた場合
⑥ 64Kデータ通信が着信した場合
⑦ 電話帳に登録している場合は名前→p.70
発信者番号が非通知の場合は発信者番号非通知理由→p.59
⑧ 電話番号（国際電話の場合は、電話番号の前に「+」が表示されます）

2 **[通話]を押す**

電話がかかります。

- 通話メモが記録されているリダイヤルは、[決定]を押すと再生する通話メモの選択画面が表示されます。
- 通話メモまたは伝言メモが記録されている着信履歴は、[決定]を押すとそれぞれのメモを再生します。

■ iモードメールを作成する：[メニュー]▶
「8メールを作る」を押す
リダイヤル／着信履歴の電話番号をメールアドレスとともに電話帳に登録している場合は、その1件目のメールアドレスを宛先にしたメール作成画面が表示されます。→p.138、p.141

かかってきた電話に出なかったとき（不在着信）

かかってきた電話に出なかったときは、待受画面に新着情報（→p.24）と[不在着信アイコン]が表示されます。
また、FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに着信が表示されます。

お知らせ

- 無音着信時間設定（→p.118）で設定した無音着信時間内の不在着信も含め、すべての着信履歴を表示する場合は、着信履歴の表示画面で[メニュー]▶「9表示切替」▶「1すべての着信」を押します。通常の着信履歴表示に戻す場合は、[メニュー]▶「9表示切替」▶「2呼出あり着信」を押します。
- 無音着信時間設定で設定した無音着信時間内の不在着信のみが着信履歴に記録されている場合、待受画面で[着信履歴]を押すと、表示されていない不在着信履歴を表示するかどうかの確認画面が表示されます。「1表示する」を押すと、無音着信時間内の不在着信履歴が表示されます。
- 「010」を直接入力または「010」を電話帳に登録して発信した場合は、国際電話のマークと「+」は表示されません。
- 会社などでダイヤルインをご利用の相手からの着信の場合、相手のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります（ダイヤルインとは、1本の回線で着信用の電話番号を複数持てるサービスです）。
- 通話中にリダイヤル／着信履歴を表示する場合は、[メニュー]▶「2着信履歴を見る」または「3リダイヤルを見る」を押します。

リダイヤル／着信履歴の削除

1件ずつ、またはすべてのリダイヤル／着信履歴をまとめて削除できます。伝言メモまたは通話メモを同時に削除することもできます。
- 保護している通話メモは同時に削除できません。

〈例〉1件削除する

1 待受画面で[リダイヤル]（リダイヤル）または[着信履歴]（着信履歴）▶[メール][↕]を押して削除する相手を表示する

2 [メニュー]▶「4削除する」を押す

削除するﾘﾀﾞｲﾔﾙを
選んでください
1選択1件
2全件
3選択1件とメモ
4全件とメモ

<リダイヤルの削除選択画面>

1 **選択1件**：表示中のリダイヤル／着信履歴を1件削除します。
2 **全件**：リダイヤル／着信履歴を全件削除します。
3 **選択1件とメモ**：表示中のリダイヤル／着信履歴と、伝言メモまたは通話メモを削除します。
4 **全件とメモ**：リダイヤル／着信履歴と、伝言メモや通話メモを全件削除します。

3 「1選択1件」または「3選択1件とメモ」を押す

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **全件削除する**：「2全件」または「4全件とメモ」▶端末暗証番号を入力▶[決定]を押す

4 「1削除する」を押す

削除した旨のメッセージが表示されます。
[決定]を押すと次のリダイヤル／着信履歴の表示画面に戻ります。リダイヤル／着信履歴がない場合や全件削除した場合は、待受画面に戻ります。

1回の発信ごとに発信者番号を通知／非通知にする

電話をかけるときに相手の電話番号の前に特定の番号を付けることで、自分の電話番号を相手に通知するか通知しないかを選択できます。
- 発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。
- 電話をかけるときの発信者番号の通知／非通知をあらかじめ一括して設定できます。→p.46
- 番号通知方法の優先順位→p.46

「186」／「184」を付けた電話のかけかた

発信者番号を通知する

1 待受画面で[1][8][6]▶電話番号を入力▶[発信]を押す

電話がかかります。

発信者番号を通知しない

1 待受画面で[1][8][4]▶電話番号を入力▶[発信]を押す

電話がかかります。

サブメニューからの通知／非通知の選択

電話番号を入力してから発信者番号の通知／非通知を選択します。リダイヤルや着信履歴などから電話をかけるときにも選択できます。

1 待受画面で電話番号を入力▶[メニュー]を押す

1電話帳に登録
2電話帳に追加
3通知で電話
4非通知で電話
5ワールドコール
6簡易サイト接続
7お知らせﾀｲﾏｰ

電話

2 「3通知で電話」または「4非通知で電話」を押す

電話がかかります。

お知らせ

- 発信者番号の通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を設定するか、「186」を付けてかけ直してください。
- 相手の電話番号に「186」または「184」を付けて発信した場合、リダイヤルにはその番号がついた電話番号が記録されます。

プッシュ信号（DTMF）を送る

FOMA端末からプッシュ信号（DTMF）を送って、対応する各種サービスを操作したり、外線番号に続けて内線番号を発信したりできます。

通話中にプッシュ信号（DTMF）を送る

1 通話中に0～9、*、#を押す

ポーズ「P」を送る

ご自宅の留守番電話の操作やチケットの予約などに利用します。

1 待受画面で電話番号を入力▶*を1秒以上▶番号を入力▶[を押す

電話がつながった後に決定を押すと、ポーズ（「P」）以降の番号が送出されます。

点滅します。

タイマー「T」を送る

外線番号に続けて内線番号を入力するときなどに利用します。外線番号と内線番号の間にタイマー（「T」）を入力することによって、外線番号に続いて一定の秒数が経過した後に内線番号が発信されます。

1 待受画面で電話番号を入力▶#を1秒以上▶内線番号を入力▶[を押す

- タイマー（「T」）1つにつき、約1秒の間隔をとります。
- タイマー（「T」）は連続して入力できます。

お知らせ

- プッシュ信号（DTMF）は、受信側の機器によっては受信できない場合があります。
- 通話を保留にして別の相手にポーズ（「P」）、タイマー（「T」）を入力して電話をかけることはできません。

WORLD CALL

国際電話を利用する

ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」

WORLD CALLはドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。

- 通話方法

0 1 0 ▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力▶[発信]を押す

※上記の電話番号をFOMA端末の電話帳に登録できます。

※地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください。イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

※009130▶010▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号でもかけられます。

- 通話先は世界約240の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通信料金と合わせてご請求します。
- 申込手数料・月額使用料はかかりません。
  ※ FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- 詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
  ※ ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

サブメニューからのかけかた

1 待受画面で国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力▶[メニュー]▶「5 ワールドコール」を押す

ダイヤル入力中
[発信]ボタンで電話をかける
00913001
086XXXXXXX

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください。イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

2 [発信]を押す

ドコモの国際アクセス番号「009130010」が付加され、国際電話がかかります。

- ダイヤル入力画面または発信中画面には「009130010」が表示されますが、リダイヤルには「+」と国番号に変換されて記録されます。

お知らせ

- 国番号を含めた電話番号を電話帳に登録して国際電話をかける→p.80「発信方法を選択した電話のかけかた」
- 待受画面で0を1秒以上押して「+」を入力した後、国番号、地域番号（市外局番）、電話番号を入力し[発信]を押しても国際電話をかけることができます。

サブアドレスを指定して電話をかける

サブアドレスを指定して特定の電話機や通信機器を呼び出します。

- サブアドレスとは、同じ電話番号内にある複数の電話機や通信機器の中から、特定の機器を呼び出すときに使う番号です（ISDN回線で、サブアドレスが振られている機器を複数接続している場合など）。

1 待受画面で電話番号を入力▶[*]（サブアドレスの区切り）▶サブアドレスを入力▶[発信]を押す

電話がかかります。

お知らせ

- ポーズ（「P」）やタイマー（「T」）を入力した後に「＊」を入力した場合は、サブアドレスの区切りとしては認識されず、「＊」を含んだプッシュ信号（DTMF）として送出されます。

車載ハンズフリー

車の中で手を使わずに話す

FOMA端末を車載ハンズフリーキット01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から電話の発着信などの操作ができます。

- ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。なお、車載ハンズフリーキット01（別売）をご利用時には、FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル01（別売）が必要です。

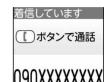
お知らせ

- ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、FOMA端末のマナーモードや着信音設定に関わらず、電話がかかってくるとハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合は、FOMA端末を閉じても通話は継続されます。
- 伝言メモ設定中の着信動作は、伝言メモの設定に従います。

電話を受ける

- FOMA端末を開くだけでは電話に出ることはできません。

1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、背面ディスプレイの照明と[発信]が点滅します。

■着信中の表示

電話番号が通知されたときは電話番号が表示されます。電話番号を電話帳に登録しているときは、電話番号と名前が表示されます。→p.70

ワンタッチダイヤルに登録し、着信画像を設定しているときは、名前と着信画像が表示されます。→p.82、p.85

■電話番号が通知されなかったとき

発信者番号非通知理由が表示されます。

非通知設定：発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合

公衆電話：公衆電話などから発信した場合

通知不可能：海外や一般電話から各種転送サービスを経由した場合など、発信者番号を通知できない状態で発信した場合（経由する電話会社によっては通知される場合もあります）

- 非通知理由別着信設定で設定した着信動作が優先されます。→p.117

■着信中の背面ディスプレイの表示

FOMA端末を閉じているときは、「電話です」と相手の名前や電話番号、発信者番号非通知理由が表示されます。背面ディスプレイ設定の着信表示の設定によっては、相手の名前や電話番号は表示されません。→p.99

■着信中のサブメニューからの操作

着信中にサブメニュー（→p.31）から次の操作ができます。

1 **伝言メモ**：伝言メモで応対（クイック伝言メモ）

2 **留守番電話**※1：留守番電話サービスセンターに接続
3 **転送でんわ**※2：転送登録先に転送
4 **着信拒否**：電話を受けずに切断
※1 留守番電話サービス契約時に有効です。
※2 転送でんわサービス契約済みで転送先登録時に有効です。

2 **[通話]を押す**

- ディスプレイには通話時間が表示されます。

3 **お話しが終わったら[終話]を押す**

- FOMA端末を閉じても電話を切ることができます。

通話中着信音が聞こえたとき

留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかを契約済みで、通話中の着信動作選択が「通常着信」の場合、通話中に別の電話が着信すると「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえます。このとき、留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスを開始にしていると各サービスが動作します。着信中のサブメニューからも操作できます。ただし、伝言メモは選択できません。

お知らせ

- FOMA端末から転送された電話がかかってきた場合は、着信画面に転送元の電話番号が「転：XXX…」のように表示されます。転送元の電話番号を電話帳に登録している場合は名前が表示されます。ただし、転送元によっては、転送元の電話番号や名前が表示されないことがあります。着信音に映像のある動画／iモーションを設定している場合や、ワンタッチダイヤルに発信元の電話番号を登録していて、着信画像を設定している場合は、転送元の電話番号は表示されません。
- 通話中にメールを受信すると[メール]が、メッセージR/Fを受信すると[R]/[F]がディスプレイ上部に表示されます。
- サブアドレスが通知されてきた場合、発信者番号の後ろに「＊」とサブアドレスが表示されます。
- 国際電話を着信した場合、発信者番号の先頭に「＋」が表示されます。

エニーキーアンサー設定

ダイヤルキーなどを押して電話に出る

電話がかかってきたとき、[通話]以外に[0]～[9]、[決定]、[＊]、[＃]を押して電話に出られるようにするかどうかを設定します。

- 通話中の着信に対しては無効です。

1 **待受画面で[メニュー]▶「9設定を行う」▶「2電話着信時の設定を行う」▶「4ダイヤル／決定ボタンで着信を受ける」を押す**

ダイヤルボタンや決定ボタンでも応答できるようにするかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1応答する」または「2応答しない」を押す**

ダイヤル／決定ボタンで応答する／しないに設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

オートスピーカーホン機能

自動で電話を受ける

電話がかかってきて着信音が約4秒間鳴った後、自動で電話を受けるかどうかを設定します。

- 「設定する」に設定すると、電話を受けるとスピーカーから相手の声が聞こえます。
- 本機能を設定すると、音量が大きくなりますので、FOMA端末を耳から離して使用してください。
- スピーカーホン機能を使用するときは、FOMA端末から約50cm以内の距離でお話しください。
- 公共モード中またはマナーモード中は、本機能は動作しません。→p.62、p.97

1 **待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「4電話・電話帳の詳細を設定する」▶「6オートスピーカーホンを設定する」を押す**

オートスピーカーホンを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

- マナーモード中は、マナーモードを解除するかどうかの確認画面が表示されます。本機能を設定するときは「1解除する」を押します。

2 **「1設定する」または「2解除する」を押す**

オートスピーカーホンを設定／解除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

- 本機能設定中は待受画面にが表示されます。

お知らせ

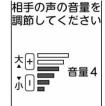
- 電話を受けた後の動作は、スピーカーホン機能を使用した通話と同様です。→p.52
- 次の場合は、本機能を設定していても動作しません。
  - 自動的に電話がつながる前に( )を押して電話を受けた場合
  - 通話中に電話がかかってきた場合
  - FOMA端末を閉じている場合
  - 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）や外部機器などを接続中の場合
- 本機能と無音着信時間設定（→p.118）を同時に設定している場合、無音着信時間を4秒以上に設定すると、本機能は動作しません。
- 伝言メモ、留守番電話サービス、転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合、設定した呼出時間により、優先順位が異なります。
- 電話帳指定着信拒否／許可（→p.115）、非通知理由別着信設定（→p.117）、登録外着信拒否（→p.119）を設定中は、着信拒否の対象に設定している相手から電話がかかってくると、各機能が優先して動作します。

受話音量

通話中に相手の声の音量を調節する

- 通話終了後も設定は保持されます。
- 待受中の音量設定→p.95

1 **通話中に( )( )または[+][−]を押す**

2 **( )( )( )( )または[+][−]を押して音量を調節する**

- ボタン操作後しばらくすると音量が設定され、通話中の画面に戻ります。(決定)、(戻る)、( )のいずれかを押しても同様の動作となります。

電話着信音量

着信中に着信音の音量を調節する

- 電話を切ると設定は解除されます。
- 「だんだん大きく」は設定できません。
- 待受中の音量設定→p.94
- マナーモード中は、本機能は動作しません。

1 **着信中に( )( )または[+][−]を押す**

- 音量1のときに( )／( )／[−]：「消音」に設定します。

2 音量キーまたは+−を押して音量を調節する

応答保留

すぐに電話に出られないとき保留にする

- 応答保留中でも相手側には通話料金がかかります。

1 着信中に(終話キー)を押す

応答保留になります。相手には「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。」という応答保留ガイダンスが流れます。

応答保留 はっきりボイス
[ボタンで保留解除
05秒
090XXXXXXXX

- 応答保留中にFOMA端末を閉じると、背面ディスプレイに「応答保留中」が表示されます。
- 応答保留中に(決定)／([)：電話に出ます。
- 応答保留中に(終話キー)を押すか、相手が電話を切ると、通話は切れます。

お知らせ

- オートスピーカーホン設定中は、着信してからオートスピーカーホンが動作するまでの約4秒間に応答保留の操作を行ってください。→p.60

公共モードを利用する

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。設定中に着信した場合、相手にはガイダンスで電話に出られない旨をお知らせし、通話を終了します。

- 公共モード（ドライブモード）設定時は、着信時に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。
- 公共モード（電源OFF）設定時は、電源を切っている間の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

■ ネットワークサービスと公共モード（ドライブモード／電源OFF）中の着信動作

- 留守番電話サービス※1、転送でんわサービス※1、番号通知お願いサービス※2は、公共モードに優先して動作します。
  ※1 呼出時間が「0秒」以外では、公共モードのガイダンスの後にサービスが動作します。
  ※2 相手が電話番号を通知している場合は、公共モードが動作します。
- 迷惑電話ストップサービスで着信拒否した相手からの着信では公共モードは動作しません。

公共モード（ドライブモード）の起動

- 公共モードの設定や解除は、待受中のみできます。ディスプレイ上部に「圏外」が表示されているときでも可能です。
- 公共モード中でも、通常どおり電話をかけることができます。
- マナーモード中、伝言メモ設定中でも、公共モードが優先されます。
- 緊急通報（110番、119番、118番）をすると、本機能は解除されます。

1 待受画面で(＊)を1秒以上押す

公共モード（ドライブモード）を設定した旨のメッセージが表示されます。

■ 公共モードを解除する：公共モード中に待受画面で(＊)を1秒以上押す

公共モード（ドライブモード）を解除した旨のメッセージが表示されます。

2 (決定)を押す

4/17(金)
10:00

・本機能を設定中は待受画面にはが、FOMA端末を閉じているときは背面ディスプレイにが表示されます。

公共モード（ドライブモード）を起動すると

お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、待受画面には新着情報（→p.24）が表示され、着信履歴に記録されます。

- 次の音が鳴りません。また、バイブレータ、ランプ、背面ディスプレイの照明も動作しません。
  - 電話および64Kデータ通信の着信音
  - メールやメッセージR/Fの着信音
  - お知らせタイマー音、目覚まし音、予定の通知音声
  - 待受中の電池残量警告音※
  - 充電確認音
  - バーコード読み取りの確認音
  - 音声入力メールのソフトの発信音

  ※ FOMA端末を閉じているとき、背面ディスプレイに「電池残量なし」と表示もされません。
- FOMA端末を閉じているときに、着信やメール受信などがあると背面ディスプレイに新着情報が表示されます。
- FOMA端末を持ち上げたときでも、背面ディスプレイの照明は点灯しません。
- 開閉ロックを設定し、FOMA端末を閉じても背面ディスプレイの照明は点滅しません。
- ｉチャネルのテロップは表示されません。

公共モード（電源OFF）の設定

1 待受画面で(＊)(2)(5)(2)(5)(1)▶(発信)を押す

サービスを開始した旨のガイダンスが流れ、公共モード（電源OFF）が設定されます（待受画面上の変化はありません）。

■ 公共モードを解除する：
公共モード中に待受画面で(＊)(2)(5)(2)(5)(0)▶(発信)を押す

サービスを停止した旨のガイダンスが流れ、公共モード（電源OFF）が解除されます。

■ 公共モードの設定を確認する：
待受画面で(＊)(2)(5)(2)(5)(9)▶(発信)を押す

現在の設定がガイダンスで流れます。

公共モード（電源OFF）を起動すると

- 「＊25250」をダイヤルして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。
- サービスエリア外または電波が届かない所にいる場合も、公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れます。

伝言メモ

電話に出られないときに用件を録音する

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときに応答メッセージを再生し、相手の用件を録音します。

- 最大4件、1件につき約30秒間録音できます。

伝言メモの設定

1 待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「5伝言メモ・通話メモを使う」▶「1伝言メモを使う」▶「2伝言メモを開始／停止する」▶「1開始する」を押す

伝言メモを開始した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

- 伝言メモ設定中は待受画面に[oo]（黒）が表示されます。

■ 伝言メモを停止する：**伝言メモ設定中に待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「5伝言メモ・通話メモを使う」▶「1伝言メモを使う」▶「2伝言メモを開始／停止する」▶「2停止する」を押す**

伝言メモを停止した旨のメッセージが表示されます。

伝言メモを設定したときは

- 伝言メモ設定中でも電話を受けられます。

1 電話がかかってくる

呼出時間設定に従って着信音が鳴った後、伝言メモ応答中の画面が表示され、相手には伝言メモ応答メッセージが流れます。

- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「伝言メモ起動中」が表示されます。

2 相手のメッセージが録音される

伝言メモ録音中

携帯花子

090XXXXXXXX

- 開始時と終了時に相手には「ピーッ」と音が鳴ります。また、開始時から約25秒後に、終了予告音（ピピッ）が鳴ります。
- 伝言メモ録音中は、画面の下に終了までの時間の目安が表示されます。

3 録音が終了すると、電話が切れる

伝言メモが録音されると、待受画面に新着情報（→p.24）と[oo]が表示されます。

- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに[伝言]が表示されます。

お知らせ

- 伝言メモ応答中、伝言メモ録音中でも[通話]を押して電話に出ることができます。このとき、電話を受けるまでの録音内容は通話メモとして記録されます。
- FOMA端末の電源が入っていないときや圏外にいるときは、伝言メモ機能は動作しません。留守番電話サービスをご利用ください。
- 伝言メモが4件録音されると、待受画面に[oo]（赤）が表示され伝言メモは動作しません。また、伝言メモが4件録音された状態で伝言メモを設定しようとすると、削除を促す画面が表示されます。不要な伝言メモを削除してください。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始に設定している場合は、各サービスが動作します。
- 伝言メモが録音された場合でも、着信履歴に記録されます。

録音開始までの時間設定〈呼出時間設定〉

電話がかかってきてから応答メッセージが流れるまでの時間を設定します。
- お買い上げ時は「13秒」に設定されています。

1 **待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「5伝言メモ・通話メモを使う」▶「1伝言メモを使う」▶「3伝言メモ呼出時間を設定する」を押す**

呼出時間の設定画面が表示されます。

2 **呼出時間を入力▶決定を押す**

呼出時間を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。
- 0〜120秒の間で入力します。

お知らせ
- オートスピーカーホン機能（→p.60）、オート着信設定（→p.306）、留守番電話サービスまたは転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合、設定した呼出時間により、優先順位が異なります。伝言メモを優先させるには、伝言メモの呼出時間を各サービスの呼出時間よりも短く設定してください。ただし、電波状態によっては伝言メモが優先されない場合があります。
- オート着信設定の応答時間と本機能の呼出時間を同じ時間に設定できません。
- 無音着信時間の設定に関わらず、着信した時点から伝言メモの呼出時間がカウントされます。→p.118

伝言メモ応答メッセージの選択〈伝言メモメッセージ選択〉

1 **待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「5伝言メモ・通話メモを使う」▶「1伝言メモを使う」▶「4伝言メモの応答メッセージを選ぶ」を押す**

応答メッセージの選択画面が表示されます。次の3種類から選択できます。

1 **標準**：ただいま、電話に出ることができません。「ピー」という発信音の後に、30秒以内でメッセージをお話しください。

2 **会議中用**：会議中のため、電話に出ることができません。「ピー」という発信音の後に、30秒以内でメッセージをお話しください。

3 **移動中用**：移動中のため、電話に出ることができません。「ピー」という発信音の後に、30秒以内でメッセージをお話しください。

■ **応答メッセージを再生する：メッセージを選択▶電話帳**
- 再生中は次の操作ができます。

決定：再生停止
メール/ナビ／+−：音量調節
[：受話口／スピーカ再生の切り替え

2 **「1標準」〜「3移動中用」のいずれかを押す**

伝言メッセージを設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

クイック伝言メモ

着信中の電話に出られないときに用件を録音する

伝言メモが停止中でも、着信中に操作を行うと、その着信に限り伝言メモを動作させることができます。

- この操作は、伝言メモを設定するものではありません。

1 **着信中に(メニュー)▶「1伝言メモ」を押す**

伝言メモ応答中の画面が表示され、相手には伝言メモ応答メッセージが流れます。

- 応答メッセージが流れた後の動作は、伝言メモ起動中と同様です。→p.64

お知らせ

- 伝言メモがすでに4件録音されている場合は、本機能を使用できません。不要な伝言メモを削除してください。

伝言メモまたは通話メモを再生／削除／保護する

- 保護は通話メモのみ有効です。

伝言メモ／通話メモの再生

1 **待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「5伝言メモ・通話メモを使う」▶「1伝言メモを使う」▶「1伝言メモを再生する」を押す**

保存されているメモの件数が表示されます。

■ 通話メモを再生するとき

待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「5伝言メモ・通話メモを使う」▶「2通話音声メモを使う」▶「1通話音声メモを再生する」を押す

2 **(決定)を押す**

<伝言メモ表示画面>　<通話メモ表示画面>

① メモの番号
② 録音した日時
③ 国際電話の場合
④ 電話帳に登録している場合は名前→p.70
発信者番号が非通知の場合は発信者番号非通知理由→p.59
⑤ 電話番号（国際電話の場合は、電話番号の前に「+」が表示されます）

3 **(メール)(上下)を押して再生するメモを表示▶(決定)を押す**

メモの再生画面が表示されます。

- 再生中は画面の下に再生時間の経過の目安が表示されます。
- 再生中は次の操作ができます。
  (決定)：再生停止
  (メール)(上下)／(+)(−)：音量調節
  (［)：受話口／スピーカー再生の切り替え

再生が終了すると、伝言メモの場合は削除するかどうかの確認画面が表示されます。操作4に進みます。通話メモの場合は通話メモ表示画面に戻ります。

4 **「1削除する」または「2削除しない」を押す**

■ 削除する：**「1削除する」▶(決定)を押す**

次の伝言メモ表示画面が表示されます。伝言メモがない場合はメニュー画面に戻ります。

■ 削除しない：**「2削除しない」を押す**

伝言メモ表示画面に戻ります。

お知らせ

- メモの表示画面で[通話]を押すと電話をかけることができます。また、サブメニューから発信者番号の通知／非通知を選択して電話をかけたり、電話帳に登録したりできます。→p.56、p.74

伝言メモ／通話メモの削除

1件ずつ、またはすべての伝言メモ／通話メモをまとめて削除できます。

- 保護している通話メモは削除できません。

〈例〉1件削除する

1 **待受画面で[メニュー]▶「5便利なツールを使う」▶「5伝言メモ・通話メモを使う」▶「1伝言メモを使う」▶「1伝言メモを再生する」▶[決定]▶[メール][アドレス帳]を押して削除するメモを表示する**

■ **通話メモを削除するとき**

待受画面で[メニュー]▶「5便利なツールを使う」▶「5伝言メモ・通話メモを使う」▶「2通話音声メモを使う」▶「1通話音声メモを再生する」▶[決定]▶[メール][アドレス帳]を押して削除するメモを表示する

2 **[メニュー]▶「4削除する」▶「1選択1件」を押す**

メモを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **全件削除する：[メニュー]▶「4削除する」▶「2全件」▶暗証番号を入力▶[決定]を押す**

3 **「1削除する」を押す**

削除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと次のメモの表示画面に戻ります。メモがない場合や、全件削除した場合は、メニュー画面に戻ります。

通話メモの保護／解除

通話メモを削除したり、上書きされたりしないように保護します。

- 最大2件保護できます。

1 **待受画面で[メニュー]▶「5便利なツールを使う」▶「5伝言メモ・通話メモを使う」▶「2通話音声メモを使う」▶「1通話音声メモを再生する」▶[決定]を押す**

通話メモが表示されます。

2 **[メール][アドレス帳]を押して保護する通話メモを表示▶[メニュー]▶「5保護する」を押す**

通話メモが保護されると、通話メモの番号の横に保護と表示されます。

■ **保護を解除する：[メール][アドレス帳]を押して保護を解除する通話メモを表示▶[メニュー]▶「5保護を解除する」を押す**

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について

F-07Aでは、FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳を利用できます。

FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳の違い

- FOMAカード電話帳には、直接登録したり修正したりできません。FOMA端末電話帳に登録またはコピーして修正してからFOMAカード電話帳にコピーしてください。→p.75

○：可　×：不可

項　目		FOMA端末電話帳	FOMAカード電話帳
電話帳登録件数		最大1000件※	最大50件
登録内容	名前	○	○
	フリガナ	○	○
	電話番号	1件につき3番号	1件につき1番号
	メールアドレス	1件につき3アドレス	1件につき1アドレス
	郵便番号と住所	○	×
	テキストメモ	○	×
	グループ	「グループなし」および30グループ	「グループなし」および10グループ
	電話帳No	○	×

※ 実際に登録できる件数は、各電話帳の登録内容により少なくなる場合があります。

- お客様のFOMAカードを他のFOMA端末に挿入しても、FOMAカード内の電話帳を利用できます。

名前の表示について

電話帳に登録した相手と電話の発着信を行うと、電話帳の名前と電話番号が発信中、呼出中、着信中、通話中の画面に表示されます。
電話帳の名前は、発着信情報を記録しているリダイヤルや着信履歴、電話帳を検索せずに電話番号／メールアドレスを入力したとき、伝言メモ、通話メモ、受信メールの送信元、送信メール／未送信メールの宛先、メールの送受信履歴にも表示されます。

- FOMA端末電話帳に同じ電話番号／メールアドレスを異なる名前で登録している場合、最初に登録した電話帳の名前が表示されます。
- FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳に、同じ電話番号／メールアドレスを異なる名前で登録している場合、FOMA端末電話帳に登録している名前が表示されます。
- ワンタッチダイヤルに同じ電話番号／メールアドレスを異なる名前で登録している場合、最も小さいワンタッチダイヤル番号に登録した電話帳の名前が表示されます。
- メールを受信した際、送信元と電話帳のメールアドレスが@以降のドメイン名も含めて完全に一致すると、電話帳の名前が表示されます。ただし、送信元がｉモード端末の場合は、ドメイン名（@docomo.ne.jp）を省略して登録しても、電話帳の名前が表示されます。メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、「@docomo.ne.jp」を省略して電話帳に登録してください。
- SMSを受信した際、電話帳の電話番号が一致した場合は電話帳の名前が表示されます。
- 電話帳の名前が長い場合、発着信時の画面などには、画面に表示できる文字数分のみ名前が表示されます。

電話帳登録

FOMA端末電話帳に登録する

よく利用する電話番号やメールアドレスなどを、名前とともに登録できます。

- ドコモショップなど窓口で機種変更時など新機種へ登録内容をコピーする際は、仕様によってはFOMA端末にコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- 最大登録件数→p.70

ステップ1　名前を登録する

相手の名前や会社名などを入力します。

- 全角16文字、半角32文字以内で入力します。

1 待受画面で(メニュー)▶「1電話帳を使う履歴を見る」▶「4電話帳に登録する」を押す

名前の入力画面が表示されます。

2 名前を入力する

電話帳登録
名前を
入力してください
携帯花子

3 (決定)を押す

ステップ2　フリガナを登録する

フリガナの入力画面が表示されます。ステップ1で入力した名前のフリガナを確認、必要に応じて修正します。

- フリガナは電話帳の音声検索（ボイスダイヤル）やフリガナ検索に使用しますので、正しく入力してください。
- 半角32文字以内で入力します。

1 フリガナを確認する

電話帳登録
携帯花子
フリガナを
入力してください
ｹｲﾀｲﾊﾅｺ

- 電話帳を音声で呼び出すには、記号、空白、「゛」「゜」を除いて3文字以上で入力します。→p.126

2 (決定)を押す

ステップ3　電話番号を登録する

電話番号の登録方法選択画面が表示されます。

- 最大26桁入力できます。

1 「1直接入力」▶電話番号を入力する

電話帳登録
電話番号を
入力してください
090XXXXXXXX

- ポーズ（「P」）、タイマー（「T」）、国際電話発着信時に利用する「+」、「#」、サブアドレスの区切り（「＊」）を入力できます。
- 「186」、「184」を付けて電話帳に登録すると、SMS作成時の宛先に選択した際、送信できません。

■ **着信履歴／リダイヤルから登録する：「2着信履歴から」または「3リダイヤルから」▶(メール)(ナビ)を押して電話番号を表示▶(決定)を押す**

■ **登録しない：「4入力しない」を押す**
ステップ4に進みます。

2 (決定)を押す

2件目の電話番号を入力するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1入力する」または「2入力しない」を押す

- 「1入力する」：他の電話番号を登録できます。ステップ3の操作1、2を繰り返します。3件目を登録すると、ステップ4に進みます。
- 「2入力しない」：他の電話番号を登録しません。

ステップ4　メールアドレスを登録する

メールアドレスの登録方法選択画面が表示されます。
- 半角50文字以内で入力します。半角英字、半角数字、半角記号を入力できます。
- シークレットコード入力→p.81

1 「1直接入力」▶メールアドレスを入力する

電話帳登録
メールアドレスを入力してください
docomo.taro.ΔΔ@docomo.ne.jp

- 半角英字入力モード時に1：「.」「@」「-」などメールアドレスによく使う記号を入力できます。
- 半角英字入力モード時に＊：大文字／小文字を切り替えます。

■ **メールの送受信履歴から登録する：「2受信メールから」または「3送信メールから」▶メール/上下を押してメールアドレスを選択▶決定を押す**

■ **登録しない：「4入力しない」を押す**
ステップ5に進みます。

2 決定を押す

2件目のメールアドレスを入力するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1入力する」または「2入力しない」を押す

- 「1入力する」：他のメールアドレスを登録できます。ステップ4の操作1、2を繰り返します。3件目を登録すると、ステップ5に進みます。
- 「2入力しない」：他のメールアドレスを登録しません。

ステップ5　郵便番号と住所を登録する

郵便番号と住所の入力確認画面が表示されます。
- 郵便番号は7桁で、住所は全角100文字、半角200文字以内で入力します。

1 「1入力する」または「2入力しない」を押す

- 「1入力する」：郵便番号の入力画面が表示されます。
- 「2入力しない」：郵便番号と住所を入力しません。ステップ6に進みます。

2 郵便番号を入力▶決定を押す

住所の入力画面が表示されます。
- 何も入力しないで決定を押すと、郵便番号を登録しません。

3 住所を入力▶決定を押す

ステップ6　テキストメモを登録する

テキストメモの入力確認画面が表示されます。
- 全角100文字、半角200文字以内で入力します。

1 「1入力する」または「2入力しない」を押す

- 「1入力する」：テキストメモの入力画面が表示されます。
- 「2入力しない」：テキストメモを入力しません。ステップ7に進みます。

2 テキストメモを入力▶決定を押す

ステップ7　グループを登録する

グループの選択画面が表示されます。

1 グループを選択▶決定を押す

ステップ8　電話帳Noを登録する

電話帳Noの入力画面が表示されます。

- 電話帳Noを0～9で登録すると、短縮ダイヤルに設定されます。→p.89

1 電話帳No（0～999）を入力する

電話帳登録
電話帳Noを
入力してください
0～9:短縮ダイヤル
10～999:短縮なし
10

10～999までの使用されていない最も小さい電話帳Noが自動的に入力されています。

- 10～999まですべて使用されている場合は、0～9までの使用されていない最も小さい電話帳Noが入力されます。
- 電話帳Noが「001」のように1桁の場合は「1」、「010」のように2桁の場合は「10」と入力します。

2 決定を押す

電話帳を
登録しました。
ワンタッチダイヤルに
登録しますか？
1登録する
2終了する

- 登録済みの電話帳Noを指定したときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「2新規登録する」を押すと、10～999までの使用されていない最も小さい電話帳Noで登録されます。

3 「2終了する」を押す

電話帳登録が終了し、メニュー画面に戻ります。

- 「1登録する」：ステップ9に進みます。

ステップ9　ワンタッチダイヤルに登録する

電話帳登録に続けてワンタッチダイヤルに登録します。→p.82

1 ステップ8の操作3で「1登録する」を押す

ワンタッチダイヤル登録
1ワンタッチダイヤル1
「未登録」
2ワンタッチダイヤル2
「未登録」
3ワンタッチダイヤル3
「未登録」

2 「1ワンタッチダイヤル1」～「3ワンタッチダイヤル3」のいずれかを押して登録する

- ワンタッチダイヤル登録方法→p.83「ステップ2」操作1～「ステップ4」操作7
  登録が終了するとワンタッチダイヤルに登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- シークレットモード中でない場合、シークレット属性を設定した電話帳の名前は、ワンタッチダイヤル登録画面では「＊」で表示されます。

リダイヤルや着信履歴などから電話帳に登録する

- サイトやｉモードメールなどから電話番号やメールアドレスを登録することもできます。→p.197、p.216

〈例〉リダイヤルから登録する

1 **待受画面で[発信履歴]▶[着信履歴][▼]を押して登録する相手を表示▶[メニュー]▶「1電話帳に登録」または「2電話帳に追加」を押す**

■ 新規登録する：「1電話帳に登録」を押す

名前の入力画面が表示されます。

- 以降の操作→p.71「ステップ1」操作2以降
- 電話番号の入力画面には、選択したリダイヤルの電話番号が入力されています。

■ 追加登録する：

① 「2電話帳に追加」▶電話帳を検索▶登録先の相手を選択▶[決定]を押す

追加した旨のメッセージが表示されます。

- 登録先の相手に電話番号をすでに3件登録しているときは、上書きする電話番号の選択画面が表示されます。上書きする電話番号を選択し、[決定]を押します。上書きしないときは[戻る]を押してFOMA端末電話帳の検索結果一覧に戻ります。

② [決定]を押す

ワンタッチダイヤルに登録するかどうかの確認画面が表示されます。

- 以降の操作→p.73「ステップ8」操作3以降

グループの名前や着信音を設定する

グループ名の変更

FOMA端末電話帳の「グループ1」～「グループ30」を、「家族」「会社」などのわかりやすい名前に自由に変更できます。

- 「グループなし」は変更できません。

1 **待受画面で[メニュー]▶「1電話帳を使う　履歴を見る」▶「5電話帳のグループを設定する」▶「1グループ名を変更する」を押す**

グループの選択画面が表示されます。

2 **変更するグループを選択▶[決定]を押す**

グループ名変更
グループ名を
入力してください
グループ1

3 **グループ名を入力▶[決定]を押す**

グループ名を登録した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

- 全角10文字、半角20文字以内で入力します。
- 入力されているグループ名を[戻る]ですべて削除して[決定]を押すと、お買い上げ時のグループ名に戻ります。

グループ別着信音の設定

電話がかかってきたときやメールを受信したときの着信音を、FOMA端末電話帳のグループごとに設定できます。

- 「グループなし」には設定できません。
- 電話がかかってきたときの着信音の優先順位→p.92
- メールを受信したときの着信音の優先順位→p.93

〈例〉電話着信音を設定する

1 **待受画面で(メニュー)▶「1電話帳を使う　履歴を見る」▶「5電話帳のグループを設定する」▶「2グループ専用電話着信音を選ぶ」を押す**

グループの選択画面が表示されます。

- メール着信音を設定するときは、待受画面で(メニュー)▶「1電話帳を使う　履歴を見る」▶「5電話帳のグループを設定する」▶「3グループ専用メール着信音を選ぶ」を押します。

2 **設定するグループを選択▶(決定)を押す**

着信音の設定画面が表示されます。

3 **「1着信音設定」▶「1設定する」を押す**

着信音の種類の選択画面が表示されます。

- 「2設定しない」：グループ専用の着信音を設定しません。操作6に進みます。

4 **「1メロディ」～「3名前の読み上げ」のいずれかを押す**

- 「1メロディ」「2着モーション」：フォルダまたはアルバムの選択画面が表示されます。
- 「3名前の読み上げ」：着信音の設定画面に戻ります。操作6に進みます。
  名前の読み上げについて→p.92

5 **フォルダまたはアルバムを選択▶(決定)▶着信音を選択▶(決定)を押す**

着信音の設定画面に戻ります。

- microSDカード内のデータは設定できません。
- 「ｉモードで探す」を選択して(決定)▶「1接続する」を押すと、ｉモードサイトからメロディまたはｉモーションを探せます。→p.214、p.222
- メロディまたは動画／ｉモーションの再生方法→p.92「電話が着信したときの着信音の設定」操作5

6 **(電話帳)を押す**

着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとグループの選択画面に戻ります。

電話帳をコピーする

FOMA端末／FOMAカード電話帳へコピー

FOMA端末電話帳をFOMAカード電話帳に、FOMAカード電話帳をFOMA端末電話帳にコピーします。

- 電話帳の検索結果一覧から操作する場合は、複数の電話帳をまとめてコピーできます。電話帳の詳細画面から操作する場合は、表示中の電話帳がコピーされます。
- コピー先に同じグループがないときは、「グループなし」にコピーされます。
- FOMA端末電話帳からFOMAカード電話帳にコピーする場合、次の項目がコピーされます。ただし、FOMAカード電話帳に保存できる最大文字数を超えた部分とタイマー（「T」）は削除されます。
  - 名前：全角で最大10文字、半角で最大21文字コピーされます。ただし、全角／半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、最大10文字となります。
  - フリガナ：半角カタカナは全角カタカナに置き換えられます。全角で最大12文字、半角で最大25文字コピーされます。
  - 電話番号：1件目の電話番号が最大26桁コピーされます。FOMAカードの種類によっては最大20桁となります。→p.34
  - メールアドレス：1件目のメールアドレスが半角で最大50文字コピーされます。
- FOMAカード電話帳からFOMA端末電話帳にコピーする場合、フリガナは半角カタカナに置き換えられます。

1 **待受画面で(電話帳)▶電話帳を検索する**

- 検索方法→p.76

2 メニュー▶「8 FOMAカードへコピー」を押す

電話帳の選択画面が表示されます。

■ FOMAカード電話帳からFOMA端末電話帳へコピーする：メニュー▶「4 本体へコピー」を押す

3 コピーする相手を選択▶決定を押す

相手の□が☑に変わります。

電話帳
FOMAカードへコピー
アカサタナハマヤラワ他
□携帯あき子
□携帯一郎
□携帯なつ子
☑携帯花子
□ドコモ一郎

- 決定：相手を選択／解除します。
- メニュー：すべての相手を選択／解除します。

4 電話帳を押す

FOMAカード／本体電話帳にコピーした旨のメッセージが表示されます。決定を押すと検索結果一覧に戻ります。

登録内容のコピー

電話帳の個々の登録内容（名前や電話番号など）をコピーします。

1 待受画面で電話帳▶電話帳を検索する

- 検索方法→p.76

2 コピーする相手を選択▶決定▶メニュー▶「0 名前等をコピー」を押す

電話帳の項目一覧画面が表示されます。

■ FOMAカード電話帳からFOMA端末電話帳へコピーする：コピーする相手を選択▶決定▶メニュー▶「7 名前等をコピー」を押す

3 コピーする項目を選択▶決定を押す

選択した項目をコピーした旨のメッセージが表示されます。決定を押すと電話帳の詳細画面に戻ります。

- 貼り付け方法→p.316「文字のコピーと貼り付け」操作5

電話帳検索

電話帳から電話をかける

電話をかける相手を電話帳から呼び出し、簡単に電話をかけることができます。

- 電話帳の呼び出しかたには次の検索方法があります。
  - 50音順検索→p.77
  - グループ検索→p.78
  - 音声検索※→p.78
  - フリガナ検索→p.78
  - 電話番号検索→p.79
  - 電話帳No検索※→p.79

  ※ FOMAカード電話帳では利用できません。
- 電話帳の検索方法選択画面（→p.79）で電話帳を押すたびに、それぞれの電話帳の検索方法選択画面に切り替わります。または、FOMA端末電話帳の検索結果一覧でメニュー▶＊を、FOMAカード電話帳の検索結果一覧でメニュー▶6を押しても切り替わります。
- シークレット属性を設定している電話帳は、シークレットモード中のみ検索できます。また、ワンタッチダイヤルやツータッチダイヤル、ツータッチメールなど電話帳を利用する機能の場合も同様です。→p.82

電話帳

1 待受画面で(電話帳)▶電話帳を検索する

検索方法が表示されます。

電話帳
50音順検索
アカサタナハマヤラワ他
携帯あき子
携帯一郎
携帯なつ子
携帯花子
ドコモ一郎

<検索結果一覧>
（50音順検索の場合）

- お買い上げ時は50音順検索の検索結果一覧が表示されるように設定されています。検索方法を変更するときは、検索結果一覧で(メニュー)▶「5検索方法を変更」を押します。よく利用する検索方法の画面が表示されるように設定を変更できます。→p.79
- FOMA端末電話帳の検索結果一覧で(電話帳)を押すと、電話帳を新規に登録できます。→p.71

2 電話をかける相手を選択▶(発信)を押す

1件目の電話番号に電話がかかります。

- 電話帳の詳細画面（→p.80）から電話をかける場合は、(←)(→)を押して電話番号を表示▶(発信)または(決定)を押します。

電話帳を利用する

■ iモードメールを作成する：待受画面で(電話帳)▶電話帳を検索▶相手を選択▶(メニュー)▶「2メールを作る」を押す

1件目のメールアドレスを宛先にしたメール作成画面が表示されます。→p.138、p.141

- 電話帳の詳細画面から操作する場合は、(←)(→)を押してメールアドレスを表示▶(決定)を押します。

■ SMSを作成する：待受画面で(電話帳)▶電話帳を検索▶相手を選択▶(メニュー)▶「3SMSを作る」を押す

1件目の電話番号を宛先にしたメッセージ作成画面が表示されます。→p.180

- 電話帳の詳細画面から操作する場合は、(←)(→)を押して電話番号を表示▶(メニュー)▶「3SMSを作る」を押します。

■ 郵便番号と住所を確認する：待受画面で(電話帳)▶電話帳を検索▶相手を選択▶(決定)▶(←)(→)を押して郵便番号と住所のマークを選択▶(決定)を押す

郵便番号と住所が表示されます。

■ テキストメモを確認する：待受画面で(電話帳)▶電話帳を検索▶相手を選択▶(決定)▶(←)(→)を押してテキストメモのマークを選択▶(決定)を押す

テキストメモが表示されます。

50音順検索

50音順に検索して表示します。

1 待受画面で(メニュー)▶「1電話帳を使う　履歴を見る」▶「3電話帳の内容を見る」▶「150音順検索」を押す

検索結果一覧が表示されます。

- FOMAカード電話帳を検索するときは、待受画面で(メニュー)▶「1電話帳を使う　履歴を見る」▶「3電話帳の内容を見る」▶(電話帳)▶「150音順検索」を押します。

2 (↑)(↓)(←)(→)を押して電話をかける相手を選択する

- (0)～(9)、(＊)、(＃)：ボタンに割り当てられている行の先頭を表示します。

(1)：ア行　(2)：カ行　(3)：サ行
(4)：タ行　(5)：ナ行　(6)：ハ行
(7)：マ行　(8)：ヤ行　(9)：ラ行
(0)：ワ行
(＊)／(＃)：他（アルファベット、数字、フリガナが空白で始まるもの、記号、フリガナなし順）

たとえば、「携帯花子」を表示する場合は「け」（カ行）に対応する(2)を押します。

- (←)(→)：画面上部にある50音表示のカーソルを移動して、各行の先頭を表示します。
- 以降の操作→p.77「電話帳から電話をかける」操作2

電話帳

グループ検索

グループから検索します。

1 **待受画面で(メニュー)▶「1電話帳を使う 履歴を見る」▶「3電話帳の内容を見る」▶「2グループ検索」を押す**

グループ一覧
1グループなし
2家族
3会社

- FOMAカード電話帳を検索するときは、待受画面で(メニュー)▶「1電話帳を使う 履歴を見る」▶「3電話帳の内容を見る」▶(電話帳)▶「2グループ検索」を押します。

2 **検索するグループを選択▶(決定)を押す**

検索結果一覧が表示されます。
- (0)～(9)、(＊)、(＃)：ボタンに割り当てられている行の先頭を表示します。→p.77
- (左)(右)：画面上部にある50音表示のカーソルを移動して、各行の先頭を表示します。
- 同じグループではフリガナ順（50音順→アルファベット順→数字→空白で始まるもの→記号→フリガナなし）で表示されます。
- 以降の操作→p.77「電話帳から電話をかける」操作2

音声検索

音声で検索します。
- 記号、空白、「゛」「゜」を除いて3文字以上のフリガナが登録されている電話帳が対象です。
- 周囲の状況や発声のしかたにより、音声が認識されない場合があります。
- ボイスダイヤルについて→p.126

1 **待受画面で(メニュー)▶「1電話帳を使う 履歴を見る」▶「3電話帳の内容を見る」▶「3音声検索」を押す**

音声で電話帳検索
決定ボタンを押し 受話口を耳にあて ピーという 発信音の後に 呼出す相手を お話しください

- 待受画面で(電話帳)を1秒以上押しても、音声で検索できます。
- 以降の操作→p.126「音声で電話帳を呼び出す」操作2以降

フリガナ検索

フリガナの先頭の一部を入力して検索します。

1 **待受画面で(メニュー)▶「1電話帳を使う 履歴を見る」▶「3電話帳の内容を見る」▶「4フリガナ検索」を押す**

フリガナの入力画面が表示されます。
- FOMAカード電話帳を検索するときは、待受画面で(メニュー)▶「1電話帳を使う 履歴を見る」▶「3電話帳の内容を見る」▶(電話帳)▶「3フリガナ検索」を押します。

2 **フリガナを入力▶(決定)を押す**

検索結果一覧が表示されます。
- 以降の操作→p.77「電話帳から電話をかける」操作2

電話番号検索

電話番号の一部を入力して、その数字を含む電話番号を検索します。

1 待受画面で(メニュー)▶「1電話帳を使う　履歴を見る」▶「3電話帳の内容を見る」▶「5電話番号検索」を押す

電話番号の入力画面が表示されます。

- FOMAカード電話帳を検索するときは、待受画面で(メニュー)▶「1電話帳を使う　履歴を見る」▶「3電話帳の内容を見る」▶(電話帳)▶「4電話番号検索」を押します。

2 電話番号の一部を入力▶(決定)を押す

検索結果一覧が表示されます。

- (0)～(9)、(*)、(#)：ボタンに割り当てられている行の先頭を表示します。→p.77
- (◁)(▷)：画面上部にある50音表示のカーソルを移動して、各行の先頭を表示します。
- 以降の操作→p.77「電話帳から電話をかける」操作2

電話帳No検索

電話帳Noを入力して検索します。

1 待受画面で(メニュー)▶「1電話帳を使う　履歴を見る」▶「3電話帳の内容を見る」▶「6電話帳No検索」を押す

電話帳No検索
電話帳Noを
入力してください
(0～999)
0

2 電話帳Noを入力▶(決定)を押す

検索結果一覧が表示されます。

- 電話帳Noが「001」のように1桁の場合は「1」、「010」のように2桁の場合は「10」と入力します。
- (0)～(9)、(*)、(#)：ボタンに割り当てられている行の先頭を表示します。→p.77
- (◁)(▷)：画面上部にある50音表示のカーソルを移動して、各行の先頭を表示します。
- 以降の操作→p.77「電話帳から電話をかける」操作2

優先する検索方法を設定〈電話帳検索優先設定〉

待受画面で(電話帳)を押したときに表示されるFOMA端末電話帳の検索方法を設定します。

1 待受画面で(メニュー)▶「1電話帳を使う　履歴を見る」▶「3電話帳の内容を見る」を押す

優先設定している検索方法に(優先)が表示されます。

検索方法を
選んでください
1 50音順検索(優先)
2 グループ検索
3 音声検索
4 フリガナ検索
5 電話番号検索
6 電話帳No検索

<検索方法選択画面>

2 優先する検索方法を選択▶(メニュー)を押す

優先する検索方法を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと操作1の画面に戻ります。

FOMA端末／FOMAカード電話帳の詳細表示

登録内容を表示して確認します。

1 待受画面で［電話帳］▶電話帳を検索する

・検索方法→p.76

2 詳細表示する相手を選択▶［決定］を押す

<FOMA端末電話帳詳細画面>　<FOMAカード電話帳詳細画面>

① 電話帳No
② 名前、フリガナ
③ グループマーク、グループ名
④ 登録した電話番号／メールアドレスの数がわかるマーク、郵便番号と住所のマーク、テキストメモのマーク
⑤ 選択している電話番号／メールアドレス／郵便番号と住所／テキストメモ

・［0］～［9］、［＊］、［＃］：ボタンに割り当てられている行の先頭の詳細画面を表示します。→p.77
・［上］［下］：前後の詳細画面を表示します。
・［左］［右］：電話番号／メールアドレス／郵便番号と住所／テキストメモのマークを選択し、各項目の表示を切り替えます。

発信方法を選択した電話のかけかた

・本機能を利用して国際電話をかけるには、国番号を含めた電話番号を電話帳に登録してください。

1 待受画面で［電話帳］▶電話帳を検索する

・検索方法→p.76

2 電話をかける相手を選択▶［メニュー］▶「1電話をかける」を押す

操作の選択画面が表示されます。

・選択した相手の1件目の電話番号が対象になります。

3 「1電話をかける」を選択▶［メニュー］▶「1非通知で電話」～「3ワールドコール」のいずれかを押す

電話をかけるかどうかの確認画面が表示されます。

4 「1電話をかける」を押す

選択した方法で電話がかかります。

電話帳修正

電話帳を修正する

FOMA端末電話帳の登録内容の修正やグループの変更ができます。メールアドレスを登録している場合はシークレットコードを入力できます。

1 待受画面で［電話帳］▶電話帳を検索する

・検索方法→p.76

2 修正する相手を選択▶［メニュー］▶「4修正する」を押す

名前の入力画面が表示されます。

3 電話帳を修正して登録する

・以降の操作→p.71「ステップ1」操作2以降
グループの修正が終了すると、電話帳Noを上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きするときは「1上書きする」を押します。上書きしないときは「2新規登録する」を押し、他の電話帳Noを登録します。

お知らせ

・名前を修正してもフリガナは自動で変更されません。フリガナも修正してください。
・複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合、1件目の電話番号やメールアドレスを削除すると2件目以降、繰り上げ登録されます。

グループ移動

1 待受画面で(電話帳)▶電話帳を検索する

- 検索方法→p.76

2 グループを移動する相手を選択▶(メニュー)▶「7グループを移動」を押す

グループ選択画面が表示されます。

3 グループを選択▶(決定)を押す

選択したグループに移動した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと検索結果一覧に戻ります。

メールアドレスにシークレットコードを設定〈シークレットコード入力〉

相手がメールアドレス（携帯電話番号@docomo.ne.jp）にシークレットコードを登録している場合は、そのシークレットコードを電話帳のメールアドレスに設定しておくことで、電話帳を検索してｉモードメールを作成するときに自動的にシークレットコードが付加されます。

1 待受画面で(電話帳)▶電話帳を検索する

- 検索方法→p.76

2 シークレットコードを設定する相手を選択▶(決定)▶(←)(→)でメールアドレスを選択▶(メニュー)▶「#シークレットコード入力」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

3 端末暗証番号を入力▶(決定)を押す

シークレットコードの入力画面が表示されます。

4 4桁のシークレットコードを入力▶(決定)を押す

シークレットコードを設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと電話帳の詳細画面に戻ります。

- シークレットコードを削除するには、入力されているシークレットコードを(戻る)ですべて削除し、(決定)を押します。

お知らせ

- 設定したシークレットコードは、FOMA端末電話帳の詳細画面やｉモードメール作成時の宛先などには表示されません。シークレットコードの設定と同様の操作で確認してください。
- メールアドレスを「携帯電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」と登録している場合はその相手にメールを送信できません。

電話帳削除

電話帳を削除する

1件分の電話帳を削除します。

1 待受画面で(電話帳)▶電話帳を検索する

- 検索方法→p.76

2 削除する相手を選択▶(メニュー)▶「6電話帳から削除」を押す

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- FOMAカード電話帳の検索結果一覧から操作するときは(メニュー)▶「7電話帳から削除」を、FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳の詳細画面から操作するときは(メニュー)▶「5電話帳から削除」を押します。

3 「1削除する」を押す

電話帳を1件削除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと検索結果一覧に戻ります。

- 電話帳が1件もなくなった場合は、電話帳に登録がない旨のメッセージが表示されます。

お知らせ

- ワンタッチダイヤルに登録している電話帳を削除すると、ワンタッチダイヤル登録からも削除されます。

シークレット属性設定／解除

他人に見られたくない電話帳を守る

シークレット属性を設定した電話帳は、シークレットモード中のみ表示されます。シークレット属性を設定するには、FOMA端末をシークレットモードに設定する必要があります。

- FOMAカード電話帳には設定できません。

1 **シークレットモードを設定する**

- 操作方法→p.111

2 **待受画面で［電話帳］▶電話帳を検索する**

- 検索方法→p.76

3 **シークレット属性を設定する相手を選択▶［決定］▶［メニュー］▶「［＊］シークレット属性設定」を押す**

シークレット属性を設定した旨のメッセージが表示されます。

■ シークレット属性を解除する：シークレットモード中にシークレット属性を設定している相手を選択▶［決定］▶［メニュー］▶「［＊］シークレット属性解除」を押す

4 **［決定］を押す**

FOMA端末電話帳の詳細画面に戻ります。

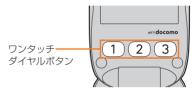
- 設定中は🔑が点滅します。

お知らせ

- シークレットモード中に電話帳を修正・登録した場合、その電話帳にはシークレット属性が設定されます。
- シークレットモード中でない場合、シークレット属性を設定した相手から電話がかかってきたりメールを受信したりしても、グループ別着信音やワンタッチダイヤル専用の着信画像（→p.85）および着信音（→p.86）は動作しません。

ワンタッチダイヤル登録

よく連絡を取り合う相手を登録する

よく連絡を取る相手をワンタッチダイヤルに登録しておくと、ワンタッチダイヤルボタンを押すだけで簡単に電話をかけたり（→p.88）、iモードメールを送信できます（→p.89）。
また、着信音や着信画像を設定することができます。

- ワンタッチダイヤルは3件登録できます。
- FOMA端末電話帳の登録時に本機能に登録することもできます。→p.73
- 電話がかかってきたときの着信音の優先順位→p.92
- メールを受信したときの着信音の優先順位→p.93
- 名前の表示について→p.70

電話帳から登録〈電話帳選択〉

- FOMAカード電話帳から選択することはできません。

ステップ1　登録する相手を選ぶ

1 **待受画面でワンタッチダイヤルボタン［1］～［3］のいずれかを押す**

ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ登録
ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙが登録されていません。登録しますか？
1 電話帳から選ぶ
2 新規に登録する
3 登録しない

- FOMA端末電話帳に1件も登録していない場合は、新規に登録するかどうかの確認画面が表示されます。「［1］新規に登録する」を押して電話帳へ登録してください。→p.71

2 「1電話帳から選ぶ」▶電話帳を検索▶登録する相手を選択▶決定を押す

- 検索方法→p.76

ステップ2　電話番号を登録する

1 登録する電話番号を選択する

■ 電話番号を1件登録しているとき
表示中の電話番号を登録する旨のメッセージが表示されます。
決定を押す

■ 電話番号を2件以上登録しているとき
電話番号の選択画面が表示されます。
登録する電話番号を選択▶決定を押す

■ 電話番号を1件も登録していないとき
ステップ3に進みます。

ステップ3　メールアドレスを登録する

1 登録するメールアドレスを選択する

■ メールアドレスを1件登録しているとき
表示中のメールアドレスを登録する旨のメッセージが表示されます。
決定を押す

■ メールアドレスを2件以上登録しているとき
メールアドレスの選択画面が表示されます。
登録するメールアドレスを選択▶決定を押す

■ メールアドレスを1件も登録していないとき
ステップ4に進みます。

ステップ4　着信音を設定する

ワンタッチダイヤル専用の着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。電話、メールの順に着信音を設定します。

1 「1設定する」または「2設定しない」を押す

- 「1設定する」：ワンタッチダイヤル専用の電話着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。
- 「2設定しない」：ワンタッチダイヤルに登録した旨のメッセージが表示されます。操作8に進みます。
- 電話番号を1件も登録していないときに「1設定する」を押すと、操作5に進みます。

電話着信音

ワンタッチダイヤル専用の電話着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1設定する」または「2設定しない」を押す

- 「1設定する」：着信音の種類の選択画面が表示されます。
- 「2設定しない」：電話着信音を設定しません。操作5に進みます。

3 「1メロディ」～「3名前の読み上げ」のいずれかを押す

- 「1メロディ」「2着モーション」：フォルダまたはアルバムの選択画面が表示されます。
- 「3名前の読み上げ」：操作5に進みます。
名前の読み上げについて→p.92

4 フォルダまたはアルバムを選択▶決定▶着信音を選択▶決定を押す

- microSDカード内のデータは設定できません。
- 「iモードで探す」を選択して決定▶「1接続する」を押すと、iモードサイトからメロディまたはiモーションを探せます。→p.214、p.222
- 映像のある動画／iモーションを設定すると、着信時には着モーションの映像が表示される旨のメッセージが表示されます。

- メロディまたは動画／ｉモーションの再生方法→p.92「電話が着信したときの着信音の設定」操作5

メール着信音

ワンタッチダイヤル専用のメール着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

5 「1設定する」または「2設定しない」を押す

- 「1設定する」：着信音の種類の選択画面が表示されます。
- 「2設定しない」：メール用の着信音を設定しません。操作8に進みます。

6 「1メロディ」～「3名前の読み上げ」のいずれかを押す

- 「1メロディ」「2着モーション」：フォルダまたはアルバムの選択画面が表示されます。
- 「3名前の読み上げ」：操作8に進みます。
  名前の読み上げについて→p.92

7 フォルダまたはアルバムを選択▶決定▶着信音を選択▶決定を押す

- microSDカード内のデータは設定できません。
- 「ｉモードで探す」を選択して決定▶「1接続する」を押すと、ｉモードサイトからメロディまたはｉモーションを探せます。→p.214、p.222
- 映像のある動画／ｉモーションを設定すると、着信時には着モーションの映像が表示される旨のメッセージが表示されます。
- メロディまたは動画／ｉモーションの再生方法→p.92「電話が着信したときの着信音の設定」操作5

8 ワンタッチダイヤル登録完了画面で決定を押す

携帯花子
090XXXXXXXX
docomo.taro.ΔΔ…
ワンタッチダイヤル
メールを作る
電話をかける

<ワンタッチダイヤル詳細画面>

お知らせ

- ワンタッチダイヤルに登録した電話番号やメールアドレスが電話帳から変更されたときは、ワンタッチダイヤルにも反映されます。ただし、ワンタッチダイヤル登録時に電話帳に未登録だった電話番号やメールアドレスが追加されてもワンタッチダイヤルには反映されません。登録相手の電話帳を修正する（→p.85）か、ワンタッチダイヤル登録（→p.82）で、ワンタッチダイヤルに登録し直してください。

新規登録

ワンタッチダイヤル登録時に、電話帳にも登録します。

- ワンタッチダイヤルから電話帳に新規登録する場合は、電話番号／メールアドレスはそれぞれ1件のみ登録できます。
- ワンタッチダイヤルを解除しても電話帳は削除されません。

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン1～3のいずれかを押す

ワンタッチダイヤルに登録するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「2新規に登録する」を押す

名前の入力画面が表示されます。

3 電話帳を登録する

- 以降の操作→p.71「ステップ1」操作2～p.73「ステップ8」操作2
  電話帳Noを登録すると、ワンタッチダイヤルに登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。→p.84

登録相手の変更

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン(1)～(3)のいずれかを押す

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

2 (メニュー)▶「1登録内容を修正」▶「1登録相手を変更」を押す

電話帳の検索画面が表示されます。

3 電話帳を検索▶登録する相手を選択する

- 以降の操作→p.83「ステップ2」以降

登録相手の電話帳の修正

ワンタッチダイヤルから電話帳を修正できます。その場合、続けてワンタッチダイヤルに電話番号やメールアドレスを登録し直します。

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン(1)～(3)のいずれかを押す

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

2 (メニュー)▶「1登録内容を修正」▶「2電話帳を修正」を押す

名前の入力画面が表示されます。

3 電話帳を修正する

- 以降の操作→p.71「ステップ1」操作2～p.73「ステップ7」
  グループの修正が終了すると、電話帳Noを上書きするかどうかの確認画面が表示されます。
- 修正時の注意事項→p.80「電話帳を修正する」のお知らせ

4 「1上書きする」または「2新規登録する」を押す

■ 電話帳Noを上書き登録する：「1上書きする」を押す
続けてワンタッチダイヤルに登録する画面が表示されます。操作5に進みます。

■ 新しい電話帳Noに変更して登録する：
① 「2新規登録する」を押す
電話帳Noの入力画面が表示されます。
② 電話帳Noを入力▶(決定)を押す

5 (決定)▶登録する電話番号／メールアドレスを選択する

- 以降の操作→p.83「ステップ2」～p.83「ステップ3」
  ワンタッチダイヤルに登録した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。→p.84

電話着信時／メール受信時の表示画像設定

ワンタッチダイヤルに登録した相手には着信画像を設定できます。電話がかかってきたり、メールを受信したりしたときに設定した画像を表示してお知らせします。

- 設定した画像の表示は、相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
- 着信音に映像のある動画／ｉモーションを設定した場合、着信画像は表示されません。

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン(1)～(3)のいずれかを押す

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

2 (メニュー)▶「4着信画像を設定」を押す

画像の選択画面が表示されます。

3 「1今から撮影する」～「3解除する」のいずれかを押す

■ 写真を撮影して設定する：

①「1今から撮影する」を押す

- 写真撮影→p.232
- 写真の大きさは、「待受サイズ（240×320）」固定です。
- （メニュー）：撮影時の設定ができます。→p.236

② 被写体にカメラを向けて（決定）を押す

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、撮影した写真が表示されます。

③（決定）▶（決定）を押す

写真を本体に保存した後で、着信画像を設定した旨のメッセージが表示されます。

■ 写真をアルバムから選択して設定する：「2アルバムから選ぶ」▶アルバムを選択▶（決定）▶画像を選択▶（決定）を押す

着信画像を設定した旨のメッセージが表示されます。

- microSDカード内のデータは設定できません。
- 「ｉモードで探す」を選択して（決定）▶「1接続する」を押すと、ｉモードサイトからメロディまたはｉモーションを探せます。→p.214、p.222
- 着信画像に設定できる画像のサイズは、横縦（または縦横）が640×480（ドット）までです。

■ 着信画像を解除する：「3解除する」を押す

着信画像を解除した旨のメッセージが表示されます。

4 （決定）を押す

ワンタッチダイヤル詳細画面に戻ります。

- 設定した画像を確認する場合は、ワンタッチダイヤル詳細画面で（メニュー）▶「5着信画像を確認」を押します。

着信音の設定

ワンタッチダイヤルに登録した相手の電話、メールの着信音を設定します。

- 電話がかかってきたときの着信音の優先順位→p.92
- メールを受信したときの着信音の優先順位→p.93

電話の着信音を設定する

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン（1）～（3）のいずれかを押す

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

2 （メニュー）▶「2電話着信音」▶「1設定する」を押す

着信音の種類の選択画面が表示されます。

- 「2設定しない」：ワンタッチダイヤル専用の着信音を解除した旨のメッセージが表示されます。（決定）を押すとワンタッチダイヤル詳細画面に戻ります。

3 「1メロディ」～「3名前の読み上げ」のいずれかを押す

- 「1メロディ」「2着モーション」：フォルダまたはアルバムの選択画面が表示されます。
- 「3名前の読み上げ」：ワンタッチダイヤル専用の着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。（決定）を押すとワンタッチダイヤル詳細画面に戻ります。
名前の読み上げについて→p.92

4 **フォルダまたはアルバムを選択▶決定▶着信音を選択▶決定を押す**

ワンタッチダイヤル専用の着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとワンタッチダイヤル詳細画面に戻ります。

- microSDカード内のデータは設定できません。
- 「iモードで探す」を選択して決定▶「1接続する」を押すと、iモードサイトからメロディまたはiモーションを探せます。→p.214、p.222
- 映像のある動画／iモーションを設定すると、着信時には着モーションの映像が表示される旨のメッセージが表示されます。
- メロディまたは動画／iモーションの再生方法→p.92「電話が着信したときの着信音の設定」操作5

メールの着信音を設定する

1 **待受画面でワンタッチダイヤルボタン1～3のいずれかを押す**

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

2 **メニュー▶「3メール着信音」を押す**

メール着信音の設定画面が表示されます。

3 **「1メール着信音設定」▶「1鳴らす」を押す**

メール着信音の設定画面に戻ります。

- 「2鳴らさない」：着信音を鳴らさないように設定します。メール着信音の設定画面に戻ります。操作9に進みます。

4 **「2着信音」を押す**

ワンタッチダイヤル専用のメール着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

5 **「1設定する」を押す**

着信音の種類の選択画面が表示されます。

- 「2設定しない」：ワンタッチダイヤル専用のメール着信音を解除します。メール着信音の設定画面に戻ります。操作9に進みます。

6 **「1メロディ」～「3名前の読み上げ」のいずれかを押す**

- 「1メロディ」「2着モーション」：フォルダまたはアルバムの選択画面が表示されます。
- 「3名前の読み上げ」：メール着信音の設定画面に戻ります。操作8に進みます。名前の読み上げについて→p.92

7 **フォルダまたはアルバムを選択▶決定▶着信音を選択▶決定を押す**

メール着信音の設定画面に戻ります。

- microSDカード内のデータは設定できません。
- 「iモードで探す」を選択して決定▶「1接続する」を押すと、iモードサイトからメロディまたはiモーションを探せます。→p.214、p.222
- 映像のある動画／iモーションを設定すると、着信時には着モーションの映像が表示される旨のメッセージが表示されます。
- メロディまたは動画／iモーションの再生方法→p.92「電話が着信したときの着信音の設定」操作5

8 **「3鳴らす時間」／「3鳴らす回数」▶鳴らす時間／鳴らす回数を入力▶決定を押す**

メール着信音の設定画面に戻ります。

- 「メロディ」または「着モーション」に設定した場合は、着信音を鳴らす時間を1～30秒の間で入力します。
- 「名前の読み上げ」に設定した場合は、名前を読み上げる回数を1～7回の間で入力します。

9 [電話帳]を押す

ワンタッチダイヤル専用のメール着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとワンタッチダイヤル詳細画面に戻ります。

お知らせ

- 登録した複数の相手から同時にメールが送られてきた場合は、最後に受信したメールの相手の設定に従って動作します。

登録相手の設定の確認

ワンタッチダイヤルに登録した相手の設定情報（登録した電話番号、メールアドレス、着信音など）を確認します。

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン[1]～[3]のいずれかを押す

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

2 [メニュー]▶「[6]設定情報を確認」を押す

設定情報詳細画面が表示されます。名前、電話番号、メールアドレスは省略されずに表示されます。

- [メール][i]：画面をスクロールして設定情報を表示します。
- [決定]：ワンタッチダイヤル詳細画面に戻ります。

ワンタッチダイヤルの登録解除

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン[1]～[3]のいずれかを押す

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

2 [メニュー]▶「[1]登録内容を修正」▶「[3]ワンタッチダイヤル解除」を押す

ワンタッチダイヤル設定を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「[1]解除する」を押す

ワンタッチダイヤル設定を解除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと待受画面に戻ります。

登録件数確認

電話帳の登録件数を確認する

- シークレット属性（→p.82）を設定したFOMA端末電話帳の電話帳の件数は、シークレットモード中のみ表示されます。→p.111

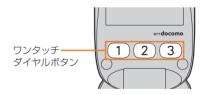
1 待受画面で[メニュー]▶「[1]電話帳を使う 履歴を見る」▶「[7]電話帳の登録件数を見る」を押す

登録件数の確認画面が表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

- [電話帳]：FOMA端末／FOMAカード電話帳の表示が切り替わります。

ワンタッチダイヤル

ボタン1つで電話をかける

よく連絡を取る相手の電話番号をワンタッチダイヤルに登録すると、ワンタッチダイヤルボタン1つで簡単に電話をかけることができます。

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン[1]～[3]のいずれかを1秒以上押す

ワンタッチダイヤルボタンに登録している相手に電話がかかります。

- ワンタッチダイヤル詳細画面で[発信]を押しても電話をかけることができます。

ワンタッチダイヤルからのメール作成

ワンタッチダイヤルに登録した相手にメールアドレスを登録している場合、ワンタッチダイヤル詳細画面から簡単な操作でｉモードメールを作成できます。

1 **待受画面でワンタッチダイヤルボタン(1)～(3)のいずれかを押す▶(✉)を押す**

登録しているメールアドレスを宛先にしたメール作成画面が表示されます。→p.138、p.141

短縮ダイヤル設定

短縮ダイヤルを設定する

よく連絡を取る相手の電話帳Noを0～9に登録しておくと、ツータッチダイヤル（→p.89）で簡単に電話をかけたり、ツータッチメール（→p.145）で簡単にメールを作成したりすることができます。

- ツータッチダイヤルやツータッチメールに使用する電話番号またはメールアドレスは、1件目に登録してください。
- FOMAカード電話帳の電話帳には短縮ダイヤルを設定できません。

1 **待受画面で(電話帳)▶電話帳を検索する**

- 検索方法→p.76

2 **短縮ダイヤルに登録する相手を選択▶(メニュー)▶「0 短縮ダイヤル設定」を押す**

短縮ダイヤル一覧画面が表示されます。

■ **短縮ダイヤルを解除する：短縮ダイヤルを解除する相手を選択▶(メニュー)▶「0 短縮ダイヤル解除」を押す**

短縮ダイヤルを解除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとFOMA端末電話帳の検索結果一覧に戻ります。

3 **設定する短縮ダイヤルNoを選択▶(決定)を押す**

短縮ダイヤルに
設定しました。
電話帳Noを
変更しました
2:携帯あき子
(決定)

変更後の電話帳No

- 設定済みの短縮ダイヤルへ上書きすると、上書きされた電話帳は10～999までの使用されていない最も小さい電話帳Noに変更されます。

4 **(決定)を押す**

FOMA端末電話帳の検索結果一覧に戻ります。

お知らせ

- シークレットモード中でない場合、シークレット属性を設定した電話帳の名前は、短縮ダイヤル一覧画面では「＊」で表示されます。
- 10～999までの電話帳Noがすべて使用されている場合は、短縮ダイヤルを解除できません。

ツータッチダイヤル

少ないボタン操作で電話をかける

短縮ダイヤルを設定した相手に、ダイヤルボタンと(発信)の2つのボタンを押すだけで電話をかけることができます。

〈例〉電話帳No.2の電話番号に電話をかける

1 **待受画面で電話帳No（(2)）を入力▶(発信)を押す**

電話がかかります。

電話帳保存お知らせ設定

microSDカードへの保存を定期的にお知らせする

FOMA端末電話帳の登録や修正を行ってから一度もmicroSDカードに保存していない場合、毎月1日0時00分にFOMA端末電話帳のすべての電話帳をmicroSDカードに保存するように待受画面にマークを表示してお知らせします。

- 1日0時00分に電源が入っていない場合は、電源を入れたときに、お知らせ情報（→p.24）とが表示されます。
- 次の場合は、本機能を設定していてもお知らせ情報とが表示されません。
  - microSDカードが挿入されていないとき
  - 個人情報表示制限中※
  - ダイヤル発信制限中※
  - オールロック中※
  - おまかせロック中※

  ※ 制限やロックを解除すると、お知らせ情報とが表示されます。
- 開閉ロック中にお知らせ情報とが表示されたときは、開閉ロックを解除してから操作します。
- FOMA端末電話帳を手動でmicroSDカードに保存できます。→p.272

保存のお知らせの設定

1 待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「6microSDカードを使う」▶「1電話帳の保存をお知らせする」を押す

保存のお知らせを通知するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1通知する」または「2通知しない」を押す

保存のお知らせを設定／解除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

保存のお知らせが表示されたとき

保存のお知らせが表示されたときに続けて保存の操作を行うと、FOMA端末電話帳のすべての電話帳がmicroSDカードに保存されます。

1 待受画面に保存のお知らせが表示される

お知らせ情報と

2 (決定)▶「1保存する」▶端末暗証番号を入力▶(決定)▶「1開始する」を押す

保存した旨のメッセージが表示されます。

(決定)を押すと待受画面に戻ります。

- 中止するときは保存中に(決定)を押します。

音／画面／照明設定

音の設定

画面／照明の設定

着信音設定

携帯電話から鳴る着信音を変える

電話が着信したときの着信音の設定〈電話着信音〉

電話がかかってきたときの着信音を設定します。

1 待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「2電話着信時の設定を行う」▶「1電話着信時の着信音を選ぶ」を押す

着信音の設定画面が表示されます。

2 「1着信音設定」▶「1鳴らす」を押す

着信音の種類の選択画面が表示されます。

- 「2鳴らさない」：着信音を鳴らさないように設定します。操作6に進みます。

3 「1メロディ」～「3名前の読み上げ」のいずれかを押す

- 「1メロディ」「2着モーション」：フォルダまたはアルバムの選択画面が表示されます。
- 「3名前の読み上げ」：着信音の設定画面に戻ります。操作6に進みます。
  名前の読み上げについて→p.92

4 フォルダまたはアルバムを選択▶(決定)を押す

一覧画面が表示されます。

- microSDカード内のデータは設定できません。
- 「ｉモードで探す」を選択して(決定)▶「1接続する」を押すと、ｉモードサイトからメロディまたはｉモーションを探せます。→p.214、p.222

5 着信音を選択▶(決定)を押す

着信音の設定画面に戻ります。

■ **メロディを再生する：再生するメロディを選択▶(電話帳)を押す**

- 再生中は次の操作ができます。
  (左)(右)／(+)(−)：音量調節
  (上)(下)：前後のメロディ再生
  (戻るch)：停止
- 再生中に(決定)を押すと再生していた着信音が選択され、着信音の設定画面に戻ります。

■ **動画／ｉモーションを再生する：再生する動画／ｉモーションを選択▶(メニュー)を押す**

再生が終了すると動画／ｉモーションの一覧に戻ります。

- 再生中は次の操作ができます。
  (決定)：一時停止／再生
  (上)(下)／(+)(−)：音量調節
  (電話帳)：停止
  (左)／(右)：巻き戻し再生／早送り再生

6 (電話帳)を押す

着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

電話着信音の優先順位

発信者番号が通知された場合は、次の優先順位で鳴ります。

① ワンタッチダイヤルの電話着信音の設定
② 電話帳のグループ専用の電話着信音の設定
③ 本機能の設定

「名前の読み上げ」について

名前の読み上げを設定すると、電話帳に電話番号やメールアドレスを登録している相手からの着信時や受信時に、専用メロディが鳴り、「XXXさんから電話です」または「XXXさんからメールです」（XXXは登録しているフリガナまたは名前）と音声でお知らせします。

- 発信者番号非通知の場合や、電話帳に登録していない相手からの着信や受信時には、専用メロディのみが鳴ります。

- 音声読み上げの動作を「読み上げなし」に設定しても、名前が読み上げられます。
- 名前が読み上げられるときの音量は電話着信音量またはメール・メッセージ受信音量に、声質と速さは音声読み上げの設定に従います。

お知らせ

- 音声のない動画／ｉモーション、または情報の着信音設定（→p.257）が「設定不可」になっている動画／ｉモーションは、着信音の着モーションに設定できません。
- 相手が発信者番号を通知してこなかった場合、電話の着信音は非通知理由別着信設定（→p.117）の設定に従います。

メールやメッセージR/Fを受信したときの着信音の設定〈メール・メッセージ着信音〉

メール（ｉモードメール、SMS）やメッセージR/Fを受信したときの着信音を設定します。

〈例〉メールを受信したときの着信音を設定する

1 待受画面でメニュー▶「9設定を行う」▶「3メール・メッセージの受信設定を行う」▶「1メール・メッセージ受信時の音を選ぶ」を押す

メール・メッセージ受信音のメニュー画面が表示されます。

2 「1メール受信時の音を選ぶ」▶「1メール着信音設定」を押す

着信音を鳴らすかどうかの確認画面が表示されます。

■ **メッセージ着信音を設定する：「2メッセージ受信時の音を選ぶ」▶「1メッセージR」または「2メッセージF」▶「1着信音設定」を押す**

3 「1鳴らす」を押す

着信音の種類の選択画面が表示されます。

- 「2鳴らさない」：着信音を鳴らさないように設定します。操作7に進みます。

4 「1メロディ」～「3名前の読み上げ」のいずれかを押す

- 「1メロディ」「2着モーション」：フォルダまたはアルバムの選択画面が表示されます。
- 「3名前の読み上げ」：着信音を鳴らす回数を設定する画面が表示されます。操作6に進みます。
  名前の読み上げについて→p.92
- 操作2で「2メッセージ受信時の音を選ぶ」を押した場合は、「3名前の読み上げ」は表示されません。

5 フォルダまたはアルバムを選択▶決定▶着信音を選択▶決定を押す

着信音を鳴らす時間を設定する画面が表示されます。

- microSDカード内のデータは設定できません。
- 「ｉモードで探す」を選択して決定▶「1接続する」を押すと、ｉモードサイトからメロディまたはｉモーションを探せます。→p.214、p.222
- メロディまたは動画／ｉモーションの再生方法→p.92「電話が着信したときの着信音の設定」操作5

6 鳴らす時間または鳴らす回数を入力▶決定を押す

着信音の設定画面に戻ります。

- 着信音を鳴らす時間は1～30秒の間、鳴らす回数は1～7回の間で入力します。

7 電話帳を押す

着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

メール着信音の優先順位

メールを受信したときの着信音は、次の優先順位で鳴ります。

① ワンタッチダイヤルのメール着信音の設定
② 電話帳のグループ専用のメール着信音の設定
③ 本機能の設定

音量調節

着信音や相手の声の音量を調節する

電話着信音の音量調節〈電話着信音量〉

- 着信音量は、電池残量確認時の音の音量にも反映されます。ただし、本機能を「だんだん大きく」に設定した場合は、「音量4」が設定されます。
- 自動音量設定を「大きくする」に設定すると、周囲の状態に合わせて着信音やバイブレータを自動で切り替えます（おまかせでか着信）。

1 待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「2電話着信時の設定を行う」▶「2電話着信時の音量を調節する」を押す

呼出音量の設定画面が表示されます。

2 「1呼出音量」を押す

音量の調節画面が表示されます。

3 (メール)(下)(左)(右)または(+)(−)を押して音量を調節▶(決定)を押す

呼出音量の設定画面に戻ります。

- 音量1のときに(下)／(左)／(−)：「消音」に設定します。
- 「消音」に設定した場合は操作6に進みます。

4 「2自動音量設定」を押す

呼出音量を自動で大きくするかどうかの確認画面が表示されます。

5 「1大きくする」または「2設定音量のまま」を押す

呼出音量の設定画面に戻ります。

- 「1大きくする」に設定すると、周囲が騒がしい場合や、歩数計を「利用する」に設定しているときに揺れなどが多い場合、着信音量を大きくします。さらに呼出音が鳴り続けるとバイブレータが振動し、電話着信音の設定に関わらず「でか着信音」になります。

6 (電話帳)を押す

音量を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 着信音量を消音に設定すると、待受画面にS（電話のバイブレータを設定中はSV）が表示されます。ただし、マナーモード中は(マナー)が表示されます。
- 着信音量を消音に設定しても、電話がかかってきたときにディスプレイのメッセージ表示の他に、バイブレータの振動や背面ディスプレイのメッセージ表示でお知らせするように設定できます。
→p.95「着信を振動で知らせる」、p.99「着信表示の設定」

メールやメッセージR/F受信音の音量調節〈メール・メッセージ受信音量〉

1 待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「3メール・メッセージの受信設定を行う」▶「2メール・メッセージ受信音量を調節する」を押す

音量の調節画面が表示されます。

2 (メール)(下)(左)(右)または(+)(−)を押して音量を調節▶(決定)を押す

音量を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

- 音量1のときに(下)／(左)／(−)：「消音」に設定します。

音／画面／照明設定

相手の声の音量調節〈受話音量〉

- 受話音量は、ボタン確認音、伝言メモ、通話メモの再生音量にも反映されます。
- 通話中の音量設定→p.61

1 待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「4相手の声の音量を調節する」を押す

音量の調節画面が表示されます。

2 (上)(下)(左)(右)または(+)(−)を押して音量を調節▶(決定)を押す

音量を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

バイブレータ設定

着信を振動で知らせる

- バイブレータ動作時にFOMA端末が机の上などにあると、振動が原因で落下するおそれがあります。
- 通話中に着信や受信があった場合は振動しません。

電話が着信したときの振動パターンの設定〈電話着信振動〉

電話がかかってきたときの振動を設定します。

1 待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「2電話着信時の設定を行う」▶「3電話着信時の振動を選ぶ」を押す

振動の選択画面が表示されます。

- (上)(下)を押してパターンを選択すると、選択されているパターンで約60秒間振動します。

2 「1パターンA」～「5振動させない」のいずれかを押す

振動パターンを設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 電話のバイブレータを設定すると、待受画面にV（電話着信音量を消音に設定中はSV）が表示されます。ただし、マナーモード中は(マナー)が表示されます。

メールやメッセージR/Fを受信したときの振動パターンの設定〈メール・メッセージ受信振動〉

メール（iモードメール、SMS）やメッセージR/Fを受信したときの振動を設定します。

〈例〉メールを受信したときの振動パターンを設定する

1 待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「3メール・メッセージの受信設定を行う」▶「3メール・メッセージ受信時の振動を選ぶ」を押す

メール・メッセージ受信振動のメニュー画面が表示されます。

2 「1メール受信時の振動を選ぶ」を押す

振動の選択画面が表示されます。

■ メッセージ受信振動を設定する：「2メッセージ受信時の振動を選ぶ」▶「1メッセージR」または「2メッセージF」を押す

- (上)(下)を押してパターンを選択すると、選択されているパターンで約60秒間振動します。

3 「1パターンA」～「5振動させない」のいずれかを押す

振動パターンを設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

メロディコール設定

電話の呼出音を変更する

FOMA端末に電話をかけてきた相手に聞こえる呼出音をメロディコール設定サイトで変更します。

- 設定サイトはパケット通信料無料です。ただし、IPサイト、iモードメニューサイト、無料楽曲コーナーに接続した場合はパケット通信料がかかります。

1 **待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「4電話・電話帳の詳細を設定する」▶「9メロディコールを設定する」を押す**

iモードサイトに接続するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1接続する」を押す**

iモードサイトに接続されます。

- 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

ボタン確認音

ボタンを押したときの音を鳴らすかどうかを設定する

ボタンを押したときに、スピーカーから音を鳴らすかどうかを設定します。

- 電池残量を確認したときの音、バーコード読み取りの確認音、赤外線通信やパソコンと接続したデータ転送の通信完了音を鳴らすかどうかも本設定に従います。

1 **待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「5ボタンを押した時の音を設定する」を押す**

ボタンを押したときに音を鳴らすかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1鳴らす」または「2鳴らさない」を押す**

ボタン確認音を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

充電確認音

充電時の音を鳴らすかどうかを設定する

充電の開始／終了時に鳴る充電確認音を設定します。

- マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中、通話中、通信中は充電確認音は鳴りません。

1 **待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「5音を設定する」▶「1充電開始と完了を音で通知する」を押す**

充電の開始と完了を音で知らせるかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1知らせる」または「2知らせない」を押す**

充電確認音を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

通話品質アラーム

通話が途切れそうなときのアラームを設定する

電話の通話状態が悪く、途中で通話が途切れるおそれのある場合、直前にアラームを鳴らしてお知らせします。

- 急に通話状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまう場合があります。

1 **待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「5音を設定する」▶「4通話状態が悪い時の音を選ぶ」を押す**

アラーム音の選択画面が表示されます。

2 **「1高音で鳴らす」～「3鳴らさない」のいずれかを押す**

アラーム音を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

再接続アラーム

途切れた電話を再接続するときのアラームを設定する

トンネルやビルの陰などで電波状態が悪くて途切れた通話を、電波状態がよくなったときに再接続するときのアラームを設定します。

- 電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。
- 利用状態や電波状態により、再接続されるまでの時間は異なります。目安は最長10秒間です。
- 再接続されるまでの時間（最長10秒間）も通話料金がかかります。
- 利用状態や電波状態により、アラームが鳴らずに通話が切れてしまう場合があります。

1 **待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「5音を設定する」▶「5再接続した時の音を選ぶ」を押す**

アラーム音の選択画面が表示されます。

2 **「1高音で鳴らす」～「3鳴らさない」のいずれかを押す**

アラーム音を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

マナーモード

電話から鳴る音を消す

着信を振動で知らせたり、ボタンを押したときの確認音を消したりして、周囲の迷惑にならないようにする機能です。

- マナーモード中でも写真やビデオ撮影時の撮影確認音（シャッター音）、音声録音時の録音確認音は鳴ります。

マナーモードの設定

1 **待受画面で(#マナー)を1秒以上押す**

バイブレータが振動して、マナーモードを設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと待受画面に戻ります。

- 本機能を設定中は待受画面には が、FOMA端末を閉じているときに背面ディスプレイには が表示されます。

マナーモードの解除

1 **マナーモード中に待受画面で(#マナー)を1秒以上押す**

マナーモードを解除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと待受画面に戻ります。

マナーモードを設定すると

- 次の音がスピーカーから鳴りません。
  - 電話および64Kデータ通信の着信音
  - メールやメッセージR/Fの着信音
  - お知らせタイマー音、目覚まし音、予定の通知音声
  - 電池残量確認時の音
  - 待受中の電池残量警告音
  - ボタン確認音
  - 充電確認音
  - 音声読み上げの音声※
  - バーコード読み取りの確認音
  - 音声入力メールのソフトの発信音

  ※ マナーモード中の読み上げ設定を「読み上げる」に設定すると受話口から読み上げます。→p.131
- 着信時（通話中を除く）、お知らせタイマーや目覚ましの時刻、予定を通知する日時には、バイブレータが「パターンA」で振動します。
- オートスピーカーホン機能は動作しません。
- メロディや動画／iモーションを再生しようとすると、再生するかどうかの確認画面が表示されます。また、自動演奏設定を「自動演奏する」に設定していても、iモードメールやメッセージR/Fを表示したときに、添付のメロディを自動的に演奏しません。

待受画面設定

待受画面の表示を変える

待受画面の画像を変更したり、カレンダー表示に切り替えたりします。

1 待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「1画面の設定を行う」▶「1待受画面の表示を設定する」を押す

待受画面の設定の選択画面が表示されます。

2 「1画像を表示」を押す

写真・画像一覧が表示されます。

■ **カレンダーを表示する：「2カレンダーを表示」▶「1設定する」を押す**
カレンダーを設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

■ **画像やカレンダーを表示しない：「3表示なし」▶「1解除する」を押す**
待受表示を解除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

3 アルバムを選択▶(決定)▶画像を選択▶(決定)を押す

待受画像を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

- 画像を選択して(メニュー)を押すと画像を確認できます。
- 画像一覧で(電話帳)を押すと画像表示とリスト表示が切り替わります。

4 「1設定する」を押す

画像を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- アニメーションを設定すると、FOMA端末を開いたときや待受画面に戻ったとき、待受画面で(発信)を押したときに再生します。再生中に(発信)を押すと一時停止／再生します。
- アニメーションは一定時間再生した後に停止します。時計として機能するFlash画像を設定している場合に時計が止まった時は、Flash画像の再生を行うと再開できます。
- ディスプレイより大きいサイズの画像は縮小して表示されます。
- 画像の形式によっては、横縦（または縦横）が640×480（ドット）を超えるサイズの画像を待受画像に設定できない場合があります。
- カレンダーを設定すると、次のような動作になります。
  - 予定を登録している日付は左上に◤が表示されます。
  - お知らせ情報や新着情報が表示されると、待受画面にカレンダーは表示されません。情報を確認すると、表示されます。
  - ｉチャネルのテロップが表示されているときは、カレンダーが小さく表示されます。

背面ディスプレイ設定

背面ディスプレイの時計表示や着信表示、照明を設定する

- FOMA端末を開いているときは、背面ディスプレイに何も表示されません。

時計表示の設定

1 待受画面でメニュー▶「9設定を行う」▶「1画面の設定を行う」▶「4背面画面の表示を設定する」▶「1背面画面の時計表示を設定する」を押す

時計表示の選択画面が表示されます。
- 電話帳を押すと画面例を確認できます。もう一度電話帳を押すと選択画面に戻ります。

2 「1読上ボタンで切替」～「4アナログ時計」のいずれかを押す

背面の時計表示を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

着信表示の設定

1 待受画面でメニュー▶「9設定を行う」▶「1画面の設定を行う」▶「4背面画面の表示を設定する」▶「2背面画面の着信表示を設定する」を押す

相手の情報を表示するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1表示する」または「2表示しない」を押す

背面の相手表示を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。
- 「1表示する」：着信や受信があったときに、相手の電話番号、名前、発信者番号非通知理由、メールアドレスを表示します。
- 「2表示しない」：「電話です」などの状態のみを表示します。

照明の設定

- 「点灯する」に設定すると、FOMA端末を持ち上げて傾けただけで背面ディスプレイの照明が点灯します（おまかせバックライト）。

1 待受画面でメニュー▶「9設定を行う」▶「1画面の設定を行う」▶「4背面画面の表示を設定する」▶「3背面画面の照明を設定する」を押す

背面の照明を点灯するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1点灯する」または「2点灯しない」を押す

背面の照明を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 背面画面の照明を「点灯する」に設定しても、歩行中および振動の多い場所では、背面ディスプレイの照明は点灯しません。また、静止状態になってからの約15秒間は、FOMA端末を持ち上げて傾けても背面ディスプレイの照明は点灯しません。

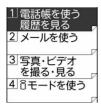
メニュー形式選択

メニューの形式を選ぶ

メニューのデザインを変更します。

- 次の3種類から選択できます。

＜リスト＞

＜タイル（アイコン）＞

＜タイル（文字）＞

- リストとタイルでメニューから選択できる機能は同じですが、表示されるメニュー項目名は異なります。

1 **待受画面で[メニュー]▶「9設定を行う」▶「1画面の設定を行う」▶「2メニュー形式と配色を設定する」▶「1メニュー形式」を押す**

メニュー形式の選択画面が表示されます。

- [電話帳]を押すと画面例を確認できます。もう一度[電話帳]を押すと選択画面に戻ります。

2 **「1リスト」～「3タイル（文字）」▶[電話帳]を押す**

メニュー形式・画面の配色を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

画面配色設定

画面のカラー配色を変更する

画面の配色を変更します。

1 **待受画面で[メニュー]▶「9設定を行う」▶「1画面の設定を行う」▶「2メニュー形式と配色を設定する」▶「2画面の配色」を押す**

画面の配色の選択画面が表示されます。

- [上][下]を押して配色の種類を選択すると、選択されている配色で画面が表示されます。

2 **「1青」～「3白黒反転」▶[電話帳]を押す**

メニュー形式・画面の配色を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

照明設定

ディスプレイの照明を設定する

ディスプレイの照明の明るさを設定します。

- 照明の点灯時間は約1分間です。

1 **待受画面で[メニュー]▶「9設定を行う」▶「1画面の設定を行う」▶「3画面の明るさを設定する」を押す**

画面の明るさの選択画面が表示されます。

- [上][下]を押して明るさを選択すると、選択されている明るさで照明が点灯します。

2 **「1自動で調整」～「5さらに暗く設定」のいずれかを押す**

明るさを設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 「自動で調整」に設定すると、周囲の明るさによってボタン部分も点灯します（それ以外の設定では常に点灯）。このときの明るさは画面の明るさの設定に関わらず一定です。

新着お知らせ設定

新着情報を背面ディスプレイの照明で知らせる

FOMA端末を閉じている場合、不在着信や新着メールなどの新着情報があるときに背面ディスプレイの照明でお知らせします。

1 待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「6新着お知らせを設定する」を押す

背面画面の光で通知するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1通知する」または「2通知しない」を押す

新着お知らせを設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 新着情報がある場合は、背面ディスプレイの照明が約6秒間隔で点滅します。最新の新着情報から約6時間経過したときや、待受画面の新着情報（「着信あり」、「メールあり」など）を消去したときは、情報を確認していなくても背面ディスプレイの照明の点滅は停止します。

時計表示設定

時計の表示を設定する

待受画面の時計表示の有無や大きさ、表示形式（24時間／12時間）を設定します。

4/17(金)
10:00

<特大で表示>

4/17(金)
10:00

<大きく表示>

4/17(金)10:00

<小さく表示>

1 待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「8時計を設定する」▶「2待受画面の時計を設定する」を押す

時計表示の設定画面が表示されます。

2 「1待受時計表示」または「2表示形式」を押す

■ **待受時計表示を設定する：「1待受時計表示」▶「1特大で表示」～「4表示しない」のいずれかを押す**

時計表示の設定画面に戻ります。

■ **表示形式を設定する：「2表示形式」▶「124時間形式」または「212時間形式」を押す**

時計表示の設定画面に戻ります。

3 (電話帳)を押す

時計表示を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 表示形式の設定は背面ディスプレイにも反映されます。
- 次の場合は、待受時計表示を「特大で表示」または「大きく表示」に設定していても「小さく表示」で表示されます。
  - 待受カレンダーを設定しているとき
  - お知らせ情報や新着情報が表示されているとき

あんしん設定

暗証番号について

携帯電話の操作や機能を制限します

発着信や送受信を制限します

その他の「あんしん設定」について

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要な場合があります。暗証番号には、各種端末操作用の端末暗証番号の他、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、ご契約者本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とFOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号

FOMA端末には、設定や解除の際に端末暗証番号の入力が必要な機能があります。お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→p.105

- 端末暗証番号入力画面で誤った端末暗証番号を連続5回入力すると、電源が自動的に切れます。誤った端末暗証番号を入力した累積回数は、正しい端末暗証番号を入力したり、新たに端末暗証番号入力画面を表示したりするとクリアされます。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。
なお、ｉモードからは、ｉMenu→「お客様サポート」→「各種設定（確認・変更・利用）」→「ネットワーク暗証番号変更」からお客様ご自身で変更ができます。

- 「My docomo」「お客様サポート」については、取扱説明書裏面の裏側をご覧ください。

ｉモードパスワード

マイメニューの登録／削除、メッセージサービス、ｉモード有料サービスのお申し込み／解約などを行う際には、4桁の「ｉモードパスワード」が必要です。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→p.205
この他にも各IP（情報サービス提供者）が独自にパスワードを設定している場合があります。

PIN1コード／PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→p.107

PIN1コードは、第三者によるFOMA端末の無断使用を防ぐため、FOMAカードを取り付けるたび、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作ができます。

PIN2コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請、積算通話料金リセットを行うときなどに使用する4～8桁の暗証番号（コード）です。

- 別のFOMA端末で利用していたFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前に設定されたPIN1コード／PIN2コードをご利用ください。設定を変更されていない場合は、「0000」となります。

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための数字8桁の番号です。お客様ご自身では変更することができません。

- PINロック解除コードの入力を連続10回間違えると、FOMAカードがロックされます。

PIN1／PIN2コード入力

連続3回間違い

PINロック解除コード入力

OK

連続10回間違い

新PIN1／PIN2コード設定可能

ドコモショップ窓口にお問い合わせください

お知らせ

- いたずら防止のため、端末暗証番号、iモードパスワード、PIN1コード、PIN2コードはご契約後にお好きな番号に変更してください。

端末暗証番号変更

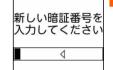
端末暗証番号を変更する

お買い上げ時の端末暗証番号や、現在設定している端末暗証番号を変更します。

- 入力した端末暗証番号は「*」で表示されます。

1 **待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「8操作の制限をする」▶「7暗証番号を変更する」を押す**

現在の端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **現在の端末暗証番号を入力▶(決定)を押す**

3 **新しい端末暗証番号を入力▶(決定)を押す**

確認のため新しい
暗証番号を再度
入力してください

4 **操作3で入力した新しい端末暗証番号をもう一度入力▶(決定)を押す**

暗証番号を変更した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

PINコードを設定する

- PINコードの設定はFOMAカードに記録されます。FOMAカードを別のFOMA端末に差し替えてお使いになる場合は、現在の設定のままご利用になれます。
- PIN1コード、PIN2コードには、4～8桁の数字を設定します。

PIN1コード使用

FOMA端末の電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定します。

- 入力した端末暗証番号またはPIN1コードは「*」で表示されます。

1 待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「8操作の制限をする」▶「8FOMAカードのPINコードを設定する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力▶(決定)を押す

FOMAカードの
PINコードを
設定してください
1PIN1コード変更
2PIN2コード変更
3PIN1コード使用

3 「3PIN1コード使用」を押す

PIN1コードを使用するかどうかの確認画面が表示されます。

4 「1使用する」または「2使用しない」を押す

PIN1コードを
入力してください
残り 3回
入力できます

5 PIN1コードを入力▶(決定)を押す

PIN1コードを使用する／しない旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

- 現在の設定を変更しない場合、PIN1コードの入力画面は表示されません。
- ご契約時のPIN1コードは「0000」に設定されています。

PIN1コード使用を設定すると

FOMA端末の電源を入れると、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力すると、待受画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、すべての操作ができません。

- 入力したPIN1コードは「*」で表示されます。

1 FOMA端末の電源が入っていない状態で(電源)を2秒以上押す

電源が入ります。

PIN1コードを
入力してください
残り 3回
入力できます

2 PIN1コードを入力▶(決定)を押す

PIN1コードが認識された旨のメッセージが表示され、待受画面が表示されます。

お知らせ

- PIN1コードの入力を連続3回間違えると、PIN1コードが認識できなかった旨のメッセージが表示され、PIN1コードがロックされます。(決定)を押すとPINロック解除コードの入力画面が表示されます。→p.108
- 通知時刻自動電源ON設定により自動的に電源が入ると、PIN1コード入力画面よりも優先して目覚ましや予定の通知が動作します。(電源)を押すと、PIN1コードの入力画面が表示されます。

PIN1コード／PIN2コード変更

- PIN1コードを変更するときは、あらかじめPIN1コードを使用するように設定する必要があります。→p.106
- PIN2コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請、積算通話料金リセットを行うときなどに使用します。→p.219
- PIN1コード、PIN2コード変更の操作方法は同様です。
- 入力した端末暗証番号またはPIN1コード、PIN2コードは「*」で表示されます。

〈例〉PIN1コードを変更する

1　待受画面で メニュー ▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「8操作の制限をする」▶「8FOMAカードのPINコードを設定する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2　端末暗証番号を入力▶ 決定 を押す

FOMAカードのPINコードを設定する旨のメッセージが表示されます。

3　「1PIN1コード変更」を押す

現在の
PIN1コードを
入力してください
残り 3回
入力できます

4　現在のPIN1コードを入力▶ 決定 を押す

新しい
PIN1コードを
入力してください

5　新しいPIN1コードを入力▶ 決定 を押す

6　操作5で入力した新しいPIN1コードをもう一度入力▶ 決定 を押す

PIN1コードを変更した旨のメッセージが表示されます。決定 を押すとメニュー画面に戻ります。

- 現在のPIN1コードの入力に失敗すると、PIN1コードが認識できなかった旨のメッセージが表示されます。決定 を押して操作4からやり直してください。
- 操作5で入力した新しいPIN1コードと一致しない場合、新しいPIN1コードが一致しない旨のメッセージが表示されます。決定 を押して操作5からやり直してください。

お知らせ

- 現在のPIN1コード／PIN2コードの入力を連続3回間違えると、PIN1コード／PIN2コードが認識できなかった旨のメッセージが表示され、決定 を押すとPIN1コード／PIN2コードがロックされます。決定 を押すとPINロック解除コード入力画面が表示されます。→p.108
- PIN2コードを連続3回間違えてPIN2コードがロックされた場合でも、電話の発着信やメールの送受信などはできますが、PIN1コードを連続3回間違えてPIN1コードがロックされた場合には、それらの操作はできなくなります。

PINロックを解除する

PINコード入力画面でPINコードの入力を連続3回間違えると、PINコードがロックされます。その場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

- PIN1コード、PIN2コードのPINロック解除の操作方法は同様です。
- 入力したPINロック解除コード、PIN1コード、PIN2コードは「*」で表示されます。

〈例〉PIN1コードのロックを解除する

1 **PIN1コードがロックされた旨の確認画面で決定を押す**

PINロック
解除コードを
入力してください
残り10回
入力できます

2 **PINロック解除コードを入力▶決定を押す**

新しい
PIN1コードを
入力してください

3 **新しいPIN1コードを入力▶決定を押す**

確認のため新しい
PIN1コードを再度
入力してください

4 **操作3で入力したPIN1コードをもう一度入力▶決定を押す**

PINロック解除コードが認識された旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

- PINロック解除コードの入力に失敗すると、PINロック解除コードが認識できなかった旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作2からやり直してください。
- 操作3で入力した新しいPIN1コードと一致しない場合、新しいPIN1コードが一致しない旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作3からやり直してください。

オールロック

他の人が使用できないようにする

オールロック中は、各機能のメニュー操作などをできないようにして、他人が不正に使用するのを防げます。

オールロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、待受画面で緊急通報番号を入力して[を押します。

※端末暗証番号入力画面で入力した緊急通報番号は「*」で表示されます。

- FOMAカードやmicroSDカードにはロックはかかりません。

オールロックの設定

1 **待受画面でメニュー▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「8操作の制限をする」▶「2全ての操作を制限する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力▶決定を押す

全ての操作を制限した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと待受画面に戻ります。待受画面に「全ての操作を制限しています」と表示されます。

- オールロック中は、FOMA端末を閉じているときにまたは+−を押すと、背面ディスプレイに「オールロック中」と表示されます。

オールロックの解除

1 オールロック中に待受画面で端末暗証番号を入力▶決定を押す

全ての操作の制限を解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- オールロック中の待受画面には、画像やカレンダーを表示するように設定していても、お買い上げ時の画像が表示されます。
- 電話帳指定着信拒否／許可の設定に関わらず着信します。
- 開閉ロックを「設定する」に設定していても、オールロックが優先されます。
- オールロック中は、目覚ましや予定の通知は動作しません。
- 次の機能は利用できます。
  - 電話を受ける操作※1、緊急通報（110番、119番、118番）への発信
  - 電話帳お預かりサービス（ケータイデータお預かりサービス）の自動更新
  - ｉモードメールやSMS、メッセージR/Fの受信※2
  - おまかせロックの起動
  - エリアメールの受信
  - ソフトウェア更新
  - パターンデータの自動更新

※1 電話帳に登録している相手の名前は表示されず、電話番号が表示されます。また、着信時の着信画像や着信音などはお買い上げ時の状態に戻ります。オールロックを解除すると着信履歴に表示されます。

※2 着信時や受信時の動作はしません。

おまかせロックを利用する

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにお電話でご連絡いただくだけで、電話帳などの個人データにロックをかけることができます。お客様の大切なプライバシーを守ります。また、お申し込み時に圏外などでおまかせロックがかからない場合で、1年以内に通信が可能になった場合は自動的にロックがかかります。ただし、解約・利用休止・電話番号変更・紛失時などで新しいFOMAカードの発行（番号を指定してロックした場合のみ）を行った場合は、1年以内であっても自動的にロックはかかりません。

お客様からのお電話などによりロックを解除することができます。

※ ドコモプレミアクラブ会員の場合、手数料無料で何回でもご利用いただけます。ドコモプレミアクラブ未入会の場合、有料のサービスとなります。（ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。）

おまかせロックの設定／解除
0120-524-360
受付時間　24時間（年中無休）
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。
※パソコンなどでMy docomoのサイトからも設定／解除ができます。

- おまかせロックの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

おまかせロックを起動すると

待受画面に「おまかせロック中です」と表示されます。

- おまかせロック中は、FOMA端末を閉じているときにまたは+−を押すと、背面ディスプレイに「おまかせロック中」と表示されます。

- 電源を入れる／切る操作や、電話を受ける操作以外のボタン操作ができなくなります。ただし、FOMAカードやmicroSDカードにはロックはかかりません。

お知らせ

- 電話の着信はしますが、電話帳に登録している相手の名前は表示されず、電話番号が表示されます。また、着信時の着信画像や着信音などは、お買い上げ時の状態に戻ります。おまかせロックを解除すると設定は元の状態に戻ります。
- 受信したメールは、ｉモードセンターに保存されます。
- 他の機能が起動中の場合は、起動中の各機能を終了してロックをかけます。
- 各種ロック機能よりも、おまかせロックが優先されます。
- FOMA端末に電源が入っていない場合や圏外、セルフモード中はロックおよびロック解除はできません。その他お客様のご利用方法などにより、ロックがかからない場合があります。
- 電源を入れる／切る操作はできますが、電源を切ってもロックは解除されません。
- デュアルネットワークサービスをご契約のお客様が、movaサービスをご利用中の場合はおまかせロックがかかりません。
- ご契約者本人とFOMA端末を所持しているお客様が異なる場合でも、ご契約者本人からのお申し出がある場合は、おまかせロックがかかります。
- おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけたときと同じ電話番号のFOMAカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。万が一解除できない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

セルフモード

発信や着信ができないようにする

電話やｉモード、メール、赤外線通信などの通信を必要とするすべての機能を利用できないようにします。

- 緊急通報（110番、119番、118番）を行うと、発信後に本機能は解除されます。

1 **待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「8操作の制限をする」▶「3セルフモードを設定する」を押す**

セルフモードを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1設定する」を押す**

セルフモードを設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

- 「2解除する」：セルフモードを解除します。
- 本機能を設定中は待受画面にはSELFが、FOMA端末を閉じているときに背面ディスプレイにはSELFが表示されます。

お知らせ

- 次の機能が利用できません。
  - 電話の発着信
  - ボイスメニュー※
  - ｉモード、メールの送受信
  - 赤外線通信
  - パソコンとつないだパケット通信、64Kデータ通信

  ※ 本機能を設定中に使用できない機能は、ボイスメニューでの呼び出しはできません。
- 本機能を使用中は、電話をかけてきた相手には電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスは利用できますが、不在着信として記録されません。また、本機能を解除しても留守番電話サービスセンターに伝言メッセージがあることをお知らせするアイコンは表示されません。

・本機能設定中に受信したｉモードメールやメッセージR/Fは、ｉモードセンターに保管されます。受信する場合は本機能を解除してからｉモード問合せを行ってください。

シークレットモード

シークレット設定されている情報を表示する

本機能を設定すると、シークレット属性を設定している電話帳や予定表を表示できます。また、シークレット属性を設定したり、解除したりする場合にもシークレットモードを設定する必要があります。

シークレットモードの設定

1 待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「8操作の制限をする」▶「4シークレットモードに設定する」を押す

シークレットモードを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1設定する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

・「2解除する」：シークレットモードを解除します。

3 端末暗証番号を入力▶(決定)を押す

シークレットモードを設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

・本機能を使用中は、ディスプレイ上部にが表示されます。

シークレットモードの解除

1 シークレットモード中に待受画面で(終話)を押す

シークレットモードが解除されます。

・シークレットモード解除後、シークレット属性を設定している電話帳や予定表は表示されなくなります。

お知らせ

・電話帳にシークレット属性を設定する→p.82

・予定にシークレット属性を設定する→p.300

・本機能設定中に電源を切ると、本機能は解除されます。

履歴表示制限

リダイヤル・着信履歴などの表示を制限する

リダイヤルや着信履歴などの表示を制限して、他人に発着信情報を知られないようにします。

1 待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「8操作の制限をする」▶「5電話の履歴表示を制限する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力▶(決定)を押す

着信履歴／リダイヤル／伝言メモ／通話音声メモの表示を制限するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1制限する」を押す

履歴表示を制限した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

・「2制限しない」：履歴表示の制限を解除します。

お知らせ

・次の機能が利用できません。
  - リダイヤル／着信履歴
  - 伝言メモ、通話メモ
  - ボイスメニュー※

  ※本機能を設定中に使用できない機能は、ボイスメニューでの呼び出しはできません。

・本機能を「制限する」に設定しても、発着信情報はリダイヤル／着信履歴に記録されます。制限を解除すると、制限中に記録された発着信情報を表示することができます。

・本機能を「制限する」に設定しても、伝言メモまたは通話メモの録音はできます。

個人情報表示制限

電話帳やメールなどを表示しないようにする

電話帳やメールなどの個人情報の表示や改ざんを防げます。

- 登録外着信拒否中は、本機能を使用できません。→p.119
- 本機能を使用中でも発着信は記録されます。リダイヤルや着信履歴からは電話をかけることができます。

1 **待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「8操作の制限をする」▶「6個人の情報表示を制限する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **端末暗証番号を入力▶(決定)を押す**

個人の情報表示を制限するかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「1制限する」を押す**

個人の情報表示を制限した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

- 「2制限しない」：個人の情報表示の制限を解除します。
- 本機能を使用中は、待受画面に が表示されます。

個人情報の表示を制限すると

- 次の機能（すべて、または一部の設定）が利用できなくなります。ただし、FOMAカードやmicroSDカードにはロックはかかりません。
  - 個人情報
  - 伝言メモ、通話メモ
  - 電話帳
  - ワンタッチダイヤル
  - 着信音設定
  - 待受画面設定（「画像を表示」を含む）
  - 電話帳指定着信拒否／許可
  - 非通知理由別着信設定
  - 登録外着信拒否
  - 電話帳お預かりサービス（ケータイデータお預かりサービス）（自動更新を除く）
  - ボイスダイヤル、ボイスメニュー
  - ｉモード、ｉチャネル
  - メール※1、SMS※1、メッセージリクエスト（メッセージR）／メッセージフリー（メッセージF）※1、ｉモード問合せ、メール送受信履歴※2
  - ユーザ証明書操作
  - 音声入力メールのソフト、メモ
  - 写真（アルバムや拡大鏡、手書きメモ、バーコード読取りを含む）、ビデオ（アルバムや映像のない動画／ｉモーションの利用含む）、メロディ
  - microSDカードの利用
  - 赤外線送信／受信
  - ボイスレコーダ
  - 通知時刻自動電源ON設定
  - 目覚まし、予定表（待受カレンダーに表示される予定を含む）
  - 歩数計※3
  - イヤホンスイッチ設定※4
  - 各種設定リセット、データ一括削除
  - パソコンとつないだデータ転送

※1 自動受信はできますが、受信中および受信結果の画面表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。また、メールの設定もできません。

※2 電話帳に登録している相手の名前は表示されず、メールアドレスのみ表示されます。

※3 歩数のカウントは行いますが、その他の操作はできません。

※4 イヤホンスイッチを利用しての電話発信はできません。

お知らせ

- 本機能を使用中に制限されている機能をメニューから選択すると、個人の情報表示が制限されている旨のメッセージが表示され実行できません。サブメニューの場合は、実行できない機能はグレーなどで薄く表示され選択できません。
- 本機能を使用中は、電話帳に登録している相手から電話がかかってきても、相手の名前は表示されず、電話番号のみ表示されます。
- 本機能の対象となっている画像やメロディを待受画面や着信音などに設定していると、本機能を使用中は設定がお買い上げ時の状態に戻ります。本機能を解除すると、設定は元の状態に戻ります。ただし、「内蔵写真」「内蔵メロディ」「内蔵ビデオ」フォルダのデータを設定している場合は、本機能を使用してもお買い上げ時の状態には戻りません。

ダイヤル発信制限

ダイヤル発信を禁止する

ダイヤルボタンを押して電話をかけられない状態にします。

- ワンタッチダイヤルボタンや電話帳、リダイヤルからは電話をかけることができます。
- ダイヤル発信制限中でも、緊急通報（110番、119番、118番）はできます。

1 待受画面でメニュー▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「8操作の制限をする」▶「9ダイヤル入力での発信を制限する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力▶決定を押す

ダイヤル入力での発信を制限するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1制限する」を押す

ダイヤル入力での発信の制限を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

- 「2制限しない」：ダイヤル入力での発信の制限を解除します。
- 本機能を使用中は、待受画面にが表示されます。

ダイヤル入力での発信を制限すると

- 次の操作ができなくなります。
  - 個人情報の登録、修正
  - ダイヤル入力による発信
  - リダイヤルや着信履歴からの発信※1
  - 外部機器と接続しての発信※2
  - 電話帳の登録、修正、削除、シークレットコード入力
  - FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳間でのコピー
  - ワンタッチダイヤルの新規登録、電話帳の修正
  - ボイスメニュー※3
  - ｉモードメール／SMSの送信※4、メール送受信履歴からの送信※4
  - Phone To、Mail To、SMS To機能
  - 他の携帯電話や外部機器との電話帳と個人情報の送受信
  - microSDカード内の電話帳の参照
  - 電話帳のmicroSDカードへの保存／復元
  - ダイヤル入力操作によるネットワークサービスの利用
  - パソコンとつないだパケット通信、64Kデータ通信

※1 電話帳やワンタッチダイヤルに登録している相手への発信や送信はできます。

※2 外部機器からFOMA端末電話帳のメモリ番号を指定しての発信はできます。

※3 本機能を設定中に使用できない機能は、ボイスメニューでの呼び出しはできません。

※4 電話帳やワンタッチダイヤルを利用しての送信、または電話帳やワンタッチダイヤルに登録された相手からのメールに返信はできます。

開閉ロック

FOMA端末を閉じるたびにボタンをロックする

開閉ロックを設定すると、FOMA端末を閉じるたびに(マナー)、(+)(−)以外のボタンがロックされます。解除するたびに端末暗証番号の入力が必要なので、他人が不正にFOMA端末を使用するのを防げます。

開閉ロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、端末暗証番号入力画面または待受画面、開閉ロック中画面で緊急通報番号を入力して([ )を押します。

※ 端末暗証番号入力画面で入力した緊急通報番号は「*」で表示されます。

- FOMA端末が次の場合は、開閉ロックがかかりません。
  - 発信中※1、2、着信中※2、通話中※1、2、保留中※1、2、切断中※1、2
  - エリアメール受信中（内容表示中を含む）※2
  - メロディ再生中（添付メロディ再生中は除く）
  - 目覚まし（スヌーズ動作中を含む）、予定の通知、お知らせタイマー鳴動中（停止中、カウントダウン中を含む）
  - ソフトウェア更新中
  - microSDカードの動画／ｉモーションのアルバム再生中
  - 64Kデータ通信※2、USB接続によるデータ転送※2、赤外線によるデータ転送

  ※1 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続している場合の動作です。

  ※2 FOMA端末を閉じている状態で動作が終了した場合は、開閉ロックがかかります。

開閉ロックの設定

1 **待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「8操作の制限をする」▶「1開閉ロックを設定する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **端末暗証番号を入力▶(決定)を押す**

開閉ロックを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「1設定する」を押す**

開閉ロックを設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

- 「2解除する」：開閉ロックを解除します。

開閉ロックが起動すると

FOMA端末を閉じるたびに開閉ロックが起動し、(マナー)、(+)(−)以外のボタンがロックされます。このとき、背面ディスプレイには「開閉ロック成功」と表示され、背面ディスプレイが約4秒間点灯し、開閉ロックが起動したことをお知らせします。また、FOMA端末を閉じても開閉ロックが起動しなかったときは、背面ディスプレイが約2秒間点滅し、開閉ロックが起動しなかったことをお知らせします。

- 解除するときは、FOMA端末を開いて端末暗証番号の入力を行います。次の画面が表示されたときは、端末暗証番号を直接入力するか、(メニュー)を押して端末暗証番号を入力してください。

4/17（金）
10:00
開閉ロック中です

待受画面で開閉ロックを起動した場合の待受画面

待受画面以外で開閉ロックを起動した場合の開閉ロック中画面

お知らせ

- 待受画面に画像やカレンダーを表示するように設定していても、お買い上げ時の画像が表示されます。
- 本機能を設定中に電源を入れ直すと、開閉ロックが起動します。また、おまかせロックが起動したときは、おまかせロックを解除した後に開閉ロックが起動します。
- 次の機能は利用できます。
  - 電源を入れる／切る操作
  - 電話を受ける操作、緊急通報（110番、119番、118番）への発信
  - 電話帳お預かりサービス（ケータイデータお預かりサービス）の自動更新
  - ｉモードメールやメッセージR/F、SMSの受信※
  - エリアメールの受信
  - おまかせロックの起動
  - イヤホンスイッチ発信
  - ソフトウェア更新
  - パターンデータの自動更新

※ FOMA端末を開いた状態で受信した場合は、受信中および受信結果の画面表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。

電話帳指定着信拒否／許可

指定した電話番号からの電話だけを受けない／受ける

FOMA端末電話帳から相手を選んで着信拒否／許可一覧に登録し、その相手の電話番号に対して着信拒否／許可を設定します。拒否を設定すると、登録した相手からの電話はつながりません。また、許可を設定すると、登録した相手からの電話のみつながります。相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。

- あらかじめ電話帳の登録が必要です。→p.71
- 番号通知お願いサービス（→p.324）や非通知理由別着信設定の着信動作の設定（→p.117）を併用することをおすすめします。

着信拒否／許可相手の登録

着信を拒否／許可する相手を電話帳から指定して登録します。

- 拒否／許可する相手は、それぞれ最大20件登録できます。
- FOMAカード電話帳から指定することはできません。

〈例〉着信を拒否する相手を登録する

1 **待受画面でメニュー▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「4電話・電話帳の詳細を設定する」を押す**

2 **「1着信を拒否する相手を指定する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

- 「2着信を許可する相手を指定する」：着信を許可する相手を指定します。

3 **端末暗証番号を入力▶決定を押す**

登録した相手を
着信拒否に
設定しますか？
1設定する
2解除する
3相手を登録する

1 **設定する**：着信拒否を設定します。
2 **解除する**：着信拒否を解除します。
3 **相手を登録する**：着信を拒否する相手を着信拒否登録一覧に登録します。

4 **「3相手を登録する」を押す**

着信拒否登録一覧
1: ［未登録］
2: ［未登録］
3: ［未登録］

5 **登録先の番号を選択▶決定を押す**

電話帳の検索画面が表示されます。

- 登録済みの相手を変更する：相手を選択▶メニュー▶「1編集する」を押します。
- 登録済みの相手を削除する：相手を選択▶メニュー▶「2削除する」▶「1削除する」を押します。

決定を押すと着信拒否登録一覧に戻ります。

6 **登録する相手を検索して選択▶決定を押す**

着信を拒否する相手に登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと着信拒否登録一覧に戻ります。

- 検索方法→p.76
- 戻るchを押すと続けて着信拒否／許可の設定ができます。→p.116「着信拒否／許可の設定」操作2
  登録を行っただけでは、着信拒否／許可は設定されません。必ず着信拒否／許可の設定を行ってください。

お知らせ

- シークレット属性を設定した電話帳は、着信拒否／許可登録一覧では［************］と表示されます。また、着信があっても着信拒否／許可の動作は行われません。シークレットモード中は名前が表示され、着信拒否／許可の動作が行われます。
- 登録した相手の電話帳を修正／削除した場合は、着信を拒否／許可に登録した相手のデータも修正／削除されます。

着信拒否／許可の設定

電話帳指定着信拒否または電話帳指定着信許可を設定します。

- 電話帳指定着信拒否と電話帳指定着信許可を同時に設定できません。

〈例〉着信拒否を設定する

1 **p.115の操作1～3を行う**

2 **「1設定する」を押す**

着信拒否を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

- 着信を拒否する相手を登録していない場合は、相手が登録されていない旨のメッセージが表示されます。決定を押して相手を登録してください。→p.115「着信拒否／許可相手の登録」操作4～6

お知らせ

- 電話帳指定着信拒否を設定中に拒否した電話番号の着信があった場合、または電話帳指定着信許可を設定中に許可していない電話番号の着信があった場合は、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。ただし、その場合でも着信履歴には記録されます。留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定していた場合は、各サービスが動作して、着信履歴には記録されません。
- ｉモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信されます。

非通知理由別着信設定

発信者番号のわからない電話を受けない

発信者番号が通知されない着信があった場合、通知されない理由（発信者番号非通知理由→p.59）ごとに着信動作を設定します。

1 待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「4電話・電話帳の詳細を設定する」▶「4発番号なしの着信動作を選ぶ」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力▶(決定)を押す

発番号通知がない
着信の種類を
選んでください

1非通知設定
2通知不可能
3公衆電話

1 **非通知設定**：非通知設定の着信動作を設定します。
2 **通知不可能**：通知不可能の着信動作を設定します。
3 **公衆電話**：公衆電話などの着信動作を設定します。

3 「1非通知設定」～「3公衆電話」のいずれかを押す

選んだ発番号なし
着信の動作を
設定してください

1着信音を選択
2着信音量を消音
3着信を拒否
4設定を解除

1 **着信音を選択**：発信者番号の非通知理由ごとに着信音を設定します。
2 **着信音量を消音**：着信音を鳴らさないようにします。
3 **着信を拒否**：着信を拒否します。
4 **設定を解除**：着信動作の設定を解除します。

4 「1着信音を選択」～「4設定を解除」のいずれかを押す

- 「2着信音量を消音」～「4設定を解除」：操作6に進みます。

5 「1メロディ」または「2着信モーション」▶フォルダを選択▶(決定)▶着信音を選択▶(決定)を押す

着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。

- 「iモードで探す」を選択して(決定)▶「1接続する」を押すと、iモードサイトからメロディまたはiモーションを探せます。→p.214、p.222
- メロディまたは動画／iモーションの再生方法→p.92「電話が着信したときの着信音の設定」操作5

6 (決定)を押す

非通知理由の画面に戻ります。

- 着信動作を設定した項目には「＊」が表示されます。

お知らせ

- 本機能を「着信を拒否」に設定中に発信者番号が通知されない着信があった場合は、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。ただし、その場合でも着信履歴には記録されます。留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定していた場合は、各サービスが動作して、着信履歴には記録されません。
- 本機能と番号通知お願いサービス（→p.324）を同時に設定した場合は、番号通知お願いサービスが優先して動作します。
- iモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信します。
- 発信者番号が通知されない電話がかかってくると、着信音設定より本機能で設定した着信音が優先して鳴ります。→p.92

無音着信時間設定

電話帳未登録の相手の着信音を無音にする

登録していない相手や電話番号を通知してこない相手から電話がかかってきたとき、設定した時間が経過した後に着信音などの呼出動作を開始するように設定します。「ワン切り」などの迷惑電話に効果的です。

- 本機能を使用中は、次のように動作します。
  - 待受中または通話中に電話がかかってくると、無音着信時間内はディスプレイの表示のみで着信を知らせます。無音着信時間が経過すると、待受中の場合は通常の呼出動作を開始します。通話中の場合は「ププ…ププ…」という通話中着信音（→p.60）が受話口から聞こえます。
  - 呼出時間が無音着信時間内の不在着信は、着信履歴に表示されません。また、新着情報と も表示されません。ただし、表示の切り替えにより、無音着信時間内の不在着信を表示できます。表示方法については「かかってきた電話に出なかったとき」のお知らせをご覧ください。→p.55
  - 通常の着信履歴と無音着信時間内の不在着信は、合わせて最大30件記録されます。
- 登録外着信拒否中は、本機能を使用できません。

1 待受画面で[メニュー]▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「4電話・電話帳の詳細を設定する」▶「7無音着信時間を設定する」を押す

無音着信時間を設定してください
1無音着信動作 設定しない
2無音着信時間 4秒間

1 **無音着信動作**：本機能を有効にするかどうかを設定します。
2 **無音着信時間**：着信してから呼出動作を開始するまでの時間を設定します。

2 「1無音着信動作」を押す

無音着信動作を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1設定する」を押す

無音着信時間の設定画面が表示されます。
- 「2設定しない」：無音着信動作を設定しません。操作5に進みます。

4 無音着信時間を入力▶[決定]を押す

操作1の画面に戻ります。
- 1～99秒の間で入力します。

5 [電話帳]を押す

無音着信時間を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 電話帳に登録されている相手から電話がかかってきても、次のような場合は無音着信時間内の不在着信として記録され、着信履歴に表示されません。
  - 個人情報表示制限中（→p.112）で、相手が無音着信時間内で電話を切ったとき
  - シークレットモード中でない場合で、シークレット属性が設定されている相手が無音着信時間内で電話を切ったとき
  - 発信者番号を非通知で電話をかけてきた相手が、無音着信時間内で電話を切ったとき
- 留守番電話サービスや転送でんわサービス、伝言メモを設定しているときは、電話がかかってくると、本機能の設定に関わらず各機能が動作します。
- 公共モード中は、本機能は動作しません。
- 電話帳指定着信拒否／許可（→p.115）、非通知理由別着信設定（→p.117）を設定中は、着信拒否の対象に設定している相手から電話がかかってくると、各機能が優先して動作します。
- 本機能とオート着信設定（→p.306）を同時に設定している場合、無音着信時間をオート着信設定の応答時間以上に設定すると、オート着信設定は動作しません。
- 本機能とオートスピーカーホン機能（→p.60）を同時に設定している場合、無音着信時間を4秒以上に設定すると、オートスピーカーホン機能は動作しません。

登録外着信拒否

電話帳未登録の相手からの電話を受けない

電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたときに着信を拒否します。

- 電話がかかってきたときの表示について→p.59「電話を受ける」操作1
- 番号通知お願いサービスを併用することをおすすめします。→p.324
- 個人情報表示制限中（→p.112）や無音着信時間設定中（→p.118）は、本機能を使用できません。

1 **待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「4電話・電話帳の詳細を設定する」▶「3電話帳登録外の着信を拒否する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **端末暗証番号を入力▶(決定)を押す**

電話帳に登録されていない相手からの着信を受けるかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「1拒否する」を押す**

電話帳登録外の着信を拒否するように設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 本機能を「拒否する」に設定中に電話帳に登録されていない電話番号やシークレット属性を設定した電話帳からシークレットモード中でないときに着信があった場合は、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。ただし、その場合でも着信履歴には記録されます。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定していた場合は、各サービスが動作して、着信履歴には記録されません。
- ｉモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信します。

電話帳お預かりサービス（ケータイデータお預かりサービス）を利用する

FOMA端末に保存されている電話帳・画像・メール（以下「保存データ」といいます）を、ドコモのお預かりセンターに預けることができ、万が一の紛失時や機種変更時などに保存データを復元できるサービスです。また、メールアドレスを変更したことを一斉通知することもできます。一斉通知メール送信時パケット通信料はかかりません。パソコン（My docomo）があれば、さらに便利にご利用いただけます。

- 電話帳お預かりサービス（ケータイデータお預かりサービス）の詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- 電話帳お預かりサービス（ケータイデータお預かりサービス）はお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。

電話帳をお預かりセンターに保存（更新・復元）する

■ 更新する場合

1 **待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「6電話帳お預かりサービスを使う」▶「1お預かりセンターに接続する」を押す**

接続するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1接続する」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

点滅します。

通信中
お預かりセンター通信
電話帳
データ更新中

- 中止するときは保存中に決定を押します。
- 保存が完了すると、完了した旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

通信結果画面が表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

■ 復元する場合

- 電話帳の復元や自動更新設定などは、ｉモードの電話帳お預かりサイトからご利用いただけます。
  待受画面で ▶「1 i Menuを見る」▶「マイページ」▶ドコモのサービス内の「ケータイデータお預かり」
- 自動更新や復元などの詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

お知らせ

- FOMAカード電話帳の電話帳は保存できません。
- FOMA端末電話帳の電話帳を削除した後に自動更新を行うと、お預かりセンターの電話帳も同様に削除されます。
- FOMA端末電話帳の電話帳を削除した場合は、ｉモードの電話帳お預かりサイトから電話帳をダウンロードすると復元できます。
  待受画面で ▶「1 i Menuを見る」▶「マイページ」▶ドコモのサービス内の「ケータイデータお預かり」▶「お預かりデータ確認」▶ｉモードパスワードを入力▶「決定」▶ケータイへダウンロード内の「電話帳」▶「OK」
  ※ ダウンロードが開始されるので、通信を終了して待受画面に戻します。
- 電話帳の自動更新時に他の機能を起動している場合は、待受画面に戻ると自動更新を開始します。FOMA端末の電源が入っていないときやFOMAサービスエリア外にいるとき、FOMAカードが挿入されていないときは自動更新されません。
- 電話帳の自動更新が失敗したときは、待受画面にお知らせ情報（→p.24）とが表示されます。決定を押してメッセージを確認した後、手動でお預かりセンターに接続して電話帳を保存してください。
- 電話帳のグループの並び順は、復元しても保存したときの並び順に戻らない場合があります。
- 電話帳をお預かりセンターに保存すると、画像を除くワンタッチダイヤルの登録内容も保存されます。ただし、FOMA端末の機種変更などで、お預かりセンターから電話帳を復元する場合はすべて上書きされます。また、ワンタッチダイヤルに登録している電話番号などをMy docomoのサイトで削除した場合は、ワンタッチダイヤルの登録内容が正しく引き継げない場合があります。

各種データをお預かりセンターに保存（更新・復元）する

電話帳お預かりサービス（ケータイデータお預かりサービス）を利用して、FOMA端末に保存してある画像、ｉモードメール、SMSをお預かりセンターに保存します。

- ｉモードメールにデータが添付されている場合は、保存するときに削除されます。ただし、本文中の画像やメロディ（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されたデータを除く）は削除されません。
- 送達通知は保存できません。

〈例〉受信メールをお預かりセンターに保存する

1 待受画面で ▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

受信メール一覧が表示されます。

- 未送信／送信メール一覧の表示方法→p.155「未送信／送信したｉモードメールを見る」操作1～2

2 保存するメールを選択▶(メニュー)▶「✻お預りセンター保存」を押す

お預かりセンターに保存するかどうかの確認画面が表示されます。

- 未送信／送信メールを保存する場合は、保存するメールを選択▶(メニュー)▶「9お預りセンター保存」を押します。

3 「1保存する」▶端末暗証番号を入力▶(決定)を押す

お預かりセンターに接続され、保存が始まります。保存が完了すると、送信した旨のメッセージが表示されます。

- 中止するときは保存中に(決定)を押します。

4 (決定)を押す

通信結果画面が表示されます。(決定)を押すと受信メール一覧に戻ります。

〈例〉画像をお預かりセンターに保存する

1 画像一覧で保存する画像を選択▶(メニュー)▶「✻お預りセンター保存」を押す

お預かりセンターに保存するかどうかの確認画面が表示されます。

- 画像一覧の表示方法→p.248「画像を表示する」操作1〜2

2 「1保存する」▶端末暗証番号を入力▶(決定)を押す

お預かりセンターに接続され、保存が始まります。保存が完了すると、送信した旨のメッセージが表示されます。

- 中止するときは保存中に(決定)を押します。

3 (決定)を押す

通信結果画面が表示されます。(決定)を押すと画像一覧に戻ります。

お知らせ

- 保存したデータは、お預かりセンターに接続して、FOMA端末に更新・復元できます。
- 1件あたりのファイルサイズが100Kバイトを超える画像やFlash画像は保存／復元できません。
- 「microSDの写真」「アイテム」「内蔵写真」アルバムの画像は保存できません。
- 復元操作の詳細は『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。なお、復元したメールは次の場合を除き保護されます。
  - お預かりセンターに保存されている受信メール、受信SMSが未読だった場合
  - 保存されているメールの保護が最大保護件数に達している場合

お預かりセンターを利用した履歴の確認〈電話帳通信履歴表示〉

各機能でお預かりセンターに保存した通信履歴を確認できます。

- 通信履歴は最大30件記録できます。30件を超えると、古いものから順に消去されます。

1 待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「6電話帳お預かりサービスを使う」▶「2通信履歴を表示する」を押す

通信日時一覧画面が表示されます。

2 確認する履歴を選択▶(決定)を押す

通信履歴詳細画面が表示されます。

各種設定リセット

各種機能の設定をリセットする

メニュー一覧のオレンジ色の文字の機能を、お買い上げ時の状態に戻します。→p.334

- 「メニュー一覧」に記載されていない機能やデータで、お買い上げ時の状態に戻るものは次のとおりです。

リセットする項目	お買い上げ時の状態に戻る機能／データ
基本設定	マナーモード、公共モード（ドライブモード）、ワンタッチダイヤル登録、簡単メール作成、ソフトウェア更新の自動更新設定
予測辞書データ	予測変換機能で登録されたデータ
ユーザ辞書データ	単語登録のデータ
歩数計設定	当日の歩数の履歴、当日の一日の歩行情報

1 待受画面でメニュー▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「7情報の表示やリセットを行う」▶「7設定を初めの状態に戻す」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力▶決定を押す

リセット項目選択
1 ☑基本設定
2 ☑メール設定
3 ☑iモード設定
4 ☑ロック機能
5 ☑予測辞書データ
6 ☑ユーザ辞書データ
7 ☑読上辞書データ

3 「1基本設定」～「9歩数計設定」のうち、お買い上げ時の状態に戻さない項目の番号を押す

チェックボックスが☑から☐に切り替わり、選択が解除されます。

- 決定：項目を選択／解除します。
- メニュー：すべての項目を選択／解除します。

4 電話帳を押す

選んだ項目をお買い上げ時の状態に戻すかどうかの確認画面が表示されます。

5 「1戻す」を押す

選んだ項目をお買い上げ時の状態に戻した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- ｉモード設定をリセットすると、待受画面にｉチャネルの情報がテロップ表示されなくなります。待受画面で戻るchを押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報を受信し、待受画面にテロップ表示されるようになります。

データ一括削除

登録したデータを一括して削除する

FOMA端末に保存、登録したデータを削除し、各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- 保護したデータも削除されます。
- 次のデータは削除されません。また、お買い上げ時の設定に戻りません。
  - お買い上げ時に登録されているデータ
  - FOMAカードやmicroSDカードに保存、登録、設定されているデータ
  - パソコンから設定したデータ通信の設定
- 「受信箱」フォルダに保存されている「はじめまして」と「緊急速報「エリアメール」のご案内」を削除した場合は、再び保存されます。

1 待受画面でメニュー▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「7情報の表示やリセットを行う」▶「8本体内データを全て削除する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力▶決定を押す

本体内の全てのデータを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1削除する」を押す

FOMA端末が再起動します。

お知らせ

- データ一括削除の再起動後は、初めて電源を入れたときの画面が表示されます。→p.42
- 削除されるデータが多い場合は、再起動に時間がかかることがあります。途中で電源を切らないようご注意ください。

その他の「あんしん設定」について

本章でご紹介した以外にも、次のようなあんしん設定に関する機能・サービスがありますのでご活用ください。

機能・サービス名称	目　的	参照先
迷惑電話ストップサービス	いたずら電話や悪質なセールス電話などの「迷惑電話」を着信したくない	p.324
番号通知お願いサービス	発信者番号を通知してこない電話を着信したくない	p.324
FirstPass	電子認証サービスを利用することにより、安全で信頼性のあるデータ通信を行いたい ※ FirstPass対応サイトに限ります	p.202 p.220
ソフトウェア更新	必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新したい	p.380
スキャン機能	障害を引き起こすデータからFOMA端末を守りたい	p.389
メール選択受信	大量に届くメールの中から、必要なメールのみを受信したい	p.158
「iモード災害用伝言板」サービス	『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。	
メールアドレス変更		
迷惑メール対策 （URL付きメール拒否設定） （受信／拒否設定） （かんたん設定） （iモードメール大量送信者からのメール受信制限） （SMS拒否設定） （未承諾広告※メール拒否） （メール設定確認）		
メール機能停止／再開		
メールサイズ制限		
ケータイお探しサービス		
イマドコかんたんサーチ		

音声呼び出し／読み上げ

ボイスダイヤル

音声で電話帳を呼び出す

電話帳を音声で呼び出せます。

- 音声とフリガナが一致した電話帳を表示します。
- 該当する電話帳が複数あるときは、該当する電話帳を全て表示します。
- 登録されているフリガナを全て発声しなくても、途中まで当てはまる電話帳を検索して表示します。
- 3文字以上32文字以下の音声を認識します。33文字以降は発声しても認識されません。
- 発声によっては、近い読みの電話帳が表示されることがあります。
- フリガナの英字・数字は1文字ずつ発声してください。たとえば「yomi」は「ワイオーエムアイ」、「10」は「イチゼロ」または「イチレイ」と発声してください。
- 次の文字は認識されません。その部分を抜かして発声してください。
  - 記号
  - 空白
  - フリガナの1文字目や不適切な文字の後ろにある「゛」「゜」「ン」「ッ」「ー」「ァ」「ィ」「ゥ」「ェ」「ォ」「ャ」「ュ」「ョ」
    〈例〉「ッー」の「ー」、「ア゛」の「゛」、「ヒュゥ」の「ゥ」など
  - 読みの最後にある「ッ」
- フリガナが2文字以下の電話帳は呼び出せません（「ヨミ」、「ww」など）。
- 「゛」「゜」は前の文字と合わせて1文字として認識されます。
- 次の場合は、音声を認識しないことがあります。
  - 周囲の雑音が大きい場合
  - 発声が4秒以内に終わらなかった場合
  - 発声が明瞭でない場合
  - 発声の前後に咳払いをしたり、呼吸音などの雑音を出したりした場合
  - ボタンを押したり、こすったりした場合
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などの使用時、マイク部分を口に近づけて発声してください。
- 個人情報表示制限中は、本機能を使用できません。→p.112

1 待受画面で(電話帳)を1秒以上押す

音声で電話帳検索
決定ボタンを押し
受話口を耳にあて
ピーという
発信音の後に
呼出す相手を
お話しください

2 (決定)▶受話口から「ピー」と聞こえたら、電話帳のフリガナの読みを発声する

該当する電話帳が50音順に表示されます。

電話帳
音声検索
アカサタナハマヤラワ他
携帯花子

- 以降の操作→p.77「電話帳から電話をかける」操作2
- 呼び出そうとした電話帳が表示されない場合は、(終話)を押して操作1からやり直してください。
- 音声が認識されなかった場合、その旨のメッセージが表示されます。(決定)を押して操作1からやり直してください。

ボイスメニュー登録

音声で呼び出す機能の単語を登録する

機能を音声で呼び出せるように登録できます。

- 最大100件登録できます。
- お買い上げ時は、次の機能が登録されています。

呼び出す機能	単語の読み
電話着信時の着信音を選ぶ	チャクシンオン
電話着信時の音量を調節する	オンリョウ
伝言メモを再生する	デンゴン
受信したメールを見る	ジュシンメール
例文を使ってメールを作る	レイブン
メール･メッセージを受信する	トイアワセ
写真を撮影する	シャシンサツエイ
ビデオを撮影する	ビデオサツエイ
写真・画像を見る	シャシン
ビデオを見る　録音音声を聞く	ビデオ
目覚ましを使う	メザマシ
電卓を使う	デンタク
発信者番号通知を設定する	バンゴウツウチ
自分の電話番号を見る	デンワバンゴウ
電池残量を確認する	デンチザンリョウ

- メニュー画面で表示される機能のみ登録できます。
- 登録済みの機能を複数登録することはできません。
- 新たに機能を登録するとき、登録済みの単語の読みを使用できません。

1 **待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「7音声で呼出す機能を登録する」を押す**

登録済みの機能の数と、登録可能な機能の数が表示されます。

機能呼出し用の
単語登録状況
登録数　15件
残り　85件

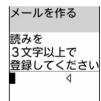
2 **(決定)を押す**

登録済みの機能が「新規登録」の下に表示されます。

新規登録
電話着信時の
着信音を選ぶ
電話着信時の
音量を調節する
伝言メモ
を再生する

3 **「新規登録」を選択▶(決定)を押す**

登録可能な機能の一覧が表示されます。

4 **登録する機能を選択▶(決定)を押す**

<「メールを作る」を選択した場合>

- 登録済みの機能を選択した場合、同じ機能が登録されている旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと、登録済みの機能の一覧に戻ります。

5 **読みを入力▶(決定)を押す**

音声呼び出し用の単語を登録した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと登録済みの機能の一覧に戻ります。

- 半角カタカナ、半角数字で3～10文字入力できます。

- 次の文字を含む単語は登録できません。
  - 空白
  - フリガナの1文字目や不適切な文字の後ろにある「゛」「゜」「ン」「ッ」「ー」「ァ」「ィ」「ゥ」「ェ」「ォ」「ャ」「ュ」「ョ」
    〈例〉「ッー」の「ー」、「ア゛」の「゛」、「ヒュゥ」の「ゥ」など
  - 読みの最後にある「ッ」
- 登録済みの単語の読みを入力した場合、読みがすでに登録されている旨のメッセージが表示されます。決定を押すと単語の読みの入力画面に戻ります。
- 次の場合は、音声で機能を呼び出せないことがあります。
  - 登録した読みが短いとき
  - 似た読みが他の機能に登録されているとき

登録済みの機能を確認

1 登録済みの機能の一覧を表示する

- 操作方法→p.127「音声で呼び出す機能の単語を登録する」操作1～2

2 確認先を選択▶決定を押す

登録内容
呼出す機能
メールを作る
読み
メール

- 決定を押すと登録済みの機能の一覧に戻ります。

登録内容の読みを変更する

1 登録済みの機能の一覧を表示する

- 操作方法→p.127「音声で呼び出す機能の単語を登録する」操作1～2

2 変更先を選択▶電話帳を押す

読みの入力画面が表示されます。

- 以降の操作→p.127「音声で呼び出す機能の単語を登録する」操作5

登録内容を削除する

1 登録済みの機能の一覧を表示する

- 操作方法→p.127「音声で呼び出す機能の単語を登録する」操作1～2

2 削除する機能を選択▶メニュー▶「2削除する」を押す

選択した単語を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1削除する」を押す

音声呼び出し用の単語を削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと登録済みの機能の一覧に戻ります。

ボイスメニュー

音声で機能を呼び出す

音声で機能を呼び出して、使用できます。

- 音声で呼び出す機能をあらかじめ登録しておく必要があります。→p.127
- 次の場合は、音声を認識しないことがあります。
  - 周囲の雑音が大きい場合
  - 発声が4秒以内に終わらなかった場合
  - 発声が明瞭でない場合
  - 発声が中断された場合
  - 発声の前後に咳払いをしたり、呼吸音などの雑音を出したりした場合
  - ボタンを押したり、こすったりした場合
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などの使用時、マイク部分を口に近づけて発声してください。
- 次の機能は、音声で呼び出すことができません。
  - セルフモード中に使用できない機能→p.110
  - 履歴表示制限中に使用できない機能→p.111
  - 個人情報表示制限中に使用できない機能→p.112
  - ダイヤル発信制限中に使用できない機能→p.113

1 待受画面で(メニュー)を1秒以上押す

音声で機能呼出
決定ボタンを押し
受話口を耳にあて
ピーという
発信音の後に
呼出す機能を
お話しください

2 (決定)▶受話口から「ピー」と聞こえたら、登録済みの単語の読みを発声する

呼び出した機能が表示されます。
- 呼び出そうとした機能が表示されない場合は、(クリア)を押して操作1からやり直してください。
- 音声が認識されなかった場合、その旨のメッセージが表示されます。(決定)を押して操作1からやり直してください。

機能の説明やメールの内容などを音声で読み上げる

機能の説明やメールの内容などを読み上げます。読み上げの設定は変更できます。

- 「自動で読み上げ」または「手動で読み上げ」に設定すると、音声読み上げに対応する画面では(読み上げアイコン)が表示されます。読み上げ中は(読み上げアイコン)が点滅します。
- 音声読み上げに対応する項目は次のとおりです。

■ 主な読み上げ項目

- 充電開始時と完了時のお知らせ※1
- 電池残量1になったときのお知らせ※2
- 電池残量がなくなったときのお知らせ※1
- メニュー画面やサブメニューの各機能説明※3
- 各機能の設定画面や編集画面などの説明※4
- リダイヤルや着信履歴の内容
- 伝言メモの履歴
- 電話帳の内容や操作方法
- サイト表示中の内容※4
- メールやメッセージR/Fの内容
- 電卓の操作内容
- 選択した絵文字や記号、定型文※5
- 入力文字※6
- 文字入力モードを切り替えたとき※7

※1 読み上げの動作を「手動で読み上げ」に設定している場合でも、自動で読み上げます（公共モード中を除く）。
※2 読み上げの動作を「手動で読み上げ」に設定している場合でも、待受画面が表示されたときに自動で読み上げます（公共モード中を除く）。
※3 各種ロック機能を設定して実行できないメニューは選択できないため読み上げません。
※4 一部読み上げない場合があります。
※5 入力と同時に読み上げる項目については、「絵文字読み上げ一覧」（→p.346）、「記号・かな・英数字読み上げ一覧」（→p.353）をご覧ください。
※6 暗証番号やパスワードの入力画面などでは、読み上げません。
※7 読み上げの動作を「自動で読み上げ」に設定している場合は、読み上げます。

■ FOMA端末を開いて、待受画面を表示中に(読み上げキー)を押したときの読み上げ項目

- 日付・曜日・時刻（日付・時刻を設定していない場合は、時計が設定されていない旨をお知らせ）
- 新着情報
- 未読情報
- お知らせ情報
- 圏外のお知らせ
- オールロックや公共モードなどの制限機能使用中のお知らせ
- 歩数計の歩数
- 電池残量のお知らせまたは充電中のお知らせ
- iチャネルのテロップ※

※ iチャネルのテロップが表示されているときに(読み上げキー)を1秒以上押すと読み上げます。

■ FOMA端末を閉じて、(読み上げキー)を1秒以上押したときの読み上げ項目（音声送出先を「スピーカー」に設定時）

- 時刻（日付・時刻を設定していない場合は、時計が設定されていない旨をお知らせ）
- 新着情報
- 開閉ロック中や公共モード中のお知らせ
- 歩数計の歩数
- 電池残量のお知らせまたは充電中のお知らせ

お知らせ

- 「手動で読み上げ」に設定時、[読み上げ]と[+]／[−]を同時に押すと読み上げない場合があります。

音声読み上げの設定

読み上げの動作、声質、速さ、音量を設定します。

1 **待受画面で[メニュー]▶「9設定を行う」▶「6音声読み上げを使う」▶「1音声読み上げを設定する」を押す**

音声読み上げを
設定してください

1動作	なし
2声質	女声
3速さ	2
4音量	4

1 **動作**：読み上げの動作（自動／手動）を設定または解除します。
2 **声質**：読み上げの声質（女声／男声）を設定します。
3 **速さ**：6段階で読み上げの速さを調節します。
4 **音量**：6段階で読み上げの音量を調節します。

2 **「1動作」を押す**

読み上げる動作を
選んでください
1自動で読み上げ
2手動で読み上げ
3読み上げなし

1 **自動で読み上げ**：読み上げに対応する項目を選択すると、自動で読み上げます。
2 **手動で読み上げ**：読み上げに対応する項目を選択して[読み上げ]を押すと、読み上げます。
3 **読み上げなし**：読み上げません。

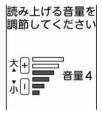
3 **「1自動で読み上げ」～「3読み上げなし」のいずれかを押す**

読み上げる声質を
選んでください
1女性の声
2男性の声

- 「3読み上げなし」：操作7に進みます。

4 **「1女性の声」または「2男性の声」を押す**

5 **[メール][電話帳]を押して速さを変更▶[決定]を押す**

6 **[メール][電話帳][←][→]または[+][−]を押して音量を調節▶[決定]を押す**

音声読み上げの設定画面に戻ります。

7 **[電話帳]を押す**

音声読み上げを設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 操作3～5の画面で[読み上げ]を押すと、選択している声質、速さ、音量で説明を読み上げます。
- 読み上げ中に[読み上げ]を押すと、読み上げが停止します。ただし、表示している画面や選択している項目により、読み上げが停止しない場合があります。再び[読み上げ]を押すと、初めから読み上げます。

- 読み上げ中に[+][-]を押すと、読み上げの音量が変更されます。
- ｉモードメールまたはメッセージR/Fに添付されたメロディを自動演奏するように設定している場合、「動作」の設定が「自動で読み上げ」であっても、メロディが添付されたｉモードメールまたはメッセージR/Fを開くとメロディが自動で演奏されます。メロディ演奏の終了後[音声]を押すと読み上げます。→p.172
- 読み上げの動作を「自動で読み上げ」に設定している場合は、待受画面を表示中に「[0]～[9]、[*]、[#]」を押すと読み上げます。

音声読み上げの送出先切り替え

- スピーカーから出る音は、音量が同じであっても受話口から出る音より大きく聞こえます。必ず耳からFOMA端末を離してください。

1 **待受画面で[メニュー]▶「[9]設定を行う」▶「[6]音声読み上げを使う」▶「[3]音声読み上げの送出先を選ぶ」を押す**

読み上げの
音声送出先を
選んでください

[1]スピーカー
[2]受話口

2 **「[1]スピーカー」または「[2]受話口」を押す**

音声送出先を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続すると、音声はイヤホンからのみ聞こえます。

マナーモード中の読み上げ設定

マナーモード中に受話口から読み上げが聞こえるようにするかどうかを設定します。

1 **待受画面で[メニュー]▶「[9]設定を行う」▶「[6]音声読み上げを使う」▶「[4]マナーモード中に読み上げを行う」を押す**

2 **「[1]読み上げる」または「[2]読み上げない」を押す**

マナーモード中の読み上げの動作を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 「読み上げる」に設定した場合、音声読み上げの送出先切り替えの設定（→p.131）に関わらず、受話口から音声が聞こえます。

音声読み上げのルールについて

メール、サイト、電話帳などの読み上げは、おおむね次の規則に基づいています。読み上げが希望どおりでない場合は、読み上げ用の単語を登録してください。→p.134

■ 数字

- 数字が並んでいる場合は、24桁まで桁読みします。
  ※ 先頭に「0」がある場合は桁読みしません。

文字例	読み上げ例
12345	イチマンニセンサンビャクヨンジューゴ
012345	ゼロイチニーサンヨンゴー

■ 英字

- 音声読み上げ辞書に従って読み上げます。

文字例	読み上げ例
i－mode	アイモード

- 音声読み上げ辞書に登録されていない4文字以上の英字文字列は、次のように読み上げます。
  - すべてローマ字と判定できる場合はローマ字読みで読み上げます。
  - すべてローマ字と判定できない場合は、アルファベット読みで読み上げます。

文字例	読み上げ例
yomiage	ヨミアゲ
yomiag	ワイオーエムアイエージー

■ 絵文字・記号

- 絵文字・記号を読み上げます。ただし、表示している画面や項目によっては、一部の記号を読み上げない場合があります。
  絵文字読み上げ一覧➞p.346
  記号読み上げ一覧➞p.353
- メールなどで使われる「(^^)」のような顔文字の一部を読み上げます。
  顔文字読み上げ一覧➞p.360
- 同じ絵文字・記号が3つ以上連続する場合は、まとめて読み上げます。
  該当するのは、すべての絵文字と次の記号です。

  〆（）「」＜＞＋±×÷＝≠≦≧∞∴♂♀°′″℃
  ￥＄¢£％＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼
  ※〒→←↑↓＝∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨¬⇒⇔
  ∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒√∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪
  †‡¶∮∑∟⊿

文字例	読み上げ例
🍙🍙🍙	サンコノ　オニギリマーク
※※※	サンコノ　コメジルシ　マーク

■ 日付

- 数字を「／」や「.」で区切ると、日付として読み上げます。
  ※ 次の形式以外の場合は日付として読み上げません。

文字例	読み上げ例
2009／4／17 2009.4.17	ニセンキュウネン　シガツ　ジュウシチニチ
9／4／17 9.4.17	キュウネン　シガツ　ジュウシチニチ
4／17	シガツ　ジュウシチニチ
H1／9／1	ヘーセーガンネン　クガツ　ツイタチ
S45／1／1	ショーワヨンジュージューゴネン　イチガツ　ツイタチ
T10／1／1	タイショージューネン　イチガツ　ツイタチ
M10／1／1	メージジューネン　イチガツ　ツイタチ

※ 英字は小文字の場合でも読み上げます。

■ 時刻

- 数字を「：」で区切ると、時刻として読み上げます。
  ※ 次の形式以外の場合は時刻として読み上げません。

文字例	読み上げ例
9：30 09：30	クジ　サンジュップン
AM11：30 11：30AM	ゴゼン　ジューイチジ　サンジュップン
PM11：30 11：30PM	ゴゴ　ジューイチジ　サンジュップン
23：30	ニジューサンジ　サンジュップン
9：30：30	クジ　サンジュップン　サンジュービョー

※ 英字は小文字の場合でも読み上げます。

■ 返信、転送

- 「Re：」「Re＞」「Re［2］：」「Re［2］＞」「Re＊2：」「Re＊2＞」「Re^2：」「Re^2＞」はすべて「ヘンシン」と読み上げます。これらが連続する場合は、「ヘンシン」と一回のみ読み上げます。

文字例	読み上げ例
Re： Re：Re：	ヘンシン

- 「Fw：」「Fw＞」「Fw［2］：」「Fw［2］＞」「Fw＊2：」「Fw＊2＞」「Fw^2：」「Fw^2＞」はすべて「テンソー」と読み上げます。これらが連続する場合は、「テンソー」と一回のみ読み上げます。

文字例	読み上げ例
Fw＞ Fw＞Fw＞	テンソー

- 「ヘンシン」と「テンソー」が混ざって複数個連続しても、同様に読み上げます。

文字例	読み上げ例
Re：Fw：Fw：Re：Re＞Re［2］：	ヘンシン　テンソー　ヘンシン

※ 英字は小文字の場合でも読み上げます。

■ サイト内の項目

- ダイレクトキー（1 2･･･）は「キー ×××」と読み上げます。
- ラジオボタン◉は「ボタンオン」、◯は「ボタンオフ」と読み上げます。
- チェックボックス☑は「チェックアリ」、☐は「チェックナシ」と読み上げます。
- プルダウンメニューは「センタクメニュー×××コノセンタクシ」の後、選択されている項目を読み上げます。
- 文字入力欄は「モジニューリョク」と読み上げます。文字が入力済みのときは、入力されている文字も読み上げます。
- パスワード入力欄が未入力のときは「パスワード」、入力済みのときは「パスワードニューリョクスミ」と読み上げます。
- ボタンは「×××ボタン」と読み上げます。
- サイトの内容を読み上げているときは、項目を読み上げた後に「ピピッ」という区切り音が鳴ります。
- サイトを表示すると、ページのタイトルを最初に読み上げます。ページの最初の項目を選択してもページタイトルを読み上げます。
- サイトの内容を表示中に[音声]を押すと、選択している項目を読み上げます。また、[音声]を1秒以上押すと、表示しているページの選択している項目以降をすべて読み上げます。選択している項目より前は読み上げません。
- サイトのリンク項目は、設定と違う声質（「女性の声」に設定しているときは「男性の声」）で読み上げます。
- サイトのリンク情報以外の項目を選択した場合は、深緑色に反転表示されます。なおサイトの背景、文字、リンク項目の反転表示の色により、読み上げる反転表示の色が変更されることがあります。
- サイトの項目によっては、絵文字などを読み上げない場合があります。

■ 文字入力時

- 文字入力画面で[音声]を押すと、入力済みの文字をすべて読み上げます。
  「↵」（改行マーク）を連続して2つ以上入力して1行空いている場合、読み上げを区切ります。「↵」（改行マーク）を入力して改行し、続けて文章を入力した場合は、区切らずにそのまままつなげて読み上げます。
  なお、「↵」（改行マーク）は読み上げません。
- 文字入力画面で[音声]を1秒以上押すと、カーソル位置から、文末または句点（「。」）、改行（「↵」）位置までを読み上げます。このとき句点は「～クテン」、改行は「～カイギョー」、句点に連続して改行がある場合は、「～クテンカイギョー」と読み上げます。
  カーソル位置が文末にある場合は、「ブンマツデス」と読み上げます。
- 音声読み上げ設定を「自動で読み上げ」に設定している場合は、文字入力画面で[上][下][左][右]を押してカーソルを移動すると、次のとおり自動で読み上げます。
  - [上][下]：[音声]を1秒以上押したときと同様に読み上げます。
  - [左][右]：移動先のカーソル位置の一文字を読み上げます。カーソル位置が文末の場合は「ブンマツデス」と読み上げ、文末で[右]を押すと半角空白が追加され「クウハクツイカ」と読み上げます。文頭で[左]を押すと、「ブントウデス」と読み上げます。
  - 候補選択リストにカーソルが移動したときは「ヨソクコウホセンタク」と読み上げ、続けてカーソル位置の候補を読み上げます。
- 文字入力画面で[電話帳]を押して変換した文字や、変換候補一覧でカーソル位置の各文字の解説を読み上げます。

文字例	読み上げ例
好調になって	コノム　ノ　コウ　シラベル　ノ　チョウ　ニ　ナ　ツ　コモジ　テ
校長になって	ガッコウ　ノ　コウ　ナガイ　ノ　チョウ　ニ　ナ　ツ　コモジ　テ

- 候補選択リストでは、カーソル位置の候補の読みと解説を読み上げます。

文字例	読み上げ例
校長になって	コウチョウニナッテ ガッコウ　ノ　コウ　ナガイ　ノ　チョウ　ニ　ナ　ツ　コモジ　テ

■ その他

- 受信／送信メール詳細画面で[音声]を押すと、メール番号、日付・時刻、宛先／送信元、題名、本文の順に読み上げます。[音声]を1秒以上押すと、本文のみ読み上げます。

- 「は」を含む外来語（カタカナ語）がひらがなで表記された場合は、読みかたを誤る場合があります。

文字例	読み上げ例
はんどる	ワンドル
ふるはうす	フルワウス

- 読み上げの音声は自然の音声とは異なるため、聞きづらい音やアクセントになる場合があります。
- 句読点（「。」「、」）がある場合は、句読点の位置で読み上げを区切ります。
- 漢字を使用した場合、正しく読み上げない場合もあります。メールでの読み誤りを減らすには、よくメールをやりとりする相手に次のことをお願いすることをおすすめします。
  - 句読点を多めに使ってメールを作成してください。
  - 読みが難しい漢字はカタカナにしてください。
  - カタカナを使うときは長音（「ー」）を使用してください。
- 電話帳の名前の読み上げは、登録されている「フリガナ」を読み上げます。「フリガナ」が登録されていないときは、名前に入力された文字を読み上げます。
- 単語によってはフリガナの登録時に長音（「ー」）を使用すると、より自然に読み上げます。
- メールやサイトの内容を読み上げ中に[メールキー]または[決定キー]を押すと、読み上げが一時停止する場合があります。
- 画像や動画／ｉモーション、メロディなどの題名やファイル名が数字の羅列になっている場合は、桁読みを行わずに数字を読み上げます。

文字例	読み上げ例
12345	イチニーサンヨンゴー

読み上げの停止

- 音声読み上げの開始時、または音声読み上げ中に次のことが起きると、読み上げが停止されます。
  - 電話がかかってきたとき
  - データ通信を行ったとき
  - 外部機器にデータを送信したとき
  - FOMA端末を閉じたとき
  - 電池残量がなくなったとき
  - 目覚ましが動作したとき
  - 表示中の画面で[音声キー]を押したとき※

※ サイト画面を表示している場合、[音声キー]を押して読み上げの動作を行ったときは、[＋][－]以外のボタンを押したり、[メールキー]や[決定キー]を1秒以上押して連続スクロールをしても読み上げが停止されます。
ただし、表示しているサイトや項目によっては読み上げが停止されない場合があります。

音声読み上げ単語登録

音声読み上げ辞書によく使う単語を登録する

音声読み上げ辞書に、単語の読みを読み上げ辞書データとして追加することができます。
たとえば、お買い上げ時に「ゴジュウミネ」と読み上げられる「五十嶺」の読みを「イソミネ」と登録すると、読み上げに対応したすべての画面で「イソミネ」と読み上げられるようになります。

- 最大50件登録できます。

1 待受画面で[メニュー]▶「9設定を行う」▶「6音声読み上げを使う」▶「2音声読み上げの単語を登録する」を押す

登録済みの単語の数と、登録可能な単語の数が表示されます。

音声読み上げ用の
単語登録状況

登録数 0件
残り 50件

2 決定を押す

登録済みの単語が「新規登録」の下に表示されます。

3 「新規登録」を選択▶決定を押す

単語を
入力してください

4 単語を入力▶決定を押す

読みの入力画面が表示されます。

- ひらがな／漢字入力モードでのみ入力できます。全角の英数字や記号を入力する場合は、「特殊記号一覧」をご覧ください。→p.344
- 全角で最大6文字入力できます。

5 読みを入力▶決定を押す

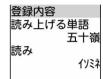
音声読み上げ用の単語を登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと登録済みの単語の一覧に戻ります。

- 半角カタカナで最大12文字入力できます。
- 次の場合は登録できません。
  - 濁点や半濁点を付けられない文字の次に「゛」や「゜」を入力した場合
  - 先頭に「゛」「゜」「ッ」「ー」を入力した場合
  - 「ッ」の直後に「ー」を入力した場合
  - 空白
- 長音を含む単語の場合、長音部分に「ー」を使うと、読み上げ音声が自然に聞こえることがあります。

登録した音声読み上げ単語の確認

1 登録済みの単語の一覧を表示する

- 操作方法→p.134「音声読み上げ辞書によく使う単語を登録する」操作1～2

2 確認先を選択▶決定を押す

- 決定を押すと、登録済みの単語の一覧に戻ります。

登録内容の読みを変更する

1 登録済みの単語の一覧を表示する

- 操作方法→p.134「音声読み上げ辞書によく使う単語を登録する」操作1～2

2 変更先を選択▶電話帳を押す

単語の入力画面が表示されます。

- 以降の操作→p.135「音声読み上げ辞書によく使う単語を登録する」操作4以降

登録内容を削除する

1 登録済みの単語の一覧を表示する

- 操作方法→p.134「音声読み上げ辞書によく使う単語を登録する」操作1～2

2 削除する単語を選択▶メニュー▶「2削除する」を押す

選択した単語を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1削除する」を押す

音声読み上げ用の単語を削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと登録済みの単語の一覧に戻ります。

メール

ｉモードメールを作成する

ｉモードメールを受信・操作する

メールの設定を行う

メッセージサービスを利用する

緊急速報「エリアメール」を利用する

SMSを使う

メールを管理する

メールの便利な機能

iモードメールとは

iモードを契約するだけで、iモード端末間はもちろん、インターネットを経由してe-mailでのやりとりができます。
テキスト本文に加えて、合計2Mバイト以内で10個までデータ（写真やビデオなど）を添付することができます。また、お買い上げ時に登録されているメールテンプレートを利用して簡単に装飾されたメールを送信できます。

- iモードメールの詳細については『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- iモードご契約時のメールアドレスは次のようになります。

新規にiモードをご契約の場合
@マークより前がランダムな英数字の組み合わせになっていますので、iモード契約後にお客様のメールアドレスをご確認ください。
〈例〉abc1234～789xyz@docomo.ne.jp

自分のメールアドレスを確認・変更する

1 待受画面で[メール]▶「7メールアドレスを確認・変更する」を押す
サイトに接続されます。

2 画面の指示に従ってメールアドレスを確認または変更する
- 以降の操作は『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

お知らせ
- らくらくiメニューの「お客様サポート／お知らせ」を選択▶[決定]▶「メール設定」を選択▶[決定]を押すと、同様に操作できます。

簡単メール作成・送信

簡単な操作でiモードメールを作成して送信する

1 待受画面で[メール]を1秒以上押す

メール作成：新規
宛先：
題名：
本文：
装飾：設定なし
送信する

<メール作成画面>

- 前回、簡単メール作成でメールを作成した場合は、操作3の画面が表示されます。

2 [電話帳]を押す

簡単メール作成に切替えますか？
1切替える
2元の画面に戻る

3 「1切替える」を押す

簡単ﾒｰﾙ作成：新規
送りたいメールを選んでください
1文章のみ
2ビデオ・音声
3写真
4手書きメモ

4 「1文章のみ」を押す

簡単ﾒｰﾙ作成：新規
宛先を入力してください
宛先：〈指定なし〉
1最近送信した人
2最近受信した人
3電話帳から選ぶ
4直接入力する

■ ビデオを撮影して添付する（ｉモーションメール）：「2ビデオ・音声」▶「1今から撮影する」を押す
- 以降の操作→p.151「■ビデオを撮影して添付する（ｉモーションメール）」操作②～④
  操作後に操作4の画面が表示されます。

■ 音声を録音して添付する（音声メール）：「2ビデオ・音声」▶「2今から録音する」を押す
- 以降の操作→p.152「■音声を添付する（音声メール）」操作②～④
  操作後に操作4の画面が表示されます。

■ ビデオ・音声をアルバムから選択して添付する：「2ビデオ・音声」▶「3アルバムから選ぶ」を押す
- 以降の操作→p.152「■ビデオ・音声をアルバムから選択して添付する」操作②～③
  操作後に操作4の画面が表示されます。

■ 写真を撮影して添付する：「3写真」▶「1今から撮影する」を押す
- 以降の操作→p.153「■写真を撮影して添付する」操作②～③
  操作後に操作4の画面が表示されます。

■ 写真をアルバムから選択して添付する：「3写真」▶「2アルバムから選ぶ」を押す
- 以降の操作→p.153「■写真をアルバムから選択して添付する」操作②
  操作後に操作4の画面が表示されます。

■ 手書きメモを撮影して添付する（手書きメール）：「4手書きメモ」を押す
- 以降の操作→p.154「■手書きメモを撮影して添付する（手書きメール）」の操作②～③
  操作後に操作4の画面が表示されます。

5 「4直接入力する」▶宛先を入力▶(決定)を押す

簡単ﾒｰﾙ作成：新規
宛先を
入力してください
宛先：docomo.taro
1この宛先を編集
2次へ進む
3他の宛先を編集

- 半角英数字50文字以内で入力します。
- ｉモード端末にメールを送信するときは、メールアドレスの「@docomo.ne.jp」は省略できます。
- 半角英字入力モード時に(1)：「.」「@」「-」などを入力できます。

■ 最近送受信した履歴から選択する：「1最近送信した人」または「2最近受信した人」▶送信する履歴を選択▶(決定)を押す
操作5の画面に戻ります。
- (電話帳)：押すたびに一覧画面と詳細画面が切り替わります。

■ 電話帳から選択する：
① 「3電話帳から選ぶ」▶電話帳を検索する
- 検索方法→p.76

② 送信する相手を選択▶(決定)を押す
送信する相手のメールアドレスの選択画面が表示されます。

③ メールアドレスを選択▶(決定)を押す
操作5の画面に戻ります。

6 「2次へ進む」を押す

簡単ﾒｰﾙ作成：新規
題名を
入力してください
題名：

1直接入力する
2例文から選ぶ
3次へ進む

■ 操作4で音声を録音して添付したとき

次の画面が表示されます。

簡単ﾒｰﾙ作成:新規
宛先: docomo.tar
題名: 音声メール
添付 19.9KB
20090417100000
音声付メールです
1このまま送信
2題名本文を変更

- 題名には「音声メール」、本文には「音声付メールです。」と入力されます。なお、入力された文字は、入力できる題名、本文の文字数に含まれます。
  1 **このまま送信**：このままｉモードメール（音声メール）を送信します。操作13に進みます。
  2 **題名本文を変更**：題名と本文を変更します。操作6の画面が表示されます。

■ 操作4で手書きメモを添付したとき

次の画面が表示されます。

簡単ﾒｰﾙ作成:新規
宛先: docomo.tar
題名: 手書きﾒｰﾙ
添付 15.4KB
20090417100000
手書きメールです
1このまま送信
2題名本文を変更

- 題名には「手書きメール」、本文には「手書きメールです。」と入力されます。なお、入力された文字は、入力できる題名、本文の文字数に含まれます。
  1 **このまま送信**：このままｉモードメール（手書きメール）を送信します。操作13に進みます。
  2 **題名本文を変更**：題名と本文を変更します。操作6の画面が表示されます。

■ 宛先を編集する：

① **「1この宛先を編集」を押す**
操作4の画面に戻ります。

② **宛先を編集▶決定を押す**
操作5の画面に戻ります。

■ 他の宛先を編集する：

- 複数の宛先がある場合に操作できます。

① **「3他の宛先を編集」▶編集するメールアドレスを選択▶決定を押す**
操作4の画面に戻ります。

② **宛先を編集▶決定▶電話帳を押す**
操作5の画面に戻ります。

7 「1直接入力する」▶題名を入力▶決定を押す

操作6の画面に戻ります。

- 全角100文字、半角200文字以内で入力します。
- 受信側の端末によっては、題名をすべて受信できない場合があります。
- 音声で文字入力できます。→p.319

■ 例文から選択する：**「2例文から選ぶ」▶例文を選択▶決定を押す**

例文を読み込んだ旨のメッセージが表示されます。決定を押すと例文が読み込まれ、操作6の画面に戻ります。

- すでに入力中の項目がある場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。→p.146「メール作成時に例文を使う」操作3

8 「3次へ進む」を押す

簡単ﾒｰﾙ作成:新規
本文を
入力してください
本文:
1本文を編集する
2次へ進む

9 「1本文を編集する」▶本文を入力▶決定を押す

操作8の画面に戻ります。

- 全角5000文字、半角10000文字以内で入力します。
- #：文中で改行することができます（半角数字入力モード時を除く）。
- 音声で文字入力できます。→p.319

10 「2次へ進む」を押す

簡単メール作成：新規
宛先：docomo.tar
題名：おはようご
お元気ですか。
こんどの日曜日に
おじゃまします。

- メニュー：作成したｉモードメールを修正します。操作3の画面が表示されます。
  データが添付されている場合は、添付のデータはこのままで良いかの確認画面が表示されます。「1このまま送る」を押すと操作5の画面が表示されます。

11 内容を確認▶決定を押す

簡単メール作成：新規
メールを
送信しますか？
1送信する
2保存して終了

1 **送信する：**ｉモードメールを送信します。

2 **保存して終了：**作成したｉモードメールを「未送信のメールを見る」に保存して終了します。→p.155

12 「1送信する」を押す

ｉモードメールが送信されます。
送信が終了すると、送信した旨のメッセージが表示されます。

- 接続中画面で決定：接続を中止します。
- 送信中画面で電話帳：送信を中止します。
  ただし、タイミングによっては送信される場合があります。そのとき送信されたｉモードメールは、「未送信のメールを見る」に保存されます。→p.155
- 圏外のときは、圏外の旨のメッセージが表示されます。
  圏内自動送信に設定しているｉモードメールが5件未満の場合は決定を押すと、自動送信するよう設定するかどうかの確認画面が表示されます。→p.143「圏内自動送信の設定について」
  圏内自動送信に設定しているｉモードメールが5件以上の場合は決定を押すと、メール作成画面に戻ります。

13 決定を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

- 簡単メール作成・送信についての注意事項は「ｉモードメールを作成して送信する」のお知らせをご覧ください。→p.143

ｉモードメール作成・送信

ｉモードメールを作成して送信する

1 待受画面でメールを1秒以上押す

メール作成：新規
宛先：
題名：
本文：
装飾：設定なし
送信する

<メール作成画面>

- 簡単メール作成画面が表示されたときは、電話帳▶「1切替える」を押します。

2 宛先欄を選択▶決定を押す

宛先を
選んでください
1最近送信した人
2最近受信した人
3電話帳から選ぶ
4直接入力する

■ ワンタッチダイヤルボタンから宛先を選択する：**宛先欄を選択▶ワンタッチダイヤルボタン(1)～(3)のいずれかを押す**

ワンタッチダイヤルに登録した名前が宛先欄に入力されます。操作4に進みます。

- ワンタッチダイヤルにはあらかじめ登録しておく必要があります。→p.82
- すでに宛先が入力された宛先欄を選択して操作すると、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きするときは「1上書きする」を押します。

3 **「4直接入力する」▶宛先を入力▶(決定)を押す**

操作1の画面に戻ります。

- 半角で最大50文字入力できます。
- ｉモード端末にメールを送信するときは、メールアドレスの「@docomo.ne.jp」は省略できます。
- 半角英字入力モード時に(1)：「.」「@」「-」などを入力できます。

■ 最近送受信した履歴から選択する：**「1最近送信した人」または「2最近受信した人」▶送信する履歴を選択▶(決定)を押す**

操作1の画面に戻ります。選んだ宛先が宛先欄に入力されています。

- (電話帳)：押すたびに一覧画面と詳細画面が切り替わります。

■ 電話帳から宛先を選択する：

① **「3電話帳から選ぶ」▶電話帳を検索する**
- 検索方法→p.76

② **送信する相手を選択▶(決定)を押す**

送信する相手のメールアドレスの選択画面が表示されます。

③ **メールアドレスを選択▶(決定)を押す**

操作1の画面に戻ります。電話帳に登録した名前が宛先欄に入力されています。

4 **題名欄を選択▶(決定)▶題名を入力▶(決定)を押す**

操作1の画面に戻ります。

- 全角100文字、半角200文字以内で入力します。
- 受信側の端末によっては、題名をすべて受信できない場合があります。
- 音声で文字入力できます。→p.319

5 **本文欄を選択▶(決定)▶本文を入力▶(決定)を押す**

操作1の画面に戻ります。

- 全角5000文字、半角10000文字以内で入力します。
- (#)：文中で改行することができます（半角数字入力モード時を除く）。
- 音声で文字入力できます。→p.319

6 **「送信する」を選択▶(決定)を押す**

ｉモードメールが送信されます。

送信が終了すると、送信した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと待受画面に戻ります。

- 接続中画面で(決定)：接続を中止します。
- 送信中画面で(電話帳)：送信を中止します。ただし、タイミングによっては送信される場合があります。そのとき送信されたｉモードメールは、「未送信のメールを見る」に保存されます。→p.155
- 圏外のときは、圏外の旨のメッセージが表示されます。
  圏内自動送信に設定しているｉモードメールが5件未満の場合は(決定)を押すと、自動送信するよう設定するかどうかの確認画面が表示されます。
  以降の操作は「圏内自動送信の設定について」をご覧ください。→p.143
  圏内自動送信に設定しているｉモードメールが5件以上の場合は(決定)を押すと、メール作成画面に戻ります。

■ 署名付きで送信する：**(メニュー)▶「3署名付きで送信」を押す**

本文の最後に署名が挿入されて送信されます。

- 署名はあらかじめ登録しておく必要があります。→p.171

圏内自動送信の設定について

圏外のためにｉモードメールを送信できなかったときは、圏内に移動したときに自動送信するように設定できます。

- 最大5件設定できます。
- 圏内自動送信の設定を解除することができます。→p.149

圏内自動送信を設定する

圏外にいるときにｉモードメールを送信しようとすると、圏外の旨のメッセージが表示されます。決定を押すと、次の画面が表示されます。

圏内に移動したら
自動送信するよう
設定しますか？
1設定する
2設定しない

1 **設定する：**圏内自動送信を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと待受画面に戻ります。
圏内自動送信を設定したｉモードメールは「未送信のメールを見る」に保存されます。→p.155

2 **設定しない：**通常のｉモードメールとして「未送信のメールを見る」(→p.155)に保存され、メール作成画面に戻ります。

圏内になると

圏内になると、圏内自動送信に設定したｉモードメールが自動的に送信されます。
送信が終了すると、送信した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、何もせずに約3秒間経過すると待受画面に戻ります。

- 送信が完了するまで、最大2回再送されます。

■ 送信に失敗したとき

- 自動送信中に中断したときや失敗したときは、送信に失敗したメールがある旨のメッセージが表示されます。FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「自動送信メール失敗」と表示されます。決定を押すと待受画面に戻り、お知らせ情報(→p.24)と✉が表示されます。
失敗したｉモードメールは「未送信のメールを見る」に保存されます。→p.155
保存されたｉモードメールは自動で再送信されませんので、未送信メールから再送信してください。→p.149
- 「未送信のメールを見る」(→p.155)に保存された圏内自動送信に失敗したｉモードメールを選択して決定を押すと、失敗の理由が表示されます。
- 「未送信のメールを見る」(→p.155)のフォルダ一覧を表示すると、お知らせ情報(→p.24)と✉は消えます。

お知らせ

- 送信が正常に終了したときは、ｉモードメールが「送信したメールを見る」(→p.155)に保存されます。送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護されていない古い送信メールから順に上書きされます。残しておきたい送信メールは保護してください。→p.192
- 未送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、メールを作成できない旨のメッセージが表示され、ｉモードメールを作成できません。「未送信のメールを見る」から不要なｉモードメール、SMSを削除してください。→p.191
- 送信するｉモードメールのサイズが未送信／送信メールの保存領域の空きを超えるときは、不要な未送信／送信メールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。送信する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のメールを削除します。
- 空白や改行も本文の文字数に含まれます。
- 絵文字を入力したｉモードメールを他社携帯電話に送信すると、自動的に受信側の類似絵文字に変換されます。ただし、受信側の携帯電話の機種や機能によって正しく表示されないことや、該当する絵文字がない場合に文字または〓に変換されることがあります。
- 一部の絵文字は、相手のｉモード端末の機種によっては正しく表示されない場合があります。

- 電波状態により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- 送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、ｉモードメールが「未送信のメールを見る」に保存されます。「未送信のメールを見る」からｉモードメールを編集して送信できます。→p.155
- ｉモードメールを正常に送信できていても、電波状態によっては「送信できませんでした」というエラーメッセージが表示される場合があります。
- ドコモ以外のメールアドレスにｉモードメールを送信した場合、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。

メールの宛先追加

ｉモードメールを最大5人の相手に同時に送信（同報送信）できます。

1 **ｉモードメールを作成する**

- 操作方法→p.141「ｉモードメールを作成して送信する」操作1～5

2 **(メニュー)▶「7宛先を追加」を押す**

追加する
宛先の種類を
選んでください

1宛先(To)
2Cc
3Bcc

1 **宛先（To）**：送信相手のメールアドレスを入力します。
宛先（To）に1件も入力していないメールは送信できません。

2 **Cc**：直接の送信相手（宛先（To））以外にメールの内容を知らせたい宛先を追加します。

3 **Bcc**：宛先（To）やCcに設定した送信相手に知らせたくない宛先を追加します。入力したメールアドレスは他の送信相手には表示されません。

- 宛先種別（宛先（To）、Cc、Bcc）を変更する場合は、変更する宛先を選択▶(メニュー)▶「9宛先種別を変更」▶変更する宛先の種類を押します。
- 追加した宛先を削除する場合は、削除する宛先を選択▶(メニュー)▶「8宛先を削除」▶「1削除する」を押します。

3 **「1宛先（To）」～「3Bcc」のいずれかを押す**

宛先を
　選んでください

1最近送信した人
2最近受信した人
3電話帳から選ぶ
4直接入力する

4 **宛先の入力方法を選択し、宛先を入力して送信する**

- 操作方法は、宛先欄が1件の場合と同様です。→p.142「ｉモードメールを作成して送信する」操作3以降
- 宛先をさらに追加する場合は、操作2～4を繰り返し行います。

お知らせ

- 「宛先（To）」と「Cc」に入力したメールアドレスは、受信側に表示されます。ただし、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合があります。

ツータッチメール

よく送る相手にボタン2つでメールを作成する

ボタンを2つ押すだけで、短縮ダイヤルを設定（→p.89）した相手の宛先が入力されたｉモードメールやSMSの作成画面を表示することができます。

〈例〉ｉモードメールを作成する

1 **待受画面で電話帳No（0～9）を入力▶（メール）を押す**

メール作成：新規
宛先：携帯花子
題名：
本文：
装飾：設定なし
送信する

電話帳に登録した名前が入力されます。

- 以降の操作→p.138「簡単な操作でｉモードメールを作成して送信する」操作4以降、p.142「ｉモードメールを作成して送信する」操作4以降

■ **SMSを作成する：電話帳No（0～9）を入力▶（メール）を1秒以上押す**
入力した電話帳Noに登録した名前が宛先に入力されてSMS作成画面が表示されます。
- 以降の操作→p.181「SMSを作成して送信する」操作4以降

お知らせ

- 入力した電話帳Noの電話帳に電話番号やメールアドレスを登録していない場合や、電話帳を登録していない場合、宛先がない／該当する電話帳がない旨のメッセージが表示されます。（決定）を押すと、宛先が設定されていないｉモードメール／SMS作成画面が表示されます。
- 複数の電話番号やメールアドレスを登録している相手を選択してメールを作成すると、1件目の電話番号やメールアドレスが宛先に設定されます。

メール例文

例文を利用してメールを作成する

例文とは、本文の先頭に同じ文章を入れたり、類似の内容を何度も送信したりするために、あらかじめｉモードメールの内容を登録しておく機能です。例文を呼び出して内容を追加・修正するだけで、簡単にｉモードメールを作成できます。

- お買い上げ時は次の例文が登録されています。

題　名	本　文
電話ください	手が空いたら連絡ください。
もうすぐ着きます	駅まで迎えに来てください。
今、行きます	今、待ち合わせ場所に向かっています。
到着が遅れます	すみません、待ち合わせに遅れます。
遅くなります	ご飯はいりません。また連絡します。
急用ができました	急用ができました。また連絡します。
電車の中です	今、電車の中なので、後で連絡します。
御礼申し上げます	先日はありがとうございました。楽しかったです。
ご無沙汰してます	ご無沙汰しております。お暇なときにでもメールください。
今から帰ります	○○時ごろ、家に着きます。

- SMSには使用できません。

例文からｉモードメールを作成

1 **待受画面で（メール）▶「3例文を使ってメールを作る」を押す**

例文一覧
電話ください
もうすぐ着きます
今、行きます
到着が遅れます
遅くなります
急用ができました
電車の中です

- （電話帳）：例文の内容を表示します。

2 **読み込む例文を選択▶決定を押す**

例文の内容がメール作成画面に入力されます。

メール作成：編集
宛先：
題名：電話くださ
本文：手が空いた
装飾：設定なし
送信する

- 以降の操作→p.138「簡単な操作でｉモードメールを作成して送信する」操作4以降、p.141「ｉモードメールを作成して送信する」操作2以降

メール作成時に例文を使う

1 **メール作成画面を表示する**

- 操作方法→p.141「ｉモードメールを作成して送信する」操作1

2 **メニュー▶「6例文を使う」▶「1例文を呼出す」を押す**

3 **読み込む例文を選択▶決定を押す**

例文を読み込んだ旨のメッセージが表示されます。決定を押すと例文が読み込まれたメール作成画面に戻ります。

- すでに入力中の項目がある場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。
  「1本文のみ上書き」を押すと、本文に入力中の文章を消去して例文を読み込みます。
  「2すべて上書き」を押すと、入力中の文章を消去して例文を読み込みます。
  「3上書きしない」を押すと、例文の読み込みを中止します。
- 以降の操作→p.141「ｉモードメールを作成して送信する」操作2以降

例文を編集して保存

FOMA端末に保存されている例文の内容を編集します。

- お買い上げ時に登録されている例文を編集しても、お買い上げ時の内容に戻すことができます。→p.147

1 **待受画面で✉▶「8メールを設定する」▶「2例文を編集する」を押す**

例文一覧が表示されます。

2 **編集する例文を選択▶メニュー▶「1編集する」を押す**

例文編集
宛先：
題名：電話くださ
本文：手が空いた

- 編集方法はｉモードメールを作成する場合と同様です。→p.141「ｉモードメールを作成して送信する」操作2～5

3 **編集した後に電話帳を押す**

保存先を選ぶ画面が表示されます。

4 **保存先の例文を選択▶決定を押す**

例文を上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

5 **「1上書きする」を押す**

例文を上書きした旨のメッセージが表示されます。決定を押すと例文一覧に戻ります。

作成したｉモードメールを例文として保存

FOMA端末に保存されている例文に、作成した例文を上書き保存します。

- 宛先、題名、本文のいずれかを設定すると登録できます。
- 最大10件登録できます。
- 添付データは例文に保存できません。

- お買い上げ時に登録されている例文に上書きしても、お買い上げ時の内容に戻すことができます。→p.147

1 **例文に保存する内容を作成する**

メール作成：新規
宛先：docomo.tar
題名：おはようご
本文：今日は良い
装飾：設定なし
送信する

- 作成方法→p.141「i モードメールを作成して送信する」操作1～5

2 **メニュー▶「6例文を使う」▶「2例文に保存」を押す**

保存先を選ぶ画面が表示されます。

3 **保存先の例文を選択▶決定を押す**

例文に保存するかどうかの確認画面が表示されます。

4 **「1保存する」を押す**

例文を保存した旨のメッセージが表示されます。

5 **決定を押す**

メール作成画面に戻ります。

- 終話を押して、「1保存して終了」▶決定または「2保存せずに終了」を押すと待受画面に戻ります。

例文のリセット

1 **待受画面でメール▶「8メールを設定する」▶「2例文を編集する」を押す**

例文一覧が表示されます。

2 **初期化する例文を選択▶メニュー▶「2初期状態に戻す」▶「1選択1件」を押す**

例文をお買い上げ時の状態に戻した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと例文一覧に戻ります。

- すべての例文をお買い上げ時の状態に戻すときは、メニュー▶「2初期状態に戻す」▶「2全件」▶端末暗証番号を入力▶決定を押します。

かんたんデコメール®作成

i モードメールを装飾して送信する

お買い上げ時に登録されているメールテンプレートを利用したり、本文の先頭行に画像を1個貼り付けたりして、装飾したｉモードメール（デコメール®）を送信できます。

- お買い上げ時には70件のメールテンプレートと「デコメピクチャ」アルバムに60件の画像が保存されています。
- 本文は全角400文字、半角800文字以内で入力します。
- メールテンプレートと画像の貼り付け（1個）は同時に利用できません。
- 簡単メール作成からはデコメール®を作成できません。
- データの添付、署名を付けての送信はできません。
- デコメール®を設定中は例文を利用できません。
- 次の場合は、デコメール®の設定は解除されます。
  - 簡単メール作成画面に切り替えた場合
  - 保存した場合（中断や送信失敗で自動保存された場合を除く）
  - 送信したデコメール®を編集した場合

1 **メール作成画面を表示する**

- 操作方法→p.141「i モードメールを作成して送信する」操作1

2 装飾欄を選択▶決定を押す

装飾する種類を
選んでください
1テンプレート
2写真・画像
3解除する
4確認する

- すでに本文に全角400文字、半角800文字を超えて入力している場合やデータが添付されている場合は、装飾できない旨のメッセージが表示されます。決定を押すと、メール作成画面に戻ります。

3 「1テンプレート」を押す

候補一覧 01/70件
ありがとう
ありがとう
オメデトウ！
おめでとう
お誕生日
誕生日おめでとう
結婚おめでとう

- すでに装飾していると、現在の装飾が解除される旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメールテンプレート一覧が表示されます。
- メニュー：装飾の選択画面に戻ります。
- 電話帳：すでに装飾していた場合は、設定を解除できます。

■ **画像を挿入する：「2写真・画像」▶アルバムを選択▶決定▶画像を選択▶決定を押す**

送信イメージ確認画面が表示されます。操作5に進みます。

- 挿入できる画像のファイルサイズは90Kバイト以内です。microSDカード内の90Kバイトを超える画像を選択して決定を押すとデータを添付できない旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメール作成画面に戻ります。
- すでに装飾していると、現在の装飾が解除される旨のメッセージが表示されます。決定を押すと写真・画像一覧が表示されます。
- 「iモードで探す」を選択して決定▶「1接続する」を押すと、iモードサイトから画像を探せます。→p.212

■ **装飾を解除する：「3解除する」を押す**

デコメール®の装飾を解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメール作成画面に戻ります。

■ **装飾を確認する：「4確認する」を押す**

装飾したイメージが表示されます。決定を押すとメール作成画面に戻ります。

- 電話帳：装飾が解除されます。

4 読み込むメールテンプレートを選択▶決定を押す

メールテンプレート詳細画面が表示されます。

- メニュー：候補一覧に戻ります。
- 電話帳：すでに装飾していた場合は、設定を解除できます。

5 内容を確認▶決定を押す

題名欄に設定したメールテンプレートの題名が入力され（すでに入力されていた場合を除く）、装飾欄に「設定あり」が入力されたメール作成画面に戻ります。

- 画像は本文の先頭行に貼り付けられます。
- メール作成画面でメニュー▶「0デコメールサイズ確認」を押すと、送信するデコメール®のサイズを確認できます。決定を押すと、元の画面に戻ります。
- 以降の操作→p.141「iモードメールを作成して送信する」操作2以降

お知らせ

- 10000バイトを超えるデコメール®を対応端末に送信すると、相手の端末によっては閲覧用URLが記載されたメールを受信します。
- デコメール®を非対応端末に送信すると、閲覧用URLが記載されたメールを受信します。ただし、デコメール®のサイズが10000バイトを超えるときは、相手の端末によってはテキスト本文のみのメールになり、閲覧用URLを受信できない場合があります。

ｉモードメール保存

作成中のｉモードメールを保存しておき、あとで送信する

作成中のｉモードメールを送信せずに保存したり、保存したｉモードメールを再編集して送信したりできます。

作成中のｉモードメールの保存

- 宛先、題名、本文、添付データのいずれかを入力、設定すると保存できます。
- 最大保存件数→p.396

1　ｉモードメールを作成する

- 操作方法→p.141「ｉモードメールを作成して送信する」操作1～5

2　メニュー▶「2保存する」を押す

メールを保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと待受画面に戻ります。

- ｉモードメールが「未送信のメールを見る」に保存されます。→p.155

お知らせ

- 未送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要な未送信メールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内の未送信メールを削除します。

送信・保存したｉモードメールの編集・送信

送信したｉモードメールや、送信せずに保存したり送信に失敗したりした未送信のｉモードメールを、編集して送信できます。

〈例〉未送信メールを再編集する

1　待受画面で✉▶「4未送信のメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

未送信メール一覧が表示されます。

- 送信メールを再編集する場合は、待受画面で✉▶「5送信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押します。

2　編集するｉモードメールを選択▶決定を押す

メール作成：編集	
宛先:	docomo.tar
題名:	おはようご
本文:	今日は良い
装飾:	設定なし
送信する	

- 送信したメールを再編集するときは、編集するｉモードメールを選択▶電話帳を押します。
- 以降の操作→p.139「簡単な操作でｉモードメールを作成して送信する」操作5以降、p.141「ｉモードメールを作成して送信する」操作2以降

お知らせ

- ｉモードメールに添付されたメロディを自動演奏するように設定している場合（→p.172）、メロディが添付されている送信メールを表示すると、メロディが自動的に再生されます。再生を止めるときは決定または戻るchを押します。

圏内自動送信の設定を解除

圏外のときに設定したｉモードメールの圏内自動送信を解除します。

1　待受画面で✉▶「4未送信のメールを見る」▶フォルダを選択▶決定▶圏内自動送信が設定されているｉモードメールを選択▶メニュー▶「8圏内送信解除」を押す

圏内自動送信設定を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

2　「1解除する」を押す

圏内自動送信設定を解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと未送信メール一覧に戻ります。

お知らせ

- 次の場合でも圏内自動送信の設定は解除されます。
  - 「未送信のメールを見る」（→p.155）に保存された圏内自動送信を設定したｉモードメールを選択▶決定を押した場合
  - FOMAカードを差し替えた場合
  - 接続先変更（→p.218）で接続先または接続先アドレスを変更した場合

ｉモードメールにデータを添付して送信する

ｉモードメールに画像やメロディを添付したり、FOMA端末で撮影した写真や手書きメモ、ビデオ、音声を添付したりして、送信できます。

- 添付データは最大10件、合計2Mバイトまで添付できます。
- 添付可能なデータは次のとおりです。

データの種類	添付の条件
動画／ｉモーション※1	• MP4形式の動画／ｉモーションのみ添付できます（ASF形式や部分的に取得した動画／ｉモーションは添付できません）。 • 再生制限が設定（→p.258）されているものは添付できません。※2
音声※1	MP4形式のみ添付できます。
画像※3	JPEG形式、GIF形式の画像やアニメーションのみ添付できます。
メロディ	SMF形式、MFi形式のメロディのみ添付できます。
手書きメモ※3	―

※1 映像のある動画／ｉモーションは、受信側の端末やパソコンなどの機器によって、URLが記載されたメールとして受信したり、添付データとして受信したりします。また、正しく受信や表示がされなかったり、粗く表示されたり、連続静止画に変換されて表示されたりする場合があります。表示サイズが128×96（ドット）、176×144（ドット）以外は添付できません。
2Mバイト対応機種以外のｉモード端末に送信する場合は、ビデオサイズ（容量）を「メール添付・小」で撮影した動画をおすすめします。
録音した音声は、映像のない動画／ｉモーションとして添付されます。ｉモーションメール非対応の端末へ送信した場合、音声は削除されます。

※2 再生制限が設定されていないものでも添付できない場合があります。

※3 受信側の端末やパソコンなどの機器によって、URLが記載されたメールとして受信したり、添付データとして受信したりします。また、正しく受信や表示されなかったり、粗く表示される場合があります。なお、添付データとして受信しても対応していないサイズの場合は表示できないことがあります。
手書きメモは画像として添付されます。

- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているデータ（この端末でファイル制限を「設定する」にしたデータを除く）、FOMAカードのセキュリティ機能が設定されているデータは添付できません。
- movaサービスのｉモード端末へ送信する場合は、JPEG形式の画像（最大500Kバイト）1枚のみ添付できます。送信相手の端末にはURLの記載されたメール（ｉショット）として受信されます。それ以外の添付データは削除されます。

1 メール作成画面を表示する

- 操作方法→p.141「ｉモードメールを作成して送信する」操作1

2 メニュー▶「4添付データ」▶「1追加する」を押す

添付する対象を
選んでください
1ビデオ・音声
2写真
3メロディ
4手書きメモ

3 「1ビデオ・音声」～「4手書きメモ」のいずれかを押す

- 撮影済みの手書きメモを添付する場合は「■写真をアルバムから選択して添付する」の操作を行います。→p.153

■ ビデオを撮影して添付する（iモーションメール）：

① 「1ビデオ・音声」▶「1今から撮影する」を押す

ビデオ撮影画面が表示されます。
背面ディスプレイの照明が点滅します。

現時点で撮影（保存）できる残りの最大撮影時間の目安

- (メニュー)：撮影時の設定ができます。→p.236

② 被写体にカメラを向けて(決定)を押す

撮影確認音（ビデオのシャッター音）が鳴り撮影が開始され、ランプが約3秒間隔で点滅します。

撮影終了までの時間の目安
撮影終了までの目安

- 撮影終了までの時間の目安が00：00：00になると、撮影が自動的に終了して操作③の画面が表示されます。
- (メニュー)：撮影が休止／再開されます。押すたびに確認音が鳴ります。
  撮影休止中は背面ディスプレイの照明が点灯します。

③ (決定)を押す

終了確認音が鳴り、撮影が終了します。

- (メニュー)：撮影したビデオを保存せずにビデオ撮影画面に戻ります。
- (電話帳)：撮影したビデオを再生します。

④ (決定)を押す

ビデオを保存した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと撮影したビデオが添付されたメール作成画面に戻ります。

- 撮影したビデオは、ビデオ・音声一覧の「撮影したビデオ」アルバムに保存されます。→p.254

■ 音声を添付する（音声メール）：

- 音声はマイクから録音されます。周囲の雑音が少ないできるだけ静かな所で録音してください。
- 音声は1件につき約60秒録音できます。

① 「1ビデオ・音声」▶「2今から録音する」を押す

音声録音画面が表示されます。
背面ディスプレイの照明が点滅します。

録音（保存）できる残り時間の目安

② [決定]を押す

録音確認音が鳴り録音が開始され、ランプが約5秒間隔で点滅します。

- 録音終了までの時間の目安が00：00：00になると、録音が自動的に終了して操作③の画面が表示されます。
- [メニュー]：録音が休止／再開されます。押すたびに確認音が鳴ります。
  録音休止中は背面ディスプレイの照明が点灯します。

③ [決定]を押す

終了確認音が鳴り、録音が終了します。

- [メニュー]：録音した音声を保存せずに音声録音画面に戻ります。
- [電話帳]：録音した音声を再生します。

④ [決定]を押す

音声を保存した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと録音した音声が添付されたメール作成画面に戻ります。

- 録音した音声は、ビデオ・音声一覧の「録音した音声」アルバムに保存されます。→p.254

■ ビデオ・音声をアルバムから選択して添付する：

①「[1]ビデオ・音声」▶「[3]アルバムから選ぶ」を押す

ビデオ･音声一覧
撮影したビデオ
録音した音声
microSDのﾋﾞﾃﾞｵ
iモード
内蔵ビデオ
データ交換
iモードで探す

② アルバムを選択▶[決定]▶動画／iモーションを選択▶[決定]を押す

ﾋﾞﾃﾞｵ/音声を
送信しますか？
[1]このまま送る
[2]内容を確認する
[3]送信を中止する

[1]**このまま送る**：このまま添付します。

[2]**内容を確認する**：添付する前に再生して確認します。

[3]**送信を中止する**：添付を中止します。

- 選択した動画／iモーションによっては、送信方法の選択画面が表示されます。選択画面については「動画／iモーションを添付してiモードメールを作成する」のお知らせをご覧ください。→p.256
- microSDカード内のデータを選択した場合は、選択画面は表示されず、動画／iモーションが添付されたメール作成画面に戻ります。
- 「iモードで探す」を選択して[決定]▶「[1]接続する」を押すと、iモードサイトからiモーションを探せます。→p.222

③「[1]このまま送る」を押す

メール作成画面に戻ります。選択した動画／iモーションが添付されています。

■ 写真を撮影して添付する：

① 「2写真」▶「1今から撮影する」を押す

写真撮影画面が表示され、オートフォーカスが起動し、オレンジ色のフォーカス枠が表示されます。ピントが合うと確認音が鳴り、フォーカス枠が緑の「+」に変わります

背面ディスプレイの照明が点滅します。

現時点で撮影（保存）できる残りの最大撮影枚数の目安

- メニュー：撮影時の設定ができます。→p.236

② 被写体にカメラを向けて決定を押す

撮影確認音（写真のシャッター音）が鳴り、ランプが点滅して撮影されます。

- メニュー：撮影した写真を保存せずに写真撮影画面に戻ります。

③ 決定を押す

写真を保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと撮影した写真が添付されたメール作成画面に戻ります。

- 撮影した写真は、写真・画像一覧の「撮影した写真」アルバムに保存されます。→p.248

■ 写真をアルバムから選択して添付する：

① 「2写真」▶「2アルバムから選ぶ」を押す

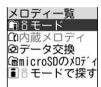
写真・画像一覧
撮影した写真
microSDの写真
iモード
デコメピクチャ
アイテム
内蔵写真
データ交換

② アルバムを選択▶決定▶画像を選択▶決定を押す

メール作成画面に戻ります。選択した画像が添付されています。

- 画像サイズの横縦（または縦横）が320×240（ドット）を超える画像を選択した場合は、サイズ変更の選択画面が表示されます。→p.249「画像を添付してｉモードメールを作成する」のお知らせ
- 「ｉモードで探す」を選択して決定▶「1接続する」を押すと、ｉモードサイトから画像を探せます。→p.212

■ メロディを添付する：

① 「3メロディ」を押す

② フォルダを選択▶決定▶メロディを選択▶決定を押す

メール作成画面に戻ります。選択したメロディが添付されています。

- 「ｉモードで探す」を選択して決定▶「1接続する」を押すと、ｉモードサイトからメロディを探せます。→p.214

■ 手書きメモを撮影して添付する（手書きメール）：

① 「4手書きメモ」を押す

撮影画面が表示されます。

背面ディスプレイの照明が点滅します。

現時点で撮影（保存）できる残りの最大撮影枚数の目安

- メニュー：撮影時の設定ができます。→p.236

② 手書きメモにカメラを向けて(決定)を押す

オートフォーカスが起動し、オレンジ色のフォーカス枠が表示されます。ピントが合うと確認音が鳴り、フォーカス枠が緑の「+」に変わります。
撮影確認音（写真のシャッター音）が鳴りランプが点滅して撮影され、補正されます。

OKです☺
待ち合わせは
10:00に
駅前で！
晴れるといいですね。

- (メニュー)：撮影した手書きメモを保存せずに撮影画面に戻ります。
- (電話帳)：押すたびに歪みの補正あり／補正なしが切り替わります。

③ (決定)を押す

写真を保存した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと撮影した手書きメモが添付されたメール作成画面に戻ります。

- 撮影した手書きメモは、写真・画像一覧の「撮影した写真」アルバムに保存されます。→p.248

4 **ｉモードメールを編集して送信する**

- 以降の操作→p.141「ｉモードメールを作成して送信する」操作2以降

お知らせ

- 音声／写真／ビデオの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要な写真／ビデオを削除するかどうかの確認画面が表示されます。録音／撮影する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のデータを削除します。
- 音声／ビデオの撮影についての注意事項は「ビデオを撮影する」のお知らせをご覧ください。→p.236

添付データの追加／解除

〈例〉添付データを1件解除する

1 **データが添付されているメール作成画面を表示する**

- 操作方法→p.150「ｉモードメールにデータを添付して送信する」操作1～3

2 **解除する添付データを選択▶(メニュー)▶「4添付データ」を押す**

添付データの
操作を
選んでください
1追加する
2解除する
3全て解除する
4表示/再生する
5題名を確認

3 **「2解除する」を押す**

添付データを解除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **添付データを追加する：「1追加する」を押す**

- 以降の操作→p.151「ｉモードメールにデータを添付して送信する」操作3以降

■ **添付データを全件解除する：「3全て解除する」を押す**

4 **「1解除する」を押す**

添付データが解除され、メール作成画面に戻ります。

未送信／送信メール

未送信／送信したｉモードメールを見る

- 電話帳お預かりサービス（ケータイデータお預かりサービス）を利用してメールを保存できます。→p.119

〈例〉送信したメールを見る

1 待受画面で（メールキー）▶「5 送信したメールを見る」を押す

保護メール数／全メール件数

送信メール
保護001/005件
送信箱
会社
友達

- 未送信メールを表示する場合は、待受画面で（メールキー）▶「4 未送信のメールを見る」を押します。
- マークの意味は次のとおりです。
  （グレー）：メールが保存されていないフォルダ
  （黒）：メールが保存されているフォルダ

2 フォルダを選択▶決定を押す

フォルダ名
メール番号／フォルダ内件数
送信／保存日時（送信／保存当日：時刻　当日以外：日付）、宛先、題名

送信箱
001/005件
10:00 090XXX…
電話ください
04/16 docomo…
おはようござ…
04/15 docomo…
おはようござ…

<送信メール一覧>

- 宛先を電話帳に登録しているときは電話帳に登録した名前が表示されます。→p.70

- マークの意味は次のとおりです。

マーク		説　明
状　態	表示なし	通常のｉモードメール
		保護されたメール
		歩数計自動送信メール
		圏内自動送信設定中
		圏内／歩数計自動送信失敗
		保護＋圏内自動送信設定中
		保護＋圏内／歩数計自動送信失敗
添　付		画像が添付
		メロディが添付
		動画／ｉモーションが添付
		複数添付データあり
		表示できるサイズを超えたデータが添付
SMS		SMS

3 表示するｉモードメールを選択▶決定を押す

状態マーク、添付マーク、メール番号／フォルダ内件数

<送信メール詳細画面>

- 未送信メール一覧でメールを選択▶決定を押すと、メール編集画面が表示されます。→p.149「送信・保存したｉモードメールの編集・送信」操作2
- （メールキー）（下キー）：すべて表示されていない場合は、画面をスクロールできます。
- （左キー）（右キー）：前後のメールを表示できます。
- マークの意味は次のとおりです。

マーク	説　明
（時計）	送信した日時
宛	送信先のメールアドレスまたは電話帳に登録した名前
Cc Bcc	送信先のメールアドレスまたは電話帳に登録した名前→p.144
題	題名

- 添付データがある場合は、本文の最後に添付マーク、ファイル名、ファイルサイズが表示されます。→p.163

メール自動受信

ｉモードメールを受信したときは

送信されてきたｉモードメールを自動的に受信し、画面表示や着信音、バイブレータ、背面ディスプレイの照明でお知らせします。

- 受信したｉモードメールは「受信したメールを見る」に保存されます。→p.160
- 最大保存件数→p.396

1 ｉモードメールを受信する

と が点滅し、次の画面が表示されます。

- メール受信中に決定を押すと受信を中止できますが、受信中の状況によってはメールを受信する場合があります。
- 送信元のメールアドレスをワンタッチダイヤルに登録していて、着信画像を設定している場合は、その画像と相手の名前が表示されます。→p.82、p.85
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「メール受信中」が表示されます。受信が完了すると「メール受信」と送信元のメールアドレスまたは電話帳に登録した名前が表示されて メール が表示されます。

2 ｉモードメールの受信結果が表示される

が表示されメール着信音が鳴り、背面ディスプレイの照明が点滅します。

- 受信結果画面が表示されてから約15秒間、またはメール着信音が鳴り終わるまでの間（鳴らす時間を15秒以上に設定している場合）何も操作しないと、自動的に受信前の画面に戻ります。
- すぐに受信前の画面に戻すときは戻るchを押します。

■ **受信したメールをすぐに確認する：「1メール」を押す**

受信メールのフォルダ一覧が表示されます。→p.160

■ **受信に失敗したとき**

「1メール」の後ろに「×」が表示されます。

- メールを受信し直すには、ｉモード問合せを行ってください。→p.159

お知らせ

- ｉモードメールを受信したときは、メール受信時の動作に設定した着信音の優先順位に従い動作します。→p.93
- 複数のｉモードメールやSMS、メッセージR/Fを同時に受信したときは、最後に受信したｉモードメールやSMS、メッセージR/Fに設定した条件に従い動作します。
- 受信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護されていない未読以外の古い受信メールから順に上書きされます。このとき、受信したメールのサイズによっては大量に消去される場合があります。残しておきたい受信メールは保護してください。→p.192

未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯で上書きできないときは、iモードメールの受信は中止され、画面には✉(赤)や✉のマークが表示されます。受信する場合は、未読の受信メールを表示（→p.160）、不要な受信メールの保護を解除（→p.192）してください。

- iモードセンターにiモードメールが残っているときは、(黒)や(黒)のマークが表示されます。ただし、iモードメールがあっても表示されない場合もあります。また、iモードセンターの保管件数が満杯になったときは、マークが(赤)や(赤)に変わります。iモードセンターに残っているiモードメールを受信する場合は、iモード問合せ（→p.159）またはメール選択受信（→p.158）を行ってください。
- 新しいiモードメールが届いたときは、iモードセンターで保管している他のiモードメールやメッセージR/Fもあわせて受信します。
- メール選択受信設定を「利用する」に設定すると、メールを自動的に受信せずに、必要なメールだけを選択して受信できます。→p.157
- 極端に容量の大きいiモードメールは、iモードセンターで受け付けずに送信元に返信されることがあります。
- 受信メールのデータ量（文字数、添付データ）が100Kバイトまでは自動受信し、100Kバイトを超えると添付データの一部またはすべてを選択受信添付データとして受信します。→p.162
- iモードメールを受信すると、iモードセンターのiモードメールは削除されます。
- 次のような場合に送られてきたiモードメールは、iモードセンターに保管されます。
  - 電源が入っていないとき
  - お預かりセンター接続中
  - セルフモード中
  - おまかせロック中
  - FirstPassセンター接続中
  - 受信に失敗したとき
  - iモード圏外のとき
  - SMS受信中
  - 赤外線通信中
  - メール選択受信設定が「利用する」に設定されているとき
  - 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯のとき
- 他の機能を起動中※、オールロック中、個人情報表示制限中、開閉ロック中（FOMA端末を開いている状態）にメールを自動受信すると、受信中画面や受信結果画面は表示されず、着信音と背面ディスプレイの照明も動作しません。受信したメールを確認するには、他の機能を終了、各制限を解除してください。

  ※ 電話、エリアメール内容表示画面、カメラ、ストリーミングタイプのiモーション再生、目覚まし、予定の通知、お知らせタイマー、メモ、音声入力メール以外の機能の場合、背面ディスプレイの照明が約3秒間点灯します。また、バイブレータをメール受信時の動作で振動するように設定している場合は、約3秒間振動します。FOMA端末を閉じているときには着信音やバイブレータ、背面ディスプレイの照明が鳴動しますが、開くと鳴動は停止します。

iモードメールを選択して受信する

送信されてきたiモードメールを自動受信せずに、必要なメールだけを選択して受信するように設定します。

iモードメールを自動受信しないように設定〈メール選択受信設定〉

1 **待受画面で✉▶「8メールを設定する」▶「3メール選択受信を設定する」を押す**

メール選択受信を利用するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1利用する」を押す**

メール選択受信を利用するに設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

- 「2利用しない」：メール選択受信を利用しません。

お知らせ

- 「利用する」に設定した場合、送られてきたｉモードメールはｉモードセンターに保管され、FOMA端末には自動的に配信されません。ｉモードセンターにメールが届くと次の画面が表示されますが、着信音やバイブレータ、背面ディスプレイの照明は動作しません。決定を押すと元の画面に戻ります。

センターに
メールがあります
決定

- 「利用する」に設定しても、SMS、メッセージR/F、エリアメールは自動受信します。

必要なメールだけを選択受信〈メール選択受信〉

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールの題名などを確認し、受信するｉモードメールを選択したり、受信前に削除したりできます。

- メール選択受信を利用するには、あらかじめメール選択受信設定を「利用する」に設定しておく必要があります。→p.157
  なお、「利用する」に設定した場合は、自動的にｉモードメールを受信できません。
- メール選択受信設定を「利用する」に設定した場合でも、ｉモード問合せを行うと全メールを受信しますので、ｉモードメールを受信したくない場合には、ｉモード問合せ設定で問合せ項目から「メール」を外しておいてください。→p.159

1 待受画面で ▶「6 メールがあるか問合せる」▶「2 メール選択受信を行う」を押す

ｉモードに接続され、ｉモードセンターに保管されているｉモードメールが一覧表示されます。

メール選択受信
(1/1ページ)

選択受信説明
[1] 保留
09/04/17 10:00
こんにちは
docomo_taro_AA@doc

- メールの末尾のマークの意味は次のとおりです。
  : 画像が添付
  : メロディが添付
  : ｉモーションが添付
  ※ 上記以外のマークは、この端末では対応していない添付データです。

2 メールごとに「保留」を選択▶決定▶「受信」「削除」「保留」のいずれかを選択▶決定を押す

1/1ページまで選択したメールを
受信/削除
----
iモードセンターから全てのメールを
削除

- 「保留」を設定した場合は、そのままｉモードセンターに保管されます。
- ページが複数ある場合には、メール一覧の最後に表示される「前ページ」または「次ページ」を選択▶決定を押すと前後のページを表示できます。

3 「受信／削除」を選択▶(決定)を押す

確認画面
受信： 2件
削除： 0件
保留： 1件
よろしいですか?
決定
ｷｬﾝｾﾙ

■ iモードセンターに保管されている全メールを削除する：「iモードセンターから全てのメールを」の「削除」を選択▶(決定)を押す

4 「決定」を選択▶(決定)を押す

「受信」を設定したメールはすぐに受信し、受信結果画面が表示されます。→p.156

iモード問合せ

iモードメールがあるかを問い合わせる

圏外にいた間や電源を切っていた間などにiモードメールやメッセージR/Fが届いていないかを問い合わせます。

- 電波状態によってはiモード問合せができない場合があります。

1 待受画面で(✉)▶「6メールがあるか問合せる」▶「1メール・メッセージを受信する」を押す

iモード問合せが実行されます。iモードセンターにiモードメールやメッセージR/Fが保管されていれば受信します。

- iモード問合せ中やメール、メッセージR、メッセージFの受信中に(決定)を押すと、問い合わせを中止できますが、問い合わせの状況によっては受信する場合があります。

iモード問い合わせの内容設定〈iモード問合せ設定〉

iモードセンターへ問い合わせをする際に、iモードメール、メッセージR/Fの中から受信する項目を設定します。

- お買い上げ時はメール、メッセージR、メッセージFのすべてに☑が付いています。配信を希望しない場合はその項目を☐にしてください。

1 待受画面で(✉)▶「6メールがあるか問合せる」▶「3問合せ内容を選ぶ」を押す

問合せを
行う項目を
選んでください
1 ☑ メール
2 ☑ メッセージR
3 ☑ メッセージF

- 設定状態は次のとおりです。
  ☑：有効　☐：無効
- (ﾒﾆｭｰ)：すべての項目を選択／解除します。

2 「1メール」～「3メッセージF」を押す

☑または☐に変わります。

- すべての項目を無効にすると設定できません。いずれかを選択してください。

3 (電話帳)を押す

問合せを行う項目を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

受信メール

受信したｉモードメールを見る

- お買い上げ時には、「はじめまして」「緊急速報「エリアメール」のご案内」のメールが「受信箱」フォルダに保存されています。このメールの受信に通信料はかかっていません。また返信することはできません。
- 電話帳お預かりサービス（ケータイデータお預かりサービス）を利用してメールを保存できます。→p.119

1 待受画面で ▶「1受信したメールを見る」を押す

未読メール数／全メール件数

受信メール
未読0001/0010件
受信箱
会社
友達
メッセージR
メッセージF

- マークの意味は次のとおりです。
  - （グレー）：メールが保存されていないフォルダ
  - （黒）：メールが保存されているフォルダ（未読なし）
  - ：メールが保存されているフォルダ（未読あり）

2 フォルダを選択▶決定を押す

フォルダ名
メール番号／フォルダ内件数
受信日時（受信当日：時刻　当日以外：日付）、送信元、題名（SMS：本文の先頭）

受信箱
0001/0010件
10:00 docomo…
電話ください
04/16 docomo…
到着します
04/15 docomo…
急用ができま…

<受信メール一覧>

- 送信元を電話帳に登録しているときは、電話帳に登録した名前が表示されます（→p.70）。エリアメールの場合は「エリアメール」と表示されます。
- 題名はｉモードメールによって、表示されない場合があります。また、エリアメールとSMSの場合は本文の先頭が表示されます。

- マークの意味は次のとおりです。

マーク		説明
状態		未読メール
	表示なし	既読メール
		保護されたメール
		未読メール（返信済み）
		既読メール（返信済み）
		保護されたメール（返信済み）
		未読メール（返信不可）
		既読メール（返信不可）
		既読で保護されたメール（返信不可）
		未読メール（転送済み）
		既読メール（転送済み）
		既読で保護されたメール（転送済み）
添付		画像が添付
		メロディが添付
		動画／ｉモーションが添付
		複数添付データあり
		添付データ無効→p.161
		表示できるサイズを超えたデータが添付
SMS		SMS
通知		情報通知SMS
エリアメール		エリアメール

3 ｉモードメールを選択▶決定を押す

メール番号／フォルダ内件数
状態マーク、宛先マーク、添付マーク

受信箱
0001/0010件
To
09/04/17 10:00
docomo.taro.…
docomo-ΔΔ-ta…
電話ください
待ち合わせの場所

<受信メール詳細画面>

- ：すべて表示されていない場合は、画面をスクロールできます。
- ：前後のメールを表示できます。

メール

- マークの意味は次のとおりです。

マーク	説　明
To Cc Bcc	送信元からどの宛先種別（To、Cc、Bcc）で送られてきたのかを示すマーク
	受信した日時
	送信元のメールアドレスまたは電話帳に登録した名前
宛 Cc	送信先のメールアドレスまたは電話帳に登録した名前→p.144
題	題名

- 添付データがある場合は、次のマークで取得状態を確認できます。

データの種類	データの取得状態					
	取得済み※1	取得済み※2	未取得	取得途中	取得不可	データ不正
画像						
動画／iモーション						
メロディ						

※1 メール添付やこの端末の外へ転送可能なデータ

※2 メール添付やこの端末の外へ転送不可能なデータ

- 送信メールにも同様の添付データのマークが表示されます。

お知らせ

- iモードメールに添付されたメロディを自動演奏するように設定している場合（→p.172）、メロディが添付されているiモードメールを表示すると、メロディが自動的に再生されます。再生を止めるときは決定または戻るを押します。
- 添付データが受信可能なデータ量（→p.150）を超える場合やこの端末で対応していない場合は削除されます。削除された場合は題名の下に「[添付ファイル削除]」または本文中に「添付ファイルは閲覧不可のため削除しました」とメッセージが追加されます。
- メール本文中にメロディが複数貼り付けられていると貼り付けられたメロディは無効になります。このとき添付マークには?が表示されます。
- パソコンなど、デコメール®対応FOMA端末以外から装飾されたメールを受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。

iモードメール返信

iモードメールに返事を出す

- 受信メールによっては返信できない場合があります。

1 待受画面で ▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 返信するiモードメールを選択▶電話帳を押す

らくらく返信
<自分で入力>
了解しました。
今から帰ります。
後で連絡します。
遅くなります。
ありがとうござ…
ごめんなさい。

- 次の場合は、らくらく返信の本文一覧は表示されません。操作4に進みます。
  - らくらく返信設定を「利用しない」に設定している場合
  - 前回の操作で簡単メール作成を使用していた場合
- 複数の宛先に送られた受信メール（同報メール）に返信するときは、返信先の選択画面が表示されます。「1差出人のみ」を押すと、送信元のみに返信します。「2全員に返信」を押すと、自分以外のすべての宛先と送信元に返信します。

3 「〈自分で入力〉」を選択▶(決定)を押す

■ らくらく返信を使用する：返信する本文を選択▶(決定)を押す
選択したらくらく返信本文がメールの本文に挿入されます。

受信メールの送信元のメールアドレスまたは電話帳に登録した名前が入力されます。
先頭に「REX:」（X は「1」を除く返信回数）の付いた受信メールの題名が入力されます。

メール作成：返信
宛先：docomo.tar
題名：RE:おはよ
本文：了解しまし
装飾：設定なし
送信する

4 ｉモードメールを編集して送信する

- 操作方法→p.138、p.141
- 返信すると、受信メールの状態マークが、表示なし（既読）／✉／🔑から↩／✉／🔑に変わります。→p.160「受信したｉモードメールを見る」操作2

お知らせ

- 返信するｉモードメールには受信メールの本文、添付データともに引用されません。

ｉモードメール転送

ｉモードメールを他の宛先に転送する

1 待受画面で(✉)▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶(決定)を押す
受信メール一覧が表示されます。

2 転送するｉモードメールを選択▶(メニュー)▶「2転送する」を押す

先頭に「FWX:」（X は「1」を除く転送回数）の付いた受信メールの題名が入力されます。
受信メールの本文が入力されます。

メール作成：転送
宛先：
題名：FW:おはよ
本文：今日は良い
装飾：設定なし
送信する

3 ｉモードメールを編集して送信する

- 操作方法→p.138、p.141
- 転送すると、受信メールの状態マークが、表示なし（既読）／✉／🔑から➡／✉／🔑に変わります。→p.160「受信したｉモードメールを見る」操作2

お知らせ

- 添付データのあるメールを転送する場合は、添付データを送るかどうかの確認画面が表示されます。添付するときは「1添付して送る」を押します。
- デコメール®を転送する場合は、装飾が解除される旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと添付データを送るかどうかの確認画面が表示され、「1添付して送る」を押すとテキスト文字と本文中に貼り付けられていた画像（先頭から10個まで）が添付データとして転送メールに引用されます。
- 未取得、取得途中の選択受信添付データは転送するｉモードメールに添付されません。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているデータは転送するメールに添付されません。なお、出力が禁止されていなくても、メロディの種類によっては添付されない場合があります。
- 受信メール本文中に貼り付けられているメロディは転送するメールには貼り付けられません。

選択受信添付データ

選択受信添付データを取得する

ｉモードメールに添付された未取得または取得途中の選択受信添付データ（画像、ｉモーション、メロディ）をダウンロードします。

- メール本文と添付データの合計サイズが100Kバイトを超える場合は、添付データの一部またはすべてを選択受信添付データとして受信します。
- 未取得または取得途中の添付データがあると、受信メール詳細画面にｉモードセンターでの保存期限が表示されます。保存期限が経過すると、ダウンロードできません。
- ダウンロードできるサイズは1件あたり最大2Mバイトです。

1 待受画面で(✉)▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶(決定)を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 取得するデータが添付されたｉモードメールを選択▶(決定)を押す

- 添付データのマークの見かた→p.160「受信したｉモードメールを見る」操作3

3 ファイル名を選択▶(決定)を押す

ｉモードセンターに接続され、データの受信が始まります。

- (電話帳)を押すと、ダウンロードが中断され、再取得するかどうかの確認画面が表示されます。「2取得しない」を押すと、ダウンロードを中止し、中止した部分まで保存されます。
- データのダウンロード後の操作は自動受信した添付データの操作と同様です。→p.163

お知らせ

- 選択受信添付データを取得しようとしたときに、FOMA端末の保存領域の空きが足りないときは取得できません。受信済みのｉモードメールの添付データ削除（→p.167）、未読メールの内容表示（→p.160）、保護解除（→p.192）、不要メールの削除（→p.191）などを行ってからダウンロードし直してください。
- データのサイズによっては、選択受信添付データをダウンロードする際に既読メールが削除される場合があります。
- 圏外などでダウンロードが中断すると再取得の確認画面が表示されます。「2取得しない」を押すと中断した部分まで保存され、添付データマークにが表示されます。

添付データを操作する

ｉモードメールに添付されているデータを表示・保存します。

- 最大保存件数→p.396

画像の表示・保存

1 待受画面で(✉)▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶(決定)を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 画像が添付されているｉモードメールを選択▶(決定)を押す

画像のマークとファイル名、ファイルサイズ

<全体イメージ>

- 添付された画像の状態はマークで確認できます。→p.160「受信したｉモードメールを見る」操作3

3 **保存する画像のファイル名を選択▶決定を押す**

添付されている
データの操作を
選んでください

1画像表示なし
2画像を保存
3待受画面に貼る

■ **画像の題名を確認する：**

① メニュー▶「8添付データを操作」
- 複数のデータが添付されている場合は、操作する添付データを選択して決定を押します。

② 「5題名を確認」を押す
題名が表示されます。決定を押すと操作2の画面に戻ります。

■ **デコメール®に挿入されている画像を保存する：メニュー▶「0登録する」▶「4画像を保存」▶保存する画像を選択▶決定を押す**
操作5に進みます。

4 **「2画像を保存」を押す**

写真の保存
題名
20090417100010
ファイル制限
なし
ファイル名
20090417100010

- 各項目の説明→p.250

■ **画像の表示／非表示を切り替える：「1画像表示あり／なし」を押す**

■ **待受画面に設定する：「3待受画面に貼る」▶決定▶「1設定する」を押す**
写真・画像一覧の「ｉモード」アルバム（→p.248）に保存され、待受画像を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと操作2の画面に戻ります。

5 **決定を押す**
保存先アルバム選択画面が表示されます。
- フレームを保存する場合は、保存先アルバム選択画面は表示されず、「アイテム」アルバムに保存されます。画像を保存した旨のメッセージが表示され、決定を押すと操作2の画面に戻ります。

■ **題名を変更する：メニュー▶「1題名を変更」▶題名を入力▶決定を押す**
題名を変更した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと操作3の画面に戻ります。保存操作を行ってください。
- 36文字以内で入力します。

■ **待受画面に設定する：**

① メニュー▶「2画面へ貼り付け」▶「1待受画面」を押す
待受画像を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

② 「1設定する」を押す
写真・画像一覧の「ｉモード」アルバム（→p.248）に保存され、待受画像を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと操作2の画面に戻ります。

■ **ワンタッチダイヤル画面に設定する：**
メニュー▶「2画面へ貼り付け」▶「2ワンタッチダイヤル画面」▶「1ワンタッチダイヤル1」～「3ワンタッチダイヤル3」のいずれかを押す
写真・画像一覧の「ｉモード」アルバム（→p.248）に保存され、ワンタッチダイヤルに設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと操作2の画面に戻ります。

6 **保存先アルバムを選択▶決定を押す**
画像を保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと操作2の画面に戻ります。

お知らせ

- 画像の横幅がディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。
- 横縦（または縦横）のサイズが次の大きさを超える画像は保存できません。
  GIF形式：480×640（ドット）
  JPEG形式：1728×2304（ドット）
- フレームとして表示・保存できる画像サイズは横縦（または縦横）が176×144（ドット）、240×320（ドット）です。
- デコメール®では、メール詳細画面本文中に表示される画像のファイル名などは表示されません。
- 画像によっては正しく表示できない場合があります。
- 送信メール詳細画面から操作する場合は、メニュー▶「7添付データを操作」を押します。
- 送信メール詳細画面からデコメール®に挿入されている画像を保存するときは、メニュー▶「9登録する」を押します。
- 画像の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要な写真を削除するかどうかの確認画面が表示されます。画像を保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内の画像を削除します。

iモーションの再生・保存

1 待受画面で✉▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 iモーションが添付されているiモードメールを選択▶決定を押す

受信箱
docomo.taro.…
かわいいね！
こんなに大きくなったよ。
200904171000…
25.3KB
- END -

iモーションのマークとファイル名、ファイルサイズ

<全体イメージ>

- 添付されたiモーションの状態はマークで確認できます。→p.160「受信したiモードメールを見る」操作3

3 メニュー▶「8添付データを操作」

- 複数のデータが添付されている場合は、操作する添付データを選択して決定を押します。

4 「2 iモーションを保存」を押す

ビデオの保存
題名
20090417100025
ファイル制限
なし
着信音設定
設定不可

- 各項目の説明→p.257

■ **iモーションを再生する：「1 iモーションを再生」を押す**

再生終了後、操作2の画面に戻ります。

- 再生中の操作→p.255「動画／iモーションを再生する」操作3

■ **iモーションの題名を確認する：「5題名を確認」を押す**

題名が表示されます。決定を押すと操作2の画面に戻ります。

5 決定を押す

ビデオ／音声を保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと操作2の画面に戻ります。

- 保存したiモーションは、ビデオ・音声一覧の「iモード」アルバムに保存されます。→p.254

■ **題名を変更する：メニュー▶「1題名を変更」▶題名を入力▶決定を押す**

題名が変更されて操作3の画面に戻ります。保存操作を行ってください。

- 36文字以内で入力します。

■ **着信音に設定する：メニュー▶「2着信音に設定」▶「1電話着信」～「4メッセージF受信」のいずれかを押す**

保存して着信音に設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと操作2の画面に戻ります。

お知らせ

- 送信メール詳細画面から操作する場合は、(メニュー)▶「7添付データを操作」を押します。
- ｉモーションによっては正しく再生できない場合があります。
- ｉモーションの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なｉモーションを削除するかどうかの確認画面が表示されます。ｉモーションを保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のｉモーションを削除します。
- メールに添付されたｉモーションをパソコンなどで再生する場合は、対応のソフトが必要です。詳細はドコモのホームページをご覧ください。

メロディの再生・保存

- 添付されたメロディは、本文の後に添付されているものと、本文中に貼り付けられているものがあります。
- 100Kバイトを超えるメロディは再生・保存できません。

1 待受画面で(メール)▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶(決定)を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 メロディが添付されているｉモードメールを選択▶(決定)を押す

受信箱
アップしましたので、音楽とともにお楽しみください。それでは！
♪melody.mid
0.4KB
－ END －

メロディのマークとファイル名、ファイルサイズ

<本文の後に表示>

受信箱
昨日はおつかれさま！またよろしくね。
♪トッカータとフーガ
1.4KB
－ END －

メロディのマークと題名、ファイルサイズ

<本文中に表示>

- 添付されたメロディの状態はマークで確認できます。→p.160「受信したｉモードメールを見る」操作3

3 (メニュー)▶「8添付データを操作」

- 複数のデータが添付されている場合は、操作する添付データを選択して(決定)を押します。

■ **メロディを再生する：再生するメロディのファイル名（題名）を選択▶(決定)を押す**

- 再生中に(+)(−)：音量を調節します。

4 「2メロディを保存」を押す

メロディの保存
題名
melody
ファイル制限
なし

- 各項目の説明→p.263

■ **メロディの題名を確認する：「5題名を確認」を押す**

題名が表示されます。(決定)を押すと操作2の画面に戻ります。

5 (決定)を押す

メロディを保存した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと操作2の画面に戻ります。

- 保存したメロディは、メロディ一覧の「ｉモード」フォルダに保存されます。→p.262

■ **題名を変更する：(メニュー)▶「1題名を変更」▶題名を入力▶(決定)を押す**

題名を変更した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと操作3の画面に戻ります。保存操作を行ってください。

- 全角25文字、半角50文字以内で入力します。

■ **着信音に設定する：(メニュー)▶「2着信音に設定」▶「1電話着信」～「4メッセージF受信」のいずれかを押す**

保存して着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと操作2の画面に戻ります。

お知らせ

- ｉモードメールに添付されたメロディを自動演奏する設定にしている場合（→p.172）、メロディが添付されているメールを表示すると、メロディが自動的に再生されます。再生を止めるときは決定または戻るを押します。
- 送信元の端末や受信したメロディによっては、正しく再生できない場合があります。
- 送信メール詳細画面からも同様にして再生できます。
- メロディの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なメロディを削除するかどうかの確認画面が表示されます。メロディを保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のメロディを削除します。
- 送信メール詳細画面から操作する場合は、メニュー▶「7添付データを操作」を押します。
- 本文中に貼り付けられているメロディの題名を確認する場合は、メニュー▶「8添付データを操作」▶「4題名を確認」を押します。
- 本文の文字が誤ってメロディとして認識された場合は、受信メール詳細画面でメニュー▶「8添付データを操作」▶「5データ表示あり」を押すと文字として表示できます。データ表示されたメロディの先頭行で決定を押すと、メロディの表示に戻ります。

ｉモードメールに添付されたデータを削除する

ｉモードメールに添付されている画像、ｉモーション、メロディ、選択受信添付データを削除します。

- メール本文中に貼り付けられている画像やメロディは削除できません。

〈例〉添付されている画像を削除する

1　待受画面で メール ▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

受信メール一覧が表示されます。

- 送信メール一覧の表示方法→p.155「未送信／送信したｉモードメールを見る」操作1～2

2　画像が添付されているｉモードメールを選択▶決定を押す

受信メール詳細画面が表示されます。

3　メニュー▶「8添付データを操作」

- 複数のデータが添付されている場合は、操作する添付データを選択して決定を押します。

4　「4 1件削除」を押す

添付データを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- メロディまたはｉモーションを削除する場合は「3 1件削除」または「4全て削除」を押します。
- 送信メール詳細画面から操作するときは、メニュー▶「7添付データを操作」▶「4 1件削除」を押します。

5　「1削除する」を押す

データを削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと受信メール詳細画面に戻ります。

- 削除した添付データはファイル名が薄く表示されて選択できなくなります。

メール振り分け設定

メールを自動的にフォルダに振り分ける

振り分け条件を設定し、受信または送信したメールを自動的にフォルダに振り分けます。

- 受信／送信メールの振り分け条件は、それぞれ30件登録できます。
- フォルダの作成方法→p.190

自動的に振り分けるかどうかを設定

1 待受画面で（メール）▶「8メールを設定する」▶「6メールの振り分けを設定する」を押す

メールの
自動振り分けを
設定してください
1自動振分け設定
2受信振分け条件
3送信振分け条件

2 「1自動振分け設定」を押す

自動振り分けする
メールを
選んでください
1受信メール
振り分ける
2送信メール
振り分ける

3 「1受信メール」または「2送信メール」を押す

自動でフォルダに振り分けるかどうかの確認画面が表示されます。

4 「1振り分ける」または「2振り分けない」を押す

自動振り分けを設定／解除した旨のメッセージが表示されます。（決定）を押すと操作1の画面に戻ります。

振り分け条件を設定

- 送受信済みのメールは振り分けられません。

〈例〉受信メールの振り分け条件を設定する

1 待受画面で（メール）▶「8メールを設定する」▶「6メールの振り分けを設定する」を押す

メールの
自動振り分けを
設定してください
1自動振分け設定
2受信振分け条件
3送信振分け条件

2 「2受信振分け条件」を押す

受信振り分け条件
01/01件
01 docomo.taro

- 振り分け条件が1件も登録されていないときは操作3の画面が表示されます。操作4へ進みます。
- マークの意味は次のとおりです
  - 宛：メールアドレス（送信振り分け条件）
  - （受信マーク）：メールアドレス（受信振り分け条件）
  - 題：題名
  - No：電話帳No
  - （グループマーク）：電話帳グループ
  - ?：電話帳登録なし
  - （条件なしマーク）：条件なし

■ **送信メールの条件を設定する：「3送信振分け条件」を押す**

3 [電話帳]を押す

振り分ける条件を選択してください
1メールアドレス
2題名
3電話帳No
4電話帳グループ
5電話帳登録なし
6条件なし

1 **メールアドレス**：指定したメールアドレスのメールを振り分けます。
2 **題名**：指定した文字を含む題名のメールを振り分けます。
3 **電話帳No**：指定したFOMA端末電話帳のメモリ番号に登録されているメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。iモードメールでは電話帳のメールアドレス、SMSでは電話帳の電話番号と照合されます。
4 **電話帳グループ**：指定した電話帳のグループに登録されているメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。
5 **電話帳登録なし**：電話帳に登録されていないメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。
6 **条件なし**：条件を設定しないで、すべてのメールを操作6で指定するフォルダに振り分けます。

4 「1メールアドレス」を押す

入力方法を選ぶ画面が表示されます。

■ **題名で振り分ける：「2題名」▶題名を入力▶[決定]を押す**
振り分け先フォルダ選択画面が表示されます。操作6に進みます。
- 全角100文字、半角200文字以内で入力します。
- SMSは題名では振り分けられません。

■ **電話帳Noで振り分ける：**
① **「3電話帳No」▶電話帳を検索する**
- 検索方法→p.76

② **振り分ける相手を選択▶[決定]を押す**
振り分け先フォルダ選択画面が表示されます。操作6に進みます。

■ **電話帳グループで振り分ける：「4電話帳グループ」▶グループを選択▶[決定]を押す**
振り分け先フォルダ選択画面が表示されます。操作6に進みます。

■ **電話帳に登録されていない相手を振り分ける：「5電話帳登録なし」を押す**
振り分け先フォルダ選択画面が表示されます。操作6に進みます。

■ **条件を指定しないで振り分ける：「6条件なし」を押す**
振り分け先フォルダ選択画面が表示されます。操作6に進みます。

5 「4直接入力する」▶メールアドレスを入力▶[決定]を押す

振り分け先フォルダ選択画面が表示されます。
- 半角英数字50文字以内で入力します。
- @以降の文字も含めたメールアドレス全体を指定します。
- 指定するメールアドレスがiモード端末の場合は、ドメイン（@docomo.ne.jp）を省略して指定しても振り分けられます。ただし、「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、ドメイン（@docomo.ne.jp）を除いた携帯電話番号のみを登録してください。
- FOMA端末とFOMAカードの電話帳に同じメールアドレスを登録して指定した場合は、FOMA端末電話帳のメールアドレスとして振り分けられます。
- 電話番号を指定すると、SMSも振り分けられます。

■ **最近送受信した履歴から選択する：「1最近送信した人」または「2最近受信した人」▶送信する履歴を選択▶[決定]を押す**

■ **電話帳から選択する：**
① **「3電話帳から選ぶ」▶電話帳を検索する**
- 検索方法→p.76

② **振り分ける相手を選択▶[決定]を押す**
メールアドレスの選択画面が表示されます。

③ **メールアドレスを選択▶[決定]を押す**

6 振り分けるフォルダを選択▶(決定)を押す

受信振り分け条件
01/03件
01 docomo.taro.
02 議事録
〈最後に追加〉
選択された条件の前に振り分け条件を設定します

7 優先順位を選択▶(決定)を押す

振り分け条件を追加した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと操作2の画面に戻ります。

- 1件目の振り分け条件を登録する場合は、「〈最後に追加〉」を選択して(決定)を押します。
- 優先順位の高い条件から順に並びます。
- 自動振分け設定を「振り分けない」に設定している場合は、自動で振り分けるかどうかの確認画面が表示されます。振り分ける場合は、「1振り分ける」を押します。

お知らせ

- 複数の条件を設定すると、優先順位の高い条件から順に判定され、先に条件に合ったフォルダに保存されます。すべての条件に合わなかったメールは、「受信箱」または「送信箱」フォルダに保存されます。
- 受信／送信メールのフォルダ一覧から操作する場合は、(メニュー)▶「7振り分けを設定」を押します。

振り分け条件の削除・変更

〈例〉削除する

1 待受画面で(メール)▶「8メールを設定する」▶「6メールの振り分けを設定する」を押す

メール振り分け設定画面が表示されます。

2 「2受信振分け条件」を押す

振り分け条件画面が表示されます。

■ 送信メールの条件を設定する：「3送信振分け条件」を押す

3 削除する振り分け条件を選択▶(メニュー)▶「3削除する」を押す

削除する振り分け条件の選択画面が表示されます。

■ 条件を変更する：変更する振り分け条件を選択▶(メニュー)▶「2編集する」を押す

- 以降の操作→p.169「振り分け条件を設定」操作4以降

■ 優先順位を変更する：変更する振り分け条件を選択▶(メニュー)▶「4優先順位を変更」を押す

- 以降の操作→p.170「振り分け条件を設定」操作7

4 「1選択1件」を押す

条件を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 全件削除する：「2全件」▶端末暗証番号を入力▶(決定)を押す

5 「1削除する」を押す

振り分け条件を削除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと振り分け条件一覧画面に戻ります。振り分け条件がなくなったときは、メール振り分け設定画面に戻ります。

お知らせ

- 受信／送信メールのフォルダ一覧から操作する場合は、(メニュー)▶「7振り分けを設定」を押します。

署名登録

iモードメールに付ける署名を登録する

- 設定した署名はiモードメールを送信するときに使用できます。→p.141

1 **待受画面で(✉)▶「8メールを設定する」▶「1メールに付ける署名を登録する」▶署名を入力する**

署名登録　残69
ドコモ太郎↵
電話：↵
090XXXXXXXX
入力文字の切替
大/小文字の切替

- 全角50文字、半角100文字以内で入力します。

2 **(決定)を押す**

署名を登録した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 署名も本文の文字数に含まれます。

らくらく返信設定

らくらく返信を設定する

iモードメールに返信するときに、らくらく返信を使用するかどうかを設定します。

1 **待受画面で(✉)▶「8メールを設定する」▶「4らくらく返信を設定する」を押す**

らくらく返信を利用するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1利用する」または「2利用しない」を押す**

利用する／利用しないを設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

らくらく返信本文編集

らくらく返信の本文を編集する

らくらく返信の本文を編集して、よく使う文章に変更することができます。

- お買い上げ時は次の例文が登録されています。お買い上げ時に登録されている例文に上書きしても、お買い上げ時の内容に戻すことができます。
  - 了解しました。
  - 今から帰ります。
  - 後で連絡します。
  - 遅くなります。
  - ありがとうございます。
  - ごめんなさい。

1 **待受画面で(✉)▶「8メールを設定する」▶「5らくらく返信の本文を編集する」を押す**

らくらく返信本文一覧が表示されます。

2 **編集する本文を選択▶(決定)を押す**

本文内容を編集する画面が表示されます。

- 全角20文字、半角40文字以内で入力します。

■ **らくらく返信の本文を全件お買い上げ時の内容に戻す：**

① **(メニュー)▶「2初期状態に戻す」を押す**
端末暗証番号入力画面が表示されます。

② **端末暗証番号を入力▶(決定)を押す**
本文全てをお買い上げ時の状態に戻すかどうかの確認画面が表示されます。

③ **「1戻す」を押す**
本文全てをお買い上げ時の状態に戻した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとらくらく返信本文一覧に戻ります。

3 **編集した後に(決定)を押す**

本文を上書きした旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとらくらく返信本文一覧に戻ります。

添付データ受信設定

添付データを自動受信するかどうかを設定する

ｉモードメールに添付されているデータを種類別に自動受信するかどうかを設定します。

- 自動受信しないように設定したデータは、選択受信添付データとして受信します。→p.162

1 待受画面で(メール)▶「8メールを設定する」▶「9受信する添付種別を選ぶ」を押す

メールで受信するファイルの種類を選んでください
1 ☑ 画像
2 ☑ メロディ
3 ☑ ｉモーション

- 設定状態は次のとおりです。
  ☑: 有効　□: 無効
- (メニュー)：すべての項目を有効／無効にします。

2 「1画像」～「3ｉモーション」を押す

☑または□に変わります。

3 (電話帳)を押す

ファイルの種類を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- メール本文中に貼り付けられている画像やメロディは、本設定に関わらず自動受信します。

添付されたメロディを自動演奏するかどうかを設定する

メロディが添付されているｉモードメールやメッセージR/Fを表示したときに、メロディを自動的に演奏するかどうかを設定します。

1 待受画面で(メール)▶「8メールを設定する」▶「0添付のメロディを自動演奏する」を押す

添付されたメロディを自動で演奏するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1自動演奏する」または「2自動演奏しない」を押す

自動演奏する／自動演奏しないに設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- メロディの添付されたメッセージR/Fが自動表示されたときは、本機能の設定に関わらずメロディは自動的に演奏されません。

メッセージR/F受信

メッセージR/Fを受信したときは

メッセージサービスは、欲しい情報が自動的にお客様のFOMA端末に届くサービスです。
メッセージR/Fを受信すると、画面表示や着信音、バイブレータ、背面ディスプレイの照明でお知らせします。

- 受信したメッセージR/Fは「受信したメールを見る」の「メッセージR」または「メッセージF」に保存されます。→p.174
- 最大保存件数→p.396

1 メッセージR/Fを受信する

(アイコン)と(R)または(F)が点滅し、次の画面が表示されます。

<メッセージRの場合>

- メッセージ受信中に決定を押すと受信を中止できますが、受信中の状況によってはメッセージR/Fを受信する場合があります。
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「メッセージR受信中」または「メッセージF受信中」が表示されます。受信が完了すると「メッセージR受信」または「メッセージF受信」と表示されてRまたはFが表示されます。

2 **メッセージの受信結果が表示される**

RまたはFまたは✉が表示されメッセージR/F着信音が鳴り、背面ディスプレイの照明が点滅します。

- 受信結果画面が表示されてから約15秒間、またはメッセージ着信音が鳴り終わるまでの間（鳴らす時間を15秒以上に設定している場合）何も操作しないと、自動的に受信前の画面に戻ります。
- すぐに受信前の画面に戻すときは戻るchを押します。

■ **受信したメッセージR/Fをすぐに確認する：「2メッセージR」または「3メッセージF」を押す**

メッセージ一覧が表示されます。→p.174

■ **受信に失敗したとき**

「2メッセージR」「3メッセージF」の後ろに「×」が表示されます。

- メッセージR/Fを受信し直すには、ｉモード問合せを行ってください。→p.159

■ **メッセージR/Fの自動表示を設定しているとき**

受信前の画面に戻る前に、設定に従って受信したメッセージR/Fの内容が表示されます。→p.174

お知らせ

- メッセージR/Fを受信したときは、メッセージ受信時の動作に設定した着信音に従い動作します。→p.93
- 複数のｉモードメールやSMS、メッセージR/Fを同時に受信したときは、最後に受信したｉモードメールやSMS、メッセージR/Fに設定した条件に従い動作します。
- メッセージR/Fの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、古いメッセージR/Fから順に上書きされます。残しておきたいメッセージR/Fは保護してください。→p.176
  未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯で上書きできないときは、メッセージR/Fの受信は中止され、画面にはR(赤)やF(赤）のマークが表示されます。受信する場合は、未読のメッセージR/Fを表示（→p.174）したり、不要なメッセージR/Fの保護を解除（→p.176）したりしてください。
- FOMA端末でメッセージR/Fを受信すると、ｉモードセンターに保管されているメッセージR/Fは削除されます。
- ｉモードセンターにメッセージR/Fが残っているときは、(黒)(黒）や(黒）のマークが表示されます。ただし、メッセージR/Fがあっても表示されない場合もあります。また、ｉモードセンターの保管件数が満杯になったときは、マークが(赤)(赤）や(赤）に変わります。
  ｉモードセンターに残っているメッセージR/Fを受信する場合は、ｉモード問合せ（→p.159）を行ってください。
- 次のような場合に送られてきたメッセージR/Fはｉモードセンターに保管されます。
  - 電源が入っていないとき
  - お預かりセンター接続中
  - セルフモード中
  - おまかせロック中
  - FirstPassセンター接続中
  - 受信に失敗したとき
  - ｉモード圏外のとき
  - SMS受信中
  - 赤外線通信中
  - 未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯のとき

- 他の機能を起動中※、オールロック中、個人情報表示制限中、開閉ロック中（FOMA端末を開いている状態）にメッセージR/Fを自動受信すると、受信中画面や受信結果画面は表示されず、着信音と背面ディスプレイの照明も動作しません。受信したメッセージR/Fを確認するには、他の機能を終了、各制限を解除してください。
  ※ 電話、エリアメール内容表示画面、カメラ、ストリーミングタイプのｉモーション再生、目覚まし、予定の通知、お知らせタイマー、メモ、音声入力メール以外の機能の場合、背面ディスプレイの照明が約3秒間点灯します。また、バイブレータをメッセージ受信時の動作で振動するように設定している場合は、約3秒間振動します。FOMA端末を閉じているときには着信音やバイブレータ、背面ディスプレイの照明が鳴動しますが、開くと鳴動は停止します。

メッセージR/Fの未読メッセージ自動表示の設定

メッセージR/Fの受信結果画面（→p.173「メッセージR/Fを受信したときは」操作2）から受信前の画面に戻るときに、受信したメッセージR/Fの内容を自動的に表示できます。

1 待受画面で[メール]▶「8メールを設定する」▶「*未読メッセージを自動で表示する」を押す

自動で表示する
メッセージを
選んでください
1メッセージRのみ
2メッセージFのみ
3メッセージR優先
4メッセージF優先
5自動表示しない

1 **メッセージRのみ**：受信したメッセージRのみを自動表示するように設定します。

2 **メッセージFのみ**：受信したメッセージFのみを自動表示するように設定します。

3 **メッセージR優先**：メッセージR/Fを同時に受信した場合に、メッセージRを優先して自動表示するように設定します。メッセージFのみ受信した場合は、メッセージFを自動表示します。

4 **メッセージF優先**：メッセージR/Fを同時に受信した場合に、メッセージFを優先して自動表示するように設定します。メッセージRのみ受信した場合は、メッセージRを自動表示します。

5 **自動表示しない**：メッセージR/Fを受信しても、自動で表示しないように設定します。

2 「1メッセージRのみ」〜「5自動表示しない」のいずれかを押す

メッセージの自動表示方法を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- メッセージR/Fの内容は約15秒間表示されます。自動表示中にボタン操作を行わなかった場合は、メッセージR/Fは未読の状態で保存されます。
- 受信結果画面からメールやメッセージR/Fの表示操作を行った場合は自動表示されません。また、ｉモード問合せでメッセージR/Fを受信したときは、自動表示されません。
- 待受画面／メニュー画面以外（他の機能が起動中）からは自動表示できません。

メッセージR/F

受信したメッセージR/Fを見る

FOMA端末に保存されているメッセージR/Fを表示します。

1 待受画面で[メール]▶「1受信したメールを見る」

フォルダ一覧が表示されます。

2 「メッセージR」または「メッセージF」を選択▶決定を押す

メッセージR/F番号／メッセージ件数

受信日時（受信当日：時刻 当日以外：日付）、題名

- マークの意味は次のとおりです。

マーク		説 明
状 態	✉	未読メッセージ
	表示なし	既読メッセージ
	鍵	保護されたメッセージ
添 付	画像	画像が添付
	♪	メロディが添付
	複数	複数添付データあり

- メッセージR/Fが保存されていないときは、メッセージがない旨のメッセージが表示されます。

3 表示するメッセージR/Fを選択▶決定を押す

状態マーク、添付マーク、メッセージR/F番号／メッセージ件数

添付データがある場合は、マーク、ファイル名、データサイズが表示

- ：すべて表示されていない場合は、画面をスクロールできます。
- ：前後のメッセージR/Fを表示できます。
- マークの意味は次のとおりです。
  - ：受信した日時
  - 題：題名

お知らせ

- メッセージR/Fに添付されたメロディを自動演奏するように設定している場合（→p.172）、メロディが添付されているメッセージR/Fを表示すると、メロディが自動的に再生されます。再生を止めるときは決定または戻るを押します。
- 本文中に画像が挿入されている場合に画像が受信できなかったときは／⊗／が表示されます。→p.201

添付データの表示・保存

メッセージR/Fに添付されている画像を表示・保存したり、メロディを再生・保存したりします。

〈例〉画像を保存する

1 画像が添付されているメッセージR/F詳細画面を表示する

- 操作方法→p.174
- 添付データの意味をマークで確認できます。→p.174

2 保存する画像のファイル名を選択▶メニュー▶「6添付データを操作」▶「2画像を保存」を押す

- 以降の操作→p.213「サイトから画像をダウンロードする」操作3以降

■ **メロディを保存する：保存するメロディのファイル名を選択▶メニュー▶「6添付データを操作」▶「2メロディを保存」を押す**
- 以降の操作→p.214「サイトからメロディをダウンロードする」操作3

■ **画像やメロディを表示・再生する：表示・再生するファイル名を選択▶決定を押す**
- 添付データが画像の場合は、画像の表示／非表示が切り替わります。

■ **メロディの題名を表示する：確認するファイルを選択▶メニュー▶「6添付データを操作」▶「3題名を確認」を押す**
- 画像の添付データは操作できません。

お知らせ

- 本文中の画像を保存する場合は(メニュー)▶「4画像を保存」を、背景画像を保存する場合は(メニュー)▶「5背景画像を保存」を押します。以降の操作はサイトから画像をダウンロードする操作と同様です。→p.213「サイトから画像をダウンロードする」操作3以降

メッセージR/Fの保存件数を確認する

メッセージR/Fが何件保存されているかを確認します。

1 待受画面で(メール)▶「1受信したメールを見る」を押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 「メッセージR」または「メッセージF」を選択▶(メニュー)▶「5メッセージ件数確認」を押す

メッセージ件数	
メッセージR	
未読	1件
既読	8件
保護	5件

メッセージR/Fの削除

FOMA端末に保存されているメッセージR/Fを削除します。

- 保護されているメッセージR/Fは削除できません。全件削除しても保護されているメッセージR/Fは残ります。保護を解除してから削除してください。

〈例〉メッセージR/Fを1件削除する

1 待受画面で(メール)▶「1受信したメールを見る」を押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 「メッセージR」または「メッセージF」を選択▶(決定)を押す

メッセージ一覧が表示されます。

■ **受信メール・メッセージR/Fを全件削除する：(メニュー)▶「4メッセージを削除」▶「3受信全件」▶端末暗証番号を入力▶(決定)を押す**

全てのメール・メッセージを削除するかどうかの確認画面が表示されます。操作4に進みます。

3 削除するメッセージR/Fを選択▶(メニュー)▶「1削除する」▶「1選択1件」を押す

メッセージを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **既読のみ削除する：(メニュー)▶「1削除する」▶「2既読のみ全件」を押す**

■ **全件削除する：(メニュー)▶「1削除する」▶「3メッセージ全件」を押し、端末暗証番号を入力▶(決定)を押す**

4 「1削除する」を押す

メッセージを削除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメッセージ一覧に戻ります。

- メッセージがなくなった場合は、メッセージがない旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- メッセージR/F詳細画面から削除する場合は、(メニュー)▶「1削除する」を押します。

メッセージR/Fの保護／解除

保存領域の空きがなくなっても、メッセージR/Fを受信したときに上書きされないようにメッセージR/Fを保護します。

- 未読のメッセージR/Fは保護できません。
- 最大保護件数→p.396

〈例〉メッセージR/Fを1件保護する

1 メッセージR/F一覧を表示する

- 操作方法→p.174「受信したメッセージR/Fを見る」操作1

2 保護するメッセージR/Fを選択▶メニュー▶「2保護／解除する」▶「1選択1件保護」を押す

メッセージR/Fが保護されます。

- 状態マークが🔑に変わります。

■ 保護を1件解除する：保護を解除するメッセージR/Fを選択▶メニュー▶「2保護／解除する」▶「2選択1件解除」を押す

■ 保護を全件解除する：メニュー▶「2保護／解除する」▶「3全件解除」を押す

お知らせ

- メッセージR/F詳細画面から保護／保護を解除する場合は、メニュー▶「2保護する」または「2保護を解除する」を押します。

メッセージR/F一覧の並び順変更

メッセージR/F一覧の並び順（「日付順」）を一時的に並べ替えます。

1 メッセージR/F一覧を表示する

- 操作方法→p.174「受信したメッセージR/Fを見る」操作1

2 メニュー▶「3並び順を変更」を押す

並び順を
選んでください
1日付順
2題名順
3ﾒｯｾｰｼﾞｻｲｽﾞ順

3 「1日付順」～「3メッセージサイズ順」のいずれかを押す

メッセージR/Fが一時的に並び替わります。

お知らせ

- 題名に、全角や半角、英字、漢字、URL表示のものが混在していると、「題名順」の並べ替えの結果が50音順にならない場合があります。

メッセージR/F一覧の表示方法の変更

メッセージR/F一覧を一時的にメッセージの状態別に表示します。

1 メッセージR/F一覧を表示する

- 操作方法→p.174「受信したメッセージR/Fを見る」操作1

2 メニュー▶「4表示方法を変更」を押す

表示方法を
選んでください
1全て表示
2未読のみ表示
3既読のみ表示
4保護のみ表示

3 「1全て表示」～「4保護のみ表示」のいずれかを押す

選択した表示方法で表示されます。

お知らせ

- メッセージR/F一覧の表示を終了すると「全て表示」に戻ります。
- 「既読のみ表示」では、保護されているメッセージR/Fは表示されません。

緊急速報「エリアメール」とは

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- ｉモードを契約しなくても、エリアメールの受信ができます。
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。
- 次のような場合は受信できません。
  - 電源が入っていない場合や圏外の場合
  - 電話中
  - おまかせロック中やセルフモード中
  - お預かりセンター接続中
  - 赤外線通信／microSDカード使用中などのデータ転送モード中
  - ソフトウェア更新中
- 次のような場合は、受信できないことがあります。
  - ｉモード通信中
  - パソコンとつないだパケット通信中、64Kデータ通信中
  - パターンデータ更新中
- 次のような場合は、受信しても受信完了画面または内容表示画面は表示されません。
  - 公共モード（ドライブモード）中
  - ストリーミングタイプのｉモーション再生中
  - カメラ起動中
  - アラーム鳴動中

緊急速報「エリアメール」を受信したときは〈エリアメール受信〉

- 最大保存件数→p.396

緊急地震速報のエリアメールを受信したときは

が点灯し、ランプが点滅し、内容表示画面が表示されます。お買い上げ時は、同時に専用のブザー警報音が鳴り、バイブレータが振動します。

- 内容表示画面は、決定、戻る、のいずれかを押すと消去されます。
- ブザー警報音の音量は「メール・メッセージ受信音量を調節する」の「音量6」で、音量の変更はできません。
- ブザー警報音とバイブレータを鳴動させるかどうかや鳴動時間を設定できます。→p.180
- バイブレータの動作パターンは、メール・メッセージ受信振動の「メール受信時の振動を選ぶ」に従います（→p.95）。ただし、「振動させない」に設定している場合、バイブレータは「パターンA」で振動します。
- ランプの点滅時間はブザー警報音の鳴動時間に連動して点滅します。
- マナーモード中は、マナーモードの設定に従い動作します。
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「メッセージ受信　エリアメール」が表示されます。

緊急地震速報以外のエリアメールを受信したときは

が点灯し、ランプが点滅し、専用のエリアメール着信音が鳴り、受信完了画面または内容表示画面が表示されます。

- エリアメール受信時の着信音、受信完了画面または内容表示画面のどちらが表示されるかは配信元の設定によります。
- 内容表示画面は決定、戻る、のいずれかを押すと、受信完了画面は任意のボタンを押すか約15秒間何も操作しないと消えます。
- エリアメール着信音の音量はメール・メッセージ受信音量に従います。→p.94
- エリアメール着信音の鳴動時間はメール・メッセージ着信音の「メール受信時の音を選ぶ」の「鳴らす時間」に従います。→p.93
- バイブレータの動作パターンは、メール・メッセージ受信振動の「メール受信時の振動を選ぶ」に従います。→p.95
- ランプの点滅時間はブザー警報音またはエリアメール着信音の鳴動時間に連動して点滅します。
- マナーモード中は、マナーモードの設定に従い動作します。
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「メッセージ受信　エリアメール」が表示され、受信完了後にメールが表示されます。

お知らせ

- エリアメールは「受信したメールを見る」に保存されます。→p.160
  受信メールの保存領域の空きや最大保存件数に関わらず、エリアメールの最大保存件数を超えるときは、古いエリアメールから順に上書きされます。
- エリアメールの内容表示画面が表示されているときは、目覚ましや予定表などの指定日時になってもアラームは鳴りません。

緊急速報「エリアメール」の設定を行う〈エリアメール設定〉

エリアメールを利用するかどうかを設定する〈受信設定〉

1 **待受画面で(メール)▶「8メールを設定する」▶「7エリアメールを設定する」▶「1エリアメールの利用を設定する」を押す**

エリアメールを利
用すると、現在の
近隣エリアの緊急
地震速報等を受信
することができま
す。
ご注意
（必ずお読み下さ

2 **「ご注意」を確認▶(電話帳)を押す**

エリアメール機能を利用するかどうかの確認画面が表示されます。

- (電話帳)は「ご注意」の内容をすべて表示させてから押してください。

3 **「1利用する」または「2利用しない」を押す**

受信設定を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

利用するエリアメールを登録／削除する〈受信登録〉

- 最大20件登録できます。
- 緊急情報を受信する場合には受信登録の必要はありません。

〈例〉登録する

1 **待受画面で(メール)▶「8メールを設定する」▶「7エリアメールを設定する」▶「2エリアメールの受信登録を設定する」を押す**

2 **登録する項目を選択▶(決定)▶端末暗証番号を入力▶(決定)を押す**

エリアメールの
受信登録を
設定してください
1エリアメール名
2Message ID
未設定

■ **編集する：**

① **編集する登録名を選択▶(メニュー)▶「1編集する」を押す**
端末暗証番号入力画面が表示されます。

② **端末暗証番号を入力▶(決定)を押す**
操作2の画面が表示されます。

■ **削除する：**

① **削除する登録名を選択▶(メニュー)▶「2削除する」を押す**
端末暗証番号入力画面が表示されます。

② **端末暗証番号を入力▶(決定)を押す**
削除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと受信登録一覧に戻ります。

3 **「1エリアメール名」▶任意のエリアメール名を入力▶(決定)を押す**

操作2の画面に戻ります。

- 全角15文字、半角30文字以内で入力します。

4 「2Message ID」▶4桁のMessage IDを入力▶決定を押す

操作2の画面に戻ります。

- 緊急速報以外のエリアメールを受信するにはサービス提供者から付与されるMessage IDの入力が必要です。

5 電話帳を押す

受信登録を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと操作1の画面に戻ります。

ブザー音を設定する〈ブザー鳴動設定〉

1 待受画面で✉▶「8メールを設定する」▶「7エリアメールを設定する」▶「3エリアメールのブザーを設定する」を押す

エリアメールの
ブザー音を
設定してください
1ブザー音設定
従う
2鳴らす時間
10秒

2 「1ブザー音設定」を押す

指定したブザー音に従うかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1従う」を押す

- 「2従わない」：エリアメールを受信すると、エリアメール着信音が鳴ります。操作5へ進みます。

4 ブザーを鳴らす時間を入力▶決定を押す

- 1～30秒の間で入力します。

5 電話帳を押す

ブザー鳴動設定を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

SMS作成・送信

SMSを作成して送信する

携帯電話番号を宛先にして文字メッセージを送信します。

- ドコモ以外の海外通信事業者をご利用のお客様との間でも、送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

1 待受画面で✉▶「9SMSを使う」▶「1SMSを作る」を押す

ﾒｯｾｰｼﾞ作成:新規
宛先:
本文:
送信する

<SMS作成画面>

2 宛先欄を選択▶決定を押す

宛先を
選んでください
1最近送信した人
2最近受信した人
3電話帳から選ぶ
4直接入力する

■ **ワンタッチダイヤルボタンから宛先を選択する：宛先欄を選択▶ワンタッチダイヤルボタン1～3のいずれかを押す**

ワンタッチダイヤルに登録した名前が宛先欄に入力されます。操作4に進みます。

- ワンタッチダイヤルにはあらかじめ登録しておく必要があります。→p.82
- すでに宛先が入力された宛先欄を選択して操作すると、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きするときは「1上書きする」を押します。

3 「4直接入力する」▶宛先を入力▶決定を押す

操作1の画面に戻ります。

- 半角数字20文字以内で入力して送信します。
- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、「+」を含めた21文字まで入力して送信できます。
- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、「+」（0を1秒以上押す）「国番号」「相手の携帯電話番号」の順で入力するか、または「010」「国番号」「相手の携帯電話番号」の順で入力します（受信した海外からのSMSに返信する場合も、「+」または「010」を入力します）。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力します。

■ **最近送受信した履歴から選択する：「1最近送信した人」または「2最近受信した人」▶送信する履歴を選択▶決定を押す**

操作1の画面に戻ります。選んだ宛先が宛先欄に入力されています。

- 電話帳：押すたびに一覧画面と詳細画面が切り替わります。

■ **電話帳から選択する：**

① **「3電話帳から選ぶ」▶電話帳を検索する**

- 検索方法→p.76

② **送信する相手を選択▶決定を押す**

送信する相手の電話番号の選択画面が表示されます。

③ **電話番号を選択▶決定を押す**

操作1の画面に戻ります。電話帳に登録した名前が宛先欄に入力されています。

4 本文欄を選択▶決定▶本文を入力▶決定を押す

操作1の画面に戻ります。

- SMS設定で送信文字種（→p.189）を「日本語」に設定した場合は、70文字以内で入力します。「英語」に設定した場合は、半角の英数字と記号で160文字以内で入力します（ ｀。「」、・゛゜を除く）。
- #：文中で改行することができます（半角数字入力モード時を除く）。ただし、受信側の端末によっては空白に置き換わって表示されます。改行も本文の文字数に含まれます。
- SMS設定の送信文字種（→p.189）を日本語に設定した場合は、音声で文字入力できます。→p.319

5 「送信する」を選択▶決定を押す

SMSが送信されます。

送信が終了すると、送信した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 発信者番号通知を「通知しない」に設定していても、SMS送信時は送信先に発信者番号が通知されます。
- 送信が正常に終了したときは、SMSが「送信したメールを見る」（→p.182）に保存されます。送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護されていない古い送信メールから順に上書きされます。残しておきたい送信メールは保護してください。→p.192
- 未送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、SMSを作成できない旨のメッセージが表示され、SMSを作成できません。「未送信のメールを見る」から不要なｉモードメール、SMSを削除してください。→p.191
- 送信するSMSのサイズが送信メールの保存領域の空きを超えるときは、不要な送信メールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。送信する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のメールを削除します。
- 送信文字種が日本語の場合は、半角カタカナを使うと、受信側に正しく表示されない場合があります。絵文字を使うと💘は♥に、☎以外の絵文字は空白に置き換わって表示されます。
- 送信文字種が英語の場合は、記号（｜ ^ { } [ ] ~ ¥）を入力すると送信できる文字数が少なくなります。また、記号（ ｀ ）は入力できますが、送信すると受信側で空白に置き換わって表示されます。
- 電波状態や送信する文字の種類、相手の端末によっては、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- 送信文字種や送達通知を受け取るかどうかは、あらかじめSMS設定で設定します。→p.189

- SMS作成画面で送達通知を受け取るかどうかを設定する場合は、[メニュー]▶「4SMS送達通知」を押します。ただし、この場合は作成中のSMSにのみ設定が有効になります。
- 送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、SMSが「未送信のメールを見る」に保存されます。「未送信のメールを見る」からSMSを編集して送信できます。→p.182

SMS保存

作成中のSMSを保存しておき、あとで送信する

作成中のSMSを送信せずに保存したり、保存したSMSを再編集して送信したりできます。

作成中のSMSの保存

作成途中のSMSを、送信せずに保存しておきます。

- 宛先、本文のどちらかを入力すると保存できます。
- 最大保存件数→p.396

1 SMSを作成する

- 操作方法→p.180「SMSを作成して送信する」操作1～4

2 [メニュー]▶「2保存する」を押す

メールを保存した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

- SMSが「未送信のメールを見る」に保存されます。→p.182

お知らせ

- 未送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要な未送信メールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内の未送信メールを削除します。

送信・保存したSMSの編集・送信

送信したSMSや、送信せずに保存したり送信に失敗したりしたSMSを編集して送信できます。

〈例〉未送信SMSを再編集する

1 待受画面で[メール]▶「4未送信のメールを見る」▶フォルダを選択▶[決定]を押す

未送信メール一覧が表示されます。

- 送信メール一覧の表示方法→p.155「未送信／送信したｉモードメールを見る」操作1～2
- SMSは[SMSアイコン]が表示されます。

2 編集するSMSを選択▶[決定]を押す

メッセージ作成:編集
宛先:090XXXXXXX
本文:おひさしぶ
送信する

- 送信したSMSを再編集するときは、編集するSMSを選択▶[電話帳]を押します。
- 以降の操作→p.180「SMSを作成して送信する」操作2以降

お知らせ

- FOMAカード内のSMSを送信した場合、送信したSMSは本体の「送信したメールを見る」に保存されます。→p.182

未送信／送信メール

未送信／送信したSMSを見る

〈例〉送信したSMSを表示する

1 待受画面で[メール]▶「5送信したメールを見る」を押す

- 未送信メールを表示する場合は、待受画面で[メール]▶「4未送信のメールを見る」を押します。

メール

- フォルダの状態をマークで確認できます。→p.155「未送信／送信したｉモードメールを見る」操作1

2 フォルダを選択▶(決定)を押す

- SMSはが表示されます。
- 宛先を電話帳に登録しているときは、電話帳に登録した名前が表示されます。→p.70
- メールの状態をマークで確認できます。→p.155「未送信／送信したｉモードメールを見る」操作2

3 表示するSMSを選択▶(決定)を押す

<送信SMS詳細画面>

- 未送信SMSではSMS編集画面が表示されます。→p.182
- ：前後のSMS／メールを表示できます。
- マークの意味は次のとおりです。
  - ：送信した日時
  - 宛：送信先の電話番号または電話帳に登録した名前
  - 題：題名「送信SMS」

SMS受信

SMSを受信したときは

SMSが送られてきたときは自動的に受信し、画面表示や着信音、バイブレータ、背面ディスプレイの照明でお知らせします。

- 受信したSMSは「受信したメールを見る」に保存されます。→p.185
- 最大保存件数→p.396

1 SMSを受信する

が点滅し、次の画面が表示されます。

- メッセージ受信中にを押すと受信を中止できますが、受信中の状況によってはSMSを受信する場合があります。
- 送信元の電話番号をワンタッチダイヤルに登録していて、着信画像を設定している場合は、その画像と相手の名前が表示されます。→p.82、p.85
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「メッセージ受信中」が表示されます。受信が完了すると「メッセージ受信」と送信元の電話番号または電話帳に登録した名前が表示されて メール が表示されます。

2 SMSの受信結果が表示される

が表示されメール着信音が鳴り、背面ディスプレイの照明が点滅します。

- 受信結果画面が表示されてから約15秒間、またはメール着信音が鳴り終わるまでの間（鳴らす時間を15秒以上に設定している場合）何も操作しないと、自動的に受信前の画面に戻ります。
- すぐに受信前の画面に戻すときは(戻る)を押します。

■ 受信したSMSをすぐに確認する：「1メール」を押す

受信メールのフォルダ一覧が表示されます。→p.185

■ 受信に失敗したとき

「1メール」の後ろに「×」が表示されます。

- SMSを受信し直すには、SMS問合せを行ってください。→p.184

お知らせ

- SMSを受信したときは、メール受信時の動作に設定した着信音の優先順位に従い動作します。→p.93
- 複数のｉモードメールやSMS、メッセージR/Fを同時に受信したときは、最後に受信したｉモードメールやSMS、メッセージR/Fに設定した条件に従い動作します。
- 受信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護されていない未読以外の古い受信メールから順に上書きされます。残しておきたい受信メールは保護してください。→p.192
  未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯で上書きできないときは、SMSの受信は中止され、画面には（赤）やのマークが表示されます。受信する場合は、未読の受信メールを表示（→p.160）したり、不要な受信メールの保護を解除（→p.192）したりしてください。
- FOMAカードにSMSが20件（送達通知を除く）保存されているときは、「受信したメールを見る」に空きがあってもSMSを受信できない場合があり、画面にはやのマークが表示されます。FOMA端末本体に移動するか、FOMAカードのSMSを削除してください。→p.187、p.188
- 他の機能を起動中※、オールロック中、個人情報表示制限中、開閉ロック中（FOMA端末を開いている状態）にSMSを自動受信すると、受信中画面や受信結果画面は表示されず、着信音と背面ディスプレイの照明も動作しません。受信したSMSを確認するには、他の機能を終了、各制限を解除してください。
  ※ 電話、エリアメール内容表示画面、カメラ、ストリーミングタイプのｉモーション再生、目覚まし、予定の通知、お知らせタイマー、メモ、音声入力メール以外の機能の場合、背面ディスプレイの照明が約3秒間点灯します。また、バイブレータをメール受信時の動作で振動するように設定している場合は、約3秒間振動します。FOMA端末を閉じているときには着信音やバイブレータ、背面ディスプレイの照明が鳴動しますが、開くと鳴動は停止します。
- ｉモードメール、メッセージR/F、エリアメール受信中は、SMSを自動受信しません。また、ｉモードメール、メッセージR/F、エリアメールの受信完了後も自動受信はされません。SMS問合せを行ってください。→p.184
- FOMA端末でSMSを受信すると、SMSセンターに保管されているSMSは削除されます。

SMS問合せ

SMSがあるかを問い合わせる

圏外にいた間や電源を切っていた間などにSMSが届いていないかを問い合わせます。

- 電波状態によってはSMS問合せができない場合があります。

1 待受画面で ▶「9SMSを使う」▶「2届いているSMSを受信する」を押す

SMS問合せが実行されます。SMSセンターにSMSが保管されていれば受信します。

- SMS問合せ中やSMS受信中にを押すと、問い合わせを中止できますが、問い合わせの状況によってはSMSを受信する場合があります。

お知らせ

- 受信するまでに時間がかかる場合があります。

受信SMS

受信したSMSを見る

1 待受画面で(✉)▶「1受信したメールを見る」を押す

未読メール数／全メール件数

受信メール
未読0001/0010件
受信箱
会社
友達
メッセージR
メッセージF

- フォルダの状態をマークで確認できます。→p.160「受信したｉモードメールを見る」操作1

2 フォルダを選択▶(決定)を押す

フォルダ名
メール番号／フォルダ内件数
受信日時（受信当日：時刻　当日以外：日付）、送信元、本文の先頭または「SMS送達通知」、「留守番　着信通知」

受信箱
0001/0010件
10:00 090XXX…
待ち合わせの…
04/16 docomo…
電話ください
04/15 docomo…
急用ができま…

- SMSは✉sが表示されます（情報通知SMSを除く）。
- 送信元を電話帳に登録しているときは、電話帳に登録した名前が表示されます。→p.70
- メールの状態をマークで確認できます。→p.160「受信したｉモードメールを見る」操作2

3 表示するSMSを選択▶(決定)を押す

メール番号／フォルダ内件数
状態マーク、宛先マーク、SMSマーク

受信箱
0001/0010件
To ✉
09/04/17 10:00
090XXXXXXXX
受信SMS
おひさしぶりです。お元気でしたで

<受信SMS詳細画面>

- (✉)(▼)：すべて表示されていない場合は、画面をスクロールできます。
- (◁)(▷)：前後のSMS／メールを表示できます。
- マークの意味は次のとおりです。
  - ✉：情報通知SMS
  - ◷：受信した日時
  - ▣：送信元の電話番号または電話帳に登録した名前
  - ✕↩：送信元（返信不可）
  - 題：題名「受信SMS」

お知らせ

- 受信したSMSに、区点コード一覧に記載されていない全角文字（ラテン文字やギリシア文字などの特殊文字）は、空白で表示されます。
- ドコモ以外の海外通信事業者からSMSを受信した場合は、送信元のアドレスに自動的に「＋」が付きます。電話帳に「＋」を付けて登録していると、電話帳で登録している名前が表示されます。
- スキャン機能設定（→p.389）のメッセージスキャンを「有効にする」に設定しているときに、電話番号やURLの記載が含まれているSMSを表示しようとすると、注意する旨のメッセージが表示されます。(電話帳)▶「1続ける」を押すと、SMS詳細画面が表示されます。

SMS返信

SMSに返事を出す

- 送信元に「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能」や✕↩のマークが表示される受信SMSには返信できません。

1 待受画面で(✉)▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶(決定)を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 返信するSMSを選択▶(電話帳)を押す

受信SMSの送信元の電話番号または電話帳に登録した名前が入力されます。

ﾒｯｾｰｼﾞ作成:返信
宛先:090XXXXXXX
本文:
送信する

- 以降の操作→p.181「SMSを作成して送信する」操作4以降

- 返信すると、受信SMSの状態マークが、表示なし（既読）／✉／🔑から↩／✉／🔑に変わります。→p.160「受信したｉモードメールを見る」操作2

お知らせ

- 返信するSMSには受信SMSの本文は引用されません。
- FOMAカード内のSMSから返信した場合、送信したSMSは本体の「送信したメールを見る」に保存されます。→p.182

SMS転送

SMSを他の宛先に転送する

- SMSで転送されます。

1 待受画面で✉▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 転送するSMSを選択▶メニュー▶「2転送する」を押す

メッセージ作成:転送
宛先:
本文:今日は良い
送信する

受信SMSの本文が入力されます。

- 以降の操作→p.180「SMSを作成して送信する」操作2以降
- 転送すると、受信SMSの状態マークが、表示なし（既読）／✉／🔑から➡／✉／🔑に変わります。→p.160「受信したｉモードメールを見る」操作2

お知らせ

- FOMAカード内のSMSから転送した場合、送信したSMSは本体の「送信したメールを見る」に保存されます。→p.182

SMSをFOMAカードに保存する

送受信したSMSを、FOMA端末本体から移動／コピーしてFOMAカードに保存できます。

FOMA端末内SMSのFOMAカードへの移動／コピー

FOMA端末本体に保存しているSMSを、FOMAカードに移動／コピーします。

- 「未送信のメールを見る」のSMSは、FOMAカードに保存できません。
- 送信SMSを移動／コピーすると、対応する送達通知が同時にFOMAカードの「FOMAカードの受信SMSを見る」に移動／コピーされます。送達通知だけを移動／コピーすることはできません。
- 最大保存件数→p.396

〈例〉受信SMSをFOMAカードに移動／コピーする

1 待受画面で✉▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

受信メール一覧が表示されます。

- 送信メール一覧の表示方法→p.155「未送信／送信したｉモードメールを見る」操作1～2

2 移動／コピーするSMSを選択▶メニュー▶「6FOMAカードへ保存」を押す

FOMAカードへの保存方法の選択画面が表示されます。

- 送信メール一覧から操作するときは、移動／コピーするSMSを選択▶メニュー▶「5FOMAカードへ保存」を押します。

3 「1移動する」または「2コピーする」を押す

移動／コピーするかどうかの確認画面が表示されます。

4 「1移動する」または「1コピーする」を押す

メッセージを移動／コピーした旨のメッセージが表示されます。決定を押すと受信メール一覧に戻ります。

お知らせ

- FOMAカードの最大保存件数を超えるときは移動／コピーできません。FOMAカードから不要なSMSを削除してください。→p.188
- 受信SMS詳細画面、送信SMS詳細画面からも同様にしてFOMAカードへ移動／コピーができます。
- 保護したSMSをFOMAカード内に移動／コピーをすると、移動先／コピー先でSMSの保護は解除されます。

FOMAカード内SMSの表示

FOMAカードに保存されているSMSを表示します。

〈例〉受信SMSを表示する

1 待受画面で(メール)▶「9SMSを使う」▶「4FOMAカードの受信SMSを見る」を押す

メッセージ番号／全メッセージ件数

受信日時（受信当日：時刻　当日以外：日付）、送信元または宛先本文の先頭または「SMS送達通知」「留守番　着信通知」

FOMAｶｰﾄﾞ受信SMS
001/005件
10:00 090XXX…
来週金曜の正…
07:37 090XXX…
明日の夕方ま…
07:37 SMS Ce…
SMS送達通知

- 送信SMSを表示するときは、待受画面で(メール)▶「9SMSを使う」▶「5FOMAカードの送信SMSを見る」を押します。
- 送信SMSは、FOMAカードに移動／コピーした場合、FOMAカードの送信SMSから送信日時のデータが消去され、表示されません。ただし、送達通知のある送信SMSの場合は、表示されます。
- 送信元を電話帳に登録しているときは、電話帳に登録した名前が表示されます。→p.70

- マークの意味は次のとおりです。
  - ：未読SMS
  - 表示なし：既読SMS
  - ：未読SMS（返信不可）
  - ：既読SMS（返信不可）
  - ：情報通知SMS
  - ：SMS違反

2 表示するSMSを選択▶決定を押す

メッセージ番号／全メッセージ件数

FOMAｶｰﾄﾞ受信SMS
01/05件
09/04/17 10:00
090XXXXXXXX
受信SMS
来週金曜の正午に駅交番前で待ち合わせしましょう。

- (メール)(▼)：すべて表示されていない場合は、画面をスクロールできます。
- (◀)(▶)：前後のメールを表示できます。
- マークの意味は次のとおりです。
  - ：受信SMS
  - ：受信SMS（返信不可）
  - ：送信SMS
  - ：情報通知SMS
  - ：FOMAカード内のSMS
  - 上記以外のマーク
    →p.183「未送信／送信したSMSを見る」操作3、p.185「受信したSMSを見る」操作3

お知らせ

- FOMAカード内のSMSからも、返信／転送、電話帳登録などの操作ができます。操作方法は本体に保存されているSMSと同様です。→p.185、p.197

FOMAカード内SMSのFOMA端末本体への移動／コピー

FOMAカードに保存されているSMSを、FOMA端末本体の「受信したメールを見る」「送信したメールを見る」に移動／コピーします。

- 送信SMSを移動／コピーすると、対応する送達通知が同時に「受信したメールを見る」に移動／コピーされます。送達通知だけを移動／コピーすることはできません。

〈例〉受信SMSをFOMA端末本体に移動／コピーする

1 **待受画面で（メール）▶「9SMSを使う」▶「4FOMAカードの受信SMSを見る」を押す**

受信SMS一覧が表示されます。

- 送信SMSを移動／コピーするときは、待受画面で（メール）▶「9SMSを使う」▶「5FOMAカードの送信SMSを見る」を押します。

2 **移動／コピーするSMSを選択▶（メニュー）▶「4本体へ保存」を押す**

本体への保存方法の選択画面が表示されます。

- 送信SMS一覧から操作するときは、移動／コピーするSMSを選択▶（メニュー）▶「3本体へ保存」を押します。

3 **「1移動する」または「2コピーする」を押す**

移動／コピー先の選択画面が表示されます。

4 **移動／コピー先のフォルダを選択▶（決定）を押す**

メッセージを移動／コピーした旨のメッセージが表示されます。（決定）を押すと受信SMS一覧に戻ります。

お知らせ

- 受信／送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、移動／コピーできません。保護されていないSMSやｉモードメールがあっても上書きされません。
- 受信SMS詳細画面、送信SMS詳細画面からも同様にして、本体へ移動やコピーができます。

FOMAカード内SMSの削除

FOMAカードに保存されているSMSや送達通知を削除します。

- 送信SMSを削除した場合、対応する送達通知がFOMAカード内にあれば、同時に削除されます。

〈例〉受信SMSを1件削除する

1 **待受画面で（メール）▶「9SMSを使う」▶「4FOMAカードの受信SMSを見る」を押す**

受信SMS一覧が表示されます。

- 送信SMSを削除するときは、待受画面で（メール）▶「9SMSを使う」▶「5FOMAカードの送信SMSを見る」を押します。

2 **削除するSMSを選択▶（メニュー）▶「3削除する」を押す**

削除するﾒｯｾｰｼﾞを
選んでください

1選択１件
2FOMAｶｰﾄﾞ内全件
3送達通知全件

- 送信SMS一覧から操作するときは、削除するSMSを選択▶（メニュー）▶「2削除する」を押します。

3 **「1選択１件」を押す**

メッセージを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ FOMAカード内のメッセージを全件削除する：**「2FOMAカード内全件」▶暗証番号を入力▶（決定）を押す**

■ FOMAカード内の送達通知を全件削除する：**「3送達通知全件」▶暗証番号を入力▶（決定）を押す**

- 受信SMSのみ操作できます。

4 **「1削除する」を押す**

メッセージを削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと受信SMS一覧に戻ります。

- メッセージがなくなった場合は、メッセージがない旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 受信SMS詳細画面、送信SMS詳細画面から削除する場合は、メニュー▶「削除する」を選択▶決定▶「1削除する」を押します。

SMS設定

SMSの設定をする

SMSを利用する際の各種条件を設定します。

通常はSMSC、アドレス、Type of Numberの設定を変更する必要はありません。

1 **待受画面で✉▶「9SMSを使う」▶「3SMSを設定する」を押す**

SMSを
設定してください
1送信文字種
日本語
2送達通知
要求しない
3有効期間
3日

1 **送信文字種：**日本語のメッセージを送信するか、英語のメッセージを送信するかを選択します。送信文字種により送信できる文字数が異なります。

2 **送達通知：**SMSを送信する際に、相手に届いたことを知らせる送達通知の配信を要求するかどうかを設定します。

3 **有効期間：**送信したSMSを相手が受け取れないときに、SMSセンターで保管する期間を選択します。

2 **「1送信文字種」～「3有効期間」のいずれかを押す**

■ **送信文字種を設定する：「1送信文字種」▶「1日本語」または「2英語」を押す**

■ **送達通知を設定する：「2送達通知」▶「1要求する」または「2要求しない」を押す**

■ **有効期間を設定する：「3有効期間」▶「10日」～「43日」のいずれかを押す**

- 「0日」に設定すると、一定時間再送された後、削除されます。

■ **ドコモ以外のSMSサービスを受ける：**

① **メニューを押す**

変更する項目を
選んでください
1SMSC
ドコモ
2アドレス
81903101652
3Type of Number
international

② **「1SMSC」▶「2その他」を押す**

- 「1ドコモ」：ドコモからSMSサービスを受ける場合に設定します。

③ **「2アドレス」▶アドレスを入力▶決定を押す**

- 半角数字20文字以内で入力します。

④ **「3Type of Number」▶「1international」または「2unknown」を押す**

- SMSCで「その他」を設定し、かつアドレスを設定した場合は、Type of Numberを「unknown」に設定する必要があります。

3 **電話帳を押す**

SMSを設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 送達通知を「要求する」に設定して送信した場合は、SMSが相手のFOMA端末に届いたことを知らせる送達通知が送られてきます。送達通知は「受信したメールを見る」に保存されます。→p.185
- 送信文字種、有効期間、SMSC、Type of Numberの設定は、FOMAカードに保存されます。

メールを管理する

FOMA端末には、メールをより使いやすくするためのさまざまな管理機能があります。

メールのフォルダ作成

- お買い上げ時に登録されているフォルダ以外に「受信したメールを見る」では最大40個、「送信したメールを見る」では最大20個、「未送信のメールを見る」では最大20個作成できます。

〈例〉受信メールのフォルダを追加する

1 待受画面で(メール)▶「1受信したメールを見る」を押す

フォルダ一覧が表示されます。

- 未送信／送信メール一覧の表示方法→p.155「未送信／送信したｉモードメールを見る」操作1

2 (メニュー)▶「1フォルダを追加」▶フォルダ名を入力する

フォルダ名の入力画面が表示されます。

- 全角7文字、半角14文字以内で入力します。

■ **フォルダ名を変更する：フォルダ名を変更するフォルダを選択▶(メニュー)▶「3フォルダ名変更」▶フォルダ名を入力する**

- お買い上げ時に登録されているフォルダのフォルダ名は変更できません。

3 (決定)を押す

フォルダを追加した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとフォルダ一覧に戻ります。

メールのフォルダ削除

- お買い上げ時に登録されているフォルダは削除できません。
- 保護されているメールがあるフォルダは削除できません。保護を解除してからフォルダを削除してください。

〈例〉受信メールのフォルダを削除する

1 待受画面で(メール)▶「1受信したメールを見る」を押す

フォルダ一覧が表示されます。

- 未送信／送信メール一覧の表示方法→p.155「未送信／送信したｉモードメールを見る」操作1

2 削除するフォルダを選択▶(メニュー)▶「2フォルダを削除」を押す

フォルダとフォルダ内の全てのメールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- フォルダ内にメールが残ったままフォルダを削除するときは、端末暗証番号を入力▶(決定)を押します。

3 「1削除する」を押す

フォルダを削除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとフォルダ一覧に戻ります。

他のフォルダへのメール移動

〈例〉受信メールを他のフォルダに移動する

1 待受画面で(メール)▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶(決定)を押す

受信メール一覧が表示されます。

- 未送信／送信メール一覧の表示方法→p.155「未送信／送信したｉモードメールを見る」操作1～2

2 移動するメールを選択▶(メニュー)▶「5フォルダへ移動」を押す

移動先フォルダ選択画面が表示されます。

- 送信メール一覧から操作するときは、移動するメールを選択▶(メニュー)▶「4フォルダへ移動」を押します。

3 移動先のフォルダを選択▶(決定)を押す

メールを移動した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと受信メール一覧に戻ります。

メールの保存件数の確認

フォルダごとにメールが何件保存されているかを確認します。

〈例〉受信メールの保存件数を確認する

1 待受画面で(メール)▶「1受信したメールを見る」を押す

フォルダ一覧が表示されます。

- 未送信／送信メール一覧の表示方法→p.155「未送信／送信したｉモードメールを見る」操作1

2 件数を確認するフォルダを選択▶(メニュー)▶「5メール件数確認」を押す

フォルダ内メール件数
ｉモードメール・SMS
未読 0件
既読 5件
保護 2件
エリアメール
未読 0件
既読 0件

- (決定)を押すとフォルダ一覧に戻ります。

メールの削除

「受信したメールを見る」「未送信のメールを見る」「送信したメールを見る」から不要なメールを削除します。

- 保護されているメールは削除できません。まとめて削除する場合でも、保護されているメールは削除されずに残ります。保護を解除してから削除してください。

受信メールを削除する

〈例〉受信メールを１件削除する

1 待受画面で(メール)▶「1受信したメールを見る」を押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択▶(決定)を押す

受信メール一覧が表示されます。

■ 受信メール、メッセージR/Fを全件削除する：(メニュー)▶「4メールを削除」▶「3受信全件」▶端末暗証番号を入力▶(決定)を押す

全てのメール・メッセージを削除するかどうかの確認画面が表示されます。操作5に進みます。

3 削除するメールを選択▶(メニュー)▶「3削除する」を押す

削除するメールを選んでください
1選択１件
2フォルダ内既読
3フォルダ内全件

4 「1選択１件」を押す

メールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ フォルダ内の既読メールを削除する：「2フォルダ内既読」を押す

■ フォルダ内のメールを全件削除する：「3フォルダ内全件」▶端末暗証番号を入力▶(決定)を押す

5 「1削除する」を押す

メールを削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと受信メール一覧に戻ります。

- 受信メールがなくなった場合は、受信メールがない旨のメッセージが表示されます。決定を押すと、受信メールのフォルダ一覧に戻ります。

未送信／送信したメールを削除する

〈例〉送信メールを1件削除する

1 待受画面で(メール)▶「5送信したメールを見る」を押す

フォルダ一覧が表示されます。

- 未送信メールを削除するときは、待受画面で(メール)▶「4未送信のメールを見る」を押します。

2 フォルダを選択▶決定を押す

送信メール一覧が表示されます。

■ メールを全件削除する：メニュー▶「4メールを削除」▶「2送信メール全件」または「2未送信メール全件」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

全てのメールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。操作5に進みます。

3 削除するメールを選択▶メニュー▶「2削除する」を押す

削除するメールを選んでください
1選択1件
2フォルダ内全件

- 未送信メール一覧から操作するときは、削除するメールを選択▶メニュー▶「3削除する」を押します。

4 「1選択1件」を押す

メールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ フォルダ内のメールを全件削除する：「2フォルダ内全件」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

5 「1削除する」を押す

メールを削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと送信メール一覧に戻ります。

- 送信／未送信メールがなくなった場合は、送信／未送信メールがない旨のメッセージが表示されます。決定を押すと、送信／未送信メールのフォルダ一覧に戻ります。

メールの保護／解除

受信／送信／未送信メールを誤って削除したり、保存領域の空きがなくなって上書きされないように、メールを保護します。

- 未読メール、エリアメールは保護できません。
- 最大保護件数→p.396

〈例〉受信メールを保護する

1 待受画面で(メール)▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

受信メール一覧が表示されます。

- 未送信／送信メール一覧の表示方法→p.155「未送信／送信したｉモードメールを見る」操作1～2

2 保護するメールを選択▶メニュー▶「4保護／解除する」を押す

保護または保護を解除するメールを選んでください
1選択1件保護
2全件保護
3選択1件解除
4全件解除

- 送信メール一覧から操作するときは、保護するメールを選択▶メニュー▶「3保護／解除する」を押します。

■ 保護を解除する：

① 保護を解除するメールを選択▶(メニュー)▶「4保護／解除する」を押す

- 送信メール一覧から操作するときは、保護を解除するメールを選択▶(メニュー)▶「3保護／解除する」を押します。

② 「3選択1件解除」を押す

- 保護を全件解除するときは、「4全件解除」を押します。

3 「1選択1件保護」または「2全件保護」を押す

メールが保護されます。

- メールを保護すると状態マークが次のいずれかに変わります。
  受信メール：(既読)、(返信不可)、(返信済み)、(転送済み)
  未送信メール：
  送信メール：

お知らせ

- メール詳細画面から保護する場合は、(メニュー)▶「保護する」を選択▶(決定)を押します。保護を解除する場合は、(メニュー)▶「保護を解除」を選択▶(決定)を押します。
- 全件保護の途中で最大保護件数を超える場合は、日時が新しいメールから順に、最大保護件数に達するまで保護されます。

メール一覧の並び順変更

「受信したメールを見る」「送信したメールを見る」のメール一覧の並び順（「日付順」）を一時的に並べ替えます。

〈例〉受信メール一覧を並べ替える

1 待受画面で(✉)▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶(決定)を押す

受信メール一覧が表示されます。

- 送信メール一覧の表示方法→p.155「未送信／送信したｉモードメールを見る」操作1～2

2 (メニュー)▶「7並び順を変更」を押す

並び順を
選んでください
1日付順
2差出人順
3題名順
4メールサイズ順

- 送信メール一覧から操作するときは、(メニュー)▶「6並び順を変更」を押します。「1日付順」「2宛先順」「3題名順」「4メールサイズ順」から選択できます。

3 「1日付順」～「4メールサイズ順」のいずれかを押す

メールが一時的に並び替わります。

お知らせ

- 「差出人順」または「宛先順」の場合は、メールアドレスが電話帳に登録されていても電話帳の名前ではなく、メールアドレスのアルファベット順に並び替わります。
- 題名に全角／半角の文字や漢字が混在していると、「題名順」の並べ替えた結果が50音順にならない場合があります。
- フォルダ内にSMSが含まれているときに題名順で並べ替えると、一覧画面ではSMSは題名部分にメッセージの本文の先頭が表示されるため50音順にはなりません。

メール一覧の表示方法変更

「受信したメールを見る」のメール一覧を一時的にメールの状態別に表示します。

1 待受画面で(✉)▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶(決定)を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 （メニュー）▶「8表示方法を変更」を押す

表示方法を
　選んでください

1全て表示
2未読のみ表示
3既読のみ表示
4保護のみ表示

3 「1全て表示」～「4保護のみ表示」のいずれかを押す

選択した表示方法で表示されます。

お知らせ

- 受信メール一覧の表示を終了すると「全て表示」に戻ります。
- 「既読のみ表示」では、保護されている受信メールは表示されません。

メールの文字サイズ設定

受信／送信メール、例文などの内容を表示するときの文字サイズを変更します。

- 本機能の設定は受信／送信メール、例文表示、microSDカード内のメール、FOMAカード内のSMSすべてに反映されます。
- メール作成／編集時の文字サイズは変更できません。

〈例〉受信メール詳細画面で文字サイズを変更する

1 待受画面で（メール）▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶（決定）を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 メールを選択▶（決定）▶（メニュー）▶「7文字サイズを変更」を押す

表示する
文字のサイズを
選んでください

1大きく表示
2標準
3小さく表示

3 「1大きく表示」～「3小さく表示」のいずれかを押す

文字の大きさが変わります。

お知らせ

- 送信メール詳細画面、microSDカード内のメール詳細画面、FOMAカード内の受信／送信SMS詳細画面から操作する場合は、（メニュー）▶「文字サイズを変更」を選択▶（決定）▶「1大きく表示」～「3小さく表示」を押します。
- 例文表示画面から操作する場合は、（メニュー）▶「1大きく表示」～「3小さく表示」を押します。
- 文字サイズを変更すると、次にメールを表示するときも同じ文字サイズで表示されます。

メールの送信元／宛先確認

メールに表示されているメールアドレスや電話帳に登録した名前がすべて表示されない場合は、この方法でメールアドレスを確認できます。宛先が複数あるときは全宛先のメールアドレスを、受信メールの場合には自分以外の宛先を表示します。

〈例〉受信メール一覧でメールアドレスを確認する

1 待受画面で（メール）▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶（決定）を押す

受信メール一覧が表示されます。

- 未送信／送信メール一覧の表示方法→p.155「未送信／送信したｉモードメールを見る」操作1～2

メール

2 メールアドレスを表示するメールを選択▶(メニュー)▶「0差出人等を確認」を押す

差出人確認
題名：
お知らせ
差出人
docomo.ΔΔΔ.taro@
docomo.ne.jp
宛先(To)：
docomo.taro.ΔΔ@d

受信メールの場合、自分以外の宛先があると「宛先（To）:」「Cc:」が表示

- 未送信／送信メール一覧から操作するときは、メールアドレスを表示するメールを選択▶(メニュー)▶「宛先を確認」を選択▶(決定)を押します。宛先確認では「題名：」「差出人：」は表示されません。
- メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合やSMSでは、電話番号が表示されます。
- (決定)を押すと受信メール一覧に戻ります。

お知らせ

- 受信／送信メール、受信／送信SMS詳細画面から操作する場合は、(メニュー)▶「#差出人を確認」または「*宛先を確認」を押します。

メール送受信履歴

メールの送受信履歴を利用する

送受信したメールの宛先や送信元をメールの履歴として記録しておく機能です。この履歴を利用して、メールを作成したり、電話帳に登録したりできます。

- 送信履歴と受信履歴はそれぞれ最大30件記録されます。
- 同じ宛先にメールを送信した場合は、送信履歴には最新の1件が記録されます。
- 返信不可のｉモードメールやSMSの受信メールは受信履歴に記録されません。

メールの送受信履歴を表示する

1 待受画面で(メール)▶「8メールを設定する」▶「8メールを送受信した人を見る」▶「1最近送信した人を見る」または「2最近受信した人を見る」を押す

＜送信履歴一覧画面＞

最近送信した人
1/2件
04/17 10:00
携帯花子
docomo.ΔΔΔ.taro@
docomo.ne.jp

＜送信履歴詳細画面＞

- (電話帳)：押すたびに一覧画面と詳細画面が切り替わります。
- マークの意味は次のとおりです。
  表示なし：ｉモードメールの送受信履歴
  (SMSマーク)：SMSの送受信履歴

メール送受信履歴を利用する

■ **ｉモードメールを作成する：送受信履歴一覧でｉモードメールを作成するｉモードメールの履歴を選択▶(決定)を押す**

選択した履歴のメールアドレスを宛先にしたメール作成画面が表示されます。

- 以降の操作→p.138「簡単な操作でｉモードメールを作成して送信する」操作4以降、p.142「ｉモードメールを作成して送信する」操作4以降

■ **SMSを作成する：送受信履歴一覧でSMSを作成するSMSの履歴を選択▶(決定)を押す**

選択した履歴の電話番号を宛先にしたSMS作成画面が表示されます。

- 以降の操作→p.181「SMSを作成して送信する」操作4以降

■ **電話帳に新規登録する：送受信履歴一覧で電話帳に登録する履歴を選択▶(メニュー)▶「3電話帳に登録」を押す**

名前の入力画面が表示されます。

- 以降の操作→p.71「ステップ1」操作2以降

■ 電話帳に追加登録する：
① 送受信履歴一覧で電話帳に追加登録する履歴を選択▶(メニュー)▶「4電話帳に追加」を押す
電話帳の検索画面が表示されます。
② 登録先の相手を選択▶(決定)を押す
電話帳に追加した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとワンタッチダイヤルに登録するかどうかの確認画面が表示されます。「2終了する」を押すとメニュー画面に戻ります。
ワンタッチダイヤルに登録するときは「1登録する」を押します。
以降の操作→p.73「ステップ9」操作2
- 検索方法→p.76

メール送受信履歴を削除する

〈例〉送受信履歴を1件削除する

1 送受信履歴一覧で削除する履歴を選択▶(メニュー)▶「5削除する」

削除する履歴を
選んでください
1選択1件
2全件

2 「1選択1件」を押す

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 送受信履歴を全件削除する：「2全件」▶端末暗証番号を入力▶(決定)を押す

3 「1削除する」を押す

履歴を削除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと履歴一覧画面に戻ります。
- 履歴がなくなった場合は、履歴がない旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと、メニュー画面に戻ります。

メールの便利な機能

iモードメール、SMSの本文中の文字をコピーします。本文中に電話番号やメールアドレスがあるときは、FOMA端末電話帳に登録したり、URLがあるときは、ブックマークに登録したりできます。

本文などのコピー

表示中のメールやSMSの詳細画面の内容をコピーします。コピーした文字はメール作成画面などの入力欄に貼り付けることができます。
- コピーした文字は新たにコピーを行うか電源を切るまで記録され、何度でも貼り付けられます。

コピーする項目	説　明
選択中の項目	反転表示されている項目（メールアドレス、電話番号など）をコピーします。
宛先／差出人／メールアドレス	宛先や送信元、同報メールのメールアドレスをコピーします。
題名	題名をコピーします。
本文	本文中の指定した範囲の文字をコピーします。例文一覧の場合は本文をすべてコピーします。

〈例〉受信メール詳細画面からコピーする

1 コピーする項目を含む受信メール詳細画面を表示する

- 受信／送信メール、受信／送信SMS詳細画面→p.155、p.160、p.182、p.185
- FOMAカード内の受信／送信SMS詳細画面→p.187
- 例文一覧→p.146「例文を編集して保存」操作1

2 メニュー▶「9内容をコピー」を押す

コピーする項目を
選んでください
1選択中の項目
2題名
3本文
4メールアドレス

■ **送信メール詳細画面から操作する：メニュー▶「8内容をコピー」を押す**
「1選択中の項目」「2題名」「3本文」から選択できます。

■ **FOMAカード内の受信SMS詳細画面から操作する：メニュー▶「6内容をコピー」を押す**
「1差出人」「2本文」から選択できます。

■ **FOMAカード内の送信SMS詳細画面から操作する：メニュー▶「5内容をコピー」を押す**
「1宛先」「2本文」から選択できます。

■ **例文一覧から操作する：メニュー▶「3内容をコピー」を押す**
「1宛先」「2題名」「3本文」から選択できます。

3 「1選択中の項目」～「4メールアドレス」のいずれかを押す

コピーした旨のメッセージが表示されます。決定を押すと受信メール詳細画面に戻ります。

- 「メールアドレス」を押した場合に、複数のメールアドレスがあるとき（同報メール）は、コピーするメールアドレスを選択して決定を押します。
- 例文一覧以外で「本文」を押した場合はコピーする範囲を指定します。→p.316「文字のコピーと貼り付け」操作2～3
- 貼り付け方法→p.316「文字のコピーと貼り付け」操作5

電話番号やメールアドレスの電話帳登録

ｉモードメール、SMSの詳細画面からメールアドレスや電話番号をFOMA端末電話帳に登録します。

〈例〉受信メール詳細画面から電話帳登録する

1 登録する項目を含む受信メール詳細画面を表示する

- 受信／送信メール、受信／送信SMS詳細画面→p.155、p.160、p.182、p.185
- FOMAカード内の受信／送信SMS詳細画面→p.187

2 項目を選択▶メニュー▶「0登録する」を押す

登録先を
選んでください
1電話帳新規登録
2電話帳追加登録
3ブックマーク登録
4画像を保存

■ **送信メール詳細画面から操作する：メニュー▶「9登録する」を押す**

■ **FOMAカード内の受信SMS詳細画面から操作する：メニュー▶「7登録する」を押す**

■ **FOMAカード内の送信SMS詳細画面から操作する：メニュー▶「6登録する」を押す**

3 「1電話帳新規登録」または「2電話帳追加登録」を押す

■ **新規登録する：「1電話帳新規登録」を押す**
名前の入力画面が表示されます。

- 以降の操作→p.71「ステップ1」操作2以降
  操作後に受信メール詳細画面に戻ります。

■ 追加登録する：

①「2電話帳追加登録」▶電話帳を検索▶登録先の相手を選択▶(決定)を押す

追加した旨のメッセージが表示されます。

- 検索方法→p.76
- 登録先の相手にすでに3件登録しているときは、上書きする電話番号やメールアドレスの選択画面が表示されます。

②(決定)を押す

ワンタッチダイヤルに登録するかどうかの確認画面が表示されます。

③「2終了する」を押す

受信メール詳細画面に戻ります。

- ワンタッチダイヤルに登録するときは「1登録する」を押します。
以降の操作→p.73「ステップ9」操作2

お知らせ

- メール本文などに複数のメールアドレスが列記されている場合は、登録できないことがあります。

URLのブックマーク登録

iモードメール、SMSの本文中にURLがあるとき、メール詳細画面から直接、URLをブックマークに登録できます。

〈例〉受信メール詳細画面からブックマーク登録する

1 登録するURLを含む受信メール詳細画面を表示する

- 受信／送信メール、受信／送信SMS詳細画面→p.155、p.160、p.182、p.185
- FOMAカード内の受信／送信SMS詳細画面→p.187

2 URLを選択▶(メニュー)▶「0登録する」を押す

登録先を
選んでください
1電話帳新規登録
2電話帳追加登録
3ブックマーク登録
4画像を保存

■ 送信メール詳細画面から操作する：
(メニュー)▶「9登録する」を押す

■ FOMAカード内の受信SMS詳細画面から操作する：(メニュー)▶「7登録する」を押す

■ FOMAカード内の送信SMS詳細画面から操作する：(メニュー)▶「6登録する」を押す

3 「3ブックマーク登録」▶登録先フォルダを選択▶(決定)を押す

ブックマークを追加した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと受信メール詳細画面に戻ります。

ｉモード／ｉモーション／ｉチャネル

ｉモードとは

ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末（以下ｉモード端末）のディスプレイを利用して、サイト接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。
- ｉモードサービスの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

ｉモードのご使用にあたって

- サイトやインターネット上のホームページの内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイトやインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- 異なるFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを取り付けずに電源を入れたりした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画、ｉモーション、メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画、動画、メロディなど）、画面メモおよびメッセージR/Fなどは表示、再生できません。
- FOMAカードのセキュリティ機能が設定されているデータを待受画面や着信音などに設定している場合、異なるFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを取り付けずに電源を入れたりすると、設定内容はお買い上げ時の状態に戻ります。

ｉモードメニュー

サイトを表示する

ｉモードに接続して、さまざまなサイトを表示します。

- サイト画面はイメージです。実際に表示される画面とは異なる場合があります。

1 待受画面で（ｉ）▶「1 ｉMenuを見る」を押す

- ｉモード接続中画面で（決定）：接続を中止します。
- ページ取得中画面で（電話帳）：ページの読み込みを中止します。

2 見たい項目を選択▶（決定）を押す

サイトに接続されます。以降目的のページが表示されるまで、操作を繰り返します。

- 1、2などの番号付きの項目は、項目に対応するボタンを押して選択できる場合があります（ダイレクトキー機能）。

お知らせ

- この端末からｉモードセンターに接続すると、最初にらくらくｉメニューが表示されます。通常のｉMENUを表示する場合は、らくらくｉメニュー画面で「お客様サポート／お知らせ」を選択▶決定▶「ｉメニュー変更（ｉMenu設定）」を選択▶決定を押したあと、表示される画面の指示に従って操作してください。
- サイト表示中にらくらくｉメニューを表示する場合は、メニュー▶「1 ｉMenu」を押します。
- サイト表示中の文字の大きさを変更できます。→p.217
- サイトによっては、利用するために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。
- IP（情報サービス提供者）が提供するサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
- サイトによっては、項目選択時にお客様の携帯電話情報が要求されると次の画面が表示される場合があります。

携帯電話情報を
送信しますか？
1送信する
2送信しない
3元の画面へ戻る

「1送信する」を押すと、お客様の携帯電話情報が送信されます。
送信するお客様の携帯電話情報（FOMA端末の製造番号、FOMAカードの製造番号）はインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別がIP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。
- サイトからユーザ名、パスワードの入力を要求されたときはユーザ名、パスワードの入力画面が表示されます。サイトのユーザ名、パスワードを入力し、「送信」を選択して決定を押します。
- 画像を含むサイトを表示したとき、画像の代わりに次のマークが表示される場合があります。
  - ：画像表示・照明設定（→p.217）で「画像」を「表示しない」に設定しているとき
  - ⊗：画像のデータが不正なときや画像が見つからないとき、受信中に圏外になるなどで画像を受信できなかったとき
  - ：画像のURLの誤りなどで画像が表示できないとき
- ｉモードは通信を使ったサービスのため、圏外が表示されている場合はご利用になれません。

SSL対応ページの接続

SSL対応ページでは、データを暗号化して送受信することにより、データの盗聴や書き換えを防ぎ、お客様の個人情報をより安全にやりとりすることができます。
- SSL対応のページによっては、日付・時刻の設定をしないと接続できない場合があります。→p.44
- SSL通信を行うには、接続先とFOMA端末に同じ認証機関が発行した「証明書」という電子情報が必要です。→p.219
- FirstPass対応のページに接続するには、ユーザ証明書をFirstPassセンターからダウンロードし、FOMAカードに保存する必要があります。→p.220

SSL対応のページに接続する

SSL対応のページに接続する場合は次の画面が表示されます。

- SSL対応のページが表示されるとディスプレイ上部の（点滅）がに変わります。
- 表示中のページに使われている証明書を表示する場合は、メニュー▶「*URL等を確認」▶「2証明書詳細表示」を押します。→p.219

SSL対応のページから通常のページに進む

SSL対応のページから通常のページに進む場合は次の画面が表示されます。

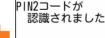
ＳＳＬページを
終了しますか？
1終了する
2終了しない

- 「1終了する」を押すと通常のページが表示され、ディスプレイ上部の🔒が(点滅)に変わります。

FirstPass対応のページに接続する

FirstPass対応のページに接続する場合は次の操作が必要です。

① 「1送信する」▶PIN2コードを入力▶決定▶決定を押す
- 60秒以内にPIN2コードを入力しないとSSL通信は中止されます。

お知らせ

- 接続先との通信の安全性が確認できない場合、接続するかどうかの確認画面が表示されます。接続するときは「1接続する」を押します。
- FirstPass対応サイトに接続した際のパケット通信料は、ｉモードパケット定額サービスの対象となります。

最後に表示したページに再接続〈ラストURL〉

最後に表示したサイトやホームページのURLはFOMA端末に記録されています。ラストURLを利用すると、最後に表示したページに簡単に再接続できます。

1 待受画面で ▶「3最後に表示したサイトを見る」▶決定を押す

サイトに接続されます。
- ラストURLが記録されていないときは、最後に表示したURL情報がない旨のメッセージが表示されます。

お知らせ

- 最後に表示したページによっては、表示できない場合や、異なるページを表示する場合があります。

サイトの見かたと操作

サイト表示中の基本的な操作方法について説明します。

Flash画像の表示

FOMA端末ではFlash画像を表示できます。Flash画像により、サイトの表現力がさらに豊かになります。

- 画像表示・照明設定の「画像」を「表示しない」に設定した場合は、Flash画像は表示されません。→p.217
- Flash画像が表示されているときは、表示動作が通常のサイト表示と異なる場合があります。
- Flash画像によってはガイド行にが表示されていない場合でも、Flash画像の操作ができる場合があります。

- Flash画像を写真のアルバム、画面メモ、microSDカードなどに保存して再生した場合、保存箇所により見えかたが異なる場合があります。
- Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合や、再生中にエラーが発生したFlash画像は保存できない場合があります。
- Flash画像によっては効果音が鳴る場合があります。ただし、音声読み上げ機能を設定している場合は、音声読み上げが優先されます。効果音を鳴らさない場合は、画像表示・照明設定の「効果音設定」を「再生しない」に設定してください。→p.217
- Flash画像によっては、バイブレータ設定（→p.95）を「振動させない」に設定しても、再生中にFOMA端末を振動させる場合がありますのでご注意ください。
- 再生中に30秒以上操作しなかった場合は、一時停止します。再生を再開するには(メニュー)、(⇐)、(⇒)、(決定)、(━)、(戻る/ch)以外のボタンを押してください。
- Flash画像を最初から再生する場合は、(メニュー)▶「#表示を設定」▶「4リトライ」を押してください。
- Flash画像が画面に収まっていない場合は、スクロールにより画面内に収まった時点で動作が開始されます。
- Flash画像によっては、端末情報データを利用するものがあります。端末情報データを利用するためには、画像表示・照明設定（→p.217）の「端末情報利用」で設定できます。
- 待受画面に設定されたFlash画像の効果音は鳴りません。

リンク先や項目の選択

iモード中、サイトによっては次のような操作ができます。

リンク先
表示中のページから関連するページに進むための項目です。選択すると反転表示され、(決定)を押すとリンク先のサイトが表示されます。

文字入力欄
入力欄を選択すると文字を入力できます。
入力欄を選択して(決定)を押すと文字を入力できます。

ラジオボタン
選択肢の中から1つだけ選択する場合のマークです。
ラジオボタンを選択して(決定)を押します。
○：選択されていない状態
◉：選択されている状態

チェックボックス
選択肢の中から複数項目を選択できる場合のマークです。
チェックボックスを選択して(決定)を押します。
☐：選択されていない状態
☑：選択されている状態

プルダウンメニュー
選択すると、隠れている選択肢が表示されるメニューです。
選択肢を選択して(決定)を押します。

ボタン
ページの設定内容を確定してサイトに送信したり、取り消したりできます。ボタンの名称はサイトによって異なります。

お知らせ

- 音声読み上げ機能を設定している場合は、サイト情報の内容を選択すると深緑色（背景や文字の色により色が変化します）に反転表示されますが、リンク情報ではありません。
- プルダウンメニューによっては、選択画面で項目を選択▶(決定)を押す操作を繰り返すことにより、複数の項目が選択できます。選択後に(電話帳)を押すと、選択項目がすべて反映された画面に戻ります。
- 文字入力欄、ラジオボタン、チェックボックス、プルダウンメニューのそれぞれに入力した内容は、登録したブックマークや画面メモなどには反映されません。

前のページへの戻りかた・進みかた

FOMA端末は、サイトやホームページなどの表示履歴を一時的に端末内の「キャッシュ」という場所に記録します。表示履歴は最大20件記録され、この履歴を利用することで通信を行わずに前のページに戻ったり、次のページに進んだりできます。

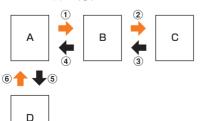
- 端末のキャッシュサイズをオーバーしていたり、必ず最新情報を読み込むように設定されたサイトを表示したりするときは通信を行います。
- FirstPassセンター接続中（→p.220）は本機能を使用できません。

前のページに戻れることを示します。

次のページに進めることを示します。

- ／：前のページに戻る／次のページに進みます。

お知らせ

- 入力した文字や設定などの情報は記録されません。
- ｉモードを終了すると、記録されたページはすべて消去されます。
- Flash画像が表示されている場合は、ページの操作方法が異なることがあります。
- ページA→B→Cの順に表示（①、②）した後でページAに戻り（③、④）、ページDに進む（⑤）と、ページA→B→Cの表示履歴は消去されます。ページDからページAには戻れますが（⑥）、さらにページBへ戻る（①）ことはできません。

画面のスクロール

サイトやインターネットホームページの内容などを表示中に画面をスクロールします。

すべての行が表示されていないとき、またはリンク項目に移動できるときは▲や▼が表示されます。

- ：スクロールします。1秒以上押すと連続スクロールします。
- ：1秒以上押すと画面単位でスクロールします。

サイト情報の再読み込み

ページの情報が正常に受信できなかった場合に、再読み込みを行ってページの情報を受信し直します。

1 サイト表示中に▶「5再読み込み」を押す

ページの情報を受信し、ページが再表示されます。

URLの表示

〈例〉サイトのURLを表示する

1 サイト表示中に▶「*URL等を確認」▶「1URLを表示」を押す

URLが表示されます。を押すとサイト表示に戻ります。

お知らせ

- URL履歴一覧、フォルダ内のブックマーク一覧、画面メモ一覧から操作する場合は、▶「URLを表示」を選択▶を押します。

マイメニュー

マイメニューを使う

よく利用するサイトをマイメニューに登録することによって、次回からそのサイトに簡単にアクセスすることができます。

- 有料サイトに申し込むと自動的にマイメニューに登録されます。

マイメニューへの登録

- マイメニュー登録にはｉモードパスワードが必要です。
- マイメニューに登録できるのはｉモードのサイトだけです。ただし、登録できないサイトもあります。登録できないサイトやインターネットホームページはブックマークに登録してください。
- 最大45件登録できます。

1 マイメニューに登録するサイトを表示し、「マイメニュー登録」を選択▶決定を押す

ｉモードパスワード入力画面が表示されます。

- 各サイトによりページ構成が異なりますので、該当する番号のボタンを押すか、該当する項目を選択▶決定を押します。

2 ｉモードパスワード欄を選択▶決定▶ｉモードパスワードを入力▶決定を押す

入力したパスワードは「*」で表示されます。

- ｉモードパスワードはご契約時は「0000」に設定されています。

3 「決定」を選択▶決定を押す

サイトがマイメニューに登録されます。

マイメニューからのサイト表示

1 待受画面で ▶「1 ｉMenuを見る」▶「マイページ」を選択▶決定を押す

マイページが表示されます。

2 マイメニュー内から表示するサイトを選択▶決定を押す

サイトが表示されます。

ｉモードパスワード変更

ｉモード用のパスワードを変更する

マイメニュー登録／削除、メッセージサービスやｉモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定を行うときはｉモードパスワードが必要です。ｉモードパスワードはｉモードご契約時には「0000」に設定されていますが、安全のためお客様独自のｉモードパスワードに変更してください。なお、ｉモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

- ｉモードパスワード欄には、4桁の数字を入力します。入力したパスワードは「*」で表示されます。
- ｉモードパスワードをお忘れの場合は、ご契約者本人であることを確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口で確認させていただいた上で、ｉモードパスワードを「0000」にリセットさせていただきます。

1 待受画面で ▶「1 ｉMenuを見る」▶「お客様サポート／お知らせ」を選択▶決定▶「暗証番号・パスワード」を選択▶決定▶「ｉモードパスワード変更」を選択▶決定を押す

2 現在のパスワード欄を選択▶決定▶現在のｉモードパスワードを入力▶決定を押す

操作1の画面に戻ります。

3 新パスワード欄を選択▶決定▶新しいｉモードパスワードを入力▶決定を押す

操作1の画面に戻ります。

4 新パスワード確認欄を選択▶決定▶操作3で入力した新しいｉモードパスワードを入力▶決定を押す

操作1の画面に戻ります。

5 「決定」を選択▶決定を押す

ｉモードパスワードが変更されます。

- 入力した内容に誤りや抜けがあったときは、エラー画面が表示されます。「再入力」を選択▶決定を押して操作2からやり直してください。

インターネット接続

インターネットホームページを表示する

インターネットに接続して、ｉモード対応のホームページにアクセスします。
接続先はインターネットホームページのアドレス（URL）で指定します。

- ｉモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。

1 待受画面で▶「4インターネットに接続する」▶「1URLを入力して接続する」を押す

URL入力画面が表示されます。

- 2回目からは前回接続したURLが表示されます。

2 決定▶インターネットホームページのURLを入力▶決定▶電話帳を押す

インターネットホームページに接続されます。

- 半角英数字256文字以内で入力します。
- 半角英字入力モード時に1：「.」「/」「-」などの記号を入力できます。

お知らせ

- サイト表示画面から操作する場合は、メニュー▶「8インターネットに接続」▶「1URLを入力」を押します。
- インターネットホームページ表示中の操作方法は、ｉモードのサイトの場合と同様です。
- 受信データが1ページの最大サイズを超えたときはメッセージが表示され、決定を押すと受信できた分のデータが表示されます。

URL履歴を使って表示

URLを入力して接続したインターネットホームページのURLはFOMA端末に記録されています。このURL履歴からインターネットホームページに接続できます。

- 最大5件記録されます。5件を超えると、古いものから順に削除されます。

1 待受画面で▶「4インターネットに接続する」▶「2サイトの入力履歴から接続する」を押す

URL履歴番号／URL履歴件数

URL履歴
1/3件
http://www.ΔΔΔΔ.co.jp
http://www.□□□□.co.jp
http://www.ΔΔΔΔ.co.jp

- URL履歴が記録されていないときは、URL履歴がない旨のメッセージが表示されます。

2 表示するインターネットホームページのURLを選択▶決定を押す

インターネットホームページに接続されます。

■ URL履歴を削除する：

① **削除するURLを選択▶メニュー▶「2削除する」▶「1選択1件」を押す**

URL履歴を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- URLをすべて削除するときは、メニュー▶「2削除する」▶「2全件」▶端末暗証番号を入力▶決定を押します。

② **「1削除する」を押す**

URL履歴を削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと、URL履歴一覧に戻ります。

- URL履歴がなくなった場合は、URL履歴がない旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- サイト表示画面から操作する場合は、メニュー▶「8インターネットに接続」▶「2履歴から接続」を押します。

文字を正しく表示〈文字コード〉

サイトやインターネットホームページの文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更して正しく表示できる場合があります。

- 文字コードとは、文字をコンピュータで利用可能にするために作られた文字の番号体系のことです。FOMA端末でサイトやインターネットホームページを表示する際に、文字コードが一致していないと文字が正しく表示されません。

1 サイトやインターネットホームページ表示中にメニュー▶「#表示を設定」▶「3文字コード変更」▶「1切替え」を押す

文字コードを変更して再表示します。

- 操作1を繰り返すたびに、文字コードが自動選択→SJIS→EUC→JIS→UTF8の順に切り替わります。操作を5回繰り返すと元の表示に戻ります。
- サイトやインターネットホームページを表示した時点では「自動で選択」に設定されています。

お知らせ

- 画面メモ表示画面から操作する場合は、メニュー▶「9表示を設定」▶「1文字コード変更」を押します。

ブックマーク

サイトやホームページを登録してすばやく表示する

よく見るサイトやインターネットホームページをブックマークに登録しておくと、ブックマークを選択するだけで、サイトやインターネットホームページをすばやく表示することができます。

- ブックマークに登録できるURLの文字数は、半角で最大256文字です。ただし、サイトやホームページによっては、ブックマークに登録できない場合があります。
- 題名が登録可能な最大文字数を超える場合は、超えた部分が削除されて登録されます。

ブックマークの登録

ブックマークを5個のフォルダに分けて登録できます。

- 最大保存件数→p.396

1 ブックマークに登録するサイトを表示してメニュー▶「2ブックマークに登録」を押す

登録先フォルダ選択画面が表示されます。

2 登録先フォルダを選択▶(決定)を押す

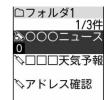
ブックマークを追加した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとサイト表示に戻ります。

お知らせ

- ブックマークが最大保存件数を超えるときは、登録済みのブックマークを書き換えるかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従い書き換えるブックマークを選択します。
- すでに同じURLが登録されているときは、ブックマークを書き換えるかどうかの確認画面が表示されます。書き換える場合は「1書きかえる」を押します。
- URL履歴一覧、画面メモ一覧、画面メモ表示画面から操作する場合は、(メニュー)▶「ブックマークに登録」を選択▶(決定)▶登録先フォルダを選択▶(決定)を押します。
- メッセージR/F詳細画面から操作する場合は、(メニュー)▶「3登録する」▶「3ブックマーク登録」を押します。

ブックマークからサイトやホームページを表示

1 待受画面で(i)▶「2ブックマークを見る」を押す

- マークの意味は次のとおりです。
  - : ブックマークが保存されている
  - : ブックマークが保存されていない

2 フォルダを選択▶(決定)を押す

- マークの意味は次のとおりです。
  - : 簡易接続に登録されていない→p.209
  - : 簡易接続に登録されている
  - 0～9: 簡易接続に登録されているボタンの番号

3 表示するブックマークを選択▶(決定)を押す

サイトやインターネットホームページに接続されます。

お知らせ

- サイト表示画面から操作する場合は、(メニュー)▶「3ブックマークを見る」を押します。

ブックマークのフォルダ名変更

1 待受画面で(i)▶「2ブックマークを見る」を押す

ブックマーク一覧が表示されます。

2 フォルダ名を変更するフォルダを選択▶(メニュー)▶「3フォルダ名変更」▶フォルダ名を入力する

フォルダ名の入力画面が表示されます。

- 全角7文字、半角14文字以内で入力します。

3 (決定)を押す

フォルダ名を変更した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとブックマーク一覧に戻ります。

ブックマークの題名変更

- ブックマークのURLは変更できません。

1 待受画面で[ⅰ]▶「2ブックマークを見る」▶フォルダを選択▶[決定]を押す

フォルダ内のブックマーク一覧が表示されます。

2 題名を変更するブックマークを選択▶[メニュー]▶「1題名を変更」▶題名を入力する

題名の入力画面が表示されます。

- 全角12文字、半角24文字以内で入力します。

3 [決定]を押す

題名を変更した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとフォルダ内のブックマーク一覧に戻ります。

- 題名を入力しないで[決定]を押すと、フォルダ内のブックマーク一覧ではURLが表示されます。

少ないボタン操作でのサイト表示

ブックマークを簡易接続に登録すると、待受画面から手早くサイトやインターネットホームページを表示できます。

簡易接続に登録する

- 1つのダイヤルボタンにつき1件、合計10件まで登録できます。

1 待受画面で[ⅰ]▶「2ブックマークを見る」▶フォルダを選択▶[決定]を押す

フォルダ内のブックマーク一覧が表示されます。

2 登録するブックマークを選択▶[メニュー]▶「2簡易接続に登録」を押す

簡易接続登録番号／全登録可能件数

簡易接続先選択　1/10件
0 未登録
1 未登録
2 未登録

- 簡易接続先選択画面の番号（0〜9）が、サイト表示に使用するダイヤルボタン（[0]〜[9]）に対応しています。
- [←][→]：簡易接続先選択画面を切り替えます。

■ **簡易接続の登録を解除する：解除するブックマークを選択▶[メニュー]▶「2簡易接続を解除」を押す**

簡易接続先を解除した旨のメッセージが表示されます。操作4に進みます。

3 登録先を選択▶[決定]を押す

簡易接続先に登録した旨のメッセージが表示されます。

- 登録済みの登録先を選択した場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きするときは、「1上書きする」を押します。

4 [決定]を押す

フォルダ内のブックマーク一覧に戻ります。

- フォルダ内のブックマーク一覧で、登録したブックマークのマークが[マーク]から[マーク]に変わり、対応するダイヤルボタンの番号（0〜9）が表示されます。

簡易接続に登録したサイトを表示する

1 待受画面で簡易接続に登録した番号（[0]〜[9]）を入力▶[メニュー]▶「6簡易サイト接続」を押す

簡易接続に登録したサイトやインターネットホームページに接続されます。

ブックマークの削除

1件ずつ削除したり、フォルダ内のブックマークをまとめて削除したり、すべてのブックマークをまとめて削除したりします。

- ブックマークのフォルダは削除できません。

1 **待受画面で[i]▶「[2]ブックマークを見る」を押す**

ブックマーク一覧が表示されます。

2 **フォルダを選択▶[決定]▶削除するブックマークを選択▶[メニュー]▶「[3]削除する」を押す**

■ **全件削除する：[メニュー]▶「[2]全て削除」▶端末暗証番号を入力▶[決定]を押す**

操作4に進みます。

3 **「[1]選択1件」を押す**

ブックマークを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- フォルダ内のブックマークを全件削除するときは、「[2]フォルダ内全件」▶端末暗証番号を入力▶[決定]を押します。

4 **「[1]削除する」を押す**

ブックマークを削除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとフォルダ内のブックマーク一覧に戻ります。

- フォルダ内のブックマークがなくなった場合は、ブックマークがない旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとブックマーク一覧に戻ります。

お知らせ

- 簡易接続に登録したブックマークを削除すると、簡易接続登録も解除されます。

ブックマークを他のフォルダに移動

1 **待受画面で[i]▶「[2]ブックマークを見る」▶フォルダを選択▶[決定]を押す**

フォルダ内のブックマーク一覧が表示されます。

2 **移動するブックマークを選択▶[メニュー]▶「[6]フォルダへ移動」を押す**

移動先フォルダ選択画面が表示されます。

3 **移動先フォルダを選択▶[決定]を押す**

ブックマークを移動した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとフォルダ内のブックマーク一覧に戻ります。

ブックマーク一覧の並び順変更

フォルダ内のブックマーク一覧の並び順（「アクセス日付順」）を一時的に並べ替えます。並べ替えはすべてのフォルダが対象になります。

1 **待受画面で[i]▶「[2]ブックマークを見る」を押す**

ブックマーク一覧が表示されます。

2 **フォルダを選択▶[決定]▶[メニュー]▶「[7]並び順を変更」を押す**

並び順を
選んでください
[1]アクセス日付順
[2]題名順
[3]URL順
[4]アクセス回数順

[1] **アクセス日付順**：アクセス日時が新しい順に並べ替えます。

[2] **題名順**：題名を50音順に並べ替えます。

[3] **URL順**：URLをアルファベット順に並べ替えます。

[4] **アクセス回数順**：アクセス回数が多い順に並べ替えます。

3 「1アクセス日付順」～「4アクセス回数順」のいずれかを押す

フォルダ内のブックマーク一覧が一時的に並び替わります。

お知らせ

- 題名に全角／半角の文字や英字、漢字、URL表示になっているものが混在していると、「題名順」の並べ替えた結果が50音順にならない場合があります。

画面メモ

サイトの内容を保存する

表示中のサイトの内容を画面メモとして保存します。

画面メモの保存

- 保存できる画面メモのデータサイズは、1件あたり最大100Kバイトです。
- 最大保存件数→p.396

1 画面メモに保存するサイトを表示して(メニュー)▶「4画面メモに保存」を押す

画面メモに保存した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとサイト表示に戻ります。

お知らせ

- 画面メモの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、保存されている画面メモを書き換えるかどうかの確認画面が表示されます。画面メモを保存する場合は、画面の指示に従い保存可能な空き容量に達するまで書き換える画面メモを選択します。保護されている画面メモは書き換えられません。
- サイト側が画面メモ保存不可の指定をしている場合などは登録できないことがあります。

画面メモの表示

保存した画面メモを表示します。

1 待受画面で(i)▶「5画面メモを見る」を押す

- マークの意味は次のとおりです。
  - : 通常の画面メモ
  - : 保護されている画面メモ
- 画面メモが保存されていないときは、画面メモがない旨のメッセージが表示されます。

2 表示する画面メモを選択▶(決定)を押す

画面メモの内容が表示されます。

- 画面メモ表示画面の操作方法は、一部を除きサイト表示中と同様です。

お知らせ

- 画面メモ表示画面でもう一度アニメーションやFlash画像を動作させるときは、(メニュー)▶「9表示を設定」▶「2リトライ」を押します。
- Flash画像が画面メモ表示画面に収まっていない場合は、スクロールにより画面内に収まった時点で動作が開始されます。

画面メモの題名変更

1 待受画面で(i)▶「5画面メモを見る」を押す

画面メモ一覧が表示されます。

2 題名を変更する画面メモを選択▶(メニュー)▶「1題名を変更」▶題名を入力する

題名の入力画面が表示されます。

- 全角12文字、半角24文字以内で入力します。

3 決定を押す

題名を変更した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと画面メモ一覧に戻ります。

- 題名を入力しないで決定を押すと、画面メモ一覧では「無題」と表示されます。

画面メモの削除

1件ずつ削除したり、すべての画面メモをまとめて削除したりできます。

- 保護されている画面メモは削除できません。全件削除しても保護されている画面メモは残ります。保護を解除してから削除してください。

1 待受画面で▶「5画面メモを見る」を押す

画面メモ一覧が表示されます。

2 削除する画面メモを選択▶メニュー▶「3削除する」▶「1選択1件」を押す

画面メモを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **全件削除する：メニュー▶「3削除する」▶「2全件」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す**

3 「1削除する」を押す

画面メモを削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと画面メモ一覧に戻ります。

- 画面メモがなくなった場合は、画面メモがない旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 画面メモ表示画面から操作する場合は、メニュー▶「3削除する」▶「1削除する」を押します。

画面メモの保護／解除

画面メモを保護すると、誤って削除したり、保存領域が足りずに上書きされたりすることを防げます。

- 最大保護件数→p.396

1 待受画面で▶「5画面メモを見る」を押す

画面メモ一覧が表示されます。

2 保護する画面メモを選択▶メニュー▶「4保護する」を押す

画面メモが保護されます。

- 画面メモ一覧で、保護された画面メモのマークが から に変わります。

■ **保護を解除する：保護されている画面メモを選択▶メニュー▶「4保護を解除する」を押す**

画像保存

サイトから画像をダウンロードする

サイトから、お気に入りの画像やフレームなどをFOMA端末に保存します。保存した画像は表示したり、待受画面などに設定したりできます。

- 保存できる画像のデータサイズは、1件あたり最大100Kバイトです。
- GIF形式、JPEG形式、SWF形式の画像を保存できます。
- 最大保存件数→p.396

1 画像のあるサイトを表示してメニュー▶「6画像を保存」を押す

■ **サイトの背景画像を保存する：背景画像のあるサイトを表示してメニュー▶「7背景画像を保存」を押す**

2 保存する画像を選択▶決定を押す

写真の保存
題名
sample
ファイル制限
なし
ファイル名
sample

- 各項目の説明→p.250

3 決定を押す

保存先アルバム選択画面が表示されます。

- フレームを保存する場合は、保存先アルバム選択画面は表示されず、「アイテム」アルバムに保存されます。画像を保存した旨のメッセージが表示され、決定を押すとサイト表示に戻ります。

■ **題名を変更する：メニュー▶「1題名を変更」▶題名を入力▶決定を押す**

題名を変更した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと操作2の画面に戻ります。保存操作を行ってください。

- 36文字以内で入力します。

■ **待受画面に設定する：**

① **メニュー▶「2画面へ貼り付け」▶「1待受画面」を押す**

待受画像を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

② **「1設定する」を押す**

写真・画像一覧の「ｉモード」アルバムに保存され、待受画像を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとサイト表示に戻ります。

■ **ワンタッチダイヤル画面に設定する：メニュー▶「2画面へ貼り付け」▶「2ワンタッチダイヤル画面」▶「1ワンタッチダイヤル1」～「3ワンタッチダイヤル3」のいずれかを押す**

写真・画像一覧の「ｉモード」アルバムに保存され、ワンタッチダイヤルに設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとサイト表示に戻ります。

4 保存先アルバムを選択▶決定を押す

画像を保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとサイト表示に戻ります。

お知らせ

- 画像の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要な写真を削除するかどうかの確認画面が表示されます。画像を保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内の画像を削除します。削除する前に、画像一覧で電話帳を押すと画像表示とリスト表示が切り替わり、メニューを押すと画像の詳細情報を表示できます。
- 画像入りのサイトを表示する際、画像の横幅がディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。
- 画像によっては正しく表示できない場合があります。
- 横縦（または縦横）のサイズが次の大きさを超える画像は保存できません。
  GIF形式：480×640（ドット）
  JPEG形式：1728×2304（ドット）
- フレームの場合は、横縦（または縦横）のサイズが176×144（ドット）、240×320（ドット）以外は保存できません。

i メロディ

サイトからメロディをダウンロードする

サイトからお気に入りのメロディをダウンロードし、FOMA端末に保存します。保存したメロディを再生したり、着信音に設定したりできます。

- 保存できるメロディのデータサイズは1件あたり最大100Kバイトです。
- SMF形式、MFi形式のメロディを保存できます。
- 最大保存件数→p.396

1 メロディのあるサイトを表示し、ダウンロードするメロディを選択▶決定を押す

ダウンロードが
完了しました。
操作を
選んでください。

1再生する
2保存する
3保存しない

- ダウンロード中に電話帳：ダウンロードを中止します。

2 「2保存する」を押す

メロディの保存
題名
エリーゼのために
ファイル制限
あり

- メロディを再生するには「1再生する」を押します。
- 再生中に◁▷／＋－：音量を調節します。

3 決定を押す

メロディを保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとサイト表示に戻ります。

- メロディ一覧の「i モード」フォルダに保存されます。→p.262

■ **題名を変更する：メニュー▶「1題名を変更」▶題名を入力▶決定を押す**
題名を変更した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと操作2の画面に戻ります。保存操作を行ってください。

- 全角25文字、半角50文字以内で入力します。

■ **着信音に設定する：メニュー▶「2着信音に設定」▶「1電話着信」～「4メッセージF受信」のいずれかを押す**
保存して着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとサイト表示に戻ります。

お知らせ

- メロディの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なメロディを削除するかどうかの確認画面が表示されます。メロディを保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のメロディを削除します。削除する前に、メロディ一覧で電話帳を押すとメロディを再生し、メニューを押すとメロディの詳細情報を表示できます。
- メロディによっては正しく再生できない場合があります。

ｉモードの便利な機能

表示中の画面の電話番号やe-mailアドレス、URLから直接電話をかけたり、メールを作成したり、サイトに接続したりすることができます。また、FOMA端末電話帳に登録することもできます。

- サイトやインターネットホームページ、パソコンなどから送信されたメールによっては利用できない機能があります。

表示中画面からの電話発信・SMS送信〈Phone To・SMS To機能〉

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージR/Fなど）の電話番号から、直接電話をかけたり、SMSを送信したりします。

〈例〉サイト内の電話番号に電話をかける

1 **サイトを表示し、電話番号を選択▶決定を押す**

操作を
　選んでください
1電話をかける
2ＳＭＳを作る

2 **「1電話をかける」を押す**

電話をかけるかどうかの確認画面が表示されます。

- 以降の操作→p.80「発信方法を選択した電話のかけかた」操作4以降

■ SMSを送信する（SMS To）：
「2SMSを作る」▶「1送信する」を押す

選択した電話番号が宛先に設定されているSMS作成画面が表示されます。

- SMSの作成・送信方法→p.180

表示中画面からのメール送信〈Mail To機能〉

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージR/Fなど）のメールアドレスから、直接ｉモードメールを作成します。

〈例〉サイト内のメールアドレスにｉモードメールを送信する

1 **サイトを表示し、メールアドレスを選択▶決定を押す**

選択したメールアドレスが宛先に設定されているメール作成画面が表示されます。

- ｉモードメールの作成・送信方法→p.138、p.141

お知らせ

- 複数のメールアドレスが列記されている場合、正しくMail To機能を使用できない場合があります。
- 表示しているサイトのURLをメールの本文に挿入して、メールを作成することができます。サイト表示中にメニュー▶「9メールを作る」を押します。

表示中画面からのインターネット接続〈Web To機能〉

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージR/Fなど）のURLから、直接サイトやインターネットホームページに接続します。

〈例〉画面メモに表示されているURLに接続する

1 **画面メモを表示し、URLを選択▶決定を押す**

選択したURLサイトに接続します。

- 画面メモ表示方法→p.211

お知らせ

- 表示中の画面によってはURLを選択▶決定を押すと、ｉモードに接続してサイトを表示するかどうかの確認画面が表示されます。「1接続して表示」を押すとサイトに接続します。

URLのコピー

表示中のサイトや画面メモのURLをコピーします。コピーした文字は、メール作成画面などの入力欄に貼り付けることができます。

- コピーした文字は新たにコピーを行うか電源を切るまで記録され、何度でも貼り付けられます。

〈例〉サイトのURLをコピーする

1 サイトのURLを表示して[メニュー]▶「[1]URLをコピー」を押す

```
http://ΔΔΔΔΔΔ.ne
.jp/□□□□□□/Δ□Δ□Δ
□Δ□Δ.html

コピー開始位置を
選んでください
```

- サイトのURLの表示方法→p.204

2 コピー開始位置を選択▶[決定]▶コピー終了位置を選択▶[決定]を押す

URLをコピーした旨のメッセージが表示されます。

- コピー開始位置を選択し直すときは[戻る/ch]を押します。
- コピー開始位置を選択する前に[メニュー]：全文が選択されます。
- コピー開始位置選択後に[メニュー]／[電話帳]：カーソルが文頭／文末に移動します。

3 [決定]を押す

URL表示画面に戻ります。

- 貼り付け方法→p.316「文字のコピーと貼り付け」操作5

お知らせ

- URL履歴一覧、フォルダ内のブックマーク一覧、画面メモ一覧から操作する場合は、[メニュー]▶「URLをコピー」を選択▶[決定]を押します。これらの画面から操作する場合はURL全体がコピーされます。

電話番号やメールアドレスの電話帳登録

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージR/F）の電話番号やメールアドレスをFOMA端末電話帳に登録します。新規に登録することも、登録済みの電話帳に追加することもできます。

〈例〉サイト内の電話番号やメールアドレスを登録する

1 電話番号やメールアドレスがあるサイトを表示する

2 登録する電話番号やメールアドレスを選択▶[メニュー]▶「[0]電話帳に登録」▶「[1]新規に登録」または「[2]追加で登録」を押す

■ **新規登録する：「[1]新規に登録」を押す**

名前の入力画面が表示されます。

- 以降の操作→p.71「ステップ1」操作2以降
  操作後にサイト表示に戻ります。

■ **追加登録する：**

① **「[2]追加で登録」▶電話帳を検索▶登録先の相手を選択▶[決定]を押す**

追加した旨のメッセージが表示されます。

- 検索方法→p.76
- 登録先の相手にすでに3件登録しているときは、上書きする電話番号やメールアドレスの選択画面が表示されます。

② **[決定]を押す**

ワンタッチダイヤルに登録するかどうかの確認画面が表示されます。

③ **「[2]終了する」を押す**

サイト表示に戻ります。

- ワンタッチダイヤルに登録するときは「[1]登録する」を押します。
  以降の操作→p.73「ステップ9」操作2以降

お知らせ

- メッセージR/F詳細画面から操作する場合は、登録する電話番号やメールアドレスを選択▶(メニュー)▶「3登録する」▶「1電話帳新規登録」または「2電話帳追加登録」を押します。

iモードの詳細機能を設定する

サイトやメッセージR/Fなどの詳細機能を設定します。

文字のサイズ設定

サイトを表示するときの文字の大きさを設定します。

1 待受画面で(i)▶「9 iモードを設定する」▶「1 文字の大きさを選ぶ」を押す

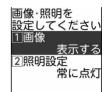
iモードサイト表示の
文字の大きさを
選んでください
1標準の大きさ
2大きく表示

2 「1 標準の大きさ」または「2 大きく表示」を押す

iモードサイト表示の文字の大きさを設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

画像表示・照明設定

サイトや画面メモ、メッセージR/Fなどの内容を表示したときの画像や照明を設定します。

1 待受画面で(i)▶「9 iモードを設定する」▶「2 画像表示·照明を設定する」を押す

1 **画像**：画像を表示するかしないかを設定します。
2 **照明設定**：ディスプレイの照明方法を設定します。

2 「1 画像」または「2 照明設定」を押す

■ **画像を表示するかどうかを設定する：「1 画像」▶「1 表示する」または「2 表示しない」を押す**

- 「表示しない」に設定すると、詳細の「アニメーション」「端末情報利用」は設定できません。

■ **照明方法を設定する：「2 照明設定」▶「1 常に点灯」または「2 1分で消灯」を押す**

- 「常に点灯」に設定すると、常時点灯します。
- 「1分で消灯」に設定すると、何も操作しないで約1分経過すると消灯します。
- 照明設定（→p.100）で「さらに暗く設定」に設定している場合は設定できません。

3 (メニュー)を押す

変更する項目を
選んでください
1効果音設定
再生する
2アニメーション
再生する
3端末情報利用
利用する

1 **効果音設定**：Flash画像の効果音を再生するかしないかを設定します。

2 **アニメーション**：アニメーションを再生するかしないかを設定します。

3 **端末情報利用**：Flash画像を表示するときにFOMA端末内の登録データを利用するかしないかを設定します。

4 「1効果音設定」～「3端末情報利用」のいずれかを押す

■ **Flash画像の効果音を鳴らすかどうかを設定する**：「1効果音設定」▶「1再生する」または「2再生しない」を押す

■ **アニメーションを再生するかどうかを設定する**：「2アニメーション」▶「1再生する」または「2再生しない」を押す

■ **端末情報を利用するかどうかを設定する**：「3端末情報利用」▶「1利用する」または「2利用しない」を押す

5 (電話帳)を押す

画像表示・照明を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- サイト表示画面から操作する場合は、(メニュー)▶「#表示を設定」▶「1表示・効果設定」を押します。
- 「画像」を「表示する」に設定しても、画像が正しく表示されない場合があります。
- 「画像」を「表示しない」に設定すると、画像の位置に▣が表示されます。
- 「アニメーション」を「再生しない」に設定したときは、アニメーションの最初の画像が表示されます。ただし、Flash画像は再生されます。
- 「画像」の設定は、メッセージR/Fの画像の表示／非表示には影響しません。
- 「端末情報利用」を「利用する」に設定すると、電池残量、受信レベル、時刻情報、電話着信音量、言語情報、機種情報がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得される可能性があります。

ｉモードからの接続先変更（ISP接続通信）〈接続先設定〉

※ ドコモのｉモードサービスをご利用の場合は、設定を変更する必要はありません。

- ｉモード契約時の接続先は、ご契約いただいた地域により異なります。

ISP接続通信とは

ドコモのｉモード端末の接続先を切り替えることで、各種プロバイダ（ISP）への接続が可能になります。プロバイダに接続した際にパケット通信料がかかります。

※ ドコモへの新たなお申し込みは不要です。

プロバイダ契約について

- ISP接続通信をご利用いただくには、別途プロバイダへのお申し込みが必要です。各プロバイダのサービス内容（サイト接続、インターネット接続、メール機能など）、お申し込み方法については各プロバイダにお問い合わせください。
- プロバイダが提供するサービス内容によっては、別途情報料などがかかる場合がありますが、ドコモからご請求することはありません。
- お客様が閲覧されるサイトによっては、お客様の電話番号が実際に閲覧されるサイトを提供するプロバイダに通知される場合があります。
- 登録できる接続先は最大10件です。
- 通信中は接続先の設定／変更はできません。

1 **待受画面で(i)▶「9 iモードを設定する」▶「4 接続先番号を設定する」を押す**

接続先一覧
☑ iモード
ユーザ設定1
ユーザ設定2
ユーザ設定3
ユーザ設定4
ユーザ設定5
ユーザ設定6

2 **編集するユーザ設定を選択▶(メニュー)を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

■ **iモードを利用する設定に戻す：「iモード」を選択▶(決定)を押す**

□が☑に変わります。操作8に進みます。

■ **以前に設定した接続先に変更する：接続先を選択▶(決定)を押す**

□が☑に変わります。操作8に進みます。

3 **端末暗証番号を入力▶(決定)を押す**

iモード接続先を設定してください
1 接続先名称
2 接続先
未設定
3 接続先アドレス
未設定

4 **「1 接続先名称」▶接続先名を入力▶(決定)を押す**

操作3の画面に戻ります。

- 全角6文字、半角12文字以内で入力します。

5 **「2 接続先」▶接続先を入力▶(決定)を押す**

操作3の画面に戻ります。

- 半角英数字99文字以内で入力します。
- 一部の記号や半角空白などを入力すると登録できません。

6 **「3 接続先アドレス」▶アドレスを入力▶(決定)を押す**

操作3の画面に戻ります。

- 半角英数字30文字以内で入力します。

■ **iチャネルの接続先を設定／変更する：(メニュー)▶「1 接続先アドレス2」▶アドレスを入力▶(決定)を押す**

7 **(電話帳)▶編集した接続先を選択▶(決定)を押す**

選択した接続先の□が☑に変わります。

8 **(電話帳)を押す**

接続先設定を保存した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 接続先を変更すると、iチャネルの情報が初期化され、待受画面にiチャネルのテロップは表示されなくなります。待受画面で(戻るch)を押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報を受信し、テロップも表示されます。

証明書を操作する

SSL通信時に必要な証明書の操作を行います。

証明書を表示して有効／無効を設定〈証明書表示／使用設定〉

SSL通信用の証明書を表示して確認したり、有効／無効を設定したりできます。

- 青色のFOMAカードを取り付けている場合は、「ドコモ証明書」「ユーザ証明書」は表示されません。
- SSLページに接続するには、次の証明書が必要です。
  - CA証明書：認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時の端末内に保存されています。
  - ドコモ証明書：FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、あらかじめ緑色または白色のFOMAカード内に保存されています。

- ユーザ証明書：FirstPass対応サイトへ接続するために必要な証明書で、ダウンロードすると緑色または白色のFOMAカード内に保存されます。FirstPassセンターで発行申請を行います。→p.220

1 ▶「9 iモードを設定する」▶「5 証明書の表示と使用を設定する」を押す

証明書一覧
CA証明書1
CA証明書2
CA証明書3
CA証明書4
CA証明書5
CA証明書6
CA証明書7

- 設定状態は次のとおりです。
☑: 有効　□: 無効

2 表示する証明書を選択▶決定を押す

CA証明書1
証明書の所有者：
CN=XXXXXXXX
O=VeriSign, Inc.
C=US
証明書の発行者：
CN=XXXXXXXX
OU=Class 3 Publi

- ：前後の証明書を表示できます。

■ 証明書の有効／無効を設定する：
- ドコモ証明書2は操作できません。

① 設定する証明書を選択▶メニューを押す
☑または□に変わります。
- 無効に設定すると、その証明書を使うページに接続できなくなります。

② 電話帳を押す
SSL通信に使用する証明書を登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

ユーザ証明書の発行申請・ダウンロード〈ユーザ証明書操作〉

FirstPassセンターからユーザ証明書の発行申請や、ダウンロードができます。
- 青色のFOMAカードではご利用になれません。

1 待受画面で▶「9 iモードを設定する」▶「6 ユーザ証明書を操作する」を押す

FirstPass
・FirstPassをご利用いただくためには、ﾕｰｻﾞ証明書の発行申請、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞが必要です。
・「次へ」を選択して、ﾕｰｻﾞ証明書の発行申請ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞを行ってく

2 「次へ」を選択▶決定を押す

FirstPass
1証明書発行
2ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ
3その他
4ご利用規則

3 「1 証明書発行」を押す

本使用料の1か月分を上限とします。
「ご利用規則」にご同意の上、実行を行って下さい。
実行/ﾒﾆｭｰ

■ 発行された証明書を失効させる：

① 「3 その他」▶「1 証明書失効」を押す
ユーザ証明書を送信するかどうかの確認画面が表示されます。

② 「1 送信する」を押す
PIN2コード入力画面が表示されます。

③ PIN2コードを入力▶決定▶決定を押す

④ 「実行」を選択▶決定▶「次へ」を選択▶決定▶「実行」を選択▶決定を押す

4 「実行」を選択▶決定を押す

PIN2コードを
入力してください
残り 3回
入力できます

- PIN2コード→p.105

5 PIN2コードを入力▶決定を押す

PIN2コードが認識された旨のメッセージが表示されます。

- 60秒以内にPIN2コードを入力しないと発行申請は中止されます。

6 決定を押す

完了画面が表示され、ユーザ証明書の発行申請が完了します。

7 「ダウンロード」を選択▶決定を押す

C=JP
有効期限：
XXXX/XX/XX XX:XX:XX
ｼﾘｱﾙ番号：
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXX
実行/ﾒﾆｭｰ

8 「実行」を選択▶決定を押す

完了画面が表示され、ユーザ証明書がダウンロードされます。

- ダウンロードされた証明書は、証明書一覧に追加されます。→p.219

お知らせ

- FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料はかかりません。
- FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。
- ユーザ証明書は、お客様がFOMA契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書は緑色または白色のFOMAカードに保存され、FirstPass対応サイトで利用できます。
- 付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをパソコンにインストールすると、FOMA端末をパソコンに接続して、パソコンのブラウザを使ってFirstPassの通信を行うことができます。詳細はCD-ROM内の「簡易操作マニュアル」（PDF形式）をご覧ください。PDF版「簡易操作マニュアル」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。

FirstPassご使用にあたって

- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
- FirstPassはFOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただくことが可能です。パソコンでご利用いただくためには、付属のCD-ROM内のFirstPass PCソフトが必要です。
- ユーザ証明書の発行申請をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、同意の上、要求してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コード（→p.105）の入力が必要です。PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。
- FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行うことができます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

証明書発行先の設定

FirstPass以外のサービスを受けるときに、接続先を設定します。設定を変更するとFirstPassセンターに接続できなくなります。

通常は設定を変更する必要はありません。

1 **待受画面で(i)▶「9 iモードを設定する」▶「7 証明書の発行先を変更する」を押す**

証明書発行先を
設定してください
1接続先
ドコモ
2ﾕｰｻﾞ設定接続先
3初期画面URL

2 **「1 接続先」▶「2 ユーザ設定」を押す**

操作1の画面に戻ります。

- FirstPassに接続する設定に戻すときは「1 ドコモ」を押し、操作5に進みます。

3 **「2 ユーザ設定接続先」▶接続先を入力▶(決定)を押す**

操作1の画面に戻ります。

- 半角英数字99文字以内で入力します。
- 一部の記号や半角空白などを入力すると登録できません。

4 **「3 初期画面URL」▶URLを入力▶(決定)を押す**

操作1の画面に戻ります。

- 半角英数字100文字以内で入力します。

5 **(電話帳)を押す**

接続先設定を保存した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

iモーションを取得する

サイトやインターネットホームページから映像や音を取得し、再生したり、保存したりできます。保存した映像や音はiモーションとして再生したり、着モーションに設定できます。

- 再生時の音量はiモーションの音量設定に従います。→p.262
- 最大保存件数→p.396
- iモーションには、次のような種類があります。種類は取得元のサイトにより異なり、取得するときに変更したり、選択したりできません。

種　類	再生動作
標準タイプ（保存可※）	iモーションのデータを取得しながら再生します（最大10MB）。取得完了後は、データを取得した後に再生するときと同様に操作できます。
	iモーションのデータをすべて取得した後に再生します（最大10MB）。
ストリーミングタイプ（保存不可）	iモーションのデータを取得しながら再生します（最大10MB）。再生が終わったiモーションデータは消去され、繰り返し再生したり、FOMA端末に保存することはできません。

※ 保存できないiモーションもあります。

1 **iモーションのあるサイトを表示し、取得するiモーションを選択▶(決定)を押す**

iモーションの取得が始まります。

- データ取得中や再生中に電話帳または戻るchを押して中断しようとすると、中断するかどうか、または再開するかどうかの確認画面が表示される場合があります。中断するかどうかの確認画面で「1中断する」を押すと中断します。再開するかどうかの確認画面で「2再開しない」を押すと、操作の選択画面が表示されます。
→p.224「ｉモーションを取得する」のお知らせ

■ データを取得しながら再生するｉモーション（標準タイプ）のとき

取得しながら再生されます。

- 再生中は次の操作ができます。再生終了後は、データを取得した後に再生するｉモーションと同様に操作できます。
  決定：休止（データの取得は継続します）／再生
  ／：音量調節
  電話帳：停止（データの取得は継続します）
  戻るch：中断（取得中）／終了（取得完了後）
  メニュー／：横再生画面と通常の画面の切り替え

■ データを取得した後に再生するｉモーション（標準タイプ）のとき

取得が完了すると自動的に再生されます。

- 再生中は次の操作ができます。
  決定：休止／再生
  ／：音量調節
  電話帳／戻るch：停止
  ／：巻き戻し再生／早送り再生
  1：10秒巻き戻し（再生開始から10秒未満の場合は先頭から再生）
  3：30秒早送り（再生終了まで30秒未満の場合は再生終了1秒前から再生）
  メニュー▶1：横再生画面に切り替え
  ：横再生画面と通常の画面の切り替え
- チャプター情報を持つｉモーションの再生中は次の操作ができます。
  4／6：前のチャプター／次のチャプターの先頭から再生
  メニュー▶2：チャプター選択による再生
- 休止中にを押すと、再生バー上に位置指定つまみが表示されます。で移動して決定を押すと、指定した位置から再生します。位置指定つまみはを押すごとに1分単位で移動しますが、およそ20分以上のｉモーションの場合は、2秒以上押すと5分単位で移動できます。

■ データを取得しながら再生するｉモーション（ストリーミングタイプ）のとき

ストリーミング再生するかどうかの確認画面が表示され、「1再生する」を押すと取得しながら再生されます。

- 再生中は次の操作ができます。
  [決定]／[戻る]：中断
  [上]/[下]／[＋][－]：音量調節
  [メニュー]／[＊]：横再生画面と通常の画面の切り替え

2 サイトからｉモーションを取得し、再生が終了する

データの取り込みが完了しました。
操作を
選んでください
1再生する
2保存する
3情報を表示する
4戻る

1 **再生する**：ｉモーションを再生します。
2 **保存する**：ｉモーションを保存します。
3 **情報を表示する**：ｉモーションの情報を表示します。→p.257
4 **戻る**：サイト表示に戻ります。ｉモーションが保存されていないときは保存するかどうかの確認画面が表示されます。「2保存しない」を押すと、サイト表示に戻ります。

3 「2保存する」を押す

ビデオの保存
題名
子犬の特集
ファイル制限
あり
着信音設定
設定可能

- ストリーミングタイプのｉモーションは「1再生する」「2保存する」は選択できません。

4 [決定]を押す

ビデオを保存した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと操作2の画面に戻ります。

- ビデオ・音声一覧の「ｉモード」アルバムに保存されます。→p.254

■ **題名を変更する：[メニュー]▶「1題名を変更」▶題名を入力▶[決定]を押す**

題名が変更されて操作2の画面に戻ります。保存操作を行ってください。

- 36文字以内で入力します。

■ **着信音に設定する：[メニュー]▶「2着信音に設定」▶「1電話着信」～「4メッセージF受信」のいずれかを押す**

保存して着信音に設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと操作2の画面に戻ります。

お知らせ

- ｉモーションには、次のような再生制限が設定されている場合があります。

種　類	説　明
再生回数制限	設定されている回数まで再生できます。
再生期限制限	設定されている期限を過ぎていると再生、保存および取得できません。
再生期間制限	設定されている期間の前は保存、取得できますが再生できません。設定されている期間を過ぎているときは再生、保存および取得できません。

- ｉモーション設定（→p.225）を「自動再生しない」に設定しているときは、標準タイプのｉモーションは自動的に再生されません。

- ｉモーションを取得しながら再生しているときにデータの受信待ちになり、再生が一時停止する場合があります。データを受信し始めると自動的に再生を再開します。
- 表示サイズ設定（→p.261）が「元の大きさで表示する」に設定されている場合、再生するｉモーションのサイズによっては、縮小して再生する旨のメッセージが表示されます。
- ｉモーションにテキスト、音声、映像が含まれていてもそれらを再生できない場合は、その旨のメッセージが表示されます。決定を押すと再生できる部分があれば再生されます。
- ｉモーションを取得しながら再生しているときに、電波状態などにより再生できなくなったり、停止したり、画像が乱れたりする場合があります。そのような場合でも、データを正常に受信していれば取得後に再生できます。ただし、ｉモーションによってはデータを取得できても、正しく再生できない場合があります。
- ｉモーションのデータが不正だった場合、ｉモーションの受信が中止されることがあります。
- ストリーミングタイプのｉモーションを取得しながら再生しているときに、FOMA端末を閉じたり、電話がかかってきたり、目覚ましや予定の通知の時刻になった場合などは、取得、再生が中断されます。
- 500Kバイト以下の標準タイプのｉモーションを取得しながら再生しているときに、FOMA端末を閉じると、再生は停止しますが取得は継続されます。
- データ取得中に通信が中断されると、再開するかどうかの確認画面が表示される場合があります。「2再開しない」を押すと、次の画面が表示されます。

データの取り込み
を中断しました。
操作を
選んでください
1再生する
2部分保存する
3情報を表示する
4戻る

1再生する：ｉモーションを再生します。
2部分保存する：取得したところまでを部分保存します。決定を押すと保存され、残りは取得できます。→p.255「動画／ｉモーションを再生する」のお知らせ
3情報を表示する：ｉモーションの情報を表示します。→p.257
4戻る：サイト表示に戻ります。ｉモーションが保存されていないときは保存するかどうかの確認画面が表示されます。「2保存しない」を押すと、サイト表示に戻ります。

- ｉモーションの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従い保存可能な空き容量が確保できるまでFOMA端末に保存されている動画／ｉモーションを削除してください。削除する前に、動画／ｉモーション一覧でメニューを押すと動画／ｉモーションを再生し、電話帳を押すと動画／ｉモーションの詳細情報を表示できます。

ｉモーション設定

ｉモーションの動作を設定する

標準タイプのｉモーションを自動的に再生するかどうかを設定します。

1 待受画面で▶「9ｉモードを設定する」▶「3ｉモーションの再生を設定する」を押す

ｉモーションを自動で再生するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1自動再生する」または「2自動再生しない」を押す

ｉモーションの設定を変更した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 「自動再生しない」に設定しても、取得完了後に表示される画面から手動で再生できます。
- ストリーミングタイプのｉモーションは本設定に関わらずストリーミング再生するかどうかの確認画面が表示されます。
- サイト表示画面から操作する場合は、メニュー▶「#表示を設定」▶「2ｉモーション設定」を押します。

ｉチャネルとは

ニュースや天気などの情報がｉチャネル対応端末に配信されるサービスです。自動的に受信した最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、戻るchを押すことでチャネル一覧に表示されたりします（チャネル一覧の表示方法→p.226）。
また、ｉチャネルにはドコモが提供する「ベーシックチャネル」とIP（情報サービス提供者）が提供する「おこのみチャネル」の2種類があります。「ベーシックチャネル」は、配信される情報の自動更新時にパケット通信料はかかりません。お好きなチャネルを登録し利用できる「おこのみチャネル」は、情報の自動更新時に別途パケット通信料がかかります。「ベーシックチャネル」「おこのみチャネル」ともに詳細情報を閲覧する場合は別途パケット通信料がかかりますのでご注意ください。

- ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。
- ｉチャネルの詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

ｉチャネルを表示する

ｉチャネルを表示すると、テロップで流れている情報の詳細を見ることができます。

1 ｉチャネル情報を受信する

情報を受信したタイミングで待受画面にテロップが流れます。

4/17〈金〉
10:00
テロップ　今日の占い第1位

- 情報受信中は と**通信中**が点滅します。
- 使用状況によりチャネル一覧を表示したときに情報を受信する場合があります。
- テロップを表示するかどうかや、テロップの表示速度を設定することができます。→p.227

2 待受画面で戻るchを押す

チャネル一覧が表示されます。

3 表示する情報を選択▶決定を押す

サイトに接続され、詳細情報画面が表示されます。

お知らせ

- FOMA端末の電源が入っていないときや圏外などで情報を受信できなかったときは、チャネル一覧を表示して情報を受信すると、待受画面にテロップが流れるようになります。ただし、テロップ表示設定を「表示しない」に設定している場合は、テロップは流れません。
- 情報を受信しても、着信音、バイブレータ、ランプは動作しません。
- 次の場合は、テロップは表示されません。
  - FOMAカードを正しく取り付けていないときやFOMAカードに異常があるとき
  - 公共モード（ドライブモード）中
  - オールロック中
  - おまかせロック中
  - 個人情報表示制限中
  - 開閉ロック中
  - 待受画面に設定したアニメーションの再生中※

  ※ ━を押すか、何も操作せずに約5秒間経過すると、アニメーションが停止してテロップが表示されます。
- 他のｉチャネル対応端末にFOMAカードを差し替えたときや、接続先を変更したとき（→p.218）は、待受画面で戻るchを押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報を受信し、テロップが表示されるようになります。
- ｉチャネルサービスまたはｉモードサービスを解約するとテロップは表示されなくなり、待受画面で戻るchを押すと未契約時の画面が表示されます。ただし、解約の手続きが完了するまではテロップが表示され、待受画面で戻るchを押すと最後に受信した情報がチャネル一覧に表示される場合があります。

ｉチャネルの設定をする

待受画面に表示されるテロップの設定をしたり、チャネル一覧を表示するボタンを割り当てたりします。

テロップの設定〈テロップ表示設定〉

待受画面表示中にｉチャネルのテロップを表示するかどうかを設定します。テロップの表示速度も設定できます。

1 **待受画面で[MENU]▶「8 ｉチャネルを設定する」▶「1 ｉチャネルの表示を設定する」を押す**

待受画面の
テロップ表示を
設定してください
1 表示設定
表示する
2 表示速度
標準速度で表示

1 **表示設定**：待受画面にテロップを表示するかどうかを設定します。
2 **表示速度**：テロップの表示速度を設定します。

2 **「1 表示設定」を押す**

待受画面にテロップを表示するかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「1 表示する」を押す**

操作1の画面に戻ります。
- 「2 表示しない」：操作6に進みます。

4 **「2 表示速度」を押す**

テロップの表示速度の選択画面が表示されます。

5 **「1 速く表示」～「3 遅く表示」のいずれかを押す**

操作1の画面に戻ります。

6 **[電話帳]を押す**

待受画面のテロップ表示を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- ｉチャネルサービス解約前にｉモードサービス解約を行った場合、本機能の表示設定は「表示する」に設定されたままになっています。

チャネル一覧を表示するボタンの設定〈ｉチャネルボタン設定〉

待受画面で[戻る/ch]を押してチャネル一覧を表示するかどうかを設定します。

1 **待受画面で[MENU]▶「8 ｉチャネルを設定する」▶「2 ｉチャネルボタンを設定する」を押す**

待受画面で戻るボタンをｉチャネルボタンとして利用するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1 利用する」または「2 利用しない」を押す**

ｉチャネルボタンを利用する／利用しないに設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

ｉチャネルを初期化する〈ｉチャネル初期化〉

ｉチャネルをお買い上げ時の状態に戻します。
- テロップ表示設定の表示速度の設定は保持されます。

1 **待受画面で[MENU]▶「8 ｉチャネルを設定する」▶「3 ｉチャネルを初期化する」を押す**

チャネル情報を初期化するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1初期化する」を押す

チャネル情報を初期化した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- ｉチャネル初期化を行うと、待受画面のテロップは表示されなくなります。待受画面で戻るchを押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報を受信し、待受画面にテロップが表示されるようになります。

カメラ

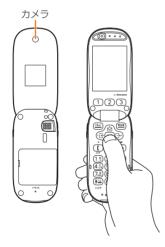
カメラをご使用になる前に

保存した写真やビデオでできること

カメラを使って撮影した写真やビデオは、表示／再生するだけでなく、次の操作ができます。

- ｉモードメールに添付して送信→p.249、p.256
- 待受画面に設定→p.249
- microSDカードに保存して利用→p.266、p.273
- 赤外線通信を利用して送信→p.280

カメラのご使用について

撮影はFOMA端末を開いて行います。撮影するときはカメラからの映像がディスプレイに表示されます。

お知らせ

- 写真／ビデオ撮影待機中は約5分間、拡大鏡を使っているときは約30分間何も操作しなかった場合は、終了する旨のメッセージが表示され、カメラは自動的に終了します。
- 写真／ビデオ撮影待機中にFOMA端末を閉じるとカメラは終了します。なお、撮影した写真／ビデオの確認画面を表示中にFOMA端末を閉じてもカメラは終了しません。
- ビデオ撮影中（休止中を含む）にFOMA端末を閉じると撮影が中断されます。FOMA端末を開くと、撮影を中断した時点までのビデオの確認画面が表示されます。

撮影時の留意事項

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが増えますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末を暖かい場所や直射日光が当たる場所に長時間放置したりすると、撮影する画像や映像が劣化することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画質が暗くなったり写真やビデオが乱れたりする場合があります。
- レンズの特性により、写真やビデオがゆがんで見える場合があります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面がちらついたり縞模様が現れたりするフリッカー現象が起きる場合があり、撮影のタイミングによっては写真やビデオの色合いが異なることがあります。「明るさの調節」の設定を変更することで、ちらつきや縞模様を軽減できる場合があります。→p.240
- カメラで撮影した写真やビデオは、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- 撮影の際、レンズ部分を指などで覆わないでください。
- 手ぶれにご注意ください。FOMA端末が動かないようにしっかり持って撮影するか、FOMA端末を安定した場所に置き、セルフタイマー機能を利用して撮影することをおすすめします。
- 決定を押してから実際に撮影されるまでに、多少の時間差があります。決定を押してから少しの間、FOMA端末を動かさないでください。また、速く動いている被写体を撮影すると、決定を押したときにディスプレイに表示されていた位置とは少しずれて撮影されることがあります。

- 動きの激しいものをビデオ撮影すると、映像が乱れる場合があります。
- 写真撮影時、ピントを合わせる際に「カチッ」という小さな音がしますが、故障ではありません。
- microSDカードをご利用になるには、別途microSDカードが必要です。
  microSDカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
- 撮影した写真やビデオを保存する前に電池残量がなくなると、保存できません。
- カメラは電力の消費が非常に早いため、カメラを長時間起動したり、撮影後に保存せず長時間放置したりしないでください。
- 設定によっては、カメラを起動してから撮影画面に映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して撮影および録音したものなど、およびサイトやインターネットホームページ上の著作物を権利者に無断で複製、改変、編集などする行為は、個人で楽しむなどの場合を除き、著作権法上禁止されておりますのでお控えください。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。撮影または録音したものなどをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

保存形式について

カメラで撮影した写真（静止画ファイル）やビデオ（動画ファイル）の保存形式は次のとおりです。

静止画ファイル

項　目	説　明
ファイル形式	JPEG（Exif形式、PRINT Image Matching Ⅲ※対応）
画像サイズ	Sサイズ（176×144） 待受（240×320） Lサイズ（640×480） デジカメ（1200×1600） • 撮影できるサイズは撮影モードにより異なります。Sサイズ、待受、Lサイズは撮影モードを「ケータイ撮影」、デジカメは撮影モードを「デジカメ撮影」に設定してください。
拡張子	jpg
ファイル名	撮影日時により自動設定 〈例〉2009年4月17日13時25分1秒に撮影した場合 →「20090417132501」
最大保存件数	本体1000件 microSDカード9999件 • ファイルサイズや他のデータの有無によっては実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。

※ 手書きメモで撮影した場合には対応していません。

動画ファイル

項　目	説　明
ファイル形式	MP4（MobileMP4）
符号化方式	映像：MPEG-4　音声：AMR
画像サイズ	QCIF（176×144） QVGA（320×240）
拡張子	3gp
ファイル名	撮影日時により自動設定 〈例〉2009年4月17日13時25分1秒に撮影した場合 →「20090417132501」
ファイルサイズ（容量）	メール添付・小：最大500KB メール添付・大：最大2MB microSD・無制限

項　目	説　明
最大保存件数	本体100件 microSDカード4095件 • ファイルサイズや他のデータの有無によっては実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。

写真撮影

写真を撮影する

さまざまな撮影方法で写真（静止画）を撮影します。

- 通常撮影では、カメラを向けると自動的にピントを合わせます。ピントは約8cm以上離れた被写体に合わせられます。
- 接写撮影・拡大鏡・手書きメモで撮影するときは、撮影する直前に自動的にピントを合わせます。
- 手ぶれ補正が自動的に機能します。被写体に応じて、手ぶれなどの振動による画像の乱れを補正します。
- コントラスト補正が自動的に機能します。逆光での撮影時などに自然な画像になるよう、部分的に補正します。
- 暗いところで撮影すると、撮影画面の画像より撮影された画像のほうが明るくなります。明るさは撮影環境に応じます。

1 待受画面でを押す

写真撮影画面が表示され、背面ディスプレイの照明が点滅します。

通常撮影では、ピントを合わせていることを表すフォーカス枠が表示されます。

フォーカス枠

写真の大きさと、現時点で撮影（保存）できる残りの最大撮影枚数の目安が表示されます。

- メニュー：撮影時の設定ができます。
- メニュー▶「6写真を見る」を押すと「撮影した写真」アルバムに保存されている写真を見ることができます。microSDカードを取り付けているときは、メニュー▶「6写真を見る」▶「1本体の写真」または「2microSDの写真」を押すと、「撮影した写真」アルバムまたはmicroSDカードに保存されている写真を見ることができます。→p.248、p.276

■ 起動時モード設定を「起動時に確認」に設定しているとき

カメラの撮影モードを「1デジカメ撮影」または「2ケータイ撮影」のどちらにするかの選択画面が表示されます。どちらかを押すと、選択したモードの写真撮影画面が表示されます。

2 被写体にカメラを向ける

ピントが合うとフォーカス枠が緑色の「＋」になり確認音が鳴ります。

- FOMA端末を動かすと、合わせたピントをいったん解除します。
- 約6～11cm離れたごく近い被写体にピントを合わせると、ガイド行の右側に「拡大鏡」と表示されます。このときに電話帳▶決定を押すと、拡大鏡に切り替えられます。→p.234

3 決定を押す

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、写真が撮影されてランプが点滅します。

- 接写撮影・拡大鏡・手書きメモでは、決定を押した後にフォーカス枠が表示され、ピントを合わせてから写真が撮影されます。

4 撮影した写真を確認する

5 決定を押す

撮影した
写真の操作を
選んでください

1保存する
2メールで送る
3待受画面に貼る
4撮りなおす

1 **保存する**：撮影した写真を保存します。
2 **メールで送る**：撮影した写真を保存した後に、ｉモードメールに添付します。
3 **待受画面に貼る**：撮影した写真を保存した後に、待受画面に設定します。
4 **撮りなおす**：撮影した写真を保存せずに撮り直します。

- 電話帳：撮影した写真を確認できます。
- microSDカードを取り付けているときは、「1microSDに保存」と「2本体に保存」が表示されます。

6 「1保存する」を押す

写真を保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと写真撮影画面に戻ります。

- microSDカードを取り付けているときは、「1microSDに保存」または「2本体に保存」を押します。
- 「1保存する」または「2本体に保存」を押したときは、写真・画像一覧の「撮影した写真」アルバムに保存されます。
→p.248
- 「1microSDに保存」を押したときは、写真・画像一覧の「microSDの写真」アルバムの「1写真」に保存されます。
→p.248

■ ｉモードメールで送る：

① **「2メールで送る」を押す**

写真を保存した旨のメッセージが表示されます。

- microSDカードを取り付けているときは、「3メールで送る」を押します。

② **決定を押す**

ｉモードメールの作成・送信方法→p.138、p.141

- 撮影した写真のサイズによっては、サイズ変更の選択画面が表示されます。
→p.249「画像を添付してｉモードメールを作成する」のお知らせ

■ 待受画面に設定する：**「3待受画面に貼る」を押す**

写真を保存して待受画面に設定した旨のメッセージが表示されます。

- microSDカードを取り付けているときは、「4待受画面に貼る」を押します。

お知らせ

- 待受画面でカメラを1秒以上▶「1写真撮影」を押しても起動できます。
- 画像の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数（→p.396）を超えるときは、不要な写真を削除するかどうかの確認画面が表示されます。撮影（保存）する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内の画像を削除してください。
- 撮影した写真のファイルサイズや空き容量によっては、写真撮影画面に表示される残り枚数が減らない場合があります。
- 決定を押して撮影した直後に電話がかかってくると、タイミングによっては撮影した写真が破棄される場合があります。

拡大鏡

拡大鏡を利用する

FOMA端末のカメラで対象を拡大表示します。そのまま撮影することもできます。

- 対象から約6～11cmの距離でご利用ください。

1 待受画面で（カメラ）を1秒以上▶「3 拡大鏡」を押す

カメラの映像が拡大されて画面に表示されます。
背面ディスプレイの照明が点滅します。

- 通常の写真撮影と同様に、写真を撮影することができます。→p.232「写真を撮影する」操作3以降

お知らせ

- 撮影サイズは待受（240×320）になります。
- ズームは約2.0倍～約8.0倍で変更できます。→p.237
- 拡大鏡では撮影モードの切り替え、写真の大きさやカメラ起動時の撮影モードの設定はできません。
- 通常の写真撮影中に、ごく近い距離の被写体にピントを合わせて（電話帳）▶（決定）を押しても、拡大鏡を利用できます。→p.232「写真を撮影する」操作2

手書きメモ

手書きメモを作成する

手書きの文字を写真撮影して、画像として保存したり、メールに添付して送ったりできます。撮影した画像は文字が強調されます。

1 待受画面で（カメラ）を1秒以上▶「4 手書きメモ」を押す

- 以降の操作→p.232「写真を撮影する」操作3以降
- 手書きメモを撮影すると、画像の歪みが自動的に補正されます。撮影後の確認画面（→p.232操作3）で（電話帳）を押すと、補正の有無を切り替えられます。被写体によっては補正を行わないほうが自然な場合があります。

お知らせ

- 撮影サイズは待受（240×320）になります。
- 接写撮影時は約8～30cm、接写撮影を解除したときは約40cm以上離れた被写体にピントを合わせて撮影します。→p.237
- 手書きメモではフレームを利用できません。
- 手書きメモでは撮影モードの切り替えや写真の大きさ、カメラ起動時の撮影モードの設定はできません。

ビデオ撮影

ビデオを撮影する

音声付きのビデオ（動画）を撮影します。

- ビデオサイズ（容量）が「メール添付・小」「メール添付・大」のときは撮影サイズが「QCIF（176×144）」に、ビデオサイズ（容量）が「microSD・無制限」のときは撮影サイズが「QVGA（320×240）」になり、ビデオの画質が「最高画質」になります。
- ビデオサイズ（容量）が「microSD・無制限」で撮影されたビデオは、ｉモードメールに添付できません。
- FOMA端末の機種に関わらず再生できるビデオを撮影するには、ビデオサイズ（容量）を「メール添付・小」に設定してください。

1 待受画面で[カメラ]を1秒以上▶「2ビデオ撮影」を押す

ビデオ撮影画面が表示されます。
背面ディスプレイの照明が点滅します。

現時点で撮影（保存）できる残りの最大撮影時間の目安が表示されます。

- [メニュー]：撮影時の設定ができます。
- [電話帳]：「撮影したビデオ」アルバムに保存されているビデオを見ることができます。microSDカードを取り付けているときは、[電話帳]▶「1本体のビデオ」または「2microSDのビデオ」を押すと、「撮影したビデオ」アルバムまたはmicroSDカードに保存されているビデオを見ることができます。→p.254、p.276

2 被写体にカメラを向けて[決定]を押す

撮影確認音（シャッター音）が鳴り撮影が開始され、ランプが約3秒間隔で点滅します。

撮影終了までの時間の目安が表示されます。

撮影終了までの目安が表示されます。

- 撮影終了までの時間の目安が00:00:00になると、撮影が自動的に終了して操作3の画面が表示されます。
- [メニュー]：撮影が休止／再開されます。押すたびに確認音が鳴ります。
  撮影休止中は背面ディスプレイの照明が点灯します。

3 [決定]を押す

終了確認音が鳴り、撮影が終了して確認画面が表示されます。ビデオサイズ（容量）が「microSD・無制限」のときは、すぐに保存され、ビデオを保存した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとビデオ撮影画面に戻ります。

- [電話帳]：撮影したビデオを再生します。

4 [決定]を押す

撮影した
ビデオの操作を
選んでください
1保存する
2メールで送る
3撮りなおす

1 **保存する**：撮影したビデオを保存します。

2 **メールで送る**：撮影したビデオを保存した後に、iモードメールに添付します。

3 **撮りなおす**：撮影したビデオを保存せずに撮り直します。

- [電話帳]：撮影したビデオを確認できます。
- microSDカードを取り付けているときは、「1microSDに保存」と「2本体に保存」が表示されます。

5 「1保存する」を押す

ビデオを保存した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとビデオ撮影画面に戻ります。

- microSDカードを取り付けているときは、「1microSDに保存」または「2本体に保存」を押します。
- 「1保存する」または「2本体に保存」を押したときは、ビデオ・音声一覧の「撮影したビデオ」アルバムに保存されます。→p.254
- 「1microSDに保存」を押したときは、ビデオ・音声一覧の「microSDのビデオ」アルバムの「3ビデオ」に保存されます。→p.254

■ iモードメールで送る：

① 「2メールで送る」を押す

ビデオを保存した旨のメッセージが表示されます。

- microSDカードを取り付けているときは、「3メールで送る」を押します。

② (決定)を押す

iモードメールの作成・送信方法→p.138、p.141

お知らせ

- 撮影中にボタン操作を行うと、ボタン確認音が録音される場合があります。
- ビデオの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数（→p.396）を超えるときは、不要なビデオを削除するかどうかの確認画面が表示されます。撮影する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のビデオを削除してください。
- 撮影中に撮影終了までの時間表示の更新が遅くなる場合があります。
- 撮影中に電話がかかってきた場合、その時点で撮影が中断され、着信のメッセージが表示されます。通話終了後、撮影したビデオの確認画面が表示されます。ビデオサイズ（容量）が「microSD・無制限」のときはビデオを保存した旨のメッセージが表示され、(決定)を押すとビデオ撮影画面に戻ります。
- 撮影中に目覚ましや予定の設定時刻になった場合、その時点で撮影が中断されアラームが鳴ります。アラームを解除すると撮影したビデオの確認画面が表示されます。ビデオサイズ（容量）が「microSD・無制限」のときはビデオを保存した旨のメッセージが表示され、(決定)を押すとビデオ撮影画面に戻ります。撮影したビデオの最後にアラーム音が記録されることがあります。
- 撮影中に電池が切れそうになると、電池残量がない旨のメッセージが表示され、撮影が中断されます。(決定)を押した後に保存するかどうかの確認画面が表示されます。撮影画面に戻って撮影しようとしても電池がないため撮影できない旨のメッセージが表示され、撮影できません。
- 撮影中に急に電池が切れそうになると、電池残量警告音が鳴り、撮影が中断されることがあります。その際、撮影したビデオの最後に電池残量警告音が録音されることがあります。

撮影時の設定をする

撮影するときの設定を変更します。

- 設定できる項目は次のとおりです。

項　目	参照先
ズームのしかた	p.237
接写撮影／通常撮影の切り替え	p.237
撮影モードの切り替え	p.237
フレームの選択	p.238
セルフタイマーの利用のしかた	p.238
撮影サイズの設定※	p.239
ビデオサイズ（容量）の設定※	p.239
ビデオの画質設定※	p.240
くっきり補正の設定※	p.240
明るさの調節	p.240
シャッター音の設定※	p.241
ディスプレイの照明設定※	p.241
ビデオ撮影の残り時間の確認	p.241
カメラ起動時の撮影モード設定※	p.242
カメラメニューの利用	p.242

※ 撮影終了後も設定内容が保持されます。

ズームのしかた

- 撮影待機中およびビデオ撮影中（休止中を含む）に操作できます。
- 写真撮影時に変更できるズーム倍率は次のとおりです。

撮影サイズ	ズーム倍率
Sサイズ（176×144）	約1.0倍～約16.0倍（32段階）
待受（240×320）	約1.0倍～約8.0倍（32段階）
Lサイズ（640×480）	約1.0倍～約3.0倍（32段階）
デジカメ（1200×1600）	約1.0倍～約2.0倍（6段階）

- 拡大鏡使用時に変更できるズーム倍率は約2.0倍～8.0倍の19段階です。
- ビデオ撮影時に変更できるズーム倍率は次のとおりです。

ビデオサイズ（容量）	ズーム倍率
メール添付・小	約1.0倍～約16.0倍（8段階）
メール添付・大	
microSD・無制限	約1.0倍～約8.0倍（5段階）

1 **写真撮影画面／ビデオ撮影画面で［メール］［音量］を押し、ズーム倍率を変更する**

現在の倍率が表示されます。
・設定されてしばらくすると表示は消えます。

接写撮影／通常撮影の切り替え

接写撮影に切り替えると、写真撮影では約8～30cm、ビデオ撮影では約6～11cm離れた被写体にピントを合わせて撮影できます。

1 **写真撮影画面／ビデオ撮影画面で［#］▶［決定］を押す**

接写撮影のときは撮影画面に［接写］が表示されます。

お知らせ

- 手書きメモ撮影中は、［#］を押すだけで接写撮影と通常撮影が切り替わります。
- 写真撮影では、通常撮影でもごく近い距離の被写体に自動的にピントを合わせられます。接写撮影に固定するときに本機能を利用してください。

撮影モードの切り替え

デジカメ撮影、ケータイ撮影とビデオ撮影を切り替えます。
「デジカメ撮影」に設定するときれいで大きな写真を撮影できます。「ケータイ撮影」に設定するとメールに添付したり、FOMA端末で利用したりするのに適した大きさの写真を撮影できます。
「ビデオ撮影」に設定するとビデオを撮影できます。

- 撮影待機中のみ操作できます。

1 **写真撮影画面で［メニュー］▶「［1］撮影モード選択」を押す**

- ビデオ撮影画面から操作する場合は、［メニュー］▶「［1］写真を撮影」を押すと、撮影モードが切り替わります。

2 **「［1］デジカメ撮影」～「［3］ビデオ撮影」のいずれかを押す**

撮影モードが切り替わります。

- 「［1］デジカメ撮影」、「［2］ケータイ撮影」を押したときは、さらに［決定］を押します。

フレームの選択

FOMA端末に保存されているフレームを重ねて撮影します。

- 撮影待機中のみ操作できます。
- 写真撮影では、撮影サイズが「Sサイズ（176×144）」「待受（240×320）」のときのみ操作できます。
- ビデオ撮影では、ビデオサイズ（容量）が「メール添付・小」「メール添付・大」のときのみ操作できます。

1 写真撮影画面／ビデオ撮影画面で(メニュー)▶「2フレームを選ぶ」を押す

フレームの番号／フレーム件数

- (電話帳)：撮影待機中の画面とフレームを重ねて表示します。(メール)(iモード)を押すと、フレームが切り替わります。

2 フレームを選択▶(決定)を押す

フレームが設定されます。

- 重ねたフレームを外す場合は、(メニュー)▶「3フレームを外す」を押します。

お知らせ

- フレームが表示されるまで、時間がかかることがあります。

セルフタイマーの利用のしかた

セルフタイマーを使用すると約10秒後に自動で写真を撮影します。

1 写真撮影画面で(メニュー)▶4「セルフタイマーを使う」を押す

セルフタイマー待機中になります。

- セルフタイマーを解除するときは(メニュー)▶「4セルフタイマーを解除」を押します。

2 被写体にカメラを向けて(決定)を押す

カウントダウン音が鳴り、背面ディスプレイの照明が点滅します。撮影時間に近づくと、カウントダウン音の間隔が短くなり、点滅が速くなります。

撮影までの残り秒数が表示されます。

- (決定)：セルフタイマーを中止します。

3 残り秒数が0になると、自動的に撮影される

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、写真が撮影されてランプが点滅します。

- 以降の操作は通常の写真撮影と同様です。→p.233「写真を撮影する」操作4以降

撮影サイズの設定

撮影する写真の大きさを設定します。
- 写真の撮影待機中のみ操作できます。
- 撮影モードが「ケータイ撮影」のときのみ操作できます。

1 写真撮影画面で(メニュー)▶「5写真の大きさ」を押す

撮影する写真の
大きさを
選んでください
1 Sｻｲｽﾞ（176x144）
2 待受（240x320）
3 Lｻｲｽﾞ（640x480）

1 **Sサイズ（176×144）**：iモードメールでiモード端末やパソコンなどに送信するのに適したサイズです。
2 **待受（240×320）**：待受画面に設定するのに適したサイズです。
3 **Lサイズ（640×480）**：パソコンなどで表示するのに適したサイズです。

2 「1Sサイズ（176×144）」～「3Lサイズ（640×480）」のいずれかを押す

撮影サイズを設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと写真撮影画面に戻ります。

お知らせ
- 「待受（240×320）」より大きいサイズで撮影した写真は、縮小してiモードメールに添付できます。→p.233「写真を撮影する」操作5
- 撮影モードが「デジカメ撮影」のときは、撮影サイズはデジカメ（1200×1600）になります。

ビデオサイズ（容量）の設定

撮影するビデオのファイルサイズを設定します。
- ビデオの撮影待機中のみ操作できます。

1 ビデオ撮影画面で(メニュー)▶「4撮影サイズを選ぶ」を押す

撮影するビデオの
サイズ・容量を
選んでください
1 メール添付・小
2 メール添付・大
3 microSD・無制限

1 **メール添付・小**：iモードメールに添付してiモード端末やパソコンなどに送信するときに設定します。
   - 撮影サイズはQCIF（176×144）になります。
2 **メール添付・大**：「メール添付・小」よりも長時間撮影するときに設定します。
   - 撮影サイズはQCIF（176×144）になります。
3 **microSD・無制限**：「メール添付・小」や「メール添付・大」よりも長時間撮影するときに設定します。
   - 撮影サイズはQVGA（320×240）になります。また、画質は自動的に「最高画質」に変更されます。

2 「1メール添付・小」～「3microSD・無制限」のいずれかを押す

ビデオサイズを設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとビデオ撮影画面に戻ります。
- microSDカードを取り付けていない場合は、「3microSD・無制限」を押すとmicroSDカード挿入後の設定をうながす旨のメッセージが表示されます。

ビデオの画質設定

ビデオ撮影後に保存するデータの画質を設定します。
- ビデオの撮影待機中のみ操作できます。
- ビデオサイズ（容量）の設定が「microSD・無制限」のときは設定できません。

1 ビデオ撮影画面で(メニュー)▶「5撮影画質を選ぶ」を押す

撮影するビデオの
画質を
選んでください

1長時間
2標準の画質
3高画質
4最高画質

1 **長時間**：長時間撮影するときに設定します。
- 画質は標準より悪くなります。

2 **標準の画質**：標準の画質で撮影するときに設定します。

3 **高画質**：標準よりもよい画質で撮影するときに設定します。
- 撮影時間は標準よりも短くなります。

4 **最高画質**：最もよい画質で撮影するときに設定します。
- ビデオサイズ（容量）は自動的に「microSD・無制限」に変更されます。

2 「1長時間」～「4最高画質」のいずれかを押す

画質を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとビデオ撮影画面に戻ります。
- microSDカードを取り付けていない場合は、「4最高画質」を押すとmicroSDカード挿入後の設定をうながす旨のメッセージが表示されます。

くっきり補正の設定

色や明るさのバランスを自動的に補正する機能を、設定または解除します。
- ビデオの撮影待機中のみ操作できます。
- お買い上げ時は、くっきり補正オンに設定されています。
- ビデオサイズ（容量）の設定が「microSD・無制限」のときはくっきり補正はオフになり、オンにはできません。

1 ビデオ撮影画面で(メニュー)▶「6くっきり補正オン」／「6くっきり補正オフ」を押す

画質補正機能が設定または解除され、ビデオ撮影画面に戻ります。

くっきり補正オンにすると表示されます。

お知らせ

- くっきり補正をオンにしていても、撮影する環境によっては、状態があまり変化しなかったり、補正が極端に強調されたりすることがあり、くっきり補正をオフにしたほうがよい場合もあります。

明るさの調節

撮影時の明るさを調節します。
- 5段階（－2、－1、±0、＋1、＋2）で調節できます。
- 撮影待機中のみ操作できます。

1 写真撮影画面／ビデオ撮影画面で(メニュー)▶「9詳細を設定」▶「1明るさの調節」を押す

現在の明るさが表示されます。

2 🖂 🔘 または ⊞⊟ を押し、明るさを調節▶(決定)を押す

明るさを設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと写真撮影画面／ビデオ撮影画面に戻ります。

お知らせ

- 被写体によっては、明るさを調節しても表示があまり変化しない場合があります。

シャッター音の設定

撮影時のシャッター音を設定します。

- 撮影時のシャッター音を鳴らさないようにすることはできません。
- 撮影待機中のみ操作できます。

1 写真撮影画面／ビデオ撮影画面で(メニュー)▶「9詳細を設定」▶「2シャッター音の設定」を押す

シャッター音を
　選んでください
1標準
2ファニー
3メタル
4チャイム
5スピード

<写真撮影の場合>

- (電話帳)：シャッター音を確認できます。

2 「1標準」～「5スピード」のいずれかを押す

シャッター音を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと写真撮影画面／ビデオ撮影画面に戻ります。

ディスプレイの照明設定

撮影時のディスプレイの照明を設定します。

- 撮影待機中のみ操作できます。

1 写真撮影画面／ビデオ撮影画面で(メニュー)▶「9詳細を設定」▶「3照明の設定」を押す

カメラ撮影中に
画面の照明を
常に明るく
点灯させますか？
1常に明るく点灯
2端末設定に従う

1 **常に明るく点灯**：撮影中は常時明るく点灯するように設定します。

2 **端末設定に従う**：照明設定（→p.100）で設定した明るさで1分間点灯します。

2 「1常に明るく点灯」または「2端末設定に従う」を押す

照明を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと写真撮影画面／ビデオ撮影画面に戻ります。

ビデオ撮影の残り時間の確認

本体やmicroSDカードへ撮影したビデオを保存できる残り時間を確認します。

- ビデオの撮影待機中のみ操作できます。

1 ビデオ撮影画面で(メニュー)▶「0残り時間を確認」を押す

ビデオの残り撮影時間が確認できます。

残り時間の目安
　本体
メール小　000:14:30
メール大　000:13:46

- (電話帳)：microSDカードと本体の残り時間を切り替えます。
- ビデオサイズ（容量）の設定が「microSD・無制限」のときは、「microSD・無制限」の残り時間のみ確認できます。

2 決定を押す

ビデオ撮影画面に戻ります。

カメラ起動時の撮影モード設定

カメラを起動したときにケータイ撮影、デジカメ撮影のどちらで起動するかを設定します。

- 写真の撮影待機中のみ設定できます。ただし、接写撮影時は設定できません。

1 写真撮影画面でメニュー▶「0起動時モード設定」を押す

カメラ起動時の
撮影モードを
選んでください
1 microSDに連動
2 起動時に確認
3 常にデジカメ撮影
4 常にケータイ撮影

1 **microSDに連動**：microSDカードが取り付けられていればデジカメ撮影、取り付けられていなければケータイ撮影で起動します。

2 **起動時に確認**：カメラを起動したときにデジカメ撮影、ケータイ撮影のどちらで起動するかを選択します。

3 **常にデジカメ撮影**：いつでもデジカメ撮影で起動します。

4 **常にケータイ撮影**：いつでもケータイ撮影で起動します。

2 「1microSDに連動」～「4常にケータイ撮影」のいずれかを押す

カメラ起動時の撮影モードを設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと写真撮影画面に戻ります。

カメラメニューの利用

撮影画面でカメラの各種機能に切り替えられます。

1 写真撮影画面／ビデオ撮影画面でカメラボタンを1秒以上押す

使いたい機能を
選んでください
1 接写撮影
2 拡大鏡
3 手書きメモ
4 バーコード読取り
5 セルフタイマー
6 終了する

1 **通常撮影／接写撮影**：通常撮影と接写撮影を切り替えます。→p.237

2 **拡大鏡**：拡大鏡に切り替えます。→p.234

3 **手書きメモ**：手書きメモの撮影に切り替えます。→p.234

4 **バーコード読取り**：バーコードリーダーに切り替えます。→p.243

5 **セルフタイマー**：セルフタイマーを利用します。→p.238
- ビデオ撮影画面では選択できません。

6 **終了する**：写真撮影またはビデオ撮影を終了します。

2 「1通常撮影」／「1接写撮影」～「6終了する」のいずれかを押す

選択した機能に切り替わります。

- 各機能については、それぞれのページをご覧ください。

バーコードリーダー

バーコードリーダーで情報を読み取る

カメラを使ってJANコード、QRコードといったバーコードに含まれている文字や数字を読み取ります。読み取った文字や数字は電話帳やブックマークに登録できます。読み取った文字や数字を使って、電話をかけたり（Phone To)、SMSを送ったり（SMS To)、メールを送ったり（Mail To)、インターネットに接続したり（Web To）することもできます。

- 読み取れるコードはJANコード、QRコードです。
- QRコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射の具合などにより読み取れない場合があります。

JANコードとは

幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。8桁（JAN8）または13桁（JAN13）のバーコードを読み取れます。
上のJANコードでは、「4942857315721」という文字情報を読み取れます。

QRコードとは

縦横方向の模様で英数字、漢字、ひらがな、カタカナ、絵文字、メロディ、画像などのデータを表現している2次元コードです。
上のQRコードでは、「株式会社NTTドコモ」という文字情報を読み取れます。

コードの読み取り

1　待受画面で(カメラ)を1秒以上▶「5 バーコード読取り」を押す

バーコードリーダーが起動します。
カメラをコードから約6～11cm離して読み取ってください。

- (#)：接写撮影OFF（表示なし）と接写撮影ON（接写アイコン）の切り替えができます。
- サイズの大きいコードを読み取るときは接写撮影OFFに切り替えてください。

2　コードを読み取る

カメラをコードに合わせると自動的に読み取ります。コードが読み取られると確認音が鳴り、読み取ったデータが表示されます。

- 読み取ったデータが半角で11000文字、全角で5500文字を超える場合、超過した文字は表示されませんが利用はできます。

3 データを利用する

■ 情報を電話帳に一括登録する：**「電話帳登録」を選択▶決定を押す**

電話帳の名前入力画面が表示されます。すでに各項目が入力されています。

- 電話帳の登録方法→p.71

■ ｉモードメールを送信する：**メールアドレスまたは「メール作成」を選択▶決定を押す**

メールアドレスを選択すると宛先が入力されたメール作成画面が表示されます。「メール作成」を選択すると宛先、題名、本文が入力されたメール作成画面が表示されます。

- ｉモードメールの作成・送信方法→p.138、p.141

■ ホームページやサイトを表示する：**URLを選択▶決定▶「1接続して表示」を押す**

ホームページまたはサイトが表示されます。

- 「2表示しない」を押すと読み取ったデータの表示画面に戻ります。

■ URLをブックマークに登録する：**「ブックマーク登録」を選択▶決定▶登録先フォルダを選択▶決定を押す**

サイト名がタイトルとして入力されたブックマークが登録されます。

■ 電話をかける：**電話番号を選択▶決定▶「1電話をかける」▶「1電話をかける」を押す**

- 「2電話をかけない」を押すと読み取ったデータの表示画面に戻ります。

■ SMSを送信する：**電話番号を選択▶決定▶「2SMSを作る」▶「1送信する」を押す**

選択した電話番号が宛先に設定されているSMS作成画面が表示されます。

- SMSの作成・送信方法→p.180
- 「2送信しない」を押すと読み取ったデータの表示画面に戻ります。

■ 静止画ファイルを保存する：

① **静止画ファイルを選択▶決定▶「2保存する」を押す**

- 「1表示する」を押すと静止画を表示します。
- 「3戻る」を押すと読み取ったデータの表示画面に戻ります。

② **決定▶登録先フォルダを選択▶決定を押す**

静止画が保存されます。

- メニュー：題名の変更や待受画面、ワンタッチダイヤルの着信画面への設定ができます。

■ メロディデータを保存する：

① **メロディデータを選択▶決定▶「2保存する」を押す**

- 「1再生する」を押すとメロディを再生します。
- 「3戻る」を押すと読み取ったデータの表示画面に戻ります。

② **決定を押す**

メロディが保存されます。

- メニュー：題名の変更や着信音への設定ができます。

■ 読み取ったデータの文字情報をコピーする：

① **メニュー▶「1コピーする」▶コピー開始位置を選択▶決定を押す**

- メニュー：すべての文字情報をまとめて選択できます。

② **コピー終了位置を選択▶決定を押す**

選択した範囲の文字情報がコピーされます。

■ 読み取ったデータを登録する：**登録する情報を選択▶メニュー▶「3登録する」▶「1電話帳新規登録」～「3ブックマーク登録」のいずれかを押す**

1 **電話帳新規登録**：電話帳に新規に登録します。

2 **電話帳更新登録**：既存の電話帳を更新します。

3 **ブックマーク登録**：ブックマークに登録します。

- 情報によって、登録できる機能が違います。電話帳に登録できるのは電話番号、メールアドレスです。ブックマークに登録できるのはURLだけです。

■ コードを読み取り直す：電話帳を押す

- メニュー▶「2再読取り」を押しても、読み取り直しができます。

お知らせ

- 読み取り情報の中に「ｉアプリ起動」があっても利用できません。

分割されたQRコードを読み取る

複数（最大16個）のQRコードに分割されているデータは、画面に表示されるメッセージに従って次々に読み取ってください。

読み取りが必要な残りのQRコード数とQRコードの総数が表示されます。

- 分割されたQRコードの読み取りを中止するには、戻るchを押します。読み取ったデータを破棄するかどうかの確認画面が表示されます。「1破棄する」を押すと、読み取ったデータを破棄してバーコードリーダーが終了します。

データ管理

画像を使いこなす

動画を使いこなす

メロディを使いこなす

microSDカードを使いこなす

赤外線通信を使いこなす

ボイスレコーダを使いこなす

画像を表示する

FOMA端末に保存されている写真や画像を表示します。ｉモードメールに添付したり、待受画面に設定したりすることもできます。

- FOMA端末では、静止画（JPEGまたはGIF形式の画像）やアニメーション（GIFアニメーション、Flash画像）を表示できます。ただし、横縦（または縦横）のサイズが480×640（ドット）より大きいGIF形式の画像やGIFアニメーション、1728×2304（ドット）より大きいJPEG形式の画像は表示できません。
- 電話帳お預かりサービス（ケータイデータお預かりサービス）を利用して画像を保存できます。→p.119

1 **待受画面でメニュー▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「2写真・画像を見る」を押す**

写真·画像一覧
撮影した写真
microSDの写真
ｉモード
デコメピクチャ
アイテム
内蔵写真
データ交換

- 画像は、次の7つのアルバムに分類して保存されます。
  - ：カメラで撮影した写真が保存されているアルバム
  - ：microSDカードのアルバム
  - ：ｉモードサイトやメールから取得した画像が保存されているアルバム
  - ：お買い上げ時に登録されているデコメ®ピクチャ、ｉモードサイトやメールから取得したデコメ®ピクチャ、バーコードリーダーで読み取ったデコメ®ピクチャが保存されているアルバム
  - ：お買い上げ時に登録されているフレームや、ｉモードサイトから取得したフレームが保存されているアルバム
  - ：お買い上げ時に登録されている画像が保存されているアルバム
  - ：microSDカードからの移動／コピー、赤外線通信での受信、バーコードリーダーでの読み取り、パソコンなどから取り込んだ写真や画像が保存されているアルバム
- 「ｉモードで探す」を選択して決定▶「1接続する」を押すと、ｉモードサイトから画像を探せます。→p.212
- アルバムを作成すると、が表示されます。→p.251

2 **アルバムを選択▶決定を押す**

画像一覧が表示され、カーソル位置の画像の題名などが確認できます。

アルバム名 — 撮影した写真
画像番号／アルバム内の画像数 — 0001/0006枚
題名 — 200904171305
ファイル形式マーク、メール添付マーク

- 電話帳：押すたびに画像表示とリスト表示が切り替わります。
- 画像のファイル形式は、次のファイル形式マークで確認できます。
  - JPG／JPG：JPEG形式の画像／FOMAカードのセキュリティ機能により使用不可
  - GIF／GIF：GIF形式の画像、GIFアニメーション／FOMAカードのセキュリティ機能により使用不可
  - ／：Flash画像／FOMAカードのセキュリティ機能により使用不可
- メール添付やFOMA端末外への出力が可能かどうかは、次のメール添付マークで確認できます。
  - ：メール添付とmicroSDカードへ移動／コピーが可能なデータ
  - ：メール添付が不可能で、microSDカードへ移動／コピーが可能なデータ
  - **表示なし**：メール添付とmicroSDカードへ移動／コピーが不可能なデータ
- FOMAカードのセキュリティ機能により表示できないときは、画像の代わりにが表示されます。

■ microSDカード内の画像を表示する：「microSDの写真」アルバムを選択▶[決定]▶「[1]写真」または「[2]その他の画像」▶アルバムを選択▶[決定]を押す

3 表示する画像を選択▶[決定]を押す

題名
画像番号／アルバム内の画像数

メモ表示

- アニメーションは自動的に再生されます。[決定]を押すと停止／再生します。
- [メール][iアプリ]：アルバム内の前後の画像を表示します。
- [決定]：静止画を等倍で表示します。
  - ディスプレイより大きい場合は、[メール][iアプリ][左][右]を押すとスクロールします。
  - [戻る/ch][メニュー][電話帳]のいずれかを押すと、元の表示に戻ります。
- [電話帳]：全画面で表示します。
  - [戻る/ch][メニュー][電話帳]のいずれかを押すと、元の表示に戻ります。
  - ディスプレイより大きいJPEG形式の画像は、表示サイズにより自動的にスクロールされます。[決定]を押すと一時停止／再開します。
  - 横のサイズが240（ドット）で、縦のサイズが320（ドット）以下の静止画は、全画面表示できません。
- [戻る/ch]を押すと一覧画面に戻ります。

画像を添付してｉモードメールを作成する

1 画像一覧で添付する画像を選択▶[メニュー]▶「[1]メールで送る」▶ｉモードメールを作成する

メール作成：新規
宛先：
題名：
添付　14.2KB
200904171305…
本文：
装飾：設定なし

選択した画像が添付され、ファイル名（拡張子含む）が表示されます。

- 画像一覧の表示方法→p.248「画像を表示する」操作1～2
- ｉモードメールの作成・送信方法→p.138、p.141

お知らせ

- 横縦（または縦横）のサイズが240×320（ドット）を超える画像を選択した場合は、次の画面が表示されます。

写真を待受画面の大きさに合わせて小さくしますか？
[1]小さくして送る
[2]このまま送る

[1]**小さくして送る**：縦横比を保持したまま、横縦（または縦横）のサイズが240×320（ドット）に収まるように変換して添付します。

[2]**このまま送る**：画像サイズを変更しないで添付します。

- ファイルサイズが2Mバイトを超えるJPEG形式の画像を選択した場合は、送信可能なサイズに縮小してメールに添付されます。

画像を待受画面に設定する

1 画像一覧で設定する画像を選択▶[メニュー]▶「[2]待受画面に貼る」▶「[1]設定する」を押す

待受画像に設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと画像一覧に戻ります。

- 画像一覧の表示方法→p.248「画像を表示する」操作1～2

お知らせ

- 待受画像についての注意事項は「待受画面の表示を変える」のお知らせをご覧ください。→p.98

画像の情報を表示する

1 画像一覧で情報を確認する画像を選択▶(メニュー)▶「3情報を見る」を押す

画像の情報
題名
200904171305
ファイル制限
なし

- 画像一覧の表示方法→p.248「画像を表示する」操作1～2
- (決定)を押すと画像一覧に戻ります。

項　目	説　明
題名※1	この端末内で表示される題名を表示します。
ファイル制限※1、2	ファイル制限が設定されているかどうかを表示します。→p.251
microSDへの移動※2	microSDカードへの移動が可能かどうかを表示します。
表示サイズ	画像のサイズを表示します。Flash画像の場合は表示されません。 • 表示される名称ごとの横×縦（ドット）のサイズは次のとおりです。 Sサイズ：144×176 または176×144 待受：240×320 または320×240 Lサイズ：480×640 または640×480 デジカメ：1200×1600 または1600×1200 • 上記のサイズに該当しない場合は、横×縦（ドット）を表示します。
ファイルサイズ	ファイルサイズを表示します。
ファイル種別	ファイル形式を表示します。Flash画像は「---」で表示されます。
種別	静止画かアニメーションかを表示します。
ファイル名	メールに添付したときなどに表示される名前を表示します。
保存日時（作成日時）	保存（作成）した日時を表示します。
保存元※2	画像の取得元を表示します。撮影した写真は「カメラ」、iモードサイトやメールから取得した画像は「iモード」、microSDカードやパソコンなどから取り込んだり、赤外線通信やバーコードリーダーでの読み取りで取得した画像は「データ交換」と表示されます。お買い上げ時に登録されている画像の場合は表示されません。
メモ※1、2	画像を表示したときのメモを表示します。
本体への移動※3	本体への移動が可能かどうかを表示します。

※1 内容を変更することができます。→p.250
※2 microSDカード内の画像の情報では表示されない項目です。
※3 microSDカード内の画像の情報で表示される項目です。

画像の題名やメモ、ファイル制限を変更する

- 「microSDの写真」アルバムの、画像の題名などの変更はできません。
- 画像によっては設定できない項目があります。

1 画像一覧で題名などを変更する画像を選択▶(メニュー)▶「4題名等を変更」を押す

変更する項目の選択画面が表示されます。

- 画像一覧の表示方法→p.248「画像を表示する」操作1～2

2 「1題名の変更」～「4ファイル制限の設定」のいずれかを押す

■ **題名を変更する：「1題名の変更」▶題名を入力▶(決定)を押す**
- 36文字以内で入力します。

■ **メモの内容を変更する：「2メモの変更」▶メモを入力▶(決定)を押す**
- 100文字以内で入力します。

■ 画像を表示したときにメモを表示するかどうかを設定する：「3メモ表示なし」または「3メモ表示あり」を押す

■ ファイル制限を設定する：「4ファイル制限の設定」▶「1設定する」を押す
- ファイル制限を解除する場合は「2設定しない」を押します。

- 変更または設定／解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと画像一覧に戻ります。

ファイル制限について

ファイル制限は、この端末で撮影した写真やビデオ、録音した音声、パソコンなどから取り込んだ画像や動画、メロディを、メールに添付して他の端末に送信したときに、それを受信した相手の端末から、さらに他の端末に送信／転送することを制限する機能です。したがって、ファイル制限を設定しても、この端末からの送信／転送は制限されません。

※ お買い上げ時に登録されているデータや、サイトやメールなどから保存したデータのファイル制限は変更できません。

画像のアルバムを利用する

アルバムを作成し、画像を撮影日やジャンルなどで分類して保存します。

アルバムの作成

- 最大100個作成できます。
- お買い上げ時に登録されているアルバムのアルバム名は変更できません。

1 待受画面でメニュー▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「2写真・画像を見る」を押す

写真・画像一覧が表示されます。

2 メニュー▶「1アルバムを追加」▶アルバム名を入力する

アルバム名の入力画面が表示されます。
- 全角7文字、半角14文字以内で入力します。

■ アルバム名を変更する：アルバム名を変更するアルバムを選択▶メニュー▶「3アルバム名変更」▶アルバム名を変更する

3 決定を押す

アルバムを追加した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと写真・画像一覧に戻ります。

アルバムの削除

- お買い上げ時に登録されているアルバムは削除できません。

1 待受画面でメニュー▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「2写真・画像を見る」を押す

写真・画像一覧が表示されます。

2 削除するアルバムを選択▶メニュー▶「2アルバムを削除」を押す

アルバムを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1削除する」を押す

アルバムを削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと写真・画像一覧に戻ります。
- アルバム内の画像と同時にアルバムを削除する場合は、「1削除する」▶端末暗証番号を入力▶決定▶「1削除する」を押します。

お知らせ

- 待受画面やワンタッチダイヤルの着信画像に使用されている画像のあるアルバムを削除すると、設定されていた項目はお買い上げ時の状態に戻ります。

アルバムへの画像移動

- 「アイテム」「内蔵写真」アルバムの画像は移動できません。
- 「microSDの写真」アルバムの画像の移動→p.275、p.279

1 **画像一覧で移動する画像を選択▶(メニュー)▶「6移動する」▶「1アルバムへ移動」を押す**

移動する写真の選択画面が表示されます。

- 画像一覧の表示方法→p.248「画像を表示する」操作1～2

■ **元のアルバムに戻す：画像一覧で戻す画像を選択▶(メニュー)▶「6移動する」▶「3最初の□に戻す」を押す**

2 **「1選択1件」または「3アルバム内全件」を押す**

移動先の選択画面が表示されます。

■ **複数選択して移動する：「2選択複数件」▶移動する画像を選択▶(決定)▶(電話帳)を押す**

- 選択すると画像に✔が表示されます。リスト表示の場合は□が☑に変わります。
- (決定)：画像を選択／解除します。
- (メニュー)：すべての画像を選択／解除します。

3 **移動先のアルバムを選択▶(決定)を押す**

写真を移動した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと画像一覧に戻ります。アルバム内に画像がなくなったときは写真・画像一覧に戻ります。

画像削除

画像を削除する

- 「内蔵写真」アルバムの画像は削除できません。

1 **画像一覧で削除する画像を選択▶(メニュー)▶「5削除する」（「microSDの写真」のときは「4削除する」）を押す**

削除する写真の選択画面が表示されます。

- 画像一覧の表示方法→p.248「画像を表示する」操作1～2

2 **「1選択1件」を押す**

写真を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **複数選択して削除する：「2選択複数件」▶削除する画像を選択▶(決定)▶(電話帳)を押す**

- 選択すると画像に✔が表示されます。リスト表示の場合は□が☑に変わります。
- (決定)：画像を選択／解除します。
- (メニュー)：すべての画像を選択／解除します。

■ **アルバム内の画像を全件削除する：「3アルバム内全件」▶端末暗証番号を入力▶(決定)を押す**

3 **「1削除する」を押す**

写真を削除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと画像一覧に戻ります。アルバム内に画像がなくなったときは写真・画像一覧に戻ります。

お知らせ

- 待受画面やワンタッチダイヤルの着信画像に使用されている画像を削除すると、設定されていた項目はお買い上げ時の状態に戻ります。
- お買い上げ時に「デコメピクチャ」「アイテム」アルバムに登録されている画像を削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。

  アクセス方法（2010年6月現在）

  待受画面で ▶「1 i Menuを見る」▶「メニューリスト」▶「ケータイ電話メーカー」▶「@Fケータイ応援団」

  サイトアクセス用QRコード

  ※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

並び順変更

画像一覧の並び順を変更する

- 「microSDの写真」アルバムの並び順は変更できません。

1 画像一覧で(メニュー)▶「9 並び順を変更」を押す

並び順を
　選んでください
1 題名で昇順
2 題名で降順
3 保存日時で昇順
4 保存日時で降順
5 大きさで昇順
6 大きさで降順

- 画像一覧の表示方法→p.248「画像を表示する」操作1～2

1 **題名で昇順**：題名を50音順に並べ替えます。

2 **題名で降順**：題名を50音順の逆に並べ替えます。

3 **保存日時で昇順**：保存日時の古い順に並べ替えます。

4 **保存日時で降順**：保存日時の新しい順に並べ替えます。

5 **大きさで昇順**：ファイルサイズの小さい順に並べ替えます。

6 **大きさで降順**：ファイルサイズの大きい順に並べ替えます。

2 「1 題名で昇順」～「6 大きさで降順」のいずれかを押す

選択した並び順で画像が並び替わります。

お知らせ

- 題名に全角／半角の文字や漢字が混在していると、「題名で昇順」や「題名で降順」の並べ替えた結果が50音順にならない場合があります。

画像の残り枚数を確認する

FOMA端末本体とmicroSDカードに、画像を残り何枚保存できるかを確認します。

- 「microSDの写真」アルバムでは確認できません。

1 画像一覧で(メニュー)▶「0 残り枚数を確認」を押す

残り枚数の目安
本体

Sｻｲｽﾞ	0912枚
待受	0456枚
Lｻｲｽﾞ	0190枚
ﾃﾞｼﾞｶﾒ	0021枚

- 画像一覧の表示方法→p.248「画像を表示する」操作1～2
- (電話帳)：押すたびにmicroSDカードと本体の残り枚数の表示が切り替わります。
- (決定)を押すと画像一覧に戻ります。

お知らせ

- 残り枚数は画像サイズごとに異なります。
- 撮影した枚数が最大保存件数に近づくと、大きい撮影サイズから残り枚数が少なくなります。

画像の保存容量を確認する

FOMA端末本体に画像が保存できる領域のサイズや、空き領域のサイズなどを表示します。

- 空き領域のサイズは、画像の保存状況だけでなく、動画／ｉモーションやメロディのデータの保存状況によっても変わります。

1 待受画面で(メニュー)▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「2写真・画像を見る」▶(メニュー)▶「4保存容量を確認」を押す

保存領域に対する使用領域の割合

アルバム
使用領域
658 KB
空き領域
14,202 KB
保存領域
14,860 KB

使用領域：使用している領域のサイズを示します。
空き領域：空き領域のサイズを示します。
保存領域：FOMA端末本体に画像が保存できる領域のサイズを示します。

- (決定)を押すと写真・画像一覧に戻ります。

動画／ｉモーションを再生する

FOMA端末に保存されているビデオや音声、動画／ｉモーションを再生します。ｉモードメールに添付したり、着信音に設定したりすることもできます。

1 待受画面で(メニュー)▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「4ビデオを見る録音音声を聞く」を押す

ビデオ･音声一覧
撮影したビデオ
録音した音声
microSDのﾋﾞﾃﾞｵ
ｉモード
内蔵ビデオ
データ交換
ｉモードで探す

- 動画／ｉモーションは、次の6つのアルバムに分類して保存されます。
  - ：カメラで撮影したビデオが保存されているアルバム
  - ：録音した音声が保存されているアルバム
  - ：microSDカードのアルバム
  - ：ｉモードサイトやメールから取得したｉモーションが保存されているアルバム
  - ：お買い上げ時に登録されている動画が保存されているアルバム
  - ：microSDカードからの移動／コピー、赤外線通信での受信、パソコンなどから取り込んだ動画／ｉモーションが保存されているアルバム
- 「ｉモードで探す」を選択して(決定)▶「1接続する」を押すと、ｉモードサイトからｉモーションを探せます。→p.222
- アルバムを作成すると、が表示されます。→p.258

2 アルバムを選択▶(決定)を押す

動画一覧が表示され、カーソル位置の動画／ｉモーションの題名などが確認できます。

アルバム名
動画番号／アルバム内の動画数
題名
ファイル形式マーク、メール添付マーク

撮影したビデオ
001/006件
200904171325

- (電話帳)：押すたびに画像表示とリスト表示が切り替わります。

- 動画／ｉモーションのファイル形式は、次のファイル形式マークで確認できます。
  MP4／MP4：MP4形式のデータ／FOMAカードのセキュリティ機能により使用不可
  MP4／MP4：部分的に保存したMP4形式のデータ／FOMAカードのセキュリティ機能により使用不可
  ASF：ASF形式のデータ
- メール添付やFOMA端末外への出力が可能かどうかは、次のメール添付マークで確認できます。
  ：メール添付とmicroSDカードへ移動／コピーが可能なデータ
  ：メール添付とmicroSDカードへ移動／コピーが可能な切り出し後のデータ
  ：メール添付が不可能で、microSDカードへ移動／コピーが可能なデータ
  表示なし：メール添付とmicroSDカードへ移動／コピーが不可能なデータ
- 録音した音声や映像のない動画／ｉモーションの場合は画像の代わりにが、FOMAカードのセキュリティ機能により表示できないときはが表示されます。

■ **microSDカード内の動画／ｉモーションを再生する：「microSDのビデオ」アルバムを選択▶決定▶「3ビデオ」または「4その他のビデオ」▶アルバムを選択▶決定を押す**

3 再生する動画／ｉモーションを選択▶決定を押す

再生音量
再生バー：現在の再生位置を表示します。
再生状態：▶ 再生中
一時停止中
停止中
再生時間

- 再生中は次の操作ができます。
  決定：一時停止／再生
  ／＋－：音量調節
  電話帳：停止
  ※ 停止中に決定を押すと先頭から再生します。
  ／：巻き戻し再生／早送り再生
  1：10秒巻き戻し（再生開始から10秒未満の場合は先頭から再生）
  3：30秒早送り（再生終了まで30秒未満の場合は再生終了1秒前から再生）
  ：横再生画面と通常の画面の切り替え
- チャプター情報を持つ動画／ｉモーションの再生中は次の操作ができます。
  4／6：前のチャプター／次のチャプターの先頭から再生
  メニュー▶2：チャプター選択による再生
- 一時停止中にを押すと、再生バー上に位置指定つまみが表示されます。で移動して決定を押すと、指定した位置から再生します。位置指定つまみはを押すごとに1分単位で移動しますが、およそ20分以上の動画／ｉモーションの場合は、2秒以上押すと5分単位で移動できます。
- 再生が終わると自動的に停止します。戻るを押すと動画一覧に戻ります。

お知らせ

- 次の形式の動画／ｉモーションを再生できます。形式は動画／ｉモーションの情報で確認できます。→p.257

ファイル形式（拡張子）	符号化形式		画像サイズ（ドット）
MP4（MP4、3GP）	映像	MPEG4、H.263	• MPEG4 48×48～640×480※1 • H.263 48×48～352×288※1
	音声	AMR、AAC	
ASF※2（ASF）	映像	MPEG4	128×96 176×144 320×240 352×288 640×480
	音声	G.726	

※1 画像サイズが対応していない大きさの動画／ｉモーションでも、再生可能な音声があるときは、音声の再生を行います。

※2 microSDカードに保存されている動画／ｉモーションのみ再生できます。

- 表示サイズ設定が「元の大きさで表示する」に設定されている場合、再生する動画／ｉモーションのサイズによっては、縮小して再生する旨のメッセージが表示されます。
- 部分的に保存したｉモーションを再生しようとすると、残りのデータを取得するかどうかの確認画面が表示されます。「1取得する」を押すと、ｉモードサイトに接続してデータを取得します。
- 再生制限について→p.258

動画／ｉモーションを添付してｉモードメールを作成する

1 動画一覧で添付する動画／ｉモーションを選択▶(メニュー)▶「1メールで送る」▶「1このまま送る」▶ｉモードメールを作成する

ﾋﾞﾃﾞｵ/音声を
送信しますか？
1このまま送る
2内容を確認する
3送信を中止する

メール作成：新規
宛先：
題名：
添付 90.9KB
200904171325…
本文：
装飾：設定なし

選択した動画／ｉモーションが添付され、ファイル名（拡張子含む）が表示されます。

- 動画一覧の表示方法→p.254「動画／ｉモーションを再生する」操作1～2
- ｉモードメールの作成・送信方法→p.138、p.141
- 「2内容を確認する」を押すと、動画／ｉモーションを再生します。

お知らせ

- ファイルサイズが500Kバイトを超える動画／ｉモーションを選択したときは、次の画面が表示されます。「2切り出して送る」▶「1送信する」を押すと、先頭から切り出してメールに添付されます。

このﾋﾞﾃﾞｵ/音声は
先頭を切り出して
送信できます。
切り出しますか？
1このまま送る
2切り出して送る
3内容を確認する
4送信を中止する

添付した動画は元の動画／ｉモーションと同じアルバムに同じ題名で保存され、動画一覧ではが表示されます。
情報表示の着信音設定が「設定可能」で取得元が「ｉモード」の場合や、microSDカードに保存されている場合など、編集不可の場合には表示されません。

動画／ｉモーションを着信音に設定する

1 動画一覧で設定する動画／ｉモーションを選択▶(メニュー)▶「2着信音に設定」▶「1電話着信」～「4メッセージF受信」のいずれかを押す

着信音に設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと動画一覧に戻ります。

- 動画一覧の表示方法→p.254「動画／ｉモーションを再生する」操作1～2

お知らせ

- 次の動画／ｉモーションは設定できません。
  - 映像がある場合、画像サイズが128×96、176×144、320×240（ドット）以外
  - ファイルサイズが10Mバイトを超えるもの
  - ASF形式
  - 再生制限が設定されているもの
  - 詳細情報の着信音設定が「不可」
  - テロップ（テキスト）あり
  - 外部機器に転送し、FOMA端末本体に戻したもの

- microSDカードから移動／コピーしたもの（FOMA端末本体からmicroSDカードに移動／コピーして戻したものを含む）

動画／ｉモーションの情報を表示する

1 動画一覧で情報を確認する動画／ｉモーションを選択▶(メニュー)▶「3情報を見る」（「microSDのビデオ」のときは「2情報を見る」）を押す

ビデオの情報
題名
200904171325
ｵﾘｼﾞﾅﾙﾀｲﾄﾙ
200904171325

- 動画一覧の表示方法→p.254「動画／ｉモーションを再生する」操作1～2
- (決定)を押すと動画一覧に戻ります。

項　目	説　明
題名※1	この端末内で表示される題名を表示します。
オリジナルタイトル	あらかじめ設定されているタイトルを表示します。
ファイル名	メールに添付したときなどに表示される名前を表示します。
作成者※2	作成者の名前などを表示します。 • この端末で撮影したビデオや録音した音声の場合、個人情報に登録した名前（登録していないときは「---」）が表示されます。
コピーライト※2	著作者名や著作物の公表年月日などを表示します。
説明※2	説明を表示します。
ファイル種別	ファイル形式を表示します。
音種別※2	音声の符号化形式を表示します。
表示サイズ	再生したときの表示サイズを表示します。
ファイルサイズ	ファイルサイズを表示します。
再生時間※2	再生時間を表示します。
保存日時（作成日時）	保存（作成）した日時を表示します。
着信音設定※2	着信音に設定できるかどうかを表示します。
ファイル制限※1、2	ファイル制限が設定されているかどうかを表示します。→p.251
microSDへの移動※2	microSDカードへの移動が可能かどうかを表示します。
再生制限※2	再生制限が設定されているかどうかを表示します。→p.258
取得元※2	保存したアルバムが「撮影したビデオ」「録音した音声」「ｉモード」「データ交換」のいずれかの場合に、アルバム名を表示します。
画像※2	再生可能かどうかを表示します。
音※2	再生可能かどうかを表示します。
本体への移動※3	本体への移動が可能かどうかを表示します。

※1 内容を変更することができます。→p.257、p.258
※2 microSDカード内のビデオの情報では表示されない項目です。
※3 microSDカード内のビデオの情報で表示される項目です。

動画／ｉモーションの題名を変更する

- 「microSDのビデオ」アルバムの、動画／ｉモーションの題名は変更できません。

1 動画一覧で題名を変更する動画／ｉモーションを選択▶(メニュー)▶「4題名を変更」▶「1題名を変更する」▶題名を入力▶(決定)を押す

題名を変更した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと動画一覧に戻ります。

- 動画一覧の表示方法→p.254「動画／ｉモーションを再生する」操作1～2
- 36文字以内で入力します。
- あらかじめ設定されていたタイトルに戻す場合は、「2オリジナルタイトルに戻す」を押します。

動画／ｉモーションのファイル制限を設定する

- 「microSDのビデオ」「ｉモード」「内蔵ビデオ」アルバムの動画／ｉモーションのファイル制限は変更できません。
- ファイル制限について→p.251

1 **動画一覧でファイル制限を設定する**
動画を選択▶(メニュー)▶「9ファイル制限を設定」▶「1設定する」を押す

ファイル制限の設定を変更した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと動画一覧に戻ります。

- 動画一覧の表示方法→p.254「動画／ｉモーションを再生する」操作1～2
- ファイル制限を解除する場合は「2設定しない」を押します。

再生制限が設定されているときは

ｉモーションに再生制限が設定されているときは、再生開始前に確認画面が表示されます。

再生制限	状　態	メッセージ	再生可／不可
回数制限	再生回数残あり	あと×回（×／×）再生可能です。再生しますか？	可
	規定回数再生済み	再生可能回数が終了しました。削除しますか？	不可
期限制限	期限内	×年×月×日×時×分まで再生可能です。再生しますか？	可
	期限が過ぎた	再生可能期限が切れました。削除しますか？	不可
期間制限	期間内	×年×月×日×時×分から×年×月×日×時×分まで再生可能です。再生しますか？	可
	期間前	再生可能日前です　再生できません	不可
	期間が過ぎた	再生可能期限が切れました。削除しますか？	不可

- 再生不可のときに表示される削除確認画面で、「1削除する」を押すと、ｉモーションは削除されます。
- 日付・時刻を変更しても、再生制限の期限や期間を延長することはできません。

動画／ｉモーションのアルバムを利用する

アルバムを作成し、動画／ｉモーションを撮影日やジャンルなどで分類して保存します。アルバム内に保存した動画／ｉモーションを、連続して再生することもできます。

アルバムの作成

- 最大10個作成できます。
- お買い上げ時に登録されているアルバムのアルバム名は変更できません。

1 **待受画面で(メニュー)▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「4ビデオを見る 録音音声を聞く」を押す**

ビデオ・音声一覧が表示されます。

2 **(メニュー)▶「6アルバムを追加」▶アルバム名を入力する**

アルバム名の入力画面が表示されます。

- 全角10文字、半角20文字以内で入力します。

■ **アルバム名を変更する：アルバム名を変更するアルバムを選択▶(メニュー)▶「8アルバム名変更」▶アルバム名を変更する**

3 **(決定)を押す**

アルバムを追加した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとビデオ・音声一覧に戻ります。

アルバムの削除

- お買い上げ時に登録されているアルバムは削除できません。

1 **待受画面で(メニュー)▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「4ビデオを見る 録音音声を聞く」を押す**

ビデオ・音声一覧が表示されます。

2 削除するアルバムを選択▶(メニュー)▶「7アルバムを削除」を押す

アルバムを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1削除する」を押す

アルバムを削除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとビデオ・音声一覧に戻ります。

- アルバム内の動画／ｉモーションと同時にアルバムを削除する場合は、「1削除する」▶端末暗証番号を入力▶(決定)▶「1削除する」を押します。

お知らせ

- 着信音に使用されている動画／ｉモーションのあるアルバムを削除すると、設定されていた項目はお買い上げ時の状態に戻ります。

アルバムへの動画／ｉモーション移動

- 「内蔵ビデオ」アルバムの動画は移動できません。
- 「microSDのビデオ」アルバムの動画の移動→p.275、p.279

1 動画一覧で移動する動画／ｉモーションを選択▶(メニュー)▶「6移動する」▶「1アルバムへ移動」を押す

移動するビデオ／音声の選択画面が表示されます。

- 動画一覧の表示方法→p.254「動画／ｉモーションを再生する」操作1～2

■ **元のアルバムに戻す：動画一覧で戻す動画／ｉモーションを選択▶(メニュー)▶「6移動する」▶「3最初の□に戻す」を押す**

2 「1選択1件」または「3アルバム内全件」を押す

移動先の選択画面が表示されます。

■ **複数選択して移動する：「2選択複数件」▶移動する動画／ｉモーションを選択▶(決定)▶(電話帳)を押す**

- 選択すると動画／ｉモーションに✔が表示されます。リスト表示の場合は□が☑に変わります。
- (決定)：動画／ｉモーションを選択／解除します。
- (メニュー)：すべての動画／ｉモーションを選択／解除します。

3 移動先のアルバムを選択▶(決定)を押す

ビデオ／音声を移動した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと動画一覧に戻ります。アルバム内に動画／ｉモーションがなくなったときはビデオ・音声一覧に戻ります。

アルバム内の動画／ｉモーションを再生する〈アルバム再生〉

- お買い上げ時に登録されているアルバムでは操作できません。
- 再生制限が設定されているｉモーションは再生されません。

1 待受画面で(メニュー)▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「4ビデオを見る 録音音声を聞く」を押す

ビデオ・音声一覧が表示されます。

2　再生するアルバムを選択▶(メニュー)▶「5アルバムを再生」▶(決定)を押す

動画／ｉモーションが再生されます。

- 再生中は次の操作ができます。
  (決定)：一時停止／再生
  (↑)(↓)／(+)(−)：音量調節
  (電話帳)：停止
  ※ 停止中に(決定)を押すと停止中の動画／ｉモーションの先頭から再生します。
  (←)：動画／ｉモーションの先頭に移動（動画／ｉモーションの始まりから3秒以内に操作すると前の動画／ｉモーションに移動）
  (→)：次の動画／ｉモーションに移動
- FOMA端末を閉じても再生は継続されます。

■ **繰り返し再生するかどうかを設定する：(メニュー)▶「9繰り返し再生」▶「1繰り返す」または「2繰り返さない」を押す**

繰り返し再生の設定を変更した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとビデオ・音声一覧に戻ります。

- 再生中に(戻る)を押すとビデオ・音声一覧に戻ります。繰り返し再生を「繰り返さない」に設定している場合は、アルバム内のすべての動画／ｉモーションを再生すると自動でビデオ・音声一覧に戻ります。

動画削除

動画／ｉモーションを削除する

1件ずつ削除したり、アルバム内の動画／ｉモーションをまとめて削除します。

- 「内蔵ビデオ」アルバムの動画は削除できません。

1　動画一覧で削除する動画／ｉモーションを選択▶(メニュー)▶「5削除する」（「microSDのビデオ」のときは「3削除する」）を押す

削除するビデオ／音声の選択画面が表示されます。

- 動画一覧の表示方法→p.254「動画／ｉモーションを再生する」操作1～2

2　「1選択1件」を押す

ビデオ／音声を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **複数選択して削除する：「2選択複数件」▶削除する動画／ｉモーションを選択▶(決定)▶(電話帳)を押す**

- 選択すると動画／ｉモーションに✔が表示されます。リスト表示の場合は☐が☑に変わります。
- (決定)：動画／ｉモーションを選択／解除します。
- (メニュー)：すべての動画／ｉモーションを選択／解除します。

■ **アルバム内の動画／ｉモーションを全件削除する：「3アルバム内全件」▶端末暗証番号を入力▶(決定)を押す**

3　「1削除する」を押す

ビデオ／音声を削除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと動画一覧に戻ります。アルバム内に動画／ｉモーションがなくなったときはビデオ・音声一覧に戻ります。

お知らせ

- 着信音に使用されている動画／ｉモーションを削除すると、設定されていた項目はお買い上げ時の状態に戻ります。

並び順変更

動画一覧の並び順を変更する

- 「microSDのビデオ」アルバムの並び順は変更できません。

1 動画一覧で(メニュー)▶「8並び順を変更」を押す

並び順の選択画面が表示されます。

- 動画一覧の表示方法→p.254「動画／ｉモーションを再生する」操作1～2

2 「1題名で昇順」～「6大きさで降順」のいずれかを押す

選択した並び順で動画／ｉモーションが並び替わります。

- 並び順について→p.253「画像一覧の並び順を変更する」操作1

お知らせ

- 題名に全角／半角の文字や漢字が混在していると、「題名で昇順」や「題名で降順」の並べ替えた結果が50音順にならない場合があります。

表示サイズ設定

動画／ｉモーションの表示サイズを設定する

画面の表示サイズ（240×200または320×240ドット）に合わせて拡大または縮小して表示するかどうかを設定します。

1 待受画面で(メニュー)▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「4ビデオを見る 録音音声を聞く」を押す

ビデオ・音声一覧が表示されます。

2 (メニュー)▶「1表示サイズ設定」を押す

表示の大きさの選択画面が表示されます。

3 「1画面に合わせて表示する」または「2元の大きさで表示する」を押す

表示サイズを設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと、ビデオ・音声一覧に戻ります。

- 「1画面に合わせて表示する」：表示サイズの高さと幅の比率を保持したまま拡大または縮小し、画面の表示サイズに合わせて表示します。ただし、ｉモーションによっては変更されない場合があります。
- 「2元の大きさで表示する」：元のサイズで表示します。

照明設定

動画／ｉモーションを再生するときの照明を設定する

1 待受画面で(メニュー)▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「4ビデオを見る 録音音声を聞く」を押す

ビデオ・音声一覧が表示されます。

2 (メニュー)▶「2照明を設定」を押す

照明を常に点灯させるかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1常に点灯」または「21分で消灯」を押す

照明を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと、ビデオ・音声一覧に戻ります。

- 「1常に点灯」：常時点灯します。
- 「21分で消灯」：何も操作しないで約1分経過すると消灯します。
- 照明設定（→p.100）で「さらに暗く設定」に設定している場合は設定できません。

音量調節

動画／ｉモーションを再生するときの音量を設定する

1 待受画面で(メニュー)▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「4ビデオを見る 録音音声を聞く」を押す

ビデオ・音声一覧が表示されます。

2 (メニュー)▶「3音量を調節」を押す

音量の調節画面が表示されます。

3 (メール)(ｉ)(◁)(▷)または(＋)(－)を押して音量を調節▶(決定)を押す

音量を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとビデオ・音声一覧に戻ります。

- 音量1のときに(ｉ)／(◁)／(－)：「消音」に設定します。

動画／ｉモーションの保存容量を確認する

FOMA端末本体に動画／ｉモーションが保存できる領域のサイズや、空き領域のサイズなどを表示します。

- 空き領域のサイズは、動画／ｉモーションの保存状況だけでなく、画像やメロディのデータの保存状況によっても変わります。

1 待受画面で(メニュー)▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「4ビデオを見る 録音音声を聞く」▶(メニュー)▶「4保存容量を確認」を押す

保存容量が表示されます。(決定)を押すとビデオ・音声一覧に戻ります。

- 画面の見かた→p.254「画像の保存容量を確認する」

メロディを再生する

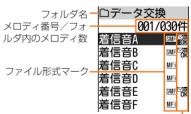
FOMA端末に保存されているメロディを再生します。ｉモードメールに添付することもできます。

1 待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「5音を設定する」▶「6メロディの一覧を見る」を押す

メロディ一覧
ｉモード
内蔵メロディ
データ交換
microSDのﾒﾛﾃﾞｨ
ｉモードで探す

- メロディは、次の4つのフォルダに分類して保存されます。
  - (ｉモード)：ｉモードサイトやメールから取得したメロディが保存されているフォルダ
  - (内蔵)：お買い上げ時に登録されているメロディが保存されているフォルダ
  - (データ交換)：microSDカードからの移動／コピー、赤外線通信での受信、バーコードリーダーでの読み取り、パソコンなどから取り込んだメロディが保存されているフォルダ
  - (SD)：microSDカードのフォルダ
- 「ｉモードで探す」を選択して(決定)▶「1接続する」を押すと、ｉモードサイトからメロディを探せます。→p.214

2 フォルダを選択▶(決定)を押す

フォルダ内のメロディ一覧が表示され、メロディの種類などが確認できます。

メール添付マーク：メール添付とmicroSDカードへの移動／コピーが可能なことを示します。

- メロディのファイル形式は、次のファイル形式マークで確認できます。
  MFi／MFi：MFi形式のデータ／FOMAカードのセキュリティ機能により使用不可
  SMF／SMF：SMF形式のデータ／FOMAカードのセキュリティ機能により使用不可

■ microSDカード内のメロディを再生する：「microSDのメロディ」フォルダを選択▶決定▶フォルダを選択▶決定を押す

3 再生するメロディを選択▶決定を押す

メロディ再生中
001/030件
着信音A

メロディ番号／フォルダ内のメロディ数
再生中のメロディの題名
再生音量
再生バー：現在の再生位置を表示します。

- 再生中は次の操作ができます。
  決定：一覧に戻る
  ／：フォルダ内の前後のメロディを再生
  ／＋－：音量調節
- フォルダ内のメロディ一覧または待受画面に戻るまで繰り返し再生します。
- FOMA端末を閉じてもメロディの再生は継続されます。

メロディを添付してｉモードメールを作成する

1 フォルダ内のメロディ一覧で添付するメロディを選択▶メニュー▶「1メールで送る」▶ｉモードメールを作成する

メール作成：新規
宛先：
題名：
添付 4.5KB
♪着信音A.mid
本文：
装飾：設定なし

選択したメロディが添付され、ファイル名（拡張子含む）が表示されます。

- フォルダ内のメロディ一覧の表示方法→p.262「メロディを再生する」操作1～2
- ｉモードメールの作成・送信方法→p.138、p.141

お知らせ

- 相手がF-07A以外の場合、メロディを正しく送信できないことがあります。

メロディの情報を表示する

1 フォルダ内のメロディ一覧で情報を確認するメロディを選択▶メニュー▶「2情報を見る」を押す

メロディの情報
題名
着信音A
ｵﾘｼﾞﾅﾙﾀｲﾄﾙ
着信音A

- フォルダ内のメロディ一覧の表示方法→p.262「メロディを再生する」操作1～2
- 決定を押すとフォルダ内のメロディ一覧に戻ります。

項　目	説　明
題名※1	この端末内で表示される題名を表示します。
オリジナルタイトル	あらかじめ設定されているタイトルを表示します。

項　目	説　明
ファイル制限※1、2	ファイル制限が設定されているかどうかを表示します。→p.251
microSDへの移動※2	microSDカードへの移動が可能かどうかを表示します。
ファイルサイズ	ファイルサイズを表示します。
ファイル種別	ファイル形式を表示します。
再生時間※2	再生時間を表示します。
ファイル名	メールに添付したときなどに表示される名前を表示します。
保存日時（作成日時）	保存（作成）した日時を表示します。
保存元※2	保存したフォルダが「iモード」または「データ交換」の場合に、フォルダ名を表示します。
本体への移動※3	本体への移動が可能かどうかを表示します。

※1 内容を変更することができます。→p.264

※2 microSDカード内のメロディの情報では表示されない項目です。

※3 microSDカード内のメロディの情報で表示される項目です。

メロディの題名を変更する

- 「microSDのメロディ」フォルダの、メロディの題名は変更できません。

1 フォルダ内のメロディ一覧で題名を変更するメロディを選択▶(メニュー)▶「3題名を変更」▶「1題名を変更する」▶題名を入力▶(決定)を押す

題名を変更した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとフォルダ内のメロディ一覧に戻ります。

- フォルダ内のメロディ一覧の表示方法→p.262「メロディを再生する」操作1～2
- 全角25文字、半角50文字以内で入力します。
- あらかじめ設定されていたタイトルに戻す場合は、「2オリジナルタイトルに戻す」を押します。

メロディのファイル制限を設定する

- 「データ交換」フォルダのメロディのみファイル制限を変更できます。

1 フォルダ内のメロディ一覧でファイル制限を設定するメロディを選択▶(メニュー)▶「8ファイル制限を設定」▶「1設定する」を押す

ファイル制限の設定を変更した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとフォルダ内のメロディ一覧に戻ります。

- フォルダ内のメロディ一覧の表示方法→p.262「メロディを再生する」操作1～2
- ファイル制限を解除する場合は「2設定しない」を押します。

メロディ削除

メロディを削除する

- 「内蔵メロディ」フォルダのメロディは削除できません。

1 フォルダ内のメロディ一覧で削除するメロディを選択▶(メニュー)▶「4削除する」（「microSDのメロディ」のときは「3削除する」）を押す

削除するメロディの選択画面が表示されます。

- フォルダ内のメロディ一覧の表示方法→p.262「メロディを再生する」操作1～2

2 「1選択1件」を押す

メロディを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **複数選択して削除する：「2選択複数件」▶削除するメロディを選択▶(決定)▶(電話帳)を押す**

- 選択すると□が☑に変わります。
- (決定)：メロディを選択／解除します。
- (メニュー)：すべてのメロディを選択／解除します。

■ **フォルダ内のメロディを全件削除する：「3フォルダ内全件」▶端末暗証番号を入力▶(決定)を押す**

3 「1削除する」を押す

メロディを削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとフォルダ内のメロディ一覧に戻ります。フォルダ内にメロディがなくなったときはメロディ一覧に戻ります。

お知らせ

- 着信音や目覚ましに使用されているメロディを削除すると、設定されていた項目はお買い上げ時の状態に戻ります。

並び順変更

メロディ一覧の並び順を変更する

- 「microSDのメロディ」フォルダの並び順は変更できません。

1 フォルダ内のメロディ一覧でメニュー▶「7並び順を変更」を押す

並び順の選択画面が表示されます。

- フォルダ内のメロディ一覧の表示方法→p.262「メロディを再生する」操作1～2

2 「1題名で昇順」～「6大きさで降順」のいずれかを押す

選択した並び順でメロディが表示されます。

- 並び順について→p.253「画像一覧の並び順を変更する」操作1

お知らせ

- 題名に全角／半角の文字や漢字が混在していると、「題名で昇順」や「題名で降順」の並べ替えた結果が50音順にならない場合があります。

再生位置設定

メロディを再生する位置を設定する

メロディを再生したときの再生位置を設定します。

1 待受画面でメニュー▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「5音を設定する」▶「6メロディの一覧を見る」を押す

メロディ一覧が表示されます。

2 メニュー▶「2再生位置を設定」を押す

再生位置の選択画面が表示されます。

3 「1フルコーラス再生」または「2ポイント再生」を押す

再生位置を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメロディ一覧に戻ります。

- 「1フルコーラス再生」：メロディをすべて再生するように設定します。
- 「2ポイント再生」：メロディを一部分のみ再生するように設定します。
  設定しても、対応していないメロディではポイント再生を行いません。

メロディの保存容量を確認する

FOMA端末本体にメロディが保存できる領域のサイズや、空き領域のサイズなどを表示します。

- 空き領域のサイズは、メロディの保存状況だけでなく、画像や動画／ｉモーションのデータの保存状況によっても変わります。

1 **待受画面で[メニュー]▶「[9]設定を行う」▶「[9]その他の設定を行う」▶「[5]音を設定する」▶「[6]メロディの一覧を見る」**

メロディ一覧が表示されます。

2 **[メニュー]▶「[1]保存容量を確認」を押す**

保存容量が表示されます。[決定]を押すとメロディ一覧に戻ります。

- 画面の見かた→p.254「画像の保存容量を確認する」

microSDカードについて

カメラで撮影した写真やビデオ、録音した音声などのデータをmicroSDカードに保存したり、電話帳やメールなどのデータをバックアップデータとして一括で保存したりできます。また、保存した写真はプリンタやプリントサービスのお店などで簡単に印刷できます。さらに、microSDカードアダプタを組み合わせて、SDメモリーカードに対応したパソコンなどの外部機器から、画像や動画をmicroSDカードに保存してFOMA端末で表示、再生したり、microSDカード内のデータをパソコンから操作したりできます。

- 別途microSDカードが必要です。お持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
- 初期化されていないmicroSDカードは、本FOMA端末で初期化してから使用してください（→p.270）。なお、他のFOMA端末やパソコンなどで初期化したmicroSDカードや、初期化を中断したmicroSDカードの動作は保証できません。
- microSDカードを初期化すると、保存されているデータはすべて消去されますのでご注意ください。
- F-07Aでは市販の2GバイトまでのmicroSDカード、8GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています（2010年6月現在）。microSDカードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については次のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。
  - ｉモードから
    「@Fケータイ応援団」（2010年6月現在）
    待受画面で[ｉ]▶「[1]ｉMenuを見る」▶「メニューリスト」▶「ケータイ電話メーカー」▶「@Fケータイ応援団」

サイトアクセス用QRコード

※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

- パソコンから
  FMWORLD（http://www.fmworld.net/）→携帯電話→microSD対応状況
  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

■ microSDカードの利用について

F-07A

- 写真、ビデオ、音声などを移動／コピーしたり、電話帳やメールなどを保存したりする
- 撮影した写真やビデオ、録音した音声を直接保存する
- microSDカードの写真、ビデオ、音声などをFOMA端末に移動／コピーしたり、電話帳やメールなどを復元したりする

microSDカード

対応機器※で利用

パソコンなど

- データを保管したり、写真やビデオなどを表示／再生したりする
- microSDカードに画像やビデオを保存する

プリンタやプリントサービス

- 写真を印刷する

※ 事前にmicroSDカードに対応しているかどうかをご確認の上ご利用ください。SDメモリーカードへの変換アダプタをお持ちの場合は、SDメモリーカード対応機器で使用することも可能です。

microSDカード使用時の留意事項

- microSDカードを取り付けているFOMA端末に落下などの強い衝撃を与えないでください。microSDカードが飛び出したり、データが壊れたりする場合があります。
- microSDカードにラベルやシールを貼らないでください。
- データのコピー中、移動中、削除中やmicroSDカードの初期化中、情報更新中、カードチェック中はディスプレイ上部に⇄が表示され、データ転送モード（圏外と同じ状態）になるため、通話、iモード、データ通信などはできません。
- パソコンなど他の機器で書き込み保護されたmicroSDカードは、データの保存、削除、初期化などができません。
- パソコンなど他の機器からmicroSDカード／microSDHCカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からmicroSDカード／microSDHCカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できない場合があります。
- ファイルサイズが2Gバイトを超えるデータは利用できません。
- microSDカードによっては、保存したビデオ、動画／iモーションの再生時に乱れが発生する場合があります。
- microSDカードに保存したデータは、バックアップをとるなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

microSDカードのフォルダ構成

FOMA端末で表示したときの構成

待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「6microSDカードを使う」▶「4microSDカードの内容を見る」を押すと表示される、microSDカードのフォルダ構成とデータの最大保存件数は次のとおりです。保存件数は、microSDカードの容量やデータのサイズにより少なくなる場合があります。

- データの種類によって、フォルダをアルバムと表示する場合があります。

① **写真（9999件まで保存可能）**
カメラで撮影した写真、DCF※規格のJPEG、GIF形式の画像
その他の画像（9999件まで保存可能）
DCF※規格外のJPEG、GIF、SWF形式の画像
ビデオ（4095件まで保存可能）
カメラで撮影したビデオ、動画／ｉモーション
その他のビデオ（9999件まで保存可能）
録音した音声、映像のない動画／ｉモーション
メロディ（9999件まで保存可能）

② **電話帳／受信メール／未送信メール／送信メール／予定表／ブックマーク（合計で9999件まで保存可能）**

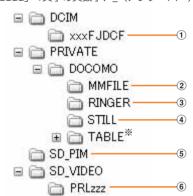
※ DCFはDesign rule for Camera File systemの略でファイルシステムの規格です。

お知らせ

- 横縦（または縦横）のサイズが1728×2304（ドット）より大きい静止画をmicroSDカードに保存しても、FOMA端末では表示できません。

パソコンなどで表示したときの構成

FOMA端末からmicroSDカードにデータを移動／コピーしたときや、撮影した写真やビデオを直接microSDカードに保存したときなどは、そのファイルに対応したフォルダがmicroSDカードに自動的に作成されます。パソコンなどの機器でmicroSDカードの内容を表示したときのフォルダとファイルの構成は次のとおりです。

- フォルダ名とファイル名の規則は次のとおりです。使用する文字はすべて半角、英字は大文字のみです。
  「xxx」100～999の3桁の数字
  「xxxx」0001～9999の4桁の数字
  「xxxxx」00001～65535の5桁の数字
  「zzz」001～FFFの3文字の英数字（16進数）
  「aaaa」4文字の英数字、_（アンダーバー）

※ このフォルダにあるファイルは、削除したりファイル名を変更したりしないでください。FOMA端末でデータを正しく表示、再生できなくなります。

① **写真（aaaaxxxx.JPG/GIF）**
② **その他のビデオ（MMFxxxx.3GP/ASF/MP4）**
- 拡張子が「3GP」「MP4」のファイルはMP4形式として扱われます。

③ **メロディ（RINGxxxx.MID/MLD/SMF）**
④ **その他の画像（STILxxxx.JPG/GIF/SWF）**
⑤ **個人情報データ（PIMxxxxx.VBM/VCF/VCS/VMG）**
- 個人情報データの管理用に、拡張子が「PIM」のファイルも保存されます。

⑥ **ビデオ（MOLzzz.3GP/ASF/MP4）**
- 拡張子が「3GP」「MP4」のファイルはMP4形式として扱われます。

パソコンでmicroSDカードのデータを操作するには

microSDカード内のフォルダやファイルをパソコンで操作するには、microSDカードをドライブとして認識させる必要があります。認識させるには、SDメモリーカードスロットやメモリーカードリーダーライター（USBポート接続やPCカード接続）などが必要です。SDメモリーカードとして利用するときは、SDメモリーカードへの変換アダプタが必要です。

- microSDカードにデータを保存するときは、フォルダ構成（→p.268）に記載されたファイル形式、ファイル名で決められたフォルダに保存してください。フォルダが作成されていない場合は、フォルダ名の規則に従って作成してください。保存先フォルダを間違えたり、フォルダ名を変更したり、異なるファイル形式のデータを保存したりすると、FOMA端末では認識できません。
- microSDカードに保存したデータをFOMA端末で利用するには、FOMA端末で情報更新をする必要があります。→p.270
- フォルダやファイルの操作方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

microSDカードの取り付けかた／取り外しかた

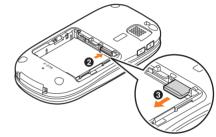
microSDカードは、FOMA端末のmicroSDカードスロットに取り付けて使用します。

- 必ず電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください。→p.35
- microSDカードの取り付け／取り外しを行うときは、金属端子部分に触れないようにご注意ください。また、microSDカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。
- microSDカードは挿入方向に注意して正しく取り付けてください。正しくない向きに挿入するとmicroSDカードやスロットの破損、または抜き取れなくなる恐れがあります。また、正しく取り付けていない状態では、データのコピーやバックアップなどの操作ができません。
- 傷や変形、ゴミの付着などのあるmicroSDカードはFOMA端末に取り付けないでください。故障の原因となる場合があります。

microSDカードの取り付けかた

microSDカードの金属端子面を下にしてスロットにゆっくり差し込み（❶）、「カチッ」と音がするまでさらに差し込む。

- 電源を入れると、待受画面にSDが表示されます。

microSDカードの取り外しかた

microSDカードの中央を❷の方向に軽く押し、飛び出したmicroSDカードを❸の方向にまっすぐ引き出す。

microSDカードを管理する

microSDカードをFOMA端末で正しく使用できるように、microSDカードを初期化したり、情報更新したりします。また、使用状況などを確認します。

microSDカードの初期化〈初期化〉

microSDカードに保存してあるデータをすべて削除するときや、新たに購入したmicroSDカードをFOMA端末で使用するときに初期化します。
- microSDカードを初期化すると、保存されているデータはすべて消去されますのでご注意ください。

1 待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「6microSDカードを使う」▶「6microSDカードを初期化する」を押す

初期化する方法を選んでください
完全初期化の場合時間がかかります

1簡易初期化する
2完全初期化する
3初期化しない

1 **簡易初期化する**：microSDカード内のデータ管理領域のみを初期化します。必要最小限の処理を行うことで、初期化の時間を短縮する方法です。保存されているデータはすべて消去されます。microSDカードが一度初期化済みで、microSDカードに問題がない場合のみ実行してください。

2 **完全初期化する**：microSDカード内のデータ管理領域と、データ領域の両方を初期化します。保存されているデータはすべて消去されます。新しく購入したmicroSDカードを初期化するときなどに実行してください。

3 **初期化しない**：microSDカードを初期化しません。

2 「1簡易初期化する」または「2完全初期化する」▶端末暗証番号を入力▶(決定)を押す

初期化を行うとmicroSDカード内のすべてのデータが失われます。初期化しますか？

1初期化する
2初期化しない

1 **初期化する**：microSDカードを初期化します。

2 **初期化しない**：microSDカードを初期化しません。

3 「1初期化する」を押す

初期化が開始されます。終了すると初期化した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。
- 中止するときは初期化中に(決定)を押します。

microSDカードの情報更新〈情報更新〉

- 他の機器でmicroSDカード内のデータを変更、追加、削除したことによって、FOMA端末でデータを正しく表示できなくなったときに、microSDカードの情報を更新します。データの種類ごとに情報を更新するかどうかを設定できます。
- 情報更新すると、画像・音のデータの題名はオリジナルタイトルまたはファイル名に変更されます。

1 待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「6microSDカードを使う」▶「5microSDカードの情報を更新する」を押す

更新対象の選択画面が表示されます。

2 **「1写真」～「6個人情報データ」のうち、選択する項目の番号を押す**

項目の□が☑に変わります。

更新する対象を選んでください
1 ☑写真
2 □その他の画像
3 □ビデオ
4 □その他ビデオ
5 □メロディ
6 □個人情報ﾃﾞｰﾀ

- 決定：項目を選択／解除します。
- メニュー：すべての項目を選択／解除します。

3 **電話帳を押す**

microSDカードの内容を更新するかどうかの確認画面が表示されます。

4 **「1更新する」を押す**

更新が終了した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

- 中止するときは更新中に決定を押します。

お知らせ

- microSDカードに保存されているデータが多い場合は、情報更新に時間がかかります。
- 他の機器でmicroSDカードにデータを保存した場合、FOMA端末で管理情報を作成するための必要な空き容量が不足し、microSDカードに保存したデータがFOMA端末で正しく表示できなくなることがあります。

microSDカードのチェック〈カードチェック〉

microSDカードに保存してあるデータをチェックして、問題があれば修復します。

1 **待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「6microSDカードを使う」▶「7microSDカードをチェックする」を押す**

カードチェックを実行するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1実行する」を押す**

チェックが終了した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- microSDカードの状態によっては、データを修復できない場合があります。

microSDカードの使用状況の確認

microSDカードの全容量や空き容量などを表示します。microSDカードにデータを保存したり、移動／コピーしたりする場合は、空き容量を確認してください。

1 **待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「6microSDカードを使う」▶「4microSDカードの内容を見る」を押す**

microSDカード画面が表示されます。

2 **電話帳を押す**

全容量に対する使用量の割合

microSD使用状況
使用量
1,536 KB
空き容量
121,376 KB
全容量
122,912 KB

使用量：使用している容量を示します。
空き容量：空き容量を示します。
全容量：FOMA端末に取り付けているmicroSDカードの全容量を示します。

- 電話帳を押すとmicroSDカード画面に戻ります。

FOMA端末の電話帳やメールなどのデータをmicroSDカードに保存する

FOMA端末電話帳、メール、予定表、ブックマークをデータごとにmicroSDカードにまとめて保存します（バックアップ）。

- 保存するデータが複数件でもまとめて1件のデータとして保存されますが、内容は1件ずつ表示できます。
- 電話帳を保存すると、ワンタッチダイヤルに登録された電話番号やメールアドレスも保存されます。ただし、保存された内容は表示できません。
- メールを保存すると、添付データを含めたメールサイズが100Kバイトを超える場合は、メール本文のみ保存されます。また、添付データが複数ある場合は、100Kバイトを超えた分の添付データは保存されません。

1 **待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「6microSDカードを使う」▶「2microSDカードにデータを保存する」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す**

保存対象の選択画面が表示されます。

2 **「1電話帳」～「6ブックマーク」のうち、選択する項目の番号を押す**

項目の□が☑に変わります。

保存する対象を
選んでください
1 ☑電話帳
2 □受信メール
3 □未送信メール
4 □送信メール
5 □予定表
6 □ブックマーク

- 決定：項目を選択／解除します。
- メニュー：すべての項目を選択／解除します。

3 **電話帳を押す**

保存を開始するかどうかの確認画面が表示されます。

4 **「1開始する」を押す**

保存した旨のメッセージが表示されます。
決定を押すとメニュー画面に戻ります。

- 中止するときは保存中に決定を押します。

microSDカードの電話帳やメールなどのデータをFOMA端末に復元する

microSDカードに保存した、電話帳、メール、予定表、ブックマークのデータをFOMA端末に復元します。

- 電話帳を「全部上書きする」で復元すると、ワンタッチダイヤルに登録された電話番号やメールアドレスも復元されます。

1 **待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「6microSDカードを使う」▶「3microSDカードのデータを復元する」を押す**

復元する対象を
選んでください
1 電話帳
2 受信メール
3 未送信メール
4 送信メール
5 予定表
6 ブックマーク

2 **「1電話帳」～「6ブックマーク」のいずれかを押す**

復元するデータの選択画面が表示されます。

- 保存データの内容を表示したいときは、復元するデータの選択画面でメニューを押します。

3 復元するデータを選択▶決定を押す

復元方法を
　選んでください

1本体ﾃﾞｰﾀに追加
2全部上書きする
3復元しない

1 **本体データに追加**：FOMA端末に保存されているデータはそのままにして、選択したデータを追加で復元します。
2 **全部上書きする**：FOMA端末に保存されているデータをすべて削除してから、選択したデータを復元します。
3 **復元しない**：データを復元しません。

4 「1本体データに追加」または「2全部上書きする」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

本体へ
　復元しますか？

1復元する
2復元しない

<「本体データに追加」を選択した場合>

復元を行うと
本体のデータが
削除されます。
復元しますか？

1復元する
2復元しない

<「全部上書きする」を選択した場合>

5 「1復元する」を押す

復元した旨のメッセージが表示されます。
決定を押すとメニュー画面に戻ります。

- 中止するときは復元中に決定を押します。このとき、中止する前に処理されたデータはFOMA端末に復元されます。

FOMA端末のデータをmicroSDカードに移動／コピーする

FOMA端末の画像や動画／ｉモーション、メロディをmicroSDカードに移動／コピーします。

- FOMA端末外への出力が禁止されているデータ（この端末でファイル制限を「設定する」にしたデータを除く）、FOMAカードのセキュリティ機能が設定されているデータは、microSDカードに移動／コピーできません。
- 「アイテム」「内蔵写真」「内蔵ビデオ」「内蔵メロディ」アルバムのデータは移動／コピーできません。
- 移動／コピーすると、パソコンでデータを保存するときの決まりに従ってファイル名が変更されます。→p.268

画像をmicroSDカードに移動／コピー

1 画像一覧で移動／コピーする画像を選択▶メニュー▶「6移動する」または「7コピーする」を押す

移動先／コピーする写真の選択画面が表示されます。

- 「7コピーする」：操作3に進みます。
- 画像一覧の表示方法→p.248「画像を表示する」操作1〜2

2 「2microSDへ移動」を押す

移動する写真の選択画面が表示されます。

3 「1選択1件」▶「1移動する」または「1コピーする」を押す

写真を移動／コピーした旨のメッセージが表示されます。決定を押すと画像一覧に戻ります。アルバム内に画像がなくなったときは写真・画像一覧に戻ります。

- 複数選択して移動するときは「2選択複数件」▶移動する画像を選択▶決定▶電話帳▶「1移動する」▶「1移動する」を、複数選択してコピーするときは「2選択複数件」▶コピーする画像を選択▶決定▶電話帳▶「1コピーする」を押します。
  選択すると画像に✔が表示されます。リスト表示の場合は☐が☑に変わります。決定を押すと画像の選択／解除が、メニューを押すとすべての画像の選択／解除ができます。
- アルバム内の画像を全件移動するときは、「3アルバム内全件」▶「1移動する」▶「1移動する」を、全件コピーするときは、「3アルバム内全件」▶「1コピーする」を押します。
- 移動する画像が待受画面やワンタッチダイヤルの着信画像に使用されている場合は、「1選択1件」を押すと、使用されていても移動するかどうかの確認画面が表示されます。移動する場合は「1移動する」を押します。

お知らせ

- 待受画面やワンタッチダイヤルの着信画像に使用されている画像をmicroSDカードに移動すると、設定されていた画像はお買い上げ時の状態に戻ります。

動画／iモーションをmicroSDカードに移動／コピー

1 動画一覧で移動／コピーする動画／iモーションを選択▶メニュー▶「6移動する」または「7microSDへコピー」を押す

移動先／コピーするビデオ／音声の選択画面が表示されます。

- 「7microSDへコピー」：操作3に進みます。
- 動画一覧の表示方法→p.254「動画／iモーションを再生する」操作1～2

2 「2microSDへ移動」を押す

移動するビデオ／音声の選択画面が表示されます。

3 「1選択1件」▶「1移動する」または「1コピーする」を押す

ビデオを移動／コピーした旨のメッセージが表示されます。決定を押すと動画一覧に戻ります。アルバム内に動画／iモーションがなくなったときはビデオ・音声一覧に戻ります。

- 複数選択して移動／コピーするときは、「2選択複数件」▶移動／コピーする動画／iモーションを選択▶決定▶電話帳▶「1移動する」または「1コピーする」を押します。
  選択すると動画／iモーションに✔が表示されます。リスト表示の場合は☐が☑に変わります。決定を押すと動画／iモーションの選択／解除が、メニューを押すとすべての動画／iモーションの選択／解除ができます。
- アルバム内の動画／iモーションを全件移動するときは、「3アルバム内全件」▶「1移動する」を、全件コピーするときは、「3アルバム内全件」▶「1コピーする」を押します。
- 移動する動画／iモーションが着信音に使用されている場合は、「1選択1件」を押すと、使用されていても移動するかどうかの確認画面が表示されます。移動する場合は「1移動する」を押します。

お知らせ

- 着信音に使用されている動画／ｉモーションをmicroSDカードに移動すると、設定されていた項目はお買い上げ時の状態に戻ります。

メロディをmicroSDカードに移動／コピー

1 **フォルダ内のメロディ一覧で移動／コピーするメロディを選択▶(メニュー)▶「5microSDへ移動」または「6microSDへコピー」を押す**

移動／コピーするメロディの選択画面が表示されます。

- フォルダ内のメロディ一覧の表示方法→p.262「メロディを再生する」操作1～2

2 **「1選択1件」▶「1移動する」または「1コピーする」を押す**

メロディを移動／コピーした旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとフォルダ内のメロディ一覧に戻ります。フォルダ内にメロディがなくなったときはメロディ一覧に戻ります。

- 複数選択して移動／コピーするときは、「2選択複数件」▶移動／コピーするメロディを選択▶(決定)▶(電話帳)▶「1移動する」または「1コピーする」を押します。
  選択すると□が☑に変わります。(決定)を押すとメロディの選択／解除が、(メニュー)を押すとすべてのメロディの選択／解除ができます。
- フォルダ内のメロディを全件移動するときは、「3フォルダ内全件」▶「1移動する」を、全件コピーするときは、「3フォルダ内全件」▶「1コピーする」を押します。
- 移動するメロディが着信音や目覚ましに使用されている場合は、「1選択1件」を押すと、使用されていても移動するかどうかの確認画面が表示されます。移動する場合は「1移動する」を押します。

お知らせ

- 着信音や目覚ましに使用されているメロディをmicroSDカードに移動すると、設定されていた項目はお買い上げ時の状態に戻ります。

microSDカードのデータをFOMA端末に移動／コピーする

画像や動画／ｉモーションなどをFOMA端末に移動／コピー

microSDカードの画像や動画／ｉモーション、メロディをFOMA端末本体に移動／コピーします。

- 次のデータは、サイズが大きいため実行できない旨のメッセージが表示され、移動／コピーできません。
  - ファイルサイズが100Kバイトを超えるFlash画像やメロディ
  - FOMA端末で表示できないサイズの画像

1 **待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「6microSDカードを使う」▶「4microSDカードの内容を見る」▶「1画像・音」を押す**

画像・音の種類の選択画面が表示されます。

2 **「1写真」～「5メロディ」▶アルバムまたはフォルダを選択▶(決定)を押す**

データ一覧が表示されます。

3 **移動／コピーするデータを選択▶(メニュー)▶「4本体へ移動」または「5本体へコピー」（画像のときは「5本体へ移動」または「6本体へコピー」）を押す**

移動／コピーするデータの選択画面が表示されます。

4 「1選択1件」▶「1移動する」または「1コピーする」を押す

データを移動／コピーした旨のメッセージが表示されます。決定を押すとデータ一覧に戻ります。アルバムまたはフォルダ内にデータがなくなったときは、アルバムまたはフォルダ一覧に戻ります。

- 複数選択して移動／コピーするときは、「2選択複数件」▶移動／コピーするデータを選択▶決定▶電話帳▶「1移動する」または「1コピーする」を押します。
  選択するとデータに✔が表示されます。リスト表示の場合は□が☑に変わります。決定を押すとデータの選択／解除が、メニューを押すとすべてのデータの選択／解除ができます。
- アルバムまたはフォルダ内のデータを全件移動するときは、「3アルバム内全件」または「3フォルダ内全件」▶「1移動する」を、全件コピーするときは、「3アルバム内全件」または「3フォルダ内全件」▶「1コピーする」を押します。

電話帳やメールなどをFOMA端末にコピー

microSDカードの電話帳、メール、予定表、ブックマークの個別データをFOMA端末にコピーします。

1 待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「6microSDカードを使う」▶「4microSDカードの内容を見る」▶「2個人情報データ」を押す

個人情報データの種類の選択画面が表示されます。

2 「1電話帳」～「6ブックマーク」のいずれかを押す

データ一覧が表示されます。

- マークの見かた→p.277「電話帳やメールなどの表示」操作2

3 移動／コピーする個別データを選択▶メニュー▶「2本体へコピー」▶「1コピーする」を押す

データをコピーした旨のメッセージが表示されます。決定を押すとデータ一覧に戻ります。

microSDカードの内容を見る

画像や動画／iモーションなどの表示・再生

画像を表示したり、動画／iモーションやメロディを再生したりします。

1 待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「6microSDカードを使う」▶「4microSDカードの内容を見る」▶「1画像・音」を押す

画像･音
1写真
2その他の画像
3ビデオ
4その他のビデオ
5メロディ

2 「1写真」～「5メロディ」▶アルバムまたはフォルダを選択▶決定を押す

データ一覧が表示されます。

3 表示または再生するデータを選択▶決定を押す

選択したデータが表示または再生されます。戻るまたは決定（動画／iモーションのときは戻るのみ）を押すとデータ一覧に戻ります。

- 動画／iモーションの再生中の操作→p.255「動画／iモーションを再生する」操作3
- メロディの再生中の操作→p.263「メロディを再生する」操作3

■ データを添付してｉモードメールを作成する：添付するデータを選択▶(メニュー)▶「1メールで送る」▶ｉモードメールを作成する

- ｉモードメールの作成・送信方法→p.138、p.141
- 画像サイズ変更の画面が表示されたときの操作→p.249「画像を添付してｉモードメールを作成する」のお知らせ

■ 画像を待受画面に設定する：設定する画像を選択▶(メニュー)▶「2待受画面に貼る」▶「1設定する」▶(決定)を押す

選択した画像は、FOMA端末の「データ交換」アルバムにコピーされます。

■ データの情報を表示する：情報を確認するデータを選択▶(メニュー)▶「2情報を見る」（画像のときは「3情報を見る」）を押す

- 画像の情報→p.250
- 動画／ｉモーションの情報→p.257
- メロディの情報→p.263

■ データを削除する：

① 削除するデータを選択▶(メニュー)▶「3削除する」（画像のときは「4削除する」）を押す

② 「1選択1件」を押す

- 複数選択して削除するときは、「2選択複数件」▶削除するデータを選択▶(決定)▶(電話帳)を押します。
  選択するとデータに✔が表示されます。リスト表示の場合は☐が☑に変わります。(決定)を押すとデータの選択／解除が、(メニュー)を押すとすべてのデータの選択／解除ができます。
- アルバムまたはフォルダ内のデータを全件削除するときは、「3アルバム内全件」または「3フォルダ内全件」▶端末暗証番号を入力▶(決定)を押します。

③ 「1削除する」を押す

■ 動画／ｉモーションをアルバム再生する：(メニュー)▶「8アルバムを再生」を押す

- アルバム再生中の操作→p.260「アルバム内の動画／ｉモーションを再生する」操作2

電話帳やメールなどの表示

電話帳、メール、予定表、ブックマークを表示します。

1 待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「6microSDカードを使う」▶「4microSDカードの内容を見る」▶「2個人情報データ」を押す

個人情報データ
1電話帳
2受信メール
3未送信メール
4送信メール
5予定表
6ブックマーク

2 「1電話帳」～「6ブックマーク」のいずれかを押す

データ一覧が表示されます。

- マークの意味は次のとおりです。
  - （アイコン）／（アイコン）：電話帳保存データ／個別データ
  - （アイコン）／（アイコン）：メール保存データ／個別データ
  - （アイコン）／（アイコン）：予定表保存データ／個別データ
  - （アイコン）／（アイコン）：ブックマーク保存データ／個別データ

3 データを選択▶(決定)を押す

個別データの一覧が表示されます。

- 個別データを選択した場合は、詳細が表示されます。操作4は不要です。

■ データを削除する：

① 削除するデータを選択▶(メニュー)▶「1削除する」を押す

② 「1選択1件」を押す

- フォルダ内のデータを全件削除するときは、「2フォルダ内全件」▶端末暗証番号を入力▶(決定)を押します。

③ 「1削除する」を押す

4 表示する個別データを選択▶決定を押す

詳細が表示されます。戻るchまたは決定（メールのときは戻るchのみ）を押すと、各データの一覧に戻ります。

- 電話帳の詳細表示→p.80
- メールの表示→p.155、p.160
- 予定表の表示→p.299
- URLの表示画面で、メニュー▶「1URLをコピー」を押すと表示しているURLをコピーできます。

■ **メールの内容を表示するときの大きさを変更する：メール表示画面でメニュー▶「1文字サイズを変更」▶「1大きく表示」～「3小さく表示」のいずれかを押す**

■ **メールアドレスを電話帳に登録する：メール表示画面でメニュー▶「2登録する」▶「1電話帳新規登録」または「2電話帳追加登録」を押す**

- 電話帳の登録方法→p.71

■ **メールの添付データを表示または再生する：メール表示画面でデータのファイル名を選択▶決定を押す**

- 画像が表示されているときに操作すると、非表示になります。

■ **メールの添付データの題名を確認する：メール表示画面でメニュー▶「3添付データを操作」▶「2題名を確認」を押す**

■ **メール本文に貼り付けられたメロディを文字として表示する：メール表示画面でメニュー▶「3添付データを操作」▶「3データ表示あり」を押す**

- 本文の文字が誤ってMFi形式のメロディとして認識された場合に操作します。データ表示されたメロディの先頭行で決定を押すと、ファイル名の表示に戻ります。

microSDカードのアルバムやフォルダを利用する

アルバムやフォルダを追加して、データの整理などに利用します。

アルバムやフォルダの作成

- 画像・音の「写真」「その他の画像」「ビデオ」「その他のビデオ」にアルバムが、「メロディ」にフォルダが追加できます。ただし、一度もデータを保存したことがない場合には追加できません。
- 「写真」アルバムには最大900個、「ビデオ」アルバムには最大4095個、それ以外にはデータの種類ごとに最大1000個作成できます。

1 待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「6microSDカードを使う」▶「4microSDカードの内容を見る」を押す

microSDカード画面が表示されます。

2 「1画像・音」▶「1写真」～「5メロディ」のいずれかを押す

アルバムまたはフォルダ一覧が表示されます。

3 メニュー▶「1アルバムを追加」または「1フォルダを追加」▶アルバムまたはフォルダ名を入力する

アルバム名またはフォルダ名の入力画面が表示されます。

- 全角31文字、半角63文字以内で入力します。

■ **アルバム名またはフォルダ名を変更する：名称を変更するアルバムまたはフォルダを選択▶メニュー▶「3アルバム名変更」または「3フォルダ名変更」▶アルバムまたはフォルダ名を変更する**

4 決定を押す

アルバムまたはフォルダを追加した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとアルバムまたはフォルダ一覧に戻ります。

アルバムやフォルダの削除

1 **待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「6microSDカードを使う」▶「4microSDカードの内容を見る」を押す**

microSDカード画面が表示されます。

2 **「1画像・音」▶「1写真」～「5メロディ」のいずれかを押す**

アルバムまたはフォルダ一覧が表示されます。

3 **削除するアルバムまたはフォルダを選択▶(メニュー)▶「2アルバムを削除」または「2フォルダを削除」を押す**

アルバムまたはフォルダを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

4 **「1削除する」を押す**

アルバムまたはフォルダを削除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとアルバムまたはフォルダ一覧に戻ります。

- アルバムまたはフォルダ内のデータと同時にアルバムまたはフォルダを削除する場合は、端末暗証番号を入力▶(決定)▶「1削除する」を押します。

アルバムやフォルダへのデータ移動／コピー

〈例〉画像を移動／コピーする

1 **待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「6microSDカードを使う」▶「4microSDカードの内容を見る」を押す**

microSDカード画面が表示されます。

2 **「1画像・音」▶「1写真」または「2その他の画像」▶アルバムを選択▶(決定)▶移動／コピーする画像を選択▶(メニュー)▶「7アルバムへ移動」または「8アルバムへコピー」を押す**

移動／コピーするデータの選択画面が表示されます。

- ■ **動画を移動／コピーする：**「1画像・音」▶「3ビデオ」または「4その他のビデオ」▶アルバムを選択▶(決定)▶移動／コピーする動画を選択▶(メニュー)▶「6アルバムへ移動」または「7アルバムへコピー」を押す
- ■ **メロディを移動／コピーする：**「1画像・音」▶「5メロディ」▶フォルダを選択▶(決定)▶移動／コピーするメロディを選択▶(メニュー)▶「6フォルダへ移動」または「7フォルダへコピー」を押す

3 **「1選択1件」または「3アルバム内全件」（メロディのときは「3フォルダ内全件」）を押す**

移動先またはコピー先の選択画面が表示されます。

- 複数選択して移動／コピーするときは、「2選択複数件」▶移動するデータを選択▶(決定)▶(電話帳)を押します。
  選択するとデータに✔が表示されます。リスト表示の場合は☐が☑に変わります。(決定)を押すとデータの選択／解除が、(メニュー)を押すとすべてのデータの選択／解除ができます。

4 **移動先またはコピー先のアルバムを選択▶(決定)▶「1移動する」または「1コピーする」を押す**

写真を移動／コピーした旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと画像一覧に戻ります。アルバム内に画像がなくなったときはアルバム一覧に戻ります。

赤外線通信について

赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末や携帯電話、パソコンなどとデータの送受信ができます。

- 赤外線通信とUSB接続は同時に使用できません。
- 赤外線通信中はディスプレイ上部に が表示され、データ転送モード（圏外と同じ状態）になるため、通話、ｉモード、データ通信などはできません。
- FOMA端末の赤外線通信機能はIrMC™規格1.1に準拠しています。ただし、相手の端末がIrMC™規格1.1に準拠していても、データの種類によっては送受信できない場合があります。

赤外線通信を行うには

- 赤外線通信の通信距離は約20cm以内、赤外線放射角度は中心から15度以内です。また、データの送受信が終わるまで、FOMA端末を相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。

お知らせ

- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下などでは、赤外線通信が正常にできない場合があります。

赤外線送信

赤外線通信を使ってデータを送信する

データを1件ずつ送信する方法と、データの種類ごとにまとめて送信する方法が利用できます。

- 送信できるデータは次のとおりです。

データの種類	留意事項
個人情報	• 名前、フリガナ、1つ目の電話番号、1つ目のメールアドレスのみが送信されます。
電話帳	• 全件送信の場合は個人情報（自局電話番号を除く）も送信されます。
ブックマーク	• 全件送信の場合、相手の端末によってはフォルダ分けの設定が反映されない場合があります。
受信／送信／未送信メール	• 全件送信のみ利用できます。 • 相手の端末によっては、題名をすべて受信できない場合があります。
写真	• 全角で9文字、半角で18文字を超えた題名の文字は削除されます。 • ファイルサイズが500KBより大きいデータは送信できません。
予定表	• 全件送信のみ利用できます。
メモ	• 1件送信のみ利用できます。

- FOMA端末外への出力が禁止されているデータは送信できません。ただし、この端末でファイル制限を「設定する」にしたデータや「データ交換」アルバムの画像は除きます。
- 絵文字を入力したデータをｉモード端末以外に送信すると、正しく表示されない場合があります。また、受信側がｉモード端末であっても絵文字2の対応機種でない場合は、絵文字2が正しく表示されないことがあります。

個人情報の送信

名前やFOMA端末の電話番号（自局電話番号）、メールアドレスを相手の端末に送信します。

1 相手のFOMA端末を受信待機状態にする

2 待受画面でメニュー▶「0 自分の電話番号を見る」を押す

個人情報（基本）画面が表示されます。

- メールアドレスの自動取得の確認画面が表示された場合→p.47

3 (メニュー)を押す

送信を開始します
赤外線ポートを
相手に向けて
決定ボタンを
押してください
赤外線ポート

<送信開始画面>

- 赤外線ポートを相手側の端末に向けてから次の操作をしてください。

4 (決定)を押す

赤外線送信が開始されます。データの送信が完了すると、通信完了音が鳴り、通信が終了した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと個人情報（基本）画面に戻ります。

- 中止するときは送信中に(決定)を押します。

データの1件送信

- メモの送信方法→p.307

〈例〉FOMA端末電話帳の1件の電話帳をFOMA端末に送信する

1 相手のFOMA端末を受信待機状態にする

2 待受画面で(電話帳)▶電話帳を検索する

- 検索方法→p.76

3 送信する電話帳を選択▶(メニュー)▶「9赤外線で送信」を押す

送信開始画面が表示されます。

- 赤外線ポートを相手側の端末に向けてから次の操作を行ってください。

4 (決定)を押す

赤外線送信が開始されます。データの送信が完了すると、通信完了音が鳴り、通信が終了した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとFOMA端末電話帳の検索結果一覧に戻ります。

- 中止するときは送信中に(決定)を押します。

データの全件送信

データの種類ごとにすべてのデータを送信します。

- 次のデータを送信できます。
  - 電話帳※、受信／送信／未送信メール、ブックマーク、予定表

  ※ 個人情報（自局電話番号を除く）も送信されます。
- 送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力します。あらかじめ数字4桁の認証パスワードを決めておいてください。
- 受信側でデータの並び順が変わることがあります。

1 相手のFOMA端末を受信待機状態にする

2 待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「4赤外線を使う」▶「3赤外線で全件送信する」を押す

全件送信の対象の選択画面が表示されます。

3 「1電話帳」～「6ブックマーク」のいずれかを押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

4 端末暗証番号を入力▶(決定)▶認証パスワードを入力▶(決定)を押す

送信開始画面が表示されます。

- 赤外線ポートを相手側の端末に向けてから次の操作を行ってください。

5 決定を押す

赤外線送信が開始されます。データの送信が完了すると、通信完了音が鳴り、通信が終了した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと、操作2の画面に戻ります。

- 中止するときは送信中に決定を押します。

お知らせ

- FOMA端末電話帳の詳細画面、FOMAカード電話帳の電話帳一覧や詳細画面、フォルダ内のブックマーク一覧、画像一覧から1件送信する場合は、メニュー▶「赤外線で送信」を選択▶決定を押します。
- 赤外線で送信するときに受信先の端末が受信待機状態になっていなかったり、自分の端末と相手の赤外線ポートが正しく向き合っていなかったりすると、次の画面が表示されます。「1送信する」を押すと、もう一度送信します。相手側の端末が受信待機状態になっていることを確認してから操作してください。

接続相手が
見つかりません。
もう一度
送信しますか？

1送信する
2送信しない

赤外線受信

赤外線通信を使ってデータを受信する

データを1件ずつ受信する方法と、データの種類ごとにまとめて受信する方法が利用できます。

- 受信できるデータの種類と保存先は次のとおりです。

データの種類	保存場所
個人情報／電話帳	FOMA端末電話帳 • 1件受信の場合は、最も小さい空きメモリ番号（000〜009以外）に保存されます。 • 全件受信の場合は個人情報（自局電話番号を除く）も受信します。
ブックマーク	ブックマーク一覧の先頭フォルダ • FOMA Fシリーズから1件受信した場合、先頭から5番目までのフォルダに保存されていたブックマークは、同じ位置のフォルダに保存されます。
受信／送信／未送信メール	受信／送信／未送信メール
写真	写真・画像一覧の「データ交換」アルバム
ビデオ	ビデオ・音声一覧の「データ交換」アルバム
メロディ	メロディ一覧の「データ交換」フォルダ
予定表	予定表
メモ	メモの「メモを読む／編集する」

- メールを受信すると、添付データを含めたメールサイズが100Kバイトを超える場合は、メール本文のみ受信します。また、添付データが複数ある場合は、100Kバイトを超えた分の添付データは受信できません。
- メモの文字数が全角500文字、半角1000文字を超える場合、超過した文字は受信できません。

データの1件受信

- メモの受信方法→p.307

1 待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「4赤外線を使う」▶「1赤外線で受信する」を押す

受信を開始します
赤外線ポートを
相手に向けて
決定ボタンを
押してください
赤外線ポート

<受信開始画面>

- 赤外線ポートを相手側の端末に向けてから次の操作をしてください。

2 (決定)を押す

受信待機状態になります。

3 相手側からデータを1件送信する

赤外線受信が開始されます。データの受信が完了すると、通信完了音が鳴り、通信が終了した旨のメッセージが表示されます。

- 中止するときは受信中に(決定)を押します。

4 (決定)を押す

電話帳に
保存しますか？
1保存する
2保存しない

<電話帳を1件受信した場合>

1 **保存する**：受信したデータを保存します。

2 **保存しない**：受信したデータを保存しません。

5 「1保存する」を押す

保存した旨のメッセージが表示されます。
(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

データの全件受信

データの種類ごとにすべてのデータを受信します。

- 受信側で保存していたデータは消去され、受信したデータのみ保存されますのでご注意ください。
- 次のデータを受信できます。ただし、FOMA端末で対応していない形式のデータは受信できません。
  - 電話帳※、受信／送信／未送信メール、ブックマーク、予定表

  ※ 個人情報（自局電話番号を除く）が送信側の設定内容で上書きされます。また、ワンタッチダイヤルの登録は解除されます。送信側がF-07A、F884iES、F884iで、ワンタッチダイヤルを設定している場合は、送信側の設定内容で上書きされます。
- 送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力します。あらかじめ数字4桁の認証パスワードを決めておいてください。

1 待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「4赤外線を使う」▶「2赤外線で全件受信する」▶端末暗証番号を入力▶(決定)▶認証パスワードを入力▶(決定)を押す

受信開始画面が表示されます。

- 赤外線ポートを相手側の端末に向けてから次の操作を行ってください。

2 (決定)を押す

受信待機状態になります。

3 相手側からデータを全件送信する

赤外線受信が開始されます。データの受信が完了すると、通信完了音が鳴り、通信が終了した旨のメッセージが表示されます。

- 中止するときは受信中に(決定)を押します。

4 **決定を押す**

電話帳を全件
書き換えて
保存しますか？

1保存する
2保存しない

<電話帳を全件受信した場合>

1 **保存する**：受信側で保存していたデータを消去し、受信したデータのみ保存します。

2 **保存しない**：受信したデータを保存しません。

5 **「1保存する」を押す**

保存した旨のメッセージが表示されます。
決定を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 赤外線で受信するときに相手の端末からデータが送信されていなかったり、自分の端末と相手の赤外線ポートが正しく向き合っていなかったりすると、次の画面が表示されます。「1受信する」を押すと、もう一度受信します。相手側の端末から、データが送信されていることを確認してから操作してください。

接続相手が
見つかりません。
もう一度
受信しますか？

1受信する
2受信しない

- FOMA端末に保存できないデータを受信したときは、受信した旨のメッセージが表示されますが、データは破棄されます。
- 相手の機種や状態によっては、相手端末で設定していたフォルダ分けが、本端末に反映されない場合があります。

ボイスレコーダ

音声を録音する

音声を録音して、FOMA端末やmicroSDカードに保存したり、iモードメールに添付して送信したりします。

- 録音した音声は、映像のない動画として保存されます。
  動画の保存形式、ファイル名について→p.231
- 保存できる件数は、本体に最大100件、microSDカードに最大9999件です。
- 音声はマイクから録音されます。周囲の雑音が少ないできるだけ静かな所で録音してください。

1 **待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「3ボイスレコーダを使う」を押す**

音声録音画面が表示されます。
背面ディスプレイの照明が点滅します。

現時点で録音（保存）できる残りの最大録音時間の目安が表示されます。

- メニュー：録音サイズの設定や録音の残り時間の確認ができます。メニューを押してから「1録音サイズを選ぶ」または「2残り時間を確認」を押します。→p.286
- 電話帳：「録音した音声」アルバムまたはmicroSDカードに保存されている音声を聞くことができます。電話帳を押してから「1本体の音声」または「2microSDの音声」を押します。→p.254、p.276

2 決定を押す

録音確認音が鳴り録音が開始され、ランプが約5秒間隔で点滅します。

- FOMA端末を閉じても録音は継続されます（開閉ロックが起動した場合を除く）。
- 録音終了までの時間の目安が00:00:00になると、録音が自動的に終了して操作3の画面が表示されます。
- メニュー：録音が休止／再開されます。押すたびに確認音が鳴ります。
  録音休止中は背面ディスプレイの照明が点灯します。

3 決定を押す

終了確認音が鳴り、録音が終了して操作の選択画面が表示されます。録音サイズ（容量）が「microSD・無制限」のときは、すぐに保存され、音声を保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと音声録音画面に戻ります。

- 電話帳：録音した音声を再生します。

4 「1保存する」を押す

音声を保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと音声録音画面に戻ります。

- microSDカードを取り付けているときは、「1microSDに保存」または「2本体に保存」を押します。
- 「1保存する」または「2本体に保存」を押したときは、ビデオ・音声一覧の「録音した音声」アルバムに保存されます。→p.254
- 「1microSDに保存」を押したときは、ビデオ・音声一覧の「microSDのビデオ」アルバムの「4その他のビデオ」に保存されます。→p.254

■ iモードメールで送る：

① 「2メールで送る」を押す

音声を保存した旨のメッセージが表示されます。

- microSDカードを取り付けているときは、「3メールで送る」を押します。

② 決定を押す

- iモードメールの作成・送信方法→p.138、p.141

お知らせ

- 録音中にボタン操作を行うと、ボタン確認音が録音される場合があります。
- 音声の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なビデオを削除するかどうかの確認画面が表示されます。録音する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のデータを削除してください。
- 録音中に録音終了までの時間表示の更新が遅くなる場合があります。
- 録音中に電話がかかってきた場合、その時点で録音が中断され、着信のメッセージが表示されます。通話終了後、録音した音声の確認画面が表示されます。録音サイズ（容量）が「microSD・無制限」のときは音声を保存した旨のメッセージが表示され、決定を押すと音声録音画面に戻ります。
- 録音中に目覚ましや予定の設定時刻になった場合、その時点で録音が中断されアラームが鳴ります。アラームを解除すると録音した音声の確認画面が表示されます。録音サイズ（容量）が「microSD・無制限」のときは音声を保存した旨のメッセージが表示され、決定を押すと音声録音画面に戻ります。録音した音声の最後にアラーム音が記録されることがあります。

録音サイズ（容量）の設定

録音する音声のファイルサイズを設定します。

1 音声録音画面で(メニュー)▶「1録音サイズを選ぶ」を押す

- 音声録音画面の表示方法→p.284「音声を録音する」操作1

録音する音声のサイズ・容量を選んでください
1メール添付・小
2メール添付・大
3microSD・無制限

1 **メール添付・小**：ファイルサイズを500Kバイトに制限します。2Mバイト対応機種以外のｉモード端末に送信するときに設定します。
2 **メール添付・大**：ファイルサイズを2Mバイトに制限します。
3 **microSD・無制限**：ファイルサイズを制限しません。

- microSDカードを取り付けていない場合は、「3microSD・無制限」を押すとmicroSDカード挿入後の設定をうながす旨のメッセージが表示されます。

2 「1メール添付・小」～「3microSD・無制限」のいずれかを押す

録音サイズを設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと音声録音画面に戻ります。

音声録音の残り時間の確認

1 音声録音画面で(メニュー)▶「2残り時間を確認」を押す

音声の残り録音時間が確認できます。

- 音声録音画面の表示方法→p.284「音声を録音する」操作1
- (電話帳)：microSDカードと本体の残り時間を切り替えます。
- 録音サイズ（容量）の設定が「microSD・無制限」のときは、「microSD・無制限」の残り時間のみ確認できます。
- (決定)を押すと音声録音画面に戻ります。

データ管理

便利な機能

歩数計

歩数計を使う

歩数計を設定すると、カウントした歩数や歩いた距離、消費カロリーや脂肪燃焼量を確認できます。また、有酸素運動の目安となる「いきいき歩行」をカウントしたり、毎日の歩数データを指定した宛先へ自動的にメールで送信したりできます。

- 次の場合は歩数のカウントを行いません。
  - 電源が入っていないとき
  - 歩数計を「利用しない」に設定しているとき
  - バイブレータが振動しているとき
  - ソフトウェア更新中
- カウントした歩数計機能の数値は、あくまでも目安としてご活用ください。

いきいき歩行とは

いきいき歩行の歩数および歩行時間は、有酸素運動（呼吸によって取り入れられる酸素を効果的に使い、全身持久力を高めつつ体脂肪を効果的に燃やす運動）の目安となる歩行を計測したものです。

- 次の条件を満たしたとき自動的にカウントを始めます。
  - 毎分60歩以上の速さで歩くこと
  - 3分以上続けて歩くこと

※ 4分以内の休息は継続したものとします。

歩数計利用時の注意事項

歩数を正確にカウントするためには、正しく装着して※毎分100～120歩程度の速さで歩くことをおすすめします。

※ キャリングケース（別売）に入れ、腰のベルトなどに装着してください。かばんに入れるときは、固定できるポケットや仕切りの中に入れてください。

歩数カウント中のご注意

次の場合は、歩数を正確にカウントしないことがあります。

- FOMA端末を入れたかばんが足や腰に当たって不規則に動くときや、FOMA端末を腰やかばんにぶら下げたとき
- すり足のような歩きかたや、サンダル、下駄、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき、混雑した場所を歩くなど歩行が乱れたとき
- 立ったり座ったり、階段や急斜面の昇り降りをしたり、乗り物（自転車、車、電車、バスなど）に乗車したりなど、上下運動や振動、横揺れなどが多いとき
- 歩行以外のスポーツを行ったときや、ジョギングをしたとき、極端にゆっくり歩いたとき
- FOMA端末の開閉やボタン操作などを行ったり、ポケットなどから取り出したりしたときに、FOMA端末へ振動や揺れが加わっているとき

歩数計の設定

1 待受画面で(メニュー)▶「8歩数計を使う▶「4歩数計の利用／停止を設定する」を押す

歩数計を利用するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1利用する」▶(決定)を押す

歩幅の入力画面が表示されます。

- 「2利用しない」：操作5に進みます。

3 歩幅を入力▶(決定)を押す

体重の入力画面が表示されます。

- 30～120cmの間で入力します。

4 体重を入力▶(決定)を押す

歩数計の利用を開始した旨のメッセージが表示されます。

- 30～120kgの間で入力します。
- 日付・時刻を設定していない場合は、日付と時刻を設定する旨のメッセージが表示されます。(決定)を押します。

5 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- 本機能を使用中は、待受画面にまたは(歩数計自動送信メールも使用しているとき)が表示され、歩数がカウントされます。

歩数計の履歴の確認

カウントした歩数や計測したデータの履歴を項目別に確認できます。1日分の歩行情報を日付別に確認することもできます。

- カウント中の歩数は背面ディスプレイに表示されます(→p.27)。ただし、新着情報の表示が優先されます。
- 毎日午前0時0分になると、1日分の計測データが履歴として保存されます。当日を含めた32日分を確認できます。
- 表示される数値は、あくまでも目安としてご活用ください。

表示項目	内　容
歩数	カウントした歩数が表示されます(最大999999歩)。
歩いた距離	歩数と歩幅から算出した歩行距離※1が表示されます(最大9999.9km)。
消費カロリー	歩数、歩行時間、設定した体重から算出した消費カロリー※2が表示されます(最大65535kcal)。
脂肪燃焼量	歩行によって燃焼された脂肪量が表示されます(最大4681g)。
いきいき歩数	いきいき歩行の歩数が表示されます(最大999999歩)。
いきいき歩行時間	いきいき歩行の歩行時間が表示されます(最大99時間59分)。

※1 1分あたりの歩数により歩幅は補正されるため、設定した歩幅から算出した歩行距離とは異なる場合があります。

※2 1分間に歩いた距離が30m未満の場合は、カロリー計算は行われません。

1 待受画面でメニュー▶「8歩数計を使う」▶「1歩数の履歴を表示する」または「2一日の歩行情報を表示する」を押す

歩数	
	1/6件
04/17	1700歩
04/16	9011歩
04/15	9904歩
04/14	7917歩
04/13	6515歩
04/12	9493歩

＜履歴(歩数)＞

一日の歩行情報
04/17
歩数
1700歩
歩いた距離
1.0km
消費カロリー
36kcal

＜一日の歩行情報＞

- 履歴画面で決定:押すたびに、歩数→歩いた距離→消費カロリー→脂肪燃焼量→いきいき歩数→いきいき歩行時間の順で表示を切り替えます。
- 一日の歩行情報画面で◁▷:日付の表示を前後に切り替えます。

■ **履歴をメールで送信する:履歴画面で日付にカーソルを合わせてメニュー▶「7メールで送る」または一日の歩行情報画面でメニューを押す**

メール作成画面が表示されます。内容は歩数計自動送信メールと同様です。
→p.292

- iモードメールの作成・送信方法→p.138、p.141

お知らせ

- 歩数、歩いた距離、いきいき歩数、いきいき歩行時間は、最大値を超えると0に戻って表示されます。
- 日付・時刻を設定していない場合は、累積した歩数が表示されますが、歩数の履歴は記録されません。
- 歩き始めは、誤カウントを防ぐために歩行を始めたかどうかを判断しているため、表示が変わりません。目安として4秒程度歩くとそこまでの歩数が一度に表示されます。
- カウントした歩数は、約10分ごとに保存されます。歩数計を使用中に、FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されていない歩数が消失してしまう場合があります。

- FOMA端末の故障、修理やその他の取り扱いによって、歩数の履歴が消失してしまう場合があります。また、歩数の履歴は、電池パックを外した状態や空の状態でも約1ヶ月は保持されますが、それ以上経過すると消失してしまう場合があります。万が一、歩数の履歴が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

歩数の履歴の削除

1 待受画面でメニュー▶「8歩数計を使う」▶「5歩数の履歴を削除する」または「6今日の歩数を削除する」を押す

歩数の履歴／今日の歩数を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- 「5歩数の履歴を削除する」を押すと、当日の計測中の歩数データ、歩数の履歴、累積した歩数データが削除されます。「6今日の歩数を削除する」を押すと、当日の計測中の歩数データのみ削除されます。

2 「1削除する」を押す

歩数の履歴／今日の歩数を削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

歩数計自動送信メール

毎日指定した時間帯に、指定した宛先へ、最新の歩数の履歴を自動的にメールで送信します。
自分で指定する宛先1件と歩数計サービス1件の合計2件を、歩数計自動送信メールの宛先として同時に設定できます。

- 歩数計自動送信メールを利用するためには、iモードのご契約が必要です。
- 送信される歩数の履歴に当日分は含まれません。
- 歩数計自動送信メールの通信料は、お客様のご負担となります。

歩数計サービスとは

歩数計自動送信メールを使用して、「@Fケータイ応援団」の歩数計サービスを利用できます。サービスの利用を設定すると、歩数の履歴が「@Fケータイ応援団」に自動送信され、「東海道五十三次」や「富士登山」などの仮想のコースを歩いて、チェックポイント通過時にそのポイントの写真や紹介文のメールを受け取ることができます。

- 歩数計サービスの利用料はかかりませんが、メールの送受信やiモードサイトに接続した際の通信料はお客様のご負担となります。
- 迷惑メール対策（受信／拒否設定）によるメールの受信制限を行うと、歩数計サービスは利用できませんのでご注意ください。
- お客様ご自身のメールアドレスの変更を行うと、新たに歩数計サービスの利用開始となりますのでご注意ください。
- 詳細は「@Fケータイ応援団」のサイトをご覧ください。

  アクセス方法（2010年6月現在）
  待受画面で▶「1 i Menuを見る」▶「メニューリスト」▶「ケータイ電話メーカー」▶「@Fケータイ応援団」

サイトアクセス用
QRコード

※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

1 待受画面でメニュー▶「8歩数計を使う」▶「3歩数の自動送信メールを設定する」を押す

歩数の自動送信を設定してください
1送信先アドレス
設定なし
2歩数計サービス
利用しない
3送信時間帯
10時～12時

1 **送信先アドレス**：歩数計自動送信メールを送信する宛先を設定します。
2 **歩数計サービス**：歩数計サービスを利用するかどうかを設定します。
3 **送信時間帯**：歩数計自動送信メールを送信する時間帯を設定します。

2 「1送信先アドレス」を押す

自動送信の宛先の選択画面が表示されます。

■ 歩数計サービスのみ設定する：「2歩数計サービス」を押す

操作4に進みます。

3 「2直接入力する」▶宛先を入力▶決定を押す

歩数計サービスを利用するかどうかの確認画面が表示されます。

- 半角英数字50文字以内で入力します。
- ｉモード端末にメールを送信するときは、メールアドレスの「@docomo.ne.jp」は省略できます。
- 半角英字入力モード時に1：「.」「@」「-」などを入力できます。

■ 電話帳から選択する：

① 「1電話帳から選択」▶電話帳を検索する

- 検索方法→p.76

② 送信する相手を選択▶決定を押す

送信する相手のメールアドレスの選択画面が表示されます。

③ メールアドレスを選択▶決定を押す

■ 設定しない：「3設定しない」を押す

4 「1利用する」または「2利用しない」を押す

- 「1利用する」を押した場合は、最初の自動送信後に送られてくるメールの指示に従って、コースを選択してください。
- 操作3で「3設定しない」を押し、さらに操作4で「2利用しない」を押した場合は、操作6に進みます。

5 「1 0時～2時」～「# 22時～24時」のいずれかを押す

操作1の画面に戻ります。

6 電話帳を押す

歩数の自動送信メールを設定／解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

- 本機能を使用中は、待受画面にが表示されます。
- 歩数計を「利用しない」に設定しているときは、歩数計の利用を設定する旨のメッセージが表示されます。決定を押し、「歩数計の設定」の操作2に進みます。→p.288
- 歩数計停止中は、歩数計自動送信メールは送信されません。

送信時間帯になると

歩数計自動送信メールは、送信時間帯に待受画面が表示されているときに送信されます。歩数計自動送信メールが送信されると、送信した旨のメッセージが約3秒間表示されます。

- 歩数計自動送信メールは、「送信したメールを見る」の「送信箱」フォルダに保存されます（→p.155）。歩数計自動送信メールは編集できません。
- 送信に失敗したとき→p.143

お知らせ

- 次の場合は自動送信が行われず、未送信メールとして保存されます。
  - FOMAカードを正しく取り付けていないときやFOMAカードに異常があるとき
  - セルフモード中
  - ダイヤル発信制限中で、電話帳に登録されていないメールアドレスを自動送信メールの送信先に設定しているとき（歩数計サービスへはダイヤル発信制限中でも自動送信されます）
- 送信時間帯に歩数計自動送信メール設定の宛先を変更すると、当日の自動送信は行われず、未送信メールとしても保存されません。
- 次の場合は、自動送信は行われません。
  - 電源を切っているとき
  - オールロック中
  - おまかせロック中
  - 個人情報表示制限中
  - 歩数計を「利用しない」に設定しているとき
  - 前日の歩数の履歴がないとき

- 未送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、メールを作成できない旨のメッセージが表示され、自動送信できません。「未送信のメールを見る」から不要なｉモードメール、SMSを削除してください。→p.191
- 送信時間帯に待受画面以外を表示している場合は、待受画面が表示されたとき自動送信されます。

歩数計自動送信メールの内容

- 歩数の数値が0の場合も送信されます。

計測日が自動で入ります。

送信箱
001/003件
09/04/17 10:00
宛 docomo.taro.…
題 2009/04/16 歩数
日付:2009/04/16
歩数:XXXX歩
カロリー:XXXkcal
累積歩数:XXXXX歩
いきいき歩数:XXXX歩
いきいき累積歩数:XXXXX歩
脂肪燃焼量:XXXグラム
－ END －

メール本文の項目	内　容
日付	歩数の計測日
歩数	計測日の歩数
カロリー	計測日の消費カロリー
累積歩数	いままでの累積歩数※
いきいき歩数	計測日のいきいき歩行の歩数
いきいき累積歩数	いままでのいきいき歩行の累積歩数※
脂肪燃焼量	計測日の脂肪燃焼量

※ 履歴に保存されている32日分より前の歩数も含まれます。

マルチアクセスについて

マルチアクセスとは、音声電話、ｉモード通信、データ通信など複数の通信を同時に利用できる機能です。

マルチアクセスでできる主な操作

- マルチアクセスで同時に利用できる通信の詳細は「マルチアクセスの組み合わせについて」をご覧ください。→p.365
- マルチアクセス中は、それぞれの通信に通信料がかかります。

通話中にｉモードメールを受信する

1 通話中にメールを受信する

メールの受信中はディスプレイ上部にとが点滅表示されます。

- 着信音は鳴りません。
- 通話中にメールの内容を確認することはできません。

ｉモード中に電話をかける

- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）（→p.304）またはPhoneTo機能（→p.215）を使用して電話をかけることができます。

〈例〉サイト表示中に平型スイッチ付イヤホンマイクを使って電話をかける

1 サイト表示中に平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

「ピピッ」と音がするまで押し続けると、電話がかかります。

2 **お話しが終わったら平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す**

「ピッ」と音がするまで押し続けると、サイト表示画面に戻ります。

- [終話]を押しても電話を切ることができます。

自動電源ON設定

自動的に電源を入れる

指定した時刻にFOMA端末の電源が自動的に入るように設定します。

- 自動電源OFF設定と本機能を同時刻に設定することはできません。→p.293

1 **待受画面で[メニュー]▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「9設定時刻に電源を入／切する」▶「1電源が入る時刻を設定する」を押す**

決めた時刻に
電源が入る機能を
設定してください
1自動電源入
停止する
2時刻　00時00分
3繰り返し
繰り返さない

1 **自動電源入**：自動で電源を入れるかどうかを設定します。

2 **時刻**：自動で電源を入れる時刻を設定します。

3 **繰り返し**：自動で電源を入れる設定を繰り返すかどうかを設定します。

2 **「1自動電源入」を押す**

決めた時刻に電源を入れるかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「1入れる」を押す**

電源が入る時刻の設定画面が表示されます。

- 「2入れない」：操作6に進みます。

4 **時刻を入力▶[決定]を押す**

繰り返しの種類の選択画面が表示されます。

- 24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

5 **「1毎日繰り返す」または「2繰り返さない」を押す**

操作1の画面に戻ります。

6 **[電話帳]を押す**

決めた時刻に電源を入れる設定を起動／停止した旨のメッセージが表示されます。
[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された場所では、電源を切るだけではなく、本機能の設定も解除してください。

自動電源OFF設定

自動的に電源を切る

指定した時刻にFOMA端末の電源が自動的に切れるように設定します。

- 自動電源ON設定と本機能を同時刻に設定することはできません。→p.293

1 **待受画面で[メニュー]▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「9設定時刻に電源を入／切する」▶「2電源が切れる時刻を設定する」を押す**

決めた時刻に
電源を切る機能を
設定してください
1自動電源切
停止する
2時刻　00時00分
3繰り返し
繰り返さない

1 **自動電源切**：自動で電源を切るかどうかを設定します。

2 **時刻**：自動で電源を切る時刻を設定します。

3 **繰り返し**：自動で電源を切る設定を繰り返すかどうかを設定します。

2 「1 自動電源切」を押す

決めた時刻に電源を切るかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1 切る」を押す

電源を切る時刻の設定画面が表示されます。

- 「2 切らない」:操作6に進みます。

4 時刻を入力▶決定を押す

繰り返しの種類の選択画面が表示されます。

- 24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

5 「1 毎日繰り返す」または「2 繰り返さない」を押す

操作1の画面に戻ります。

6 電話帳を押す

決めた時刻に電源を切る設定を起動/停止した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 待受画面表示中以外のときに指定した時刻になった場合は、電源は切れません。動作中の機能を終了すると、電源が切れます。

通知時刻自動電源ON設定

目覚ましや予定の時刻に自動的に電源を入れる

目覚ましや予定の通知の時刻に電源が切れているとき、電源を自動的に入れて目覚まし音や通知音声が鳴るようにするかどうかを設定します。

1 待受画面でメニュー▶「6 目覚まし・予定表を使う」▶「4 通知の時刻に電源を入れる」を押す

目覚ましや予定の通知の時刻に電源を入れるかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 入れる」または「2 入れない」を押す

目覚ましや予定の通知の時刻に電源を入れる/入れないに設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- PIN1コード使用の設定中(→p.106)は、指定した時刻に電源が入ると、PIN1コード入力画面の表示よりも優先して目覚ましや予定の通知が動作します。このとき、目覚まし音にダウンロードしたメロディを設定していた場合は「目覚まし1」が鳴ります。
- 電池パックが外れてしまった場合など、電源を切る操作や自動電源OFF設定以外で電源が切れると、本機能は動作しません。
- 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された場所では、電源を切るだけではなく、本機能の設定も解除してください。

お知らせタイマー

簡単な操作でタイマーを設定する

タイマーでお知らせするまでの時間（分）を待受画面で入力して設定します。

1 待受画面で時間（分）を入力▶電話帳を押す

お知らせタイマーのカウントダウン画面が表示されます。

- 1～60分の範囲で入力します。
- カウントダウン中にFOMA端末を閉じると、背面ディスプレイにタイマーが鳴るまでの残り時間が表示されます。
- 中止するときは、カウントダウン中に決定▶「1中断して終了」を押します。

指定した時間が経過すると

次の画面が表示され、「目覚まし1」と「音量4」でタイマーが鳴り、背面ディスプレイの照明が点滅し、バイブレータが「パターンA」で振動します。

お知らせタイマー
時間です

- FOMA端末を閉じているときは背面ディスプレイに「お知らせタイマー時間です」と表示されます。
- を押すとタイマーが終了し、待受画面に戻ります。
- とと以外のボタンを押すか、何も操作せずに約1分間経過すると、タイマーが停止し、指定した時間が経過した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 通話中（通話保留中の場合は保留解除後）に設定した時刻になると、タイマー音ではなく警告音が鳴り、画面の表示でお知らせします。を押すと、通話中の画面に戻ります。
- 電話の発着信中、呼出中、切断中、64Kデータ通信の発着信中に設定した時刻になると、それぞれの動作終了後にタイマーが動作します。
- 公共モード（ドライブモード）中に設定した時間が経過すると、タイマー音、背面ディスプレイの照明、バイブレータは動作せず、画面の表示のみでお知らせします。

目覚まし

指定した時刻に目覚まし音で知らせる

指定した時刻になったことを、設定した目覚まし音でお知らせします。

- 最大5件登録できます。

1 待受画面でメニュー▶「6目覚まし・予定表を使う」▶「1目覚ましを使う」を押す

目覚まし一覧
目覚まし番号／目覚まし件数 — 1/5件
目覚まし1 未使用
目覚まし2 未使用
目覚まし3 未使用

2 「目覚まし1」～「目覚まし5」のいずれかを選択▶決定を押す

時刻の設定画面が表示されます。

■ **目覚ましを動かす／止める：登録済みの目覚ましを選択▶決定を押す**

目覚ましの動作を選ぶ画面が表示されます。操作11に進みます。

■ **設定を変更する：登録済みの目覚ましを選択▶決定▶「3設定を変更する」▶変更する項目を選択▶決定▶操作3～9のいずれかを行う**

選択した項目の設定を変更すると、目覚ましの設定内容が表示されます。操作10に進みます。

■ **設定を確認する：登録済みの目覚ましを選択▶決定▶「4設定を確認する」を押す**

3 時刻を入力▶決定を押す

繰り返しの種類の設定画面が表示されます。

- 24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

4 「1毎日繰り返す」～「3繰り返さない」のいずれかを押す

- 「1毎日繰り返す」「3繰り返さない」：操作7に進みます。

5 「1日曜日」～「7土曜日」のうち、選択する項目の番号を押す

曜日の□が☑に変わります。

曜日を選びます
1 ☑日曜日
2 □月曜日
3 □火曜日
4 □水曜日
5 □木曜日
6 □金曜日
7 □土曜日

- 決定：曜日を選択／解除します。
- メニュー：すべての曜日を選択／解除します。

6 電話帳を押す

題名の入力画面が表示されます。

7 題名を入力▶決定を押す

メロディ一覧が表示されます。

- 全角7文字、半角14文字以内で入力します。

8 フォルダを選択▶決定▶メロディを選択▶決定を押す

音量の調節画面が表示されます。

- 「ｉモードで探す」を選択して決定▶「1接続する」を押すと、ｉモードサイトからメロディを探せます。→p.214
- メロディの再生方法→p.92「電話が着信したときの着信音の設定」操作5

9 メール／ｉモード／◁／▷または＋－を押して音量を調節▶決定を押す

目覚ましの設定内容が表示されます。

- 音量1のときにｉモード／◁／－：「消音」に設定します。

10 電話帳を押す

目覚ましを動かすかどうかの確認画面が表示されます。

11 「1動かす」または「2止める」を押す

目覚ましを動かした／止めた旨のメッセージが表示されます。決定を押すと目覚まし一覧画面に戻ります。

- 目覚ましを動かす設定にしているときは、目覚まし一覧の題名の右側に⏰が表示されます。また、待受画面に🕒または📅（予定の通知も設定しているとき）が表示されます。
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに🕒または📅（予定の通知も設定しているとき）が表示されます。

目覚ましの時刻になると

次の画面が表示され、設定した音と音量で目覚まし音が鳴ります。

- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「時間です」と時刻が表示されます。
- [終話]を押すと目覚ましが終了し、目覚ましが動作する前の画面に戻ります。
- 次の操作を行うと目覚ましが停止し、1分間鳴った後4分間停止する動作（スヌーズ動作）を30分間繰り返します。
  - 約1分間何も操作をしない
  - [終話]と[+][−]以外のボタンを押す
- スヌーズ動作で停止しているときは、次回の通知時刻が表示されます。

お知らせ

- 電話中や通信中に、設定した時刻になったときの通知の動作は、お知らせタイマーと同様です。→p.295
- 公共モード（ドライブモード）中に設定した時刻になると、目覚まし音は動作せず、画面の表示のみでお知らせします。
- マナーモード中に設定した時刻になると、目覚まし音は鳴らず、バイブレータが「パターンA」で振動します。
- データ転送モード中に設定した時刻になると、転送終了後に目覚ましが動作します。

予定表

予定を管理する

行事や用件などの予定を登録して、必要なときに確認できるようにします。登録した予定の日時になると音声で通知するように設定することもできます。

- 最大登録件数→p.396

カレンダーの表示

予定は、カレンダー画面から登録、確認します。

1 待受画面で[メニュー]▶「6目覚まし・予定表を使う」▶「2予定を見る・登録する」を押す

予定を登録している日付は左上に◤が表示されます。

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	1	2
3	4	5	6	7	8	9

<カレンダー画面>

- [メール][iモード][左][右]：カーソルが移動します。
- [メニュー]／[電話帳]：前の月／次の月が表示されます。

お知らせ

- カレンダーは2000年1月1日から2060年12月31日まで表示できます。
- 祝日を選択すると、年月の右側に祝日名が表示されます。
- カレンダーの祝日は、「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成17年法律第43号までのもの）」に基づいています。春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります（2010年6月現在）。また、上記法律は2007年1月から施行されていますが、2006年までの一部の祝日、振替休日については、改正前の日付で表示されないため、ご注意ください。

予定の登録

1 カレンダー画面で登録する日付を選択▶[決定]▶「1登録する」を押す

予定を
入力してください
1予定の内容
2時刻　指定なし
3通知　なし

1 **予定の内容**：予定を入力します。
2 **時刻**：予定の時刻を指定します。
3 **通知**：予定の時刻になったとき、通知するかどうかを設定します。

■ **すでに予定を登録している日付に追加する：カレンダー画面で登録する日付を選択▶[決定]▶[電話帳]を押す**

2 「1予定の内容」を押す

予定の内容の入力画面が表示されます。

3 予定の内容を入力▶[決定]を押す

予定の時刻を指定するかどうかの確認画面が表示されます。

- 全角45文字、半角90文字以内で入力します。

4 「1指定する」または「2指定しない」を押す

予定の時刻の入力画面が表示されます。

- 「2指定しない」：操作7に進みます。

5 予定の時刻を入力▶[決定]を押す

予定の時刻に通知するかどうかの確認画面が表示されます。

- 24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

6 「1通知する」または「2通知しない」を押す

操作1の画面に戻ります。

7 [電話帳]を押す

予定を登録した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと予定一覧画面が表示されます。

<予定一覧画面>

- 予定の時刻に通知する設定にしているときは、予定一覧画面の通知する予定の時刻の右側に が表示されます。また、待受画面に または (目覚ましも設定しているとき）が表示されます。
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに または (目覚ましも設定しているとき）が表示されます。

お知らせ

- 予定表の保存領域の空きが足りないときや最大登録件数を超えるときは、不要な予定を削除してから登録する旨のメッセージが表示されます。予定を登録する場合は不要な予定を削除してください。→p.301

予定を通知する日時になると

次の画面が表示され、電話着信音量で設定した音量で「予定の時刻です」という通知音声が鳴り、背面ディスプレイの照明が点滅します。

- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「予定の時刻です」と時刻が表示されます。
- [終話]を押すと予定の通知が終了し、予定の通知が動作する前の画面に戻ります。
- [終話]と[+][−]以外のボタンを押すか、何も操作せずに約1分間経過すると予定の通知が停止します。

便利な機能

- 停止中に決定を押すと予定の通知が動作する前の画面に戻ります。同じ日時に複数の予定を通知するように設定している場合は、決定を押すと他の予定の内容が確認できます。

お知らせ

- 電話中や通信中に、設定した日時になったときの通知の動作は、お知らせタイマーと同様です。→p.295
- 公共モード（ドライブモード）中に設定した日時になると、通知音声、背面ディスプレイの照明は動作せず、画面の表示のみでお知らせします。
- マナーモード中に設定した日時になると、通知音声は鳴らずバイブレータが「パターンA」で振動します。
- データ転送モード中に設定した日時になると、転送終了後に予定の通知が動作します。

予定の確認

1 カレンダー画面で確認する日付を選択▶決定を押す

予定一覧画面が表示されます。

2 確認する予定を選択▶決定を押す

予定詳細画面が表示されます。

予定番号／表示中の日付に登録している予定の件数

4月17日(金)予定
1/1件
予定の内容
ドライブ
時刻 10:00
通知 あり

<予定詳細画面>

- 同じ日付に複数の予定を登録している場合は、◁▷を押すと前後に登録している予定詳細画面に切り替わります。
- 決定を押すと予定一覧画面に戻ります。

■ **表示中の予定を変更する：予定詳細画面で電話帳を押す**

- 以降の操作→p.298「予定の登録」操作2以降

お知らせ

- 予定一覧画面から予定を変更する場合は、変更する予定を選択してメニュー▶「2修正する」を押します。

予定をコピーする

登録済みの予定を、別の日付にコピーします。

〈例〉日付を指定してコピーする

1 カレンダー画面でコピーする予定を登録している日付を選択▶決定を押す

2 コピーする予定を選択▶メニューを押す

3 「4指定日にコピー」▶コピーする日付を入力▶決定を押す

予定をコピーした旨のメッセージが表示されます。決定を押すとコピーした予定が予定一覧画面に表示されます。

- 西暦は下2桁を入力します。月、日が1桁のときは、前に0を付けます。

■ **翌日にコピーする：「5翌日にコピー」を押す**

予定をコピーした旨のメッセージが表示されます。

お知らせ

- 予定詳細画面からコピーする場合は、メニュー▶「3指定日にコピー」または「4翌日にコピー」を押します。

予定の日付を変更する

登録済みの予定の日付を変更します。日付を変更しても、予定の内容、時刻、通知の設定はそのまま引き継がれます。

1 カレンダー画面で変更する予定を登録している日付を選択▶[決定]を押す

2 日付を変更する予定を選択▶[メニュー]▶「[6]日付を変更」を押す

予定の日付の入力画面が表示されます。

3 日付を入力▶[決定]を押す

予定の日付を変更した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと日付を変更した予定が予定一覧画面に表示されます。

- 西暦は下2桁を入力します。月、日が1桁のときは、前に0を付けます。

お知らせ

- 予定詳細画面から変更する場合は、[メニュー]▶「[5]日付を変更」を押します。

知られたくない予定を守る〈シークレット属性設定／解除〉

他の人に見られたくない予定には、シークレット属性を設定します。シークレット属性を設定するには、FOMA端末をシークレットモードに設定する必要があります。

1 シークレットモードを設定する

- 操作方法→p.111

2 カレンダー画面でシークレット属性を設定する予定を登録している日付を選択▶[決定]を押す

3 シークレット属性を設定する予定を選択▶[決定]▶[メニュー]▶「[6]シークレット属性設定」を押す

シークレット属性を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

4 「[1]設定する」を押す

シークレット属性を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと予定詳細画面に戻ります。

表示している予定にシークレット属性を設定していると点滅します。

10:00
4月17日(金)予定
2/2件
予定の内容
飲み会
時刻 20:00
通知 なし

■ シークレット属性を解除する：

① **シークレットモード中にシークレット属性を設定している予定詳細画面を表示▶[メニュー]▶「[6]シークレット属性解除」を押す**

シークレット属性を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

② **「[1]解除する」を押す**

シークレット属性を解除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと予定詳細画面に戻ります。

お知らせ

- シークレット属性を設定している予定は、シークレットモード中のみ表示できます。また、予定の通知もシークレットモード中のみ動作します。
- シークレットモード中に登録、変更した予定は、自動的にシークレット属性が設定されます。

予定の登録件数の確認〈登録件数確認〉

1 待受画面で[メニュー]▶「[6]目覚まし・予定表を使う」▶「[3]予定の登録件数を見る」を押す

登録件数の確認画面が表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- シークレットモード中は、シークレット属性を設定している予定の件数も表示されます。

予定の削除

〈例〉予定を1件削除する

1 **カレンダー画面で削除する予定を登録している日付を選択▶(決定)を押す**

2 **削除する予定を選択▶(メニュー)▶「3削除する」を押す**

削除する予定の選択画面が表示されます。

3 **「1選択1件」を押す**

予定を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **選択した日付の予定をすべて削除する：「2選択1日」を押す**

■ **選択した日付より前の日付の予定をすべて削除する：「3選択日前日まで」を押す**

■ **すべての予定を削除する：「4全件」▶端末暗証番号を入力▶(決定)を押す**

4 **「1削除する」を押す**

予定を削除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとカレンダー画面に戻ります。予定を削除した日付に他の予定がある場合や、「3選択日前日まで」を押した場合は予定一覧画面に戻ります。

お知らせ

- 予定詳細画面から削除する場合は、(メニュー)▶「2削除する」を押します。

直前通話時間／積算通話時間

通話時間を確認する

直前に行った通話時間と、これまでに行った通話の積算時間を確認します。

- 通話時間は、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 直前通話時間は、直前に行った電話またはデータ通信の通話時間が表示されます。
- 積算通話時間は、電話、データ通信に分けて表示されます。
- 以前に積算通話時間をリセット（→p.302）した場合は、リセット時から現在までの積算通話時間が表示されます。
- 表示される通話時間はあくまでも目安であり、実際の通話時間とは異なる場合があります。

1 **待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「7情報の表示やリセットを行う」▶「1通話時間を見る」を押す**

確認する項目を
選んでください
1直前の通話時間
2積算の通話時間

1 **直前の通話時間**：直前に行った通話時間を表示します。

2 **積算の通話時間**：現在までの積算した通話時間を表示します。

2 **「1直前の通話時間」または「2積算の通話時間」を押す**

通話時間
直前の通話時間
01分17秒

<直前通話時間>

積算通話時間
電話
1時間53分32秒
データ通信
00秒

<積算通話時間>

- (決定)を押すと操作1の画面に戻ります。

お知らせ

- 直前通話時間、積算通話時間が9999時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントされます。
- ｉモード通信、パケット通信の通信時間はカウントされません。
- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。

積算通話時間リセット

1 待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「7情報の表示やリセットを行う」▶「3通話時間をリセットする」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力▶(決定)を押す

積算時間を
ﾘｾｯﾄする項目を
選んでください
1電話
2データ通信
3全ての通話

1 **電話**：電話の積算時間をリセットします。
2 **データ通信**：データ通信の積算時間をリセットします。
3 **全ての通話**：すべての積算時間をリセットします。

3 「1電話」～「3全ての通話」のいずれかを押す

積算時間をリセットするかどうかの確認画面が表示されます。

4 「1リセットする」を押す

積算時間をリセットした旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

直前通話料金／積算通話料金

通話料金を確認する

直前に行った通話料金と、これまでに行った通話の積算料金を確認します。

- 通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などにかけた場合は、直前通話料金に「0円」または「******」が表示されます。
- 直前通話料金は、電話、データ通信に分けて表示されます。
- 積算通話料金は、電話、データ通信を合わせて表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算）が表示されます。
- 以前に積算通話料金をリセット（→p.303）した場合は、リセット時から現在までの積算通話料金が表示されます。
- 表示される通話料金はあくまでも目安であり、実際の通話料金とは異なる場合があります。また、表示される通話料金に消費税は含まれていません。

1 待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「7情報の表示やリセットを行う」▶「2通話料金を見る」を押す

確認する項目を
選んでください
1直前の通話料金
2積算の通話料金

1 **直前の通話料金**：直前に行った通話料金を表示します。
2 **積算の通話料金**：現在までの積算した通話料金を表示します。

2 「1直前の通話料金」または「2積算の通話料金」を押す

直前通話料金
電話
100 円
データ通信
0 円

＜直前通話料金＞

積算通話料金
積算通話料金
12,345 円
前回リセット日時
2009年04月01日
10時00分

＜積算通話料金＞

- 決定を押すと操作1の画面に戻ります。

お知らせ

- ｉモード通信、パケット通信の通信料金はカウントされません。ｉモード利用料などの確認方法については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- FOMA端末の電源を入れ直した場合、相手が応答しなかった場合、着信した場合は、直前通話料金に「******」が表示されます。
- WORLD CALL利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。

積算通話料金リセット

1 待受画面でメニュー▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「7情報の表示やリセットを行う」▶「4通話料金をリセットする」を押す

PIN2コード入力画面が表示されます。

2 PIN2コードを入力▶決定を押す

PIN2コードが認識された旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

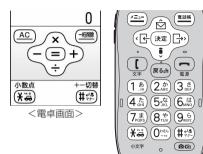
積算通話料金をリセットするかどうかの確認画面が表示されます。

4 「1リセットする」を押す

積算通話料金をリセットした旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

電卓

電卓として使う

1 待受画面でメニュー▶「7電卓を使う」を押す

＜電卓画面＞

- 電卓画面には、操作に使用するボタンの位置と機能が表示されます。

2 計算する

- 次のボタンを押して操作ができます。
  0〜9：数字を入力します。
  ／／／：＋／−／×／÷を入力します。
  決定：＝を入力します（計算の実行）。
  ＊：小数点を入力します。
  ＃：入力した数字の＋と−を切り替えます。
  電話帳：最後に入力した数字を一桁削除します。
  メニュー：入力した数字や計算結果を削除します。

〈例〉18＋30＝を計算する

お知らせ

- 最大8桁入力できます。
- 計算結果の整数部分が8桁を超えたり、0で除算したりするとエラーとなり、「E」と表示されます。小数点を含む数値が8桁を超える場合は、表示に収まらない小数部分が四捨五入されて表示されます。

スイッチ付イヤホンマイク

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

イヤホンマイク端子に平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続すると、スイッチを押すだけで電話をかけたり受けたりすることができます。

- スイッチを押して電話をかけるには、イヤホンスイッチ設定を設定する必要があります。→p.304
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。電波の受信レベルが低下する場合があります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをアンテナ部分に近づけると、雑音が入ることがあります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのプラグは、確実にFOMA端末に差し込んでください。差し込みが不十分な状態では、音が聞こえない場合があります。

スイッチ付イヤホンマイクの接続

- イヤホンジャック変換アダプタ P001（別売）と接続すると、市販のイヤホンマイクを使うことができます。
- マナーモード中に平型スイッチ付イヤホンマイクを接続すると、イヤホン切替設定に関わらずイヤホンから音が鳴ります。このとき、途中でイヤホンを抜くと、メロディは停止します。動画／ｉモーションは、消音で動作や再生を続けます。

1 **イヤホンマイク端子のカバーを開け、平型スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込む**

イヤホンマイクのスイッチ動作の設定〈イヤホンスイッチ設定〉

平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチで、電話を発信できるように設定します。

1 **待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「4電話・電話帳の詳細を設定する」▶「5イヤホンを設定する」▶「2イヤホンスイッチの動作を設定する」を押す**

イヤホン接続時の動作を設定してください
1イヤホンスイッチ動作 発信しない
2発信先 999:

1 **イヤホンスイッチ動作**：スイッチを押して電話を発信するかどうかを設定します。

2 **発信先**：電話を発信する相手を電話帳から選んで設定します。

2 **「1イヤホンスイッチ動作」▶「1発信する」を押す**

電話帳の検索画面が表示されます。

- 「2発信しない」：スイッチを押して電話を発信しません。操作4に進みます。

3 **電話帳を検索▶発信する相手を選択▶(決定)を押す**

操作1の画面に戻ります。

- 検索方法→p.76

4 **(電話帳)を押す**

イヤホン接続時の動作を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 発信先に設定した電話帳に電話番号を2件以上登録している場合は、1件目に登録している電話番号に電話がかかります。
- 発信先に設定した電話帳を削除したり他の電話帳で上書きしたりすると、設定は解除されます。

スイッチを使った電話のかけかた／受けかた

電話をかける

1 待受画面で平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

「ピピッ」と音がするまで押し続けます。イヤホンスイッチ設定の発信先に指定した電話番号に電話がかかります。

- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに通信状態が表示されます。

2 お話しが終わったらスイッチを1秒以上押す

「ピッ」と音がするまで押し続けます。

電話を受ける

1 電話がかかってきたらスイッチを1秒以上押す

「ピピッ」と音がするまで押し続けると、電話がつながります。

- イヤホン切替設定（→p.306）に従って着信音が鳴ります。
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに通信状態が表示されます。

2 お話しが終わったらスイッチを1秒以上押す

「ピッ」と音がするまで押し続けます。

通話中にかかってきた別の電話を受ける

キャッチホンをご契約いただくと、通話中に別の電話がかかってくると「ププ…ププ…」という通話中着信音（→p.60）が聞こえます。サービスを開始に設定すると、キャッチホンがご利用いただけます。

1 通話中に電話がかかってくる

通話中着信音が聞こえます。

2 スイッチを1秒以上押す

キャッチホン中（マルチ接続中）の画面が表示されます。
最初の相手との通話が保留になり、後からかかってきた電話を受けます。

- 通話中に電話帳またはスイッチを1秒以上押す：通話の相手を切り替えます。
- 通話中に決定：現在通話中の相手も保留します。もう一度決定を押すと解除します。

お知らせ

- イヤホンスイッチ設定の発信先に設定した電話帳にシークレット属性を設定している場合は、スイッチを押して電話をかける前に、シークレットモードを設定してください。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続中は、FOMA端末を閉じても電話は切れません。
- マルチ接続中に通話中の相手を保留にしてスイッチを1秒以上押すと、通話の相手が切り替わらず表示中の相手との通話が切断されますのでご注意ください。

オート着信設定

イヤホンをつないで自動で電話を受ける

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているときに着信があった場合、設定した応答時間になると自動的に応答します。電話を受けたとき、接続したイヤホンなどから音声が聞こえます。

- 通話中の着信に対しては、本機能は動作しません。

1 **待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「4電話・電話帳の詳細を設定する」▶「5イヤホンを設定する」▶「1イヤホン接続時の着信動作を選ぶ」を押す**

イヤホン使用中の
着信方法を
設定してください

1応答方法　手動
2応答時間　4秒

1 **応答方法**：自動と手動のどちらで接続するかを設定します。
2 **応答時間**：着信から自動で応答するまでの時間を設定します。

2 **「1応答方法」▶「2自動で応答する」を押す**

応答時間の設定画面が表示されます。

- 「1手動で応答する」：手動で応答します。操作4に進みます。

3 **時間を入力▶(決定)を押す**

操作1の画面に戻ります。

- 応答時間の秒数を0～120秒の間で入力します。

4 **(電話帳)を押す**

イヤホン使用中は自動で応答する／手動で応答するに設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 電話帳指定着信拒否（→p.115）、非通知理由別着信設定（→p.117）、登録外着信拒否（→p.119）を設定中は、対象に設定している相手から電話がかかってくると、各機能が優先して動作します。
- 伝言メモ、留守番電話サービス、転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合、設定した呼出時間により、優先順位が異なります。
- 伝言メモの呼出時間設定と本機能の応答時間を同じ時間に設定できません。→p.65
- 本機能と無音着信時間設定（→p.118）を同時に設定している場合、無音着信時間を本機能の応答時間以上に設定すると、本機能は動作しません。

イヤホン切替設定

イヤホンだけから着信音を鳴らす

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続したときに、着信音や目覚まし音などをイヤホンとスピーカーの両方から鳴らすか、イヤホンのみから鳴らすかを設定します。

1 **待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「5音を設定する」▶「3イヤホン利用時の切替を選ぶ」を押す**

着信音の鳴る所の選択画面が表示されます。

1 **イヤホンとスピーカー**：イヤホンとスピーカーの両方から鳴らします。
2 **イヤホンと20秒後にスピーカー**：イヤホンから鳴った後、約20秒経過するとスピーカーからも鳴らします。
3 **イヤホンのみ**：イヤホンからのみ鳴らします。

2 **「1イヤホンとスピーカー」～「3イヤホンのみ」のいずれかを押す**

イヤホンの切替を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

メモを使う

さまざまな情報を入力して確認したり、FOMA端末どうしで赤外線通信を利用してメモを送受信したりできます。

- 最大50件登録できます。
- メモの各画面で(電話帳)を押すと、操作説明が表示されます。

〈例〉メモを入力する

1 待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「1メモを使う」を押す

- 初回起動時は、起動するかどうかの確認画面が表示されます。「1起動する」を押すと、以降はメッセージが表示されなくなります。

①メモを新しく作る
②赤外線でメモを送受信する
③メモを終了する

2 「メモを新しく作る」を選択▶(決定)▶(決定)▶メモの内容を入力▶(決定)▶(メニュー)▶(決定)を押す

- 全角500文字、半角1000文字以内で入力します。

■ **メモの内容を表示する※：「メモを読む／編集する」を選択▶(決定)▶表示するメモを選択▶(決定)を押す**

- メモ一覧画面で(メニュー)を押すとサブメニューが表示され、メモの削除や並べ替え、表示方法の変更ができます。

※ 登録したメモがない場合は表示できません。

■ **メモを終了する：「メモを終了する」を選択▶(決定)▶「はい」を選択▶(決定)を押す**

赤外線通信でメモを送受信する

- 赤外線通信のしかたは「赤外線通信を行うには」をご覧ください。→p.280

〈例〉メモを送信する

1 待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「1メモを使う」を押す

2 「赤外線でメモを送受信する」を選択▶(決定)を押す

3 「赤外線でメモを送信する」を選択▶(決定)▶メモを選択▶(決定)▶「1通信する」を押す

メモが送信されます。

■ **メモを受信する：**

① **「赤外線でメモを受信する」を選択▶(決定)▶「1通信する」を押す**

保存するかどうかの確認画面が表示されます。

② **「保存する」を選択▶(決定)▶(決定)を押す**

ソフトを最新にする

メモのソフトが更新されている場合は最新にできます。

- パケット通信料がかかります。

1 待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「7情報の表示やリセットを行う」▶「9ソフトを最新にする」▶「2メモ」を押す

最新にするかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1最新にする」を押す

ダウンロード中画面が表示された後、携帯電話の情報を送信し、ダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。

- ソフトが最新の場合は、最新である旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと、ソフトを最新にする画面に戻ります。

3 「1ダウンロードする」を押す

ダウンロード中画面が表示されます。ソフトがダウンロードされると、ダウンロードが完了した旨のメッセージが表示されます。

- ダウンロード中に決定：ダウンロードを中止します。

4 決定を押す

ソフトを最新にする画面に戻ります。

文字入力／音声入力

文字入力をする

音声入力をする

区点コード一覧の詳細については付属のCD-ROM内または、ドコモホームページ上の「区点コード一覧」(PDF版）をご覧ください。
PDF版「区点コード一覧」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。

文字入力について

ここでは、電話帳やメールなどで文字を入力する方法を説明します。

- 文字には「全角文字」と「半角文字」があります。全角文字は、半角文字2文字分にカウントされます。

○：入力可　－：入力文字なし

	全角	半角
ひらがな／漢字、絵文字	○	－
カタカナ、英字、数字、記号	○	○

- 入力できる漢字はJIS第一水準漢字と第二水準漢字の6355文字です。
- 複雑な漢字は変形または省略して表示されます。

文字入力画面の見かた

文字の入力方法には、インライン入力と、全画面入力の2種類があります。

インライン入力

入力欄を選択して、文字を直接入力します。

〈例〉日付時刻設定の時刻欄に文字を入力する

<入力欄を選択した状態>　<文字を入力した状態>

全画面入力

全画面で表示される入力エリアに文字を入力します。

〈例〉メールの題名入力画面に文字を入力する

① **入力モード**
　現在の入力モードを示します。

② **入力可能な文字数**

③ **カーソル（点滅）**
　文字が入力または挿入される位置を示します。
　で移動できます。

④ **ガイド行**

- が表示されたときは、これ以上入力できないことを示します。

文字入力のガイド表示について

ガイド行の右側に「ガイド」が表示されている画面で電話帳を押すと、ガイド画面が表示されます。

<メールの題名入力画面のガイド画面>

- 電話帳を押すと元の画面に戻ります。
- ガイド画面では、入力文字の切り替え、大文字／小文字の切り替え、音声文字入力、1つ前の文字に戻す、改行の操作を画像で説明します。
- ガイド画面は、操作する画面により表示が異なります。

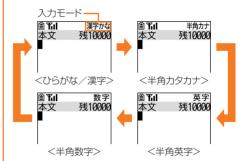
文字入力画面のサブメニュー

文字入力画面で(メニュー)を押すと表示されるサブメニュー（→p.31）から、次の操作ができます。

サブメニュー	説　明	参照先
1絵文字を入力	絵文字を一覧から入力します。	p.314
2記号を入力	記号を一覧から入力します。	p.314
3声で文字を入力	メール作成時に、音声で文字を入力します。	p.319
4定型文を貼付け	定型文を一覧から入力します。	p.315
5編集を取り消す	文字入力を終了します。	—
6文字をコピー	文字をコピーします。	p.316
7コピー貼付け	コピーした文字を貼り付けます。	p.316
8電話帳を呼出す	電話帳の内容を入力します。	p.318
9文頭へ移動	カーソルを文頭に移動します。	—
0文末へ移動	カーソルを文末に移動します。	—
*区点コード入力	区点コードを使って入力します。	p.317

※ ひらがな／漢字入力モードでは、文字が確定するまでサブメニューを表示できません。

入力モードの切り替え

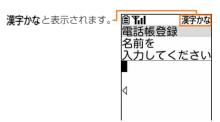
文字入力画面で(［)を押すたびに、次のように入力モードが切り替わります。

- 文字入力画面によっては、表示されない入力モードがあります。
- ひらがなしか入力できない場合は**全角かな**、全角カタカナしか入力できない場合は**全角カナ**が表示されます。
- 全角英字や全角数字は、ひらがな／漢字入力モードで読みを入力して変換します。

文字を入力する

- 文字は、ダイヤルボタンを押して入力します。個々のボタンに複数の文字が割り当ててあり、ボタンを押すたびに文字が変わります。
- 文字の割り当てについては「ダイヤルボタンの文字割り当て一覧」をご覧ください。→p.343

〈例〉電話帳の登録で「六本木」と入力する

1　待受画面で(メニュー)▶「1電話帳を使う履歴を見る」▶「4電話帳に登録する」を押す

漢字かなと表示されます。

2 「ろっぽんぎ」と入力する

電話帳登録
名前を
入力してください
ろっぽんぎ

「ろ」：9を5回押します。
「っ」：4を3回押して＊を2回押します。
「ぽ」：6を5回押して＊を2回押します。
「ん」：0を3回押します。
「ぎ」：2を2回押して＊を押します。
- ボタンを押し間違えたときは戻るを押して取り消します。

■ **同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力する：**
最初の文字を入力した後に▶を押してカーソルを右に移動させ、次の文字を入力します。

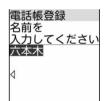
■ **別のボタンに割り当てられている文字を続けて入力する：**
続けて別のボタンを押すと、カーソルは自動的に移動して文字が入力されます。

■ **文字に「゛」「゜」を付ける：**
文字を入力して＊を押します。
〈例〉「ほ」を入力して＊を押すと、押すたびに「ぼ」→「ぽ」→「ほ」→…と切り替わります。
- 「゛」「゜」が付けられない文字（大文字／小文字を切り替えられる文字を除く）と半角文字の場合は、「゛」「゜」が別の1文字として入力されます。

■ **大文字と小文字を切り替える：**
文字を入力して＊を押します。英字を入力するときも同様に操作します。
〈例〉「あ」を入力して＊を押すと、押すたびに「ぁ」→「あ」→…と切り替わります。ただし、「つ」の場合は「つ」を入力して＊を押すと「づ」→「っ」→「つ」→…と切り替わります。
同じボタンを複数回押しても、大文字と小文字が切り替えられます。

〈例〉「あ」を入力して1を押すと、押すたびに「い」→「う」→「え」→「お」→「ぁ」→「ぃ」→「ぅ」→「ぇ」→「ぉ」→「1」→「あ」→…と切り替わります。
- 切り替えが可能な文字については「ダイヤルボタンの文字割り当て一覧」（→p.343）をご覧ください。

■ **入力中に1つ前の文字に切り替える：**
文字入力中に#を押すと、押すたびにボタンに割り当てられている1つ前の文字に切り替わります。
〈例〉「あ」を入力して#を押すと、押すたびに「1」→「ぉ」→「ぇ」→「ぅ」→「ぃ」→「ぁ」→「お」→「え」→「う」→「い」→「あ」→…と切り替わります。

3 電話帳を押す

- 候補選択リスト（→p.314）が表示されていない場合は▼を押しても変換されます。
- 戻る：変換した後に押すと、変換前の状態に戻ります。

■ **ひらがなのまま確定する：**
ひらがなを入力した状態で決定を押します。

■ **カタカナに変換する：**
ひらがなを入力した状態でメニューを押します。

■ **変換候補一覧を表示する：**
電話帳を押しても目的の文字が表示されないときは、▲▼または電話帳を押すと変換候補一覧が表示されます。▲▼を押して変換候補を選択し、決定を押します。候補の番号のダイヤルボタンを押しても選択できます。

- 変換候補一覧が複数ページある場合は、[電話帳]を押して次ページ、[メニュー]を押して前ページに切り替えることができます。

変換候補の番号／変換候補の件数

ろっぽ… (2/10)
1 六本木
2 ろっぽんぎ
3 ロッポンギ
4 ﾛｯﾎﾟﾝｷﾞ
5 ＲＯＰＰＯＮ…
6 Ｒｏｐｐｏｎ…
7 ｒｏｐｐｏｎ…

＜変換候補一覧＞

4 [決定]を押す

文字が確定します。[決定]を押すと文字入力が終了して、フリガナの入力画面が表示されます。

■ **文字を挿入する：**

[↑][↓][←][→]を押して挿入する位置までカーソルを移動し、文字を入力します。入力した文字はカーソル位置に挿入されます。

■ **文字を削除する：**

カーソルが入力中にある場合
（例：六本木）

- [戻る]：カーソル位置の1文字を削除します。
- [戻る]を1秒以上：カーソル位置の文字とそれ以降の文字をすべて削除します。

カーソルが文末にある場合
（例：六本木█）

- [戻る]：カーソルの左の1文字を削除します。
- [戻る]を1秒以上：すべての入力文字を削除します。

■ **改行する：**

改行する位置にカーソルを移動して[#]を押します。

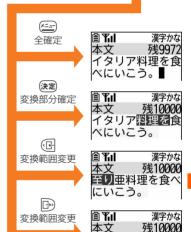
- 改行した位置には「↵」（改行マーク）が表示されます。改行マークは全角1文字分にカウントされます。
- 入力欄によっては改行できない場合があります。

複数の文節を一括変換するには

複数の文節を一括変換して、文章を簡単に入力できます。

- 全角で最大24文字まで一括して変換できます。

〈例〉「イタリア料理を食べにいこう。」と入力する

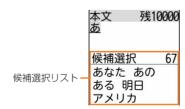
お知らせ

- ひらがな／漢字入力モードで読みを入力して、英字、ギリシャ文字、顔文字などに変換できます。読みと文字の対応→p.344「特殊記号一覧」、p.360「顔文字読み上げ一覧」
- 入力文字の末尾にカーソルがある場合、[→]を押すと空白が入力できます。

入力予測機能

入力予測機能は、文字を入力したときに、読みの先頭部分が一致する単語の候補選択リストが表示される機能です。候補選択リストには、一度入力した単語が自動的に予測辞書データとして登録されるため、次に同じ内容を入力するときには、先頭の文字を入力するだけですばやく入力できます。

- 標準搭載の単語の他に、次の単語や文字列が候補として表示されます。
  - 過去に入力した単語
  - 単語登録した文字列
- 入力予測機能は、主に次の画面のひらがな／漢字モードで使用できます。
  - メール作成時の題名入力画面と本文入力画面（メール例文含む）
  - 署名登録画面
  - メモの作成画面
  - 予定の内容登録画面
  - 定型文編集画面
- 候補選択リストに予測辞書データとして登録されたデータをリセットして、お買い上げ時の状態に戻せます。→p.122
- 候補選択リストを表示しないように設定できます。→p.318
- 音声入力メールのソフトで、音声で入力した文字を変換したときに表示される候補選択リストでは動作しません。

〈例〉候補選択リストから「明日」を選択して入力する

1 メール本文入力画面で「あ」を入力する

- 入力文字が増えるたびに候補が変わります。
- 決定：ひらがなのまま確定します。
- メニュー：全角カタカナに変換します。

2 ▶候補を選択▶決定を押す

- 入力した文字列によっては、次に続く文字列の候補が選択できます。
  たとえば、「おはよう」と入力し文字を確定すると、候補選択リストには「ございます」などの文字列の候補が表示されます。続けて入力するときは、候補を選択してください。
- 候補選択リストに目的の単語の候補がない場合は、電話帳を押すと候補選択リストが消え、メール／または電話帳を押すと変換候補一覧が表示されます。

3 「閉じる」を選択▶決定を押す

文字が確定します。決定を押すとメール作成画面に戻ります。

絵文字・記号・定型文を入力する

絵文字・記号の入力

1 文字入力画面でメニュー▶「1絵文字を入力」または「2記号を入力」を押す

絵文字一覧または記号一覧が表示されます。

＜絵文字入力の場合＞

① 選択中の絵文字の意味を表示

② 入力履歴欄
- 絵文字一覧の絵文字と記号一覧の全角記号、半角記号の最初のページに表示されます。
- 絵文字・記号が入力できる場合のみ選択できます。

2 一覧から選択▶(決定)を押す

絵文字・記号が挿入されます。
- 入力履歴欄には、最近入力したものから順に、絵文字または記号が最大8文字表示され、文字を選択できます。
- (メニュー)／(電話帳)：前後のページを表示できます。

お知らせ
- 次のかっこの左側（例：{ ）を選択した場合は、右側のかっこ（例：}）も自動的に入力されます。
  - 半角記号：( )　[ ]　{ }　｢ ｣
  - 全角記号：（ ）〔 〕［ ］｛ ｝〈 〉《 》「 」『 』【 】
- 絵文字や記号の読みを入力しても変換できます。→p.344、p.346
- 絵文字や記号は、赤外線通信などでデータ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。

定型文の入力

1 文字入力画面で(メニュー)▶「4定型文を貼付け」を押す

定型文が登録されているフォルダが表示されます。

定型文一覧
挨拶・連絡
ビジネス
絵文字入り
顔文字
文例集
ｱﾄﾞﾚｽ･ﾃﾞｰﾀ形式
ユーザ作成

- 定型文が入力できる場合のみ選択できます。

2 フォルダを選択▶(決定)を押す

定型文の番号／定型文の件数

挨拶・連絡
1/29件
OKです。
NGです。
おはようござい…
こんにちは。
こんばんは。
おやすみなさい。

3 一覧から選択▶(決定)▶(決定)を押す

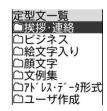
定型文が挿入されます。
- 定型文を入力したとき、編集中の文章が入力可能な文字数を超える場合は、貼り付けるかどうかの確認画面が表示され、「貼り付ける」を押すと入力可能な文字数以降は削除されます。

お知らせ
- 顔文字は「かお」または「かおもじ」と入力するか、読みを入力しても変換できます。→p.360

定型文登録

定型文を登録／編集する

定型文を新しく登録したり、お買い上げ時に登録されている定型文を編集して新しい定型文として登録したりできます。登録した定型文は「ユーザ作成」フォルダに登録されます。
- 最大50件登録できます。

1 待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「3文字入力の設定を行う」▶「3よく使う定型文を登録する」を押す

2 「ユーザ作成」フォルダを選択▶(決定)▶「〈新しい定型文〉」を選択▶(決定)を押す

定型文編集画面が表示されます。

■ 登録済みの定型文を編集して登録する：
① 使用したい定型文が登録されているフォルダを選択▶決定▶利用したい定型文を選択▶決定を押す
定型文が表示されます。
② 決定を押す

3 定型文を入力▶決定を押す

定型文を登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと定型文一覧に戻ります。
- 全角64文字、半角128文字以内で入力します。

定型文を削除します

- 「ユーザ作成」フォルダに登録されている定型文のみ削除できます。

1 定型文一覧を表示する

- 操作方法→p.315「定型文を登録／編集する」操作1

2 「ユーザ作成」フォルダを選択▶決定▶削除する定型文を選択▶メニューを押す

定型文を削除するかどうかの確認画面が表示されます。
- 削除する定型文を選択し決定を押すと、登録内容が確認できます。そのままメニューを押しても同様に操作できます。

3 「1削除する」を押す

定型文を削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと定型文一覧に戻ります。

文字コピー／貼り付け

文字のコピーと貼り付け

入力済みの文字を選択してコピーを行い、コピーした文字を別の場所に貼り付けます。別の文字入力画面に貼り付けることもできます。

- コピーした文字は新たにコピーを行うか電源を切るまで記録され、何度でも貼り付けられます。

1 文字入力画面でメニュー▶「6文字をコピー」を押す

2 コピー開始位置を選択▶決定を押す

- メニュー：全文を選択します。

3 コピー終了位置を選択▶決定を押す

コピーした旨のメッセージが表示されます。
- メニュー／電話帳：カーソルを文頭／文末に移動します。

4 決定を押す

5 文字入力画面で、貼り付ける位置を選択▶メニュー▶「7コピー貼付け」を押す

文字がカーソル位置に挿入されます。
- 貼り付けを行ったとき、編集中の文章が入力可能な文字数を超える場合は、貼り付けるかどうかの確認画面が表示され、「貼り付ける」を押すと入力可能な文字数以降は削除されます。

お知らせ

- コピーした文字種と、貼り付け先の文字種が適合しているときのみ、貼り付けられます。たとえば、メールアドレス欄の場合は半角英数字しか入力できないため、ひらがなや漢字などの文字は貼り付けられません。
- 改行が入力できない入力画面に、「↵」（改行マーク）を含んだ文字列を貼り付けた場合は、半角空白に置き換えられます。

区点コード入力

区点コードで入力する

区点コード一覧にある文字、数字、記号を4桁の区点コードを使って入力します。

- 区点コード一覧については、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。

〈例〉「携」（区点コード2340）を入力する

1 **文字入力画面で(メニュー)▶「[*]区点コード入力」を押す**

区点コード入力画面が表示されます。

2 **4桁の区点コード（(2)(3)(4)(0)）を入力▶(決定)を押す**

「携」が入力されます。

単語登録

よく使う単語を登録する

よく使う単語をあらかじめ登録しておくと、文字の変換のときに簡単に呼び出せます。

- 最大50件登録できます。

1 **待受画面で(メニュー)▶「[9]設定を行う」▶「[9]その他の設定を行う」▶「[3]文字入力の設定を行う」▶「[2]よく使う単語を登録する」を押す**

登録されている単語の件数と、登録できる件数が表示されます。

2 **(決定)を押す**

新規登録
あありがとう
Internet
か

単語を登録するときに選択します。

登録済みの単語
- 読みの50音順に並びます。

行の先頭を示すマーク

3 **「新規登録」を選択▶(決定)を押す**

単語の入力画面が表示されます。

■ **登録済みの単語を編集する：編集する単語を選択▶(電話帳)を押す**

4 **単語を入力▶(決定)を押す**

docomo
読みを
入力してください

- 全角12文字、半角24文字以内で入力します。

5 **読みを入力▶(決定)を押す**

単語を登録した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと単語の一覧に戻ります。

- 8文字以内で入力します。
- 次の文字を先頭に入力すると、登録できません。
  - を、ん、ぁ、ぃ、ぅ、ぇ、ぉ、っ、ゃ、ゅ、ょ、ゎ、゛（濁点）、゜（半濁点）、ー（長音）
- 入力した文字の末尾や文字と文字の間に空白を入力すると、空白は登録後に削除されます。

単語を削除します

1 **単語の一覧を表示する**

- 操作方法→p.317「よく使う単語を登録する」操作1～2

2 **削除する単語を選択▶(メニュー)▶「[2]削除する」を押す**

選択した単語を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- 削除する単語を選択し(決定)を押すと、登録内容が確認できます。そのまま(メニュー)を押しても同様に操作できます。

3 **「[1]削除する」を押す**

単語を削除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと単語の一覧に戻ります。

お知らせ

- 単語と読みは必ず入力してください。
- 読みにひらがなと長音、濁点、半濁点以外の文字が入力されていた場合は、登録できません。
- 単語と読みの組み合わせが同じ単語が登録されている場合は、登録できません。
- 単語登録した単語データをリセットして、お買い上げ時の状態に戻せます。→p.122

電話帳呼出

電話帳を引用して入力する

電話帳の登録内容を引用して入力することができます。

- 電話帳登録の文字入力画面では、本機能を使用できません。

1 **文字入力画面で(メニュー)▶「8電話帳を呼出す」を押す**

電話帳の検索画面が表示されます。

2 **引用する電話帳を検索して選択▶(決定)を押す**

項目一覧
携帯花子
03XXXXXXXX
090XXXXXXXX
docomo.taro.ΔΔ…
docomo-ΔΔ-taro…
挿入する項目を
選んでください

- 検索方法→p.76

3 **引用する内容を選択▶(決定)を押す**

選択した内容が挿入されます。

お知らせ

- 入力画面によっては、選択した内容が挿入されない場合があります。

文字入力方法設定

入力予測機能を使用する／使用しない

文字を入力するときに、入力予測機能を使用するかどうかを設定します。

- 入力予測機能について→p.314

1 **待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「3文字入力の設定を行う」▶「1文字の入力方法を設定する」を押す**

入力予測を有効にするかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1有効にする」または「2無効にする」を押す**

入力予測機能を有効／無効にした旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

音声で文字を入力する

音声を文字に変換してメールを作成します。

- 音声入力メールはお申し込みが必要な有料サービスです。初めて音声入力メールをご契約された日から30日間はサービスを無料でご利用いただけます（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。音声入力メールの利用料とは別にパケット通信料がかかります。詳細については、ドコモのｉモードサイトをご覧ください。
- メールの題名入力画面と本文入力画面（メール例文含む）、SMSの本文入力画面のみ有効です。
- 音声入力メールのソフトで文字を変換したときに表示される候補選択リストと通常の文字入力で表示される候補選択リストでは、表示される内容が異なります。
- 次の場合は、音声を認識しないことがあります。
  - 周囲の雑音が大きい場合
  - 発声が明瞭でない場合
  - 発声が中断された場合
  - 発声の前後に咳払いをしたり、雑音を出したりした場合
  - ボタンを押したり、こすったりした場合
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などの使用時はマイク部分を口に近づけて発声してください。

〈例〉メール本文に音声で「お元気ですか？」と入力する

1 メール本文入力画面で［カメラ/音声］▶表示される画面で［決定］を押す

本文　残10000
［入力文字の切替］入力文字の切替
［＊］大／小文字の切替
［カメラ/音声］音声で文字入力

［決定］ボタンを押し
発信音や
振動の後に
お話しください。
準備はいいですか
音声入力を開始
*ご利用にはﾊﾟｹｯﾄ
料金がかかります

＜音声入力前画面＞

音声受付中画面が表示され、音が鳴り、バイブレータが振動します。

2 「お元気ですか？」と発声する

音声入力中画面が表示されます。

測定した声量をバーで示しています。

＜音声入力中画面＞

音声を入力した後は音が鳴り、バイブレータが振動して、音声入力メールサーバと通信します。数秒で音声が文字に変換され、候補選択リストが表示されます。

- 読み上げの動作を「自動で読み上げ」に設定している場合、音は鳴りません。なお、マナーモード中には音は鳴りません。公共モード中には音は鳴らず、バイブレータも動作しません。

■ **音声入力を中断する：音声入力画面で［メニュー］を押す**

音声入力前画面に戻ります。

- 入力する文章は、30秒以内で発声してください。

3 変換された文字を確認する

本文　残9986
お元気ですか？
候補選択　3
お　オ
(候補なし)
［決定］文章を確定

■ **候補選択リストから選択して入力する：［上下キー］▶候補を選択▶［決定］を押す**

- 文節が複数ある場合は操作を繰り返します。
- 候補選択リストの「(候補なし)」を選択し、［読み上げ］を押すと「カッココウホナシ」と読み上げます。「(候補なし)」を選択すると、カーソルで選択されている文字が削除されます。

■ **手入力で文字を挿入する：カーソルを挿入位置に移動▶メニューを押す**
- 通常の文字入力の入力方法に切り替わります。

■ **再入力する：電話帳▶「1音声で入力する」または「2編集に戻る」を押す**
- 「音声で入力する」を選択したときは、操作1の音声入力前画面に戻ります。「編集に戻る」を選択したときは、元の画面に戻ります。

4 **決定を押す**

本文　残9986
お元気ですか？
左右ボタンで挿入箇所を選択
1音声で入力する
2ボタンで入力する
3本文を確定する

1 **音声で入力する**：続けて、音声で文字を入力します。
2 **ボタンで入力する**：ボタン入力に切り替えて文字を入力します。
3 **本文を確定する**：メール本文の入力を確定します。

5 **「3本文を確定する」を押す**

音声入力メールで入力した文章が確定され、メール本文入力画面に戻ります。
- ｉモードメールの作成・送信方法→p.138、p.141
- メールを送信する→p.142「ｉモードメールを作成して送信する」操作5

■ **続けて音声で入力する：カーソルを挿入位置に移動▶「1音声で入力する」を押す**

操作1の音声入力前画面に戻り、続けて音声を入力します。

■ **ボタンで文字を入力する：「2ボタンで入力する」を押す**

通常の文字入力の入力方法に切り替わります。決定を押すと、元の画面に戻ります。

お知らせ
- メールの題名入力画面、メール本文入力画面、SMSの本文入力画面でメニュー▶「3声で文字を入力」を押しても、同様に音声入力ができます。

音声入力メールのソフトを最新にする

- 音声入力メールのソフトを最新にする場合は、パケット通信料はかかりません。
- 音声入力メールご利用時に「ソフトを最新にしますか？」のメッセージが表示されたときは、「1最新にする」を選択すると、最新のソフトに更新されます。

1 **待受画面でメニュー▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「7情報の表示やリセットを行う」▶「9ソフトを最新にする」▶「1音声入力メール」を押す**
- 最新にするかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1最新にする」を押す**

ダウンロード中画面が表示された後、携帯電話の情報を送信し、ダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。
- ソフトが最新の場合は、最新である旨のメッセージが表示されます。決定を押すと、ソフトを最新にする画面に戻ります。

3 **「1ダウンロードする」を押す**

ダウンロード中画面が表示されます。ソフトがダウンロードされると、ダウンロードが完了した旨のメッセージが表示されます。
- ダウンロード中に決定：ダウンロードを中止します。

4 **決定を押す**

ソフトを最新にする画面に戻ります。

ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス

• FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名	申し込み	月額使用料	サービス名	申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	必要	有料	デュアルネットワークサービス	必要	有料
キャッチホン	必要	有料	英語ガイダンス	不要	無料
転送でんわサービス	必要	無料	公共モード（ドライブモード）※1	不要	無料
迷惑電話ストップサービス	不要	無料	公共モード（電源OFF）※1	不要	無料
番号通知お願いサービス	不要	無料	メロディコール※2	必要	有料

※1　公共モード→p.62、p.63
※2　メロディコール→p.96

• サービスエリア外や電波の届かない所ではネットワークサービスはご利用できません。
• お申し込み、お問い合わせについては取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
• **本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。**

留守番電話サービス

電波の届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メッセージは1件あたり約3分間、20件まで録音でき、最大72時間保存されます。
- 伝言メモを同時に設定しているとき、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの呼出時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスを開始に設定しているときに、かかってきた電話に応答しなかった場合は、着信履歴に不在着信として記録され、待受画面に新着情報（→p.24）と が表示されます。
- 本FOMA端末はテレビ電話の留守番電話サービスに対応しておりません。「1412」へ発信し、「非対応」に設定してください。

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1：サービスを開始に設定する

ステップ2：電話をかけてきた相手が伝言を録音する

急いでいる時など早く伝言メッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れている間に(#)を押すと、応答メッセージを省略してすぐに録音できるようになります。

ステップ3：伝言メッセージを再生する

1 待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「1留守番サービスを使う」▶メニュー項目を選択▶(決定)を押し操作する

メニュー項目	機能と操作
1留守番メッセージを再生する	**▶「1再生する」▶音声ガイダンスに従って操作する** • 新しい伝言メッセージがあると、待受画面に 留守番［ 長押し が表示された後、留守番電話件数が増加した旨のメッセージが表示され、着信音（着信音1）が鳴ります。
2メッセージがあるか問合せる	**▶「1問合せる」▶(決定)を押す** • 新しい伝言メッセージがあると、待受画面に 留守番［ 長押し が表示されます。
3留守番サービスを開始する	**▶「1開始する」▶「1設定する」▶呼出時間を入力▶(決定)▶(決定)を押す**
4留守番サービスを停止する	**▶「1停止する」▶(決定)を押す**
5留守番サービスの詳細を設定する	音声ガイダンスを聞きながら留守番電話サービスを設定します。 **▶「1設定する」▶音声ガイダンスに従って操作する**
6留守番呼出時間を設定する	**▶「1設定する」▶呼出時間を入力▶(決定)▶(決定)を押す** • 呼出時間を0秒に設定すると、着信履歴には記録されません。
7留守番サービスの設定を確認する	**▶「1確認する」▶(決定)を押す** • 設定確認画面で、サブメニューから設定を変更できます。
8着信通知を使う	
1着信通知を開始する	FOMA端末の電源が入っていないときや圏外にいるときに着信があった場合、電源が入ったときや圏内になったときに、着信があったことをSMSでお知らせします。 **▶「1開始する」▶「1発番号ありのみ」または「2全ての着信」▶(決定)を押す** • 「1発番号ありのみ」：発信者番号通知の着信のみ通知します。 • 「2全ての着信」：すべての着信を通知します。
2着信通知を停止する	**▶「1停止する」▶(決定)を押す**
3着信通知の設定を確認する	**▶「1確認する」▶(決定)を押す**

キャッチホン

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができます。また、通話中の電話を保留にして、別の相手へ電話をかけることもできます。

- キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ通話中着信動作選択を「通常着信する」に設定してください。他の設定では、キャッチホンを開始にしても通話中にかかってきた電話に応答できません。
- 通話中にかかってきた別の電話に出るときは、次の操作を行います。
  - [開始]：現在の通話を保留にし、かかってきた電話に応答します。
  - [終了]：現在の通話が切断され、かかってきた電話の着信画面が表示されます。[開始]を押し電話に応答します。
- キャッチホン中は、[電話帳]を押すたびに通話相手を切り替えられます。

1 待受画面で[メニュー]▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「2キャッチホンを使う」▶メニュー項目を選択▶[決定]を押し操作する

メニュー項目	機能と操作
1キャッチホンを開始する	▶「1開始する」▶[決定]を押す
2キャッチホンを停止する	▶「1停止する」▶[決定]を押す
3キャッチホンの設定を確認する	▶「1確認する」▶[決定]を押す

転送でんわサービス

電波の届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、かかってきた電話を転送するサービスです。

- 伝言メモを同時に設定しているとき、転送でんわサービスを優先させるためには、伝言メモの呼出時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 転送でんわサービスを開始に設定しているときに、かかってきた電話に応答しなかった場合は、着信履歴に不在着信として記録され、待受画面に新着情報（→p.24）と[アイコン]が表示されます。

転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1：転送でんわサービスを開始に設定する
ステップ2：転送先の電話番号を登録する
ステップ3：お客様のFOMA端末に電話がかかる
ステップ4：電話に出ないと自動的に指定した転送先に転送される

1 待受画面で[メニュー]▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「3転送サービスを使う」▶メニュー項目を選択▶[決定]を押し操作する

メニュー項目	機能と操作
1転送サービスを開始する	▶「1開始する」▶「1設定する」▶転送先電話番号を入力▶[決定]▶「1設定する」▶呼出時間を入力▶[決定]▶[決定]を押す • 電話番号入力画面で[電話帳]を押すと、電話帳や着信履歴、リダイヤルを引用できます。 • 呼出時間を0秒に設定すると、着信履歴には記録されません。
2転送サービスを停止する	▶「1停止する」▶[決定]を押す
3転送先を変更する	▶転送先電話番号を入力▶[決定]▶「1設定する」▶[決定]を押す • 電話番号入力画面で[電話帳]を押すと、電話帳や着信履歴、リダイヤルを引用できます。

メニュー項目	機能と操作
4転送先が通話時の設定をする	転送先が通話中などで転送できないときに、留守番電話サービスで応対するように設定します。 ▶「1接続する」▶決定を押す
5転送サービスの設定を確認する	▶「1確認する」▶決定を押す

転送ガイダンスの有／無を設定する

1 待受画面で1 4 2 9▶[▶音声ガイダンスに従って操作する

- 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

迷惑電話ストップサービス

いたずら電話などの迷惑電話を着信しないように拒否するサービスです。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

- 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。着信履歴にも記録されません。

1 待受画面でメニュー▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「4迷惑電話ストップを使う」▶メニュー項目を選択▶決定を押し操作する

メニュー項目	機能と操作
1迷惑電話着信拒否を登録する	最後に応答した電話番号を着信拒否に登録します。 ▶「1登録する」▶決定を押す • 通話していない不在着信などは登録の対象になりません。
2着信拒否する番号を登録する	指定した電話番号を着信拒否に登録します。 ▶「1登録する」▶電話番号を入力▶決定▶「1登録する」▶決定を押す • 電話番号入力画面で電話帳を押すと、電話帳や着信履歴、リダイヤルを引用できます。
3迷惑電話登録を全件削除する	▶「1削除する」▶決定を押す
4迷惑電話登録を1件削除する	最後に登録した電話番号を1件削除します。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除することができます。 ▶「1削除する」▶決定を押す
5拒否登録件数を確認する	▶「1確認する」▶決定を押す

番号通知お願いサービス

電話番号を通知してこない電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切るサービスです。

- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、着信履歴に記録されず、待受画面に新着情報は表示されません。

1 待受画面でメニュー▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「5番号通知お願いサービスを使う」▶メニュー項目を選択▶決定を押し操作する

メニュー項目	機能と操作
1番号通知お願いサービスを開始する	▶「1開始する」▶決定を押す
2番号通知お願いサービスを停止する	▶「1停止する」▶決定を押す
3番号通知お願いサービスを確認する	▶「1確認する」▶決定を押す

デュアルネットワークサービス

お使いになっているFOMA端末の電話番号で、mova端末をご利用いただけるサービスです。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

- FOMA端末とmova端末を同時に利用することはできません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、利用不可状態の端末から行ってください。

1 待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「9その他のサービスを使う」▶「3デュアルネットワークを使う」▶メニュー項目を選択▶(決定)を押し操作する

メニュー項目	機能と操作
1デュアルネットワークを切替える	FOMA端末で利用できるように切り替えられます。 ▶「1切替える」▶4桁のネットワーク暗証番号を入力▶(決定)▶(決定)を押す
2デュアルネットワークの状態を確認する	▶「1確認する」▶(決定)を押す

英語ガイダンス

ガイダンスの日本語／英語切り替え

留守番電話サービスなどの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

- 発信側・受信側ともに本サービスを利用している場合、発信側の発信時設定が着信側の着信時設定より優先されます。

1 待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「9その他のサービスを使う」▶「2英語ガイダンスを使う」▶メニュー項目を選択▶(決定)を押し操作する

メニュー項目	機能と操作
1ガイダンスを設定する	発信時に自分が聞くガイダンスの言語を設定後に、着信時に相手が聞くガイダンスの言語を設定します。 ▶「1設定する」▶「1日本語」または「2英語」を押す▶「1設定する」▶「1日本語」～「3英語＋日本語」のいずれかを押す▶(決定)を押す
2ガイダンスの設定を確認する	▶「1確認する」▶(決定)を押す

サービスダイヤル

ドコモ総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

- お使いのFOMAカードによっては、表示や動作が異なる場合があります。→p.34

1 待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「9その他のサービスを使う」▶「4サービスダイヤルを使う」▶メニュー項目を選択▶(決定)を押し操作する

メニュー項目	機能と操作
1ドコモ総合案内･受付に電話する	ドコモ総合案内・受付に電話をかけます。 ▶「1電話する」を押す
2ドコモ故障問合せ窓口に電話する	ドコモ指定の故障取扱窓口に電話をかけます。 ▶「1電話する」を押す
3海外紛失窓口に電話する（有料）※	海外で紛失、盗難、精算などについて問い合わせます。 ▶「1電話する」を押す

メニュー項目	機能と操作
4海外故障窓口に電話する（有料）※	海外でドコモ指定の故障取扱窓口に電話をかけます。 ▶「1電話する」を押す

※ 本FOMA端末は海外では利用できません。

通話中着信設定

通話中着信動作（→p.326）の設定を開始／停止したり、設定内容を確認したりします。

1 待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「7通話中着信設定を使う」▶メニュー項目を選択▶(決定)を押し操作する

メニュー項目	機能と操作
1通話中着信設定を開始する	▶**「1開始する」▶(決定)を押す**
2通話中着信設定を停止する	▶**「1停止する」▶(決定)を押す**
3通話中着信設定を確認する	▶**「1確認する」▶(決定)を押す**

通話中着信動作選択

通話中にかかってきた電話の応対方法の選択

留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンをご契約されているお客様の通話中にかかってきた電話または64Kデータ通信にどのように対応するかを設定できます。

- 留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンを契約されていない場合は、通話中にかかってきた着信に応答できません。
- 通話中着信動作選択を利用する場合は、あらかじめ通話中着信設定を開始に設定してください。なお、キャッチホン開始中は通話中着信設定を開始にする必要はありません。

1 待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「8通話中着信動作を選ぶ」▶メニュー項目を選択▶(決定)を押す

メニュー項目	機能と操作
1通常着信する	キャッチホンを開始にしているときは、キャッチホンが動作します。停止にしているときは、電話または64Kデータ通信を終了し、かかってきた電話に応答できます。 また、通話中にかかってきた電話の対応をサブメニューから選択できます。→p.59
2留守番電話	通話中にかかってきた電話に留守番電話サービスで応答します。
3電話を転送する	通話中にかかってきた電話または64Kデータ通信を、あらかじめ登録している転送先に転送します。 • 64Kデータ通信中に64Kデータ通信を着信した場合は転送されません。
4電話を拒否する	通話中にかかってきた電話または64Kデータ通信の着信を拒否します。

遠隔操作設定

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

1 待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「9その他のサービスを使う」▶「1遠隔操作設定を使う」▶メニュー項目を選択▶(決定)を押し操作する

メニュー項目	機能と操作
1遠隔操作を開始する	▶**「1開始する」▶(決定)を押す**
2遠隔操作を停止する	▶**「1停止する」▶(決定)を押す**
3遠隔操作の設定を確認する	▶**「1確認する」▶(決定)を押す**

パソコン接続

データ通信の詳細については、付属のCD-ROM内またはドコモのホームページ上の「パソコン接続マニュアル」（PDF版）をご覧ください。
PDF版「パソコン接続マニュアル」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。

データ通信

FOMA端末とパソコンを接続して利用できる通信形態は、データ転送（OBEX™通信）、パケット通信、64Kデータ通信に分類されます。

- パソコンと接続してパケット通信や64Kデータ通信を行ったり、電話帳などのデータを編集したりするには、付属のCD-ROMからソフトのインストールや各種設定を行う必要があります。
- FOMA端末は、FAX通信やRemote Wakeupには対応しておりません。
- ドコモのPDAのsigmarionⅢと接続してデータ通信が行えます。

データ転送（OBEX™通信）

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02
microSDカード→p.266
ドコモケータイdatalink→p.331

パケット通信

インターネットに接続してデータ通信（パケット通信）を行います。

送受信したデータ量に応じて課金されるため、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないため、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。

ドコモのインターネット接続サービスmopera Uなど、FOMAパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大384kbps、送信最大64kbpsの高速パケット通信ができます。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です。

画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロードなど、データ量の多い通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

※ 受信最大384kbps、送信最大64kbpsとは技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。

64Kデータ通信

インターネットに接続して64Kデータ通信を行います。

データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるため、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。

ドコモのインターネット接続サービスmopera Uなど、FOMA64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDN同期64Kアクセスポイントを利用できます。

長時間通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

ご利用になる前に

動作環境

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は、次のとおりです。パソコンのシステム構成により異なる場合があります。

項　目	必要環境
パソコン本体	USBポート（USB仕様1.1／2.0に準拠）※を持つPC/AT互換機 ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color16ビット以上を推奨
OS（各日本語版）	Windows 2000 Windows XP Windows Vista
必要メモリ	Windows 2000：64MB以上 Windows XP：128MB以上 Windows Vista：512MB以上
ハードディスク容量	5MB以上の空き容量 • ドコモ コネクションマネージャは15MB以上の空き容量

※ 本FOMA端末は「USB2.0 High-Speed」には対応しておりません。

- OSをアップグレードした場合の動作は保証いたしかねます。
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用について、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に、次の機器が必要です。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）
- 付属のCD-ROM「F-07A用CD-ROM」

※ パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため利用できません。

※ USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料

パソコンでインターネットを利用する場合、ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）の利用料が必要です。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。詳細はご利用のプロバイダにお問い合わせください。

- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uがご利用いただけます。mopera Uは、お申し込みが必要な有料サービスです。

接続先（プロバイダなど）

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- moperaのサービス内容および接続設定方法については、moperaのホームページをご覧ください。
  http://www.mopera.net/mopera/index.html

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要です。

- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA64Kデータ通信またはISDN同期64Kに対応していること

※ 上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状態が悪かったりするときは通信できない場合があります。

データ転送（OBEX™通信）の準備の流れ

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02（別売）をご利用になる場合には、FOMA通信設定ファイルをインストールしてください。

FOMA通信設定ファイルをダウンロード、インストールする
・付属のCD-ROMからインストール
・ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

▼

データ転送

データ通信の準備の流れ

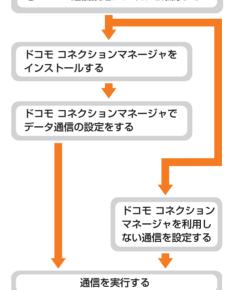
パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。

① FOMA通信設定ファイルをダウンロード、インストールする
・付属のCD-ROMからインストール
・ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

▼

② パソコンとFOMA端末を接続する

▼

③ FOMA通信設定ファイルを確認する

CD-ROMを利用する

付属のCD-ROMには、FOMA端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、PDF版「パソコン接続マニュアル」、PDF版「区点コード一覧」などが収録されています。詳細は、付属のCD-ROMをご覧ください。

・CD-ROMをパソコンにセットすると、Internet Explorerのセキュリティの設定による警告画面が表示される場合がありますが、使用には問題ありません。「はい」をクリックしてください。

ドコモケータイdatalinkの紹介

「ドコモケータイdatalink」は、お客様の携帯電話の電話帳やメールなどをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しております。詳細およびダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。また、付属のCD-ROMから下記サイトへのアクセスも可能です。

http://datalink.nttdocomo.co.jp/

ダウンロード方法、転送可能なデータ、動作環境、インストール方法、操作方法などの詳細については、上記ホームページをご覧ください。また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。
なお、ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、別途USB接続ケーブル（別売）が必要となります。

付録／困ったときには

外部機器との連携

困ったときには

メニュー一覧

- オレンジ色の文字は、各種設定リセットを行うとお買い上げ時の状態に戻るメニューです。
- 音声でメニューの説明を聞くことができます。→p.129

メニュー			お買い上げ時	参照先
1電話帳を使う履歴を見る	1電話してきた相手を見る		−	p.54
	2電話をかけた相手を見る		−	p.54
	3電話帳の内容を見る		50音順検索	p.76
	4電話帳に登録する		−	p.71
	5電話帳のグループを設定する	1グループ名を変更する	−	p.74
		2グループ専用電話着信音を選ぶ	[グループ1〜30] 着信音設定：専用設定なし	p.74
		3グループ専用メール着信音を選ぶ	[グループ1〜30] 着信音設定：専用設定なし	p.74
	6自分の電話番号を見る		名称未登録 ご契約電話番号	p.47
	7電話帳の登録件数を見る		−	p.88
2メールを使う	1受信したメールを見る		−	p.160 p.185
	2メールを作る		−	p.138 p.141
	3例文を使ってメールを作る		−	p.145
	4未送信のメールを見る		−	p.155
	5送信したメールを見る		−	p.155
	6メールがあるか問合せる	1メール･メッセージを受信する	−	p.159
		2メール選択受信を行う	−	p.158
		3問合せ内容を選ぶ	すべて選択	p.159
	7メールアドレスを確認・変更する		−	p.138
	8メールを設定する	1メールに付ける署名を登録する	−	p.171
		2例文を編集する	−	p.146
		3メール選択受信を設定する	利用しない	p.157
		4らくらく返信を設定する	利用する	p.171
		5らくらく返信の本文を編集する	了解しました。 今から帰ります。 後で連絡します。 遅くなります。 ありがとうございます。 ごめんなさい。	p.171

メニュー				お買い上げ時	参照先
		6メールの振り分けを設定する		[自動振分け設定] 受信メール、送信メール： 振り分ける [受信振分け条件、送信振分け条件] ー	p.168
		7エリアメールを設定する	1エリアメールの利用を設定する	利用する	p.179
			2エリアメールの受信登録を設定する	ー	p.179
			3エリアメールのブザーを設定する	ブザー音設定：従う 鳴らす時間：10秒	p.180
		8メールを送受信した人を見る	1最近送信した人を見る	ー	p.195
			2最近受信した人を見る	ー	p.195
		9受信する添付種別を選ぶ		すべて選択	p.172
		0添付のメロディを自動演奏する		自動演奏する	p.172
		＊未読メッセージを自動で表示する		メッセージR優先	p.174
	9SMSを使う	1SMSを作る		ー	p.180
		2届いているSMSを受信する		ー	p.184
		3SMSを設定する		送信文字種：日本語 送達通知：要求しない 有効期間：3日 SMSC：ドコモ アドレス： 81903101652 Type of Number： international	p.189
		4FOMAカードの受信SMSを見る		ー	p.187
		5FOMAカードの送信SMSを見る		ー	p.187
3写真・ビデオを撮る・見る	1写真を撮影する			ー	p.232
	2写真・画像を見る			ー	p.248
	3ビデオを撮影する			ー	p.234
	4ビデオを見る　録音音声を聞く			ー	p.254
4ｉモードを使う	1ｉMenuを見る			ー	p.200
	2ブックマークを見る			ー	p.208
	3最後に表示したサイトを見る			ー	p.202
	4インターネットに接続する	1URLを入力して接続する		http://	p.206
		2サイトの入力履歴から接続する		ー	p.206
	5画面メモを見る			ー	p.211
	6メッセージを見る	1メッセージRを見る		ー	p.174
		2メッセージFを見る		ー	p.174
		3メール･メッセージを受信する		ー	p.159
	7ｉチャネルを見る			ー	p.226

メニュー				お買い上げ時	参照先
	8 iチャネルを設定する	1 iチャネルの表示を設定する		表示設定：表示する 表示速度：標準速度で表示	p.227
		2 iチャネルボタンを設定する		利用する	p.227
		3 iチャネルを初期化する		−	p.227
	9 iモードを設定する	1 文字の大きさを選ぶ		標準の大きさ	p.217
		2 画像表示・照明を設定する		画像：表示する 照明設定：常に点灯 効果音設定、アニメーション：再生する 端末情報利用：利用する	p.217
		3 iモーションの再生を設定する		自動再生する	p.225
		4 接続先番号を設定する		iモード	p.218
		5 証明書の表示と使用を設定する※1		すべて有効	p.219
		6 ユーザ証明書を操作する		−	p.220
		7 証明書の発行先を変更する		接続先：ドコモ	p.222
5 便利なツールを使う	1 メモを使う			−	p.307
	2 お知らせタイマーを使う			3分	p.295
	3 ボイスレコーダを使う			−	p.284
	4 赤外線を使う	1 赤外線で受信する		−	p.283
		2 赤外線で全件受信する		−	p.283
		3 赤外線で全件送信する		−	p.281
	5 伝言メモ・通話メモを使う	1 伝言メモを使う	1 伝言メモを再生する	−	p.66
			2 伝言メモを開始／停止する	停止する	p.64
			3 伝言メモ呼出時間を設定する	13秒	p.65
			4 伝言メモの応答メッセージを選ぶ	標準	p.65
		2 通話音声メモを使う	1 通話音声メモを再生する	−	p.66
			2 通話音声メモを開始／停止する	開始する	p.54
	6 microSDカードを使う	1 電話帳の保存をお知らせする		通知する	p.90
		2 microSDカードにデータを保存する		−	p.272
		3 microSDカードのデータを復元する		−	p.272
		4 microSDカードの内容を見る		−	p.276
		5 microSDカードの情報を更新する		−	p.270
		6 microSDカードを初期化する		−	p.270
		7 microSDカードをチェックする		−	p.271
	7 手書きメモを使う			−	p.234
	8 拡大鏡を使う			−	p.234
	9 バーコードを読取る			−	p.243
6 目覚まし・予定表を使う	1 目覚ましを使う			−	p.295
	2 予定を見る・登録する			−	p.297
	3 予定の登録件数を見る			−	p.300
	4 通知の時刻に電源を入れる			入れない	p.294
7 電卓を使う				−	p.303

メニュー				お買い上げ時	参照先
8 歩数計を使う	1 歩数の履歴を表示する			―	p.289
	2 一日の歩行情報を表示する			―	p.289
	3 歩数の自動送信メールを設定する			送信先アドレス：設定なし 歩数計サービス：利用しない	p.290
	4 歩数計の利用／停止を設定する			利用する（歩幅：50cm 体重：50kg）	p.288
	5 歩数の履歴を削除する			―	p.290
	6 今日の歩数を削除する			―	p.290
9 設定を行う	1 画面の設定を行う	1 待受画面の表示を設定する		画像を表示（ホライズン）	p.98
		2 メニュー形式と配色を設定する		メニュー形式：リスト 画面の配色：青	p.100
		3 画面の明るさを設定する		自動で調整	p.100
		4 背面画面の表示を設定する	1 背面画面の時計表示を設定する	読上ボタンで切替	p.99
			2 背面画面の着信表示を設定する	表示する	p.99
			3 背面画面の照明を設定する	点灯する	p.99
	2 電話着信時の設定を行う	1 電話着信時の着信音を選ぶ		着信音設定：鳴らす 着信音：着信音1	p.92
		2 電話着信時の音量を調節する		呼出音量：音量4 自動音量設定：大きくする	p.94
		3 電話着信時の振動を選ぶ		振動させない	p.95
		4 ダイヤル／決定ボタンで着信を受ける		応答しない	p.60
	3 メール・メッセージの受信設定を行う	1 メール・メッセージ受信時の音を選ぶ	1 メール受信時の音を選ぶ	メール着信音設定：鳴らす 着信音：着信音2 鳴らす時間：10秒	p.93
			2 メッセージ受信時の音を選ぶ	[メッセージR、メッセージF] 着信音設定：鳴らす 着信音：着信音2 鳴らす時間：10秒	p.93
		2 メール・メッセージ受信音量を調節する		音量4	p.94
		3 メール・メッセージ受信時の振動を選ぶ	1 メール受信時の振動を選ぶ	振動させない	p.95
			2 メッセージ受信時の振動を選ぶ	[メッセージR、メッセージF] 振動させない	p.95
	4 相手の声の音量を調節する			音量4	p.95
	5 ボタンを押した時の音を設定する			鳴らす	p.96
	6 音声読み上げを使う	1 音声読み上げを設定する		動作：なし 声質：女声 速さ：2 音量：4	p.130
		2 音声読み上げの単語を登録する		―	p.134

メニュー					お買い上げ時	参照先
	3 音声読み上げの送出先を選ぶ				スピーカー	p.131
	4 マナーモード中に読み上げを行う				読み上げる	p.131
7 音声で呼出す機能を登録する					―	p.127
8 時計を設定する	1 日付と時刻を設定する				自動で設定する	p.44
	2 待受画面の時計を設定する				待受時計表示：大きく表示 表示形式：24時間形式	p.101
9 その他の設定を行う	1 発信者番号通知を使う	1 発信者番号通知を設定する			―	p.46
		2 発信者番号通知設定を確認する			―	p.46
	2 ネットワークサービスを使う ※2	1 留守番サービスを使う	1 留守番メッセージを再生する		―	p.322
			2 メッセージがあるか問合せる		―	p.322
			3 留守番サービスを開始する		―	p.322
			4 留守番サービスを停止する		―	p.322
			5 留守番サービスの詳細を設定する		―	p.322
			6 留守番呼出時間を設定する		―	p.322
			7 留守番サービスの設定を確認する		―	p.322
			8 着信通知を使う	1 着信通知を開始する	―	p.322
				2 着信通知を停止する	―	p.322
				3 着信通知の設定を確認する	―	p.322
		2 キャッチホンを使う	1 キャッチホンを開始する		―	p.323
			2 キャッチホンを停止する		―	p.323
			3 キャッチホンの設定を確認する		―	p.323
		3 転送サービスを使う	1 転送サービスを開始する		―	p.323
			2 転送サービスを停止する		―	p.323
			3 転送先を変更する		―	p.323
			4 転送先が通話時の設定をする		―	p.323
			5 転送サービスの設定を確認する		―	p.323
		4 迷惑電話ストップを使う	1 迷惑電話着信拒否を登録する		―	p.324
			2 着信拒否する番号を登録する		―	p.324

メニュー						お買い上げ時	参照先
				3 迷惑電話登録を全件削除する		—	p.324
				4 迷惑電話登録を1件削除する		—	p.324
				5 拒否登録件数を確認する		—	p.324
			5 番号通知お願いサービスを使う	1 番号通知お願いサービスを開始する		—	p.324
				2 番号通知お願いサービスを停止する		—	p.324
				3 番号通知お願いサービスを確認する		—	p.324
			6 電話帳お預かりサービスを使う	1 お預かりセンターに接続する		—	p.119
				2 通信履歴を表示する		—	p.121
			7 通話中着信設定を使う	1 通話中着信設定を開始する		—	p.326
				2 通話中着信設定を停止する		—	p.326
				3 通話中着信設定を確認する		—	p.326
			8 通話中着信動作を選ぶ			通常着信する	p.326
			9 その他のサービスを使う	1 遠隔操作設定を使う	1 遠隔操作を開始する	—	p.326
					2 遠隔操作を停止する	—	p.326
					3 遠隔操作の設定を確認する	—	p.326
				2 英語ガイダンスを使う	1 ガイダンスを設定する	—	p.325
					2 ガイダンスの設定を確認する	—	p.325
				3 デュアルネットワークを使う	1 デュアルネットワークを切替える	—	p.325
					2 デュアルネットワークの状態を確認する	—	p.325
				4 サービスダイヤルを使う	1 ドコモ総合案内・受付に電話する	—	p.325
					2 ドコモ故障問合せ窓口に電話する	—	p.325
					3 海外紛失窓口に電話する（有料）※3	—	p.325

メニュー						お買い上げ時	参照先
					4 海外故障窓口に電話する（有料）※3	—	p.325
				5 スキャン機能を使う	1 パターンデータを更新する	—	p.391
					2 パターンデータ自動更新設定を行う	—	p.390
					3 スキャン機能を設定する	スキャン機能、メッセージスキャン：有効	p.389
					4 パターンデータの版数を確認する	—	p.393
				6 ソフトウェアを更新する		—	p.380
		3 文字入力の設定を行う	1 文字の入力方法を設定する			有効にする	p.318
			2 よく使う単語を登録する			—	p.317
			3 よく使う定型文を登録する			—	p.315
		4 電話・電話帳の詳細を設定する	1 着信を拒否する相手を指定する※4			—	p.115
			2 着信を許可する相手を指定する※4			—	p.115
			3 電話帳登録外の着信を拒否する			許可する	p.119
			4 発番号なしの着信動作を選ぶ			［非通知設定、通知不可能、公衆電話］設定を解除	p.117
			5 イヤホンを設定する	1 イヤホン接続時の着信動作を選ぶ		応答方法：手動	p.306
				2 イヤホンスイッチの動作を設定する		イヤホンスイッチ動作：発信しない	p.304
			6 オートスピーカーホンを設定する			解除する	p.60
			7 無音着信時間を設定する			無音着信動作：設定しない	p.118
			8 通話中に自分の番号を表示する			表示する	p.54
			9 メロディコールを設定する			—	p.96
		5 音を設定する	1 充電開始と完了を音で通知する			知らせる	p.96
			2 電池残量の警告を音で通知する			鳴らす	p.41
			3 イヤホン利用時の切替を選ぶ			イヤホンとスピーカー	p.306
			4 通話状態が悪い時の音を選ぶ			鳴らさない	p.96
			5 再接続した時の音を選ぶ			鳴らさない	p.97
			6 メロディの一覧を見る			—	p.262
		6 新着お知らせを設定する				通知する	p.101
		7 情報の表示やリセットを行う	1 通話時間を見る			—	p.301
			2 通話料金を見る			—	p.302
			3 通話時間をリセットする			—	p.302
			4 通話料金をリセットする			—	p.303
			5 電池残量を確認する			—	p.40
			6 通信状態を表示する			—	p.44

メニュー				お買い上げ時	参照先
			7設定を初めの状態に戻す	―	p.122
			8本体内データを全て削除する	―	p.122
			9ソフトを最新にする	―	p.320
		8操作の制限をする	1開閉ロックを設定する	解除する	p.114
			2全ての操作を制限する	―	p.108
			3セルフモードを設定する	解除する	p.110
			4シークレットモードに設定する	解除する	p.111
			5電話の履歴表示を制限する	制限しない	p.111
			6個人の情報表示を制限する	制限しない	p.112
			7暗証番号を変更する	0000	p.105
			8FOMAカードのPINコードを設定する	［PIN1コード変更、PIN2コード変更］0000 ［PIN1コード使用］使用しない	p.106
			9ダイヤル入力での発信を制限する	制限しない	p.113
		9設定時刻に電源を入／切する	1電源が入る時刻を設定する	自動電源入：停止する	p.293
			2電源が切れる時刻を設定する	自動電源切：停止する	p.293
0自分の電話番号を見る				名称未登録 ご契約電話番号	p.47

※1 各種設定リセットを行うと、FOMAカードに保存されている証明書もすべて有効になります。
※2 ネットワークサービスについては『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
※3 本FOMA端末は海外では利用できません。
※4 各種設定リセットを行っても、着信拒否／許可一覧の登録内容はリセットされません。

着信音用メロディ

メロディ（［　］内は作曲者名）	
着信音1～9	穏やか着信音1～2
でか着信音	川の流れのように［見岳　章］
幻想即興曲［Fryderyk Franciszek Chopin］	交響曲第7番［Ludwig van Beethoven］
威風堂々［Edward Elgar］	ラデツキー行進曲［Johann Strauss］
ホルン協奏曲第一番二長調 k412［Wolfgang Amadeus Mozart］	おもちゃの兵隊のマーチ［Leon Jessel］
水族館［Charles Camille Saint-Saens］	ジュピター［Gustav Holst］
アメージンググレース［アメリカ民謡］	エンターテイナー［Scott Joplin］
ドアチャイム	自転車ベル
鳩時計	ヒグラシのなき声
うぐいす	風鈴
フルート	アナウンス
黒電話の音	ドラマの電話音
現代の電話音	記憶の電話音
オフィスの電話音	近未来の電話音
異国の電話音	電話です
メールです	起きて下さい
目覚まし1～3	予定の時刻です

許諾番号：T-0910061

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧

ボタン	ひらがな／漢字入力モード※1	半角カタカナ入力モード	半角英字入力モード	半角数字入力モード※2
1	あ い う え お 1	ア イ ウ エ オ 1	. ／ @ ˜ − : _ [¥] ˆ ` { | } 1	1
2	か き く け こ 2	カ キ ク ケ コ 2	a b c 2	2
3	さ し す せ そ 3	サ シ ス セ ソ 3	d e f 3	3
4	た ち つ て と 4	タ チ ツ テ ト 4	g h i 4	4
5	な に ぬ ね の 5	ナ ニ ヌ ネ ノ 5	j k l 5	5
6	は ひ ふ へ ほ 6	ハ ヒ フ ヘ ホ 6	m n o 6	6
7	ま み む め も 7	マ ミ ム メ モ 7	p q r s 7	7
8	や ゆ よ 8	ヤ ユ ヨ 8	t u v 8	8
9	ら り る れ ろ 9	ラ リ ル レ ロ 9	w x y z 9	9
0	わ を ん ー 、 。 ・ ？ ！ 「 」 □ 0	ワ ヲ ン ー 、 。 ・ ？ ！ 「 」 □ 0	! ” # $ % & ’ ( ) ＊ + , ; < = > ? □ 0	0 +※3
＊	大文字と小文字の切り替え 濁点、半濁点の付加	大文字と小文字の切り替え 濁点、半濁点の付加	大文字と小文字の切り替え	＊ P※3
#	↵（改行）	↵（改行）	↵（改行）	# T※3

□：空白を示します。

（色付き）：ボタンを押し続けても大文字と小文字が切り替わります。ただし、「わ」を入力した場合は＊を押した場合のみ大文字と小文字が切り替わります。

※1 数字は半角で入力されます。

※2 半角数字入力モードの「P」「T」「+」「#」「＊」は、これらの文字が有効な入力欄のみ入力できます。

※3 該当するボタンを1秒以上押すと入力できます。

特殊記号一覧

ひらがな／漢字入力モードで読みを入力して変換してください。→p.311

読　み	入力文字
あーる	Ｒｒ㌃
あい	Ｉｉ
あすたりすく	＊
あすてりすく	＊
あっとまーく	＠
あるふぁ	Αα
あるふぁー	Αα
あんだーばー	＿
あんど	＆
あんぱさんど	＆
いー	Ｅｅ
いーた	Ηη
いおた	Ιι
いこーる	＝
いち	①Ⅰ
いぷしろん	Εε
うぷしろん	Υυ
えい	Ａａ
えいち	Ｈｈ
えー	Ａａ
えす	Ｓｓ
えっくす	Ｘｘ
えっち	Ｈｈ
えぬ	Ｎｎ
えふ	Ｆｆ
えむ	Ｍｍ
える	Ｌｌ
えん	￥
おう	Ｏｏ
おー	Ｏｏ
おーむ	Ωω
おす	♂
おなじ	々〃
おみくろん	Οο
おめが	Ωω
おんぐすとろーむ	Å
おんぷ	♪
かい	Χχ
かける	×
かっこ	「」『』【】‘’ “”（）〔〕［］ ｛｝〈〉《》
かっぱ	Κκ

読　み	入力文字
かぶ	㈱
かぶしきがいしゃ	㈱㍿
から	〜
かろりー	㌍
がんま	Γγ
がんまー	Γγ
きー	Χχ
きごう	＜＞＠／〃 ±々×≠÷ ≦≧∴§＼ ∞∧∈∨¬ ∋∀⊆⊇∃ ∠⊂⊥⊃⌒ ∪∩∂⊿∇ Σ≡≒∮≪ 〃″≫∟√ ∽∝∵∫∬ Å‰†‡¶
きゅー	Ｑｑ
きゅう	⑨Ⅸ
きろ	㌔
きろぐらむ	㎏
きろめーとる	㎞
く	⑨Ⅸ
くさい	Ξξ
ぐざい	Ξξ
くしー	Ξξ
ぐらむ	㌘
くろぼし	★
くろまる	●
けい	Ｋｋ
けー	Ｋｋ
ご	⑤Ⅴ
ごうどう	≡
こめ	※
こめじるし	※
ころん	：
さん	③Ⅲ
さんかく	△▲▽▼
し	④Ⅳ
しー	Ｃｃ
じー	Ｇｇ
しーしー	㏄
しーた	Θθ

読　み	入力文字
じーた	Ζζ
じぇい	Ｊｊ
じぇー	Ｊｊ
しかく	□■◇◆
しぐま	Σσ
しち	⑦Ⅶ
しめ	〆
しゃーぷ	＃
しゃせん	／＼
じゅう	⑩Ⅹ
じゅういち	⑪
じゅうきゅう	⑲
じゅうく	⑲
じゅうご	⑮
じゅうさん	⑬
じゅうし	⑭
じゅうしち	⑰
じゅうなな	⑰
じゅうに	⑫
じゅうはち	⑱
じゅうよん	⑭
じゅうろく	⑯
しょうなり	＜
しょうわ	㍼
しろぼし	☆
しろまる	○
ずけい	☆★○●◎ ◇◆□■△ ▲▽▼
すらっしゅ	／＼
ぜーた	Ζζ
せくしょん	§
せっし	℃
ぜっと	Ｚｚ
せみころん	；
せんち	㎝㌢
せんちめーとる	㎝
せんと	￠㌣
だい	㈹
たいしょう	㍽
だいなり	＞
だいひょう	㈹
たう	Ττ

読　み	入力文字
だがー	†
だくてん	゛
たす	＋
だぶりゅ	Ｗｗ
だぶりゅー	Ｗｗ
だぶるだがー	‡
たんい	° ′ ″ ℃ ￥ ＄ ￠ ￡ ％
てぃー	Ｔ ｔ
でぃー	Ｄ ｄ
てー	Ｔ ｔ
でー	Ｄ ｄ
でるた	Δ δ
てん	、，…‥．’ ” ‘ “ ヽ ヾ ゝ ゞ 、 ` ' "
てんてん	‥ …
でんわ	℡
ど	℃ °
どう	々 〃 仝
どしー	℃
どる	＄ ㌦
とん	㌧
ないし	～
なぜならば	∵
なな	⑦ Ⅶ
なみ	～
なんばー	№
に	② Ⅱ
にじゅう	⑳
にじゅうまる	◎
にゅー	Ｎ ν
のま	々
ぱーせんと	％ ㌫
ぱーみる	‰
ぱい	Π π
はいふん	－

読　み	入力文字
はち	⑧ Ⅷ
ばつ	×
はてな	？
はんだくてん	゜
びー	Ｂ ｂ
ぴー	Ｐ ｐ Π π
ひく	－
ひしがた	◇◆
びっくり	！
びょう	″
ふぁい	Φ φ
ぶい	Ｖ ｖ
ふぃー	Φ φ
ぷさい	Ψ ψ
ぷしー	Ψ ψ
ふとうごう	＜ ＞ ≦ ≧ ≠ ≪ ≫
ぷらす	＋
ぷらすまいなす	±
ふらっと	♭
ふん	′
へいせい	㍻
へいほうめーとる	㎡
ぺーじ	㌻
べーた	Ｂ β
べーたー	Ｂ β
へくたーる	㌶
ほし	☆★※
ぽんど	￡
まいなす	－
まる	○ ● ◎ 。 ． ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㊤ ㊥ ㊦ ㊧ ㊨

読　み	入力文字
みゅー	Ｍ μ
みり	㎜ ㍉
みりぐらむ	㎎
みりばーる	㍊
みりめーとる	㎜
むげん	∞
むげんだい	∞
めいじ	㍾
めーとる	㍍
めす	♀
やじるし	→←↑↓ ⇒ ⇔
ゆう	㈲
ゆー	Ｕ ｕ
ゆうげんがいしゃ	㈲
ゆうびん	〒
ゆうびんばんごう	〒
ゆえに	∴
ゆぷしろん	Υ υ
よん	④ Ⅳ
らむだ	Λ λ
りっとる	㍑
ろー	Ｐ ρ
ろく	⑥ Ⅵ
わい	Ｙ ｙ
わっと	㍗
わる	÷

※ 実際の表示と異なるものがあります。

※ 入力文字には、全角のみ、半角のみ、全角と半角の両方が存在するものがあります。

絵文字読み上げ一覧

ひらがな／漢字入力モードで読みを入力して変換してください。→p.311
音声読み上げの動作を「自動で読み上げ」に設定しているとき（→p.130）に、入力した絵文字や変換候補一覧の絵文字を選択したり、絵文字を入力変換して確定したりした場合の読み上げを記載しています。

読　み	変換	音声読み上げ
はーと、あい、こころ、すき、らぶ		はーとまーく
はーと、あい、こころ、どきどき、すき、らぶ、ゆれるはーと		ゆれるはーとまーく
はーと、しつれん、ふられた、わかれた、しょっく		しつれんまーく
はーと、あい、こころ、すき、らぶ、はーとたち		ふくすうはーとまーく
かお、えがお、わらう、わらい、わーい、うれしい、にこにこ		わーいまーく
かお、おこる、いかり、ぷん、ちっ		ぷんぷんまーく
かお、かなしい、こまった、ごめん、がく		がくーまーく
かお、かなしい、こまった、さいあく、もうやだ		もうやだーまーく
かお、だめ、ふら		ふらふらまーく
どうぶつ、いぬ		いぬまーく
どうぶつ、ねこ		ねこまーく
てんき、はれ、たいよう		はれまーく
てんき、くもり、くも		くもりまーく
てんき、あめ、かさ		あめまーく
てんき、ゆき、ゆきだるま		ゆきまーく
てんき、かみなり、いかずち、いかづち、でんき		かみなりまーく
てんき、うずまき、たいふう、あらし、ぐるぐる、くるくる、めまい		たいふうまーく
てんき、きり、あめ		きりまーく
てんき、こさめ、あめ、かさ		こさめまーく
おんぷ、おんがく、うた、るん		るんるんまーく
おんぷ、おんがく、うた、さんれんぷ、るん、むーど		むーどまーく
おんせん、ふろ、おふろ、いいきぶん		おんせんまーく
はな、かわいい		かわいいまーく
きす、きっす、くちびる、くち、ちゅ、ちゅう、ちゅー、きすまーく		ちゅっまーく
きらきら、ぴかぴか		ぴかぴかまーく
でんきゅう、ぴか、あいであ、あいでぃあ、ひらめき		ひらめきまーく
いかり、おこる、おこり、きれる、むかつく、むか		むかっまーく
がんばる、がんばれ、ぱんち、ぐー、ぐう		ぱんちまーく
ばくだん、ばくはつ		ばくだんまーく
おやすみ、すいみん、ねる、ねむい、ぐー、ずー、ぐう、ずう	zzz	ねむいまーく
びっくり、あっ、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん	!	びっくりまーく
びっくり、ほんと、えっ、えー、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん	!?	びっくりはてなまーく
びっくり、ちょー、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん	!!	にじゅうびっくりまーく
しょっく、ぐらぐら、どん		どーんまーく

読　み	変換	音声読み上げ
あせ、あせる、ひやあせ		あせあせまーく
あせ、あせる、ひやあせ、なみだ、だらー、たらー		あせたらーっまーく
いそぐ、いそげ、だっしゅ、ためいき、ふぅ、ふう、ふー、はしる		だっしゅまーく
のばす、ちょうおん、ちょーおん	〰	うーまーく
のばす、くるり、ちょうおん、ちょーおん	➰	うーんまーく
おっけー、おーけー、おーけい、おうけい、けってい	OK	けっていまーく
やじるし、みぎうえ、あがる、あげる、あっぷ、みぎななめうえ	↗	みぎななめうえやじるしまーく
やじるし、みぎした、さがる、さげる、だうん、みぎななめした	↘	みぎななめしたやじるしまーく
やじるし、ひだりうえ、あがる、あげる、あっぷ、ひだりななめうえ	↖	ひだりななめうえやじるしまーく
やじるし、ひだりした、さがる、さげる、だうん、ひだりななめした	↙	ひだりななめしたやじるしまーく
やじるし、ぐっど、あがる、あげる、ぐっと	⤴	ぐっどまーく
やじるし、ばっど、さがる、さげる、ばっと	⤵	ばっどまーく
かお、め、からだ		めまーく
かお、みみ、からだ		みみまーく
ぐー、ぐう、じゃんけん、て、こぶし、ぱんち、からだ		ぐーまーく
ちょき、じゃんけん、て、ぴーす		ちょきまーく
ぱー、ぱあ、じゃんけん、て、ばい、さんせい		ぱーまーく
あし、あしあと、あるく、とほ、からだ、きっく、けり、ける		あしまーく
とらんぷ、はーと、あい、こころ	♥	はーとまーく
とらんぷ、すぺーど	♠	すぺーどまーく
とらんぷ、だいや	♦	だいやまーく
とらんぷ、くらぶ	♣	くらぶまーく
のりもの、こうつう、でんしゃ、れっしゃ、えき		でんしゃまーく
のりもの、こうつう、ちかてつ、えむ	M	ちかてつまーく
のりもの、こうつう、しんかんせん、のぞみ、ひかり、こだま		しんかんせんまーく
のりもの、こうつう、じどうしゃ、くるま、たくしー、どらいぶ、せだん		せだんまーく
のりもの、こうつう、じどうしゃ、くるま、たくしー、どらいぶ、あーるぶい		あーるぶいまーく
のりもの、こうつう、ばす		ばすまーく
のりもの、こうつう、ふね、ふぇりー、こうかい		ふねまーく
のりもの、こうつう、ひこうき、じぇっと、じぇっとき、ふらいと、くうこう		ひこうきまーく
のりもの、よっと、ふね、りぞーと		りぞーとまーく
つりー、くりすます、き		くりすますまーく
いえ、うち、おうち、じたく		いえまーく
びる、かいしゃ、しょくば、がっこう		びるまーく
ゆうびん、ゆうびんきょく、ぽすと		ゆうびんきょくまーく
びょういん、びょうき、けが		びょういんまーく
ぎんこう、ばんく	BK	ぎんこうまーく

読　み	変換	音声読み上げ
えーてぃーえむ、えいてぃえむ、ぎんこう	ATM	えーてぃーえむまーく
ほてる	H	ほてるまーく
こんびに、こんびにえんす、こんびにえんすすとあ	CVS	こんびにまーく
がそりんすたんど、がそりん、がすすた、すたんど	GS	がそりんすたんどまーく
ちゅうしゃじょう、ちゅうしゃ、ぱーきんぐ	Ⓟ	ちゅうしゃじょうまーく
しんごう、しんごうき		しんごうまーく
といれ、かっぷる、でーと、けっこん		といれまーく
しょくじ、ごはん、れすとらん、ふぁみれす		れすとらんまーく
こーひー、どりんく、のみもの、かっぷ、こっぷ、きっさてん、さてん、おちゃ		きっさてんまーく
かくてる、おさけ、さけ、ばー		ばーまーく
びーる、おさけ、さけ、いざかや、のみかい、こんぱ、かんぱい		びーるまーく
はんばーがー、ばーがー、けいしょく、ふぁーすとふーど		ふぁーすとふーどまーく
はいひーる、ひーる、くつ、あし		ぶてぃっくまーく
はさみ、かっと、びよういん、びようしつ、さんぱつ、とこや		びよういんまーく
まいく、からおけ、うた、うたう		からおけまーく
えいが、えいがかん、しねま、かめら、さつえい、びでお		えいがまーく
うま、けいば、もくば、めりーごーらんど、ゆうえんち		ゆうえんちまーく
おんがく、おと、きく、へっどほん、へっどふぉん		おんがくまーく
え、あーと、げいじゅつ、びじゅつ、ぱれっと		あーとまーく
えんげき、ひと、しんし、ぼうし		えんげきまーく
いべんと、はた		いべんとまーく
ちけっと、きっぷ		ちけっとまーく
すぽーつ、うんどう、しゃつ、たんくとっぷ		すぽーつまーく
すぽーつ、うんどう、やきゅう、そふと、ぼーる、そふとぼーる		やきゅうまーく
すぽーつ、うんどう、ごるふ		ごるふまーく
すぽーつ、うんどう、てにす、たっきゅう、らけっと		てにすまーく
すぽーつ、うんどう、さっかー、ぼーる		さっかーまーく
すぽーつ、うんどう、すきー、すのーぼーど、ぼーど、すけーと、すのぼ、すべる		すきーまーく
すぽーつ、うんどう、ばすけっと、ばすけ、ばすけっとぼーる		ばすけっとまーく
すぽーつ、うんどう、ごーる、はた、れーす、えふわん、もーたーすぽーつ		もーたーすぽーつまーく
ぽけべる、ぽけっとべる、ぺーじゃー		ぽけべるまーく
たばこ、しがー、しがれっと、きつえん、いっぷく		きつえんまーく
たばこ、しがー、しがれっと、きんえん		きんえんまーく
かめら、しゃしん、さつえい、げきしゃ		かめらまーく
かばん、ばっぐ、てさげ、りょこう		かばんまーく
ほん、のーと、しょしんしゃ		ほんまーく
りぼん、ちょうねくたい、ねくたい、あめ		りぼんまーく
ぷれぜんと、たんじょうび、おくりもの		ぷれぜんとまーく
ろうそく、きゃんどる、たんじょうび、ばーすでい、ばーすでー		ばーすでーまーく
でんわ、くろでん、てれふぉん、てれほん、てる、てれ		でんわまーく

読　み	変換	音声読み上げ
けいたいでんわ、けいたい、けーたい、でんわ、ぴっち、ふぉーん、ふぉん		けいたいでんわまーく
めーる、てがみ		めーるまーく
めも、しょるい、れぽーと、しゅくだい、しけん		めもまーく
てれび、がめん、ばんぐみ		てれびまーく
げーむ、こんとろーら		げーむまーく
しーでぃー、あるばむ、しんぐる、でぃすく		しーでぃーまーく
くつ、しゅーず、すにーかー、あし		くつまーく
めがね		めがねまーく
くるまいす		くるまいすまーく
せいざ、おひつじざ、おひつじ		おひつじざまーく
せいざ、おうしざ、おうし		おうしざまーく
せいざ、ふたござ、ふたご、すなどけい		ふたござまーく
せいざ、かにざ、かに		かにざまーく
せいざ、ししざ、しし		ししざまーく
せいざ、おとめざ、おとめ		おとめざまーく
せいざ、てんびんざ、てんびん、おもち、もち		てんびんざまーく
せいざ、さそりざ、さそり		さそりざまーく
せいざ、いてざ、いて、あがる、あっぷ		いてざまーく
せいざ、やぎざ、やぎ		やぎざまーく
せいざ、みずがめざ、みずがめ、なみ		みずがめざまーく
せいざ、うおざ、うお、さかな		うおざまーく
つき、しんげつ、まる		しんげつまーく
つき		かけづきまーく
つき、はんげつ		はんげつまーく
つき、みかづき		みかづきまーく
つき、まんげつ、まる		まんげつまーく
でんわ、けいたいでんわ、けいたい、けーたい、ふぉーん、ふぉん、ぴっち、ちゃくしん		でんわへまーく
めーる、てがみ、じゅしん		めーるへまーく
ふぁっくす、ふぁくす、じゅしん	FAX	ふぁっくすへまーく
あいもーど、あい、どこも		あいもーどまーく
あいもーど、あい、どこも		あいもーどまーく
どこもていきょう、でい、でー、でぃー		どこもていきょうまーく
どこもぽいんと、ぽいんと、でい、でー、でぃー		どこもぽいんとまーく
えん、かね、きんがく、ねだん、りょうきん		ゆうりょうまーく
ただ、むりょう、じゆう、ひま、ふりー	FREE	むりょうまーく
あいでぃ、あいでぃー、あいでー	ID	あいでぃーまーく
かぎ、きー、ひみつ、ぱすわーど、ろっく		ぱすわーどまーく
かいぎょう、まがる、つづく、つづき		つぎありまーく
さくじょ、しーえる、くりあ、くーる	CL	くりあまーく
さがす、しらべる、むしめがね、さーち		さーちまーく
にゅー、にゅう、あたらしい、しん	NEW	にゅーまーく

読　み	変換	音声読み上げ
はた、もくひょう、ごるふ、いちじょうほう、いち		いちじょうほうまーく
だいやる、だいある、ふりーだいやる、ふりーだいある		ふりーだいやるまーく
しゃーぷ	♯	しゃーぷだいやるまーく
もばきゅー、もばきゅう、しつもん、きゅう、きゅー		もばきゅーまーく
1、いち、すうじ、ばんごう	1	しかくいち
2、に、すうじ、ばんごう	2	しかくに
3、さん、すうじ、ばんごう	3	しかくさん
4、よん、し、すうじ、ばんごう	4	しかくよん
5、ご、すうじ、ばんごう	5	しかくご
6、ろく、すうじ、ばんごう	6	しかくろく
7、しち、なな、すうじ、ばんごう	7	しかくなな
8、はち、すうじ、ばんごう	8	しかくはち
9、きゅう、く、きゅー、すうじ、ばんごう	9	しかくきゅう
0、ぜろ、れい、すうじ、ばんごう	0	しかくぜろ
かちんこ、さつえい、すたーと、はこ		かちんこまーく
ふくろ、つぼ		ふくろまーく
ぺんさき、ぺん		ぺんまーく
はんこ、ひと、ひとかげ		ひとかげまーく
いす、ざせき、すわる		いすまーく
よる、よなか、しんや、れいと		よるまーく
すぐ、もうすぐ、すーん	SOON	すーんまーく
おん	ON!	おんまーく
おわり、えんど	END	えんどまーく
じかん、じこく、たいむ、とけい		とけいまーく
じてんしゃ、ちゃり、ちゃりんこ、のりもの		じてんしゃまーく
れんち、すぱな、こうぐ、どうぐ		れんちまーく
ぱそこん、ぴーしー、こんぴゅーた、こんぴゅーたー		ぱそこんまーく
えんぴつ、ぶんぼうぐ		えんぴつまーく
くりっぷ、ぶんぼうぐ、てんぷ		くりっぷまーく
やじるし、さゆう	↔	さゆうまーく
やじるし、じょうげ	↕	じょうげまーく
やじるし、りさいくる、かいてん、まわる		りさいくるまーく
えぬじー、だめ	NG	えぬじーまーく
ひみつ、まるひ	秘	まるひまーく
きんし、げんきん、だめ	禁	きんしまーく
くうしつ、くうせき、くうしゃ、あき、あく、から	空	くうしつまーく
ごうかく	合	ごうかくまーく
まんしつ、まんせき、まんしゃ、いっぱい、まんたん、ふる	満	まんしつまーく
けいこく、きけん、びっくり		きけんまーく
こぴーらいと、しー、まるしー	©	こぴーらいとまーく
とれーどまーく、てぃーえむ	™	とれーどまーく
れじすたーどとれーどまーく、とれーどまーく、あーる、まるあーる	®	れじすとれっどまーく
あいあぷり、あるふぁ、あぷり		あいあぷりまーく

読　み	変換	音声読み上げ
あいあぷり、あるふぁ、あぷり		あいあぷりまーく
どるぶくろ、どる、かね、おかね		どるぶくろまーく
うでどけい、とけい、うぉっち		うでどけいまーく
すなどけい、とけい		すなどけいまーく
おにぎり、おむすび、ごはん、おべんとう、べんとう		おにぎりまーく
けーき、しょーとけーき、でざーと、おかし、かし		しょーとけーきまーく
ぱん、ぶれっど		ぱんまーく
どんぶり、らーめん、めん、うどん、そば		どんぶりまーく
ゆのみ、おゆのみ、おちゃ、ちゃ		ゆのみまーく
とっくり、おちょこ、おさけ、さけ、にほんしゅ		とっくりまーく
わいんぐらす、わいん、おさけ、さけ		わいんぐらすまーく
ばなな、くだもの		ばななまーく
りんご、あっぷる、くだもの		りんごまーく
さくらんぼ、ちぇりー、くだもの		さくらんぼまーく
くろーばー、よつば、はっぱ		くろーばーまーく
ちゅーりっぷ、はな		ちゅーりっぷまーく
わかば、ふたば、はっぱ		わかばまーく
もみじ、こうよう、はっぱ		もみじまーく
さくら、はな		さくらまーく
かたつむり、まいまい、でんでんむし、どうぶつ、むし		かたつむりまーく
ひよこ、とり、どうぶつ		ひよこまーく
ぺんぎん、とり、どうぶつ		ぺんぎんまーく
さかな、おさかな、どうぶつ		さかなまーく
うま、どうぶつ		うままーく
ぶた、どうぶつ、ぶー		ぶたまーく
しゃつ、てぃーしゃつ、ふく、ようふく、てぃしゃつ		てぃーしゃつまーく
ずぼん、ぱんつ、じーぱん、じーんず、ふく、ようふく		じーんずまーく
けしょう、くちべに、るーじゅ、りっぷ		けしょうまーく
ゆびわ、あくせさりー、りんぐ		ゆびわまーく
おうかん、かんむり、おうさま		おうかんまーく
べる、ちゃぺる、かね		ちゃぺるまーく
どあ、とびら、と		どあまーく
がっこう、だいがく		がっこうまーく
なみ、うみ、つなみ、おおなみ		なみまーく
ふじさん、やま		ふじさんまーく
すぽーつ、うんどう、すのーぼーど、ぼーど、すのぼ、すべる		すのぼーまーく
すぽーつ、うんどう、はしる、にげる		はしるひとまーく
かお、こまる、うーむ、うーん、うむ、むすっ、かんがえる		むむまーく
かお、ほっ		ほっまーく
かお、ひやあせ、たらー、だらー、あせ、あせる		ひやあせまーく
かお、ひやあせ、たらー、だらー、あせ、あせる		ひやあせまーく
かお、おこる、ぷー、ぶー		ぷくっまーく
かお、ぼけー、しらー、しらけ		ぼけーまーく

読　み	変換	音声読み上げ
かお、はーと、らぶ、すき、わーい、うれしい		らぶらぶまーく
かお、あっかんべー、べー、いたずら		あっかんべーまーく
かお、うぃんく、ういんく、ぱちっ、ぱち		うぃんくまーく
かお、うれしい、わーい、きゃっ、きゃ		うれしいまーく
かお、がまん		がまんまーく
かお、どうぶつ、ねこ		ねこまーく
かお、かなしい、なく、えーん、わーん、なきがお		なきまーく
かお、なみだ、かなしい、ぽろり、なく、なきがお		なみだまーく
かお、おいしい、うまい、まんぞく		うまいまーく
かお、えがお、わらう、うっしっし、うしし、ししし		うっしっしまーく
かお、さけぶ、さけび、げっそり、ひゃー、むんく		げっそりまーく
て、おっけー、おーけー、おーけい、おうけい、ぐっど、ゆび、おやゆび、ぐっと		おーけーまーく
てがみ、めーる、らぶれたー、こいぶみ		らぶれたーまーく
がまぐち、さいふ、おかね、かね		がまぐちさいふまーく

記号・かな・英数字読み上げ一覧

音声読み上げの動作を「自動で読み上げ」に設定しているとき（→p.130）に、入力した文字や変換候補一覧の文字を選択した場合の読み上げを記載しています。

- 入力変換して確定したときの読み上げや、カーソルの移動のしかたによって、異なる読み上げを行う場合があります。

■ 全角記号

入力文字	音声読み上げ
、	とーてん
。	くてん
，	こんま
．	ぴりおど
・	なかぐろ
：	ころん
；	せみころん
？	ぎもんふ
！	かんたんふ
゛	だくてん
゜	はんだくてん
´	あくさんてぎゅ
｀	ばっくくおーと
¨	うむらうと
＾	きゃれっと
￣	おーばーらいん
＿	あんだーらいん
ヽ	かたかなくりかえし
ヾ	かたかなだくてんくりかえし
ゝ	かなくりかえし
ゞ	かなだくてんくりかえし
〃	おなじく
仝	どう
々	かんじくりかえし
〆	しめ
〇	ぜろ
ー	ちょーおん
―	だっしゅ
‐	はいふん
／	すらっしゅ

入力文字	音声読み上げ
＼	ばっくすらっしゅ
～	から
∥	にじゅうたてせん
｜	たてせん
…	さんてんりーだー
‥	にてんりーだー
‘	ひだりいんようふ
’	みぎいんようふ
“	ひだりにじゅういんようふ
”	みぎにじゅういんようふ
（	かっこ
）	とじかっこ
〔	きっこうかっこ
〕	とじきっこうかっこ
［	だいかっこ
］	とじだいかっこ
｛	ちゅうかっこ
｝	とじちゅうかっこ
〈	やまかっこ
〉	とじやまかっこ
《	にじゅうやまかっこ
》	とじにじゅうやまかっこ
「	かぎかっこ
」	とじかぎかっこ
『	にじゅうかぎかっこ
』	とじにじゅうかぎかっこ
【	すみつきかっこ
】	とじすみつきかっこ
＋	ぷらす
－	まいなす

入力文字	音声読み上げ
±	ぷらすまいなす
×	かける
÷	わる
＝	いこーる
≠	のっといこーる
＜	しょーなり
＞	だいなり
≦	しょーなりいこーる
≧	だいなりいこーる
∞	むげんだい
∴	ゆえに
♂	おす
♀	めす
°	ど
′	ふん
″	びょー
℃	どしー
￥	えん
＄	どる
￠	せんと
￡	ぽんど
％	ぱーせんと
＃	しゃーぷ
＆	あんど
＊	こめじるし
＠	あっとまーく
§	せくしょん
☆	ほし
★	くろぼし
○	まる

入力文字	音声読み上げ
●	くろまる
◎	にじゅーまる
◇	ひしがた
◆	くろひしがた
□	しかく
■	くろしかく
△	さんかく
▲	くろさんかく
▽	さんかく
▼	くろさんかく
※	こめじるし
〒	ゆーびんばんごー
→	みぎやじるし
←	ひだりやじるし
↑	うえやじるし
↓	したやじるし
〓	げたきごー
∈	ぞくする
∋	ふくむ
⊆	ぶぶんしゅうごう
⊇	ぶぶんしゅうごうふくむ
⊂	しんぶぶんしゅうごう
⊃	しんぶぶんしゅうごうふくむ
∪	がっぺー
∩	きょーつー
∧	および
∨	または
¬	ひてー
⇒	ならば
⇔	どーち
∀	すべての
∃	ある
∠	かく
⊥	すいちょく
⌒	こ
∂	らうんどでぃー
∇	なぶら
≡	ごーどー
≒	にありーいこーる

入力文字	音声読み上げ
≪	ひじょーにちーさい
≫	ひじょーにおーきい
√	るーと
∽	そーじ
∝	ひれー
∵	なぜならば
∫	いんてぐらる
∬	だぶるいんてぐらる
Å	おんぐすとろーむ
‰	ぱーみる
♯	しゃーぷ
♭	ふらっと
♪	おんぷ
†	だがー
‡	だぶるだがー
¶	だんらくきごー
◯	まる
Α	あるふぁ おおもじ
Β	べーた おおもじ
Γ	がんま おおもじ
Δ	でるた おおもじ
Ε	いぷしろん おおもじ
Ζ	つぇーた おおもじ
Η	いーた おおもじ
Θ	しーた おおもじ
Ι	いおた おおもじ
Κ	かっぱ おおもじ
Λ	らむだ おおもじ
Μ	みゅー おおもじ
Ν	にゅー おおもじ
Ξ	くざい おおもじ
Ο	おみくろん おおもじ
Π	ぱい おおもじ
Ρ	ろー おおもじ
Σ	しぐま おおもじ
Τ	たう おおもじ
Υ	うぷしろん おおもじ
Φ	ふぁい おおもじ
Χ	かい おおもじ

入力文字	音声読み上げ
Ψ	ぷしー おおもじ
Ω	おめが おおもじ
α	あるふぁ
β	べーた
γ	がんま
δ	でるた
ε	いぷしろん
ζ	つぇーた
η	いーた
θ	しーた
ι	いおた
κ	かっぱ
λ	らむだ
μ	みゅー
ν	にゅー
ξ	くざい
ο	おみくろん
π	ぱい
ρ	ろー
σ	しぐま
τ	たう
υ	うぷしろん
φ	ふぁい
χ	かい
ψ	ぷしー
ω	おめが
А	あー おおもじ
Б	べー おおもじ
В	べー おおもじ
Г	げー おおもじ
Д	でー おおもじ
Е	いぇー おおもじ
Ё	よー おおもじ
Ж	じぇー おおもじ
З	ぜー おおもじ
И	いー おおもじ
Й	いくらとかや おおもじ
К	かー おおもじ
Л	える おおもじ

入力文字	音声読み上げ
М	えむ おおもじ
Н	えぬ おおもじ
О	おー おおもじ
П	ぺー おおもじ
Р	える おおもじ
С	えす おおもじ
Т	てー おおもじ
У	うー おおもじ
Ф	えふ おおもじ
Х	はー おおもじ
Ц	つぇー おおもじ
Ч	ちぇー おおもじ
Ш	しゃー おおもじ
Щ	ししゃー おおもじ
Ъ	つぼるでぃーずなーく おおもじ
Ы	いー おおもじ
Ь	みゃーふぃーずなーく おおもじ
Э	えー おおもじ
Ю	ゆー おおもじ
Я	やー おおもじ
а	あー
б	べー
в	べー
г	げー
д	でー
е	いぇー
ё	よー
ж	じぇー
з	ぜー
и	いー
й	いくらとかや
к	かー
л	える
м	えむ
н	えぬ
о	おー
п	ぺー
р	える
с	えす

入力文字	音声読み上げ
т	てー
у	うー
ф	えふ
х	はー
ц	つぇー
ч	ちぇー
ш	しゃー
щ	ししゃー
ъ	つぼるでぃーずなーく
ы	いー
ь	みゃーふぃーずなーく
э	えー
ю	ゆー
я	やー
─	よこけいせん
│	たてけいせん
┌	した みぎけいせん
┐	した ひだりけいせん
┘	うえ ひだりけいせん
└	うえ みぎけいせん
├	たて みぎけいせん
┬	した よこけいせん
┤	たて ひだりけいせん
┴	うえ よこけいせん
┼	たて よこけいせん
━	よこふとけいせん
┃	たてふとけいせん
┏	したふと みぎふとけいせん
┓	したふと ひだりふとけいせん
┛	うえふと ひだりふとけいせん
┗	うえふと みぎふとけいせん
┣	たてふと みぎふとけいせん
┳	したふと よこふとけいせん
┫	たてふと ひだりふとけいせん
┻	うえふと よこふとけいせん
╋	たてふと よこふとけいせん
┠	たてふと みぎけいせん
┯	した よこふとけいせん
┨	たてふと ひだりけいせん

入力文字	音声読み上げ
┷	うえ よこふとけいせん
┿	たて よこふとけいせん
┝	たて みぎふとけいせん
┰	したふと よこけいせん
┥	たて ひだりふとけいせん
┸	うえふと よこけいせん
╂	たてふと よこけいせん
①	まるいち
②	まるに
③	まるさん
④	まるよん
⑤	まるご
⑥	まるろく
⑦	まるなな
⑧	まるはち
⑨	まるきゅー
⑩	まるじゅー
⑪	まるじゅーいち
⑫	まるじゅーに
⑬	まるじゅーさん
⑭	まるじゅーよん
⑮	まるじゅーご
⑯	まるじゅーろく
⑰	まるじゅーなな
⑱	まるじゅーはち
⑲	まるじゅーきゅー
⑳	まるにじゅー
Ⅰ	わん
Ⅱ	つー
Ⅲ	すりー
Ⅳ	ふぉー
Ⅴ	ふぁいぶ
Ⅵ	しっくす
Ⅶ	せぶん
Ⅷ	えいと
Ⅸ	ないん
Ⅹ	てん
㍉	みり
㌔	きろ

入力文字	音声読み上げ	入力文字	音声読み上げ	入力文字	音声読み上げ
㌢	せんち	㎎	みりぐらむ	㈹	かっこだい
㍍	めーとる	㎏	きろぐらむ	㍾	めーじ
㌘	ぐらむ	㏄	しーしー	㍽	たいしょー
㌧	とん	㎡	へーほーめーとる	㍼	しょーわ
㌃	あーる	㍻	へーせー	≒	にありーいこーる
㌶	へくたーる	〝	たてがきにじゅういんよーふ	≡	ごーどー
㍑	りっとる	〟	たてがきとじにじゅういんよーふ	∫	いんてぐらる
㍗	わっと	№	なんばー	∮	ふぁい
㌍	かろりー	㏍	けーけー	∑	しぐま
㌦	どる	℡	でんわ	√	るーと
㌣	せんと	㊤	まるうえ	⊥	すいちょく
㌫	ぱーせんと	㊥	まるなか	∠	かく
㍊	みりばーる	㊦	まるした	∟	ちょっかく
㌻	ぺーじ	㊧	まるひだり	⊿	さんかっけー
㎜	みりめーとる	㊨	まるみぎ	∵	なぜならば
㎝	せんちめーとる	㈱	かっこかぶ	∩	きょーつー
㎞	きろめーとる	㈲	かっこゆー	∪	がっぺー

※ 空白は「くうはく」と読み上げられます。
※ 実際の表示と異なるものがあります。

■ 半角記号

入力文字	音声読み上げ	入力文字	音声読み上げ	入力文字	音声読み上げ
!	かんたんふはんかく	/	すらっしゅはんかく	`	ばっくくおーとはんかく
"	にじゅういんようふはんかく	:	ころんはんかく	{	ちゅうかっこはんかく
#	しゃーぷはんかく	;	せみころんはんかく	|	たてせんはんかく
$	どるはんかく	<	しょーなりはんかく	}	とじちゅうかっこはんかく
%	ぱーせんとはんかく	=	いこーるはんかく	~	おーばーらいんはんかく
&	あんどはんかく	>	だいなりはんかく	｡	くてんはんかく
'	いんようふはんかく	?	ぎもんふはんかく	｢	かぎかっこはんかく
(	かっこはんかく	@	あっとまーくはんかく	｣	とじかぎかっこはんかく
)	とじかっこはんかく	[	だいかっこはんかく	､	とーてんはんかく
*	こめじるしはんかく	¥	えんはんかく	･	なかぐろはんかく
+	ぷらすはんかく	]	とじだいかっこはんかく	ｰ	ちょーおんはんかく
,	こんまはんかく	^	きゃれっとはんかく	ﾞ	だくてんはんかく
-	まいなすはんかく	_	あんだーらいんはんかく	ﾟ	はんだくてんはんかく
.	ぴりおどはんかく				

※ 空白は「くうはくはんかく」と読み上げられます。
※ 実際の表示と異なるものがあります。
：半角数字入力モードでは、「#」は「しゃーぷ」、「＊」は「こめじるし」と読み上げられます。

■ かな（特種のみ）

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
ぁ	—	あ こもじ
ぃ	—	い こもじ
ぅ	—	う こもじ
ぇ	—	え こもじ
ぉ	—	お こもじ
っ	—	つ こもじ

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
ゃ	—	や こもじ
ゅ	—	ゆ こもじ
ょ	—	よ こもじ
ゎ	—	わ こもじ
ゐ	—	わぎょうのい
ゑ	—	わぎょうのえ

■ カナ（カタカナ）

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
ァ	あ こもじはんかく	あ こもじぜんかく
ア	あ はんかく	あ ぜんかく
ィ	い こもじはんかく	い こもじぜんかく
イ	い はんかく	い ぜんかく
ゥ	う こもじはんかく	う こもじぜんかく
ウ	う はんかく	う ぜんかく
ヴ	—	う゛ ぜんかく
ェ	え こもじはんかく	え こもじぜんかく
エ	え はんかく	え ぜんかく
ォ	お こもじはんかく	お こもじぜんかく
オ	お はんかく	お ぜんかく
ヵ	—	か こもじぜんかく
カ	か はんかく	か ぜんかく
ガ	—	が ぜんかく
キ	き はんかく	き ぜんかく
ギ	—	ぎ ぜんかく
ク	く はんかく	く ぜんかく
グ	—	ぐ ぜんかく
ヶ	—	け こもじぜんかく
ケ	け はんかく	け ぜんかく
ゲ	—	げ ぜんかく
コ	こ はんかく	こ ぜんかく
ゴ	—	ご ぜんかく
サ	さ はんかく	さ ぜんかく
ザ	—	ざ ぜんかく
シ	し はんかく	し ぜんかく
ジ	—	じ ぜんかく
ス	す はんかく	す ぜんかく
ズ	—	ず ぜんかく
セ	せ はんかく	せ ぜんかく
ゼ	—	ぜ ぜんかく
ソ	そ はんかく	そ ぜんかく

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
ゾ	—	ぞ ぜんかく
タ	た はんかく	た ぜんかく
ダ	—	だ ぜんかく
チ	ち はんかく	ち ぜんかく
ヂ	—	ぢ ぜんかく
ッ	つ こもじはんかく	つ こもじぜんかく
ツ	つ はんかく	つ ぜんかく
ヅ	—	づ ぜんかく
テ	て はんかく	て ぜんかく
デ	—	で ぜんかく
ト	と はんかく	と ぜんかく
ド	—	ど ぜんかく
ナ	な はんかく	な ぜんかく
ニ	に はんかく	に ぜんかく
ヌ	ぬ はんかく	ぬ ぜんかく
ネ	ね はんかく	ね ぜんかく
ノ	の はんかく	の ぜんかく
ハ	は はんかく	は ぜんかく
バ	—	ば ぜんかく
パ	—	ぱ ぜんかく
ヒ	ひ はんかく	ひ ぜんかく
ビ	—	び ぜんかく
ピ	—	ぴ ぜんかく
フ	ふ はんかく	ふ ぜんかく
ブ	—	ぶ ぜんかく
プ	—	ぷ ぜんかく
ヘ	へ はんかく	へ ぜんかく
ベ	—	べ ぜんかく
ペ	—	ぺ ぜんかく
ホ	ほ はんかく	ほ ぜんかく
ボ	—	ぼ ぜんかく
ポ	—	ぽ ぜんかく

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
ﾏ	ま はんかく	ま ぜんかく
ﾐ	み はんかく	み ぜんかく
ﾑ	む はんかく	む ぜんかく
ﾒ	め はんかく	め ぜんかく
ﾓ	も はんかく	も ぜんかく
ｬ	や こもじはんかく	や こもじぜんかく
ﾔ	や はんかく	や ぜんかく
ｭ	ゆ こもじはんかく	ゆ こもじぜんかく
ﾕ	ゆ はんかく	ゆ ぜんかく
ｮ	よ こもじはんかく	よ こもじぜんかく
ﾖ	よ はんかく	よ ぜんかく
ﾗ	ら はんかく	ら ぜんかく
ﾘ	り はんかく	り ぜんかく
ﾙ	る はんかく	る ぜんかく
ﾚ	れ はんかく	れ ぜんかく
ﾛ	ろ はんかく	ろ ぜんかく
ヮ	―	わ こもじぜんかく
ﾜ	わ はんかく	わ ぜんかく
ヰ	―	わぎょうのい ぜんかく
ヱ	―	わぎょうのえ ぜんかく
ｦ	を はんかく	を ぜんかく
ﾝ	ん はんかく	ん ぜんかく

■ 英字

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
a	えー	えー ぜんかく
b	びー	びー ぜんかく
c	しー	しー ぜんかく
d	でぃー	でぃー ぜんかく
e	いー	いー ぜんかく
f	えふ	えふ ぜんかく
g	じー	じー ぜんかく
h	えっち	えっち ぜんかく
i	あい	あい ぜんかく
j	じぇー	じぇー ぜんかく
k	けー	けー ぜんかく
l	える	える ぜんかく
m	えむ	えむ ぜんかく
n	えぬ	えぬ ぜんかく
o	おー	おー ぜんかく
p	ぴー	ぴー ぜんかく
q	きゅー	きゅー ぜんかく
r	あーる	あーる ぜんかく
s	えす	えす ぜんかく
t	てぃー	てぃー ぜんかく
u	ゆー	ゆー ぜんかく
v	ぶい	ぶい ぜんかく
w	だぶりゅー	だぶりゅー ぜんかく
x	えっくす	えっくす ぜんかく
y	わい	わい ぜんかく
z	ぜっと	ぜっと ぜんかく

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
A	えー おおもじ	えー おおもじぜんかく
B	びー おおもじ	びー おおもじぜんかく
C	しー おおもじ	しー おおもじぜんかく
D	でぃー おおもじ	でぃー おおもじぜんかく
E	いー おおもじ	いー おおもじぜんかく
F	えふ おおもじ	えふ おおもじぜんかく
G	じー おおもじ	じー おおもじぜんかく
H	えっち おおもじ	えっち おおもじぜんかく
I	あい おおもじ	あい おおもじぜんかく
J	じぇー おおもじ	じぇー おおもじぜんかく
K	けー おおもじ	けー おおもじぜんかく
L	える おおもじ	える おおもじぜんかく
M	えむ おおもじ	えむ おおもじぜんかく
N	えぬ おおもじ	えぬ おおもじぜんかく
O	おー おおもじ	おー おおもじぜんかく

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
P	ぴー おおもじ	ぴー おおもじぜんかく
Q	きゅー おおもじ	きゅー おおもじぜんかく
R	あーる おおもじ	あーる おおもじぜんかく
S	えす おおもじ	えす おおもじぜんかく
T	てぃー おおもじ	てぃー おおもじぜんかく
U	ゆー おおもじ	ゆー おおもじぜんかく
V	ぶい おおもじ	ぶい おおもじぜんかく
W	だぶりゅー おおもじ	だぶりゅー おおもじぜんかく
X	えっくす おおもじ	えっくす おおもじぜんかく
Y	わい おおもじ	わい おおもじぜんかく
Z	ぜっと おおもじ	ぜっと おおもじぜんかく

■ 数字

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
0	ぜろ	ぜろ ぜんかく
1	いち	いち ぜんかく
2	に	に ぜんかく
3	さん	さん ぜんかく
4	よん	よん ぜんかく
5	ご	ご ぜんかく
6	ろく	ろく ぜんかく
7	なな	なな ぜんかく
8	はち	はち ぜんかく
9	きゅー	きゅー ぜんかく

※ 変換候補一覧で数字を選択している場合は、表に記載の音声読み上げの前に「すうじの」と読み上げます。たとえば、「ぜろぜんかく」は「すうじのぜろぜんかく」と読み上げます。

顔文字読み上げ一覧

ひらがな／漢字入力モードで読みを入力して変換してください。→p.311
音声読み上げの動作を「自動で読み上げ」に設定しているとき（→p.130）に、顔文字を入力変換して確定した場合の読み上げを記載しています。

- 変換候補一覧で選択しているときや、カーソルの移動のしかたによって、異なる読み上げを行う場合があります。

読　み	変　換	音声読み上げ
かお、ばい、あいさつ	(^-^)/~~	ばい
かお、ばいばい、あいさつ	(＾ ＾)ﾉｼ	ばいばい
ばいばい、あいさつ	(^_^)/~	ばいばい
ばいばい、あいさつ	ヾ (^_^) byebye!!	ばいばい
おーい、じゃあ、どーも、よろしく、あいさつ	(^^)/	おーい
おーい、じゃあ、どーも、よろしく、あいさつ	(^-^)/	おーい
ばいばい、あいさつ	(^^)/~~~	ばいばい
おーい、あいさつ	(^_^)/	おーい
にこっ、あいさつ	(〃⌒—⌒〃) ∫゛	にこっ
やぁ、あいさつ	～('-'*)	やぁ
ちわっ、あいさつ	(*^-^)ﾉ	ちわっ
おはよう、あいさつ	ヾ (´ ω ` ＝ ´ ω `)ﾉ	おはよう
ぐっ、ぐー、へんじ	(o^-')b	ぐー
ぐっ、ぐー、へんじ	(≧ω≦) b	ぐー
はい、へんじ	(・ ∀ ・ ∩)	はい
かお、おっけー、へんじ	('-^*)ok	おっけー
かお、りょうかい、へんじ	(｀ _ ´) ゞ了解！	りょうかい
かお、やあ、あいさつ	(｡･_･｡)ﾉ	やあ
かお、やあ、あいさつ	(=ﾟ ωﾟ)ﾉ	やあ
かお、にこっ、わらう	(^-^)	にこっ
かお、にこっ、うれしい	(^-^)v	ぴーす
かお、うほほ、にこっ、わーい、うれしい	(^o^)	わーい
かお、うきうき、うれしい	o(^o^)o	うきうき
かお、にこっ、うれしい	(o^_^o)	ぽっ
かお、にこっ、うれしい	(*^_^*)	にこっ
かお、きたー、にこっ、わらう	(･∀･)	きたー
かお、わーい、うれしい	ヾ (^▽^)ﾉ	わーい
かお、わーい、うれしい	ヽ (´ ー `) ノ	ふっ
かお、にこっ、うれしい	(*⌒▽⌒*)	わーい
きらーん、うれしい	(☆▽☆)	きらーん
やったね、ぴーす、にこっ、ぶい、うれしい	(^^)v	ぴーす
にこっ、うれしい	(=⌒—⌒=)	にこっ
かお、にこっ、うれしい	(´ ∀ `)	にこっ
かお、うれしい	(≧∀≦)	うれしい
にこっ、すまいる、わらう	:)	にこっ
ぴーす、うれしい	V(^0^)	ぴーす

読　み	変　換	音声読み上げ
ちゅっ、にこっ、わらう	(^３^)/ﾁｭｯ	ちゅっ
わくわく、うれしい	((o(^-^)o))	わくわく
にこっ、わらう	(^^)	にこっ
いえい、ぶい、ぴーす、うれしい	v(^o^)	ぴーす
やったね、ぴーす、にこっ、ぶい、うれしい	(^_^)v	ぴーす
にこっ、わらう	(^・^)	にこっ
わーい、わらう	(^O^)	わーい
おーい、はーい、わらう	(^O^)/	おーい
やったね、ぴーす、にこっ、ぶい、わらう	(^O^)v	ぴーす
ほっぺがおちる、わらう	)^o^(	わーい
わーい、わらう	＼(^o^)／	ばんざーい
にこっ、すまいる、わらう	:-)	にこっ
きゃー、うれしい	ヽ(≧▽≦)/	うれしい
ぐー、うれしい	d=(^o^)=b	ぐー
きゃー、うれしい	ε＝ヾ(*~▽~)ノ	きゃー
うれしい	(@^O^@)	うれしい
むふふ、うれしい	(´艸`)	むふふ
かお、あいた、いたい、いてー、ひぇー、なく	(>_<)	いたっ
かお、うるうる、なく	(T^T)	えーん
かお、しくしく、なく	(T_T)	しくしく
かお、しくしく、なく	(/_;)	しくしく
かお、びくっ、かなしい	(+_+)	びくっ
かお、がっくり、かなしい	(x_x;)	いたっ
かお、くすん、なく	(/_・、)	くすん
かお、ぐすん、なく	(つд`)	ぐすん
かお、がっくし、かなしい	○｜￣｜＿	がっくし
かお、しょぼん、かなしい	(´・ω・`)	しょぼん
しくしく、なく	(;O;)	しくしく
かお、なく	(>_<。)	いたっ
しくしく、なく	(;_;)	しくしく
なき、うるうる、なく	(T-T)	えーん
なき、うるうる、なく	(TOT)	うるうる
いたい、なく	(ノ_・。)	なく
なく、かなしい	:<	かなしい
かお、なき、ぐすん、なく	(；´д⊂)	ぐすん
えーん、なく	° ・(ノД`)・° ・	えーん
かお、こら、ごるあ、ごるぁ、おこる	ヽ(*`Д´)ノ	こら
かお、ぱんち、おこる	o-_-)=○☆	ぱんち
かお、ちゃぶだい、おこる	(ノ-"-)ノ~┻━┻	かえれー
こらっ、おこる	(-_-#)	ぴくっ
ふまん、おこる	:-(	ふまん
こら、おこる	Ψ(`◇´)Ψ	こら
こらっ、おこる	(ノ`△´)ノ	こらっ
ぷんぷん、むかっ、おこる	(●`ε´●)	むかっ
かお、ぽりぽり、てれる	(^^ゞ	ぽりぽり
かお、てへ、てれる	f(^_^)	ぽりぽり

読　み	変　換	音声読み上げ
にこっ、ぽっ、てれる	(#^.^#)	にこっ
えへっ、てれる	(*^.^*)	えへっ
てれ、てれる	(〃▽〃)	てれ
てへっ、てれる	(*'-')	てへっ
てへっ、てれる	(=゜　ω゜　=)	てへっ
かお、こまる、てれ、てれる	(*´　д　`*)	てれ
てへっ、てれる	:p	てへっ
うふふ、てれる	('∇')	うふふ
かお、びくっ、おどろき	(*_*)	びくっ
かお、めがてん、おどろき	(・・?	めがてん
かお、めがてん、おどろき	(・・;)	めがてん
かお、うーん、おどろき	(゜-゜)	ほけー
かお、びくっ、おどろき	(@_@)	びくっ
かお、ぎくっ、おどろき	(--;)	ぎくっ
かお、きらーん、おどろき	(-_☆)	きらーん
がーん、おどろき	(￣□￣;)!!	あせ
かお、ぽかーん、おどろき	(゜　o゜　；)	ぽかーん
かお、びっくり、がーん、ぎく、おどろき	Σ(￣□￣)！	がーん
えっ、おどろき	(￣◇￣;)	えっ
えっ、おどろき	ヽ（゜　□゜　；）ノ	えっ
えっ、おどろき	(;゜　□゜　)	えっ
かお、がくがく、おどろき	((((゜　д゜　;))))	がくがく
かお、ぎくっ、てつや、おどろき	(=_=;)	てつや
めがてん、おどろき	(・.・;)	めがてん
ぎくっ、ぎょ、おどろき	(゜o゜)	ほけー
ぎくっ、ぎょ、おどろき	(゜o゜;	ぎくっ
びくっ、ぎょっ、おどろき	(@_@。	びくっ
かお、ぽかーん、おどろき	(゜Д゜)	ぽかーん
うーん、おどろき	(゜_゜)	うーん
めがてん、おどろき	(・。・;	めがてん
めがてん、おどろき	(・_・)	めがてん
めがてん、おどろき	(・_・;	めがてん
めがてん、おどろき	(・o・)	めがてん
おおー、びっくり、おどろき	(゜o゜)/	びっくり
ぎくっ、おどろき	(゜o゜;;	ぎくっ
がーん、おどろき	Σ(゜□゜;)	がーん
かお、ぎくっ、あせ、あせり	(^^;)	あせ
かお、なぜ、ぎもん	(?_?)	なぜ
ぎくっ、あせ、あせり	(-_-;)	じとっ
ばたばた、ぎもん	w=(゜o゜)=w	ばたばた
かお、えっ、ぎもん	σ(^_^；)？	あせ
かお、じー、ぎもん	(;¬_¬)ｼﾞｰ	じー
かお、あたふた、あせり	O(><;)(;><)O	ひえー
かお、あたふた、あせり	(゜　Д゜　；≡；゜　Д゜　)	あたふた
ぎくっ、あせり	^^;	あせあせ
ぎくっ、あせ、あせり	(^^;;	あせあせ

読　み	変　換	音声読み上げ
かお、ぎくっ、あせ、あせり	(^_^;)	あせあせ
ぎくっ、あせ、あせり	(^-^;	あせ
ぎくっ、あせ、あせり	(~_~;)	ほへー
ぎくっ、あせ、ぎもん	(¥_¥;	ぎくっ
びくっ、あせり	(*_*;	びくっ
ぎくっ、あせ、あせり	^_^;	あせあせ
ぎくっ、なぜ、ぎもん	(?_?;	ぎくっ
にげる、あせり	ε=┌(・_・)┘	にげる
ぎくっ、あせ、えっ、あせり	(°　∇°　;)	ぎくっ
じたばた、あせり	((〇(＞_＜)〇))	じたばた
ぎくっ、あせ、あせり	(;°　O°　)	ぎくっ
うたう	(~▽~@)♪♪♪	うたう
かお、りょうかい、おっけー、らじゃ	('◇')ゞ	りょうかい
かお、ぺこり	m(_ _)m	ぺこり
ぺこり	_(._.)_	ぺこり
ありがと、おねがい、ごめん、ぺこり	＜(_ _)＞	ぺこり
いそぐ、にげる	≡≡≡ヘ(*--)ノ	にげる
こそこそ	(^_^;))))))ｺｿｺｿ…	こそこそ
かお、がんばれ、ふぁいと	p(^-^)q	ふぁいと
ういんく	;)	ういんく
かお、ういんく	(^_-)	ういんく
いい	(・ ∀ ・)イイ	いい
かんしゃ、ありがとう	(^人^)	ごめん
ぴんぽーん	!(^^)!	ぴんぽーん
かお、よしよし、おい	ヽ(^^)	よしよし
かお、ぷっ	(*≧m≦*)	ぷっ
げっつ	(σ・∀・)σ	げっつ
かお、にやり	(￣ー￣)	にやり
どうぞ	(・ ∀ ・)つ	どうぞ
どうぞ、おちゃ	(^-^)_旦～	おちゃ
きて、かもん、おいで	(屮°　□°　)屮	おいで
くちぶえ	♪～(￣ε￣)	くちぶえ
たばこ	(￣。￣)y-～～	たばこ
しゃきーん	(｀ ・ ω ・ ´)	しゃきーん
せーふ	⊂(・ ∀ ・)⊃	せーふ
かお、いっぷく	(-.-;)y-~~~	いっぷく
かお、いっぷく	(-。-)y-°°°	いっぷく
うまい、たべる	(￣～￣)	うまい
おねがい	(￣人￣)	おねがい
かんぱい、なかま、たっち	(^-^)人(^-^)	なかま
かお、よしよし	(i_i)＼(^_^)	よしよし
つんつん	(^▽^)σ)~O~)	つんつん
たすけて	～～(m ´ Д ｀)m	たすけて
いひひ	～～(m ｀ ∀ ´)m	いひひ
かお、めもめも、かきかき	φ(.　_.　)ﾒﾓﾒﾓ	めもめも
もしもし	(ﾟ∇^)] ﾓｼﾓｼ	もしもし

読　み	変　換	音声読み上げ
あーん	(´□`)	あーん
やれやれ	┐(￣∇￣;)┌	やれやれ
はぁ、ためいき	(´ヘ`;)	ためいき
ためいき	(；-_-)=3	ためいき
かお、うーん	(-"-;)	うーん
ふふん、じまん	(´ー`)	ふっ
よだれ	(´¬`)	よだれ
ふっ	(￣ー+￣)ﾌｯ	ふっ
ほへー	(~_~)	ほへー
ほへー	(~o~)	ほへー
かお、むしめがね	(p_-)	むしめがね
かお、じとっ	(-_-)	じとっ
じとっ	(-.-)	じとっ
かお、ちちち	(-.-")凸	ちっちっち
どれどれ	(..)	うーん
ちらっ	[壁]_-)	ちらっ
いたい	(+。+)	いたい
かお、ねてる、ねる	(-_-)zzz	ぐーぐー
ねむい	(_ _).oO	ねる
かお、ふーん	(´_ゝ`)	ふーん
ねむい	(UoU)	ねむい
くま	(^(I)^)	くま
かお、いぬ	U^I^U	いぬ
ぽい	ﾎﾟｲｯ(-__-)ノ⌒	ぽい
よだれ	ヽ(ﾟ▽、ﾟ)ノ	よだれ
さかな	>ﾟ))))彡	さかな

※「かお」は「かおもじ」と入力しても変換できます。
※ 実際の表示と異なるものがあります。

マルチアクセスの組み合わせについて

現在実行中の動作ごとに発生・実行する処理の動作可否を次に示します。

- ｉモード中（ｉモード接続）は、ｉチャネル（情報の受信を除く）での通信を含みます。
- ｉモードメール受信は、メッセージR/F、ｉチャネルの情報の受信を含みます。

○：新たに実行できます　△：条件により新たに実行できます　×：新たに実行できません

現在の状態			通話中	ｉモード中	データ通信中（パケット）	データ通信中（64K）
発生・実行する処理	電話	発信	△※1	△※8、9	△※9	×
		着信	△※1、2、3	○	○	△※2、3、13
	ｉモード	接続	×	×	×	×
	ｉモードメール	送信	○※4	○※10	×	×
		受信	○※5	○※5	×	×
	SMS	送信	○※4	△※11	△※12	×
		受信	○※5	○※5	○※5	○※5
	データ通信（パケット）	発信	○	×	×	×
		着信	○	×	×	×
	データ通信（64K）	発信	×	×	×	×
		着信	△※3、6、7	△※6、7	△※6、7	△※6、7

※1 キャッチホンをご利用の場合は、通話中に別の相手に電話をかけたり受けたりできます。
※2 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスをご利用の場合は、各サービスで対応できます。
※3 通話中着信設定を開始に設定している場合、通話中着信動作選択の設定に従います。
※4 電話帳、個人情報からメールを作成・送信できます。
※5 着信音は鳴りません。
※6 不在着信として記録されます。
※7 転送でんわサービスを開始に設定し、呼出時間を「0秒」に設定している場合は、転送でんわサービスで対応できます。
※8 Phone To機能を使用して電話をかけることができます。
※9 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を使用して電話をかけることができます。
※10 Mail To機能、サブメニューからｉモードメールを作成・送信できます。
※11 SMS To機能を使用してSMSを作成・送信できます。
※12 通話中のみ電話帳、個人情報からSMSを作成・送信できます。
※13 キャッチホンを開始に設定している場合、現在の通信を終了して電話を受けるか、着信を拒否するかなどを選択できます。

FOMA端末から利用できるサービス

FOMA端末から利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス（有料：案内料＋通話料） （電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません）	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

お知らせ

- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。また、目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内をしております。詳細は一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください（2010年6月現在）。
- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがございます。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、警察、消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、携帯電話からかけていることと、電話番号を伝えてから、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署、警察署に接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります（2010年6月現在）。
- 一般電話の転送電話をご利用のお客様で、転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話または携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも、発信者には呼出音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください。ただし、一般電話または公衆電話からFOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話は利用できます。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション品を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってお取り扱いしていない商品もあります。
詳細はドコモショップなどの窓口へお問い合わせください。また、オプション品の詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- FOMA ACアダプタ 01／02
- FOMA DCアダプタ 01／02
- FOMA乾電池アダプタ 01
- FOMA 補助充電アダプタ 01
- 車載ハンズフリーキット 01※1
- FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル 01
- 電池パック F16
- 車内ホルダ 01
- 卓上ホルダ F18
- リアカバー F38
- キャリングケースS 01
- FOMA USB接続ケーブル※2
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01※2／02※2
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01／P02
- 平型ステレオイヤホンセット P01
- イヤホンジャック変換アダプタ P001
- スイッチ付イヤホンマイク P001※3／P002※3
- ステレオイヤホンセット P001※3
- イヤホンターミナル P001※3
- FOMA海外兼用ACアダプタ 01※4
- 骨伝導レシーバマイク 01
- FOMA室内用補助アンテナ※5
- FOMA室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）※5

※1 F-07AをUSB接続／充電するには、FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル 01が必要です。
※2 USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※3 F-07Aと接続するには、イヤホンジャック変換アダプタ P001が必要です。
※4 海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。
※5 日本国内で使用してください。

動画をFOMA端末／パソコンなどで再生する

パソコンなどで作成した動画（MP4形式）をmicroSDカードに保存してFOMA端末で再生できます。また、FOMA端末で撮影した動画（MP4形式）をmicroSDカードやメール添付などでデータ転送し、パソコンで再生できます。

- FOMA端末で撮影した動画ファイル→p.231
- FOMA端末で再生可能なMP4形式→p.255
- microSDカード内の動画を再生→p.276

※ 対応外部機器については、パソコンから次のホームページをご覧ください。
　FMWORLD（http://www.fmworld.net/）→携帯電話→動画再生機能の対応状況

- microSDカード内の動画を再生するには、FOMA FシリーズSDユーティリティなどを使って決められたフォルダに保存します。
  microSDカードのフォルダ構成→p.268
  microSDカードの情報更新→p.270

※ FOMA FシリーズSDユーティリティについては、パソコンから次のホームページをご覧ください。
　FMWORLD（http://www.fmworld.net/）→携帯電話→データリンクソフト

動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画（MP4形式）を再生するには、アップルコンピュータ株式会社のQuickTime Player（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3＋3GPP）が必要です。
QuickTime Playerは、次のホームページからダウンロードできます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

- ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細は上記ホームページをご覧ください。

ドットパターン対応メールアプリケーションを利用する

外部機器を接続して携帯電話を操作する

外部接続端子に接続した外部機器と機器に対応したソフトを使用してFOMA端末を操作することができます。

操作支援用外部機器のご紹介

ドットパターン対応メールアプリケーション、専用のペン型スキャナー（市販品）およびそれに対応する冊子（市販品）により、冊子に記載されている絵をペン型スキャナーで読み取ることで、簡単にメール作成などができます。
詳細についてはパソコンから次のドコモホームページをご覧ください。
http://www.nttdocomo.co.jp/
（2010年6月現在）

故障かな？と思ったら、まずチェック

- まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→p.380
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源・充電

● FOMA端末の電源が入らない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→p.35
- 電池切れになっていませんか。→p.36、p.40

● 充電ができない（充電中のランプが点灯しない、または点滅する）

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→p.35
- アダプタの電源プラグまたはシガーライタプラグがコンセントまたはシガーライタソケットに正しく差し込まれていますか。アダプタとFOMA端末が正しくセットされていますか。ACアダプタ（別売）をご使用の場合、ACアダプタのコネクタがFOMA端末または卓上ホルダ（別売）にしっかりと接続されていますか。→p.38、p.39
- 卓上ホルダを使用する場合、FOMA端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた布、綿棒などで拭いてください。
- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇してランプが点滅する場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

■ 端末操作・画面

● 操作中・充電中に熱くなる

操作中や充電中、充電しながら電話などを長時間行った場合には、FOMA端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。

● 電池の使用時間が短い

- 圏外の状態で長い時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。

● 電源断・再起動が起きる

電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。

● ボタンを押しても動作しない

オールロック、おまかせロック、開閉ロックを起動していませんか。→p.108、p.109、p.114

● ボタンを押したときの画面の反応が遅い

FOMA端末に大量のデータが保存されているときや、FOMA端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。

● FOMAカードが認識されない

FOMAカードを正しい向きで挿入していますか。→p.32

● ディスプレイが暗い

- 省電力の状態になっていませんか。→p.42
- 照明設定を変更していませんか。→p.100

● 各機能で設定した画像やメロディなどが動作せず、お買い上げ時の設定で動作する

画像やメロディなどの取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されていますか。→p.33

■ 通話・音声

● ダイヤルボタンを押しても発信できない

オールロック、おまかせロック、セルフモード、ダイヤル発信制限、開閉ロックを起動していませんか。→p.108、p.109、p.110、p.113、p.114

● 着信音が鳴らない

- 電話着信音量の呼出音量を「消音」に設定していませんか。→p.61、p.94
- 公共モード（ドライブモード）、マナーモード、セルフモードを起動していませんか。→p.62、p.97、p.110
- 電話帳指定着信拒否／許可、非通知理由別着信設定、無音着信時間設定、登録外着信拒否を設定していませんか。→p.115、p.117、p.118、p.119
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定していませんか。→p.322、p.323
- 伝言メモの呼出時間設定を「0秒」に設定していませんか。→p.65
- オート着信設定の応答時間を「0秒」に設定していませんか。→p.306

● 通話ができない（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）

- 電源を入れ直すか、電池パックまたはFOMAカードを入れ直してください。→p.32、p.35、p.41
- 電波の性質により圏外ではない、アンテナマークが3本表示されている状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- 電話帳指定着信拒否／許可、非通知理由別着信設定、登録外着信拒否を設定していませんか。→p.115、p.117、p.119
- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

● 通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる

- はっきりボイス、ゆっくりボイスを設定すると、相手の声が聞き取りやすくなります。→p.53
- 受話音量の設定を変更していませんか。→p.61、p.95

■ メール・iモード

● メールを自動で受信しない

メール選択受信設定を「利用する」に設定していませんか。→p.157

● iモード、iモードメール、iチャネルに接続できない

- 接続先設定を「iモード」以外に設定していませんか。→p.218
- iモードを途中からご契約いただいた場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

● が点滅したまま消えない

iモード（センター）問合せ・メール送受信などの後や途中でiモード接続が途切れたときは、は点滅したままになります。データのやりとりを行わなければ自動的に切断されますが、を押せばすぐに終了できます。

■ カメラ

● カメラで撮影した静止画や動画がぼやける

- カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。
- 近くの被写体を撮影するときは、接写撮影に切り替えてください。→p.237

■ データ管理・データ表示

● データ転送が行われない

USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

● microSDカードに保存したデータが表示されない

- パソコンなどでデータを保存したときは情報更新を行ってください。→p.270
- microSDカードのデータの修復を行ってください。→p.271

● 画像表示しようとするとが表示される

画像データが壊れている場合はが表示される場合があります。

● 添付ファイルが削除されて画像を見ることができない

メールサイズ制限を確認してください。詳しくは『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

■ その他

● FOMA端末の電源が切れない

(終話キー)を10秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。

● microSDカードを取り付けているのに、待受画面に(SD)が表示されない。

USBケーブルでパソコンなどと接続中、ソフトウェア更新の予約中ではありませんか。→p.23

● ディスプレイに残像が残る

- FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外すとしばらくの間、ディスプレイから残像が消えないことがあります。電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- FOMA端末を開いたまましばらく同じ画面を表示していると、何か操作して画面が切り替わったとき、前の画面表示の残像が残る場合があります。

● ディスプレイに常時点灯する／点灯しないドット（点）がある

FOMA端末のディスプレイは非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に常時点灯するドットや点灯しないドットが存在する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり、FOMA端末の故障ではありません。あらかじめご了承ください。

● FOMA端末を持ち上げたときに背面ディスプレイの照明が点灯する／点灯しない

- 背面画面の照明の設定に従って動作します。→p.99
- 背面ディスプレイの照明は、持ち上げたときの速度や傾きを感知して点灯します。背面画面の照明を「点灯する」に設定していても、ゆっくりと持ち上げたり、傾きが足りなかったりすると、点灯しない場合があります。

● ディスプレイが真っ暗で(決定)が点滅している

省電力の状態になっていませんか。→p.42

● 歩数計を「利用する」に設定しているのに、背面ディスプレイに表示されている歩数の表示が変わらない（歩数がカウントされない）

いきいき歩行の歩数の表示になっていませんか。(サイドキー)を複数回押して今日の歩数の表示に切り替えてください。→p.27、p.288

エラーメッセージ一覧

こんな表示が出たら

- エラーメッセージ内の「(数字)」または「(xxx)」は、ｉモードセンターから送信されたエラーを区別するためのコードです。

● **遠隔操作可能なサービスは未契約です**
留守番電話サービスまたは転送でんわサービスが未契約です。利用するには別途ご契約が必要です。

● **応答がありませんでした(408)**
サイトやインターネットホームページから規定時間内に応答がなく、通信が切断されました。しばらくたってから操作し直してください。

● **おまかせロック中です**
おまかせロック中です。→p.109

● **圏外です**
電波の届かない所かFOMAサービスエリア外にいるため実行できません。

● **更新できませんでした**
パターンデータの更新に失敗しました。他に起動している機能をすべて終了し、電波状態のよい所で更新し直してください。

● **このカードは認識できません**
FOMAカードが正しく取り付けられていないか、異常があります。→p.32

● **この形式のデータは実行できません**
FOMA端末で対応していないファイル形式のデータはmicroSDカードからFOMA端末に移動/コピーできません。

● **このサイトとのSSL通信は無効です**
サイトの証明書が書き換えられています。接続できません。

● **このサイトの安全性が確認できません。接続しますか?**
サイトの証明書がFOMA端末で対応していません。

● **このサイトは安全でない可能性があります。接続しますか?**
サイトの証明書が有効期限前か期限切れです。日付・時刻を設定していない場合や、誤っている場合にも表示されることがあります。→p.44

● **この接続先の安全性が確認できません。接続しますか?**
CA証明書が有効期限切れです。日付・時刻を設定していない場合や、誤っている場合にも表示されることがあります。→p.44

● **この接続先は安全でない可能性があります。接続しますか?**
サイトの証明書のCN名(サーバ名)が実際のサーバ名と一致していません。

● **このデータは再生できない可能性があります**
動画/ｉモーションがFOMA端末で対応していない形式です。

● **サービス未契約です**
- ｉモードが未契約です。利用するには申し込みが必要です。
- ｉモードを途中から契約された場合は、FOMA端末の電源を入れ直してください。

● **サービス未提供です**
SMSが未提供です。

● **再生可能日前です　再生できません**
ｉモーションに設定されている再生期間より前のため再生できません。動画/ｉモーションの情報を確認してください。→p.257

● **サイトが移動しました(301)**
サイトやインターネットホームページが自動的にURL転送を行っているか、URLが変更されています。

● **サイトに接続できませんでした(403)**
接続を拒否されるなど、何らかの原因でサイトに接続できませんでした。

● **時刻がリセットされたため、このデータを取得できません。時刻を自動設定にして電源を入れ直してください**
日付・時刻を手動で設定したときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しなかったりすると、日付・時刻が消去される場合があります。→p.44

● **指定サイトがみつかりません(404)**
URLが正しいかどうか確認してください。

● **指定サイトに表示データがありません(204)**
指定のサイトにデータがありませんでした。

● **指定したサイトへは接続できませんでした(504)**
何らかの原因で、指定のサイトなどに接続できませんでした。

● **しばらくお待ちください**
- 音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。
- 110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。

● **しばらくお待ちください（パケット）**
パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

● **受信が中断されました。受信できなかったメッセージがあります**
受信中にエラーが発生したため、SMSをすべて受信できませんでした。電波状態のよい所でSMS問合せを行ってください。→p.184

● **既にメッセージをお預かりしています**
すでにSMSは送信済みです。

● **全ての操作を制限しています**
オールロック中です。→p.108

● **正常に接続できませんでした（400）**
サイトやインターネットホームページのエラーにより接続できません。URLを確認してください。

● **積算料金が既定の上限に達したため通話が切断されました／積算料金が既定の上限に達しているため発信できません／積算料金が既定の上限に達したため保留中の通話が切断されました**
積算通話料金をリセットしてください。→p.303

● **接続相手が見つかりません。もう一度受信しますか？**
赤外線通信状態にしてから通信する相手が見つからないまま一定時間が経過しました。FOMA端末を正しく配置してから「1受信する」を押してください。→p.280

● **接続が中断されました**
電波状態のよい所で操作し直してください。同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

● **接続できませんでした（562）**
ｉモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい所で操作し直してください。

● **設定時間内に接続できませんでした**
ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

● **送信できませんでした（552）**
ｉモードセンターのエラーにより、ｉモードメールの送信に失敗しました。しばらくたってから送信し直してください。

● **ダイヤル発信が制限されています**
ダイヤル発信制限中は禁止されている操作ができません。→p.113

● **ただいま利用制限中のためしばらくしてからご利用ください**
ｉモードパケット定額サービスをご利用の場合に限り、一定時間内に著しく大量なデータ通信があったときに表示されます。一定時間接続できなくなることがありますので、しばらくたってからｉモードをご利用ください。

● **注意！電話番号やURLの記述があります。送信元に心当たりが無い場合はご注意ください。**
スキャン機能設定のメッセージスキャンを「有効にする」に設定しているとき、電話番号やURLの記載が含まれているSMSを表示しようとしました（moperaメールや留守番電話の着信通知などをSMSで受信した場合は、表示されません）。

● **中断されました**
赤外線通信中にエラーが発生しました。データの送受信が終了するまでFOMA端末を正しい位置から動かさないでください。→p.280

● **次の宛先にはメール送信できませんでした（561）**
次の宛先にｉモードメールを送信できませんでした。決定を押すと送信に失敗した宛先が表示されます。宛先を確認し、電波状態のよい所で送信し直してください。

● **データが壊れています。お買い上げ時の状態に戻しますか？**
「1戻す」を押してお買い上げ時の状態に戻します。お買い上げ時の状態に戻さないと起動できません。

● **データ転送モードへ移行できません**
FOMA端末が通信中のため、データ転送モードへ移行できません。通信が終了してから操作し直してください。

● **データまたはmicroSDカードが壊れています**
microSDカードに保存しているデータまたはmicroSDカードに問題があるため、アクセスできません。新しいmicroSDカードを取り付けるか、初期化するか、修復してください。→p.269、p.270、p.271

● **問合せできませんでした**
電波状態のよい所で操作し直してください。同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

● **登録件数がいっぱいです**
FOMAカードの保存領域が足りないため、SMSを保存できません。FOMA端末に移動するか、FOMAカード内のSMSを削除してください。→p.187、p.188

● **登録中です。しばらくしてからご利用ください（554）**
ｉモードへのユーザ登録中です。しばらくたってから操作し直してください。

● **入力データをご確認ください（205）**
サイトやインターネットホームページの入力データに誤りがあります。

● **認証接続できませんでした**
認証パスワードが正しくないため、データの全件送信や全件受信ができませんでした。→p.281、p.283

● **認証タイプに未対応です（401）**
認証タイプに対応していないため、指定のサイトやインターネットホームページに接続できません。

● **パスワードをご確認ください（401）**
サイトやインターネットホームページの認証画面に入力したユーザ名またはパスワードに誤りがあります。

● **不正なmicroSDカードです。著作権保護機能は利用できません**
何らかの原因でmicroSDカード内の認証領域にアクセスできません。エラーの発生したmicroSDカードには、コンテンツ移行対応のデータを保存できません。

● **他の機能が起動中のため起動できません**
パターンデータの更新を行う場合は、他の機能をすべて終了してください。

● **保存できないデータです**
赤外線通信で受信したデータがFOMA端末で対応していないファイル形式のため保存できません。

● **保存領域がいっぱいで保存できません**
FOMA端末の保存領域が足りないため、SMSを保存できません。SMSをFOMAカードに移動するか、メールやSMSを削除してください。→p.186、p.191

● **無効なデータを受信しました（xxx）**
- 指定のサイトやインターネットホームページに対応していません。
- URLを確認してください。
- 受信データにエラーがあるため表示できません。
- 圏内自動送信に失敗しました。

● **メール／メッセージがいっぱいです。これ以上受信できません**
FOMA端末またはFOMAカードの受信メールの保存領域が足りないため、SMSを受信できません。未読のメールを読むか、保護を解除するか、削除してください。→p.160、p.191、p.192

● **メモリ不足です**
メモリが足りないため処理を中断します。頻繁に表示される場合は、一度電源を入れ直してください。

● **ユーザ証明書がありません。継続しますか？**
ユーザ証明書がダウンロードされていません。→p.220

● **料金情報の読み込み／リセットができませんでした**
FOMAカードが正しく取り付けられていないか、異常があります。→p.32

● **FOMAカードが異なるためご利用できません**
FOMAカードのセキュリティ機能により操作できません。→p.33

● **ｉモーション最大サイズを超えています**
最大サイズを超えたため取得を中断しました。→p.222

● **ｉモードセンターが混みあっています　しばらくお待ちください（555）**
ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

● **microSDカードの保存領域がいっぱいです**
microSDカードの保存領域が足りないため、データの移動／コピー、バックアップ、情報更新ができません。不要なデータを削除してください。→p.276

● **PINロック解除コードがロックされています**
ドコモショップの窓口にお問い合わせください。→p.105

● **SMSセンター設定を確認してください**
SMS設定（SMSC）が誤っています。→p.189

● **SSL通信が切断されました**

SSL通信中にエラーが発生したか、サーバ側での認証エラーのためSSL通信が中断されました。

● **SSL通信が無効です**

SSL通信の認証処理で問題が検出されました。接続は中止されます。

● **SSL通信が無効に設定されています**

FOMA端末の証明書が無効に設定されています。設定を変更してください。→p.219

● **“○○○.ne.jp”宛のメールが混み合っているため、送信することができません（555）Unable to send. “○○○.ne.jp” is not available temporarily.（555）**

ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。メッセージ内に表示されるドメイン名は送信先により異なります。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障、修理やその他取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化、消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、iモードでダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。

※ 本FOMA端末は、電話帳やiモーションの利用するデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

※ 本FOMA端末は電話帳お預かりサービス（ケータイデータお預かりサービス）（お申し込みが必要な有料サービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターに保存していただくことができます。

※ パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（→p.331）とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください（→p.370）。それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶画面・コネクタなどの破損）による故障、損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 次の場合は、修理できないことがあります。

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や、内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・イヤホンマイク端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理できない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

- ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

- FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

■ お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災、けが、故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- 以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
  - 液晶部やボタン部にシールなどを貼る
  - 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
  - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障、損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障、修理やその他取り扱いによって、クリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定してくださるようお願いします。
- FOMA端末の受話口部やスピーカーなどに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけるとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めにドコモ指定の故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によっては修理できないことがあります。

◆メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて◆
FOMA端末を機種変更や故障修理する際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合があります。本FOMA端末はFOMA端末にダウンロードされた画像、着信メロディを含むデータおよびお客様が作成されたデータを故障修理時に限り移し替えを行います（一部移し替えできないデータもあります。また、故障の程度によっては移し替えできない場合があります）。
※ FOMA端末に保存されたデータの容量により、移し替えに時間がかかる場合、もしくは移し替えができない場合があります。

ｉモード故障診断サイトについて

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。

ｉﾓｰﾄﾞ故障診断
画像・ﾒﾛﾃﾞｨ・ﾒｰﾙなどが正常に動作しているか確認する事ができます。
このﾍﾟｰｼﾞをBookmark登録される事をお勧めします

<TOP画面>

ｉモード故障診断
ﾃｽﾄﾒﾆｭｰ一覧
GIF画像表示ﾃｽﾄ
JPEG画像表示ﾃｽﾄ
ｱﾆﾒｰｼｮﾝ画像表示ﾃｽﾄ
ﾒｰﾙ送受信ﾃｽﾄ
画像ﾒｰﾙ表示ﾃｽﾄ

<テストメニュー一覧画面>

- 「ｉモード故障診断サイト」へのアクセス方法
  待受画面で（ｉ）▶「1 ｉMenuを見る」▶「お客様サポート／お知らせ」▶「ドコモからのお知らせ」▶「サービス・機能」▶「ｉモード」▶「ｉモード故障診断」
  ※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

サイトアクセス用QRコード

- ｉモード故障診断を行う場合のパケット通信料は無料です。
- FOMA端末の機種によりテスト項目は異なります。また、テスト項目は変更になることがあります。
- 各テスト項目で動作を確認する際は、サイト内の注意事項をよくお読みになり、テストを行ってください。
- ｉモード故障診断サイトへの接続およびメール送信テストを行う際に、お客様のFOMA端末固有の情報（機種名やメールアドレスなど）が自動的にサーバ（ｉモード故障診断サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をｉモード故障診断以外の目的には利用いたしません。
- ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

ソフトウェア更新

ソフトウェアを更新する

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信※を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。FOMA端末を操作する上で重要な部分であるソフトウェアを更新することで、FOMA端末の機能・操作性を向上させることができます。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびらくらくｉメニューの「お客様サポート」でご案内させていただきます。

※ ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料はかかりません。

- ソフトウェア更新には、次の3種類の方法があります。
  - 自動更新：新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書き換えを行います。
  - 即時更新：更新したいときすぐに更新を行います。
  - 予約更新：更新する日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。

お知らせ

- ソフトウェア更新中は、電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。
- 接続先設定を「ｉモード」以外に設定している場合でもソフトウェア更新ができます。→p.218
- ソフトウェア更新は、電池をフル充電して、電池残量が十分にある状態（→p.40）で実行してください。
- 次の場合はソフトウェア更新を実行できません。
  - FOMAカードが取り付けられていないとき
  - 電池がフル充電されていないとき
  - 電源が入っていないとき
  - 圏外が表示されているとき
  - 日付・時刻を設定していないとき
  - 他の機能を使用しているとき
  - PIN1コード入力中
  - PIN1コードロック中
  - おまかせロック中
  - セルフモード中
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- PIN1コード使用の設定中（→p.106）にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時にはPIN1コード入力画面が表示されません。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は電話の着信のみ受けられます。
- ソフトウェア更新の際には、サーバ（当社のサイト）へSSL通信を行います。証明書表示／使用設定でSSL証明書を有効に設定してください。お買い上げ時は、有効に設定されています。→p.219
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態（→p.41）で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、もう一度電波状態のよい所でソフトウェア更新を行ってください。

- ソフトウェア更新後、表示されていたｉモードセンター蓄積状態表示のマーク（→p.23）は消えます。また、メール選択受信設定を「利用する」に設定している場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にｉモードセンターにメールがあることを通知する画面（→p.158）が表示されないことがあります。
- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換えに失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、たいへんお手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。

ソフトウェアの自動更新〈自動更新設定〉

ソフトウェア更新が必要なとき、自動で更新を行うか更新が必要なことを通知するかを選択できます。

- お買い上げ時は、自動更新設定が「自動で更新する」、曜日が「指定なし」、時刻が「03時00分」に設定されています。

〈例〉ソフトウェア更新を自動で行うように設定する

1 **待受画面でメニュー▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「9その他のサービスを使う」▶6ソフトウェアを更新する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **端末暗証番号を入力▶決定を押す**

ソフトウェア更新
更新を実行するか
自動更新を設定
するかを
選んでください
1更新を実行する
2自動更新を設定

3 **「2自動更新を設定」を押す**

1**自動更新設定**：更新が必要なとき、自動で更新を行うか、更新が必要なことを通知するかを設定します。
2**曜日**：自動で更新する曜日を指定します。
3**時刻**：自動で更新する時刻を指定します。

ソフトウェア更新
自動更新を
設定してください
1自動更新設定
　自動で更新する
2曜日　指定なし
3時刻　03時00分

4 「1自動更新設定」を押す

ソフトウェア更新
自動更新設定を
選んでください
1自動で更新する
2更新を通知する
3解除する

5 「1自動で更新する」を押す

曜日の選択画面が表示されます。

■ **更新が必要なことを通知する：「2更新を通知する」を押す**

操作3の画面に戻ります。操作8に進みます。

■ **自動更新設定を解除する：**

①「3解除する」▶電話帳を押す

自動更新設定を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

②「1解除する」を押す

自動更新設定を解除した旨のメッセージが表示されます。操作9に進みます。

6 「1指定なし」～「8土曜日」のいずれかを押す

時刻の設定画面が表示されます。

7 時刻を入力▶決定を押す

操作3の画面に戻ります。

- 24時間制で入力します。時、分が1桁のときは前に0を付けます。

8 電話帳を押す

自動更新設定を設定した旨のメッセージが表示されます。

9 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

更新が必要になると

- 自動更新設定を「自動で更新する」に設定した場合は、自動的に更新ファイルがダウンロードされ、待受画面にお知らせ情報（→p.24）と（書き換え予告マーク）が表示されます。決定を押すと、書き換えの開始時刻を確認したり変更したりできます。
- 自動更新設定を「更新を通知する」に設定した場合は、（更新お知らせマーク）が表示されます。→p.384「ソフトウェア更新の起動」

〈例〉書き換えの時刻を変更する

1 待受画面に書き換え予告のお知らせが表示される▶決定を押す

2 「2時刻を変更する」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

書換え時刻を設定する画面が表示されます。

■ **書き換え予告マークを消す：「1終了する」を押す**

待受画面に戻り、(書き換え予告マーク)が消えます。

■ **すぐに書き換える：「3今すぐ書換える」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す**

- 以降の操作→p.386「ソフトウェアの即時更新」操作3以降

3 「1曜日」▶「1指定なし」～「8土曜日」のいずれかを押す

時刻の設定画面が表示されます。

4 時刻を入力▶決定を押す

操作2の画面に戻ります。

- 24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

5 電話帳を押す

書換えを開始する時刻を変更した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと待受画面に戻ります。

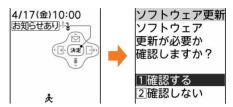
お知らせ

- (書き換え予告マーク)は次の場合に表示されます。
  - 更新ファイルのダウンロードが完了した場合
  - 他の機能が起動していて書き換えできなかった場合
  - 書き換えを中止した場合や書き換えの開始時刻を変更した場合
- (更新お知らせマーク)は次の場合に表示されます。
  - ドコモから通知があった場合
  - 更新方法選択画面を表示した場合
  - 予約更新に失敗した場合や予約更新を取り消した場合

ソフトウェア更新の起動

待受画面にお知らせ情報（→p.24）と!↓(更新お知らせマーク）が表示されているときに決定を押す方法と、メニューの項目番号を押す方法があります。

更新お知らせマークが表示されているときにソフトウェア更新を起動する

1 **待受画面に更新のお知らせが表示される▶決定を押す**

2 **「1確認する」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す**

ソフトウェア更新
更新が必要です。
更新方法を
選んでください
1今すぐ更新する
2更新を予約する
3更新しない

<更新方法選択画面>

- 更新が必要な場合は「更新が必要です。更新方法を選んでください」と表示されます。「1今すぐ更新する（→p.385）」または「2更新を予約する（→p.386）」を押してください。
- 更新が必要ない場合は「更新の必要はありません。このままご利用ください」と表示されます。決定を押してそのままご利用ください。

■ 更新お知らせマークを消す：

①「2確認しない」を押す

ソフトウェア更新のお知らせアイコンを消去するかどうかの確認画面が表示されます。

②「1消去する」を押す

待受画面に戻り、!↓(更新お知らせマーク）が消えます。

メニューからソフトウェア更新を起動する

1 **待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「9その他のサービスを使う」▶「6ソフトウェアを更新する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **端末暗証番号を入力▶(決定)▶「1更新を実行する」を押す**

更新が必要な場合は、更新方法選択画面が表示されます。

ソフトウェアの即時更新

- サーバが混み合っていて、即時更新ができない場合があります。

1 **更新方法選択画面を表示する**

- 操作方法→p.384

2 **「1今すぐ更新する」▶約5秒後に自動的にダウンロードが開始される**

(決定)を押すと、すぐにダウンロードを開始します。

ソフトウェア更新
更新情報を
ダウンロード
します。
音声着信のみ
ご利用になれます
決定

→

ソフトウェア更新
更新情報を
ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ中です

- ダウンロード中に(決定)：ダウンロードを中止します。

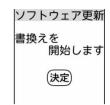
■ サーバが混み合っているとき

右の画面が表示されます。「1更新を予約する」を押して日時の予約をしてください。→p.387「ソフトウェアの予約更新」操作3以降

ソフトウェア更新
サーバが
混んでいるため
今すぐ
更新できません。
予約しますか？
1更新を予約する
2予約しない

3 ダウンロード終了後、約5秒後に自動的にソフトウェア書き換えが開始される

決定を押すと、すぐに書き換えを開始します。書き換え中は終話キーを8秒以上押して電源を切る操作のみ可能です。

4 書き換え終了後、自動的に再起動▶決定を押す

更新が終了して待受画面が表示されます。

ソフトウェアの予約更新

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混み合っている場合には、あらかじめソフトウェア更新を起動する日時をサーバと通信して設定しておきます。

〈例〉表示されている候補から予約する

1 更新方法選択画面を表示する

- 操作方法→p.384

2 「2更新を予約する」を押す

予約可能な日時がサーバの時刻で表示されます。

ソフトウェア更新
希望日時を
選んでください
04/17金　10:00
04/17金　11:00
04/17金　12:00
04/17金　13:00
その他の日時

3 希望日時を選択▶決定▶「1 予約する」を押す

■ 表示されている候補以外から予約する：

① 「その他の日時」を選択▶決定を押す

希望日の選択画面が表示されます。

② 希望日を選択▶決定を押す

各時間帯の予約の空き状況が表示されます。電話帳を押すと説明を表示できます。

③ 希望時間帯を選択▶決定を押す

サーバに接続され、選択した希望日と時間帯に近い予約候補が表示されます。

④ 希望日時を選択▶決定▶「1 予約する」を押す

4 決定を押す

待受画面またはメニュー画面に戻ります。

- 予約中は、待受画面に↧（予約マーク）が表示されます。

予約を確認・変更・取り消しする

〈例〉ソフトウェア更新の予約日時を確認する

1 待受画面でメニュー▶「9 設定を行う」▶「9 その他の設定を行う」▶「2 ネットワークサービスを使う」▶「9 その他のサービスを使う」▶「6 ソフトウェアを更新する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力▶決定▶「1 更新を実行する」を押す

ソフトウェア更新
4月17日(金)
10:00に
予約されています
1 終了する
2 変更する
3 取消す

3 内容を確認▶「1終了する」を押す

メニュー画面に戻ります。

■ 予約を変更する：「2変更する」を押す

希望日の選択画面が表示されます。

• 以降の操作→p.387「■表示されている候補以外から予約する」操作②以降

■ 予約を取り消す：「3取消す」▶「1取消す」▶決定を押す

予約が取り消され、メニュー画面に戻ります。

予約の日時になると

• 予約日時になると右の画面が表示され、約5秒後に自動的にソフトウェア更新を開始します（決定を押すと、すぐにソフトウェア更新を開始します）。予約日時前には、電池がフル充電されていることをご確認の上、電波の十分届く所でFOMA端末を待受画面にしておいてください。ダウンロードが完了するとソフトウェアの書き換えが行われ、再起動します。

• ソフトウェア更新を中止する場合は ▶「1終了する」を押します。

ソフトウェア更新

予約時刻です。
更新を開始します

決定

お知らせ

• 次の場合は、ソフトウェア更新の予約が解除されることがあります。
  - 電池パックを取り外したり、電池が切れたまま充電しなかった場合
  - データ一括削除を行った場合
  - おまかせロック中に予約日時になったとき

• ソフトウェア更新の設定中、または他の機能を使用していると予約日時になっても起動しないことがありますのでご注意ください。パケット通信中に予約日時になったときは、パケット通信終了後にソフトウェア更新を開始します。

スキャン機能

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る

まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードやメールなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのために使用するパターンデータは、新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされます。自動更新設定を「有効にする」に設定すると、パターンデータがバージョンアップされたときに自動的にダウンロードと更新が行われます。
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータが侵入することに対して、一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合には、本機能によって障害などの発生を防げませんので、あらかじめご了承ください。
- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。また、当社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は停止する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- パターンデータの更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- FOMA端末で正しい日付・時刻を設定していない場合は、パターンデータの更新はできません。
- パターンデータ更新中に電話の着信があった場合は、更新は中断されます。

スキャン機能の設定〈スキャン機能設定〉

本設定を「有効にする」に設定すると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックします。障害を引き起こすデータを検出すると5段階の警告レベルで表示されます。→p.392

1 待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「9その他のサービスを使う」▶「5スキャン機能を使う」▶「3スキャン機能を設定する」を押す

1**スキャン機能**：スキャン機能を有効にするかどうかを設定します。
2**メッセージスキャン**：SMSを表示する際にスキャン機能を有効にするかどうかを設定します。

スキャン機能の有効または無効を設定してください
1スキャン機能 有効
2ﾒｯｾｰｼﾞｽｷｬﾝ 有効

2 「1スキャン機能」▶「1有効にする」を押す

操作1の画面に戻ります。

- 「2無効にする」：操作4に進みます。

3 「2メッセージスキャン」▶「1有効にする」または「2無効にする」を押す

操作1の画面に戻ります。

4 電話帳を押す

スキャン機能を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

パターンデータの自動更新〈自動更新設定〉

- パターンデータの自動更新に成功すると、待受画面にお知らせ情報（→p.24）とが表示されます。決定を押してメッセージを確認した後、決定を押してください。

1 待受画面でメニュー▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「9その他のサービスを使う」▶「5スキャン機能を使う」▶「2パターンデータ自動更新設定を行う」を押す

パターンデータ自動更新設定を有効にするかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1有効にする」▶「1続ける」を押す

- 「2無効にする」：自動更新設定を無効にします。

自動更新設定
自動更新を
有効にするため
通信を行います
通信では携帯電話
情報を送信します
1続ける
2中止する

3 「1続ける」を押す

自動更新を有効／無効に設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

<「有効にする」に設定した場合>　<「無効にする」に設定した場合>

パターンデータの更新

自動更新設定を「無効にする」に設定しているときや、待受画面にお知らせ情報（→p.24）と（パターンデータの自動更新失敗）が表示された場合には、パターンデータを手動で更新してください。

1 待受画面でメニュー▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「9その他のサービスを使う」▶「5スキャン機能を使う」▶「1パターンデータを更新する」を押す

パターンデータを更新するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1更新する」▶「1送信する」を押す

パターンデータのダウンロードと更新が開始されます。終了すると、更新を完了した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

- パターンデータの更新が必要ないときは、パターンデータは最新である旨のメッセージが表示されます。決定を押してそのままご利用ください。

スキャン結果の表示

■ スキャンされた問題要素の表示について

警告レベル画面で「詳細を表示する」を押すと検出された問題要素の名前の一覧が表示されます。ただし、問題要素が6個以上検出された場合は、6個目以降の問題要素名は省略され、検出された問題要素の総数が表示されます。

- 決定を押すと警告レベル画面に戻ります。

問題要素一覧
PadHtml001.H
PadHtml002.H
PadHtml003.H
PadHtml004.H
PadHtml005.H
以下省略します
総数30

■ スキャン結果の表示について

警告レベル	対応方法
警告レベル0 スキャン機能 正常に動作できな い場合があります 1続ける 2詳細を表示する	1 **続ける**：起動中のアプリケーションの処理を続行します。 2 **詳細を表示する**：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル1 スキャン機能 正常に動作できな い場合があります 動作を 中止しますか？ 1中止する 2続ける 3詳細を表示する	1 **中止する**：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 2 **続ける**：起動中のアプリケーションの処理を続行します。 3 **詳細を表示する**：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル2 スキャン機能 正常に動作できな い場合があるため 終了します 1終了する 2詳細を表示する	1 **終了する**：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 2 **詳細を表示する**：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル3 スキャン機能 正常に動作できな い場合があります データを 削除しますか？ 1削除する 2削除しない 3詳細を表示する	1 **削除する**：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除します。 2 **削除しない**：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 3 **詳細を表示する**：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル4 スキャン機能 正常に 動作できないため データを 削除します 1削除する 2詳細を表示する	1 **削除する**：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除します。 2 **詳細を表示する**：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。

※ 上記以外のメッセージが表示されたときは、電話帳を押して警告レベル画面を表示します。

パターンデータのバージョン表示

1 **待受画面でメニュー▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」▶「9その他のサービスを使う」▶「5スキャン機能を使う」▶「4パターンデータの版数を確認する」を押す**

パターンデータのバージョンが表示されます。

- 決定を押すとメニュー画面に戻ります。

主な仕様

■ 本体

項目		仕様
品名		F-07A
サイズ		高さ約105mm×幅約51mm×厚さ約19.5mm
質量		約110g（電池パック装着時）
連続待受時間※1、2、3		静止時：約560時間 移動時：約420時間
連続通話時間※2、3、4		約190分
充電時間※5		ACアダプタ：約150分 DCアダプタ：約150分
液晶部	方式	ディスプレイ：TFT262,144色 背面ディスプレイ：STN1色
	サイズ	ディスプレイ：約2.4inch 背面ディスプレイ：約1.2inch
	画素数	ディスプレイ：76,800画素（240ドット×320ドット） 背面ディスプレイ：4,096画素（64ドット×64ドット）
撮像素子	種類	CMOS
	サイズ	1/5.0inch
	有効画素数	約200万画素
カメラ部	記録画素数（最大時）	約190万画素
	ズーム（デジタル）	最大約16.0倍
記録部	静止画記録枚数※6	最大約930枚（お買い上げ時） 最大約1,000枚（削除可能なプリインストールデータ削除時）
	静止画ファイル形式	JPEG
	動画録画時間※7	最大約29秒（本体保存時） 最大約21分（microSDカード64MB保存時）
	動画ファイル形式	MP4
音楽再生（連続再生時間）		ｉモーション：約1,030分
保存容量（着うた®）※8		約20MB

※1 連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

※2 電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受の時間が約半分程度になる場合があります。

※3 ｉモード通信、ｉモードメールの作成、音声読み上げ、動画／ｉモーションの再生、カメラの使用、歩数計の利用、マルチアクセスの実行、データ通信などを行うと通話や通信、待受の時間は短くなります。

※4 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態での時間の目安です。

※5 充電時間とは、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

※6 静止画記録枚数とは、写真の大きさが「Sサイズ（176×144）」、ファイルサイズが10Kバイトの場合です。

※7 動画録画時間とは、1件あたりの数値です。本体保存時は、画質の設定が「標準の画質」、ビデオサイズ（容量）が「メール添付・小」の場合です。microSDカード保存時は、画質の設定が「最高画質」、ビデオサイズ（容量）が「microSD・無制限」の場合です。撮影する映像によって異なります。
※8 着うた®専用に約10Mバイトの保存領域を確保しています。

■ 電池パック

品名	電池パック F16	公称電圧	3.7V
使用電池	リチウムイオン電池	公称容量	900mAh

撮影した写真の保存可能枚数

撮影（保存）可能な枚数は、「写真の大きさ」の設定（→p.239）や「撮影モード選択」の設定（→p.237）、撮影状況によって変わります。撮影（保存）できる枚数の目安は次のとおりです。
- 保存可能枚数の「本体」はお買い上げ時に登録されている削除可能なデータを削除した場合、「microSDカード」は容量が64Mバイトの場合です。

撮影モード	写真の大きさ	本体	microSDカード
ケータイ撮影	Sサイズ（176×144）	約1000枚	約3870枚
	待受（240×320）	約503枚	約1935枚
	Lサイズ（640×480）	約209枚	約774枚
デジカメ撮影	デジカメ（1200×1600）	約23枚	約94枚

※ ファイルの大きさや保存されている件数によって撮影できる枚数は増減するため、撮影画面に表示される枚数と記載されている枚数は異なることがあります。

撮影したビデオの保存可能時間

撮影（保存）可能な時間は、ビデオサイズ（容量）（→p.239）や画質（→p.240）、撮影状況によって変わります。撮影（保存）できる時間の目安は次の通りです。
- microSDカードは容量が64Mバイトの場合です。

ビデオサイズ（容量）	画質の設定	1回あたりの撮影時間	最大撮影時間（本体）	最大撮影時間（microSDカード）
メール添付・小	長時間	約56秒	約37分	約114分
	標準の画質	約29秒	約19分	約59分
	高画質	約20秒	約13分	約41分
メール添付・大	長時間	約228秒	約38分	約114分
	標準の画質	約118秒	約19分	約59分
	高画質	約81秒	約13分	約40分
microSD・無制限	最高画質	約21分	―	約21分

※ 1回あたりの撮影時間に関わらず、最大撮影時間に達すると撮影は終了します。

録音した音声の保存可能時間

録音（保存）できる時間の目安は次の通りです。

- microSDカードは容量が64Mバイトの場合です。

録音サイズ（容量）	1回あたりの録音時間	最大録音時間（本体）	最大録音時間（microSDカード）
メール添付・小	約485秒	約323分	約994分
メール添付・大	約33分	約331分	約994分
microSD・無制限	約720分	―	約1002分

※ 1回あたりの録音時間に関わらず、最大録音時間に達すると録音は終了します。

F-07Aの保存・登録・保護件数

種　別		保存・登録件数	保護件数
電話帳※1		最大1000件	―
FOMAカード電話帳		最大50件	―
メール	受信メール※1、2	最大1000件	最大500件
	送信メール※1、2	最大200件	最大100件
	未送信メール※1、2	最大200件	最大100件
メッセージR※1		最大100件	最大50件
メッセージF※1		最大50件	最大25件
エリアメール		最大30件	―
FOMAカードのSMS※3		最大20件	―
ブックマーク		最大100件	―
画面メモ※1		最大100件	最大50件
画像※1		最大1000件	―
動画／ｉモーション（ビデオ、音声）※1		最大100件	―
メロディ※1		最大500件	―
予定表		最大300件	―

※1 実際に保存・登録できる件数は、データのサイズにより少なくなる場合があります。

※2 ｉモードメールとSMSの合計件数です。

※3 受信SMSと送信SMSの合計件数です。送達通知は保存件数に含まれません。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種F-07Aの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機F-07AのSARの値は0.767W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご覧ください。

総務省のホームページ http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ http://www.arib-emf.org/
ドコモのホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
富士通のホームページ http://www.fmworld.net/product/phone/sar/

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

輸出管理規制について

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「mova」「ｉモーション」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉモーションメール」「ｉショット」「ｉメロディ」「DoPa」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「WORLD WING」「着モーション」「デコメ®」「デコメール®」「ｉチャネル」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「sigmarion」「セキュリティスキャン」「musea」「公共モード」「メッセージF」「パケ・ホーダイ」「おまかせロック」「電話帳お預かりサービス」「ケータイデータお預かりサービス」「イマドコかんたんサーチ」「ケータイお探しサービス」「メロディコール」「エリアメール」および「FOMA」ロゴ「ｉ-mode」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Sync Clientを搭載しています。 NetFront®
  ACCESS、NetFrontは、日本国、米国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
  Copyright© 2009 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2009 Aplix Corporation. All rights reserved.
  JBlendおよびJBlendに関する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。

- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Lite™テクノロジーを搭載しています。

  Adobe、FlashおよびFlash Liteは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。 ADOBE FLASH ENABLED
- AdobeおよびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- FlashFX® Pro™はDATALIGHT, Inc.の登録商標です。
  FlashFX® Copyright 1998-2009 DATALIGHT, Inc.
  U.S.Patent Office 5,860,082/6,260,156
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C,LLCの商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
- 本製品は、日本語変換機能として、株式会社ジャストシステムのATOK＋APOTを搭載しています。
  「ATOK」「APOT（Advanced Prediction Optimization Technology）」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- 本機には、Symbian Software Ltd.またはライセンス提供元©1998-2009 よりライセンス供与されたソフトウェアが含まれています。symbian OS およびSymbian OSはSymbian Ltd.またはライセンス提供元の商標です。
- その他、本取扱説明書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
  - Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。

その他

- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やｉモーション（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA,LLCにお問い合わせください。

- 「ホライズン」の写真に関する著作権はYUKIMASA HIROTA、Eric P.、corbis、MASAO ISHIHARA、Doable、William Huber／ゲッティ イメージズ、Ben Bloom／ゲッティ イメージズ、altrendo images／Altrendo／ゲッティ イメージズ、Lecorre Productions／ゲッティ イメージズ、Andrew Hetherington／ゲッティ イメージズ、Angel Herrero de Frutos／ゲッティ イメージズが有しています。
- 「平安」「バロック」「マンダリン」のデザインに関する著作権は株式会社日本デザインセンターが有しています。
- 「草」「花」の写真に関する著作権は片桐飛鳥氏が有しています。

索引／クイックマニュアル

索引

索引の使いかた

機能名やキーワードを列挙した索引には、「50音目次」としての機能もあります。なお、「登録」「削除」などの操作については、まず1階層目（**太字**）の機能名やキーワードで検索したのち、2階層目の索引項目から探してください。

〈例〉予定表の件数確認をしたいとき

予定表......297
カレンダー画面......297
シークレット属性設定／解除......300
登録件数確認......300
日付変更......300

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

英数字・記号

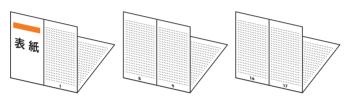
クイックマニュアル

クイックマニュアルの使いかた

「クイックマニュアル」は、FOMA端末の基本的な画面表示や操作方法について簡潔に説明しています。外出時などに、下記のようにキリトリ線で切り離し、小さく折ってご使用ください。

1 キリトリ線から切り離す

※ 切り離しの際には、けがなどにご注意ください。

2 それぞれを横半分に折る

3 それぞれを縦半分に折る

docomo F-07A

クイックマニュアル

総合お問い合わせ先〈ドコモ インフォメーションセンター〉

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

ドコモの携帯電話からの場合（局番なしの）	一般電話などからの場合
151（無料）	0120-800-000
※一般電話などからはご利用になれません。	※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9：00～午後8：00（年中無休）

故障お問い合わせ先

故障、異常かなと思われたら、下記までお問い合わせください。

ドコモの携帯電話からの場合（局番なしの）	一般電話などからの場合
113（無料）	0120-800-000
※一般電話などからはご利用になれません。	※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間（年中無休）

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

電話

電話のかけかた

1. 待受画面で電話番号を入力する
2. [発信]を押す

3. 通話する
4. 通話が終了したら[終話]を押す

発信者番号を通知する／通知しない

待受画面で電話番号を入力▶[メニュー]▶「3通知で電話」または「4非通知で電話」を押す

通話を保留する

通話中に[決定]を押す

- [決定]を押すたびに保留／解除されます。

スピーカーホン機能を使用する

通話中に[発信]または[電話帳]を押す

- [発信]または[電話帳]を押すたびに設定／解除されます。

電話の受けかた

1. 電話がかかってくる
2. [発信]を押す
3. 通話する
4. 通話が終了したら[終話]を押す

キリトリ線

電話帳

- FOMAカード電話帳には、直接登録したり修正したりできません。FOMA端末電話帳に登録またはコピーして修正してからFOMAカード電話帳にコピーしてください。

電話帳の登録

1. 待受画面で[メニュー]▶「1電話帳を使う 履歴を見る」▶「4電話帳に登録する」を押す
2. 名前／フリガナ／電話番号／メールアドレス／郵便番号と住所／テキストメモ／グループ／電話帳Noを登録▶[決定]を押す
3. 「1登録する」を押す
   - 登録を終了する場合は「2終了する」を押します。

4.「1ワンタッチダイヤル1」～「3ワンタッチダイヤル3」▶電話番号／メールアドレスの選択▶電話／メールの着信音を設定▶決定を押す

電話帳の検索

1.待受画面でメニュー▶「1電話帳を使う 履歴を見る」▶「3電話帳の内容を見る」を押す
2.「1 50音順検索」～「6電話帳No検索」を押す
3.目的の相手を検索して選択する

FOMAカード電話帳を検索する

1.待受画面でメニュー▶「1電話帳を使う 履歴を見る」▶「3電話帳の内容を見る」▶電話帳を押す
2.「1 50音順検索」～「4電話番号検索」を押す
3.目的の相手を検索して選択する

電話帳の修正

1.「電話帳の検索」(→p.4)の操作1～3を行う
2.メニュー▶「4修正する」を押す
3.必要な項目を修正する
4.「1上書きする」または「2新規登録する」を押す
- 以降は「電話帳の登録」の操作3～4と同様に操作します。→p.3

キリトリ線

文字の入力

入力モードの切り替え

文字入力画面で[を複数回押す
- 押すたびに入力モードは「半角カタカナ」→「半角英字」→「半角数字」→「ひらがな／漢字」→…と切り替わります。

文字の入力・変換

〈例〉「六本木」と入力するとき

1.ひらがな／漢字入力モードで文字を入力する
「ろ」：9を5回押します。
「っ」：4を3回押して*を2回押します。
「ぽ」：6を5回押して*を2回押します。
「ん」：0を3回押します。
「ぎ」：2を2回押して*を押します。

- 文字を挿入する場合：カーソルを挿入位置に移動▶文字を入力する
- 入力した文字の確定前にできる操作
戻る：入力した文字を取り消します。
*：複数回押すことで大文字／小文字を切り替えたり、濁点「゛」や「゜」を付加します。

2.電話帳を押す
- メール／↕／電話帳：変換候補一覧を表示します。
- 戻る：変換前の状態に戻します。

3.決定を押す

文字の削除

カーソルが文中にあるとき

戻る：カーソル位置の1文字を削除します。
戻るを1秒以上：カーソル位置から文末までの文字をすべて削除します。

カーソルが文末にあるとき

戻るch：カーソル位置の左の1文字を削除します。

戻るchを1秒以上：入力した文字をすべて削除します。

絵文字・記号・定型文の入力

絵文字を入力する

1. 文字入力画面でメニュー▶「1絵文字を入力」を押す
2. 絵文字を選択▶決定を押す
   - メニュー／電話帳：ページを切り替えます。

記号を入力する

1. 文字入力画面でメニュー▶「2記号を入力」を押す
2. 記号を選択▶決定を押す
   - メニュー／電話帳：ページを切り替えます。

定型文を入力する

1. 文字入力画面でメニュー▶「4定型文を貼付け」を押す
2. フォルダを選択▶決定▶定型文を選択▶決定▶決定を押す
   - ◁▷：ページを切り替えます。

カメラ機能

写真／ビデオの撮影

写真を撮影する

1. 待受画面でカメラを押す

写真の大きさと撮影（保存）できる残りの枚数の目安

2. 被写体にカメラを向けて決定▶決定を押す
3. 「1保存する」▶決定を押す

● **microSDカードを取り付けているとき：**「1microSDに保存」または「2本体に保存」▶決定を押す

ビデオを撮影する

1. 待受画面でカメラを1秒以上▶「2ビデオ撮影」を押す

撮影（保存）できる残り時間の目安

2. 被写体にカメラを向けて決定を押す
3. 決定▶決定を押す
4. 「1保存する」▶決定を押す

● **microSDカードを取り付けているとき：**「1microSDに保存」または「2本体に保存」▶決定を押す

キリトリ線

撮影した写真の表示／ビデオの再生

写真を表示する

1. 待受画面で(メニュー)▶「3写真・ビデオを撮る・見る」を押す
2. 「2写真・画像を見る」を押す
3. 「撮影した写真」アルバムを選択▶(決定)を押す

● **microSDカード内の写真を表示する：**「microSDの写真」アルバムを選択▶(決定)▶「1写真」▶アルバムを選択▶(決定)を押す

4. 表示する写真を選択▶(決定)を押す

- (メール)(i)：アルバム内の前後の写真を表示

ビデオを再生する

1. 待受画面で(メニュー)▶「3写真・ビデオを撮る・見る」を押す
2. 「4ビデオを見る　録音音声を聞く」を押す
3. 「撮影したビデオ」アルバムを選択▶(決定)を押す

● **microSDカード内のビデオを再生する：**「microSDのビデオ」アルバムを選択▶(決定)▶「3ビデオ」▶アルバムを選択▶(決定)を押す

4. 再生するビデオを選択▶(決定)を押す

- (決定)：一時停止／再生
- (メール)(i)／(+)(−)：音量調節
- (電話帳)：停止
  停止中に(決定)を押すと先頭から再生します。
- (◁)／(▷)：巻き戻し再生／早送り再生
- (1)：10秒巻き戻し
- (3)：30秒早送り
- (*)：横再生画面と通常の画面の切り替え

キリトリ線

iモードメール

iモードメールの作成・送信

1.待受画面で（メールキー）を1秒以上押す

	メール作成：新規
宛先欄	宛先：
題名欄	題名：
本文欄	本文：
装飾欄	装飾：設定なし
	送信する

- 簡単メール作成画面が表示された場合は、電話帳▶「1切替える」を押して通常メール作成画面に切り替えます。
- 装飾欄を選択して決定▶「1テンプレート」を押すと、装飾用のメールテンプレートの一覧が表示されます。読み込むメールテンプレートを選択して決定▶決定を押すと、簡単にデコメール®を作成できます。

2.宛先欄を選択▶決定を押す

3.宛先を入力する

- 「1最近送信した人」または「2最近受信した人」：最近送受信した履歴から選択します。送信する履歴を選択▶決定を押します。
- 「3電話帳から選ぶ」：電話帳から選択します。電話帳を検索（→p.4）▶相手を選択▶決定▶メールアドレスを選択▶決定を押します。
- 「4直接入力する」：直接入力します。宛先を入力▶決定を押します。

4.題名欄を選択▶決定▶題名を入力▶決定を押す

5.本文欄を選択▶決定▶本文を入力▶決定を押す

6.「送信する」を選択▶決定を押す

- メールを保存する：メニュー▶「2保存する」を押します。

データの添付

1.通常メール作成画面（→p.16）でメニュー▶「4添付データ」を押す

2.「1追加する」を押す

- 添付データを解除する：「2解除する」または「3全て解除する」を押します。

3.「1ビデオ・音声」～「4手書きメモ」を押す

● **ビデオを添付する**：「1ビデオ・音声」▶今から撮影／アルバムから選択する

● **音声を添付する**：「1ビデオ・音声」▶今から録音／アルバムから選択する

● **写真を添付する**：「2写真」▶今から撮影／アルバムから選択する

● **メロディを添付する**：「3メロディ」▶フォルダから選択する

● **手書きメモを添付する**：「4手書きメモ」▶手書きメモを撮影して保存する

iモードメールの受信

1.メールを受信する

画面表示や着信音などでお知らせします。受信結果が表示されます。

2.「1メール」を押す

3.フォルダを選択▶決定を押す

4.メールを選択▶決定を押す

iモード問合せ

1.待受画面で（メールキー）▶「6メールがあるか問合せる」を押す

2.「1メール・メッセージを受信する」を押す

キリトリ線

その他の主な操作

リダイヤルを表示する

1. 待受画面でを押す

リダイヤルから電話をかける

1. 待受画面でを押す
2. を押して目的の電話番号を表示する
3. を押す

着信履歴を表示する

1. 待受画面でを押す

着信履歴から電話をかける

1. 待受画面でを押す
2. を押して目的の電話番号を表示する
3. を押す

マナーモードを設定／解除する

1. 待受画面で[#]を1秒以上▶[決定]を押す
   - 解除する：マナーモード中に待受画面で[#]を1秒以上▶[決定]を押します。

公共モード（ドライブモード）を設定／解除する

1. 待受画面で[＊]を1秒以上▶[決定]を押す
   - 解除する：公共モード（ドライブモード）中に待受画面で[＊]を1秒以上▶[決定]を押します。

公共モード（電源OFF）を設定／解除する

1. 待受画面で[＊][2][5][2][5][1]を押す
   - 解除する：公共モード（電源OFF）中に待受画面で[＊][2][5][2][5][0]を押します。

伝言メモを設定／解除する

1. 待受画面で[メニュー]▶「[5]便利なツールを使う」▶「[5]伝言メモ・通話メモを使う」▶「[1]伝言メモを使う」▶「[2]伝言メモを開始／停止する」▶「[1]開始する」▶[決定]を押す

- 解除する：伝言メモを設定中に待受画面で[メニュー]▶「[5]便利なツールを使う」▶「[5]伝言メモ・通話メモを使う」▶「[1]伝言メモを使う」▶「[2]伝言メモを開始／停止する」▶「[2]停止する」▶[決定]を押します。

伝言メモを再生する

1. 待受画面で[メニュー]▶「[5]便利なツールを使う」▶「[5]伝言メモ・通話メモを使う」▶「[1]伝言メモを使う」▶「[1]伝言メモを再生する」▶[決定]を押す
2. を押して目的の伝言メモを選択▶[決定]を押す
   伝言メモが再生されます。
3. 「[1]削除する」または「[2]削除しない」を押す

キリトリ線

クイック伝言メモを利用する

1. 着信中に(メニュー)▶「1 伝言メモ」を押す

自分の電話番号を確認する

1. 待受画面で(メニュー)▶「0 自分の電話番号を見る」を押す

ディスプレイの見かた

ディスプレイ上

① 電池残量の表示
② /圏外:受信レベルの表示
SELF:セルフモード中
:データ転送モード中など
③ : i モード中、接続中
:SSLページ表示中
/ :パソコンと接続してパケット通信中/データ送受信中
:オートスピーカーホン機能の設定中
④ :赤外線通信中
:シークレットモード中
⑤ :電話中
:電話切断中
64K:64Kデータ通信中
:音声読み上げ可能/音声読み上げ中

⑥ :未読エリアメール
:未読 i モードメール、SMS状態表示
:未読メッセージR状態表示
:未読メッセージF状態表示
⑦ H:USBハンズフリー対応機器で通信中
通信中: i モード中
取得中: i モーションデータ取得中
漢字かな:入力モードの表示
⑧ :マナーモード中
SV:電話のバイブレータと電話着信音量の消音を同時に設定中
V:電話のバイブレータを設定中
S:電話着信音量を消音に設定中
: i モードメール、SMSの受信中
⑨ :公共モード(ドライブモード)中
(黒):FOMAカードを読み込み中
R:メッセージRの受信中
F:メッセージFの受信中

ディスプレイ中

① お知らせあり
② メールあり
着信あり
メッセージRあり
③ 留守番 [長押し

① :書き換え予告マーク
:更新お知らせマーク
/ :パターンデータの自動更新成功/失敗
:電話帳の自動更新失敗
:圏内自動送信失敗メールあり
:電話帳保存のお知らせ
② メール、不在着信、伝言メモ、メッセージR/Fの新着あり
③ 留守番 [長押し:留守番電話サービスセンターに伝言メッセージあり

キリトリ線

ディスプレイ下

① (黒)：伝言メモの設定中
　：未確認の伝言メモあり
　(赤)：伝言メモが満杯
② ：未確認の不在着信情報あり
③ ／：歩数計の使用設定中／歩数計の使用と歩数計自動送信メールを設定中
④ ：ｉモードセンター蓄積状態表示
⑤ ：ソフトウェア更新の予約中
　：microSDカードあり
⑥ ：USBケーブルでパソコンなどと接続中
⑦ ：ダイヤル発信制限中
⑧ ：個人情報表示制限中
　：目覚まし設定中
　：予定を通知するように設定中
　：目覚ましと予定を通知するように設定中

ネットワークサービス

主なネットワークサービスを開始／停止する

1. 待受画面で(メニュー)▶「9設定を行う」▶「9その他の設定を行う」▶「2ネットワークサービスを使う」を押す
2. 「1留守番サービスを使う」～「5番号通知お願いサービスを使う」を押す

● **留守番電話サービスを設定する**：「1留守番サービスを使う」▶「3留守番サービスを開始する」または「4留守番サービスを停止する」を押す
- 以降、画面の指示に従い操作します。

● **キャッチホンを設定する**：「2キャッチホンを使う」▶「1キャッチホンを開始する」または「2キャッチホンを停止する」を押す
- 以降、画面の指示に従い操作します。

● **転送でんわサービスを設定する**：「3転送サービスを使う」▶「1転送サービスを開始する」または「2転送サービスを停止する」を押す
- 以降、画面の指示に従い操作します。

● **迷惑電話ストップサービスを利用する**：「4迷惑電話ストップを使う」▶「1迷惑電話着信拒否を登録する」または「2着信拒否する番号を登録する」▶「1登録する」を押す
- 以降、画面の指示に従い操作します。

● **番号通知お願いサービスを設定する**：「5番号通知お願いサービスを使う」▶「1番号通知お願いサービスを開始する」または「2番号通知お願いサービスを停止する」を押す
- 以降、画面の指示に従い操作します。

FOMA端末から利用できるサービス

FOMA端末から利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス (有料：案内料＋通話料) (電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません)	(局番なし) 104
電報の発信（有料：電報料）	(局番なし) 115
時報サービス（有料）	(局番なし) 117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	(局番なし) 110
消防・救急への緊急通報	(局番なし) 119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	(局番なし) 118
災害用伝言ダイヤル（有料）	(局番なし) 171
コレクトコール (有料：案内料＋通話料)	(局番なし) 106

キリトリ線

メニュー一覧

1 電話帳を使う　履歴を見る
- 1 電話してきた相手を見る
- 2 電話をかけた相手を見る
- 3 電話帳の内容を見る
- 4 電話帳に登録する
- 5 電話帳のグループを設定する
- 6 自分の電話番号を見る
- 7 電話帳の登録件数を見る

2 メールを使う
- 1 受信したメールを見る
- 2 メールを作る
- 3 例文を使ってメールを作る
- 4 未送信のメールを見る
- 5 送信したメールを見る
- 6 メールがあるか問合せる
- 7 メールアドレスを確認・変更する
- 8 メールを設定する
  - 1 メールに付ける署名を登録する
  - 2 例文を編集する
  - 3 メール選択受信を設定する

  - 4 らくらく返信を設定する
  - 5 らくらく返信の本文を編集する
  - 6 メールの振り分けを設定する
  - 7 エリアメールを設定する
  - 8 メールを送受信した人を見る
  - 9 受信する添付種別を選ぶ
  - 0 添付のメロディを自動演奏する
  - * 未読メッセージを自動で表示する
- 9 SMSを使う
  - 1 SMSを作る
  - 2 届いているSMSを受信する
  - 3 SMSを設定する
  - 4 FOMAカードの受信SMSを見る
  - 5 FOMAカードの送信SMSを見る

3 写真・ビデオを撮る・見る
- 1 写真を撮影する
- 2 写真・画像を見る
- 3 ビデオを撮影する
- 4 ビデオを見る　録音音声を聞く

4 ｉモードを使う
- 1 ｉMenuを見る
- 2 ブックマークを見る

- 3 最後に表示したサイトを見る
- 4 インターネットに接続する
- 5 画面メモを見る
- 6 メッセージを見る
- 7 ｉチャネルを見る
- 8 ｉチャネルを設定する
- 9 ｉモードを設定する

5 便利なツールを使う
- 1 メモを使う
- 2 お知らせタイマーを使う
- 3 ボイスレコーダを使う
- 4 赤外線を使う
- 5 伝言メモ･通話メモを使う
- 6 microSDカードを使う
- 7 手書きメモを使う
- 8 拡大鏡を使う
- 9 バーコードを読取る

6 目覚まし･予定表を使う

7 電卓を使う

8 歩数計を使う
- 1 歩数の履歴を表示する
- 2 一日の歩行情報を表示する

- 3 歩数の自動送信メールを設定する
- 4 歩数計の利用／停止を設定する
- 5 歩数の履歴を削除する
- 6 今日の歩数を削除する

9 設定を行う
- 1 画面の設定を行う
  - 1 待受画面の表示を設定する
  - 2 メニュー形式と配色を設定する
  - 3 画面の明るさを設定する
  - 4 背面画面の表示を設定する
- 2 電話着信時の設定を行う
  - 1 電話着信時の着信音を選ぶ
  - 2 電話着信時の音量を調節する
  - 3 電話着信時の振動を選ぶ
  - 4 ダイヤル／決定ボタンで着信を受ける
- 3 メール・メッセージの受信設定を行う
  - 1 メール・メッセージ受信時の音を選ぶ
  - 2 メール・メッセージ受信音量を調節する
  - 3 メール・メッセージ受信時の振動を選ぶ
- 4 相手の声の音量を調節する
- 5 ボタンを押した時の音を設定する
- 6 音声読み上げを使う

キリトリ線

1 音声読み上げを設定する
2 音声読み上げの単語を登録する
3 音声読み上げの送出先を選ぶ
4 マナーモード中に読み上げを行う
7 音声で呼出す機能を登録する
8 時計を設定する
1 日付と時刻を設定する
2 待受画面の時計を設定する
9 その他の設定を行う
1 発信者番号通知を使う
2 ネットワークサービスを使う
1 留守番サービスを使う
2 キャッチホンを使う
3 転送サービスを使う
4 迷惑電話ストップを使う
5 番号通知お願いサービスを使う
6 電話帳お預かりサービスを使う
7 通話中着信設定を使う
8 通話中着信動作を選ぶ
9 その他のサービスを使う
3 文字入力の設定を行う
1 文字の入力方法を設定する

2 よく使う単語を登録する
3 よく使う定型文を登録する
4 電話・電話帳の詳細を設定する
1 着信を拒否する相手を指定する
2 着信を許可する相手を指定する
3 電話帳登録外の着信を拒否する
4 発番号なしの着信動作を選ぶ
5 イヤホンを設定する
6 オートスピーカーホンを設定する
7 無音着信時間を設定する
8 通話中に自分の番号を表示する
9 メロディコールを設定する
5 音を設定する
1 充電開始と完了を音で通知する
2 電池残量の警告を音で通知する
3 イヤホン利用時の切替を選ぶ
4 通話状態が悪い時の音を選ぶ
5 再接続した時の音を選ぶ
6 メロディの一覧を見る
6 新着お知らせを設定する
7 情報の表示やリセットを行う
1 通話時間を見る

2 通話料金を見る
3 通話時間をリセットする
4 通話料金をリセットする
5 電池残量を確認する
6 通信状態を表示する
7 設定を初めの状態に戻す
8 本体内データを全て削除する
9 ソフトを最新にする
8 操作の制限をする
1 開閉ロックを設定する
2 全ての操作を制限する
3 セルフモードを設定する
4 シークレットモードに設定する
5 電話の履歴表示を制限する
6 個人の情報表示を制限する
7 暗証番号を変更する
8 FOMAカードのPINコードを設定する
9 ダイヤル入力での発信を制限する
9 設定時刻に電源を入／切する
0 自分の電話番号を見る

紛失時などの緊急連絡先

おまかせロック

※ ドコモプレミアクラブ会員の場合、手数料無料で何回でもご利用いただけます。ドコモプレミアクラブ未入会の場合、有料のサービスとなります。（ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。）

おまかせロックの設定／解除

0120-524-360

24時間受付（年中無休）

その他緊急連絡先

連絡先：

連絡先：

連絡先：

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

キリトリ線

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

iモードから　らくらくiメニュー ⇒ お客様サポート／お知らせ ⇒ お客様サポート ⇒ お申込・お手続き ⇒ 各種お申込・お手続き

パソコンから　My docomo (http://www.mydocomo.com/) ⇒ 各種お申込・お手続き

※ iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ iモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によりご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

※ やむを得ず電話を受ける場合には、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音をすべて消す設定など、便利な機能があります。

●公共モード（ドライブモード／電源OFF）→p.62、p.63　●伝言メモ→p.64
●バイブレータ→p.95　●マナーモード→p.97

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際、回収・リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先 〈ドコモ インフォメーションセンター〉	故障お問い合わせ先
■ドコモの携帯電話からの場合 (局番なしの) 151 (無料) ※一般電話などからはご利用になれません。 ■一般電話などからの場合 0120-800-000 ※一部のIP電話からは接続できない場合があります。 受付時間　午前9：00～午後8：00　(年中無休)	■ドコモの携帯電話からの場合 (局番なしの) 113 (無料) ※一般電話などからはご利用になれません。 ■一般電話などからの場合 0120-800-000 ※一部のIP電話からは接続できない場合があります。 受付時間　24時間　(年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページ、ｉモードサイトにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/
ｉモードサイト　らくらくｉメニュー⇒お客様サポート／お知らせ⇒お客様サポート⇒ドコモショップ

ドコモ「あんしん」ミッション
みんなが、安心を、携帯できる世の中へ。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　富士通株式会社

・「音声読み上げ機能」により、視覚に頼らずにメニュー操作が行えたり、メール・ｉモードが利用できます。
・「ワンタッチダイヤル機能」により、ボタンひとつで電話がかけられます。

Li-ion 00

環境保全のため、不要になった電池はNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

大豆油インキを使用しています。

'10.6（4版）
CA92002-5650

F-07A
パソコン接続マニュアル

■ パソコン接続マニュアルについて

本マニュアルでは、F-07Aでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM内の「FOMA通信設定ファイル」「ドコモ コネクションマネージャ」のインストール方法などを説明しています。
お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

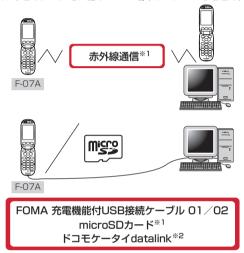
2009.4（1版）
CA92002-5653

データ通信

FOMA端末とパソコンを接続して利用できる通信形態は、データ転送（OBEX™通信）、パケット通信、64Kデータ通信に分類されます。

- パソコンと接続してパケット通信や64Kデータ通信を行ったり、電話帳などのデータを編集したりするには、付属のCD-ROMからソフトのインストールや各種設定を行う必要があります。
- FOMA端末は、FAX通信やRemote Wakeupには対応しておりません。
- ドコモのPDAのmuseaやsigmarionⅢと接続してデータ通信が行えます。ただし、museaをご利用の場合はアップデートが必要です。アップデートの方法などの詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

データ転送（OBEX™通信）

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

※1 詳しくは、『F-07A取扱説明書』の「データ管理」章をご覧ください。
※2 詳しくは、『F-07A取扱説明書』の「パソコン接続」章をご覧ください。

パケット通信

インターネットに接続してデータ通信（パケット通信）を行います。
送受信したデータ量に応じて課金されるため、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないため、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uなど、FOMAパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大384kbps、送信最大64kbpsの高速パケット通信ができます。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です。
画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロードなど、データ量の多い通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。
※ 受信最大384kbps、送信最大64kbpsとは技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。

64Kデータ通信

インターネットに接続して64Kデータ通信を行います。
データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるため、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uなど、FOMA64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDN同期64Kのアクセスポイントを利用できます。
長時間通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

ご利用になる前に

動作環境

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は、次のとおりです。パソコンのシステム構成により異なる場合があります。

項　目	必要環境
パソコン本体	USBポート（USB仕様1.1／2.0に準拠）※1を持つPC/AT互換機 ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color16ビット以上を推奨
OS（各日本語版）※2	Windows 2000、Windows XP、Windows Vista
必要メモリ	Windows 2000：64MB以上　　Windows XP：128MB以上 Windows Vista：512MB以上
ハードディスク容量※2	5MB以上の空き容量

※1 本FOMA端末は「USB2.0 High-Speed」には対応しておりません。
※2 ドコモ コネクションマネージャが動作する推奨環境は次のとおりです。
OS：Windows 2000 SP4以上、Windows XP SP2以上（詳細については、ドコモのホームページをご覧ください）
ハードディスク容量：15MB以上の空き容量

- OSをアップグレードした場合の動作は保証いたしかねます。
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用について、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- メニューが動作する推奨環境はMicrosoft Internet Explorer7.0以降（Windows XPの場合は、Microsoft Internet Explorer6.0以降）です。CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合は次の手順で操作してください。
  ① Windows Vistaのとき：(スタート）→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」を順にクリック
  Windows XP、Windows 2000のとき：「スタート」→「ファイル名を指定して実行」を順にクリック
  ②「名前」に次のように入力して「OK」をクリック
  <CD-ROMドライブ名>：index.html
  ※ CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。
- CD-ROMをパソコンにセットすると、警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によるもので、使用には問題ありません。「はい」をクリックしてください。
  ※ お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に、次の機器が必要です。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）
- 付属のCD-ROM「F-07A用CD-ROM」
※ パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため利用できません。
※ USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料

パソコンでインターネットを利用する場合、ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）の利用料が必要です。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。詳細はご利用のプロバイダにお問い合わせください。

- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uがご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

接続先（プロバイダなど）

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- moperaのサービス内容および接続設定方法については、moperaのホームページをご覧ください。
  http://www.mopera.net/mopera/index.html

ユーザー認証

接続先によっては、接続時にユーザー認証が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークでIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードはプロバイダまたは社内LANなど接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳細はプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

FirstPass

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証でFirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合は、付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定してください。詳細は付属のCD-ROM内の『簡易操作マニュアル』をご覧ください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要です。

- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA64Kデータ通信またはISDN同期64Kに対応していること

※ 上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状態が悪かったりするときは通信できない場合があります。

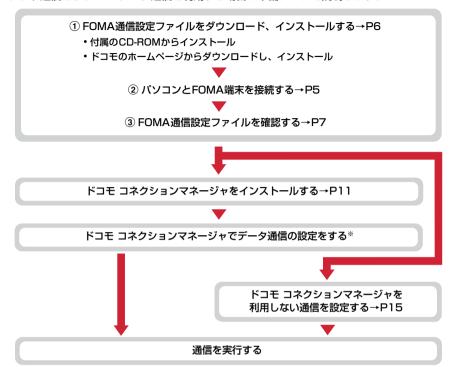
データ転送（OBEX™通信）の準備の流れ

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02（別売）をご利用になる場合には、FOMA通信設定ファイルをインストールしてください。

FOMA通信設定ファイルをダウンロード、インストールする
- **付属のCD-ROMからインストール**
- **ドコモのホームページからダウンロードし、インストール**

データ転送

データ通信の準備の流れ

パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。

※ ドコモ コネクションマネージャの設定については、『ドコモ コネクションマネージャ操作マニュアル』をご覧ください。

FOMA通信設定ファイル

USBケーブルでパソコンと接続してパケット通信または64Kデータ通信を行う場合は、FOMA通信設定ファイルをインストールする必要があります。

ドコモ コネクションマネージャ

付属のCD-ROMからドコモ コネクションマネージャをパソコンにインストールすると、パケット通信または64Kデータ通信を行うために必要なさまざまな設定を、パソコンから簡単に操作できます。

インストール／アンインストール前の注意点

- 操作を始める前に他のプログラムが動作中でないことを確認し、動作中のプログラムがある場合は終了してください。

※ ウイルス対策ソフトを含む、Windows上に常駐しているプログラムも終了します。
例：タスクバーに表示されているアイコンを右クリックし、「閉じる」または「終了」をクリックします。

- FOMA通信設定ファイルやドコモ コネクションマネージャのインストール／アンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーで行うとエラーになる場合があります。Windows Vistaの場合、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、「許可」または「続行」をクリックするか、パスワードを入力して「OK」をクリックしてください。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカやマイクロソフト社にお問い合わせください。
- パソコンの操作方法または管理者権限の設定などについては、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

パソコンとFOMA端末を接続する

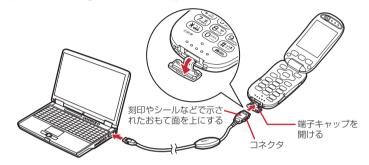
● パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。
● 初めてパソコンに接続する場合は、あらかじめFOMA通信設定ファイルをインストールしてください。→P6

USBケーブルを取り付ける

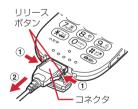
● FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02は別売りです。
● 本マニュアルでは、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01での場合を例に説明しています。

1 USBケーブルのコネクタをFOMA端末の外部接続端子に差し込む

2 USBケーブルのパソコン側のコネクタをパソコンのUSBポートに差し込む

- FOMA通信設定ファイルのインストール前にパソコンに接続した場合は、USBケーブルが差し込まれたことを自動的に認識してドライバが要求されます。この場合はFOMA端末を取り外して、表示された画面で「キャンセル」をクリックして終了してください。

- パソコンとFOMA端末が接続されると、FOMA端末の待受画面にが表示されます。

取り外しかた

1 USBケーブルのコネクタのリリースボタンを押し（①）、FOMA端末から引き抜く（②）

2 パソコンからUSBケーブルを取り外す

お知らせ

- FOMA端末からUSBケーブルを抜き差しする際は、コネクタ部分に無理な力がかからないように注意してください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。
- データ通信中に USB ケーブルを取り外さないでください。データ通信が切断され、誤動作やデータ消失の原因となります。

FOMA通信設定ファイルをインストールする

FOMA端末とパソコンをUSBケーブルで接続してデータ通信を行うには、FOMA通信設定ファイルが必要です。使用するパソコンにFOMA端末を初めて接続する前に、あらかじめインストールしておきます。

FOMA通信設定ファイルをインストールする

- 操作する前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P4
- 操作4までFOMA端末を接続しないでください。

〈例〉Windows Vistaにインストールするとき

1 CD-ROMをパソコンにセット

2 「データリンクソフト・各種設定ソフト」→「FOMA通信設定ファイル（USBドライバ）」の「インストール」を順にクリックし、表示されるウィンドウから「F07Ast.exe」アイコンをダブルクリック

3 「インストール開始」をクリック

4 FOMA端末をパソコンに接続する旨のメッセージが表示されたら、FOMA端末をパソコンに接続

- FOMA端末は電源が入った状態で接続してください。

5 インストール完了画面で「OK」をクリック

続いてドコモ コネクションマネージャをインストールし、データ通信の設定を行います。「ドコモ コネクションマネージャをインストールする」の操作3からインストールを続けてください。→P12

- ドコモ コネクションマネージャについては、「ドコモ コネクションマネージャを利用する」をご覧ください。→P9

FOMA通信設定ファイルを確認する

● FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信はできません。

〈例〉Windows Vistaで確認するとき

1 (スタート)→「コントロールパネル」→「システムとメンテナンス」→「デバイスマネージャ」を順にクリック

■ Windows XPのとき

①「スタート」→「コントロールパネル」→「パフォーマンスとメンテナンス」→「システム」を順にクリック

②「システムのプロパティ」画面の「ハードウェア」タブをクリック→「デバイスマネージャ」をクリック

■ Windows 2000のとき

①「スタート」をクリック→「設定」から「コントロールパネル」をクリック→「システム」アイコンをダブルクリック

②「システムのプロパティ」画面の「ハードウェア」タブをクリック→「デバイスマネージャ」をクリック

2 各デバイスの種類をダブルクリック→次のデバイス名が登録されていることを確認

- デバイスの種類とデバイス名は次のとおりです。表示される順番はOSにより異なります。
  - ポート（COMとLPT）：
    FOMA F07A Command Port（COMx）※
    FOMA F07A OBEX Port（COMx）※
  - モデム：FOMA F07A
  - ユニバーサルシリアルバスコントローラまたはUSB（Universal Serial Bus）コントローラ：FOMA F07A

  ※xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます。

FOMA通信設定ファイルをアンインストールする

● 操作する前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P4
● 操作する前に、パソコンからFOMA端末を取り外してください。

〈例〉Windows Vistaでアンインストールするとき

1 （スタート）→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」を順にクリック

■ Windows XPのとき
「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」を順にクリック

■ Windows 2000のとき
「スタート」をクリック→「設定」から「コントロールパネル」をクリック→「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリック

2 「FOMA F07A USB」を選択して「アンインストールと変更」（Windows XP、Windows 2000の場合は「変更と削除」）をクリック

3 「FOMA F07A Uninstaller」と表示されていることを確認して「はい」をクリック

アンインストールを開始します。

4 アンインストール中画面の表示後に「OK」をクリック

お知らせ

- 削除画面で「FOMA F07A USB」が表示されていないときは、再度「FOMA通信設定ファイルをインストールする」の操作を行った後に、アンインストールを行ってください。→P6

ドコモ コネクションマネージャを利用する

ここでは、従量接続用ドコモ コネクションマネージャのインストール方法について説明します。

ドコモ コネクションマネージャ

ドコモ コネクションマネージャは、従量制プランでデータ通信を行うためのソフトウェアです。
ドコモ コネクションマネージャを利用すると、mopera Uへの申し込みや、FOMA端末とパソコンを接続してデータ通信を行うための設定が簡単に行えます。
料金カウンタ機能でデータ通信量や利用金額の目安を確認することもできます。

● FOMA端末を使ってインターネットに接続するには、サービスおよびデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダ（mopera Uなど）のご契約が必要です。
詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

お知らせ

・パケット通信を利用して、画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロード（例：アプリケーション、音楽、動画、OSまたはウイルス対策ソフトのアップデート）など、データ量の多い通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。
パソコンなどと接続して行う通信は、FOMAのパケット定額サービスのパケ・ホーダイ、パケ・ホーダイフル、Biz・ホーダイの定額対象外通信、Biz・ホーダイ ダブルの上限額対象外通信となりますのでご注意ください。
・定額データプランを利用するには、定額データ通信に対応した料金プランのインターネットサービスプロバイダにご契約いただく必要があります。詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
・moperaの接続設定方法については、moperaのホームページをご覧ください。
http://www.mopera.net/mopera/support/index.html

ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に

ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に次の事項を確認し、必要に応じてソフトの設定変更やアンインストールを行ってください。

● FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）を用意してください。
● サービスおよびインターネットサービスプロバイダの契約内容を確認してください。
● ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトがインストールされている場合は、必要に応じて自動的に起動しないように設定を変更してください。→P10「ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトのご利用について」

Internet Explorerの設定を変更する

● ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に、あらかじめInternet Explorerの「インターネットオプション」で、接続の設定を「ダイヤルしない」に設定してください。

〈例〉Windows Vistaで変更するとき

1 （スタート）→「すべてのプログラム」→「Internet Explorer」を順にクリック

■ Windows XP、Windows 2000のとき
「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」（Windows2000の場合は「プログラム」）を選択→「Internet Explorer」をクリック

2 「ツール」→「インターネットオプション」を順にクリック

3 「接続」タブをクリック→「ダイヤルしない」を選択

4 「OK」をクリック

ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトのご利用について

ドコモ コネクションマネージャには次のソフトと同じ機能が搭載されておりますので、同時にご利用いただく必要はありません。必要に応じて、起動しない設定への変更やアンインストールを行ってください。

- mopera Uかんたんスタート
- Uかんたん接続設定ソフト
- FOMA PC設定ソフト
- FOMAバイトカウンタ

また、ドコモ コネクションマネージャでMzone（公衆無線LAN接続）を利用する場合は、次の公衆無線LAN接続ソフトはアンインストールを行ってください。なお、同時にインストールした場合、ドコモ コネクションマネージャでのMzone接続はご利用いただけません。

- U公衆無線LANユーティリティソフト
- ドコモ公衆無線LANユーティリティソフト
- ドコモ公衆無線LANユーティリティプログラム

ドコモ コネクションマネージャをインストールする

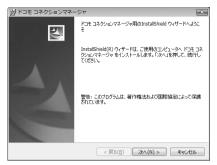
- FOMA通信設定ファイルのインストール完了時に、ドコモ コネクションマネージャをインストールするための画面が表示された場合は、「インストール」をクリックして操作3から始めます。
- 既にFOMA通信設定ファイルがインストールされている場合は、操作1から始めます。

〈例〉Windows Vistaにインストールするとき

1 CD-ROMをパソコンにセット

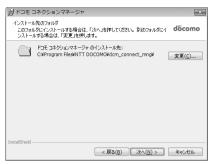
2 「インターネット接続」→「本CD-ROMからのFOMAデータ通信の設定方法」の操作②にある「インストール」を順にクリック

- セキュリティの警告画面が表示された場合は、「実行」をクリックします。

- Windows XPでMSXML6･Wireless LAN APIのインストールの確認画面が表示された場合は「Install」をクリックし、MSXML6・Wireless LAN APIをインストールします。MSXML6・Wireless LAN APIのインストール完了後、Windowsを再起動すると、自動的にドコモ コネクションマネージャのインストールが始まります。

3 「次へ」をクリック

4 注意事項を確認して「次へ」をクリック

5 ソフトウェア使用許諾契約の内容を確認して、契約内容に同意する場合は「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリック

6 インストール先のフォルダを確認して「次へ」をクリック

7 「インストール」をクリック

インストールが始まります。

8 「InstallShieldウィザードを完了しました」画面が表示されたら「完了」をクリック

ドコモ コネクションマネージャのインストールが完了します。

お知らせ

- インストールには数分かかる場合があります。
- Windowsを再起動する旨のメッセージが表示された場合は、画面の指示に従い再起動してください。
- データ通信中にインストールを行わないでください。

ドコモ コネクションマネージャを起動する

● 操作する前に、必ずパソコンとFOMA端末が正しく接続されていることを確認してください。

〈例〉Windows Vistaで設定するとき

1 (スタート)→「すべてのプログラム」→「NTT DOCOMO」→「ドコモ コネクションマネージャ」→「ドコモ コネクションマネージャ」を順にクリック

■ Windows XP、Windows 2000のとき

「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」(Windows 2000の場合は「プログラム」)→「NTT DOCOMO」→「ドコモ コネクションマネージャ」を順に選択して→「ドコモ コネクションマネージャ」をクリック

ドコモ コネクションマネージャが起動します。

初回起動時には、自動的に設定ウィザードが表示されます。

- 設定ウィザードに従い、インターネットに接続してデータ通信を行うための設定を行います。
  設定後にドコモ コネクションマネージャを利用して、通信を実行することができます。
  詳しくは、『ドコモ コネクションマネージャ操作マニュアル』をご覧ください。

お知らせ

- インターネットブラウザやメールソフトを終了しただけでは、通信は切断されません。通信をご利用にならない場合は、必ずドコモ コネクションマネージャの「切断する」ボタンで通信を切断してください。
- OSアップデートなどにおいて自動更新を設定していると自動的にソフトウェアが更新され、パケット通信料が高額となる場合がございますのでご注意ください。

接続／切断ボタン

ドコモ コネクションマネージャを利用しない通信を設定する

ドコモ コネクションマネージャを利用しないで、ダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。

ダイヤルアップネットワークの設定の流れ

データ通信の準備の流れ→P4

接続先（APN）を設定する※→P15
・接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、設定は不要です。

発信者番号の通知／非通知を設定する※→P17
・必要に応じて設定してください。

ダイヤルアップネットワークの設定をする

ご使用のOS	Windows Vista	Windows XP	Windows 2000
接続先の設定	P19	P21	P25
TCP/IP設定	P20	P23	P28

※ パケット通信の場合に設定します。
設定するには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。
ここではWindows 2000、Windows XPに添付されている「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。Windows Vistaは「ハイパーターミナル」に対応していません。Windows Vistaの場合は、Windows Vista対応のソフトを使って設定してください（ご使用になるソフトの設定方法に従ってください）。

接続先（APN）を設定する

接続先（APN）と登録番号（cid）

パケット通信の接続先（APN）は、FOMA端末の登録番号（cid）1〜10に設定できます。お買い上げ時、cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。その他のプロバイダや社内LANに接続する場合は、cid2または4〜10にAPNを登録します。

- 接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 接続先の設定は、パケット通信用の電話帳登録として考えられます。接続先の設定項目をFOMA端末の電話帳と比較すると、次のようになります。

接続先の設定項目	FOMA端末の電話帳の登録項目
登録番号（cid）	登録番号（メモリ番号）
APN	相手の電話番号

- 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。

接続先（APN）を設定する

〈例〉Windows XPで設定するとき

1 パソコンとFOMA端末を接続

取り付けかた→P5

2 「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」（Windows 2000の場合は「プログラム」）→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ハイパーターミナル」をクリック

3 「名前」に接続先名など任意の名前を入力→「OK」をクリック

- 「名前」に次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?<>|”

4 「電話番号」に実在しない電話番号（「0」など）を入力→「接続方法」が「FOMA F07A」に設定されていることを確認→「OK」をクリック

- 「市外局番」はパソコンの環境により異なります。接続先（APN）の設定とは関係ありませんので、変更不要です。

5 「接続」画面で「キャンセル」をクリック

6 接続先（APN）を「AT+CGDCONT=<cid>,"<PDP_TYPE>","<APN>"」の形式で入力→ ↵

<cid>　　　　：2または4～10の範囲で任意の番号
<PDP_TYPE>：IPまたはPPP
<APN>　　　　：接続先（APN）

- +CGDCONTコマンド→P39「ATコマンドの補足説明」
- コマンドを入力しても画面に表示されない場合は、ATE1と入力し、↵を押します。

7 「OK」と表示されていることを確認して「ファイル」をクリック→「ハイパーターミナルの終了」をクリック

8 切断の確認で「はい」をクリック→保存の確認で「いいえ」をクリック

発信者番号の通知／非通知を設定する

パケット通信時の発信者番号の通知／非通知を一括して設定します。
発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。

● mopera Uまたはmoperaを利用する場合、「非通知」に設定すると接続できません。

〈例〉Windows XPで設定するとき

1 パソコンとFOMA端末を接続

取り付けかた→P5

2 「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」（Windows 2000の場合は「プログラム」）→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ハイパーターミナル」をクリック

3 「名前」に接続先名など任意の名前を入力→「OK」をクリック

- 「名前」に次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?<>｜”

4 「電話番号」に実在しない電話番号（「0」など）を入力→「接続方法」が「FOMA F07A」に設定されていることを確認→「OK」をクリック

- 「市外局番」はパソコンの環境により異なります。接続先（APN）の設定とは関係ありませんので、変更不要です。

5 「接続」画面で「キャンセル」をクリック

6 発信者番号の通知／非通知を「AT＊DGPIR=<n>」の形式で入力→⏎

<n>：0～2
0　：そのまま接続（お買い上げ時）
1　：184を付けて接続（非通知）
2　：186を付けて接続（通知）

- コマンドを入力しても画面に表示されない場合は、ATE1と入力し、⏎を押します。

7 「OK」と表示されていることを確認して「ファイル」をクリック→「ハイパーターミナルの終了」をクリック

8 切断の確認で「はい」をクリック→保存の確認で「いいえ」をクリック

ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けられます。

● ＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で設定を行った場合の発信者番号の通知／非通知は次のとおりです。

＊DGPIRコマンドによる設定 ＼ ダイヤルアップネットワークの設定（<cid>=3の場合）	設定なし	非通知	通知
＊99＊＊＊3#	通知	非通知	通知
184＊99＊＊＊3#	非通知		
186＊99＊＊＊3#	通知		

Windows Vistaでダイヤルアップネットワークを設定する

接続先を設定する

1 パソコンとFOMA端末を接続

取り付けかた→P5

2 (スタート) →「接続先」を順にクリック

3 「接続またはネットワークをセットアップします」をクリック

4 「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択して「次へ」をクリック

■「どのモデムを使いますか？」画面が表示されたとき

「FOMA F07A」をクリック

5 「ダイヤルアップの電話番号」に接続先の電話番号（パケット通信の場合は「＊99＊＊＊<cid>#」）を半角で入力→「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「接続名」を入力して「接続」をクリック

<cid>：P16「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は次のように入力します。

接続先	パケット通信	64Kデータ通信
mopera U	＊99＊＊＊3#	＊8701
mopera	＊99＊＊＊1#	＊9601

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。
- 「接続名」の先頭に .（半角文字のピリオド）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ¥/:＊?<>|

6 接続中の画面で「スキップ」をクリック

- ここではすぐに接続せずに、設定だけを行います。

7 「インターネット接続テストに失敗しました」画面で「接続をセットアップします」をクリック

8 「閉じる」をクリック

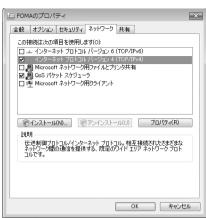
TCP/IPプロトコルを設定する

1 (スタート）→「接続先」を順にクリック

2 作成した接続先を右クリックして「プロパティ」をクリック

3 「全般」タブの各項目の設定を確認

- パソコンに複数のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」で「モデム－FOMA F07A」のみを選択します。
- 選択したモデム以外は非選択（□）にしてください。
- 「接続の方法」に表示されたモデムに割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンの環境により異なります。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

4 「ネットワーク」タブをクリック→各項目を画面例のように設定

- 「インターネットプロトコルバージョン6（TCP/IPv6）」を非選択（□）にします。
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4）」を選択し「プロパティ」をクリックして、各種情報を設定してください。
- プロバイダなどから「QoSパケットスケジューラ」および、その他の項目についての指示がある場合は、必要に応じて選択／非選択を設定してください。

5 「オプション」タブをクリック→「PPP設定」をクリック

6 すべての項目を非選択（□）にして「OK」をクリック

7 「OK」をクリック

通信を実行する→P29

Windows XPでダイヤルアップネットワークを設定する

接続先を設定する

1 パソコンとFOMA端末を接続

取り付けかた→P5

2 「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワーク接続」をクリック

3 「ネットワークタスク」の「新しい接続を作成する」をクリック

4 「新しい接続ウィザードの開始」画面で「次へ」をクリック

5 「インターネットに接続する」を選択して「次へ」をクリック

6 「接続を手動でセットアップする」を選択して「次へ」をクリック

7 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択して「次へ」をクリック

■「デバイスの選択」画面が表示されたとき

「モデム－FOMA F07A」のみを選択して「次へ」をクリック

8 「ISP名」に任意の接続名を入力→「次へ」をクリック

- 「ISP名」の先頭に .（半角文字のピリオド）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?<>｜”

9 「電話番号」に接続先の電話番号（パケット通信の場合は「＊99＊＊＊＜cid＞#」）を半角で入力→「次へ」をクリック

＜cid＞：P16「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は次のように入力します。

接続先	パケット通信	64Kデータ通信
mopera U	＊99＊＊＊3#	＊8701
mopera	＊99＊＊＊1#	＊9601

10 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「パスワードの確認入力」を入力→各項目を画面例のようにすべて選択して「次へ」をクリック

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」は空欄でもかまいません。

11 「新しい接続ウィザードの完了」画面で「完了」をクリック

12 「（操作8で入力したISP名）へ接続」画面で設定内容を確認して「キャンセル」をクリック

- ここではすぐに接続せずに、設定の確認だけを行います。

TCP/IPプロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択して「ファイル」をクリック→「プロパティ」をクリック

2 「全般」タブの各項目の設定を確認

- パソコンに複数のモデムが接続されている場合は、「接続方法」で「モデム－FOMA F07A」のみを選択します。
- 選択したモデム以外は非選択（□）にしてください。
- 「接続方法」に表示されたモデムに割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンの環境により異なります。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

3 「ネットワーク」タブをクリック→各項目を画面例のように設定

- 「この接続は次の項目を使用します」の「QoSパケットスケジューラ」は設定を変更できませんので、そのままにしてください。
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択し「プロパティ」をクリックして、各種情報を設定してください。

4 「設定」をクリック

5 すべての項目を非選択（□）にして「OK」をクリック

6 「OK」をクリック

通信を実行する→P29

Windows 2000でダイヤルアップネットワークを設定する

接続先を設定する

1 **パソコンとFOMA端末を接続**

取り付けかた→P5

2 **「スタート」をクリック→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリック→「新しい接続の作成」アイコンをダブルクリック**

■「所在地情報」画面が表示されたとき

①「市外局番／エリアコード」に市外局番を入力→「OK」をクリック

②「電話とモデムのオプション」画面で「OK」をクリック

3 **「ネットワークの接続ウィザードの開始」画面で「次へ」をクリック**

4 **「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択して「次へ」をクリック**

5 **「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」を選択して「次へ」をクリック**

6 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択して「次へ」をクリック

■「モデムの選択」画面が表示されたとき
「FOMA F07A」を選択して「次へ」をクリック

7 「電話番号」に接続先の電話番号（パケット通信の場合は「＊99＊＊＊<cid>#」）を半角で入力→「詳細設定」をクリック

<cid>：P16「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は次のように入力します。

接続先	パケット通信	64Kデータ通信
mopera U	＊99＊＊＊3#	＊8701
mopera	＊99＊＊＊1#	＊9601

- 「市外局番とダイヤル情報を使う」を非選択（☐）にします。

8 「接続」タブの各項目を画面例のように設定

9 「アドレス」タブをクリック→各項目を設定

- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、各種情報を設定してください。
- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合は、設定を変更しなくてもかまいません。

10 「OK」をクリック→「次へ」をクリック

11 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「次へ」をクリック

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。「次へ」をクリックし、入力されていないことを確認する画面が表示されたら、「はい」をクリックします。

12 「接続名」に任意の接続名を入力→「次へ」をクリック

- 「接続名」の先頭に.（半角文字のピリオド）は使用できません。

13 「いいえ」を選択して「次へ」をクリック

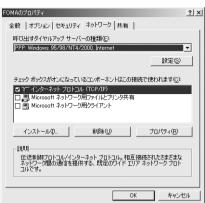
14 「完了」をクリック

TCP/IPプロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択して「ファイル」をクリック→「プロパティ」をクリック

2 「全般」タブの各項目の設定を確認

- パソコンに複数のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」で「モデム－FOMA F07A」のみを選択します。
- 選択したモデム以外は非選択（□）にしてください。
- 「接続の方法」に表示されたモデムに割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンの環境により異なります。
- モデムを変更した場合は、「電話番号」の各項目が初期化されますので、もう一度接続先電話番号を入力してください。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

3 「ネットワーク」タブをクリック→各項目を画面例のように設定

4 「設定」をクリック

5 すべての項目を非選択（□）にして「OK」をクリック

6 「OK」をクリック

通信を実行する→P29

通信を実行する

通信の実行や切断について説明します。

〈例〉Windows XPで実行するとき

1 パソコンとFOMA端末を接続

取り付けかた→P5

2 「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワーク接続」をクリック→接続アイコンをダブルクリック

■ Windows 2000のとき

「スタート」をクリック→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリック→接続アイコンをダブルクリック

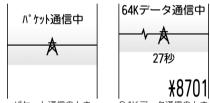
■ Windows Vistaのとき

（スタート）→「接続先」を順にクリック→接続先を選択して「接続」をクリック

3 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「ダイヤル」をクリック

- mopera Uまたはmoperaを利用する場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。
- 設定中に「ユーザー名」の入力や「パスワード」の保存をした場合、入力は不要です。
- 接続完了画面が表示された場合は「OK」をクリックしてください。

お知らせ

- FOMA 端末には、パケット通信を実行すると発信中画面が、64K データ通信を実行すると呼出中画面が表示され、接続すると次の画面が表示されます。

パケット通信のとき　64Kデータ通信のとき

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
- 接続アイコン作成時のFOMA端末を接続した場合のみ、通信が行えます。

通信を切断する

パソコンのブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

〈例〉Windows XPで通信を切断するとき

1 タスクトレイの をクリック→「切断」をクリック

■ Windows Vistaのとき

タスクトレイの を右クリック→「切断」を選択して切断する接続先をクリック

ATコマンド

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。

ATコマンドについて

ATコマンドの入力形式

ATコマンドは、コマンドの先頭に必ず「AT」を付けて、半角英数字で入力してください。

〈例〉ATDコマンドでmopera Uに接続するとき

ATコマンドは、コマンドに続くパラメータを含めて、必ず1行で入力します。1行とは最初の文字から↵を押した直前までの文字のことで、「AT」を含む最大256文字入力できます。

ATコマンドの入力モード

ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、パソコンをターミナルモードにしてください。ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末のように動作させるモードです。ターミナルモードにすると、キーボードから入力された文字がそのまま通信ポートに送られ、FOMA端末を操作できます。

- オフラインモード
  FOMA端末が待受の状態です。通常ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、この状態で操作します。
- オンラインデータモード
  FOMA端末が通信中の状態です。この状態のときにATコマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させる場合がありますので、通信中はATコマンドを入力しないでください。
- オンラインコマンドモード
  FOMA端末が通信中の状態でも、ATコマンドでFOMA端末を操作できる状態です。その場合、通信先との接続を維持したままATコマンドを実行し、終了すると再び通信を続けられます。

■ オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替えるとき

FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、次の方法があります。

- +++コマンドまたはS2レジスタに設定したコードを入力します。
- 「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C※のER信号をOFFにします。
  ※ USBインタフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリケーションによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

また、オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、「ATO↵」と入力します。

ATコマンド一覧

- FOMA F07A（モデム）で使用できるATコマンドです。
- パソコンや通信ソフトのフォント設定により、「￥」を入力しても「\」と表示される場合があります。
- FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外した場合、設定値が記録されないことがあります。

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
A/ A/ OK	直前に実行したコマンドを再実行します。 直前の応答が「ERROR」の場合は「ERROR」を返します。
AT AT ↵ OK	A/、+++以外のコマンドの先頭に付けて、本一覧のコマンドを使用します。本コマンドのみで使用すると、FOMA端末がATコマンドを使用できる状態のときに「OK」を返します。
ATA RING ATA ↵ CONNECT	パケット着信および64Kデータ通信の着信時に入力すると、着信処理を行います。 パケット着信中には次のコマンドが入力できます。 ATA184：発信者番号通知なし着信動作　　ATA186：発信者番号通知あり着信動作
ATD ATD＊99＊＊＊1# ↵ CONNECT 460800	ATD＊99＊＊＊<cid>#：パケット通信の発信処理を行います。 <cid>または＊＊＊<cid>を省略すると<cid>=1になります。 ATD［パラメータ］［電話番号］：64Kデータ通信の発信処理を行います。 電話番号に次の文字以外を入力すると発信できません。 0～9、＊、#、A、a、B、b、C、c また、次の文字と空白は入力できますが、ダイヤル時には認識されません。 ,、!、-、@、D、d、P、p、T、t、W、w ATDの後に186または184を挿入し、発信者番号の通知／非通知を指定できます。 ATDNまたはATDLでリダイヤル発信ができます。
ATE<n> ※1 ATE1 ↵ OK	パソコンから送信されたコマンドに対して、FOMA端末がエコーを返すかを設定します。 n=0：エコーバックなし　　n=1：エコーバックあり（お買い上げ時） 通常はn=1で使用します。パソコンにエコー機能がある場合、n=0に設定すると文字が二重に表示されなくなります。
ATH ATH ↵ NO CARRIER	通信中に入力すると、回線を切断します。 オンラインコマンドモードで実行してください。→P32
ATI<n> ATI0 ↵ NTT DoCoMo OK	確認コードを表示します。 n=0：「NTT DoCoMo」　　n=1：FOMA端末の機種名を表示 n=2：FOMA端末のバージョンを表示　　n=3：ACMP信号の要素を表示 n=4：FOMA端末で通信可能な機能の詳細を数値で表示
ATO ATO ↵ CONNECT 460800	通信中にオンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻します。
ATQ<n> ※1 ATQ0 ↵ OK	リザルトコードを表示するかを設定します。 n=0：表示（お買い上げ時）　　n=1：表示しない ATQ1を実行した場合は「OK」を返しません。
ATS0=<n> ※1 ATS0=0 ↵ OK	FOMA端末が自動着信するまでの呼出回数を設定します。 n=0：自動着信なし（お買い上げ時）　　n=1～255：指定したリング数で自動着信 ATS0?：現在の設定を表示
ATS2=<n> ATS2=43 ↵ OK	エスケープキャラクタの設定を行います。 n=0～127（お買い上げ時n=43）　　n=127に設定するとエスケープは無効になります。 ATS2?：現在の設定を表示
ATS3=<n> ATS3=13 ↵ OK	コマンド文字列の最後を認識する復帰（CR）キャラクタの設定を行います。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付きます。 n=13（固定値） ATS3?：現在の設定を表示
ATS4=<n> ATS4=10 ↵ OK	改行（LF）キャラクタの設定を行います。英文字でリザルトコードを表示する場合、復帰（CR）キャラクタの後に付きます。 n=10（固定値） ATS4?：現在の設定を表示

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
ATS5=<n> ATS5=8 ↵ OK	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。コマンド入力中にこのキャラクタを検出すると、入力バッファの最後のキャラクタを削除します。 n=8（固定値） ATS5?：現在の設定を表示
ATS6=<n> ATS6=5 ↵ OK	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定できますが、動作しません。 n=2～10（お買い上げ時n=5） ATS6?：現在の設定を表示
ATS8=<n> ATS8=3 ↵ OK	カンマダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定できますが、動作しません。 n=0～255（お買い上げ時n=3） ATS8?：現在の設定を表示
ATS10=<n> ※1 ATS10=1 ↵ OK	自動切断の遅延時間（1/10秒）を設定できますが、動作しません。 n=1～255（お買い上げ時n=1） ATS10?：現在の設定を表示
ATS30=<n> ATS30=0 ↵ OK	64Kデータ通信時、データの送受信がない場合に切断するまでの時間（分）を設定します。 n=0～255：（お買い上げ時n=0、n=0は不活動タイマOFF） ATS30?：現在の設定を表示
ATS103=<n> ATS103=1 ↵ OK	64Kデータ通信で、着サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。 n=0：＊　　n=1：/（お買い上げ時）　　n=2：￥または\ ATS103?：現在の設定を表示
ATS104=<n> ATS104=1 ↵ OK	64Kデータ通信で、発サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。 n=0：#　　n=1：%（お買い上げ時）　　n=2：& ATS104?：現在の設定を表示
ATV<n> ※1 ATV1 ↵ OK	リザルトコードの表示方法を設定します。 n=0：数字表示　　n=1：英文字表示（お買い上げ時） ATV0を実行した場合は、同じ行に「0」を返します。
ATX<n> ※1 ATX4 ↵ OK	ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行うかと、接続時の「CONNECT」に速度を表示するかを設定します。 ビジートーン検出：接続先が通話中のとき「BUSY」応答を送出 ダイヤルトーン検出：FOMA端末に接続されているかを判定 n=0：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし n=1：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=2：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり n=3：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=4：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり（お買い上げ時） n=0に設定すると、AT&EおよびAT￥Vコマンドが無効になります。
ATZ ※3 ATZ ↵ OK（オフライン時）	現在の通信を記録された内容に戻します。 通信中に実行すると、回線を切断（「NO CARRIER」を表示）してから戻します。
AT%V AT%V ↵ Ver1.00 OK	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT&C<n> ※1 AT&C1 ↵ OK	DTEへの回路CD（DCD）信号の動作条件を設定します。 n=0：常にON　　n=1：回線接続状態に従い変化（お買い上げ時） n=0に設定する場合は、接続完了時の「CONNECT」を送出する直前にCD信号をONにします。回路が切断され、「NO CARRIER」を送出する直前にCD信号をOFFにします。
AT&D<n> ※1 AT&D2 ↵ OK	オンラインデータモード時、DTEから受け取る回路ER（DTR）信号がONからOFFに変わったときの動作を設定します。 n=0：状態を無視（常にONとみなす） n=1：ONからOFFに変わるとオンラインコマンドモードに移行 n=2：ONからOFFに変わると回線を切断しオフラインモードに移行（お買い上げ時）
AT&E<n> ※1 AT&E1 ↵ OK	接続時の速度表示を設定します。 n=0：無線区間通信速度を表示 n=1：パソコンとFOMA端末間の通信速度を表示（お買い上げ時）
AT&F AT&F ↵ OK（オフライン時）	現在の設定をお買い上げ時の状態に戻します。 通信中に実行すると、回線を切断（「NO CARRIER」を表示）してから戻します。

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT&S<n> ※1 AT&S0 ↵ OK	DTEへ出力するデータセットレディ（DR）信号の制御を設定します。 n=0：常にON（お買い上げ時）　n=1：接続時にON
AT&W AT&W ↵ OK	現在の設定をFOMA端末に記録します。
AT＊DANTE AT＊DANTE ↵ ＊DANTE：3 OK	FOMA端末の受信レベルを「＊DANTE：<n>」の形式で表示します。 n=0：圏外　n=1：FOMA端末の受信レベルのアンテナが0または1本 n=2：FOMA端末の受信レベルのアンテナが2本 n=3：FOMA端末の受信レベルのアンテナが3本 AT＊DANTE=?：表示可能な値のリストを表示
AT＊DGANSM=<n> ※2 AT＊DGANSM=0 ↵ OK	パケット着信呼に対する着信拒否／許可を設定します。 n=0：着信拒否設定OFF、着信許可設定OFF（お買い上げ時） n=1：着信拒否設定ON　n=2：着信許可設定ON AT＊DGANSM?：現在の設定を表示　AT＊DGANSM=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGAPL=<n>[,<cid>] ※2 AT＊DGAPL=0,1 ↵ OK	パケット着信呼に対して着信を許可する接続先（APN）を設定します。APNは+CGDCONTコマンドで定義した<cid>を使用します。 n=0：着信許可リストに追加　n=1：着信許可リストから削除 <cid>を+CGDCONTコマンドで定義していない場合でも、リストへ追加／削除します。 <cid>を省略した場合は、すべての<cid>をリストに追加／削除します。 AT＊DGAPL?：現在の設定を表示　AT＊DGAPL=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGARL=<n>[,<cid>] ※2 AT＊DGARL=0,1 ↵ OK	パケット着信呼に対して着信を拒否する接続先（APN）を設定します。APNは+CGDCONTコマンドで定義した<cid>を使用します。 n=0：着信拒否リストに追加　n=1：着信拒否リストから削除 <cid>を+CGDCONTコマンドで定義していない場合でも、リストへ追加／削除します。 <cid>を省略した場合は、すべての<cid>をリストに追加／削除します。 AT＊DGARL?：現在の設定を表示　AT＊DGARL=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGPIR=<n> ※2 AT＊DGPIR=0 ↵ OK	パケット通信確立時の発信者番号通知を設定します。発信時、着信時に有効です。 n=0：APNにそのまま接続（お買い上げ時）　n=1：APNに184を付けて接続 n=2：APNに186を付けて接続 ダイヤルアップネットワークでも通知／非通知を設定した場合→P18 AT＊DGPIR?：現在の設定を表示　AT＊DGPIR=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DRPW AT＊DRPW ↵ ＊DRPW：0 OK	FOMA端末が受信する電波の受信電力指標を表示します。 AT＊DRPW=?：表示可能な値のリストを表示
AT+CAOC AT+CAOC ↵ +CAOC："000024" OK	直前通話料金を表示します。
AT+CBC AT+CBC ↵ +CBC：0,100 OK	FOMA端末の電池残量を「+CBC：<bcs>,<bcl>」の形式で表示します。 bcs=0：電池パックから電源の供給あり　bcs=1：電池パックから電源の供給なし bcs=2：電池パックが取り外されている　bcs=3：電源供給エラー bcl=0：電池残量なしまたは電池パックが取り外されている　bcl=1～100：電池残量あり AT+CBC=?：表示可能な値のリストを表示
AT+CBST=<n>,1,0 ※1 AT+CBST=116,1,0 ↵ OK	利用する回線を設定します（ベアラサービスの設定）。 n=116：64Kデータ通信（お買い上げ時） AT+CBST?：現在の設定を表示　AT+CBST=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CDIP=<n> ※1 AT+CDIP=0 ↵ OK	着サブアドレスの通知の有無を設定します。また、マルチナンバーの契約状況を確認できます。 n=0：サブアドレスを表示しません。（お買い上げ時）　n=1：サブアドレスを表示します。 m=0：マルチナンバー未契約　m=1：マルチナンバー契約中 AT+CDIP?：「+CDIP:<n>,<m>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CDIP=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CEER AT+CEER ↵ +CEER：36 OK	直前の切断理由を表示します。 切断理由一覧→P38
AT+CGDCONT ※2 →P39	パケット通信の接続先（APN）を設定します。→P39

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT+CGEQMIN ※2 →P39	パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかの判定基準を設定します。→P39
AT+CGEQREQ ※2 →P40	パケット通信発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。→P40
AT+CGMR AT+CGMR ↵ 1234567890123456 OK	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT+CGREG=<n> ※1 AT+CGREG=0 ↵ OK	ネットワーク登録状態（圏内／圏外）を通知するかを設定します。 n=0：通知なし（お買い上げ時） n=1：圏内から圏外または圏外から圏内へ移動時「+CGREG：<stat>」の形式で通知 stat=0：パケット圏外　stat=1：パケット圏内　stat=4：不明 AT+CGREG?：「+CGREG：<n>,<stat>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CGREG=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CGSN AT+CGSN ↵ 123456789012345 OK	FOMA端末の製造番号を表示します。
AT+CLIP=<n> ※1 AT+CLIP=0 ↵ OK	64Kデータ通信着信時、相手の発信者番号をパソコンに表示するかを設定します。 n=0：リザルトを表示しない（お買い上げ時）　n=1：リザルトを表示する m=0：番号を通知しないNW設定 m=1：番号を通知するNW設定　m=2：不明 AT+CLIP?：「+CLIP：<n>,<m>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CLIP=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CLIR=<n> ※2 AT+CLIR=2 ↵ OK	64Kデータ通信発信時の発信者番号通知を設定します。 n=0：サービスご契約の設定に従う　n=1：通知しない n=2：通知する（お買い上げ時） m=0：CLIRは未起動（常時通知）　m=1：CLIRは起動（常時非通知） m=2：不明　m=3：CLIRテンポラリーモード（非通知デフォルト） m=4：CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト） AT+CLIR?：「+CLIR：<n>,<m>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CLIR=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CMEE=<n> ※1 AT+CMEE=0 ↵ OK	FOMA端末のエラーレポートの有無を設定します。 n=0：リザルトコードを使用せずに「ERROR」を表示（お買い上げ時） n=1：リザルトコードを使用し、数字で理由を表示 n=2：リザルトコードを使用し、英文字で理由を表示 n=1またはn=2に設定すると、「+CME ERROR：xxxx」の形式で理由を表示します（xxxxには、数字または英文字が表示されます）。→P38「エラーレポート一覧」 AT+CMEE?：現在の設定を表示　AT+CMEE=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CNUM AT+CNUM ↵ +CNUM：,"090XXXXXXXX",129 OK	FOMA端末の自局電話番号を「+CNUM：,"<number>",<type>」の形式で表示します。 number：自局電話番号 type=129：国際アクセスコード+を含まない type=145：国際アクセスコード+を含む
AT+COPS=<n>,2,<oper> ※2 AT+COPS=0 ↵ OK	接続する通信事業者の検索方法を設定します。 n=0：オート（お買い上げ時）　n=1：マニュアル　n=3：マッピングしない n=1に設定した場合は、<oper>にPLMN Numberを16進数で設定します。 AT+COPS?：現在の設定を表示　AT+COPS=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CPAS AT+CPAS ↵ +CPAS：0 OK	FOMA端末が外部機器にATコマンドを送受信できるかを「+CPAS：<n>」の形式で表示します。 n=0：可能　n=1：不可能　n=2：状態不明　n=3：可能かつ着信中 n=4：可能かつ通信中 AT+CPAS=?：表示可能な値のリストを表示

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT+CPIN="<pin>", "<newpin>" AT+CPIN="0000" ↵ OK	PINコードON時、PIN1／PIN2コードやPINロック解除コードの入力が必要な場合に入力します。PINロック解除コードの入力が必要な場合は、<newpin>に新しいPIN1／PIN2コードを入力します。PIN1／PIN2コードの入力が要求されているときに<newpin>を入力しても、PIN1／PIN2コードの変更はできません。 AT+CPIN?：現在の要求されているコードを「+CPIN：<n>」の形式で表示 n=READY：コード入力の要求なし　n=SIM PIN：PIN1コード入力待ち n=SIM PIN2：PIN2コード入力待ち n=SIM PUK：PIN1ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち n=SIM PUK2：PIN2ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち
AT+CR=<n> ※1 AT+CR=0 ↵ OK	接続時に「CONNECT」が表示される前に、通信の種別を表示するかを設定します。 n=0：表示しない（お買い上げ時）　n=1：「+CR：<serv>」の形式で通信の種別を表示 serv=GPRS：パケット通信　serv=SYNC：64Kデータ通信 AT+CR?：現在の設定を表示　AT+CR=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CRC=<n> ※1 AT+CRC=0 ↵ OK	着信時に+CRINGのリザルトコードを使用するかを設定します。 n=0：使用しない（お買い上げ時） n=1：「+CRING：<type>」のリザルトコードを使用する type=GPRS "PPP",,,"<APN>"：パケット通信　type=SYNC：64Kデータ通信 AT+CRC?：現在の設定を表示　AT+CRC=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CREG=<n> ※1 AT+CREG=0 ↵ OK	ネットワーク登録状態（圏内／圏外）を通知するかを設定します。 n=0：通知なし（お買い上げ時） n=1：圏内から圏外または圏外から圏内へ移動時「+CREG：<stat>」の形式で通知 stat=0：音声圏外　stat=1：音声圏内　stat=4：不明 AT+CREG?：「+CREG：<n>,<stat>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CREG=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CUSD=<n>,"<str>" ※1 AT+CUSD=0,"012345678" ↵ OK	ネットワークサービスの追加サービス（USSD登録）を設定します。<str>には、ドコモから通知されたサービスコードを入力します。 n=0：中間リザルトを応答しない（お買い上げ時） n=1：中間リザルトを「+CUSD：<m>, "<str>",0」の形式で応答する m=0：情報の要求なし　m=1：情報の要求あり AT+CUSD?：現在の設定を表示　AT+CUSD=?：設定可能な値のリストを表示
AT+FCLASS=<n> ※1 AT+FCLASS=0 ↵ OK	FOMA端末がサポートする通信種別を設定します。 n=0：データのみサポート（固定値） AT+FCLASS?：現在の設定を表示　AT+FCLASS=?：設定可能な値のリストを表示
AT+GCAP AT+GCAP ↵ +GCAP：+CGSM,+FCLASS, +W OK	FOMA端末でサポートしているATコマンドの範囲を「+GCAP：<n>」の形式で表示します。 n=+CGSM：GSMコマンドをサポート（一部のみサポートの場合を含む） n=+FCLASS：+FCLASSコマンドをサポート　n=+W：+Wコマンドをサポート
AT+GMI AT+GMI ↵ FUJITSU OK	FOMA端末のメーカ名を表示します。
AT+GMM AT+GMM ↵ FOMA F07A OK	FOMA端末の機種名を表示します。
AT+GMR AT+GMR ↵ Ver1.00 OK	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT+IFC=<n,m> ※1 AT+IFC=2,2 ↵ OK	パソコンとFOMA端末間のローカルフロー制御方式を設定します。 n：DCE by DTE　m：DTE by DCE 0：フロー制御を行わない　1：XON/XOFFフロー制御を行う 2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行う（お買い上げ時） AT+IFC?：「+IFC：<n>,<m>」の形式で現在の設定を表示 AT+IFC=?：設定可能な値のリストを表示
AT+WS46=<n> ※1	発信時に使用する無線ネットワークをnの値で表示します。 変更はできないので、AT+WS46=<n>と入力すると、ERRORを返します。 n=22：FOMAネットワーク（固定値） AT+WS46?：現在の設定を表示　AT+WS46=?：設定可能な値のリストを表示

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT¥S AT¥S ↵ E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 ・・・（中略）・・・S104=001 OK	現在設定されている各コマンドとSレジスタの内容を表示します。
AT¥V<n> ※1 AT¥V0 ↵ OK	接続時の拡張リザルトコードの使用を設定します。 n=0：拡張リザルトコードを使用しない（お買い上げ時） n=1：拡張リザルトコードを使用する
+++ +++(非表示) OK	通信中に入力すると、オンラインデータモードからオンラインコマンドモードに移行します。 エスケープガード区間は1秒の固定値です。

※1 &WコマンドでFOMA端末に記録されます。
※2 &FおよびZコマンドによるリセットは行われません。
※3 &Wコマンドを使用する前にZコマンドを実行すると、最後に記録した状態に戻り、それまでの変更内容は消去されます。

切断理由一覧

■ パケット通信

値	理　由
26	APNが存在しないか、または正しくありません。
27	
30	ネットワークによって切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

■ 64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありません。
19	相手側を呼び出しましたが応答がありません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない処理速度を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、または着信を受けました。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
10	SIM not inserted	FOMAカードがセットされていません。
15	SIM wrong	ドコモ以外のSIM（FOMAカードに相当するICカード）が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

ATコマンドの補足説明

● ＜cid＞は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。お買い上げ時、1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」（PPP接続）が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」（IP接続）が登録されています。
＜APN＞は接続先を示す接続ごとの任意の文字列です。

■ コマンド名：+CGDCONT=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信の接続先（APN）を設定します。
- **書式**
  +CGDCONT=［＜cid＞［,"＜PDP_TYPE＞"［,"＜APN＞"］］］
- **パラメータ説明**
  ＜cid＞：1～10
  ＜PDP_TYPE＞：IPまたはPPP
  ＜APN＞：任意
- **実行例**
  PPP接続の「abc」というAPN名を登録する場合のコマンド（＜cid＞=2の場合）
  AT+CGDCONT=2,"PPP","abc" ↵
  OK
- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGDCONT=：すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGDCONT=＜cid＞：指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGDCONT?：現在の設定を表示します。
  AT+CGDCONT=?：設定可能な値のリストを表示します。

■ コマンド名：+CGEQMIN=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかの判定基準を設定します。
- **書式**
  AT+CGEQMIN=［＜cid＞［,,＜Maximum bitrate UL＞［,＜Maximum bitrate DL＞］］］
- **パラメータ説明**
  ＜cid＞：1～10
  ＜Maximum bitrate UL＞：なし（お買い上げ時）または64
  ＜Maximum bitrate DL＞：なし（お買い上げ時）または384
  ※ ＜Maximum bitrate UL＞および＜Maximum bitrate DL＞では、FOMA端末と基地局間の上りおよび下りの最低通信速度（kbps）を設定します。「なし（お買い上げ時）」に設定した場合は、すべての速度を許容しますが、「64」および「384」を設定した場合、これらの速度以下の接続は許容されないため、パケット通信が接続されない場合がありますのでご注意ください。
- **実行例**
  (1) 上りと下りですべての速度を許容する場合のコマンド（＜cid＞=2の場合）
  AT+CGEQMIN=2 ↵
  OK
  (2) 上り64kbps、下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=4の場合）
  AT+CGEQMIN=4,,64,384 ↵
  OK
  (3) 上り64kbps、下りすべての速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=5の場合）
  AT+CGEQMIN=5,,64 ↵
  OK
  (4) 上りすべての速度、下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=6の場合）
  AT+CGEQMIN=6,,,384 ↵
  OK

- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGEQMIN=：すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQMIN=＜cid＞：指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQMIN?：現在の設定を表示します。
  AT+CGEQMIN=?：設定可能な値のリストを表示します。

■ コマンド名：+CGEQREQ=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
- **書式**
  AT+CGEQREQ=［＜cid＞］
- **パラメータ説明**
  上り64kbps、下り64～384kbpsの速度で接続を要求するコマンドのみ設定できます。各＜cid＞にはその内容がお買い上げ時に設定されています。
  ＜cid＞：1～10
- **実行例**
  （＜cid＞=3の場合）
  AT+CGEQREQ=3 ↵
  OK
- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGEQREQ=：すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQREQ=＜cid＞：指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQREQ?：現在の設定を表示します。
  AT+CGEQREQ=?：設定可能な値のリストを表示します。

リザルトコード

● ATVコマンドがn=1（お買い上げ時）に設定されている場合は英文字、n=0の場合は数字でリザルトコードが表示されます。→P34

■ リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信しています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けられません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音の検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です（通信ネットワークが混雑しています。しばらくたってから接続し直してください）。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ 拡張リザルトコード

- **AT&Eコマンドがn=0に設定されている場合**

数字表示	文字表示	FOMA端末－基地局間の接続速度
122	CONNECT 64000	64000bps
125	CONNECT 384000	384000bps

• AT&Eコマンドがn=1に設定されている場合

数字表示	文字表示	FOMA端末ーパソコン間の接続速度
5	CONNECT 1200	1200bps
10	CONNECT 2400	2400bps
11	CONNECT 4800	4800bps
13	CONNECT 7200	7200bps
12	CONNECT 9600	9600bps
15	CONNECT 14400	14400bps
16	CONNECT 19200	19200bps
17	CONNECT 38400	38400bps
18	CONNECT 57600	57600bps
19	CONNECT 115200	115200bps
20	CONNECT 230400	230400bps
21	CONNECT 460800	460800bps

※ 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度を表示しますが、FOMA端末ーパソコン間はUSBケーブルで接続されているため、実際の接続速度と異なります。

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	64Kデータ通信で接続（BC=UDI、+CBST=116,1,0）
5	PACKET	パケット通信で接続

■ リザルトコード表示例

ATX0が設定されているとき

AT￥Vコマンドの設定に関わらず、接続完了の際に「CONNECT」のみ表示されます。

文字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
CONNECT

数字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
1

ATX1が設定されているとき

• ATX1、AT￥V0（お買い上げ時）が設定されている場合
接続完了時に、「CONNECT＜FOMA端末－パソコン間の速度＞」の書式で表示します。
文字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
CONNECT 460800
数字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
1 21

• ATX1、AT￥V1が設定されている場合※1
接続完了時に、次の書式で表示します。
「CONNECT＜FOMA端末－パソコン間の速度＞＜通信プロトコル＞＜接続先APN＞/＜上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度＞/＜下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度＞」※2
文字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
CONNECT 460800 PACKET mopera.net/64/384
（mopera.netに、上り最大64kbps、下り最大384kbpsで接続したことを表します。）
数字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
1 21 5

※1 ATX1、AT￥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しくできないことがあります。AT￥V0だけでのご利用をおすすめします。

※2 AT￥V1が設定されている場合、＜接続先APN＞以降はパケットで接続している場合のみ表示されます。

区点コード一覧

区点コードの入力方法については、取扱説明書をご覧ください。
区点コード一覧の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
	あ									
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
	い									
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
	う									
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
	え									
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
	お									
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
	か									
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
	き									
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
	く									
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
	け									
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
	こ									
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	

2008.9（1版）
CA92002-5476

区点1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然

区点1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ										
390									濡	
ね										
390										禰

区点1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
の										
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
447	紋	門	匁							
や										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
ゆ										
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ										
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら										
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
り										
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
る										
466	瑠	塁	涙	累	類					
れ										
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
ろ										
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
わ										
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	競	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼

区点	区点4桁目									
1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	簠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒

区点	区点4桁目									
1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					

区点	区点4桁目									
1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			